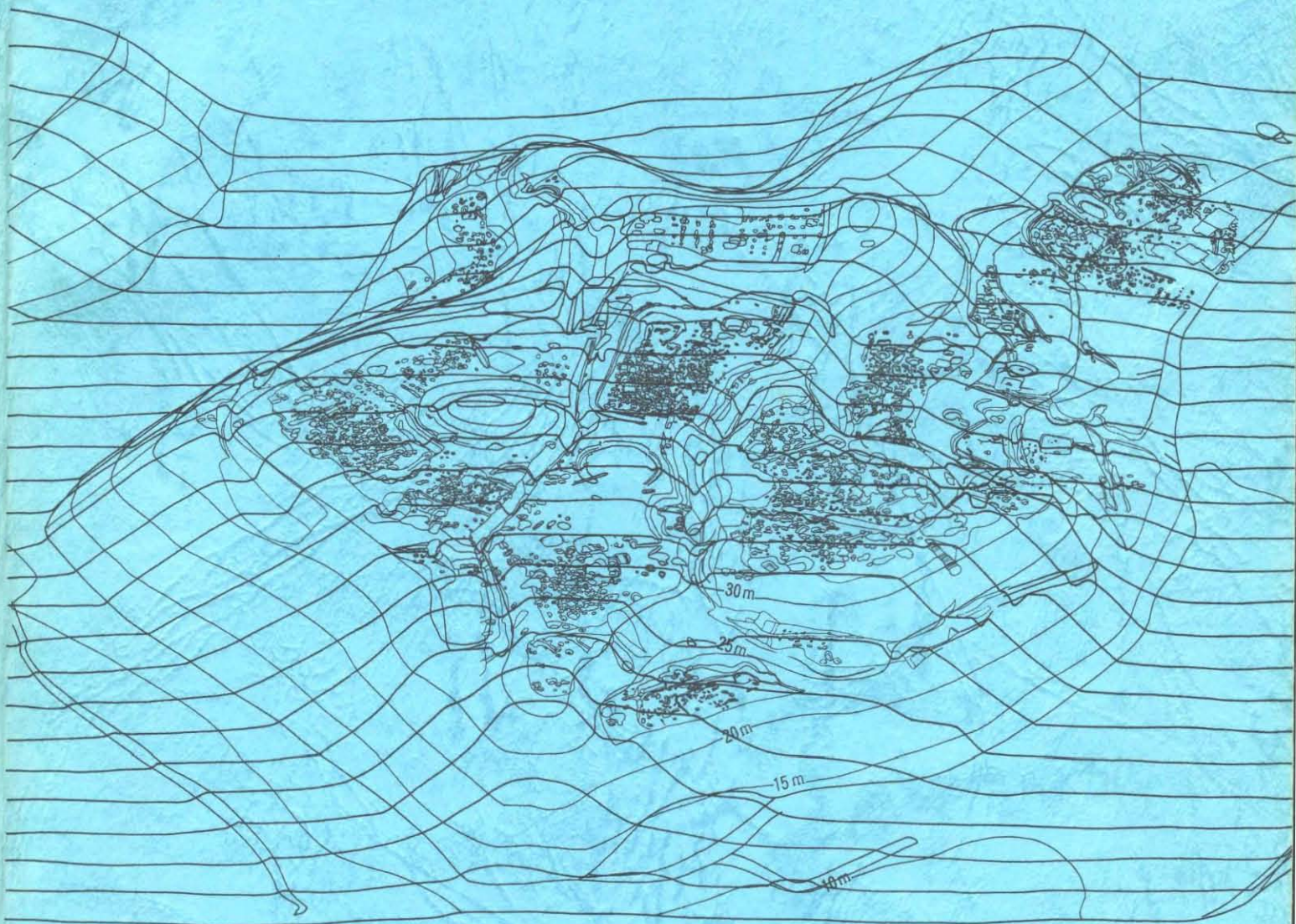


ち は けん そ う さ ぐん ひかり まち
千 葉 県 匝 瑳 郡 光 町

さ き も と じ ょ う あ と じ ょ う や ま い せ き
篠 本 城 跡 ・ 城 山 遺 跡

資料編

ひかり工業団地内埋蔵文化財調査報告 2



平成12年

千葉県企業庁

財団法人 東総文化財センター

目 次

1. 縄文・弥生時代	1
縄文時代の遺構	2
縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物	4
縄文時代の遺物（土器）	28
縄文時代の遺物（石器）	39
弥生時代の遺物	44
2. 古墳時代	47
古墳時代の遺構	48
古墳時代の遺物	57
3. 奈良・平安時代	65
奈良・平安時代の遺構	66
奈良・平安時代遺物（遺構出土）	90
奈良・平安時代遺物（遺構外出土）	113
4. 中 世	135
中世遺構（1号中世区画）	136
中世遺構（2号中世区画）	148
中世遺構（3号中世区画）	158
中世遺構（4号中世区画）	171
中世遺構（5号中世区画）	182
中世遺構（6号中世区画）	179
中世遺構（7号中世区画）	194
中世遺構（8号中世区画）	209
中世遺構（9号中世区画）	223
中世遺構（10号中世区画）	252
中世遺構（11号中世区画）	262
中世遺構（12号中世区画）	266
中世遺構（13号中世区画）	276
中世遺構（14号中世区画）	282
中世の陶磁器	287
中世の銭貨	371
中世の金属製品	395
中世の石製品	401
中世の石塔	429
5. 近 世	455
近世の遺構	456
近世の遺物	457
6. 自然科学分析	467

1. 縄文・弥生時代

城山遺跡では、縄文時代の遺構はわずかであったが、遺物は早期包含層をはじめとして、多数の土器が出土した。土器のほとんどは破片で、復元できたものは数点であったが、貴重な資料を提供した。

弥生時代は、遺構は全く検出できなかったが、土器が少し出土した。

下記に、縄文・弥生時代の資料編図の凡例を示す。

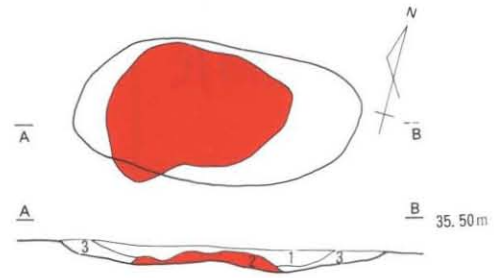
1. 縄文時代の遺構実測図の縮尺は50分の1である。
2. 遺構の断面図に示した数値は、アルファベット線上の標高である。
3. 遺構及び覆土の説明は、それぞれの図のわきに示した。
4. 遺物の実測図の中で土器の縮尺は、復元図と破片

ともすべて2分の1である。

5. 土錘や円板などの土製品の縮尺は、2分の1である。
6. 石器の縮尺は、石鏃等の小形石器は原寸で、石斧や敲石などの大形石器は2分の1である。
7. 遺物の図示は、原則的に実測図の左側に、その遺物の表裏写真をほぼ等縮尺で載せた。しかし大きさや紙面の都合で、上下にずらしたものもある。
8. 遺物の説明は、実測図のわきに示した。
9. 土器は、さきに早期包含層の遺物を載せ、そのあとに遺構及び遺跡全体から出土したその他の土器を、時代順に並べた。その他の土器の説明に土器型式名を付記した。その土器型式名の一覧を下に示しておく。

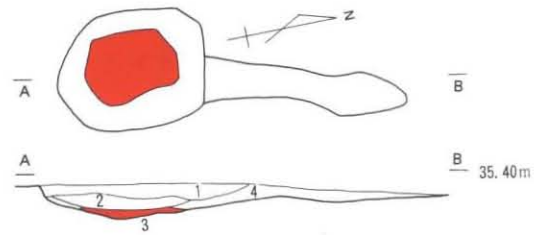
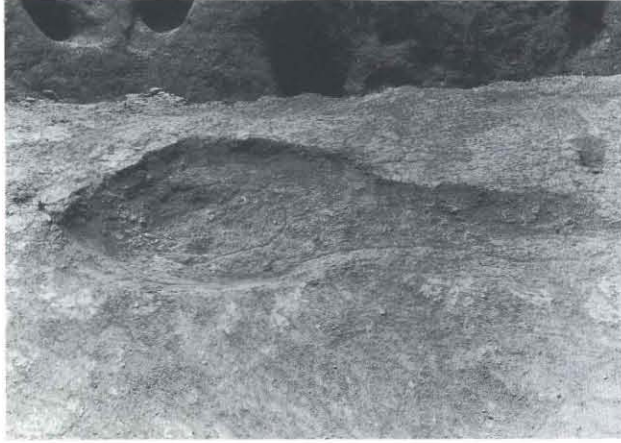
表1 関東地方の主な縄文土器型式一覧

時期	型式名	年代(今より)
草創期	隆起線文 表裏縄文	14,000年前
早期	井草 夏島 稲荷台 花輪台 I・II 東山 平坂 三戸 田戸下層・上層 子母口 野島	9,000年前
	鶺鴒ヶ島台 茅山下層・上層	7,000年前
前期	花積下層 関山 黒浜 諸磯 浮島 興津	5,000年前
中期	五領ヶ台 下小野 阿玉台 I・II・III・IV 勝坂 加曾利 E I・II・III・IV	3,500年前
後期	称名寺 堀之内 加曾利 B 曾谷 安行 I・II	2,500年前
晩期	安行 III 山武姥山 前浦 荒海 杉田	2,000年前



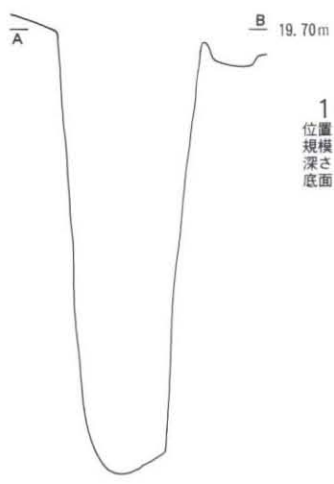
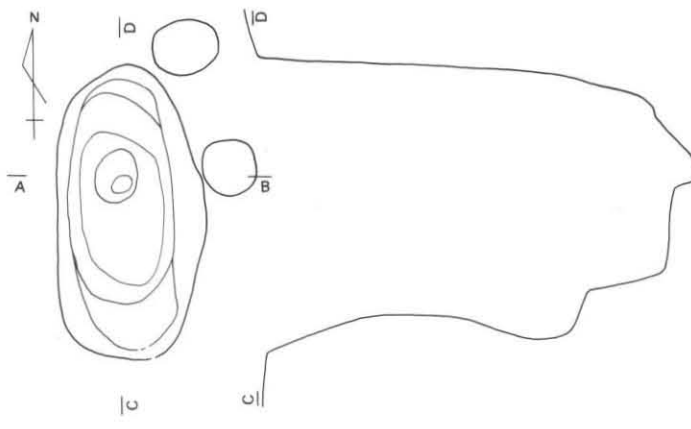
1号炉穴
 位置 5F-31-5
 規模 0.95×0.47m
 深さ 0.07m
 火床 よく焼けている

層序	説明
1	黒褐色土 (ローム、焼土が混じる)
2	赤色焼土
3	暗褐色土 (ローム粒が混じる)

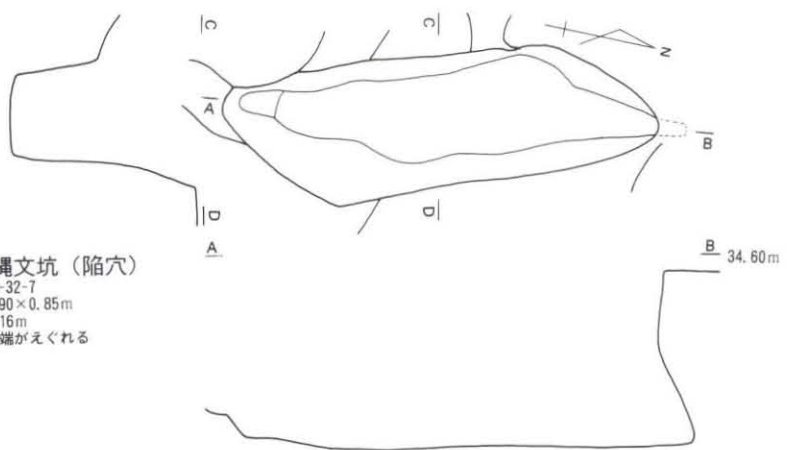


2号炉穴
 位置 5F-31-10
 規模 1.15×0.40m
 深さ 0.11m
 火床 よく焼けている

層序	説明
1	黒褐色土 (焼土、土器片が混じる)
2	暗褐色土 (焼土が多く混じる)
3	赤色焼土
4	暗褐色土 (ロームが混じる)



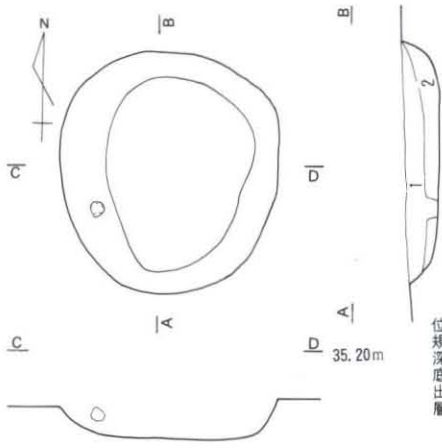
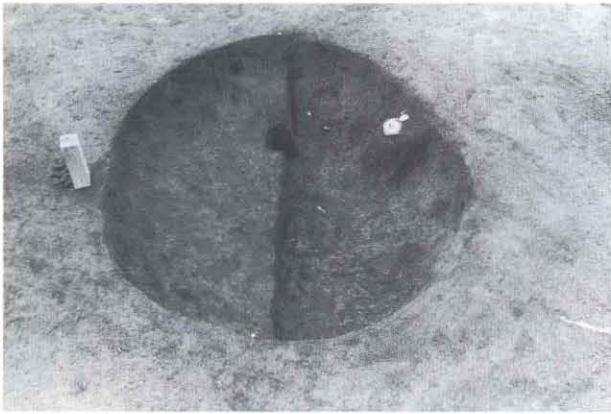
1号縄文坑 (陥穴)
 位置 5F-33-8
 規模 1.95×1.00m
 深さ 2.90m
 底面 小穴有り



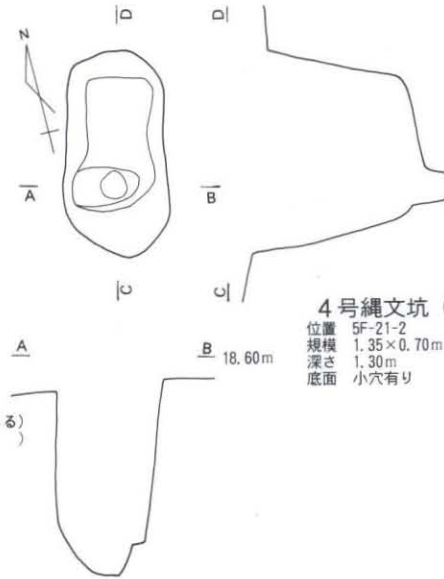
2号縄文坑 (陥穴)
 位置 5F-32-7
 規模 2.90×0.85m
 深さ 1.16m
 底面 両端がえぐれる



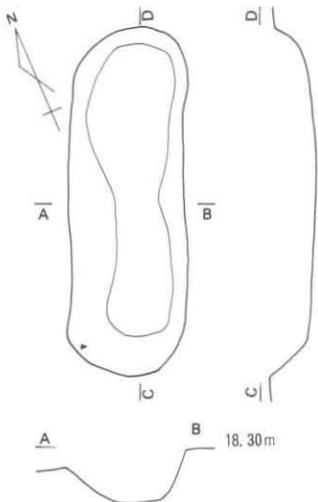
図1 縄文時代の遺構①



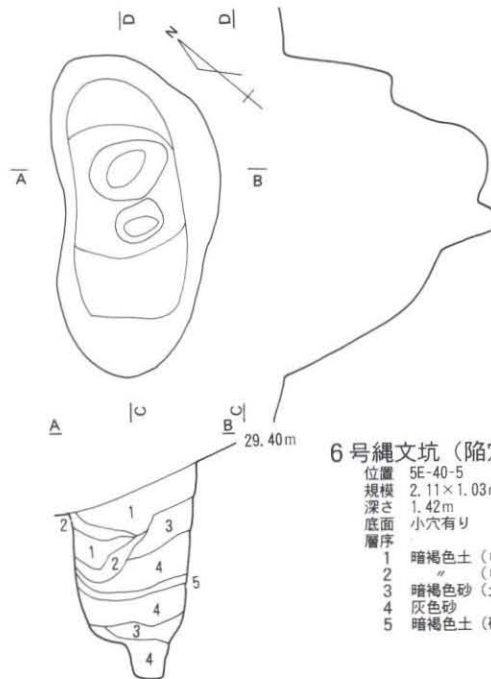
3号縄文坑 (土壇墓か)
 位置 5F-31-25
 規模 1.60×1.46m
 深さ 0.22m
 底面 平坦
 出土遺物 土器片、敲石
 層序
 1 黒色土 (焼土、ロームが少し混じる)
 2 黒褐色土 (" ")



4号縄文坑 (陥穴)
 位置 5F-21-2
 規模 1.35×0.70m
 深さ 1.30m
 底面 小穴有り



5号縄文坑
 位置 5F-21-2
 規模 2.30×0.76m
 深さ 0.35m
 底面 平坦



6号縄文坑 (陥穴)

位置 5E-40-5
 規模 2.11×1.03m
 深さ 1.42m
 底面 小穴有り
 層序
 1 暗褐色土 (ロームが混じる)
 2 " (ローム、砂が混じる)
 3 暗褐色砂 (土が混じる)
 4 灰色砂
 5 暗褐色土 (砂が混じる)



図2 縄文時代の遺構②

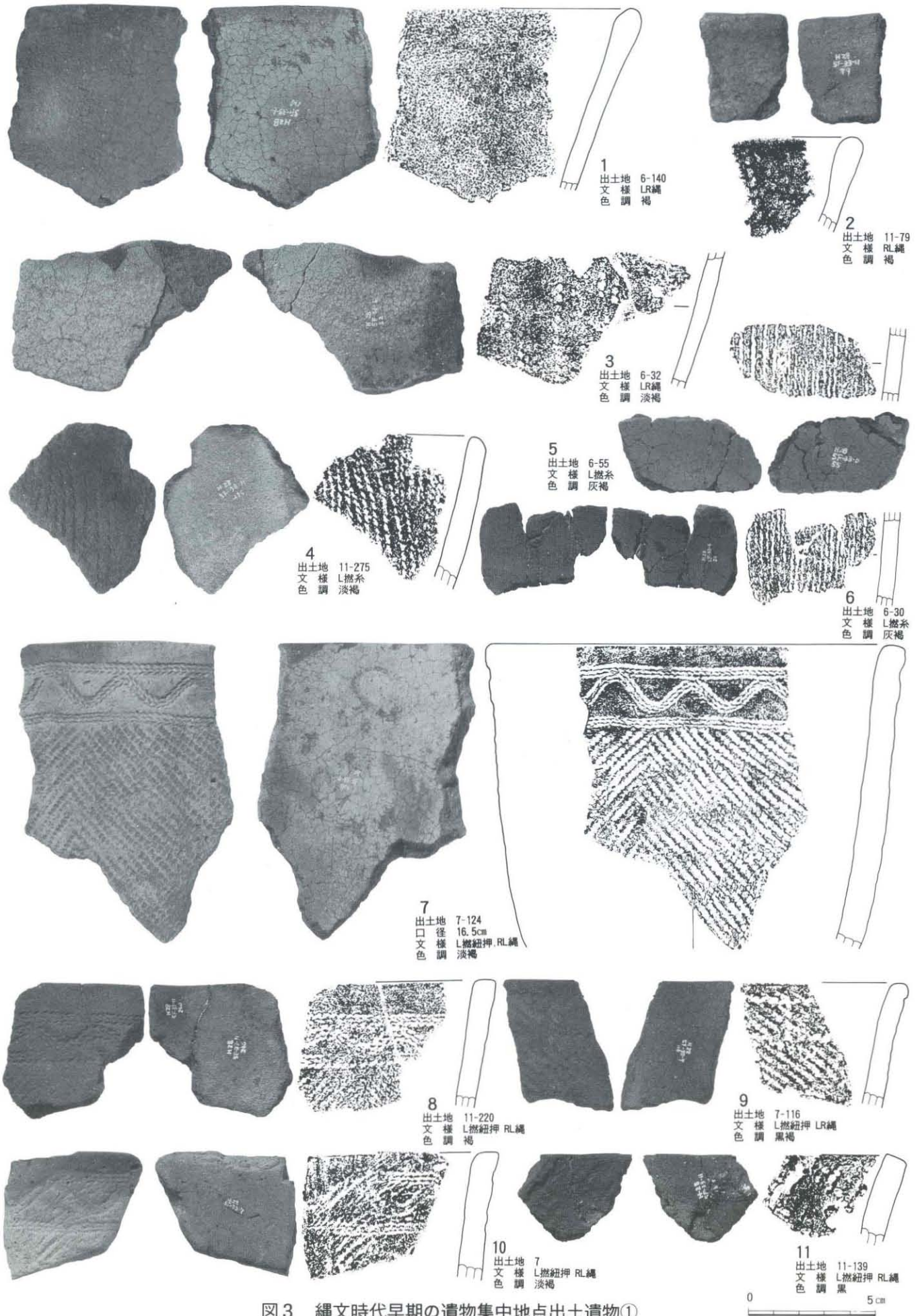


図3 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物①

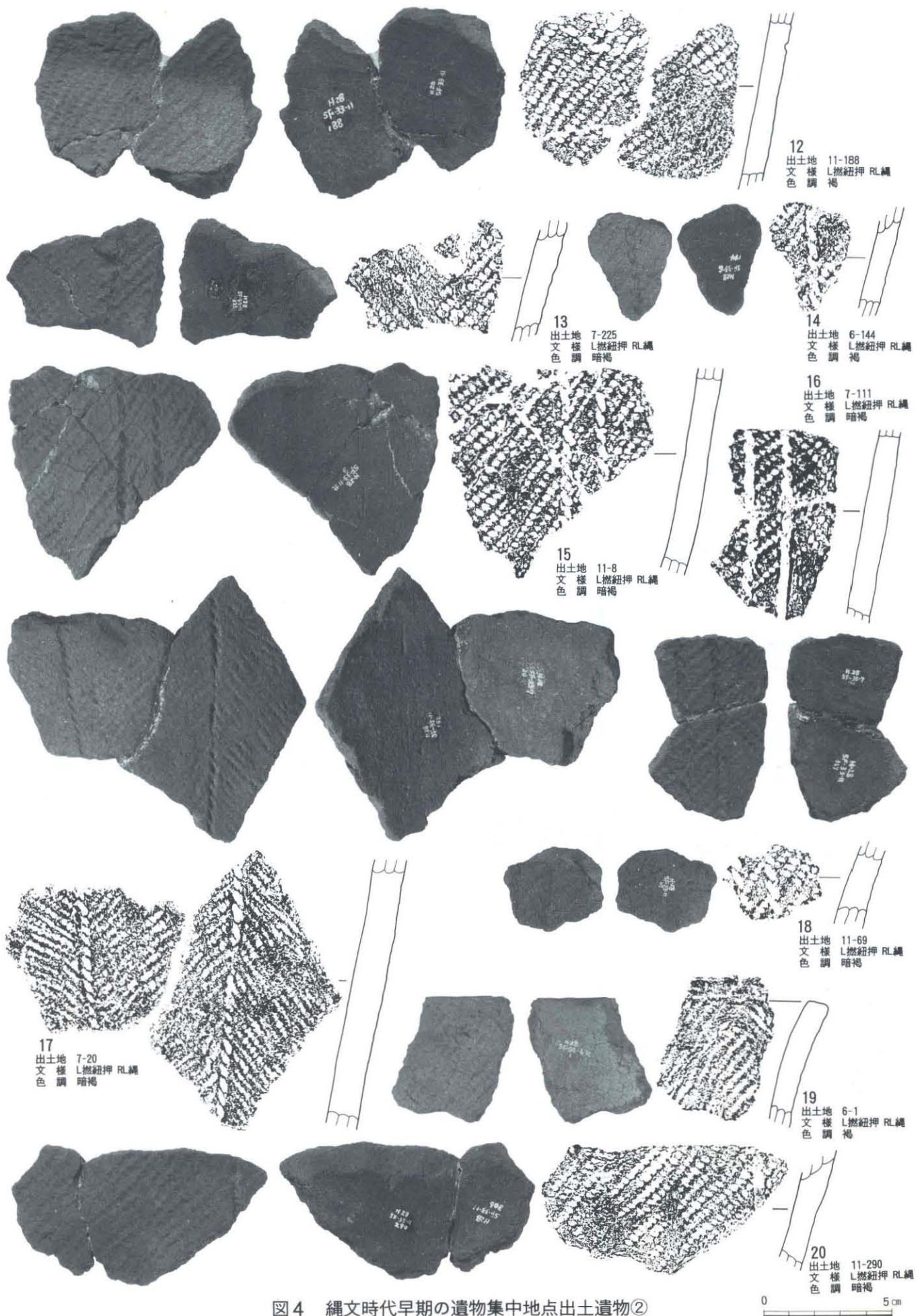


図4 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

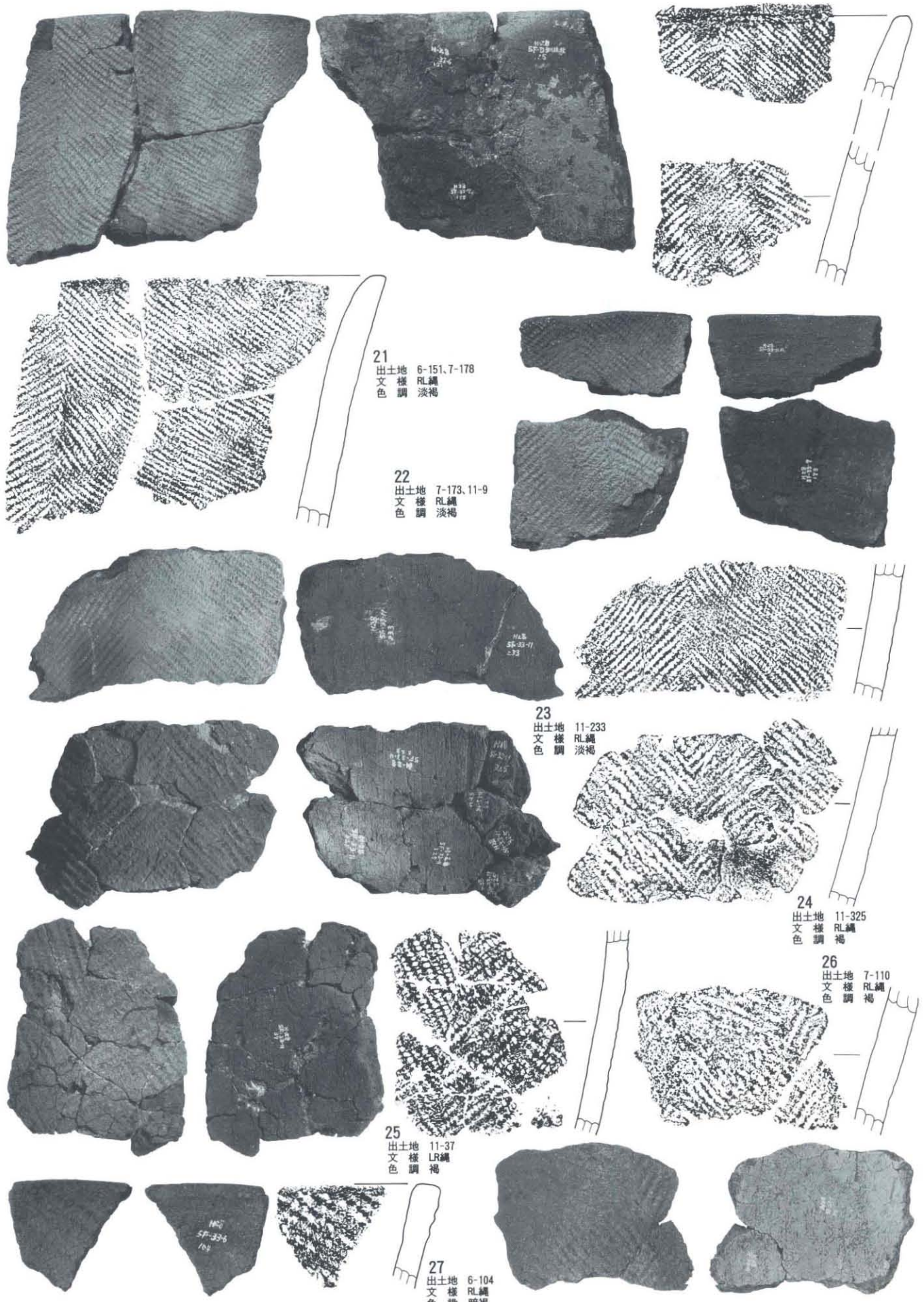
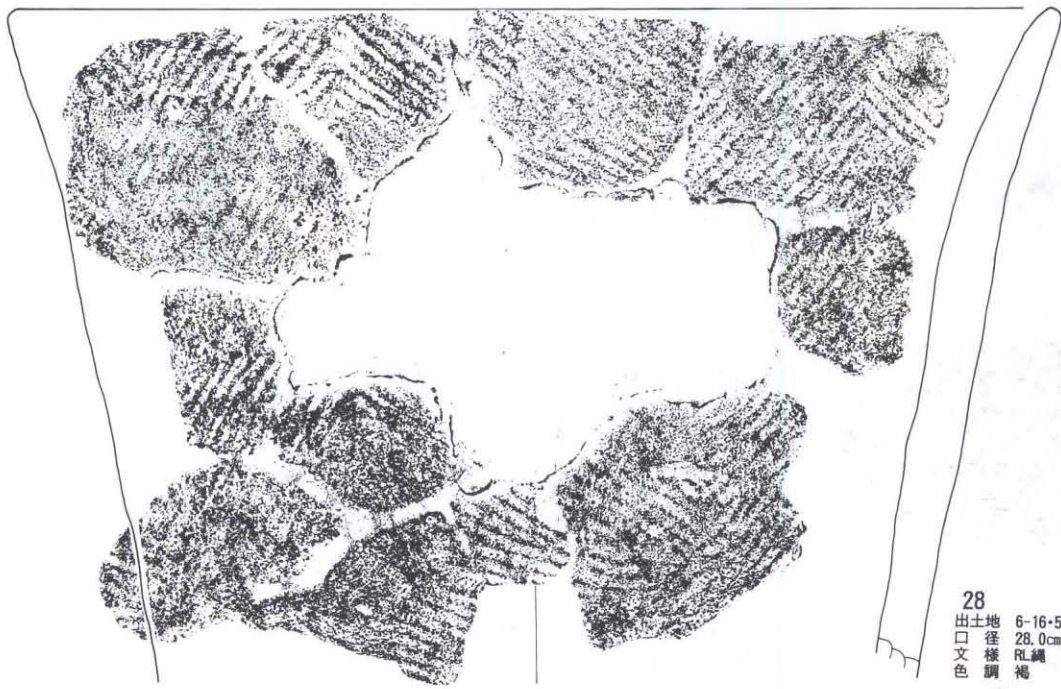
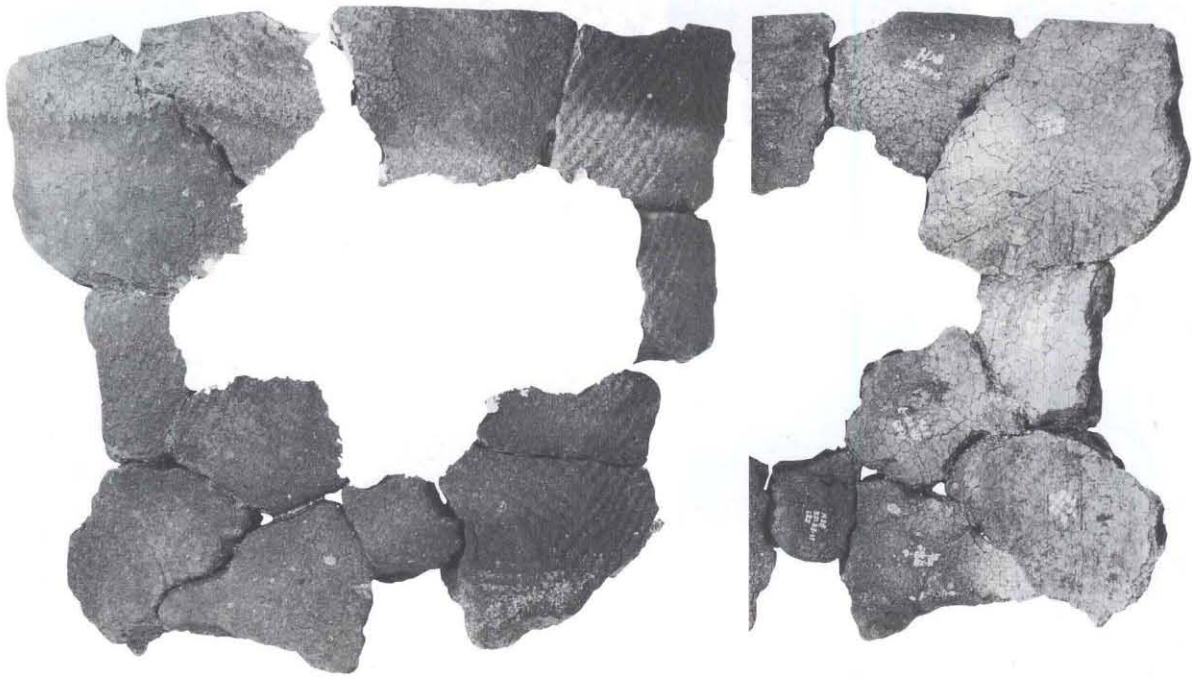


図5 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物③

0 5cm



28
 出土地 6-16-54-109
 口径 28.0cm
 文様 RL縄
 文色 調 褐



図6 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物④

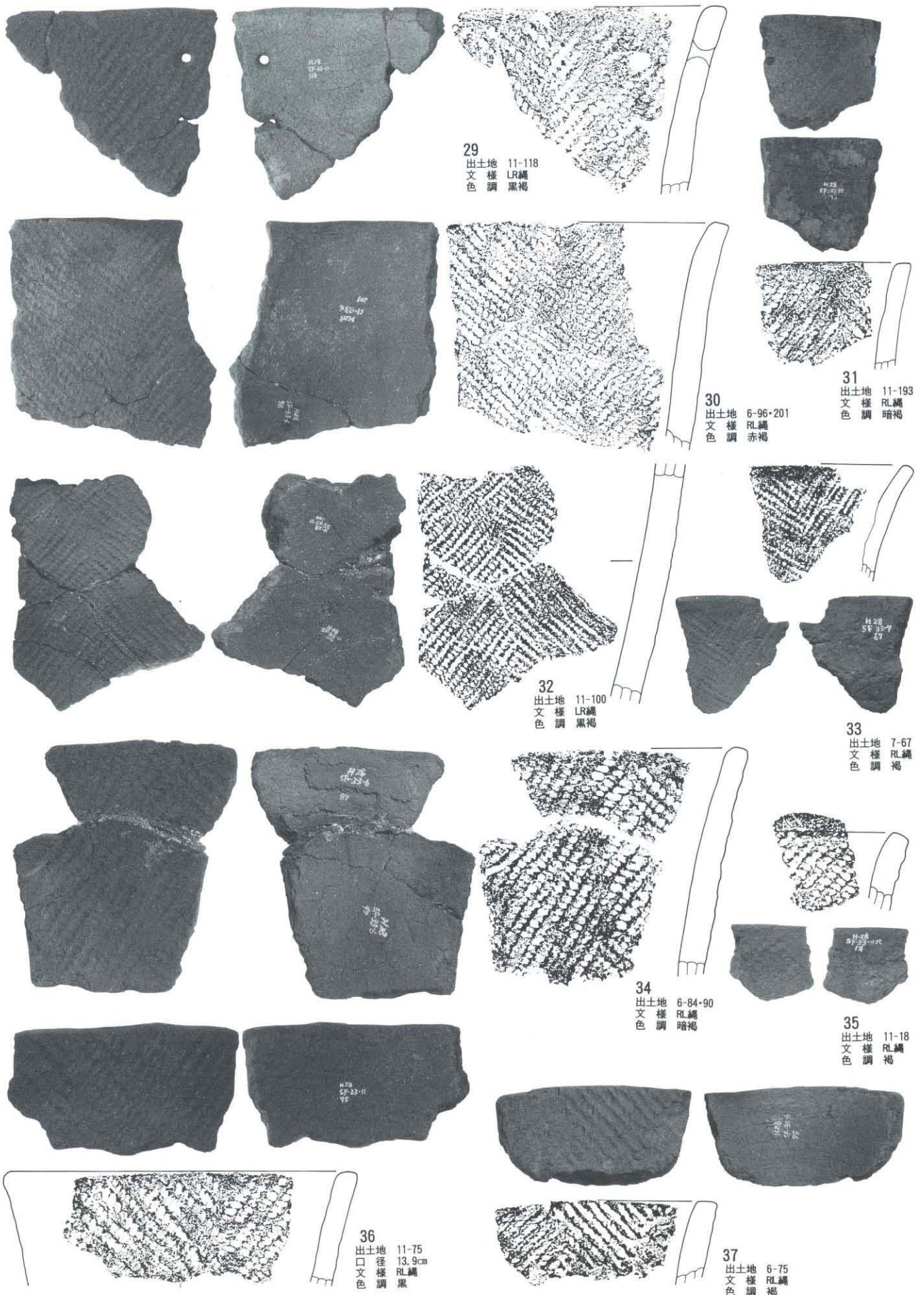


図7 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑤

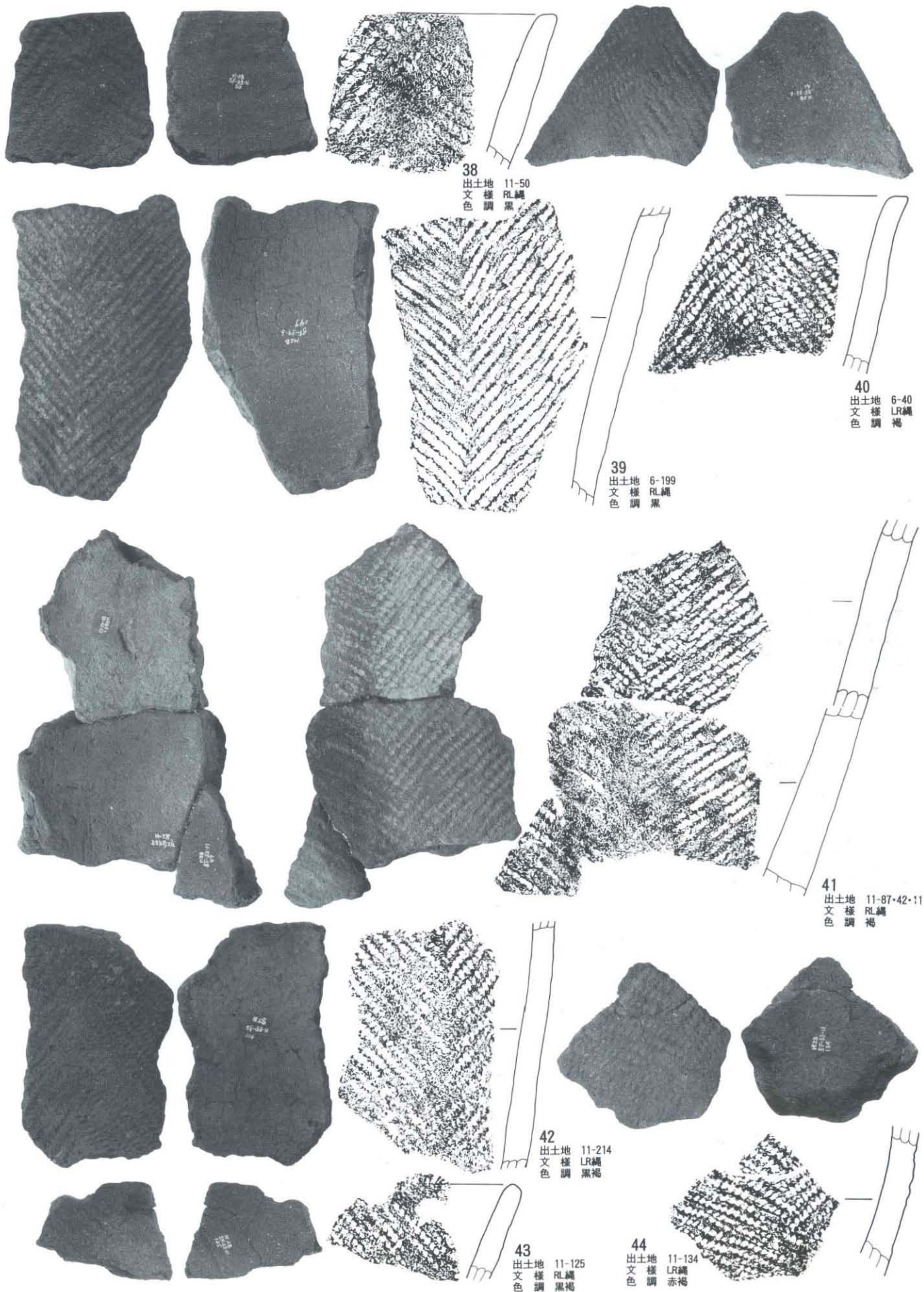


図8 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑥



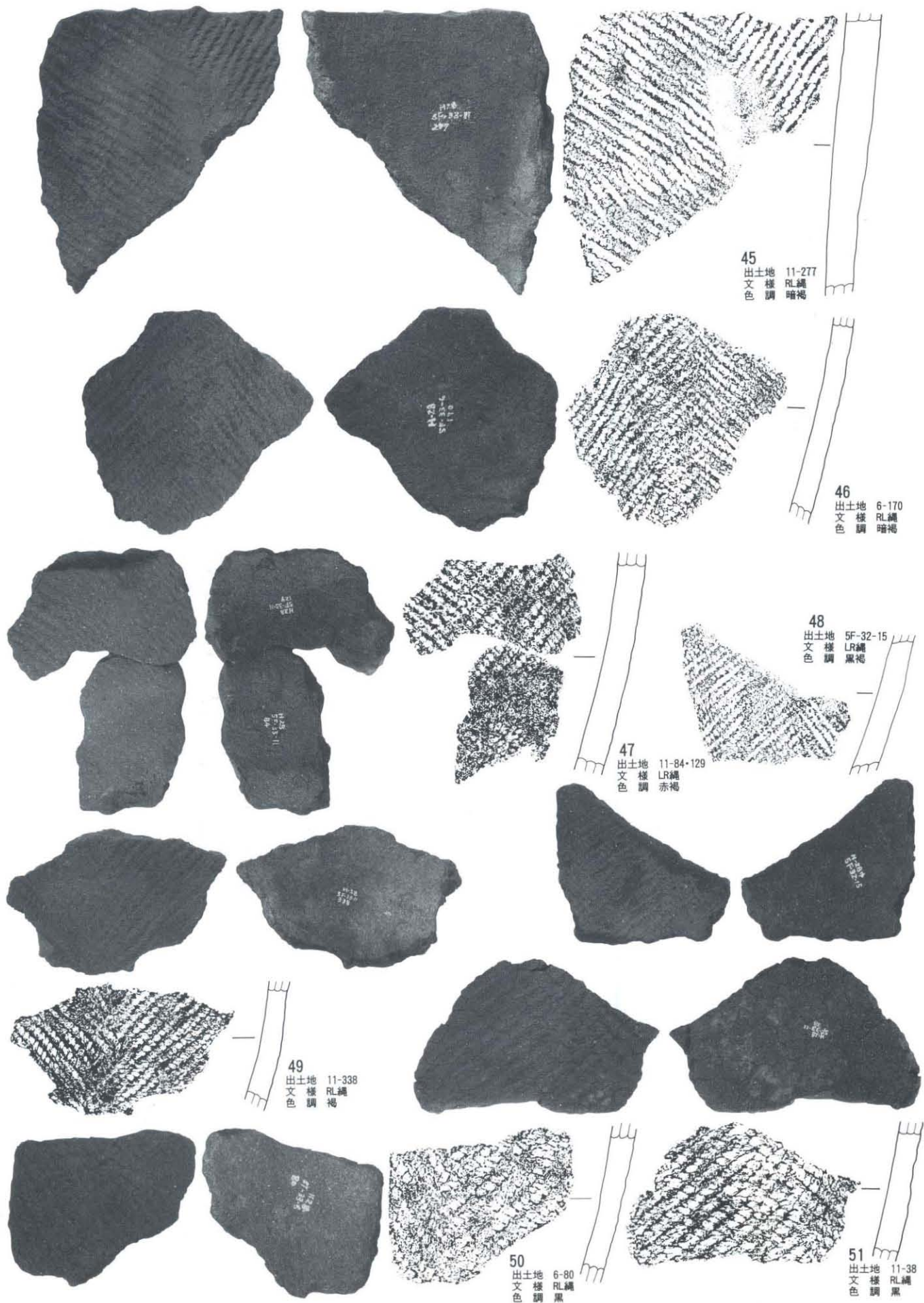


図9 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑦

0 5cm

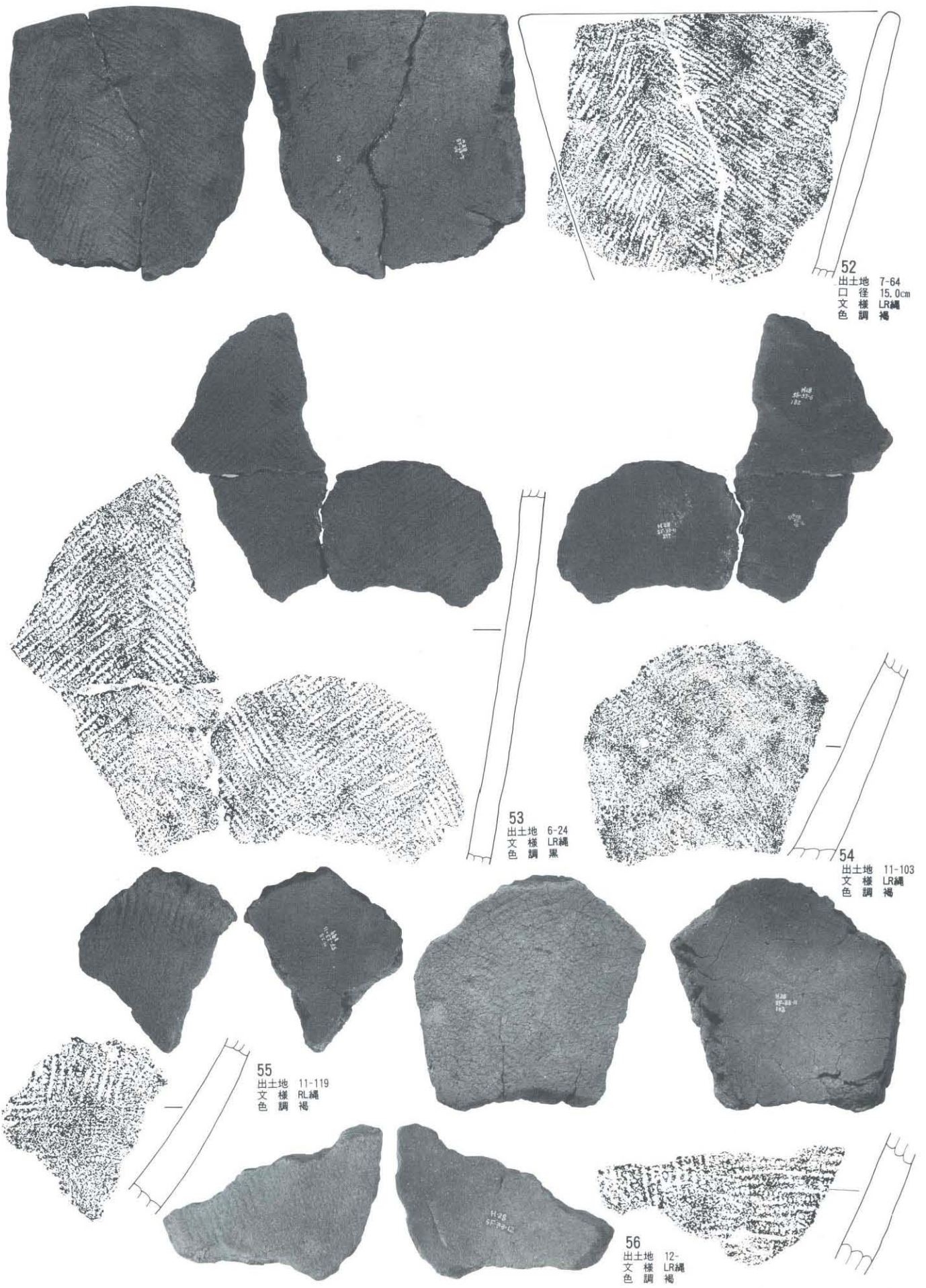


図10 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑧

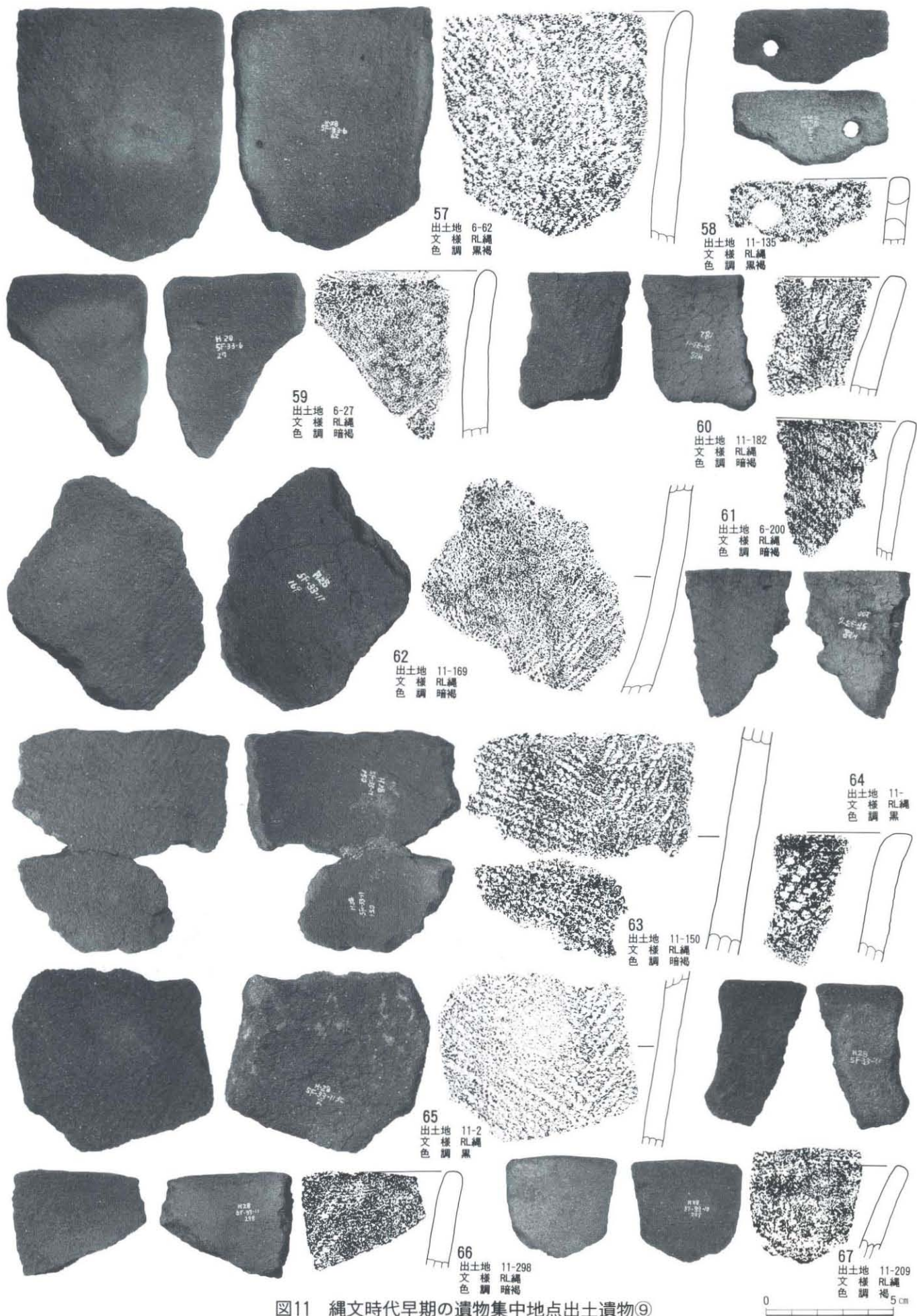


図11 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑨

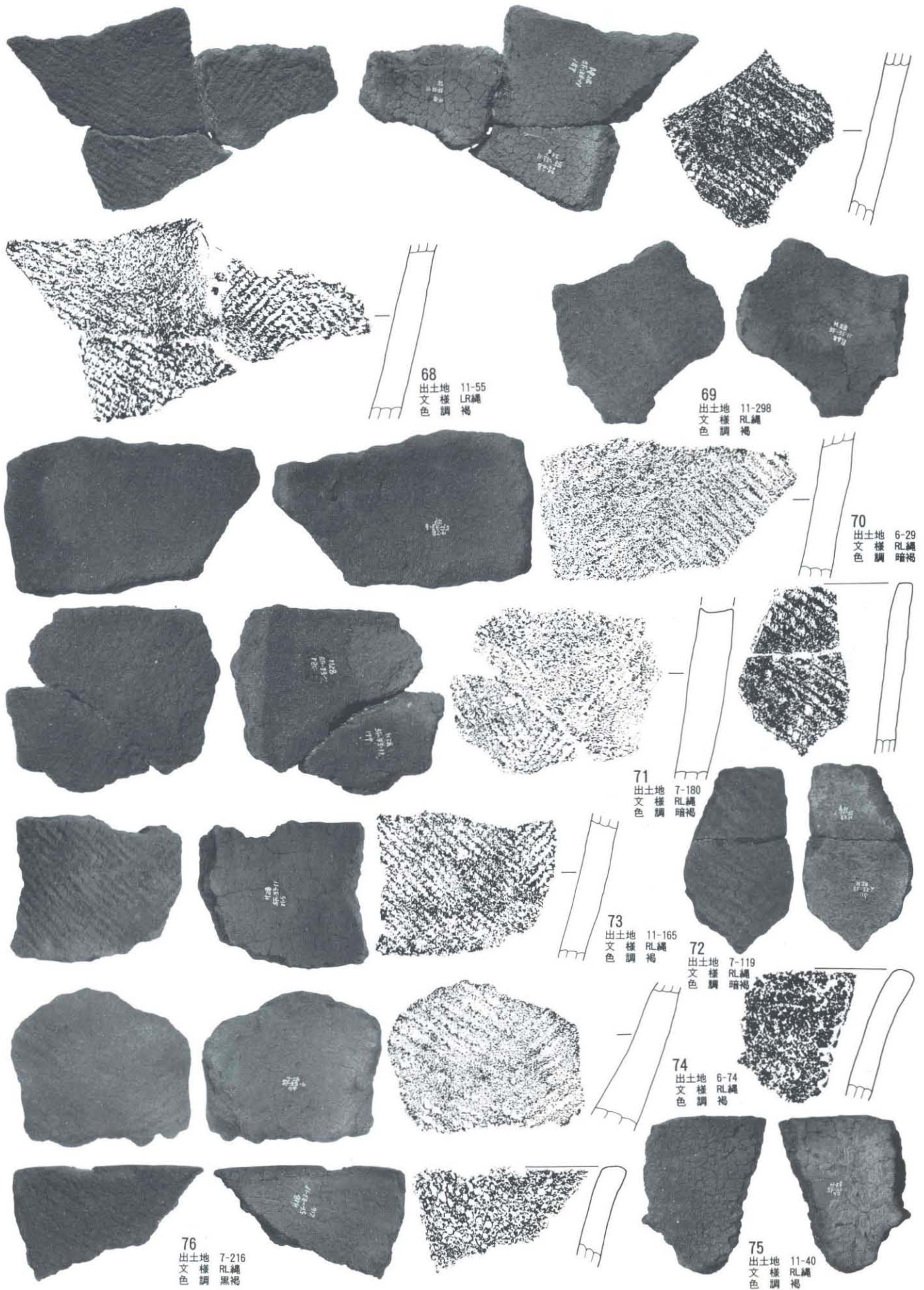


図12 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

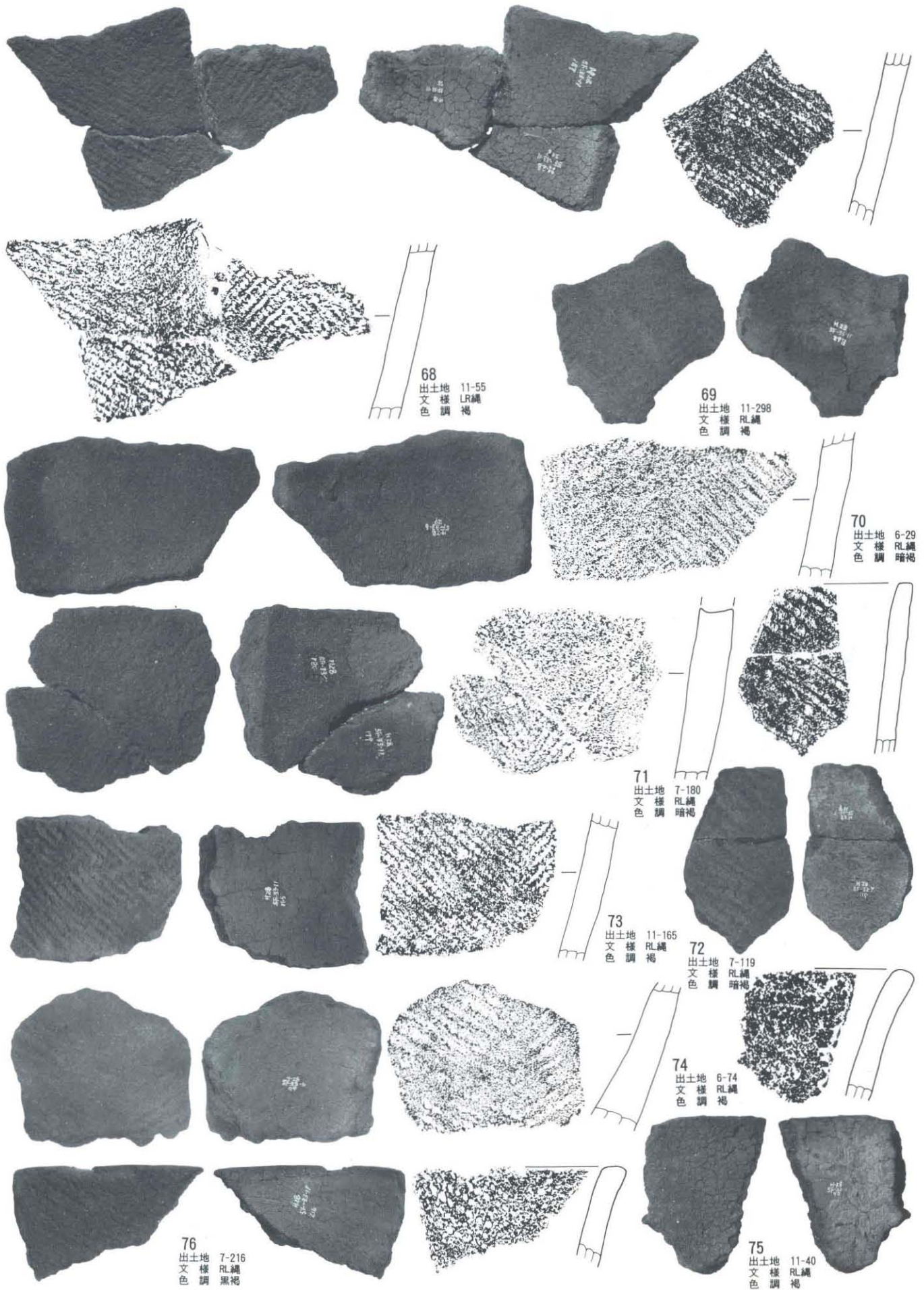


図12 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

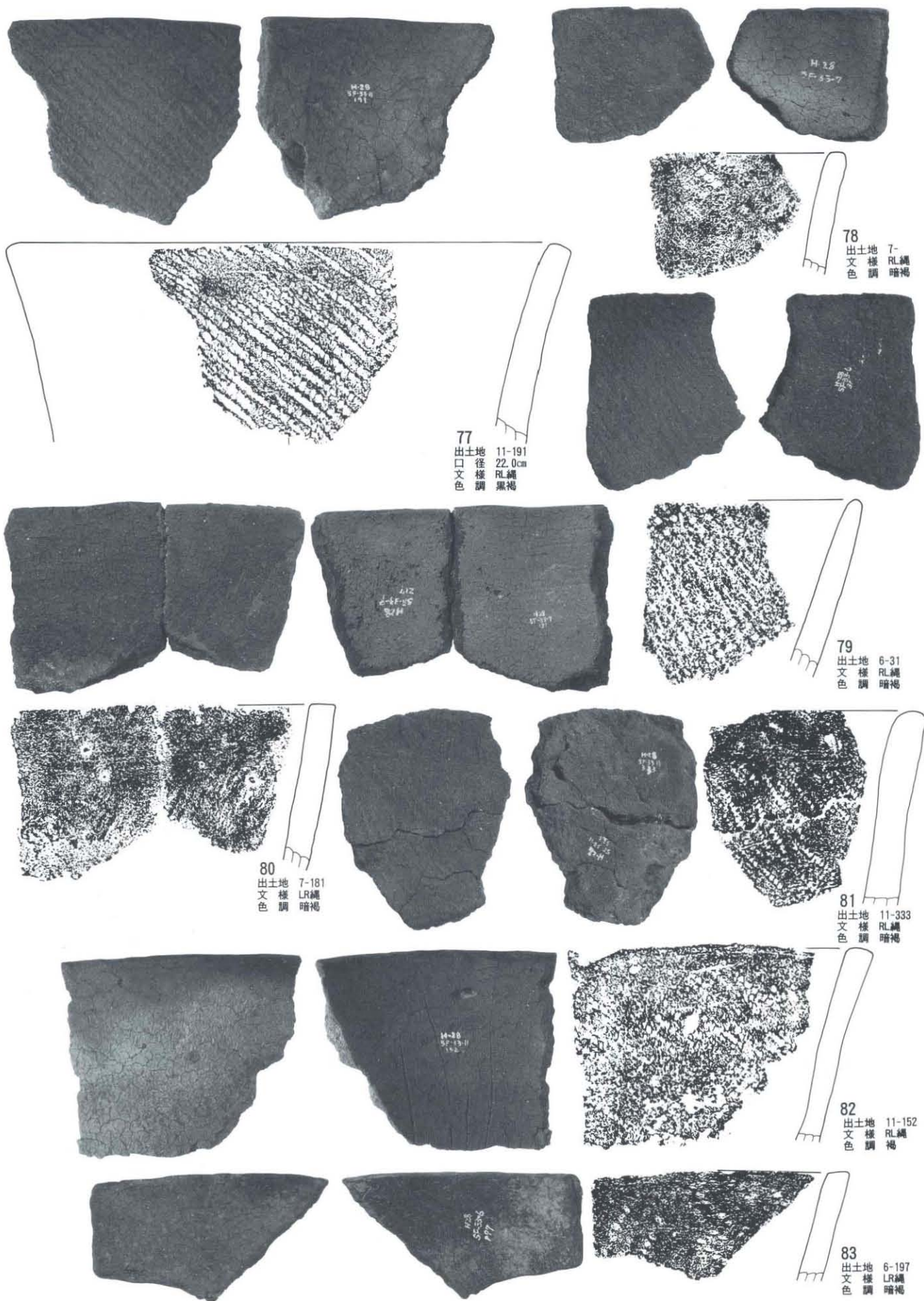


図13 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑪



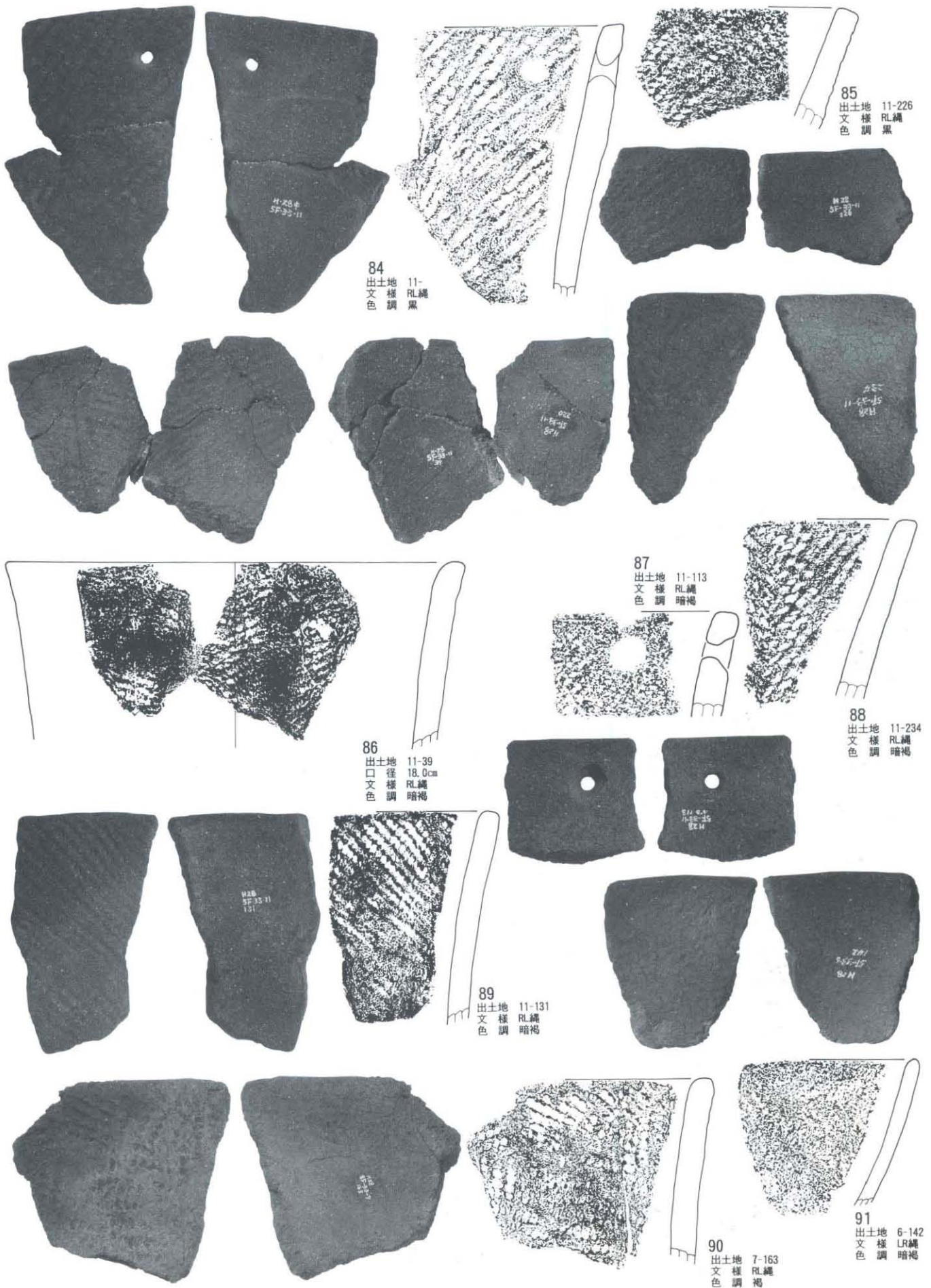


図14 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑫

0 5 cm

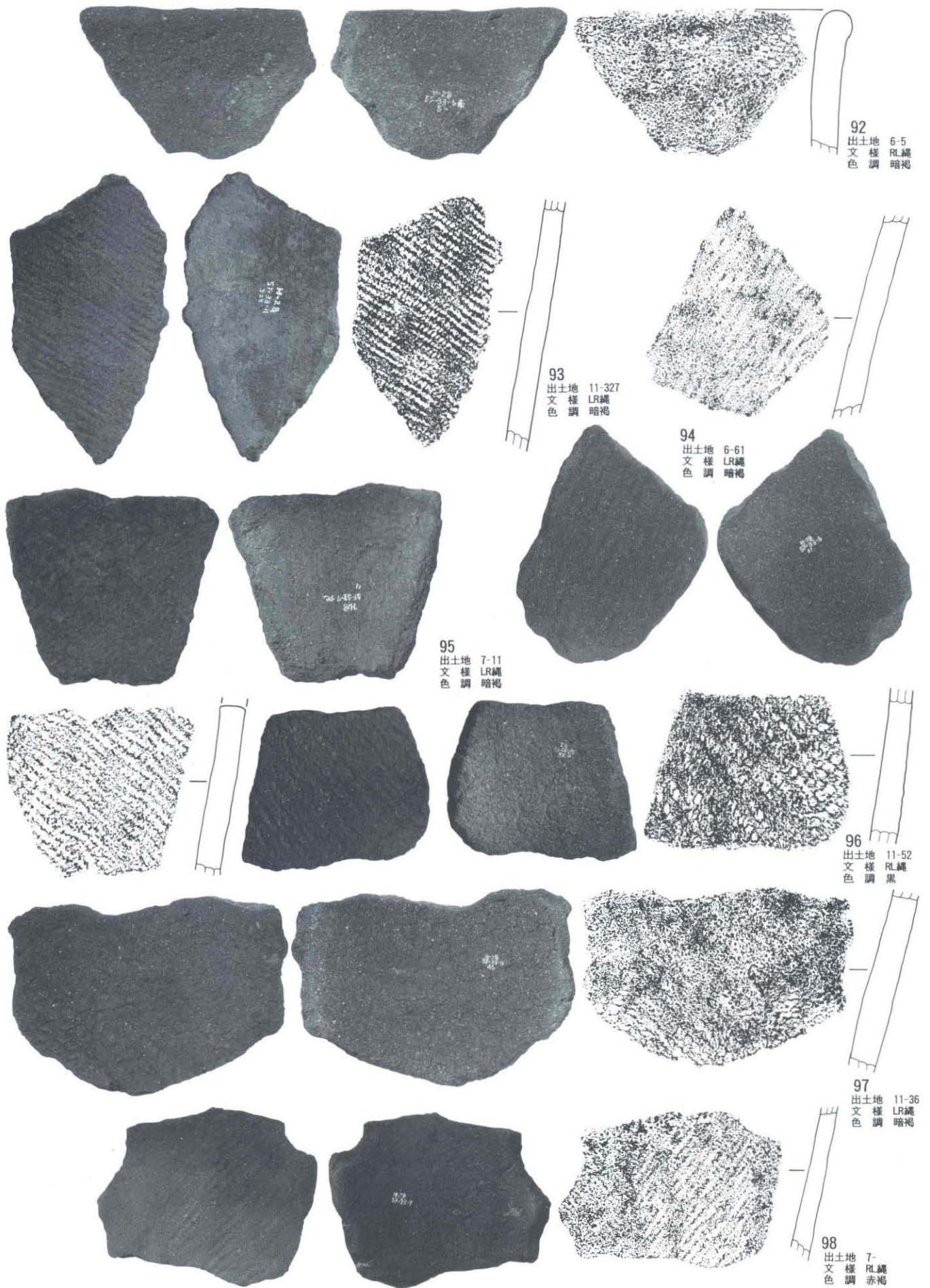


図15 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑬

0 5 cm

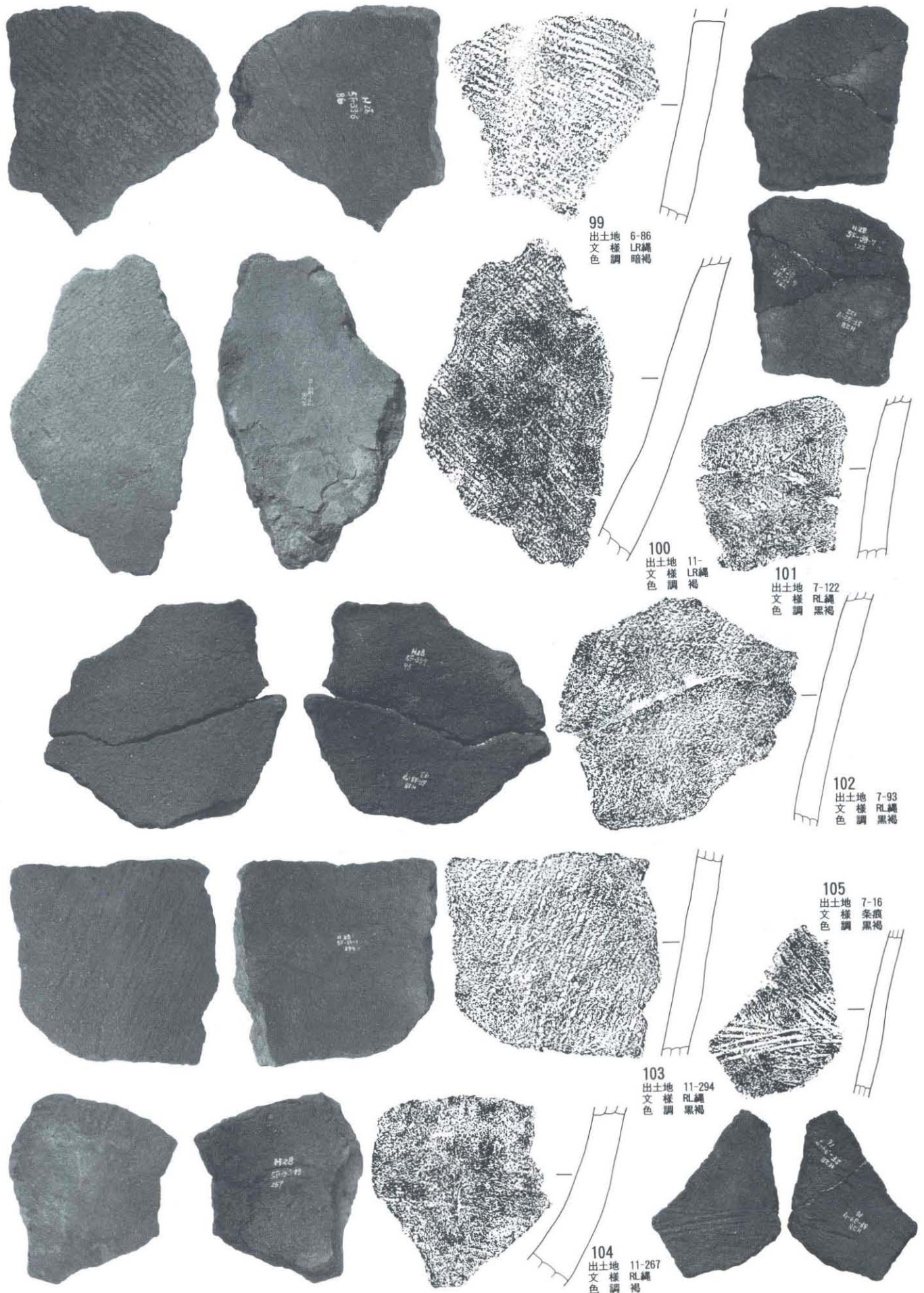


図16 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑭

0 5 cm

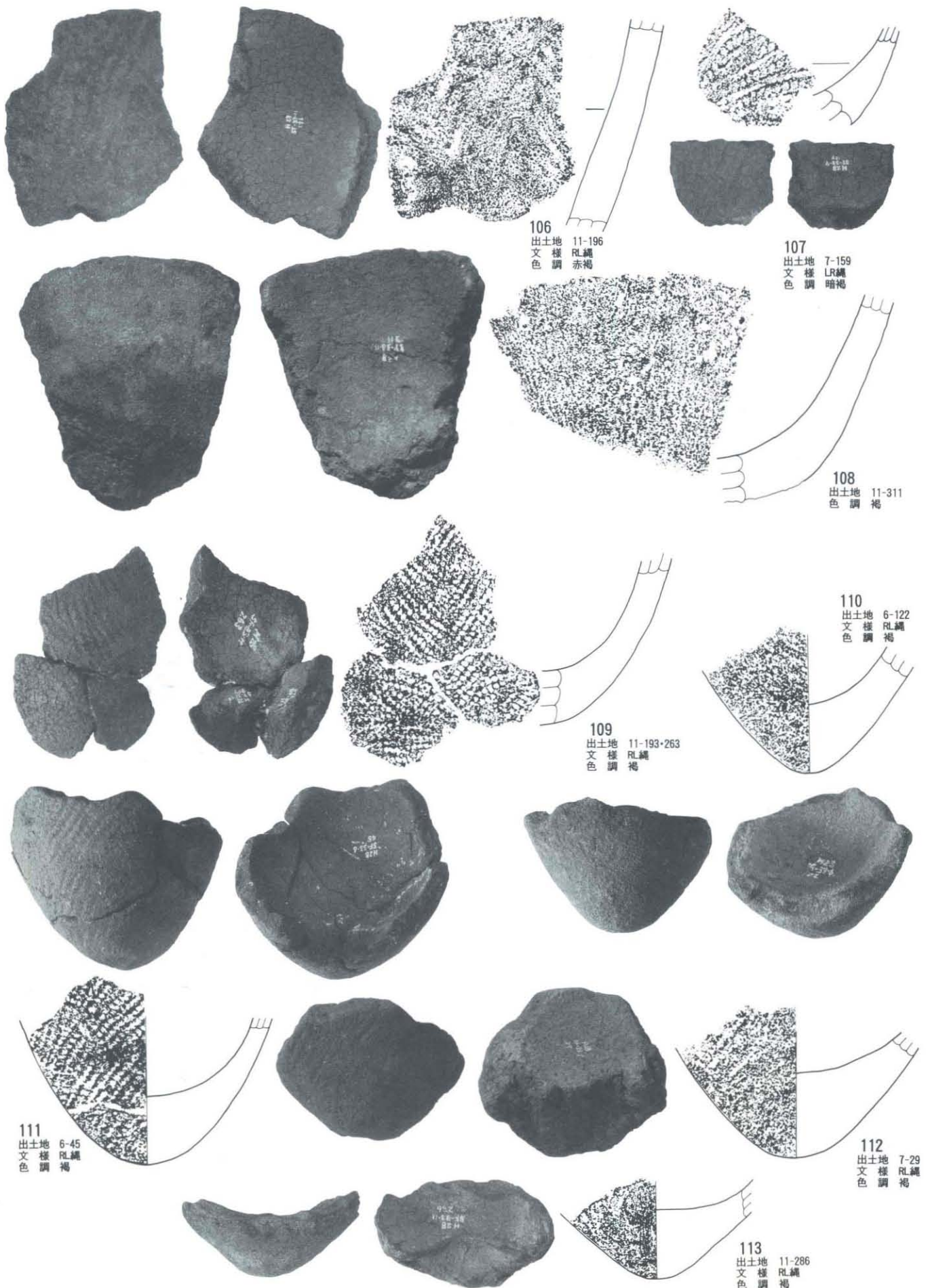


図17 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑮

0 5 cm

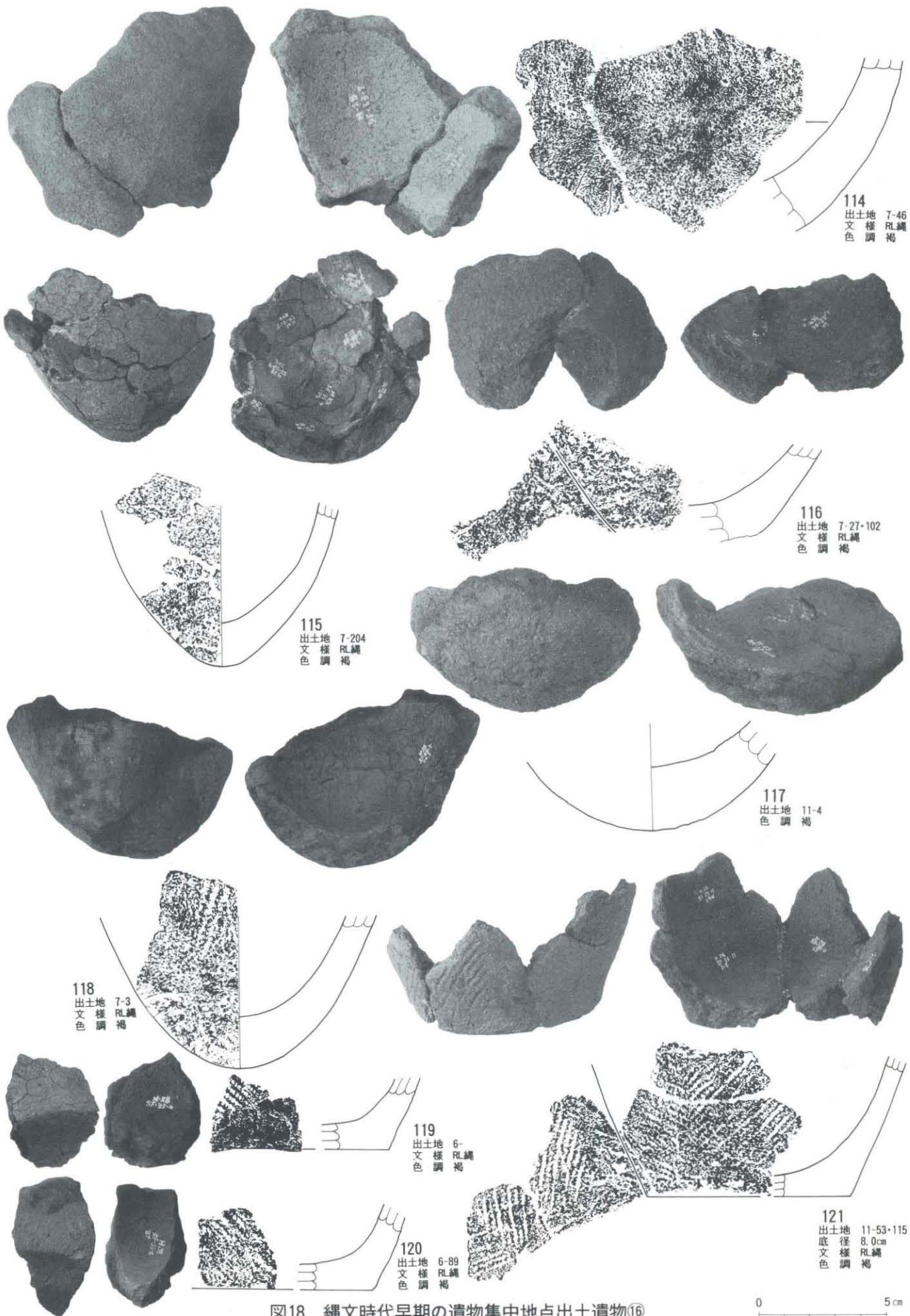
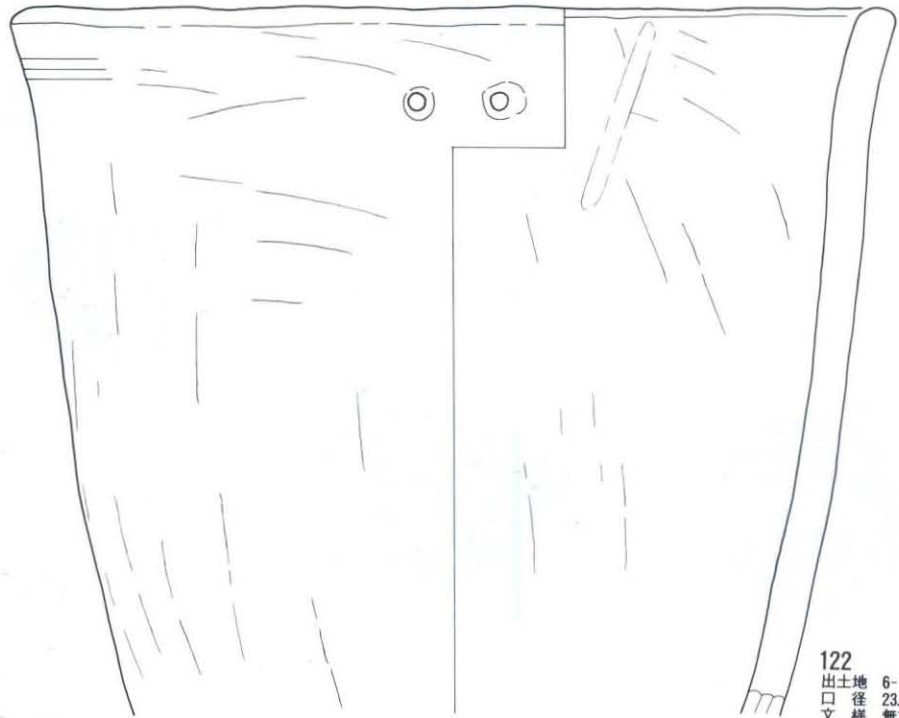
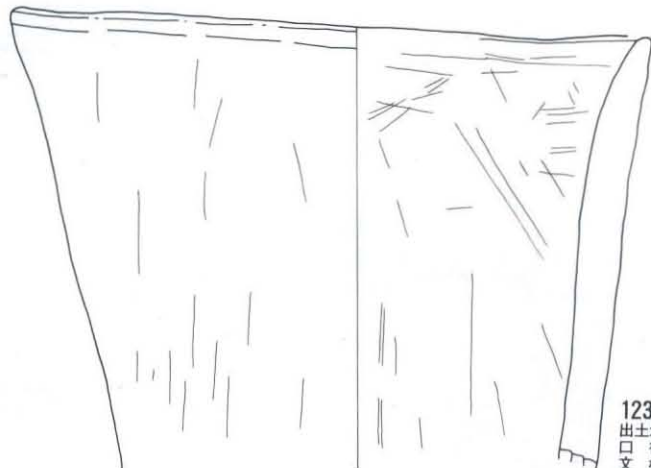


図18 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩



122
 出土地 6-134・152
 口径 23.5cm
 文様 無文
 色調 暗褐



123
 出土地 6-26・11-197
 口径 17.1cm
 文様 無文
 色調 暗褐



図19 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑰

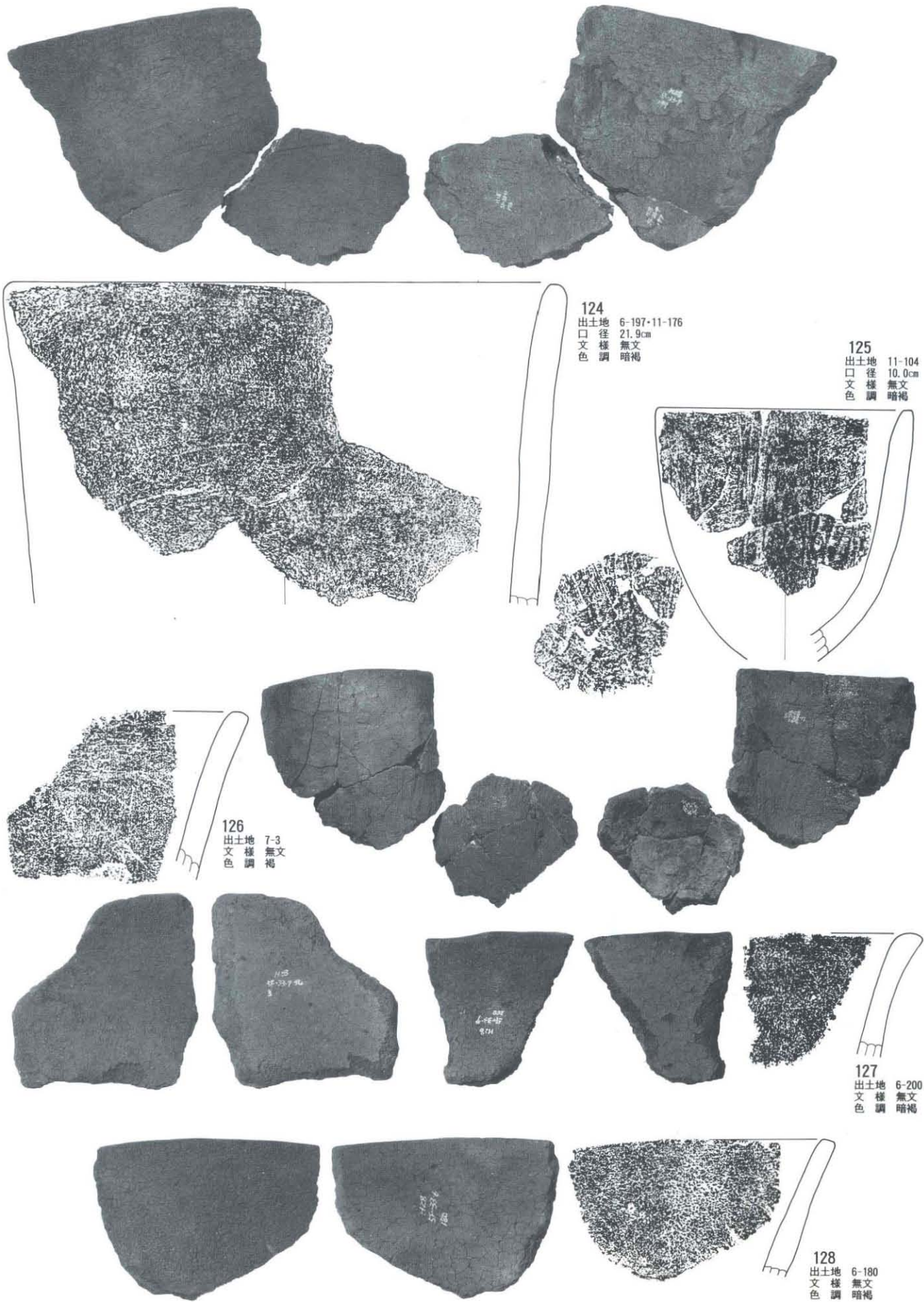


図20 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑩

0 5cm

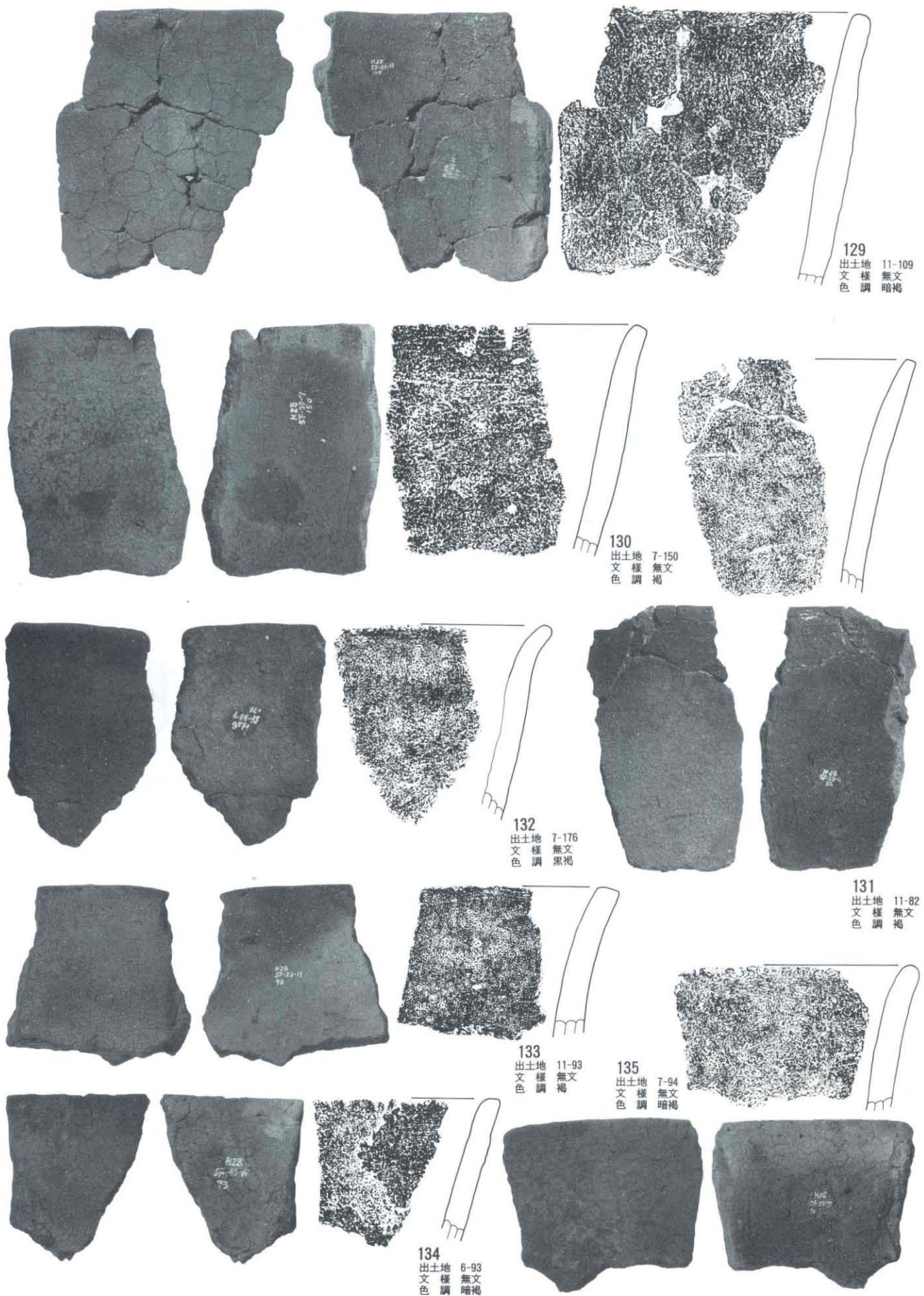
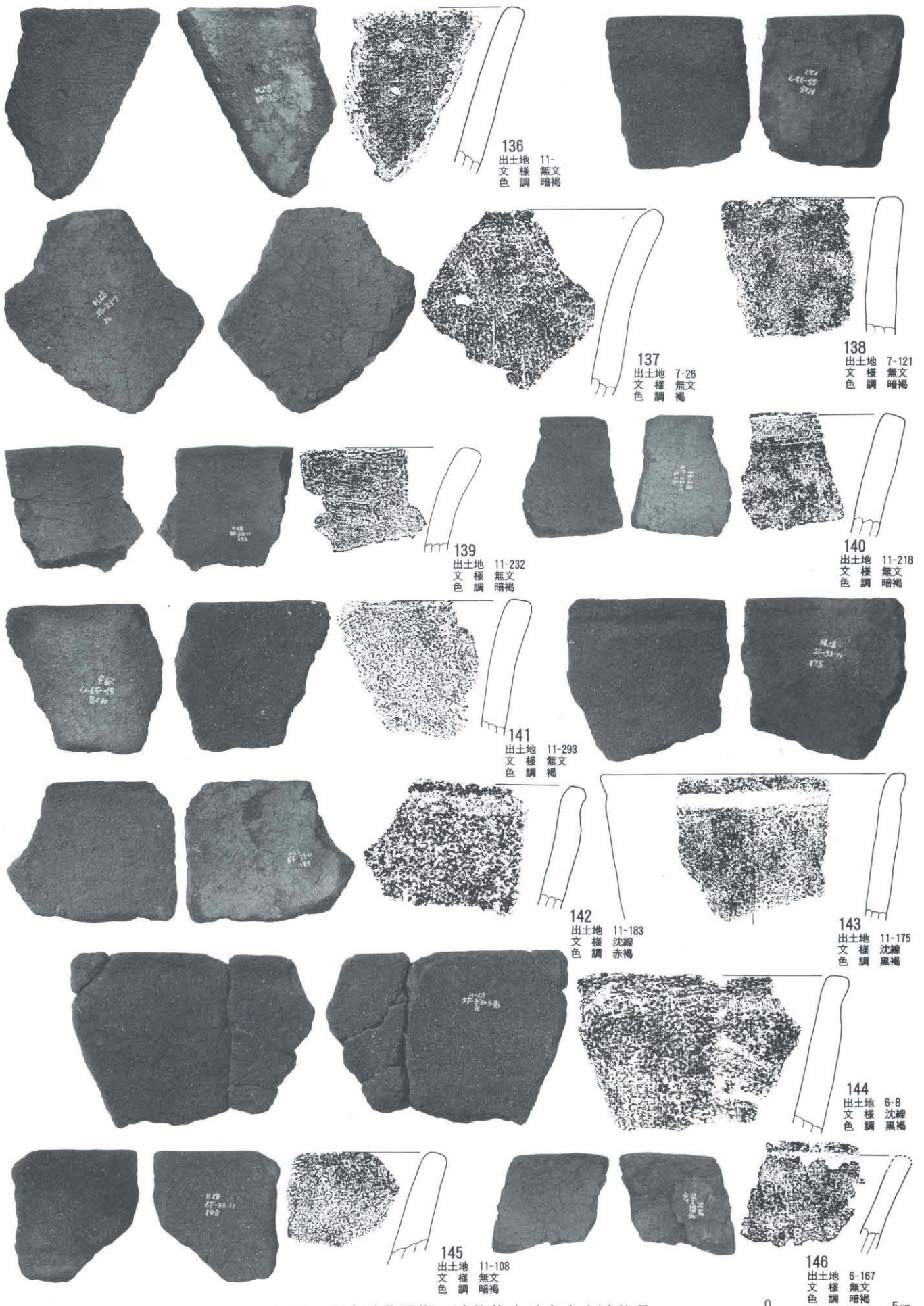


図21 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物⑱





136
出土地 11-
文 樣 無文
色 調 暗褐

137
出土地 7-26
文 樣 無文
色 調 褐

138
出土地 7-121
文 樣 無文
色 調 暗褐

139
出土地 11-232
文 樣 無文
色 調 暗褐

140
出土地 11-218
文 樣 無文
色 調 暗褐

141
出土地 11-293
文 樣 無文
色 調 褐

142
出土地 11-183
文 樣 沈線
色 調 赤褐

143
出土地 11-175
文 樣 沈線
色 調 黑褐

144
出土地 6-8
文 樣 沈線
色 調 黑褐

145
出土地 11-108
文 樣 無文
色 調 暗褐

146
出土地 6-167
文 樣 無文
色 調 暗褐

図22 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②



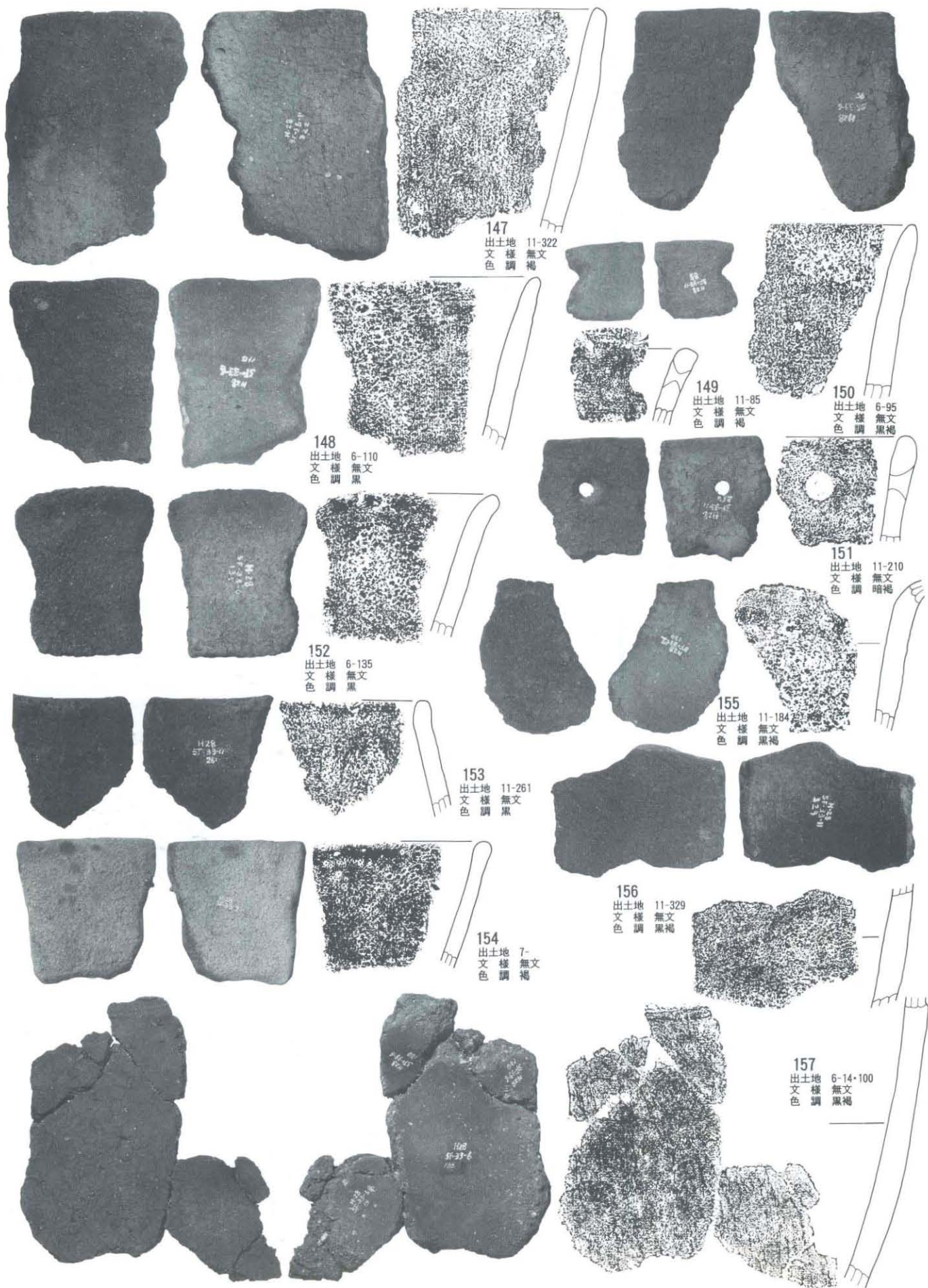


図23 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

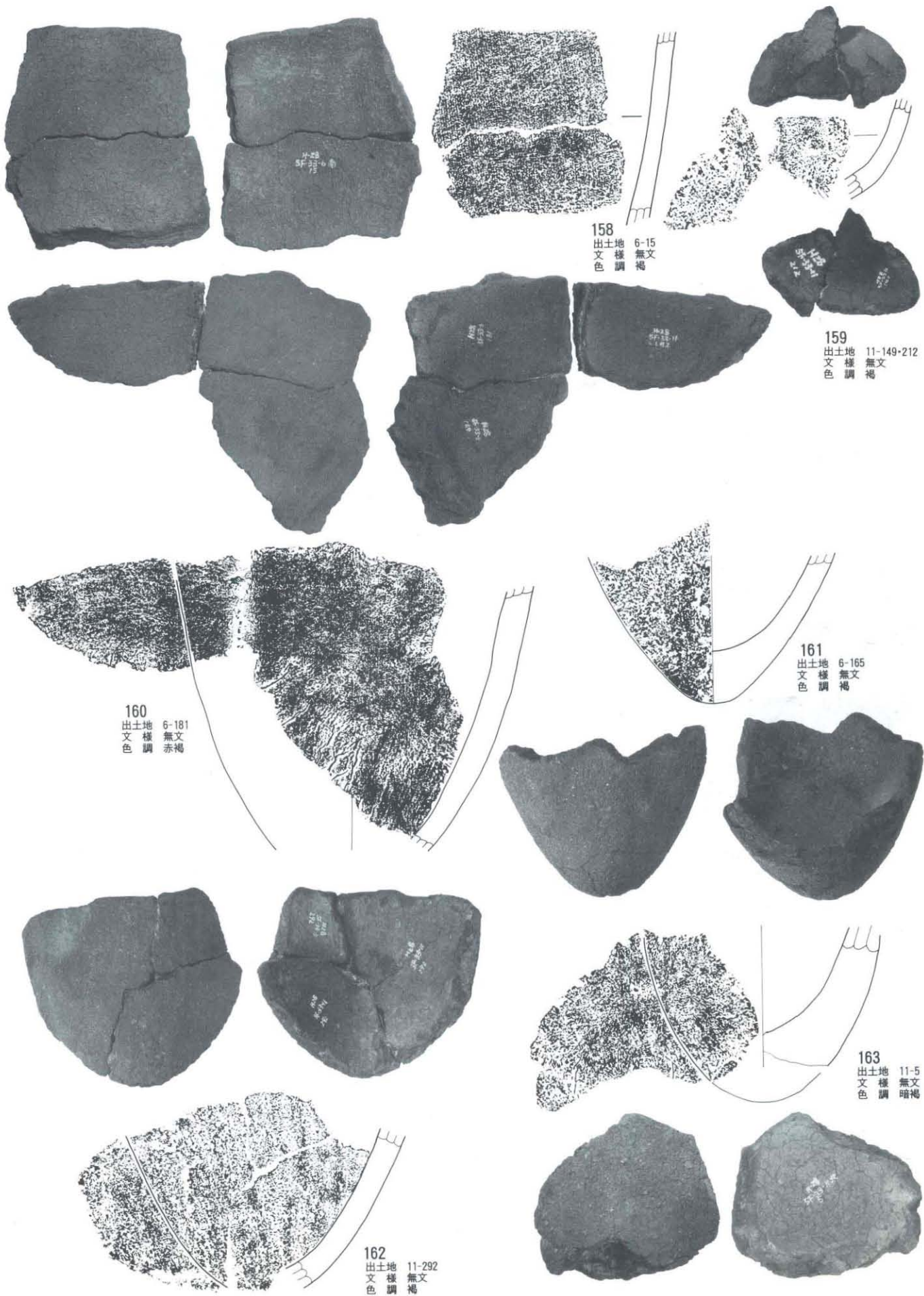


図24 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②

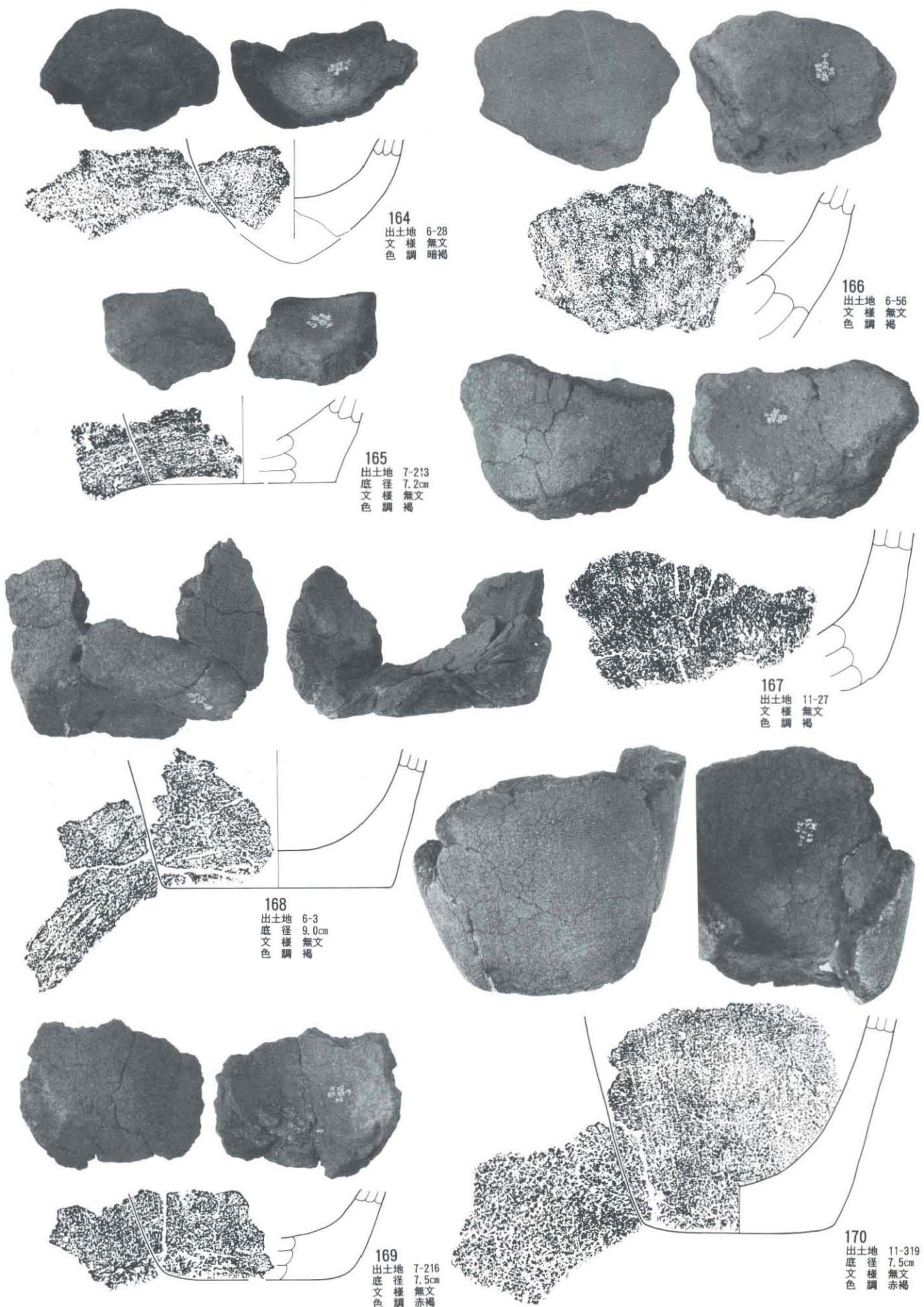
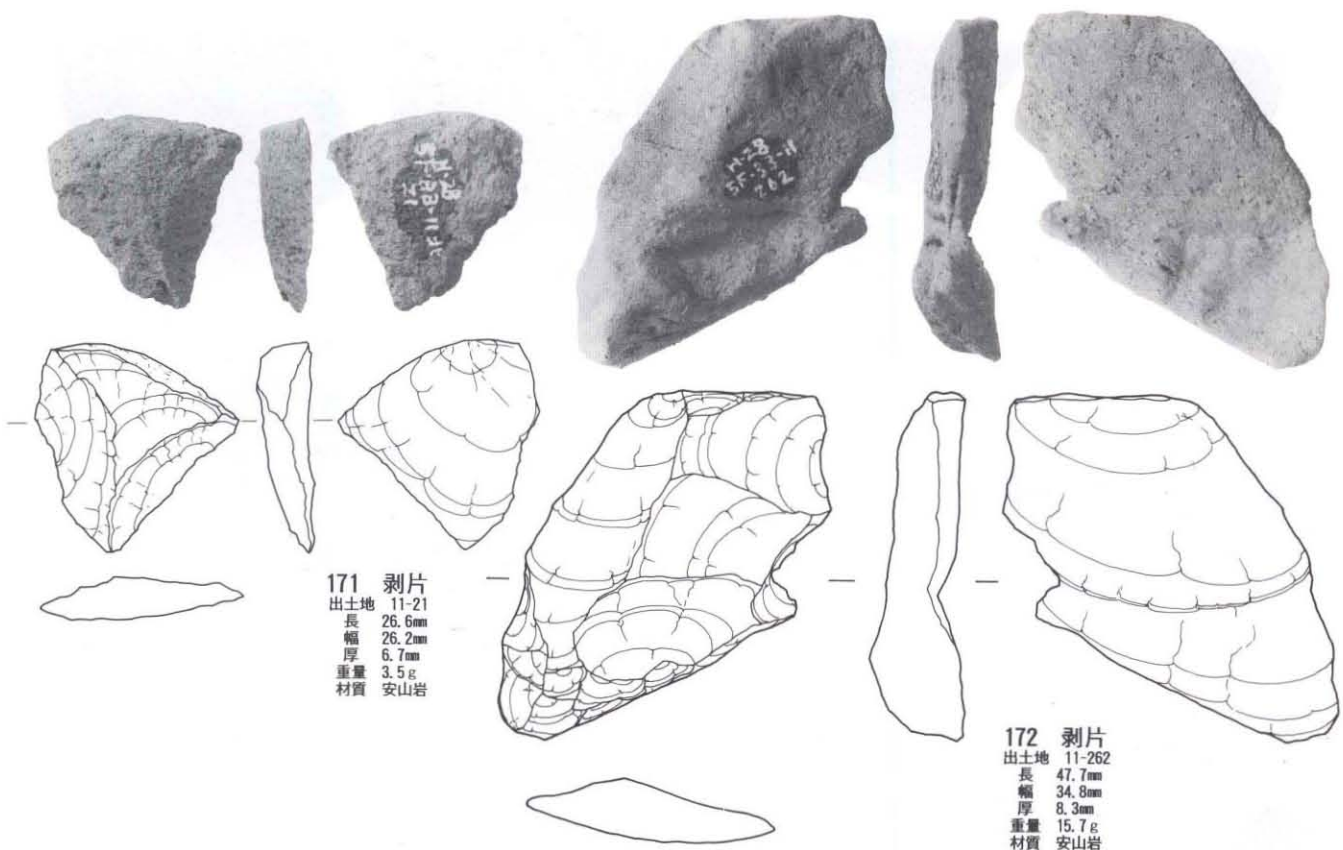


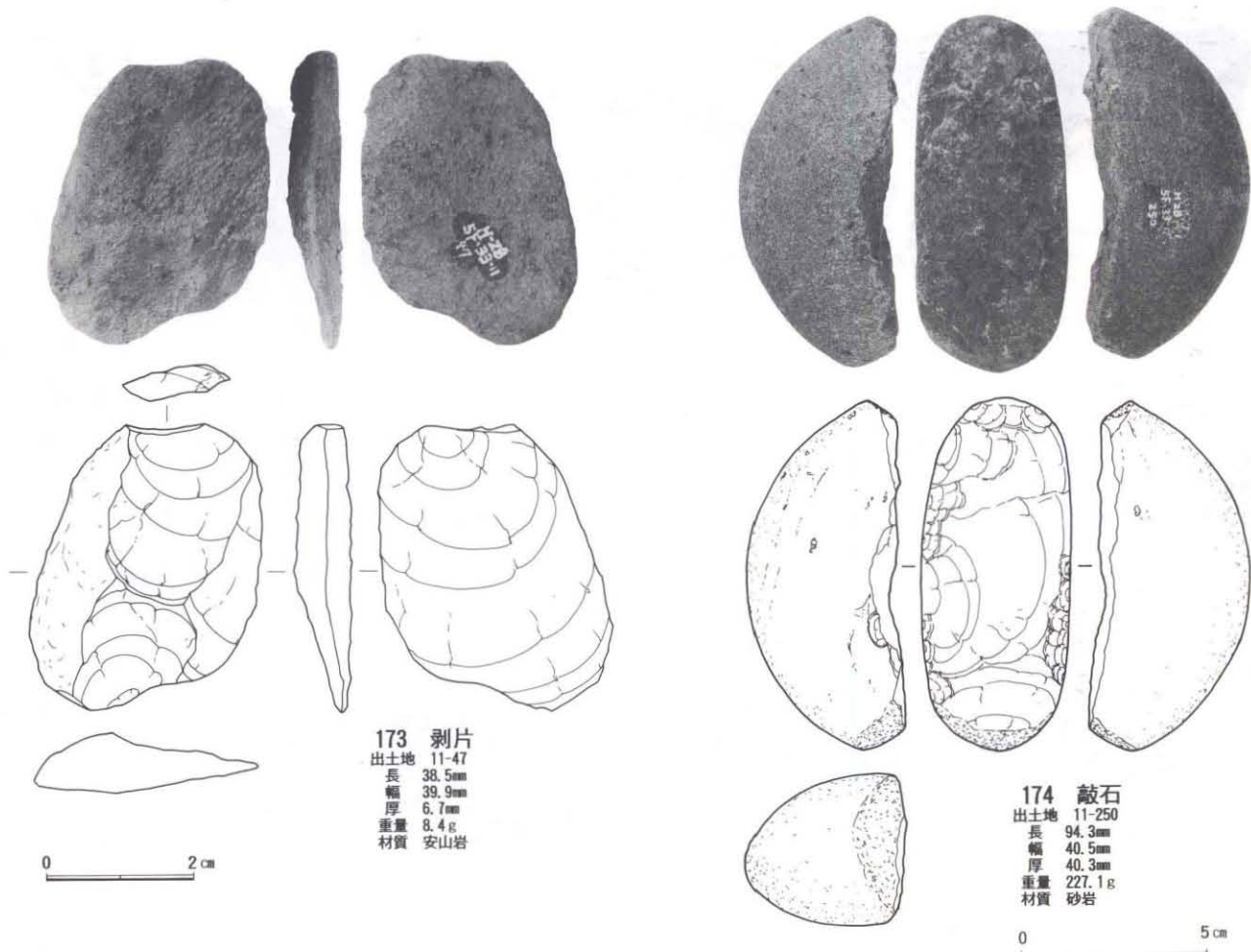
図25 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②





171 剥片
 出土地 11-21
 長 26.6mm
 幅 26.2mm
 厚 6.7mm
 重量 3.5g
 材質 安山岩

172 剥片
 出土地 11-262
 長 47.7mm
 幅 34.8mm
 厚 8.3mm
 重量 15.7g
 材質 安山岩



173 剥片
 出土地 11-47
 長 38.5mm
 幅 39.9mm
 厚 6.7mm
 重量 8.4g
 材質 安山岩

174 敲石
 出土地 11-250
 長 94.3mm
 幅 40.5mm
 厚 40.3mm
 重量 227.1g
 材質 砂岩

図26 縄文時代早期の遺物集中地点出土遺物②4

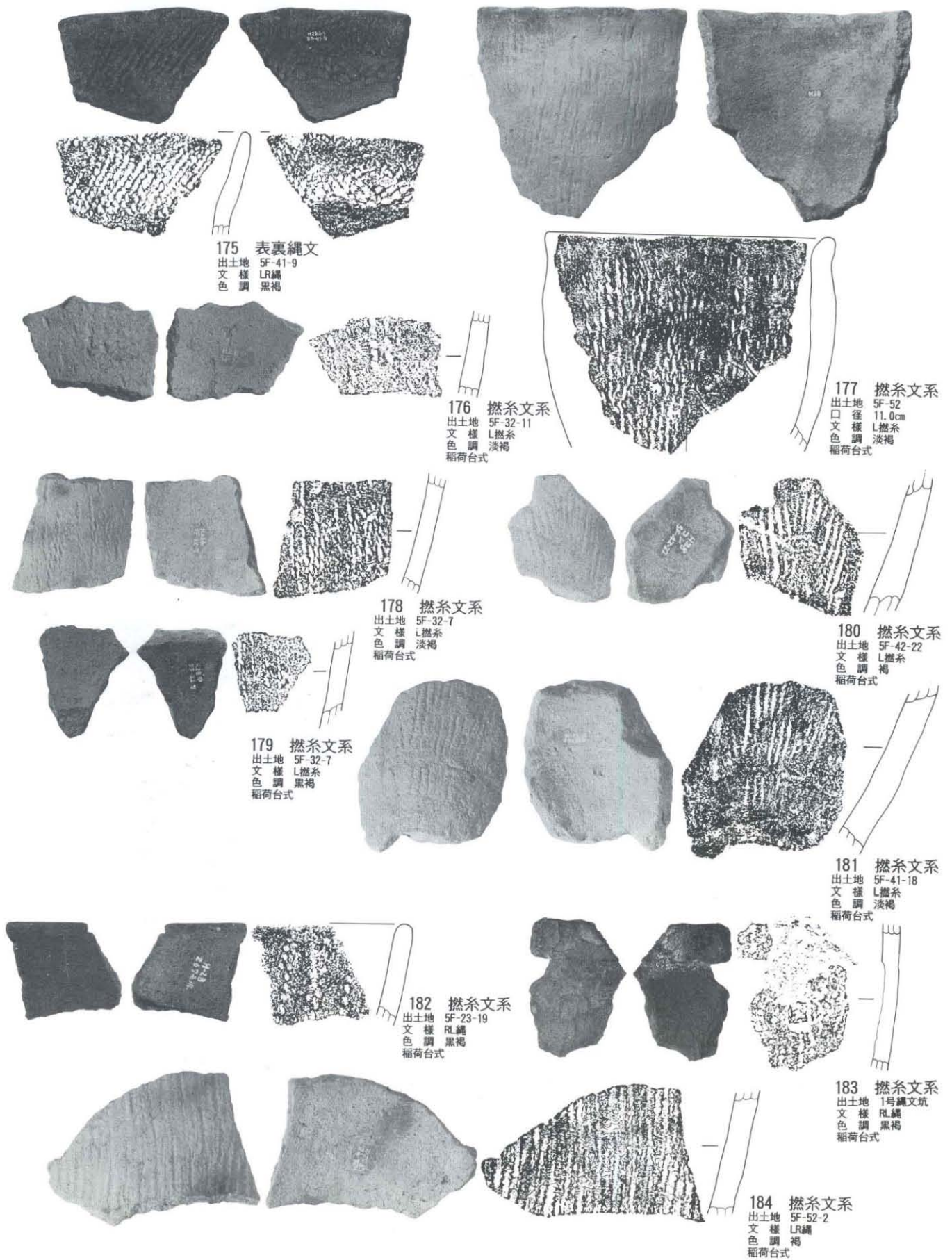


図27 縄文時代の遺物①早期の土器



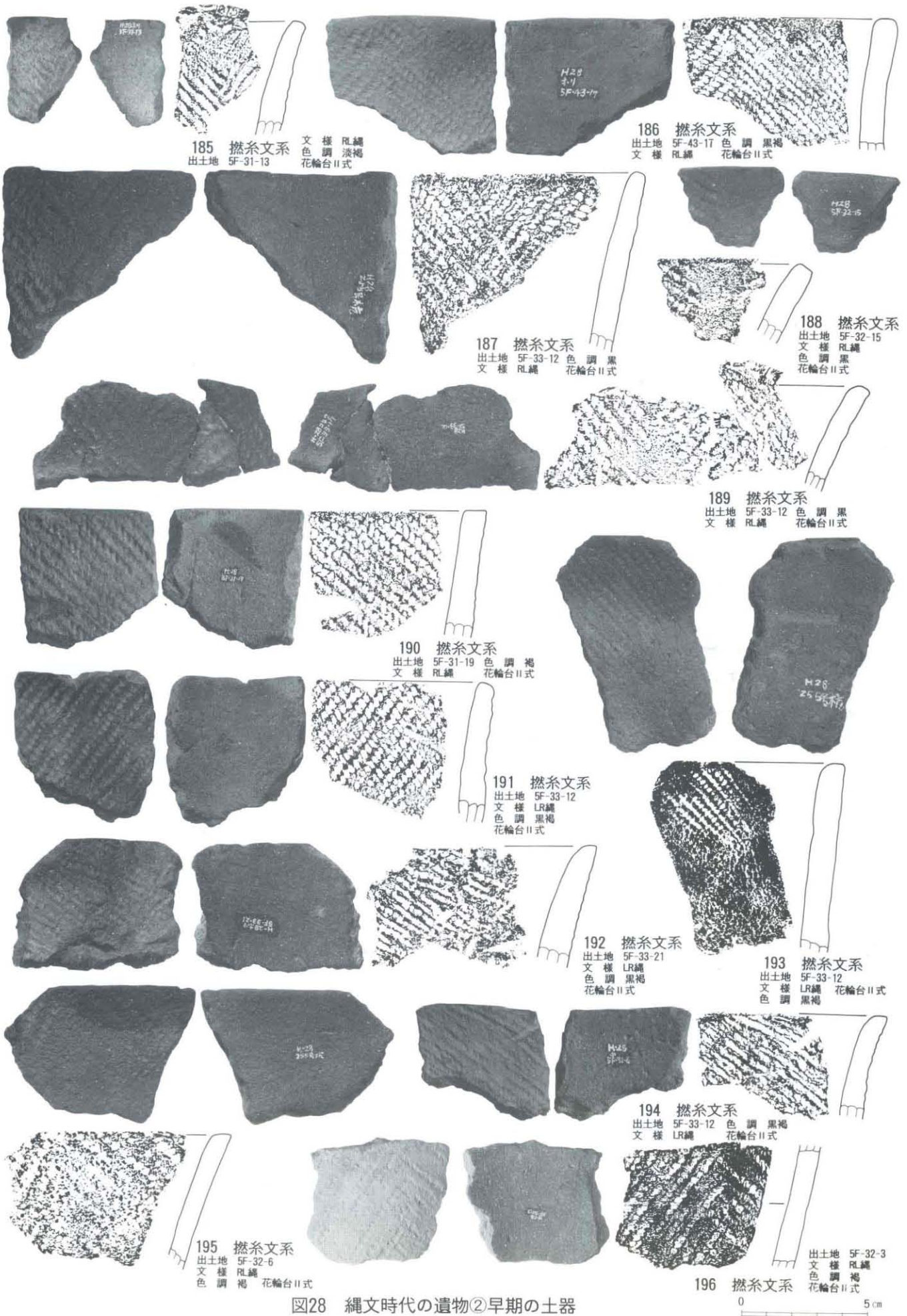
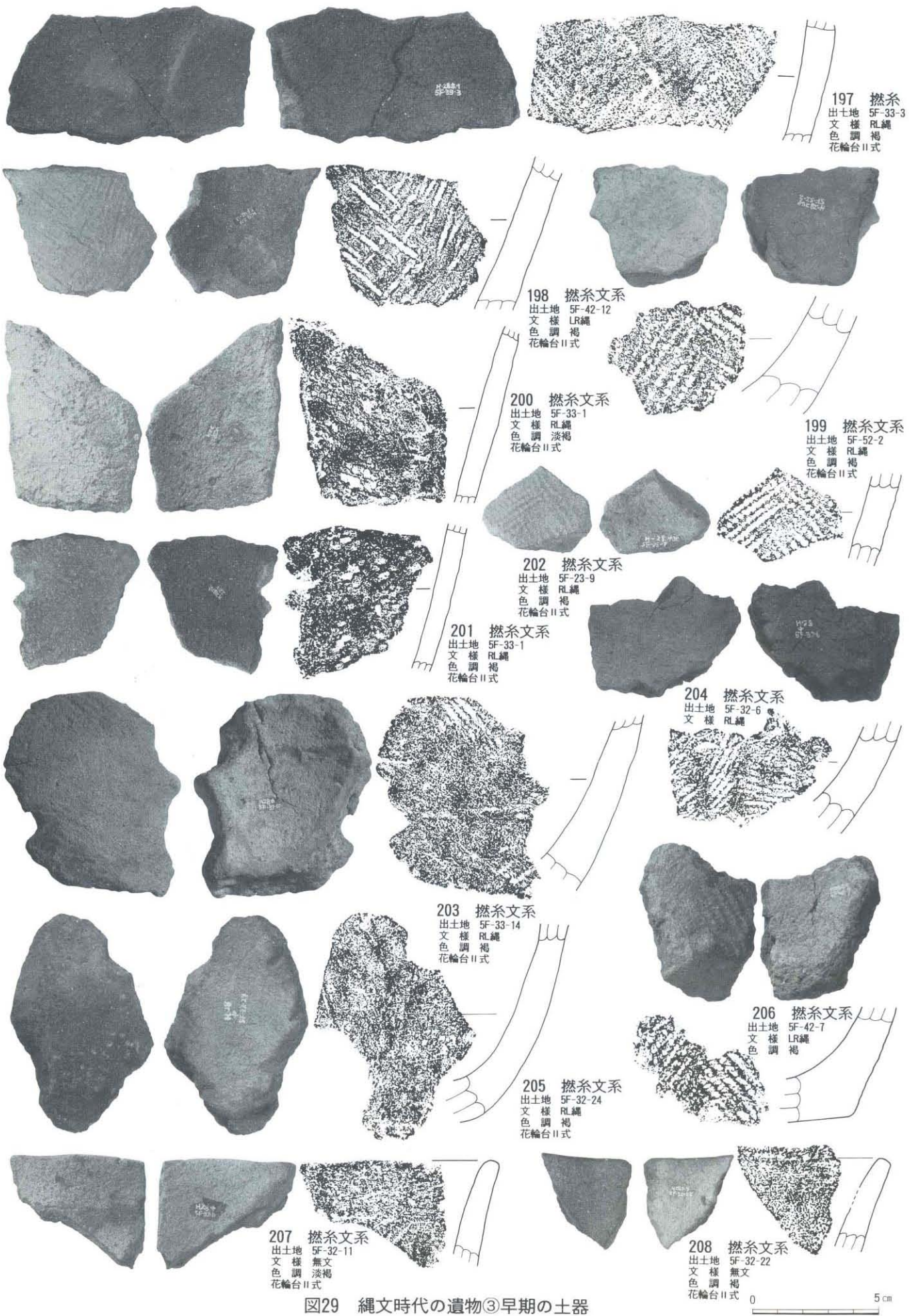


図28 縄文時代の遺物②早期の土器

0 5cm



197 撚糸
 出土地 5F-33-3
 文様 RL縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

198 撚糸文系
 出土地 5F-42-12
 文様 LR縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

200 撚糸文系
 出土地 5F-33-1
 文様 RL縷
 色調 淡褐
 花輪台 II 式

199 撚糸文系
 出土地 5F-52-2
 文様 RL縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

202 撚糸文系
 出土地 5F-23-9
 文様 RL縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

201 撚糸文系
 出土地 5F-33-1
 文様 RL縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

204 撚糸文系
 出土地 5F-32-6
 文様 RL縷

203 撚糸文系
 出土地 5F-33-14
 文様 RL縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

206 撚糸文系
 出土地 5F-42-7
 文様 LR縷
 色調 褐

205 撚糸文系
 出土地 5F-32-24
 文様 RL縷
 色調 褐
 花輪台 II 式

207 撚糸文系
 出土地 5F-32-11
 文様 無文
 色調 淡褐
 花輪台 II 式

208 撚糸文系
 出土地 5F-32-22
 文様 無文
 色調 褐
 花輪台 II 式

図29 縄文時代の遺物③早期の土器

0 5 cm

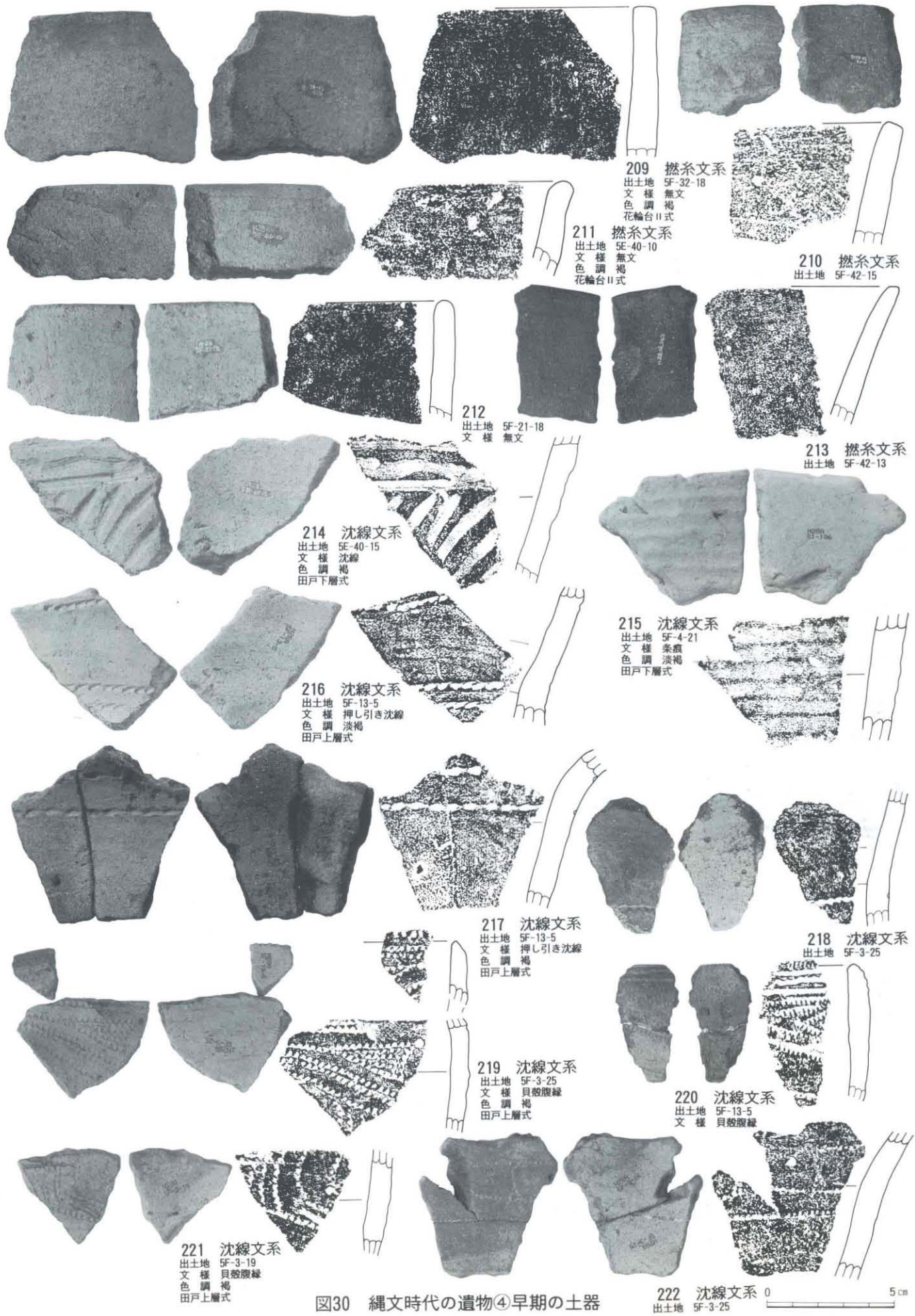


図30 縄文時代の遺物④早期の土器





図31 縄文時代の遺物⑤早期の土器



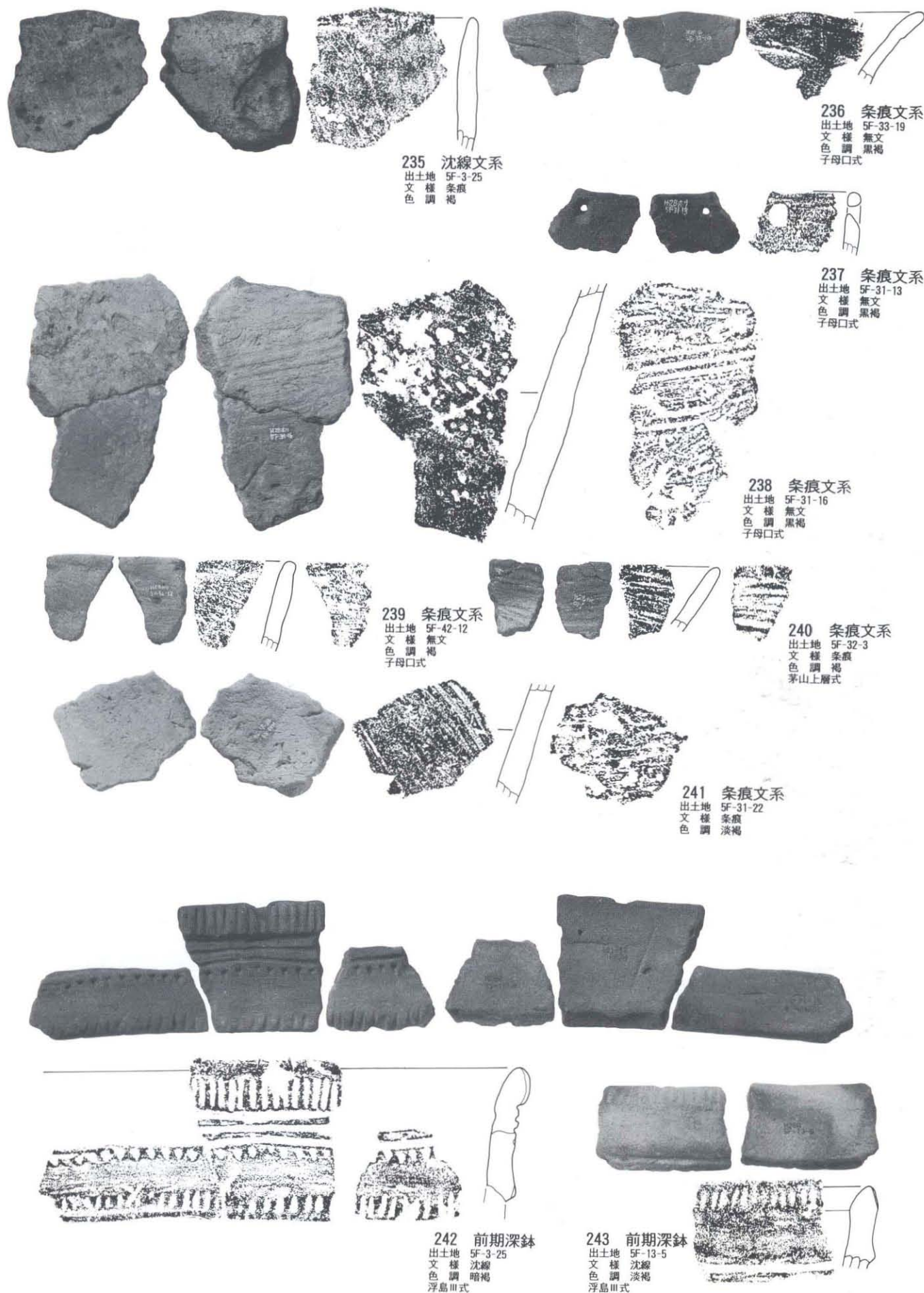


図32 縄文時代の遺物⑥早・前期の土器



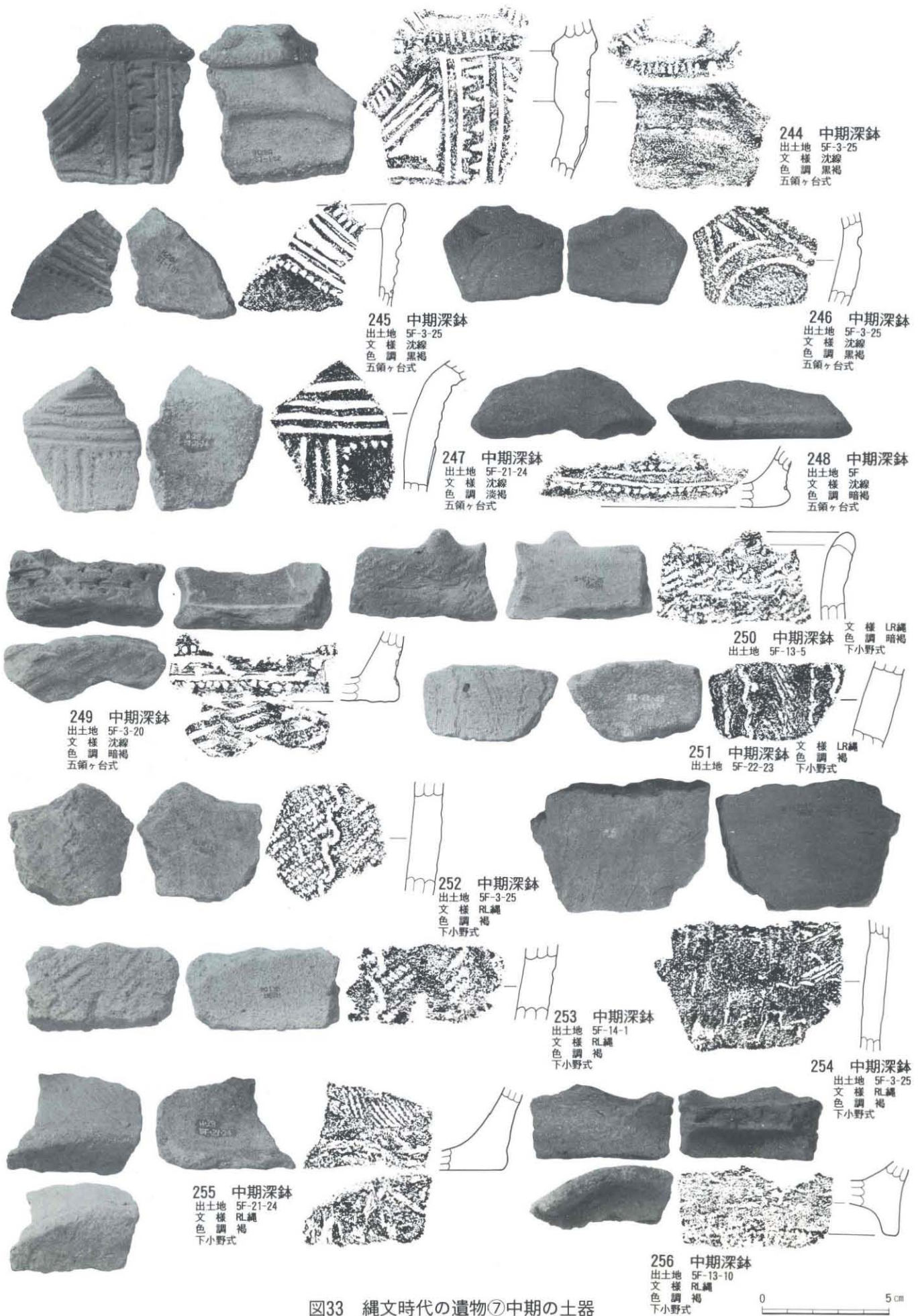


図33 縄文時代の遺物⑦中期の土器

0 5cm

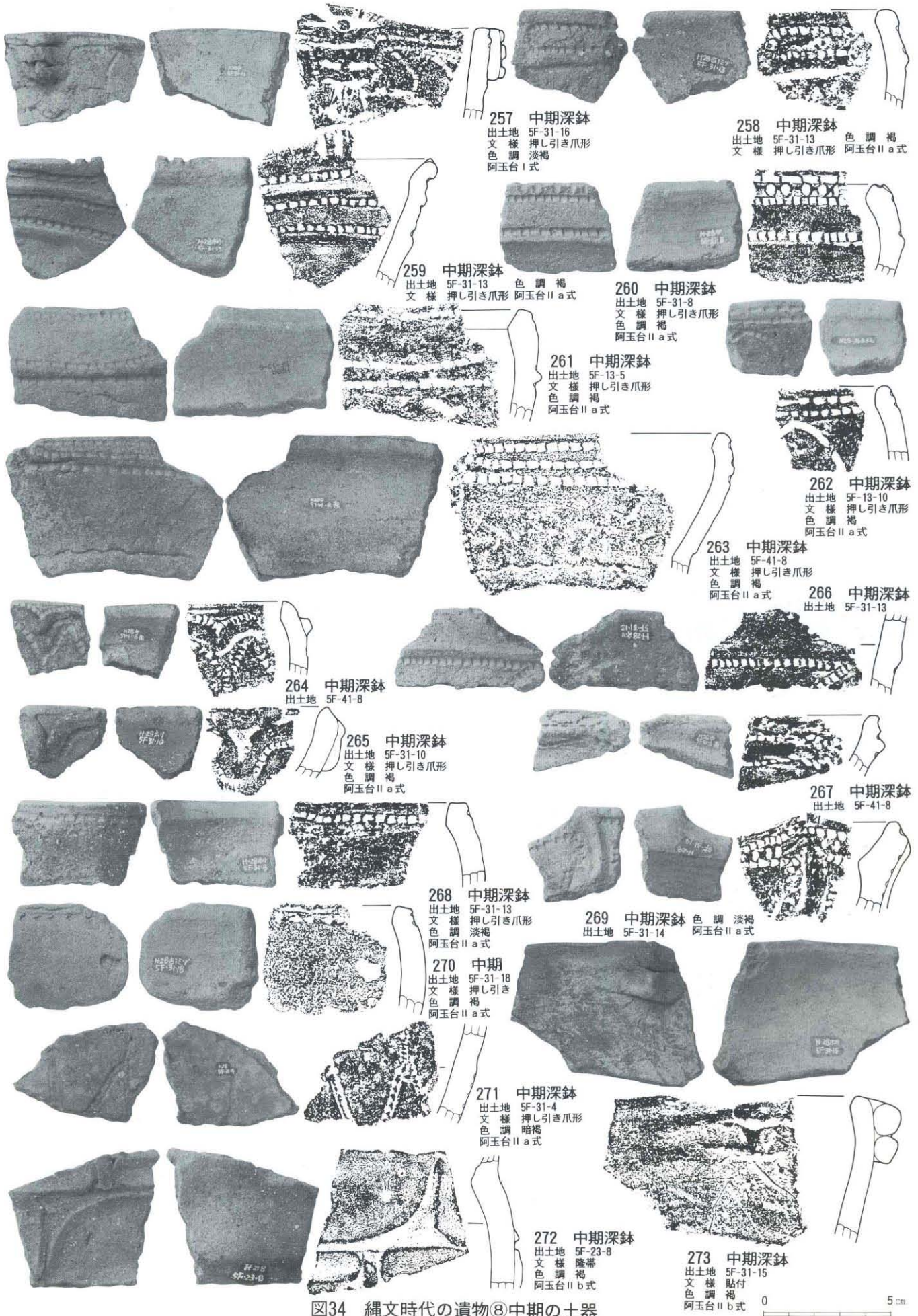


図34 縄文時代の遺物⑧中期の土器



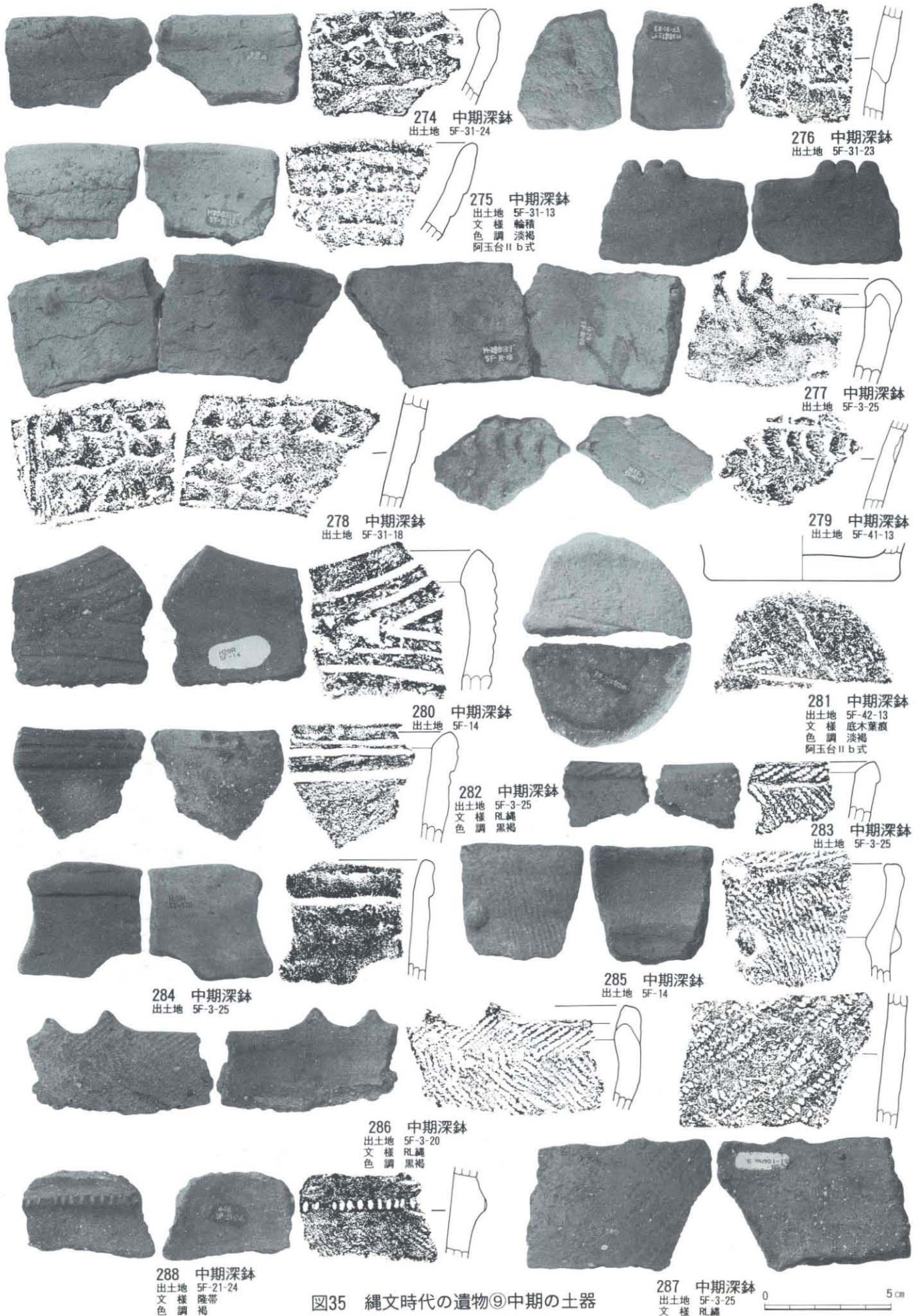


図35 縄文時代の遺物⑨中期の土器

0 5cm

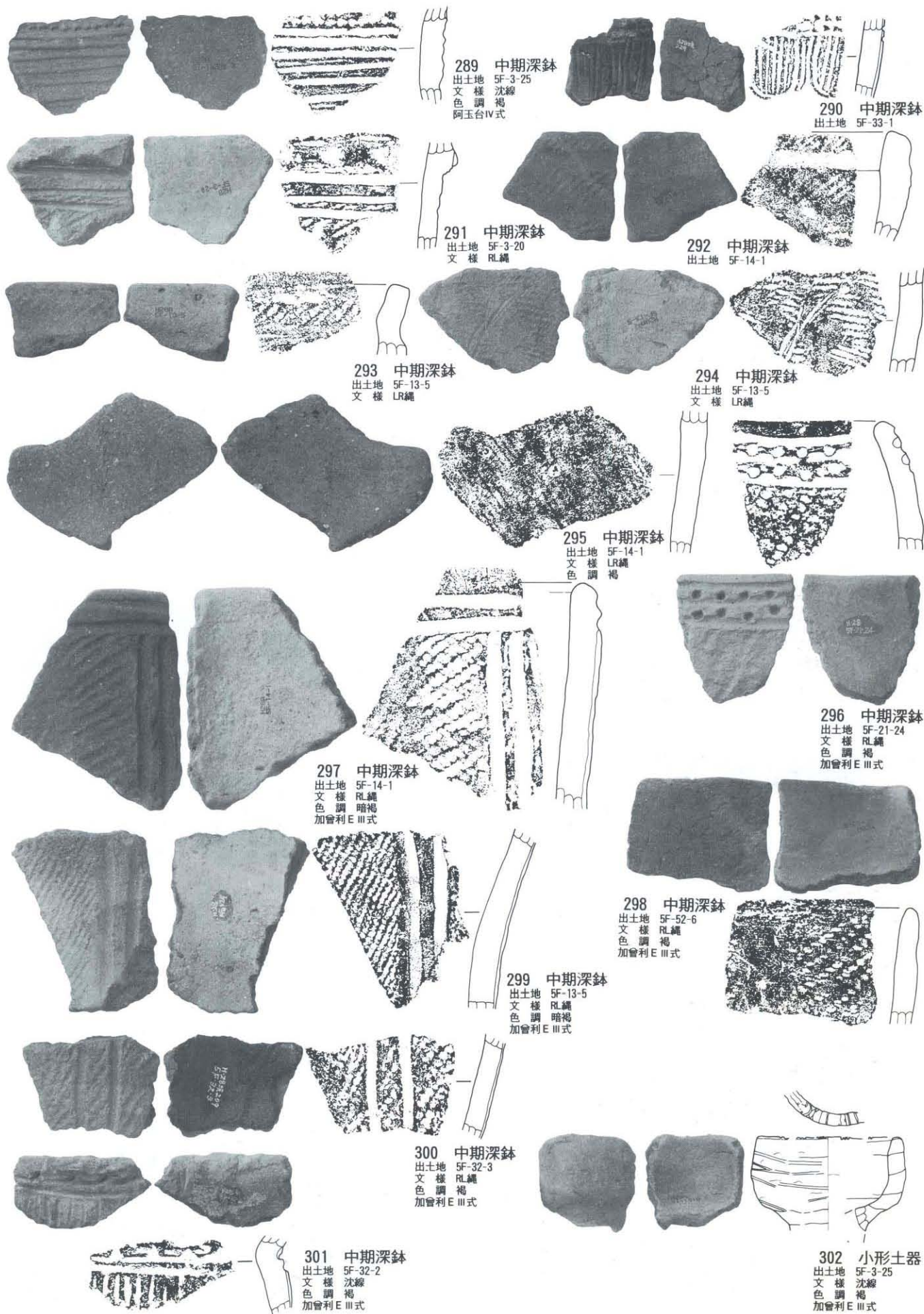


図36 縄文時代の遺物⑩中期の土器



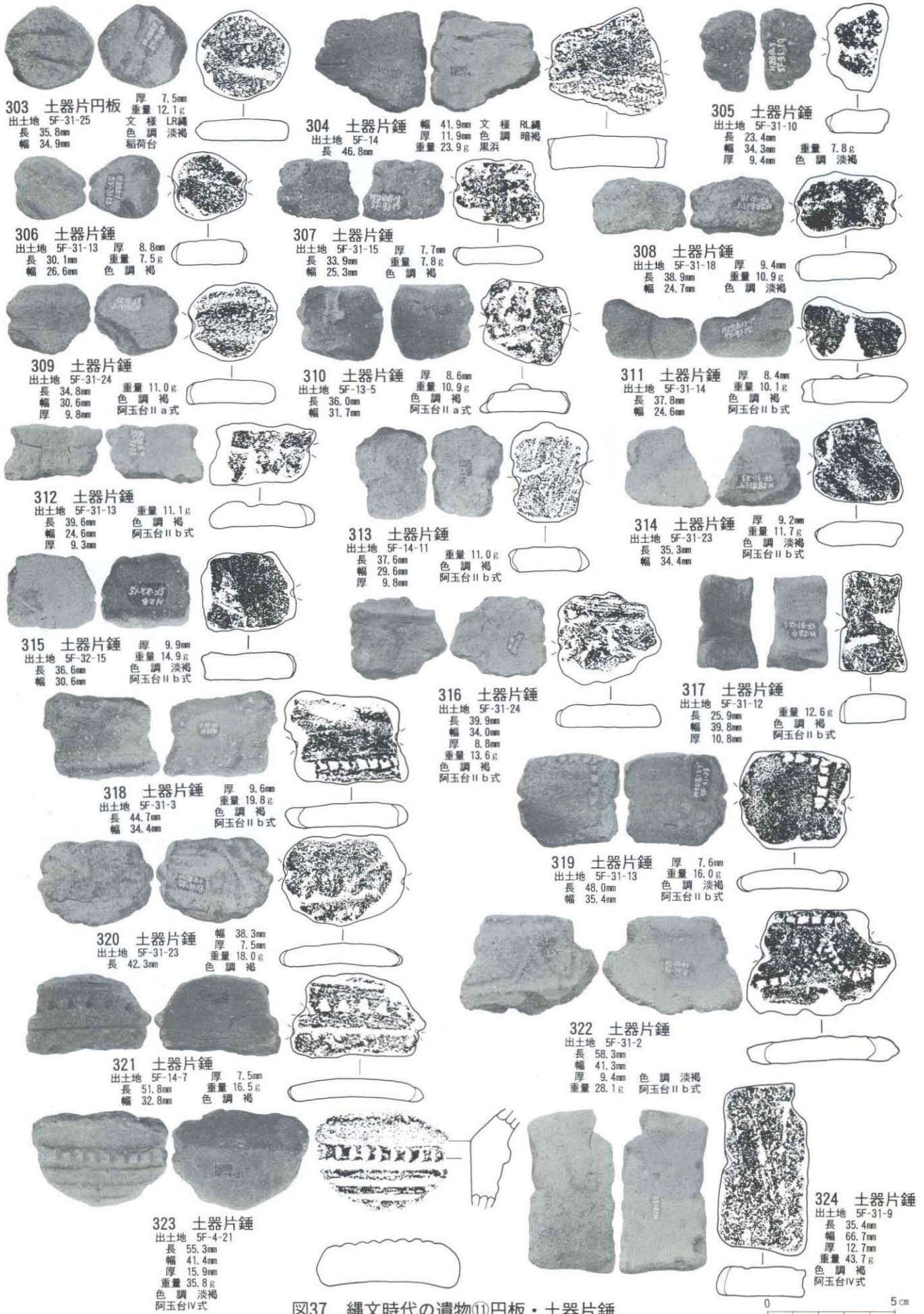
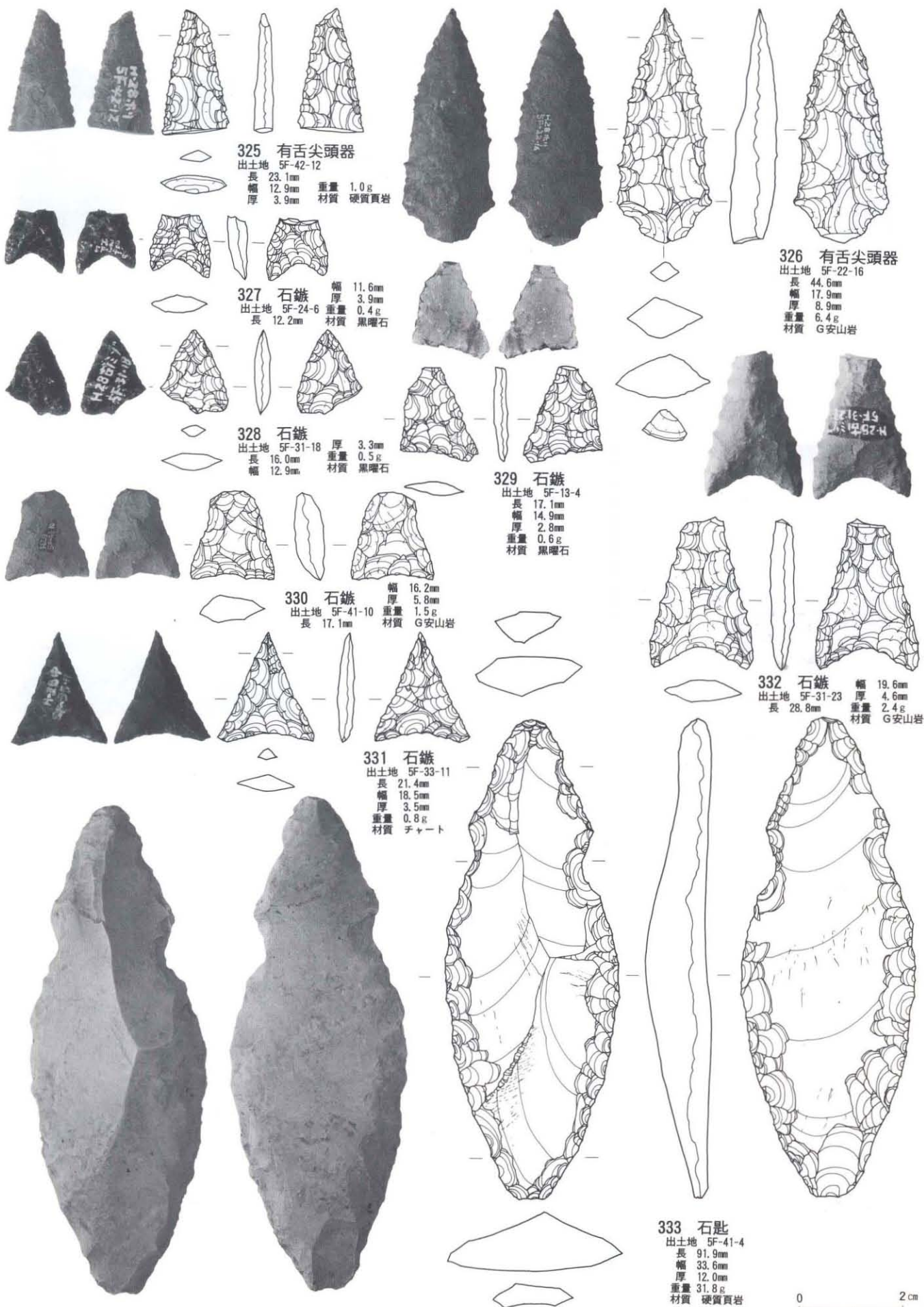


図37 縄文時代の遺物①円板・土器片錘

0 5cm



0 2 cm

図38 縄文時代の遺物⑫石器

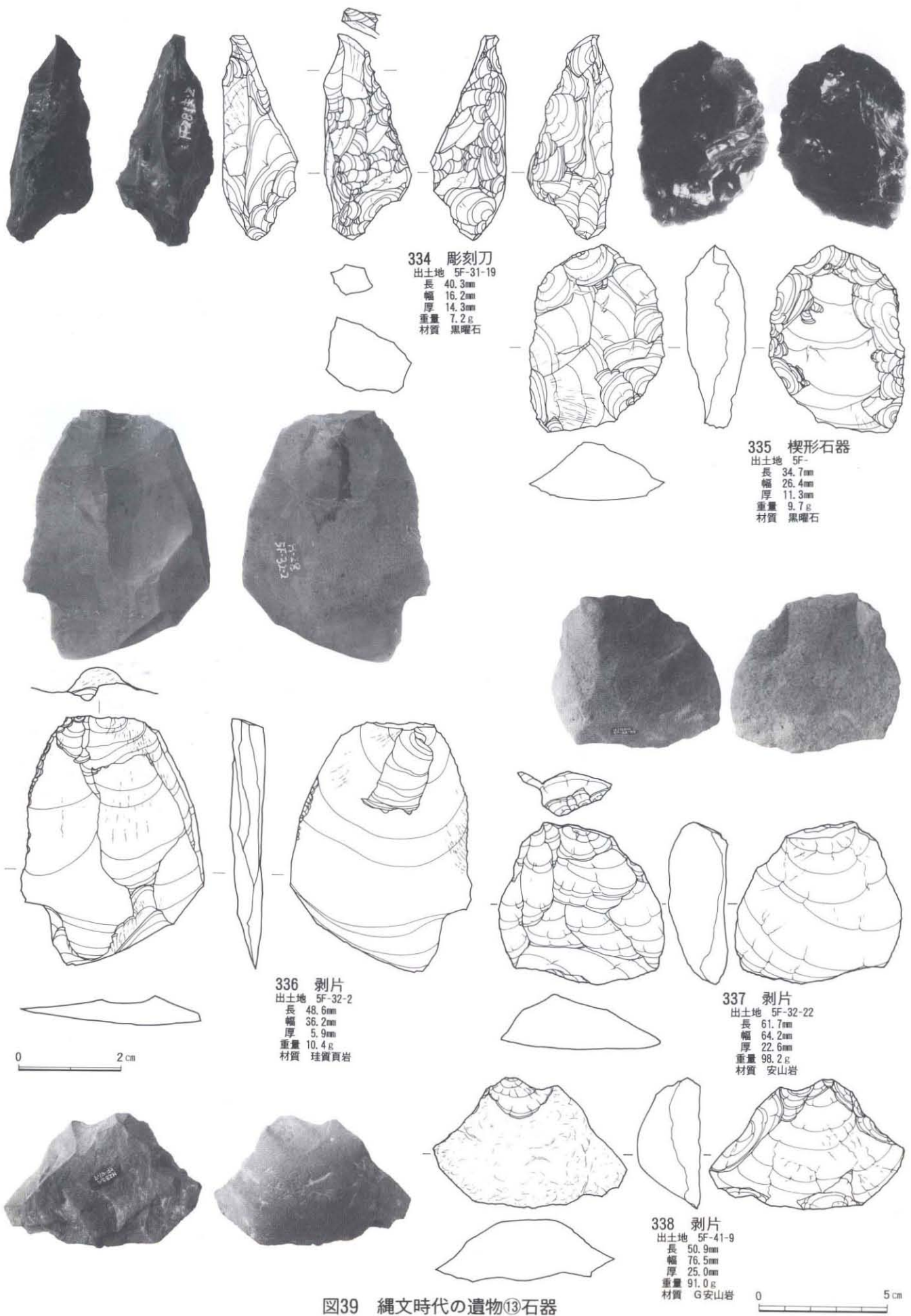
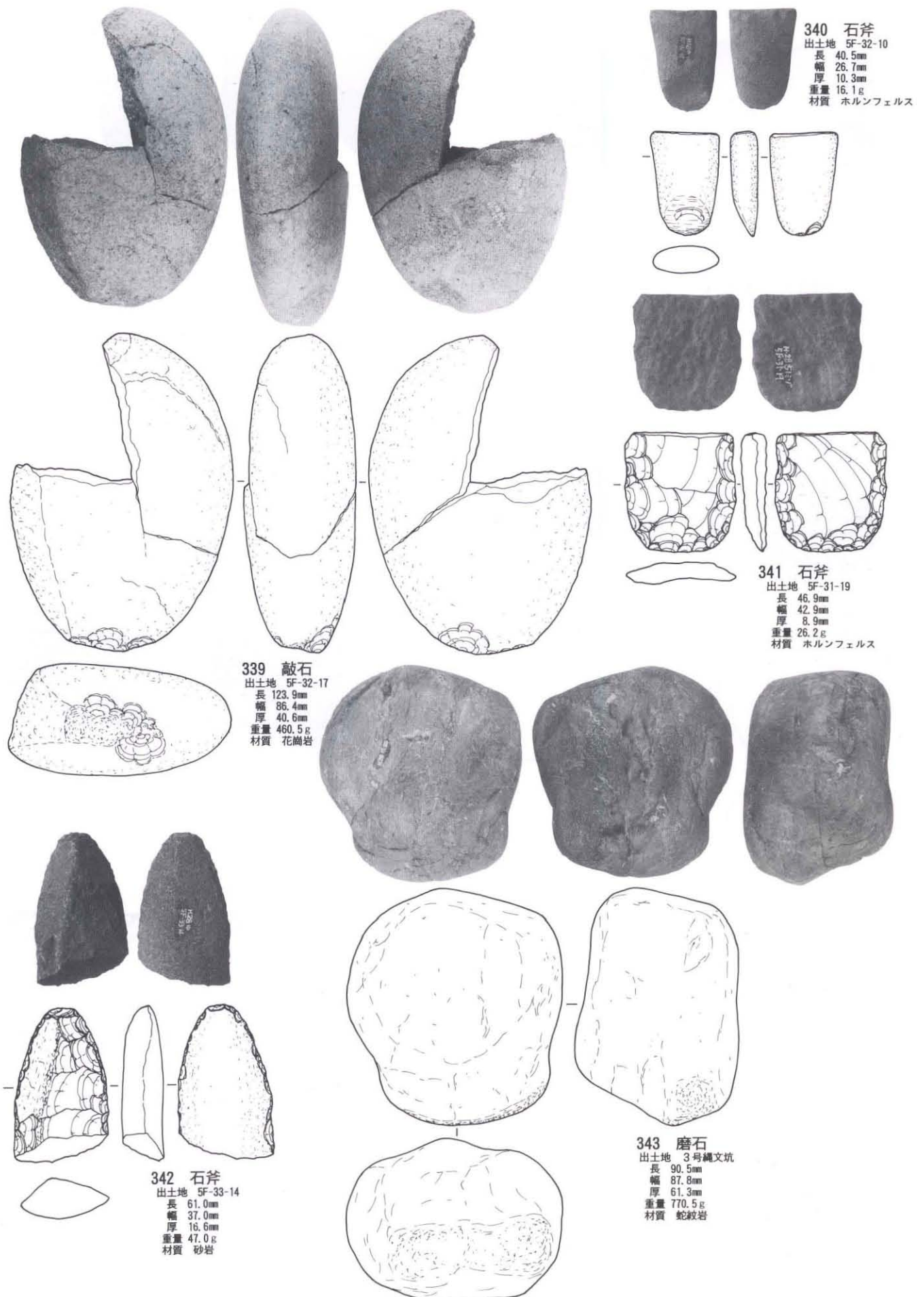


図39 縄文時代の遺物⑬石器



340 石斧
 出土地 5F-32-10
 長 40.5mm
 幅 26.7mm
 厚 10.3mm
 重量 16.1g
 材質 ホルンフェルス

341 石斧
 出土地 5F-31-19
 長 46.9mm
 幅 42.9mm
 厚 8.9mm
 重量 26.2g
 材質 ホルンフェルス

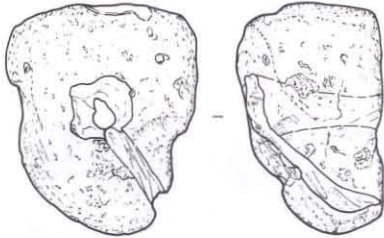
339 敲石
 出土地 5F-32-17
 長 123.9mm
 幅 86.4mm
 厚 40.6mm
 重量 460.5g
 材質 花崗岩

342 石斧
 出土地 5F-33-14
 長 61.0mm
 幅 37.0mm
 厚 16.6mm
 重量 47.0g
 材質 砂岩

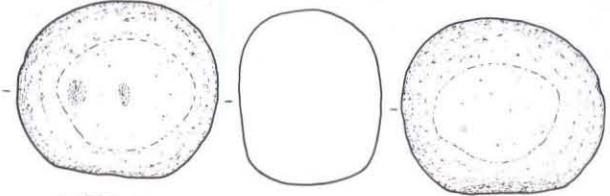
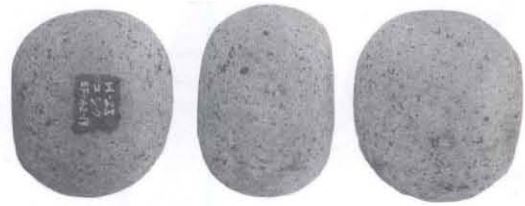
343 磨石
 出土地 3号縄文坑
 長 90.5mm
 幅 87.8mm
 厚 61.3mm
 重量 770.5g
 材質 蛇紋岩

図40 縄文時代の遺物⑭石器

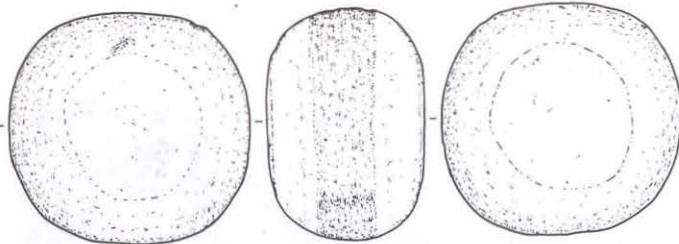




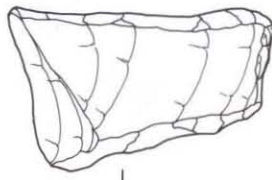
344 浮子
 出土地 5F-41-18
 長 63.8mm
 幅 52.5mm
 厚 38.2mm
 重量 19.5g
 材質 軽石



345 磨石
 出土地 5F-42-19
 長 53.7mm
 幅 46.5mm
 厚 37.3mm
 重量 155.1g
 材質 安山岩



346 磨石
 出土地 5F-41-3
 長 63.9mm
 幅 61.4mm
 厚 43.2mm
 重量 285.3g
 材質 安山岩



347 石核
 出土地 5F-32-15
 長 51.0mm
 幅 70.4mm
 厚 39.1mm
 重量 166.5g
 材質 安山岩

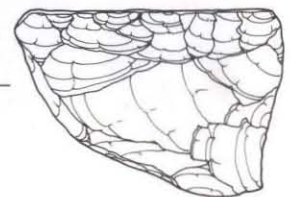
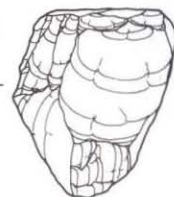
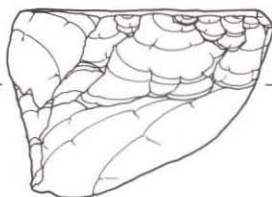
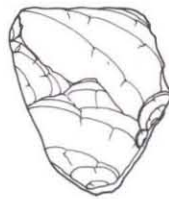
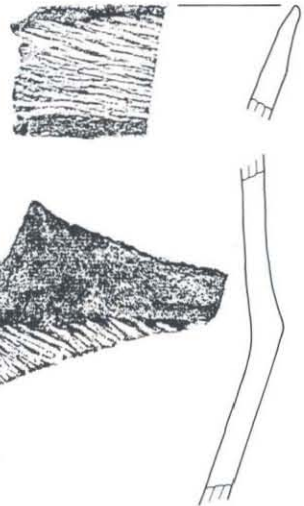
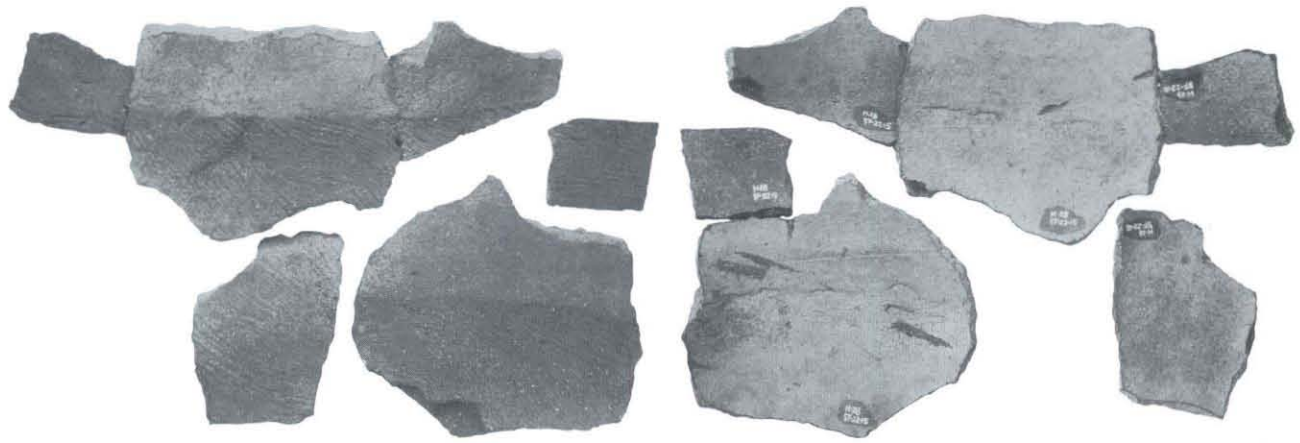
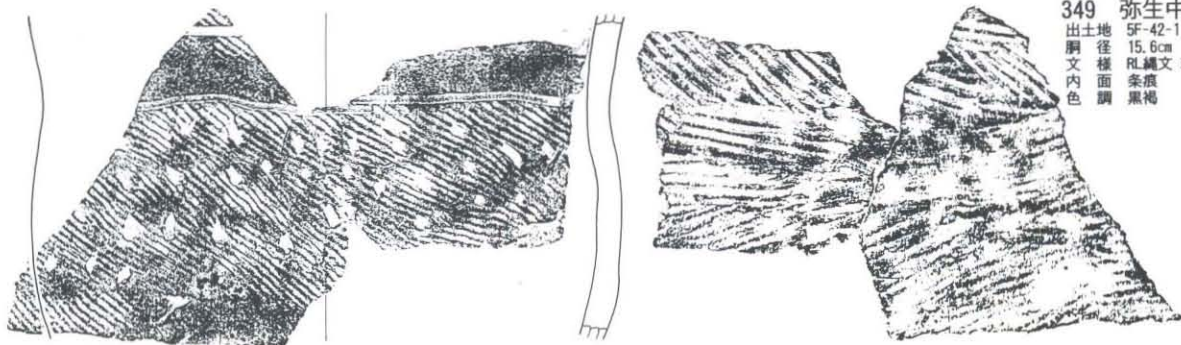
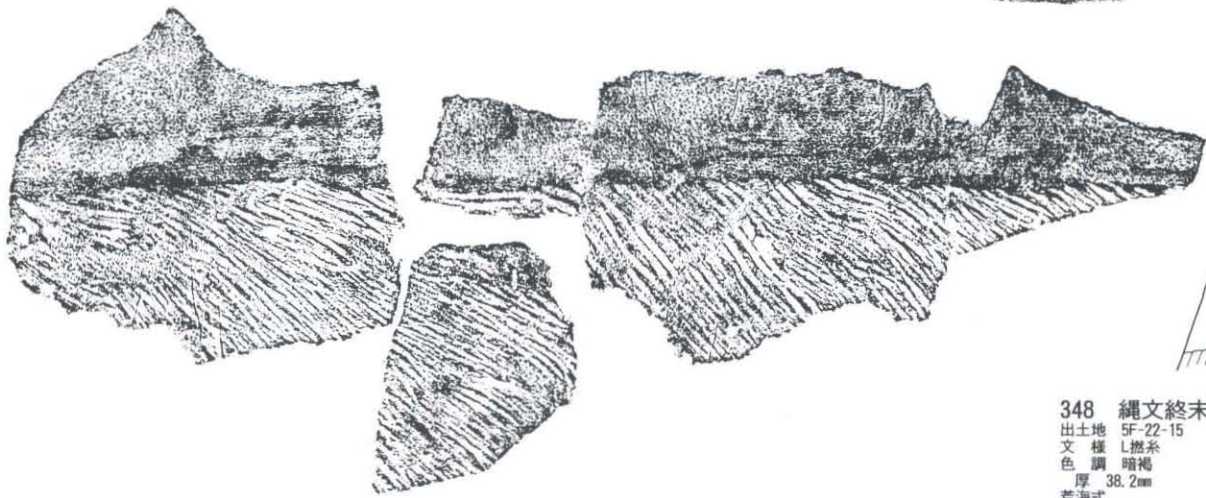


図41 縄文時代の遺物⑮石器





348 縄文終末期の土器
 出土地 5F-22-15
 文様 L撚糸
 色調 暗褐
 厚 38.2mm
 荒海式



349 弥生中期初頭の土器
 出土地 5F-42-1
 胴径 15.6cm
 文様 RL縷文 刺突 沈線
 内面調 柔痕
 色 黒褐

図42 縄文時代と弥生時代とをつなぐ土器



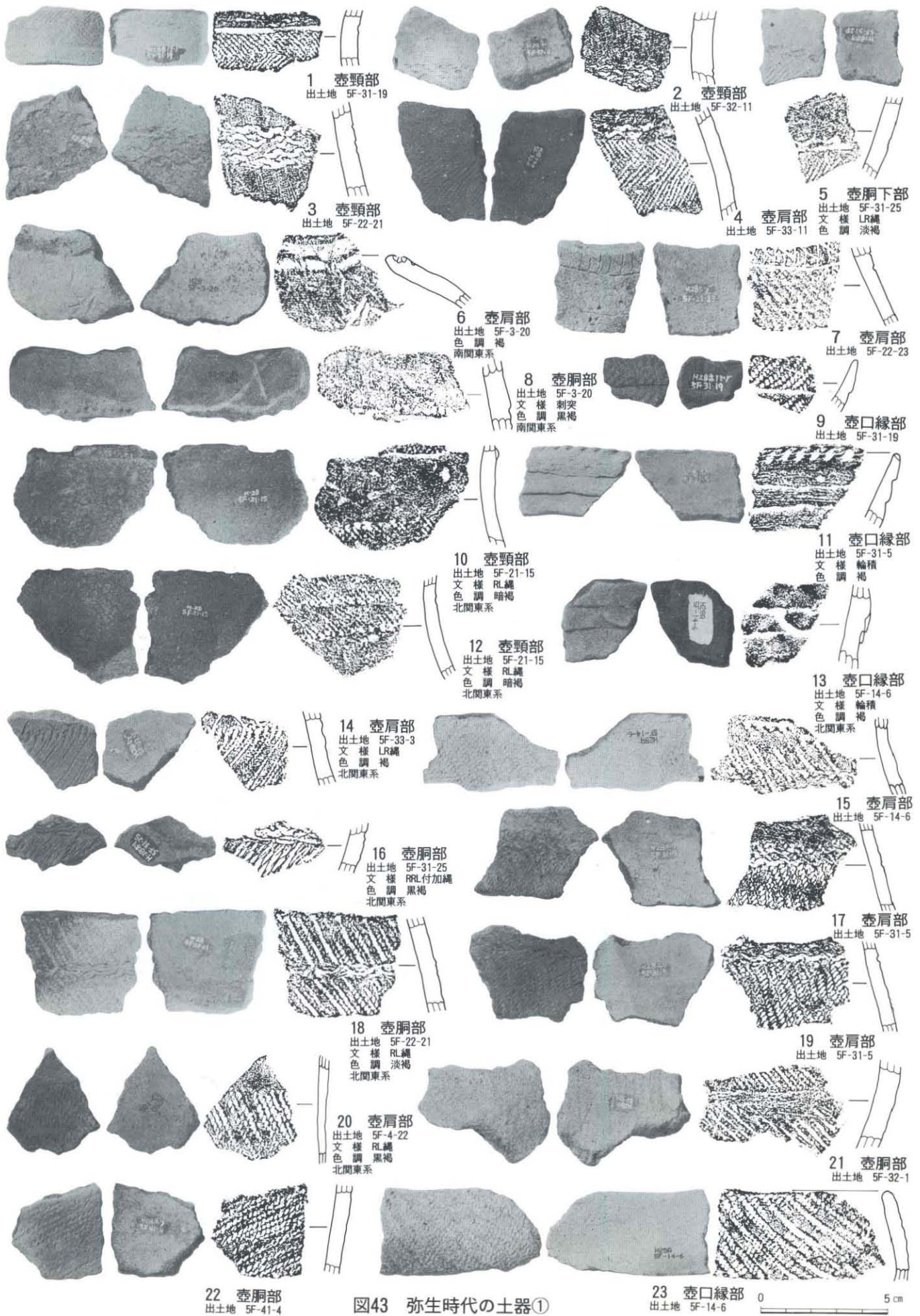


図43 弥生時代の土器①

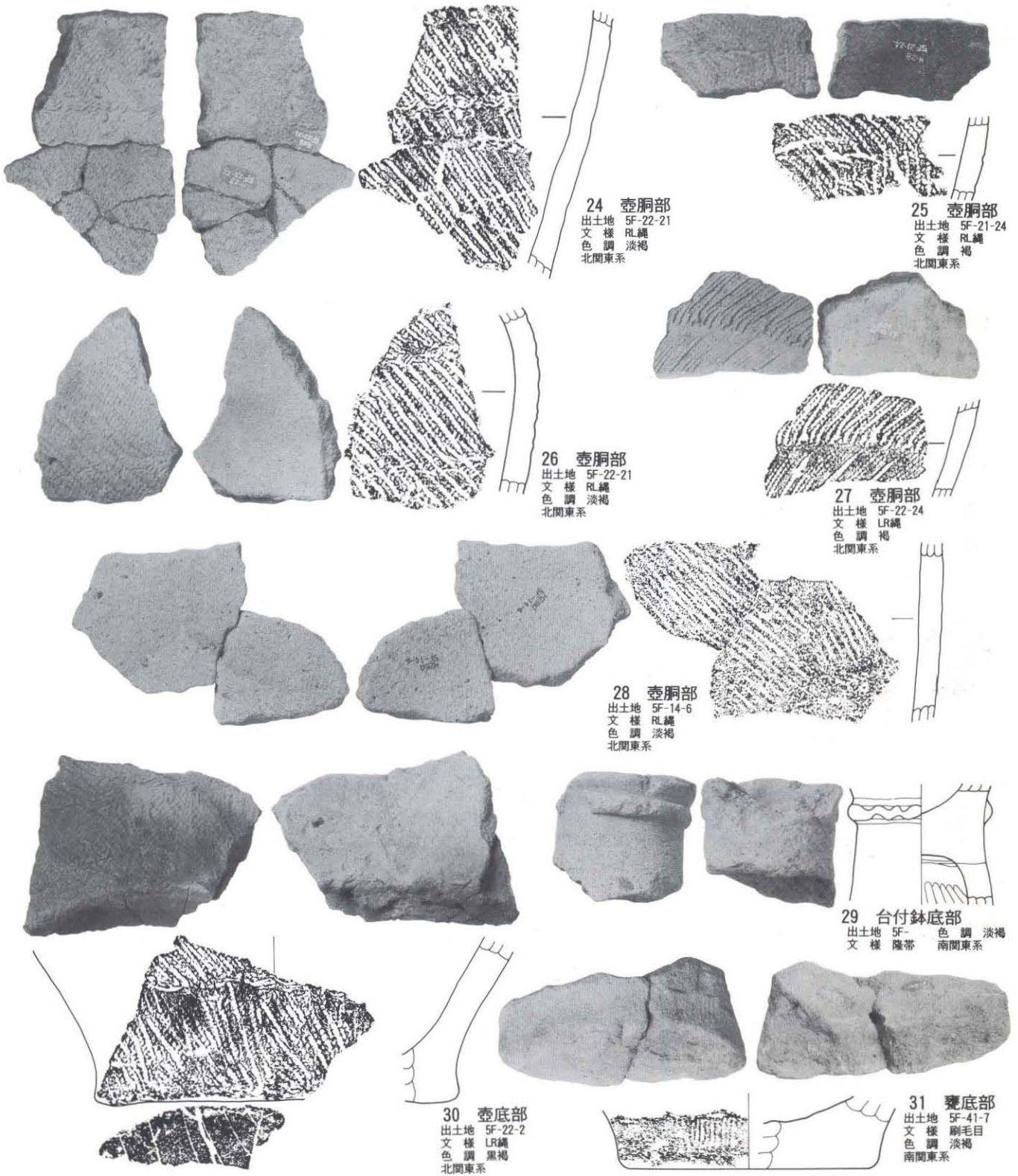


図44 弥生時代の土器②

0 5 cm

2. 古墳時代

城山遺跡の古墳時代の遺構は、住居跡・古墳・墓坑など、それぞれわずかながらある。古墳は墳丘がなく、発掘によって周溝を検出し、その存在が明らかになった。

以下、古墳時代の資料編図の凡例を記す。

1. 住居跡と墓坑の実測図縮尺は50分の1で、古墳の実測図縮尺は100分の1である。
2. 住居跡実測図の赤色部分は、炉跡と覆土中の焼土を示す。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真をそれぞれの実測図のわきに添付したが、古墳は本編に掲載したので、資料編では省いた。
6. 1号墓は、本編に掲載した。
7. 古墳平面図の黒色線は遺構の形状線を示し、茶色線は等高線をあらわす。

8. 古墳平面図の下図は、断面を連続的に並べて、それに遺構形状線を重ねたもので、古墳を東斜め上から見たような鳥瞰図である。黒色線は遺構形状線、茶色線は断面を示す。
9. 2号墓の茶色線は、石棺材を示す。
10. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
11. 遺構実測図に添付した遺物実測図は、その遺構から出土したものである。
12. 遺物実測図で土器は4分の1、鉄鏃・石製品・土玉等は2分の1、ガラス小玉・土小玉・棗玉・ガラス原棒などは原寸である。
13. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
14. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に杯は側面・内面・底部を載せた。
15. 土器の赤色部分は、器面を赤彩したものである。
16. 土器の器面調整は、特に記さなかったが、下に実測図に表した調整を示しておく。

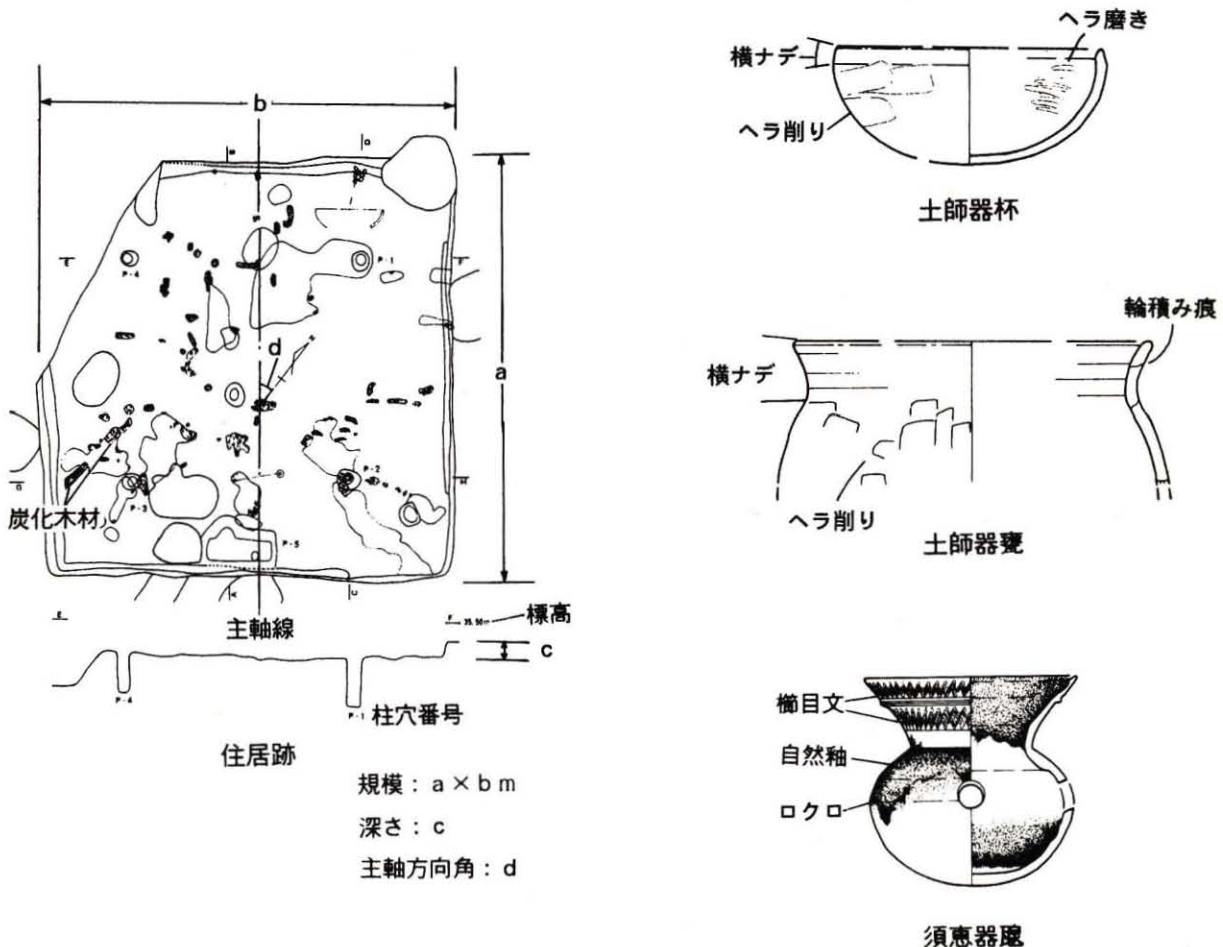
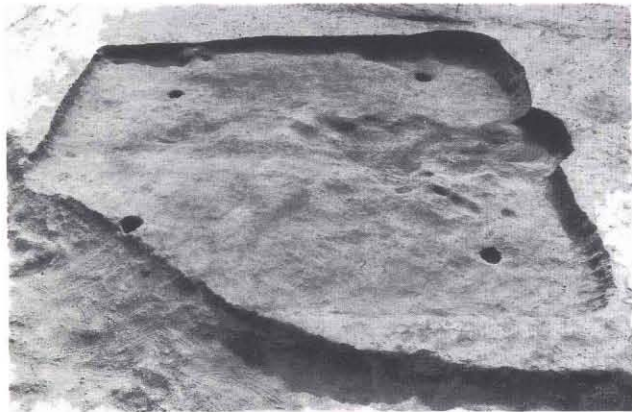
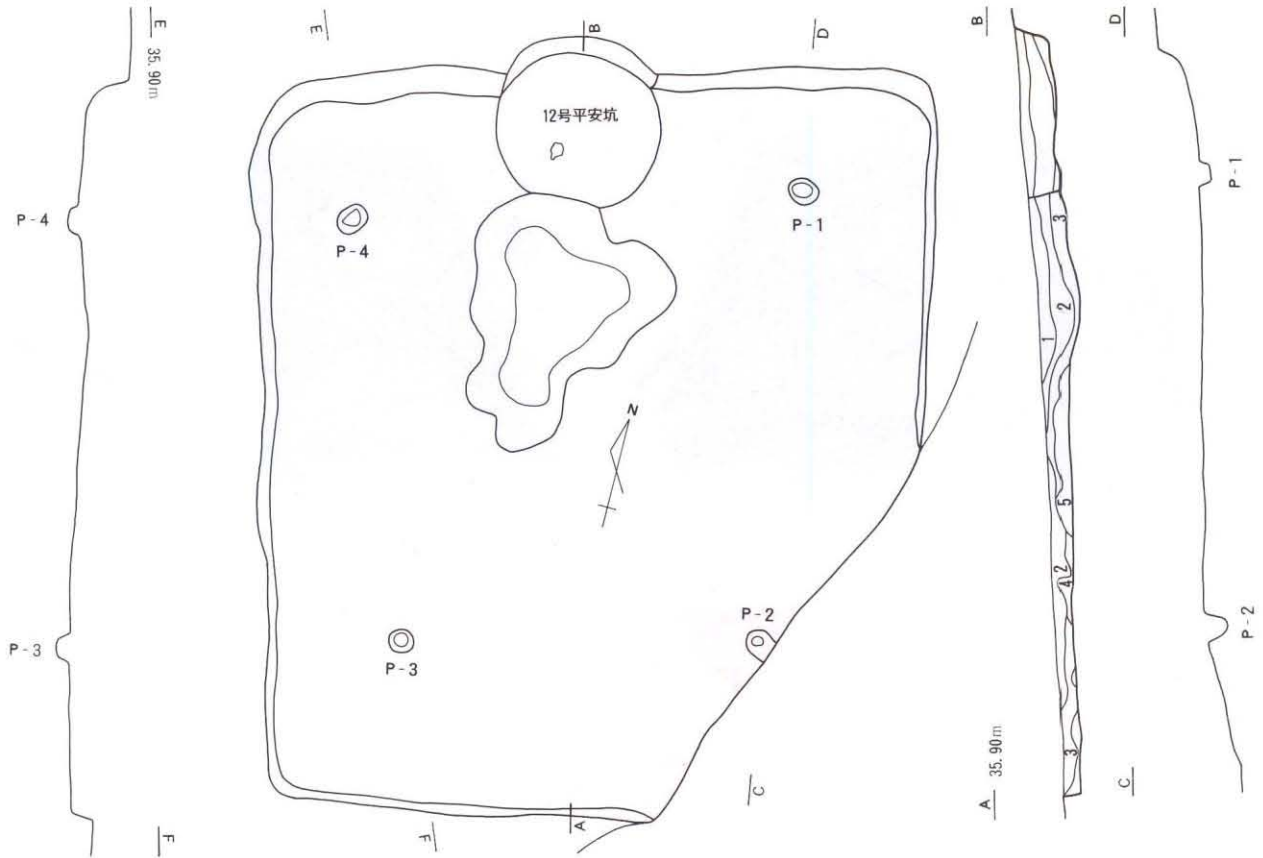


図45 古墳時代凡例



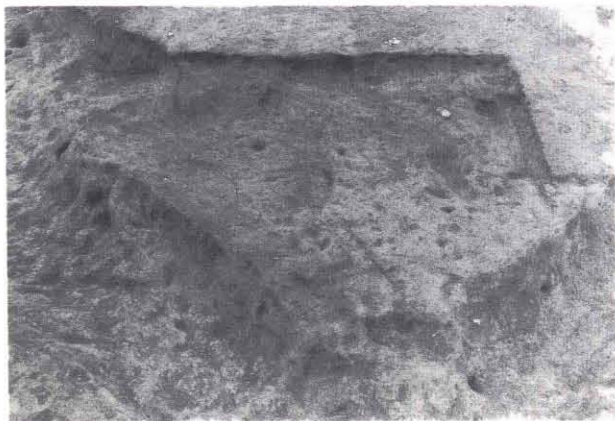
図46 古墳時代の遺構①5号住居跡



2号住居跡

時期 中期
 位置 5F-31-19
 規模 4.90×4.53m
 主軸方向 N-17°-W
 深さ 0.15m
 床面 全体に柔らかく、凹凸有り
 柱 小さく浅い
 穴 炉、遺物など生活の跡が見られない

- | 層序 | 説明 |
|----|---------------------|
| 1 | 黒褐色土 (ロームが少し混じる) |
| 2 | 黒色土 (") |
| 3 | 黒褐色土 (ローム、焼土が混じる) |
| 4 | 暗褐色土 (ロームが混じって、しまる) |
| 5 | 黒褐色土 (ロームが多く混じる) |



9号住居跡

時期 中期
 位置 5F-41-5北
 主軸方向 N-31°-E
 深さ 最大0.15m
 床面 全体に柔らかい
 炉 少し焼けている
 遺物 土師甕片

一部が残っているのみで規模は不明。
 柱穴は検出できず。北壁付近に焼土が分布。

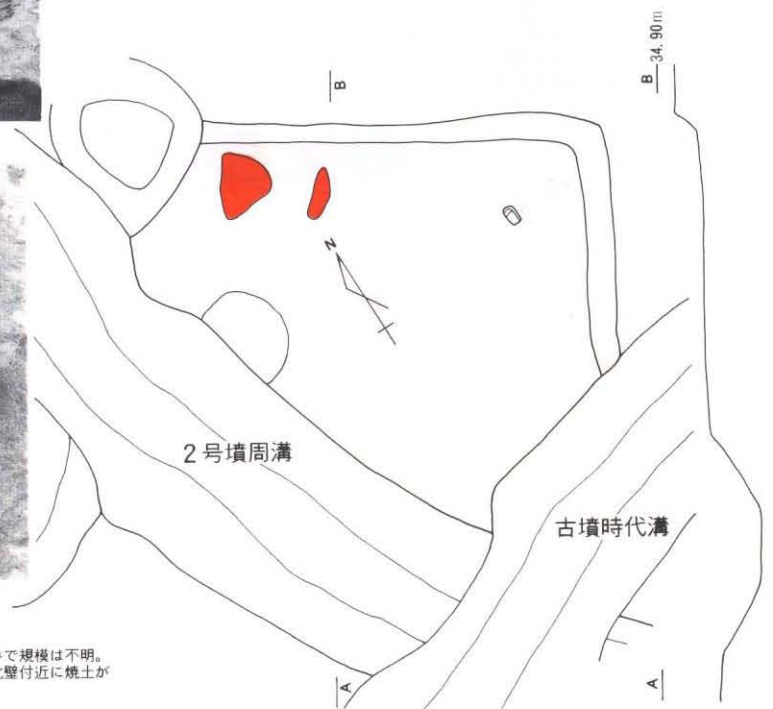


図47 古墳時代の遺構②・9号住居跡

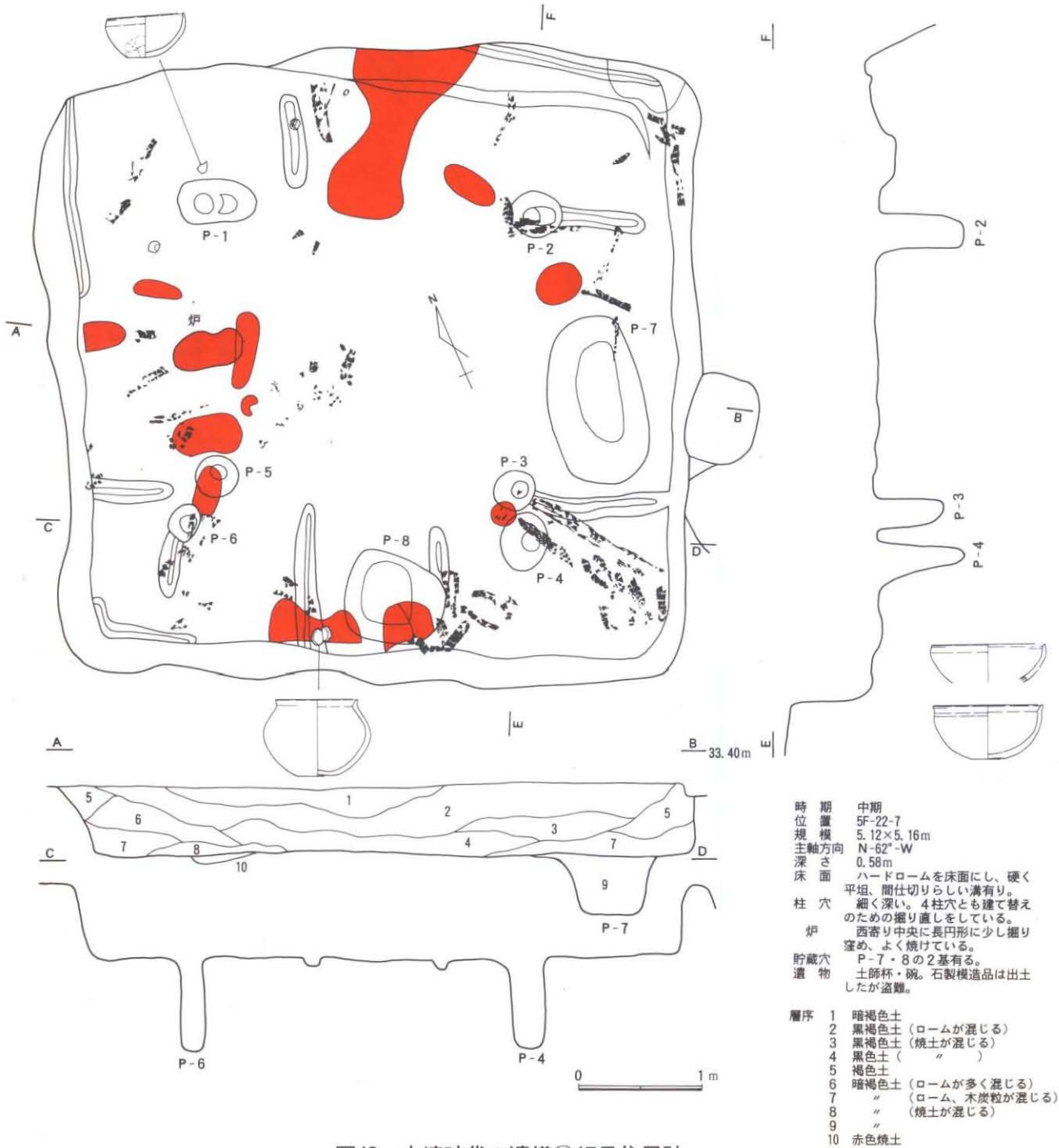
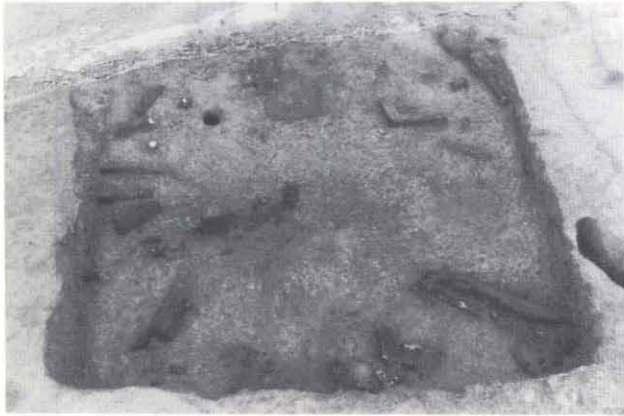


図48 古墳時代の遺構③17号住居跡

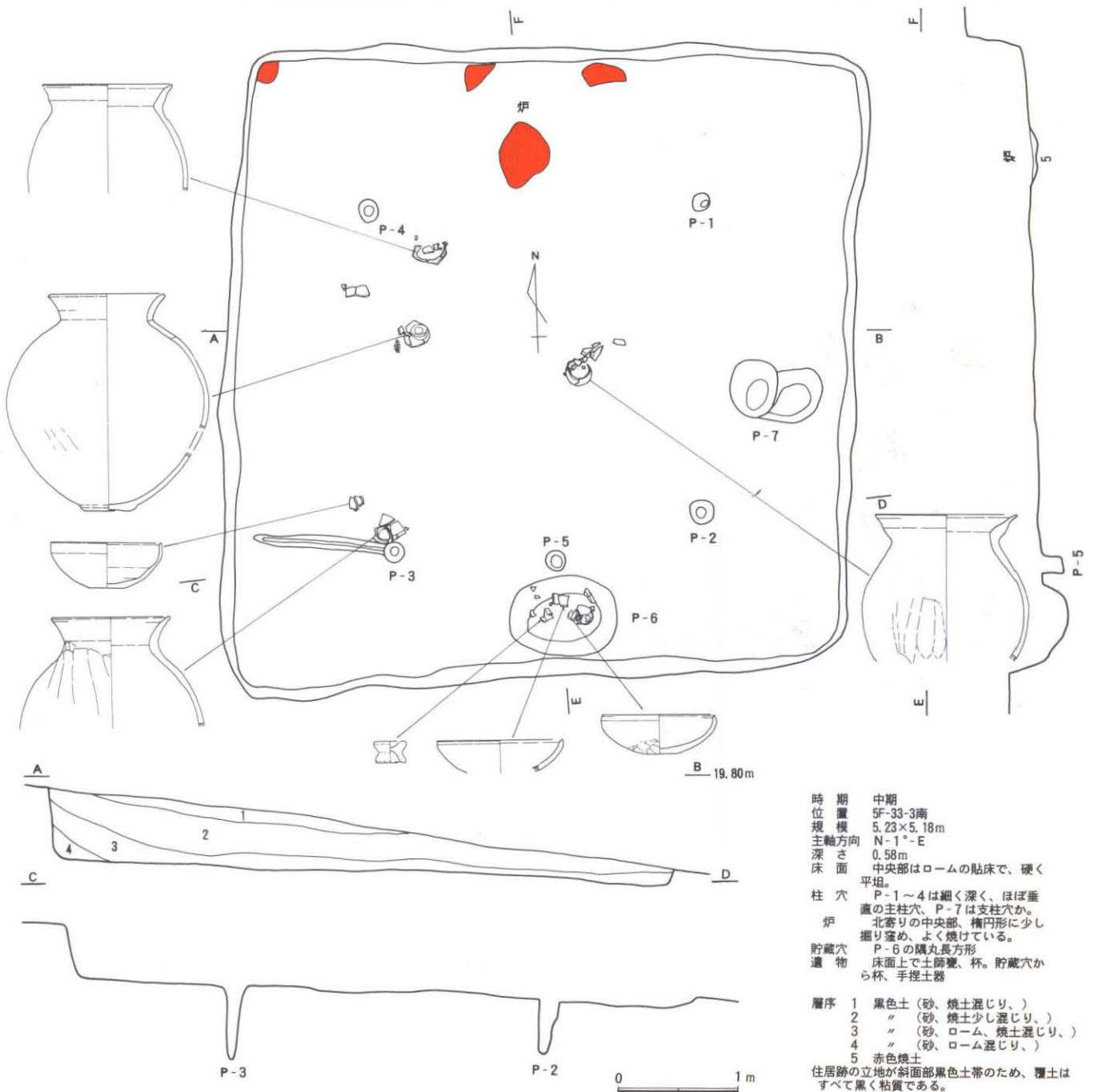
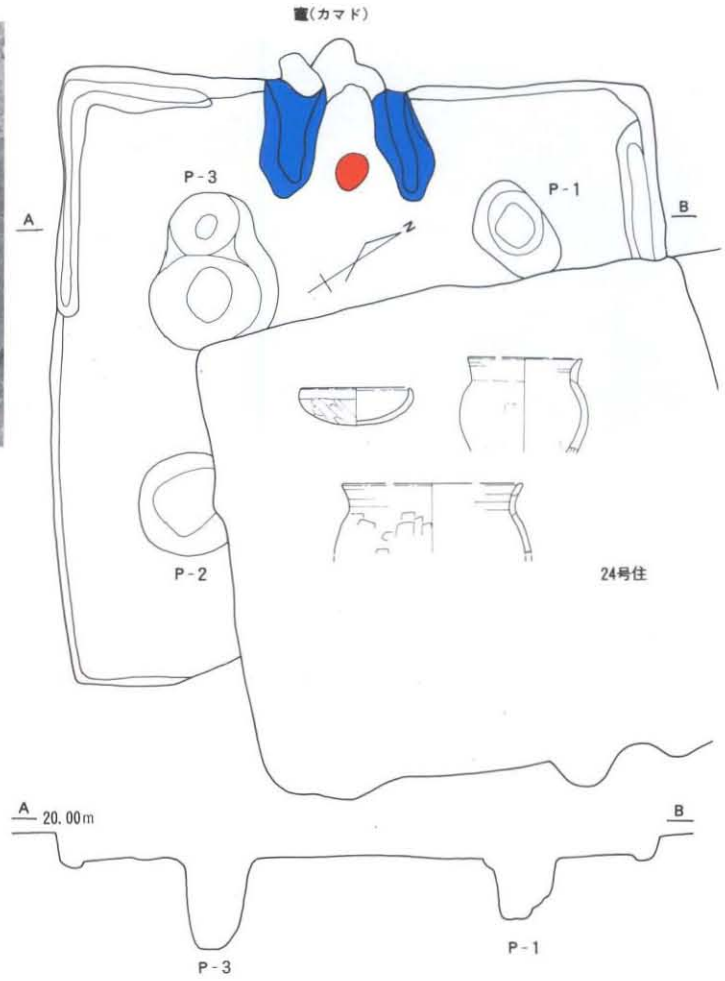


図49 古墳時代の遺構④18号住居跡



23号住居跡

時期 後期
 位置 5F-13-20南東
 規模 4.10×4.05m
 主軸方向 N-51°-W
 深さ 0.23m
 床面 硬く平坦。
 柱穴 槽鉢状に掘っている。
 竈(カマド) 北西壁中央部、火床部はよく焼けている。
 遺物 土師杯、甕
 中央部から東側が24号住居跡と重複しているため、柱穴1基と中央部の状態が不明であった。



40号住居跡

時期 中期
 位置 5F-14-11北東
 規模 3.87m
 主軸方向 N-40°-W
 深さ 0.42m
 床面 柔らかく平坦。
 柱穴 P-1～3を検出した。
 遺物 土師杯、甕
 北西壁付近に焼土を検出した。

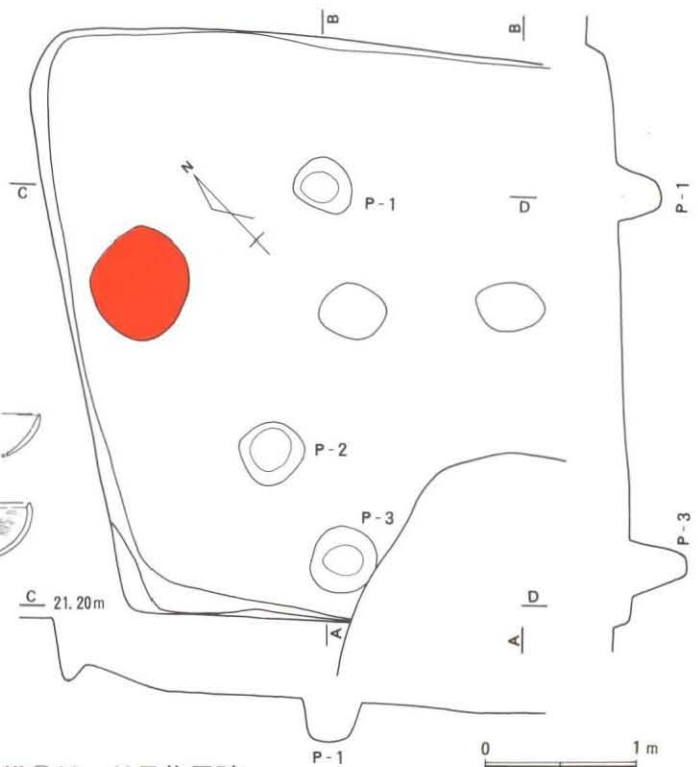
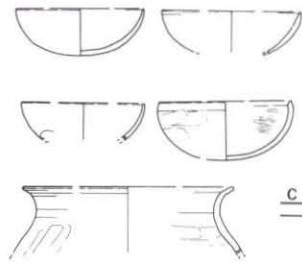
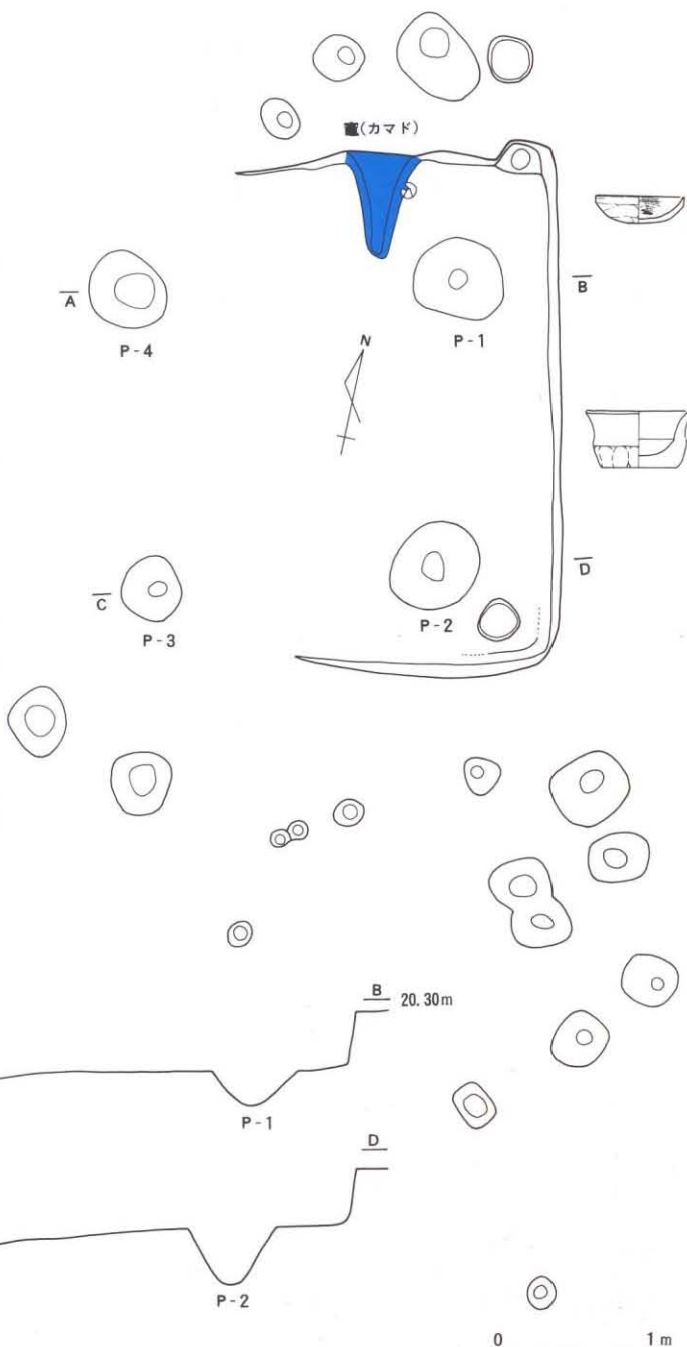
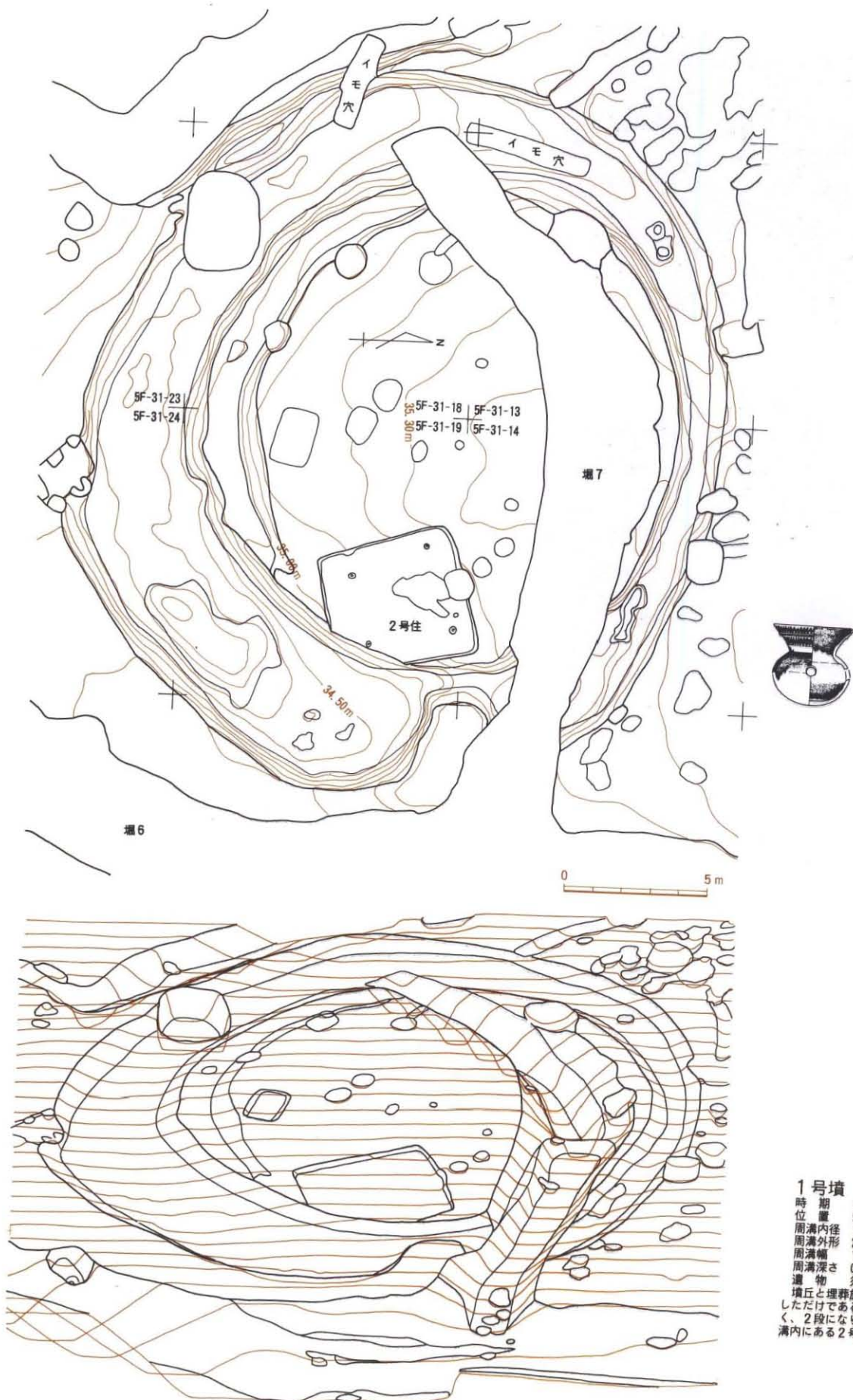


図50 古墳時代の遺構⑤23・40号住居跡



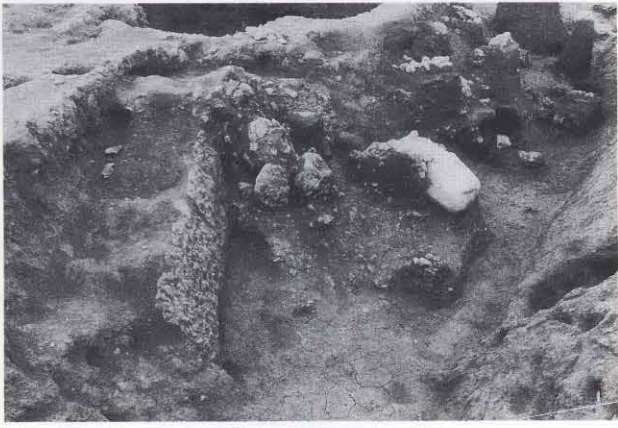
時期 後期
 位置 5F-14-19
 規模 3.50m
 主軸方向 N-13°-W
 深さ 0.35m
 床面 中央部ローム貼床で、硬く平坦。
 柱穴 P-1～4の4基を検出、播鉢状に掘っている。
 竈(カマド) 北壁中央部にあり、右袖部のみを検出、火床はあまり焼けていない。
 遺物 カマド袖わきより土師杯出土
 谷底に近い斜面部に立地し、壁の半分は流失。また住居跡の廻りに、同時期と思われる小穴を、多数検出した。

図51 古墳時代の遺構⑥47号住居跡



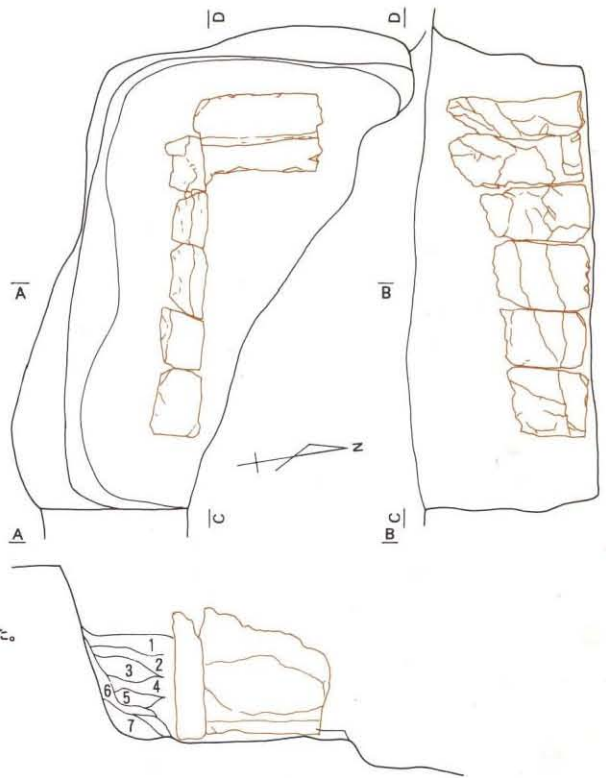
1号墳
 時期 中期
 位置 5F-31-18-19
 周溝内径 16.90m
 周溝外形 22.3×25.2m
 周溝幅 1.5~5.4m
 周溝深さ 0.20~0.75m
 遺物 須恵器(はそう)
 墳丘と埋葬施設がなく、周溝を検出した
 だけである。周溝は両側で広く深く、
 2段になり、東側でくびれる。周溝
 内にある2号住は、古墳より古い。

図52 古墳時代の遺構①1号墳

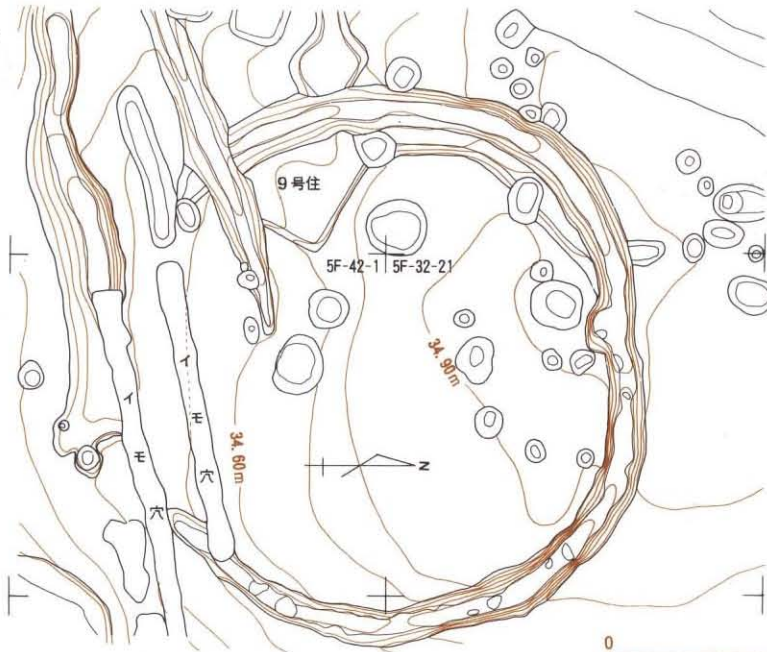


2号墓

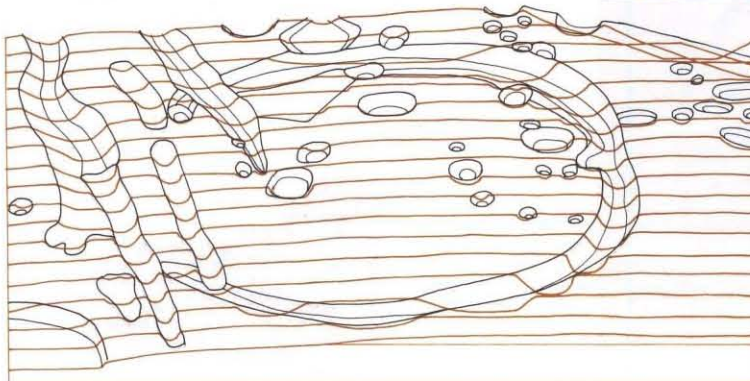
時期 後期か
 位置 5F-22-17
 規模 3.05×2.10m
 (棺内部 1.95×0.73m)
 主軸方向 N-82°-W
 深さ 1.12m
 構造 切石積石棺(飯岡層シルトブロック)
 (蓋石 飯岡石備平丸石)
 遺物 土師器片
 半分を中世堀にあたって消失。人骨、副葬品は全くなかった。
 層序 1 暗褐色土
 2 " (ローム、粘土が少し混じる)
 3 " (ローム、粘土が混じる)
 4 白色粘土
 5 褐色土
 6 " (ローム大粒)
 7 " (ハードローム)



0 1 m



0 5 m



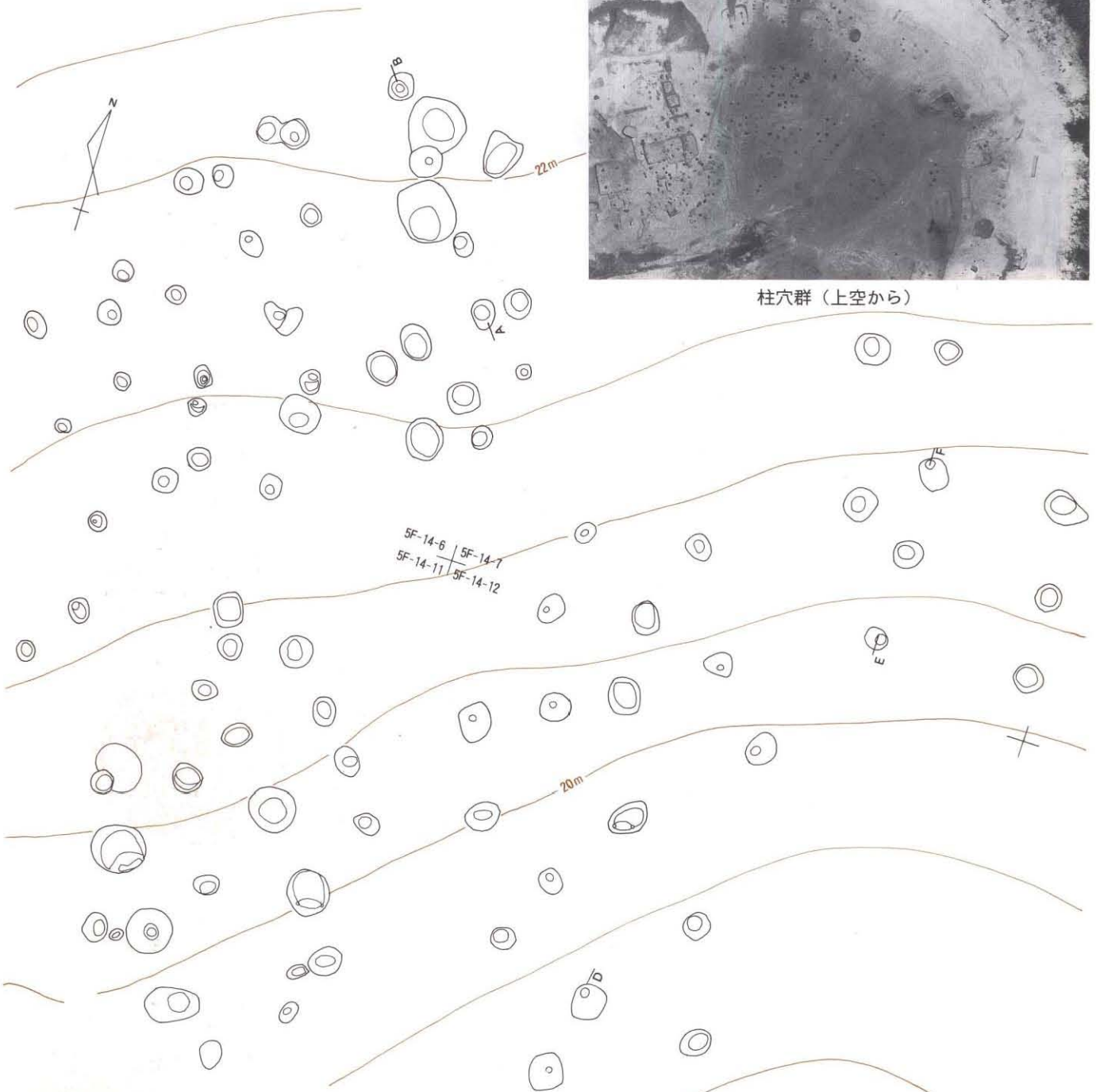
2号墳

時期 中期
 位置 5F-42-1
 周溝内径 12.8m
 周溝外形 14.8m
 周溝幅 0.8~1.3m
 周溝深さ 0.20~0.45m
 遺物 土師器片
 墳丘と埋葬施設がなく、周溝を検出した
 だけである。周溝は幅、深さとも
 ほぼ一定であるが、西側で2段になる。
 周溝内の9号住は古墳より古い。南側
 の溝は、同時期である。

図53 古墳時代の遺構⑧ 2号墳・2号墓



柱穴群（上空から）



柱穴からの遺物出土状態

柱穴群

位置 5F-14-6・7・11・12
 柱穴総数 約80
 柱穴深さ 0.3~0.6m
 39号(平安)・40号(古墳)住居跡が重なり、柱穴のいくつかは住居跡のものもある。多くは3ないし4基が並び、柱痕の跡があるものや、遺物が出土したものなどがある。建物跡の柱穴の可能性が考えられる。また、柱穴から出土した須恵器長頸瓶が、8世紀のものであることから、これらの柱穴群が奈良時代まで下ることも有り得る。

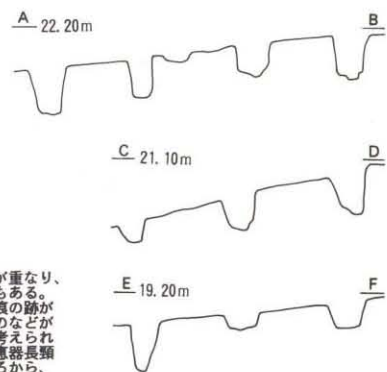


図54 古墳時代の遺構⑨柱穴群

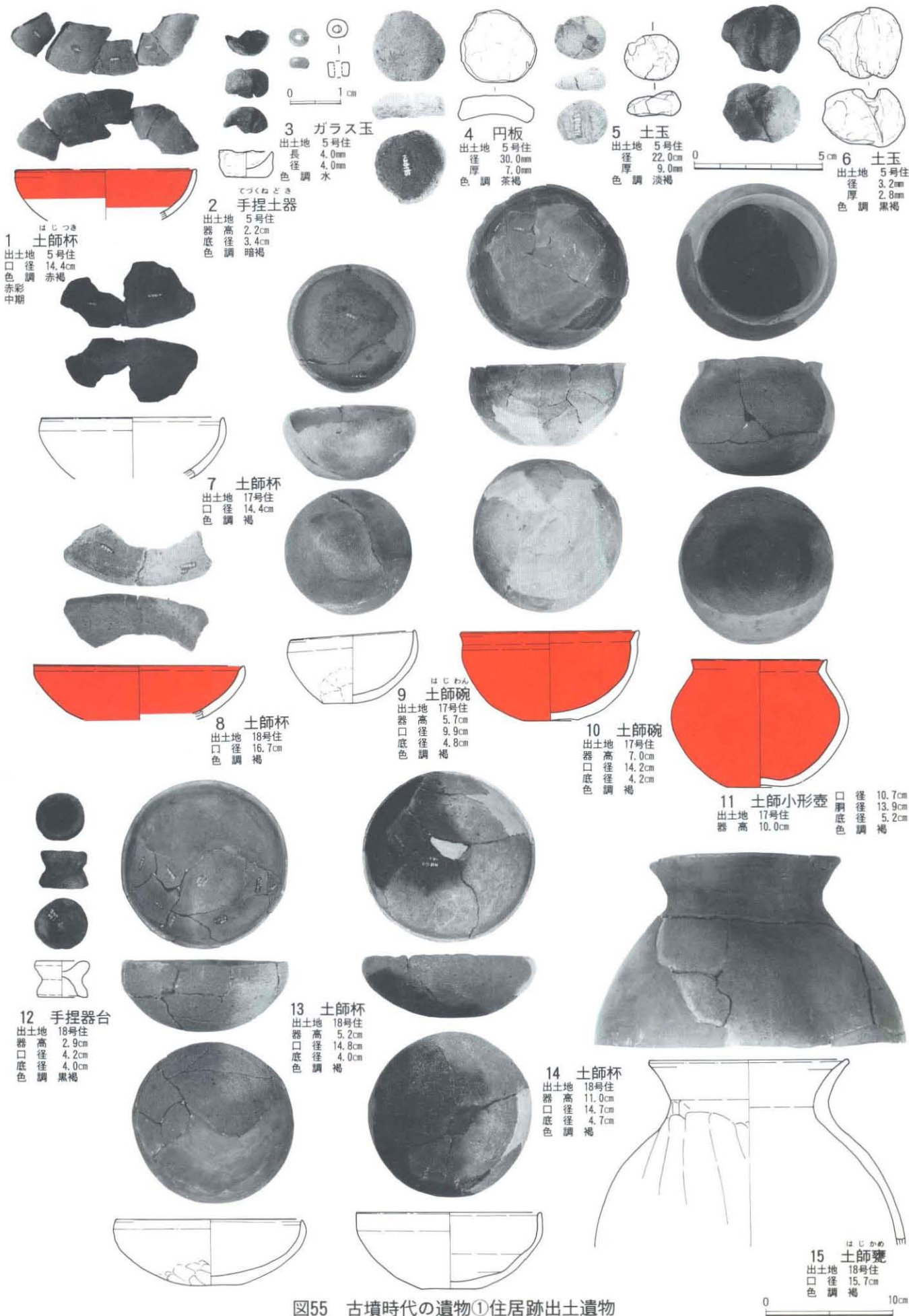


図55 古墳時代の遺物①住居跡出土遺物

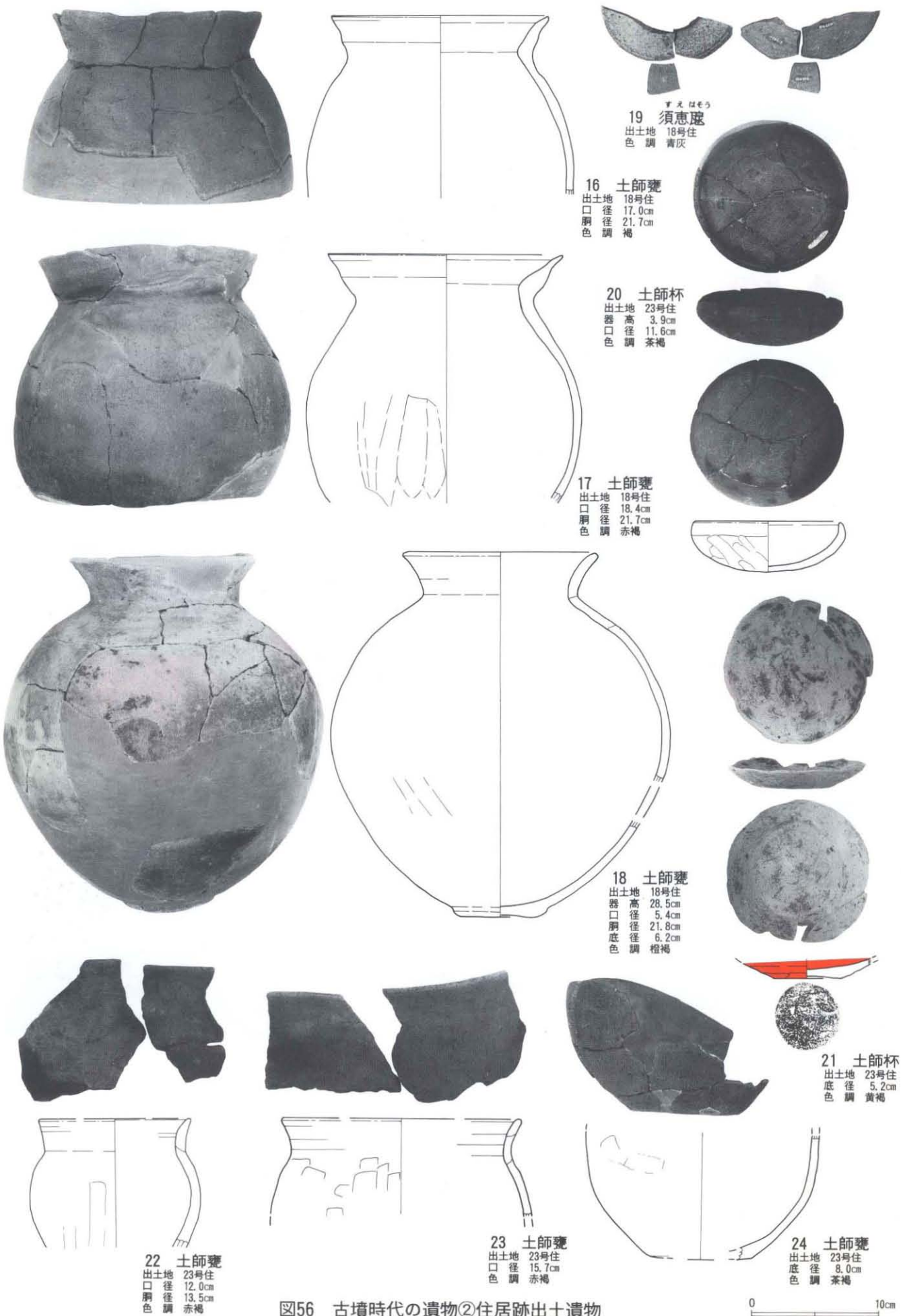


図56 古墳時代の遺物②住居跡出土遺物

0 10cm

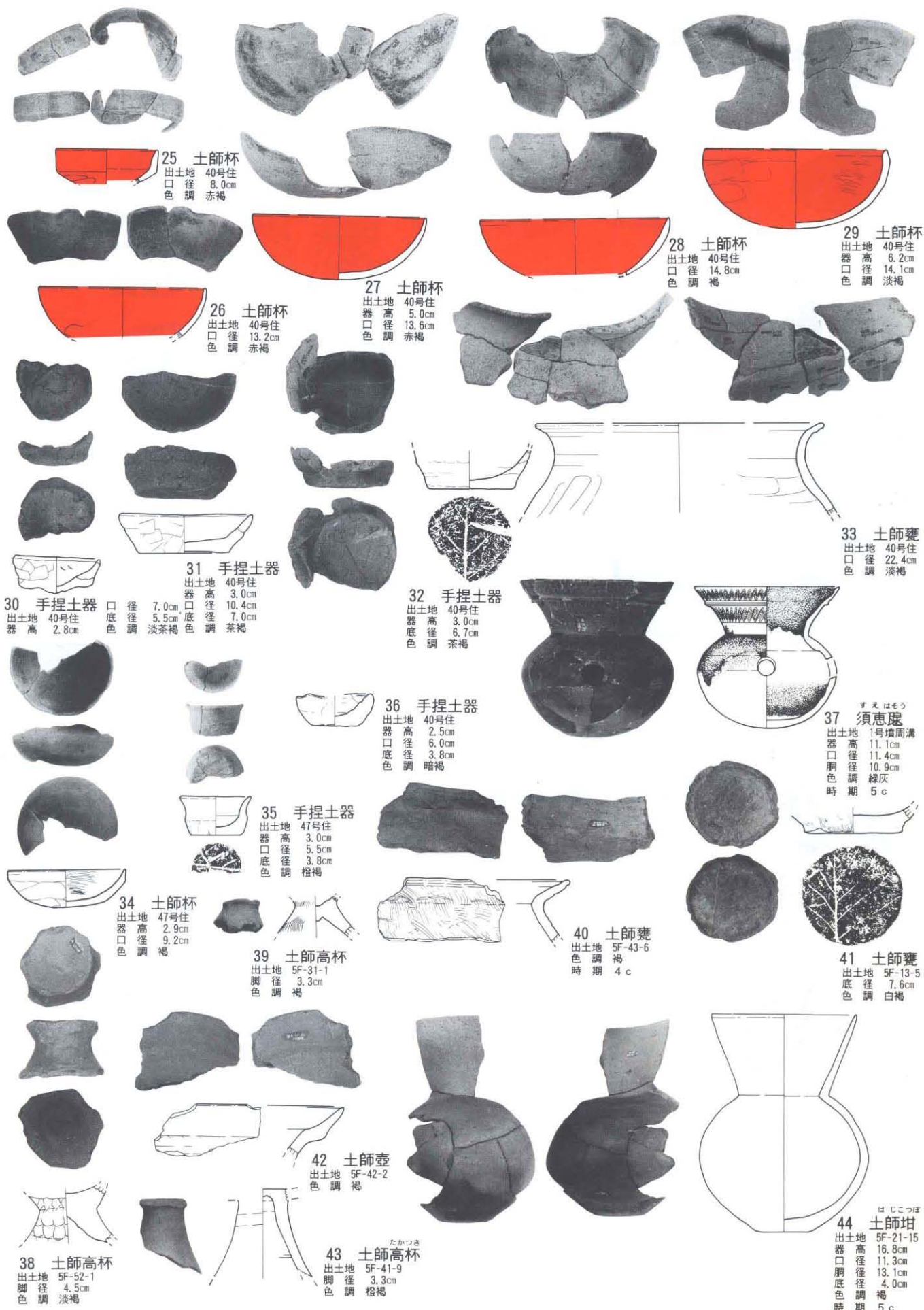
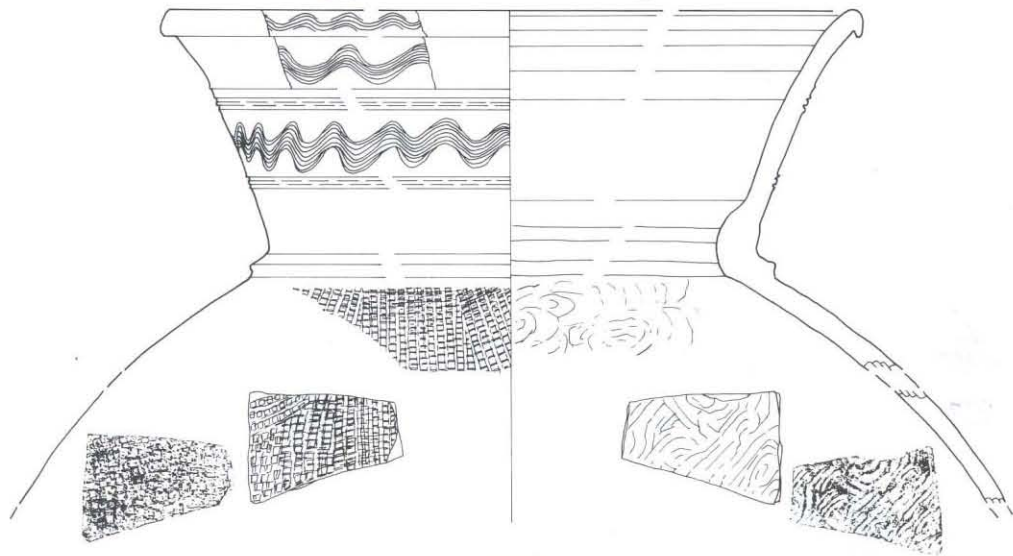
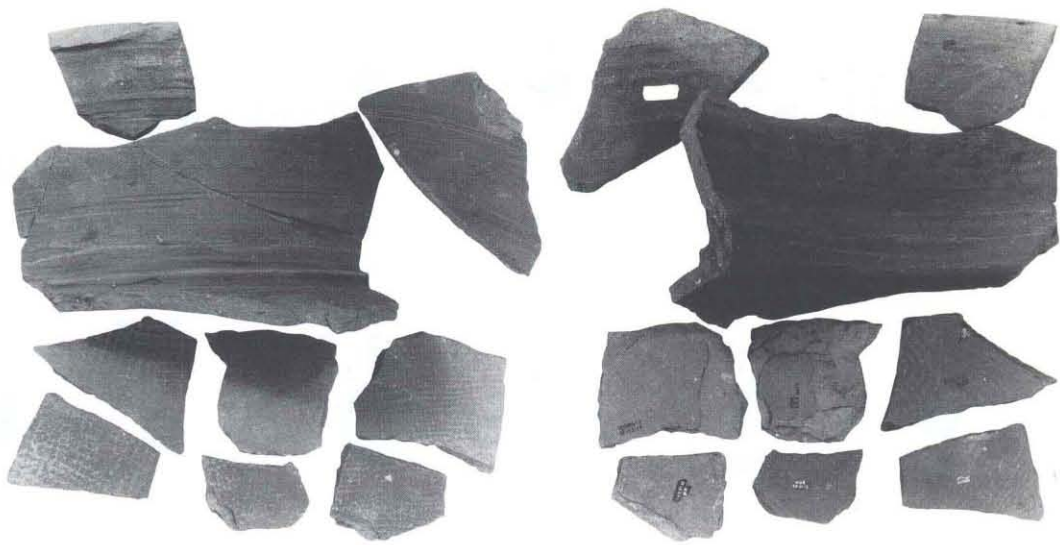


図57 古墳時代の遺物③住居跡・古墳出土とその他の遺物

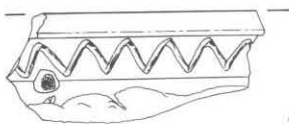
0 10cm



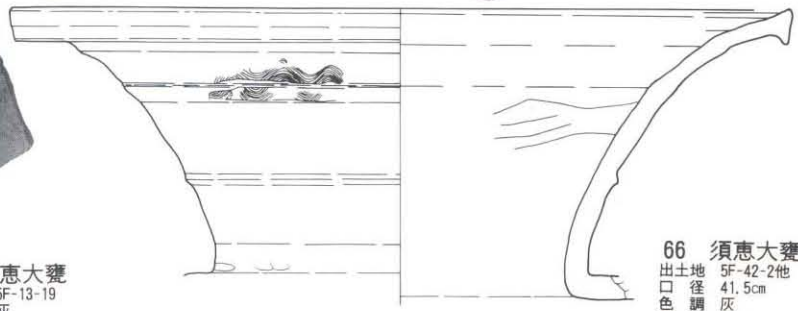
図58 古墳時代の遺物④その他の土師器・須恵器



64 須恵大甕
 出土地 5F-11-19他
 口径 37.0cm
 色調 黒褐
 時期 8c



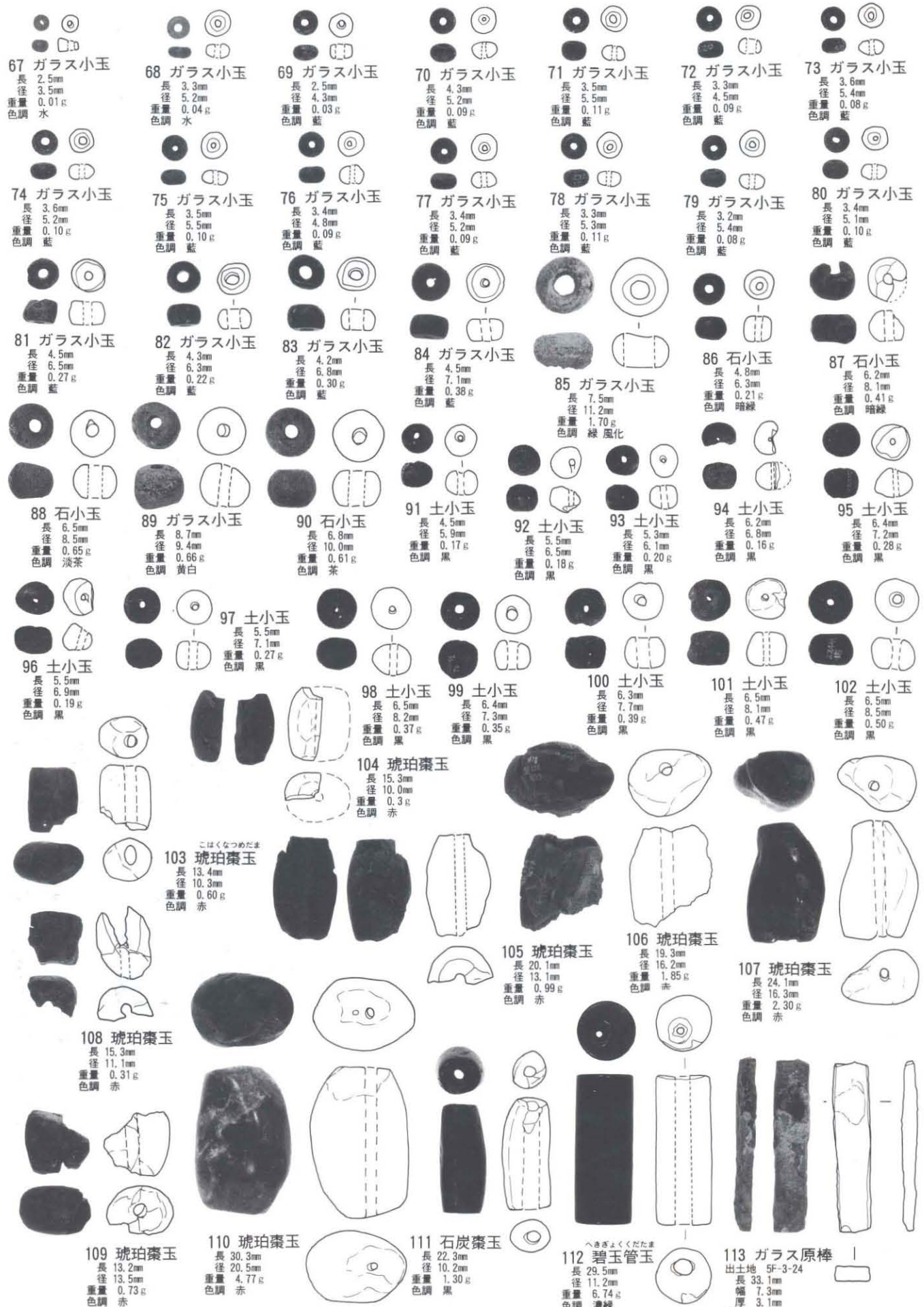
65 須恵大甕
 出土地 5F-13-19
 色調 灰
 時期 8c



66 須恵大甕
 出土地 5F-42-2他
 口径 41.5cm
 色調 灰
 時期 8c



図59 古墳時代の遺物⑤その他の須恵器



67 ガラス小玉
長径 2.5mm
直径 3.01mm
重量 0.01g
色調 水

68 ガラス小玉
長径 3.3mm
直径 5.2mm
重量 0.04g
色調 水

69 ガラス小玉
長径 2.5mm
直径 4.3mm
重量 0.03g
色調 藍

70 ガラス小玉
長径 4.3mm
直径 5.2mm
重量 0.09g
色調 藍

71 ガラス小玉
長径 3.5mm
直径 5.5mm
重量 0.11g
色調 藍

72 ガラス小玉
長径 3.3mm
直径 5.5mm
重量 0.09g
色調 藍

73 ガラス小玉
長径 3.6mm
直径 5.4mm
重量 0.08g
色調 藍

74 ガラス小玉
長径 3.6mm
直径 5.2mm
重量 0.10g
色調 藍

75 ガラス小玉
長径 3.5mm
直径 5.5mm
重量 0.10g
色調 藍

76 ガラス小玉
長径 3.4mm
直径 4.8mm
重量 0.09g
色調 藍

77 ガラス小玉
長径 3.4mm
直径 5.2mm
重量 0.09g
色調 藍

78 ガラス小玉
長径 3.3mm
直径 5.3mm
重量 0.11g
色調 藍

79 ガラス小玉
長径 3.2mm
直径 5.4mm
重量 0.08g
色調 藍

80 ガラス小玉
長径 3.4mm
直径 5.1mm
重量 0.10g
色調 藍

81 ガラス小玉
長径 4.5mm
直径 6.5mm
重量 0.27g
色調 藍

82 ガラス小玉
長径 4.3mm
直径 6.3mm
重量 0.22g
色調 藍

83 ガラス小玉
長径 4.2mm
直径 6.8mm
重量 0.30g
色調 藍

84 ガラス小玉
長径 4.5mm
直径 7.1mm
重量 0.38g
色調 藍

85 ガラス小玉
長径 7.5mm
直径 11.2mm
重量 1.70g
色調 緑風化

86 石小玉
長径 4.8mm
直径 6.3mm
重量 0.21g
色調 暗緑

87 石小玉
長径 6.2mm
直径 8.1mm
重量 0.41g
色調 暗緑

88 石小玉
長径 6.5mm
直径 8.5mm
重量 0.65g
色調 淡茶

89 ガラス小玉
長径 8.7mm
直径 9.4mm
重量 0.66g
色調 黄白

90 石小玉
長径 6.8mm
直径 10.0mm
重量 0.61g
色調 茶

91 土小玉
長径 4.5mm
直径 5.9mm
重量 0.17g
色調 黒

92 土小玉
長径 5.5mm
直径 6.5mm
重量 0.18g
色調 黒

93 土小玉
長径 5.3mm
直径 6.1mm
重量 0.20g
色調 黒

94 土小玉
長径 6.2mm
直径 6.8mm
重量 0.16g
色調 黒

95 土小玉
長径 6.4mm
直径 7.2mm
重量 0.28g
色調 黒

96 土小玉
長径 5.5mm
直径 6.9mm
重量 0.19g
色調 黒

97 土小玉
長径 5.5mm
直径 7.1mm
重量 0.27g
色調 黒

98 土小玉
長径 6.5mm
直径 8.2mm
重量 0.37g
色調 黒

99 土小玉
長径 6.4mm
直径 7.3mm
重量 0.35g
色調 黒

100 土小玉
長径 6.3mm
直径 7.7mm
重量 0.39g
色調 黒

101 土小玉
長径 6.5mm
直径 8.1mm
重量 0.47g
色調 黒

102 土小玉
長径 6.5mm
直径 8.5mm
重量 0.50g
色調 黒

104 琥珀棗玉
長径 15.3mm
直径 10.0mm
重量 0.3g
色調 赤

こはくなつめだま
103 琥珀棗玉
長径 13.4mm
直径 10.3mm
重量 0.60g
色調 赤

105 琥珀棗玉
長径 20.1mm
直径 13.1mm
重量 0.99g
色調 赤

106 琥珀棗玉
長径 19.3mm
直径 16.2mm
重量 1.85g
色調 赤

107 琥珀棗玉
長径 24.1mm
直径 16.3mm
重量 2.30g
色調 赤

108 琥珀棗玉
長径 15.3mm
直径 11.1mm
重量 0.31g
色調 赤

109 琥珀棗玉
長径 13.2mm
直径 13.5mm
重量 0.73g
色調 赤

110 琥珀棗玉
長径 30.3mm
直径 20.5mm
重量 4.77g
色調 赤

111 石炭棗玉
長径 22.3mm
直径 10.2mm
重量 1.30g
色調 黒

へきぶくくだま
112 碧玉管玉
長径 29.5mm
直径 11.2mm
重量 6.74g
色調 濃緑

113 ガラス原棒
出土地 5F-3-24
長径 33.1mm
幅 7.3mm
厚 3.1mm
重量 1.7g

図60 古墳時代の遺物⑥玉類

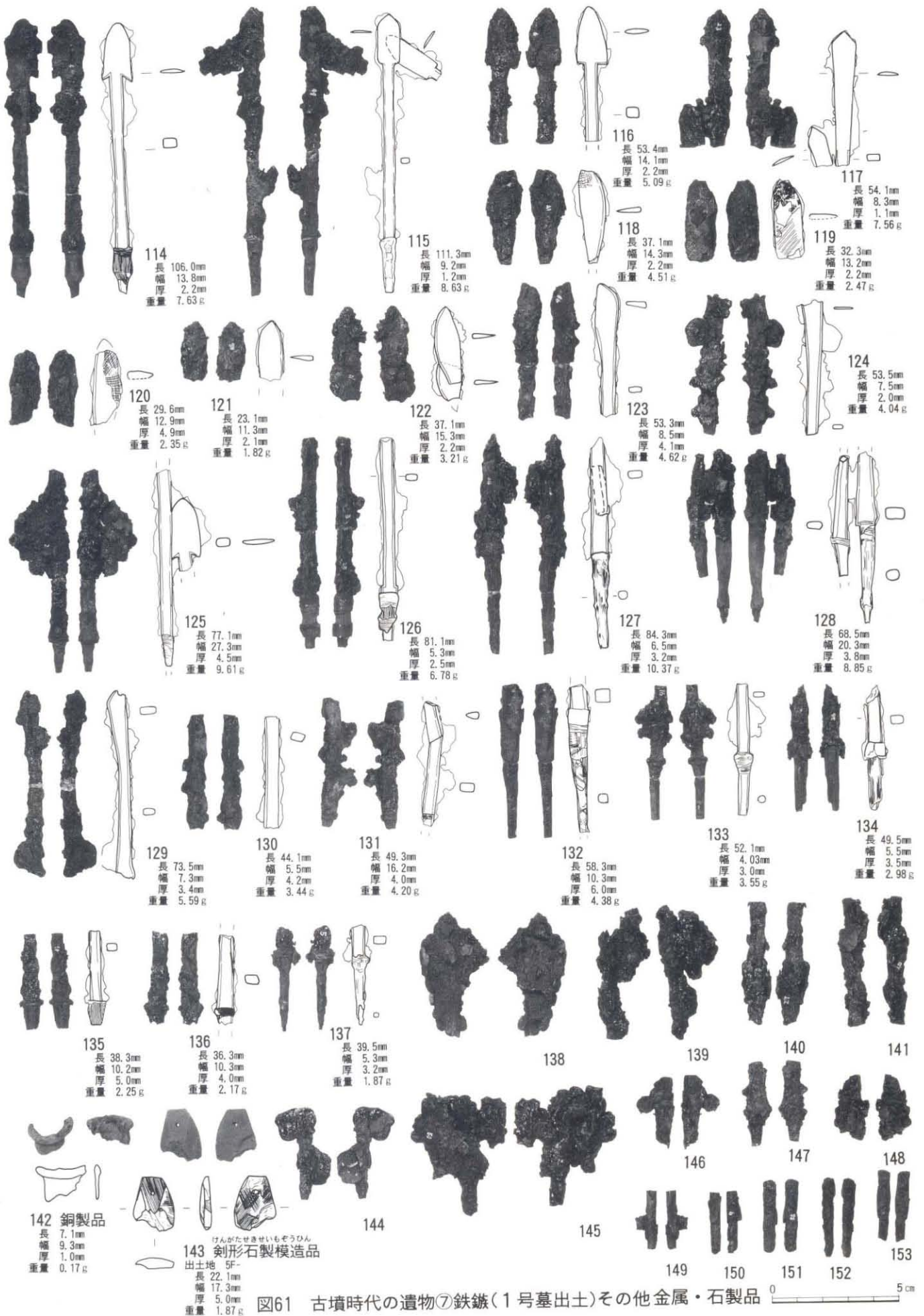


図61 古墳時代の遺物⑦鉄鍔(1号墓出土)その他金属・石製品

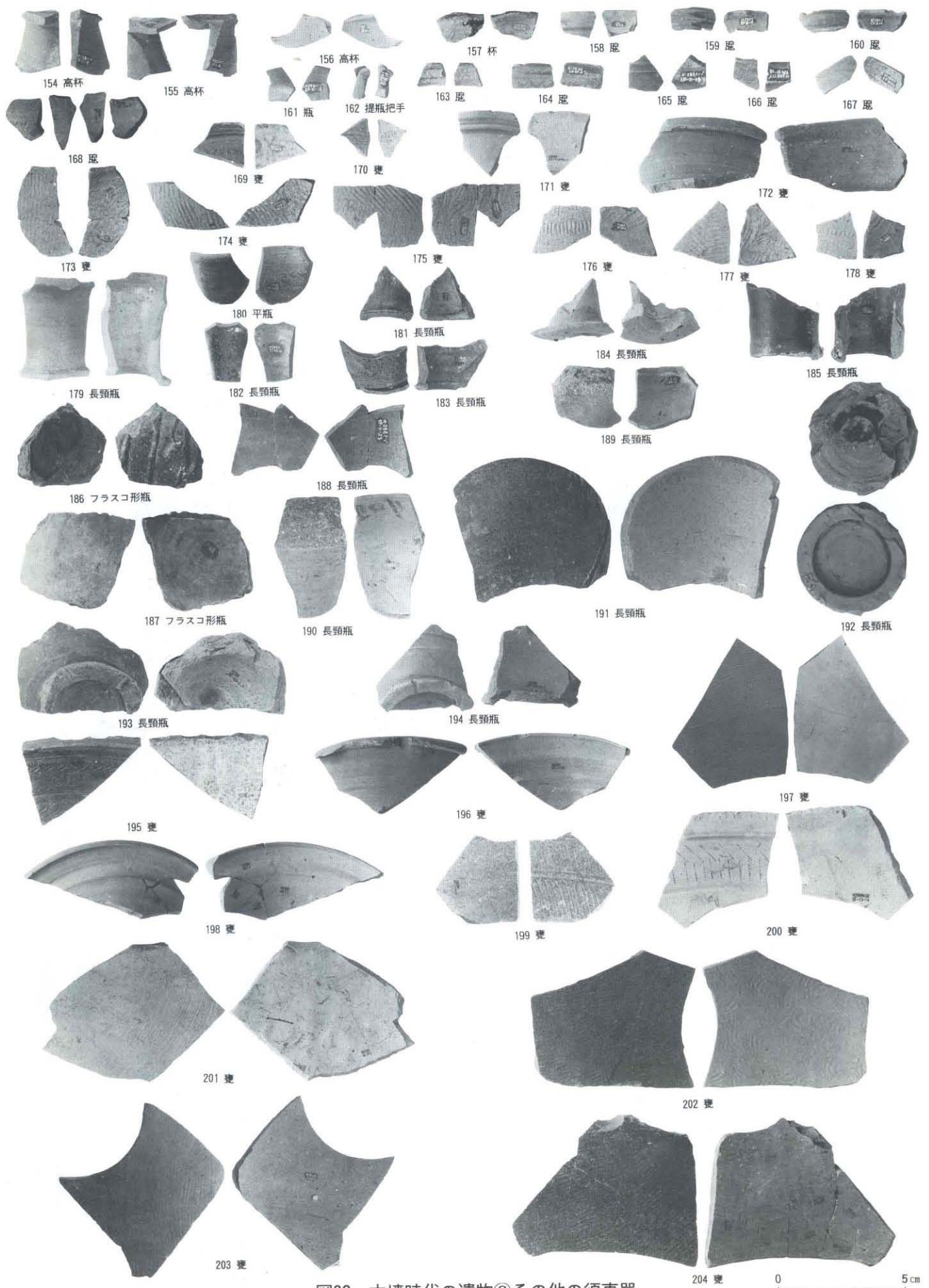


図62 古墳時代の遺物⑧その他の須恵器

0 5cm

3. 奈良・平安時代

城山遺跡の奈良・平安時代の遺構は、住居跡・土坑などが、遺跡全体に散在して分布する。遺物は住居跡の数に比較して多く出土し、中世の築城時に消えた遺構もあったと思われる。

以下、奈良・平安時代の資料編図の凡例を記す。

1. 住居跡と井戸跡の実測図縮尺は50分の1で、土坑の実測図縮尺は25分の1である。
2. 住居跡実測図の赤色部分は竈火床部を、青色部分は竈構築材部を示す。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真をそれぞれの実測図のわきに添付した。
6. 1号住居跡は、本編に掲載した。
7. 住居跡の主軸方向は、竈とそれに対面する壁面中

央とを結んだ線である。

8. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
9. 遺構実測図に添付した遺物実測図は、その遺構から出土したものである。
10. 遺物実測図で土器・転用硯・火鑽臼・竈支脚は4分の1、鉄製品・石製品・土玉等は2分の1である。
11. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
12. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に杯は側面・内面・底部を載せた。
13. 墨書土器の一部は、赤外線写真を添付した。赤外線写真は国立歴史民俗博物館 平川 南氏、及び財団法人香取郡市文化財センター 戸村勝司朗氏の協力で撮影したものである。
14. 土器の器面調整は、特に記さなかったが、下に実測図に表した調整を示しておく。

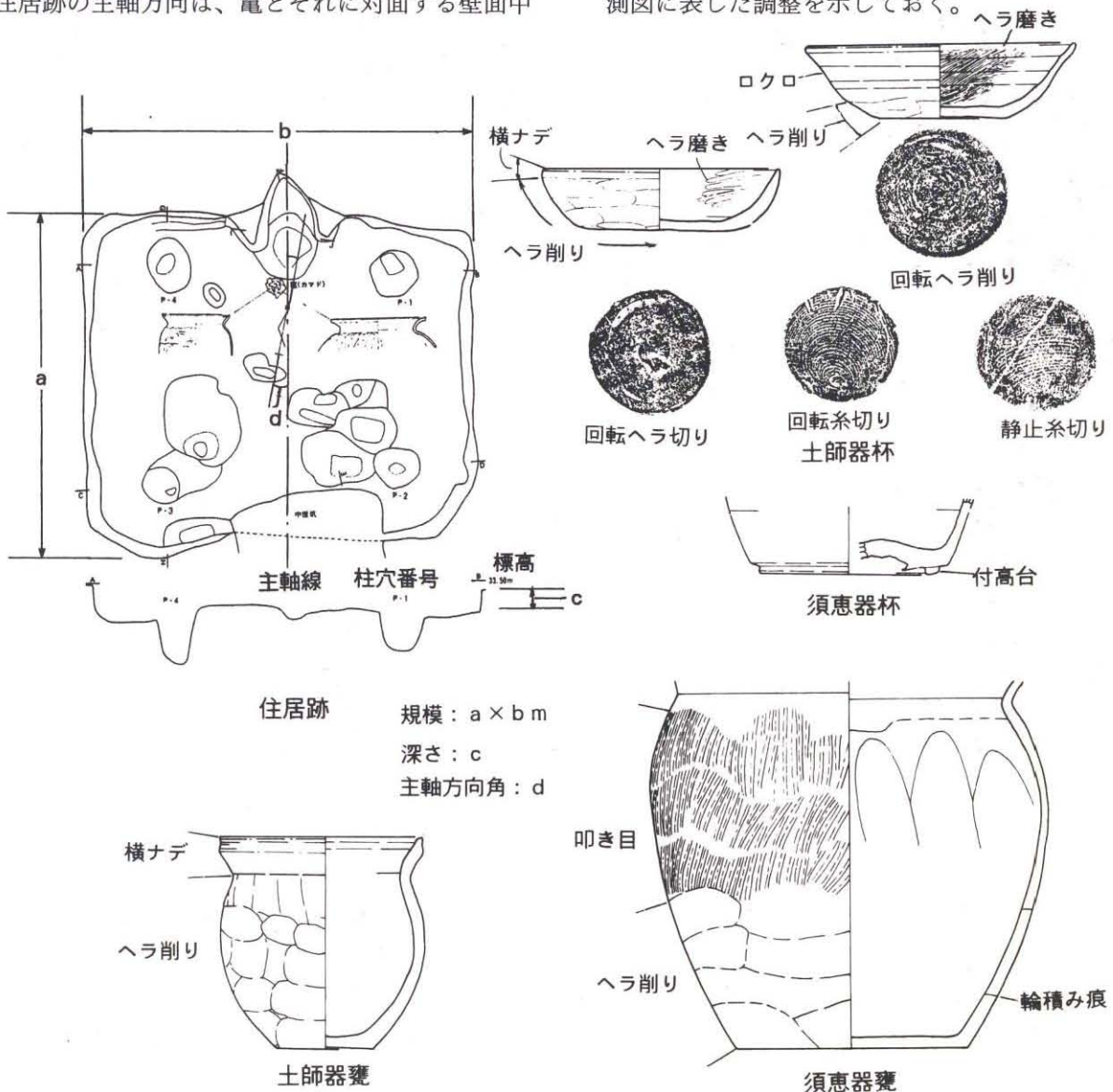
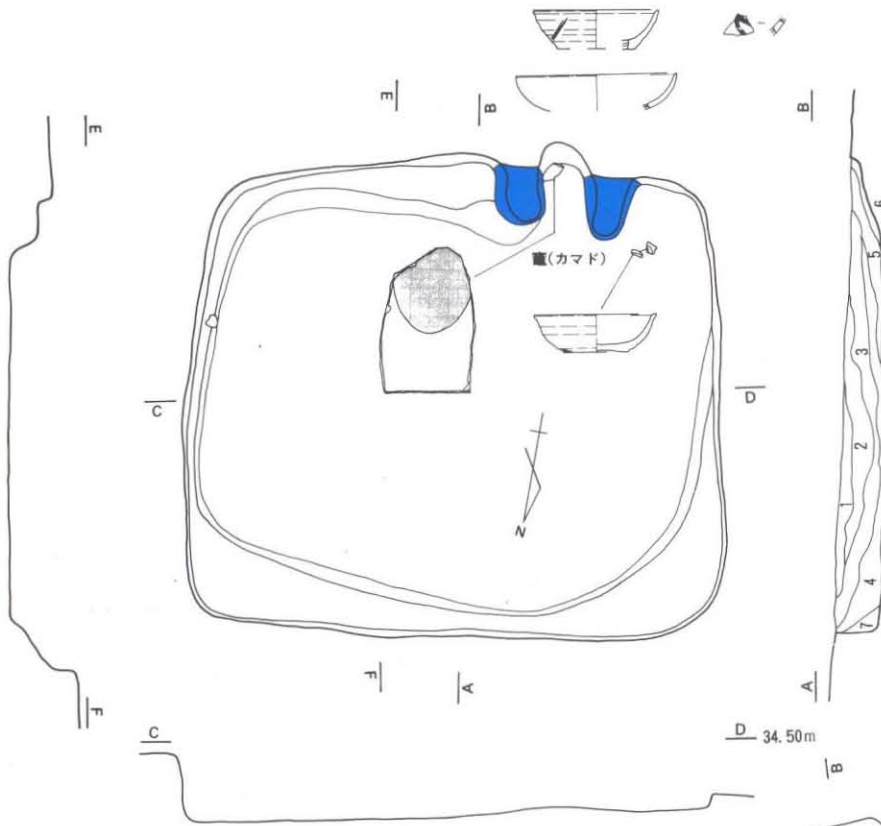
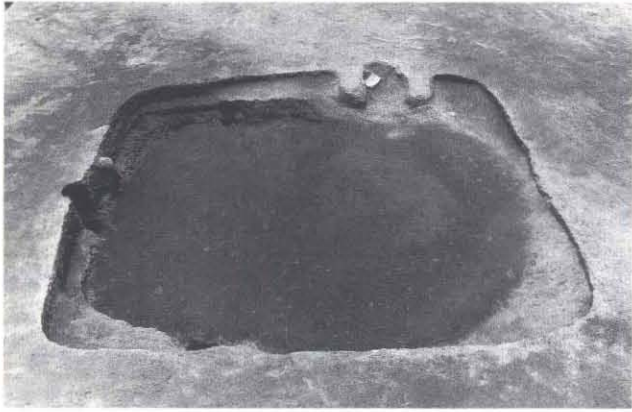


図63 奈良・平安時代凡例



3号住居跡

時期 平安10世紀前半
 位置 5F-31-18
 規模 3.20×3.60m
 主軸方向 S-9°-E
 深さ 0.30m
 床面 土坑を埋めて床面にし、軟らかい。
 竈(カマド) 構築材は砂と粘土で、袖部下部が残る。
 遺物 床面から杯、カマドから須恵製片転用
 硯出土。
 土坑を埋めて住居を造り、カマドは南壁にある。

- | | | |
|----|---|---------------------|
| 層序 | 1 | 明褐色土 (ロームが混じる) |
| | 2 | " (ローム、木炭粒が混じる) |
| | 3 | 暗褐色土 (") |
| | 4 | " (ロームが混じる) |
| | 5 | " (ローム、焼土が混じる) |
| | 6 | " (ローム、木炭粒が混じり、しまる) |
| | 7 | 黒褐色土 (ロームが少し混じる) |

1号平安坑

時期 平安10世紀前半
 位置 5F-31-18
 規模 3.50×2.80m
 主軸方向 N-90°-W
 深さ 1.15m
 床面 平坦で、硬い。
 遺物 覆土中から杯、高台付皿出土。

- | | | |
|----|---|-----------------------|
| 層序 | 1 | 黄褐色土 (ローム) |
| | 2 | 明褐色土 (ローム) |
| | 3 | 暗褐色土 (ローム、焼土が混じる) |
| | 4 | " (ローム、木炭粒が混じる) |
| | 5 | 黒褐色土 (ローム、焼土が混じる) |
| | 6 | " (焼土が混じる) |
| | 7 | 明褐色土 (ロームが多く混じる) |
| | 8 | 黒褐色土 (ロームが少し混じる) |
| | 9 | 暗褐色土 (ロームが少し混じり、軟らかい) |

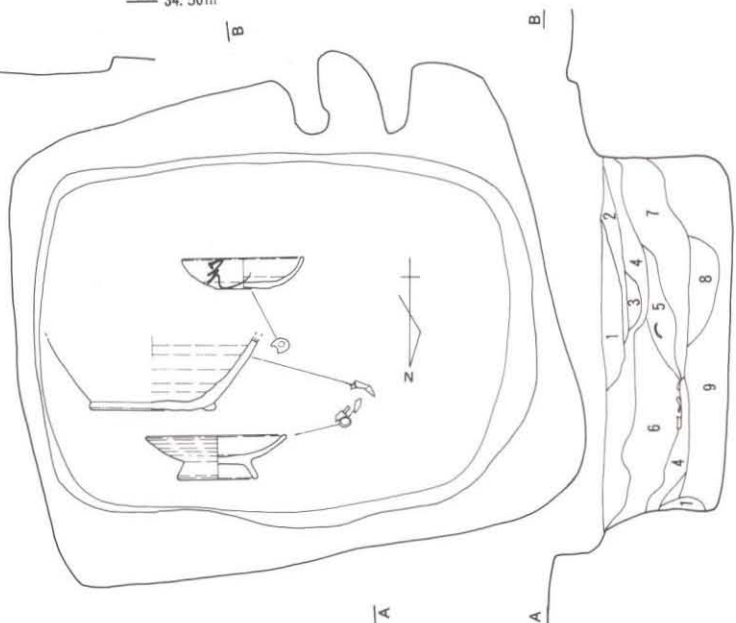
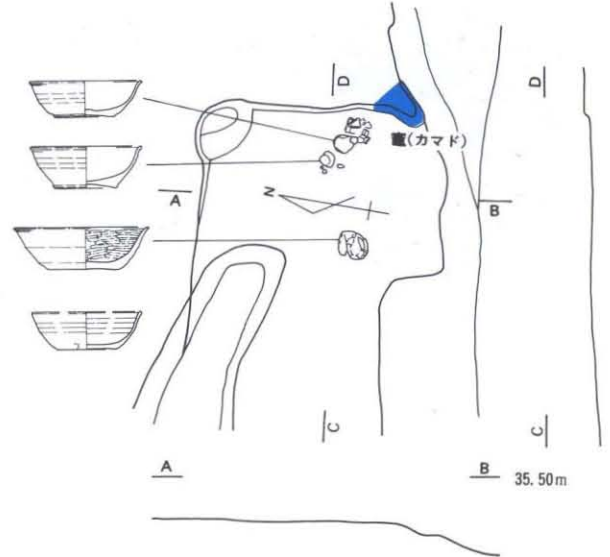


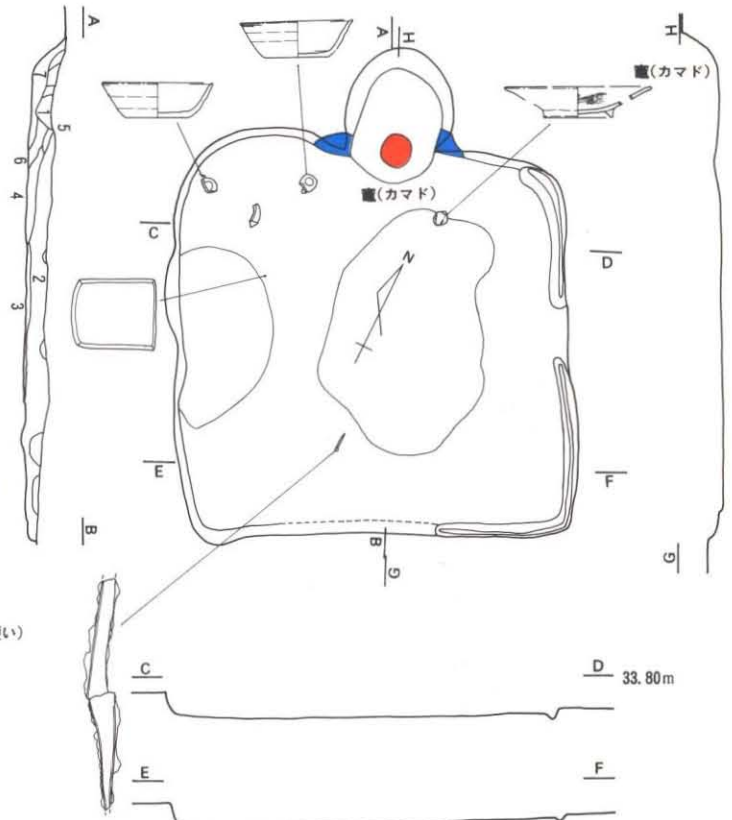
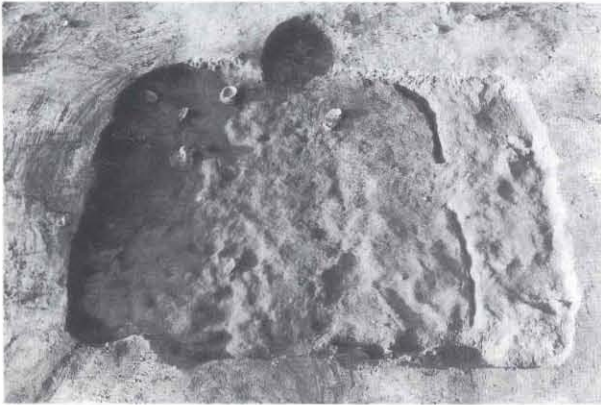
図64 奈良・平安時代の遺構① 3号住居跡・1号平安坑

0 1m



4号住居跡

時期 平安9世紀後半～10世紀始め
 位置 5F-31-8南
 規模 推定3.0m
 主軸方向 N-83°-E
 深さ 0.05m
 床面 平坦で軟らかい。
 竈(カマド) 東壁でわずかに袖部が残る。
 遺物 床面で杯3点出土。



6号住居跡

時期	平安9世紀後半	層序	1 攪乱
位置	5F-41-15	2	暗褐色土 (ロームが混じる)
規模	2.65×2.30m	3	" (ロームが少し湿じり、硬い)
主軸方向	N-26°-W	4	黒色土 (木炭粒、焼土が混じる)
深さ	0.05m	5	赤色焼砂
床面	中央部が砂貼床で、硬い。	6	灰褐色土 (灰、砂、焼土が混じる)
竈(カマド)	北壁中央で奥行きがある。	7	赤色焼土

火床がよく焼けている。
 遺物 床面で杯、皿、帯金具、刀子出土。
 中世の遺構による攪乱が著しい。

図65 奈良・平安時代の遺構②4・6号住居跡

0 1m

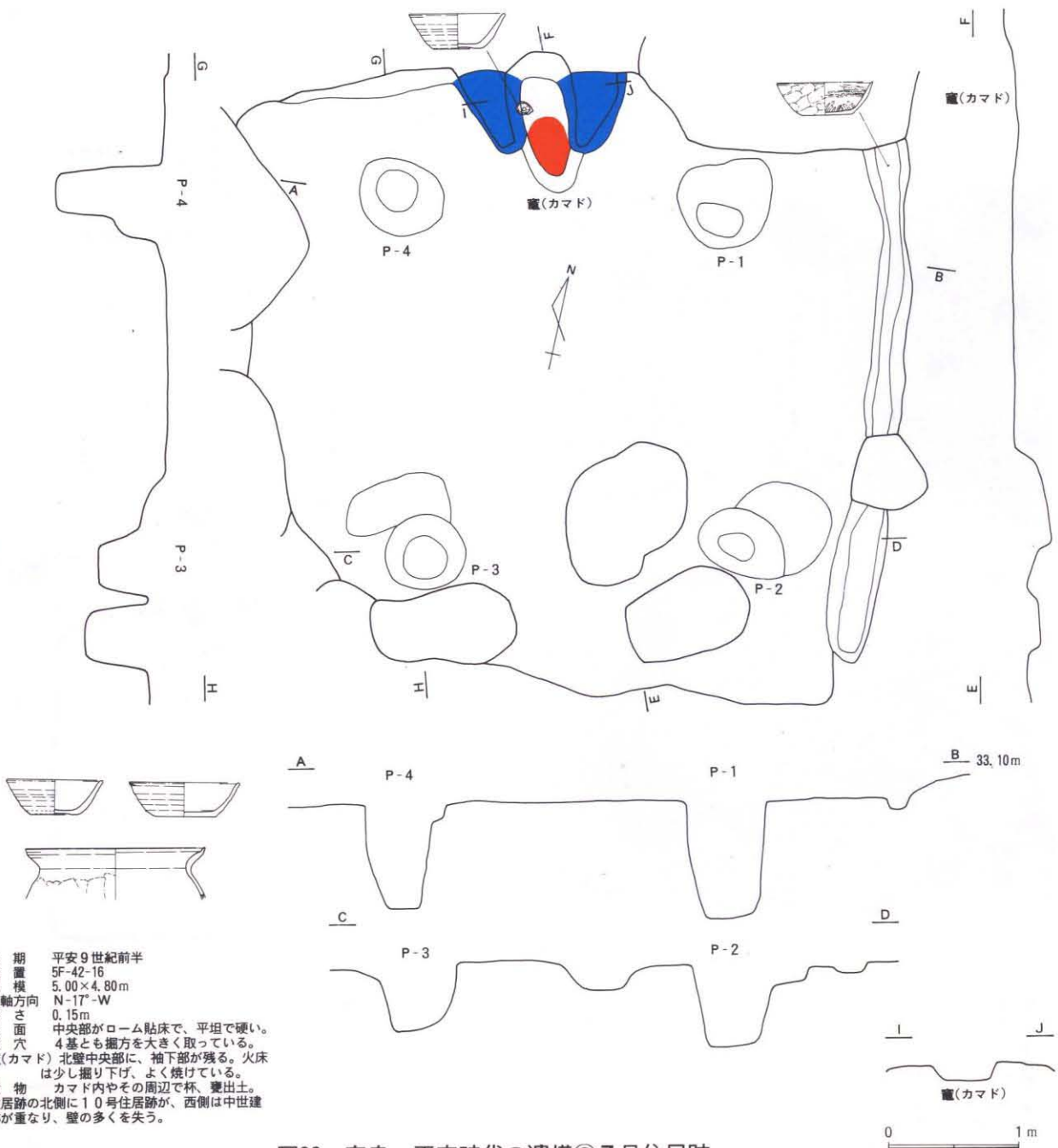
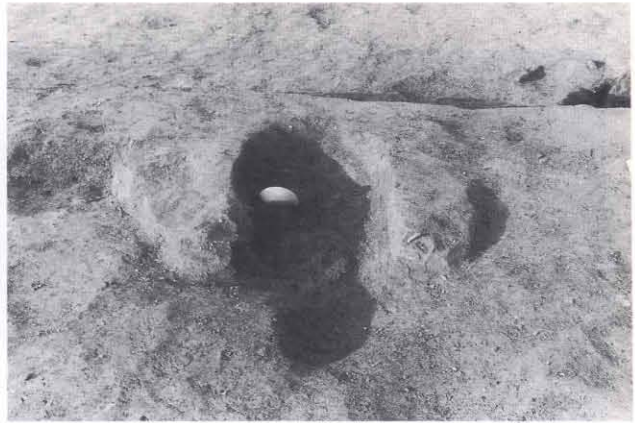
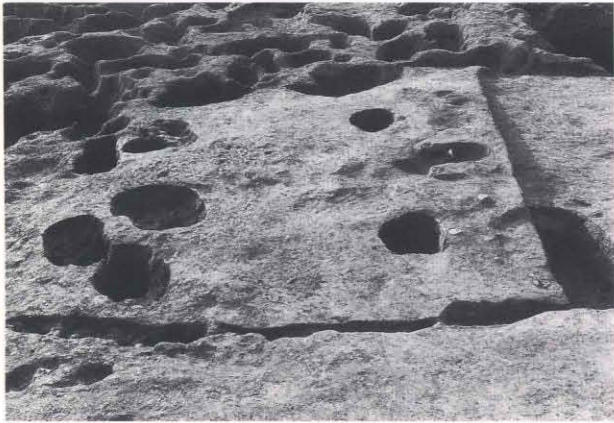
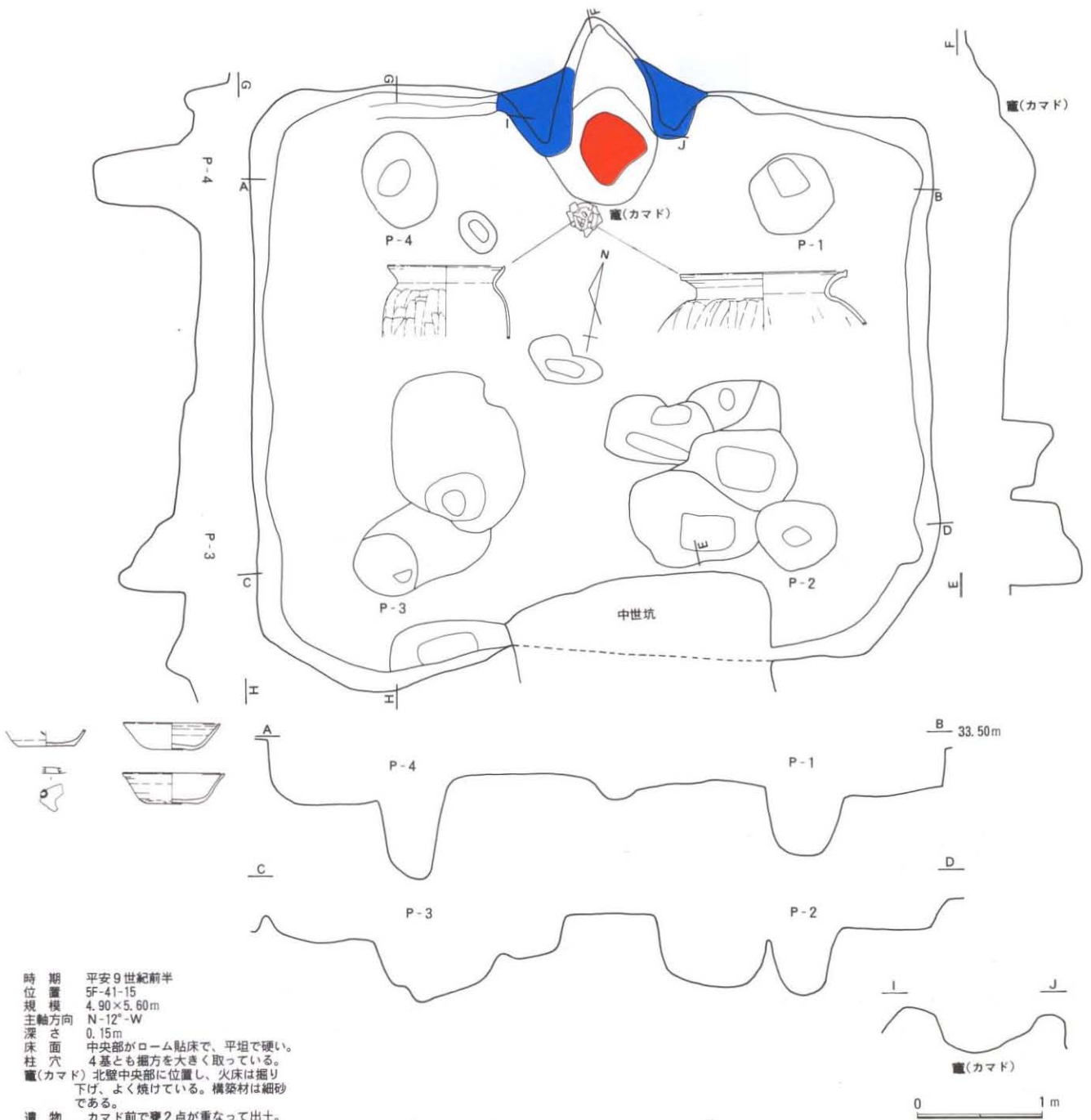


図66 奈良・平安時代の遺構③7号住居跡



時期 平安9世紀前半
 位置 5F-41-15
 規模 4.90×5.60m
 主軸方向 N-12°-W
 深さ 0.15m
 床面 中央部がローム貼床で、平坦で硬い。
 柱穴 4基とも掘方を大きく取っている。
 竈(カマド) 北壁中央部に位置し、火床は掘り下げ、よく焼けている。構築材は細砂である。
 遺物 カマド前で甕2点が重なって出土。住居跡の南側や床面を、中世遺構に掘り取られている。

図67 奈良・平安時代の遺構④8号住居跡

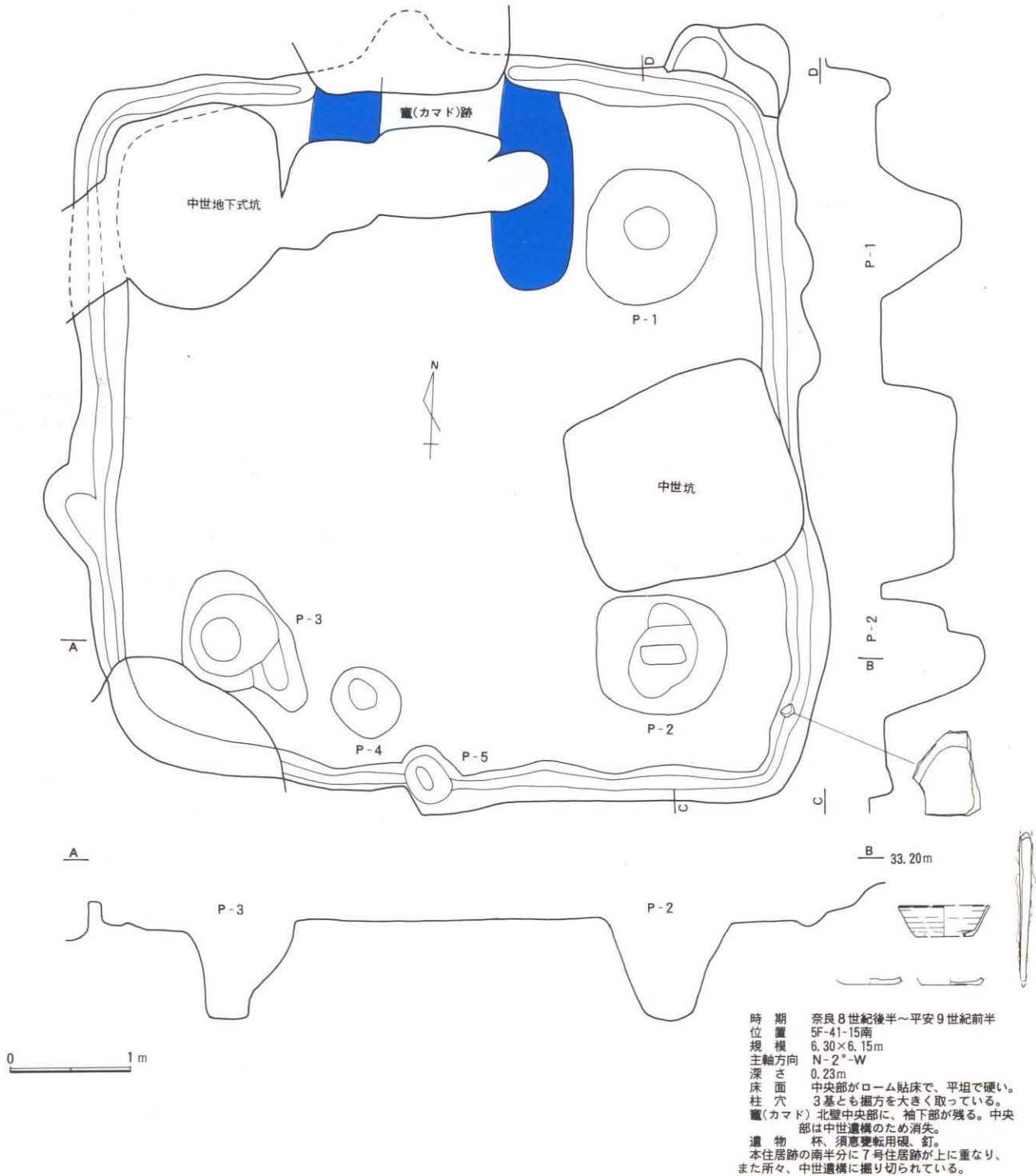
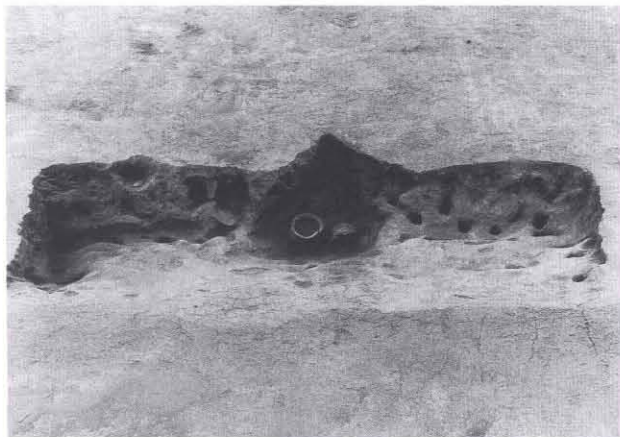
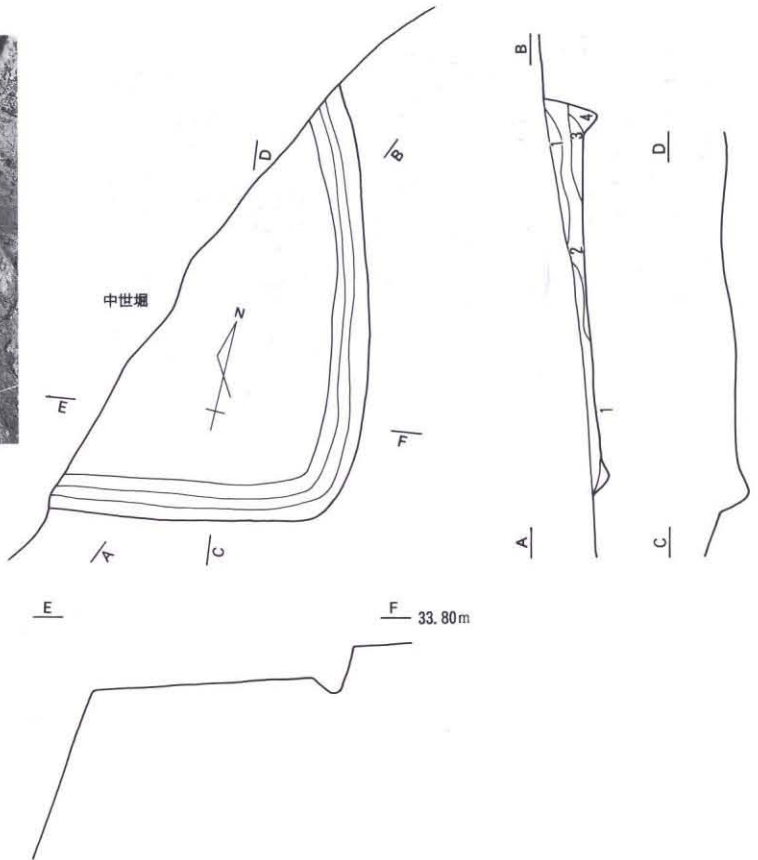


図68 奈良・平安時代の遺構⑤10号住居跡



11号住居跡

時期 平安9世紀中頃
 位置 5F-41-5北
 規模 2.90m以上
 主軸方向 N-8°-W
 深さ 0.10m
 床面 平坦で、少し軟らかい。
 西側のほとんどを、中世の堀に切り取られ、
 全容がわからなくなる。壁下の周溝は明確である。
 層序
 1 黒色土（ロームが少し混じる）
 2 暗褐色土（ " " ）
 3 "（ロームが混じり、硬い）
 4 "（ロームが混じり、軟らかい）



12号住居跡

時期 奈良8世紀後半
 位置 5F-41-12
 規模 3.50m
 主軸方向 N-57°-E
 深さ 0.75m
 床面 地山が粘土層で、凹凸があつて硬い。
 竈(カマド) 北壁中央で、袖部が少し残っていた。火床はよく焼けている。
 遺物 カマドから甕が2点出土。
 台地南側の斜面部にあり、半分が流失。壁際及び壁に、小穴がある。

層序 1 暗褐色土（砂が混じる）
 2 "（砂、焼土、木炭粒が混じる）
 3 "（砂、焼土が混じり、粘質）
 4 "（灰、木炭粒、焼土が混じる）

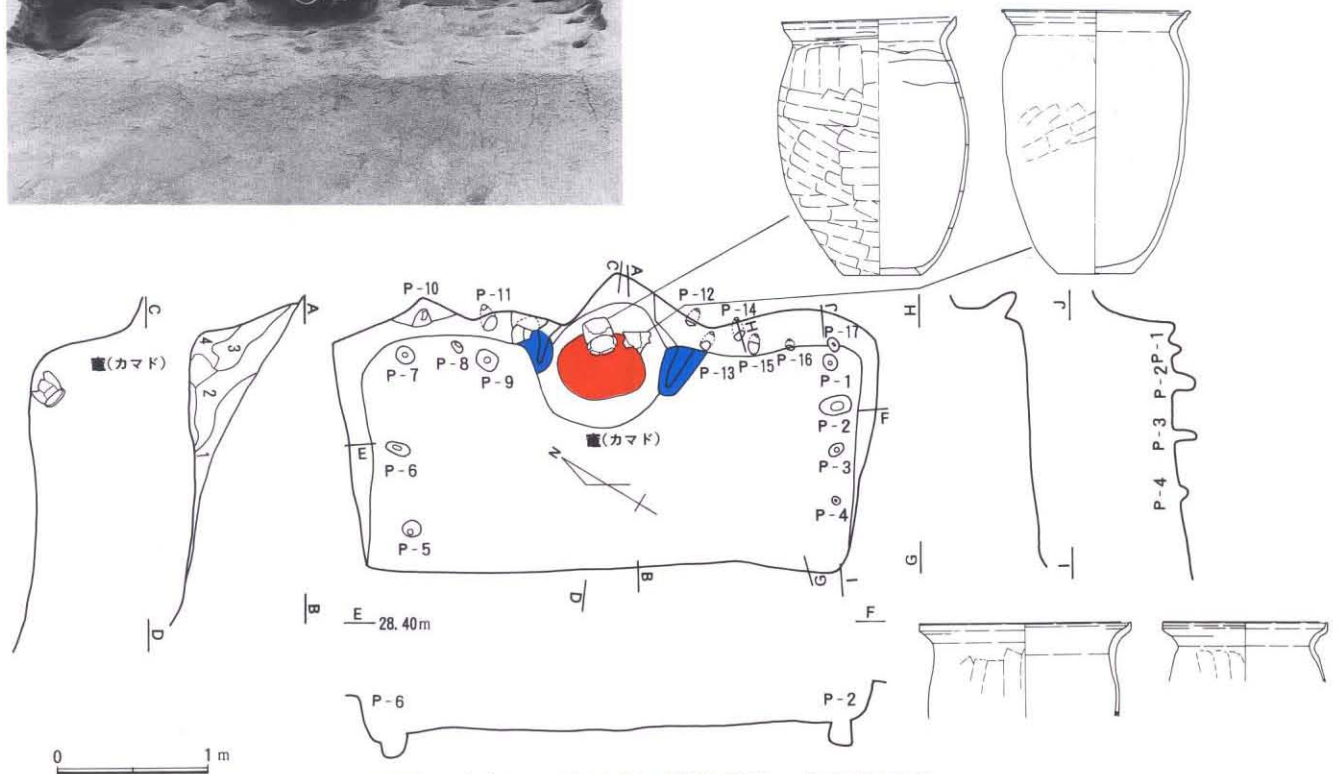
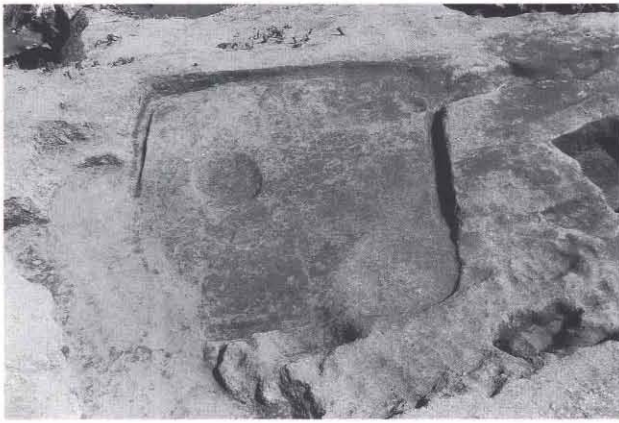
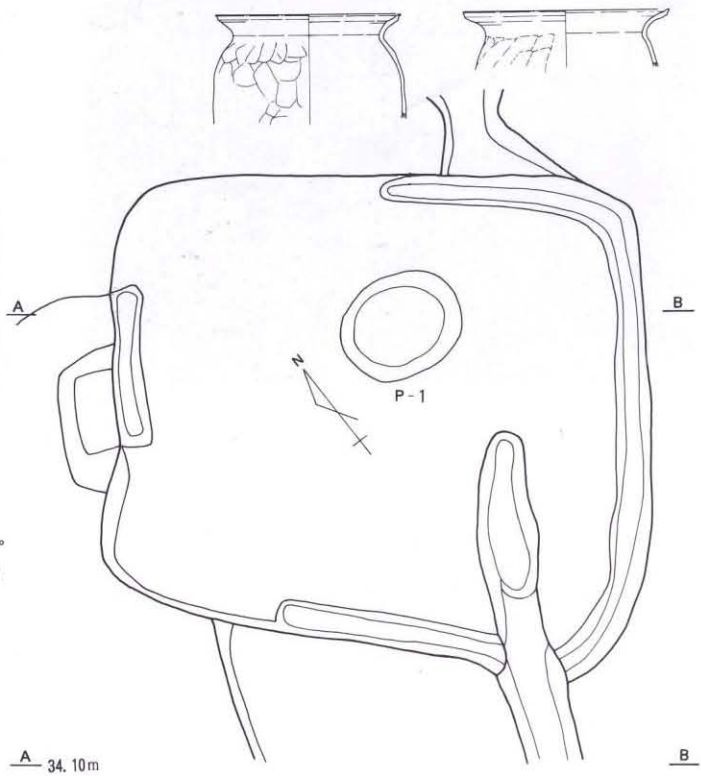


図69 奈良・平安時代の遺構①11・12号住居跡



13号住居跡
 時期 平安9世紀前半
 位置 5F-32-4
 規模 3.70×3.20m
 主軸方向 N-38°-E
 深さ 0.20m
 床面 中央部がローム貼床で、平坦で硬い。
 遺物 甕
 カマドや壁の一部が、中・近世の遺構に切り取られ、失う。



A 34.10m



14号住居跡
 時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-33-11北
 規模 推定3.80m
 主軸方向 N-24°-W
 深さ 0.10m
 床面 平坦で、少し軟らかい。
 柱穴 3基検出したが、よく分からない。
 遺物 杯、磁石
 台地東側の斜面部に位置したため、中世に掘削整地し、建物が立てられたため、ほとんど形を失う。

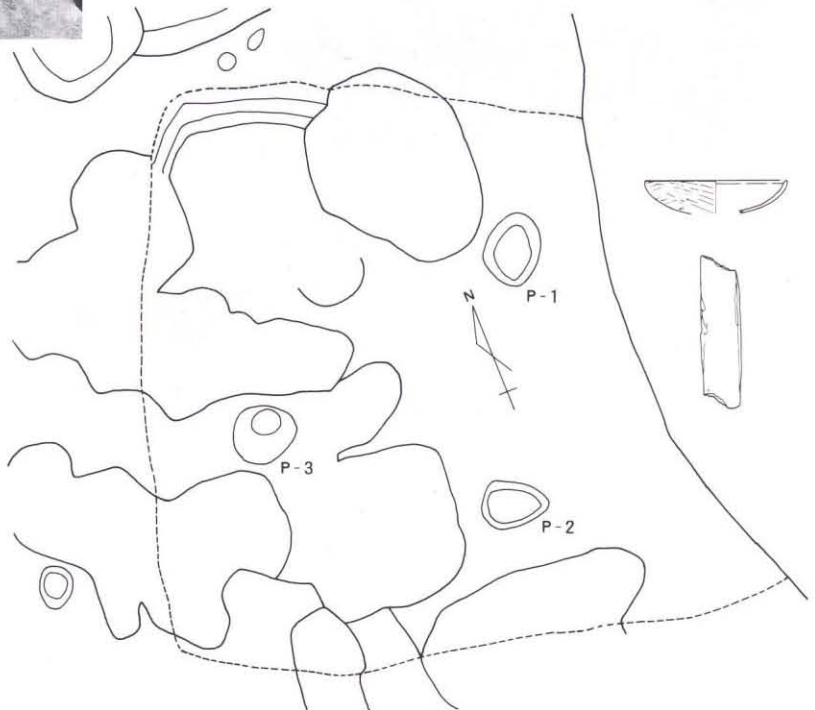


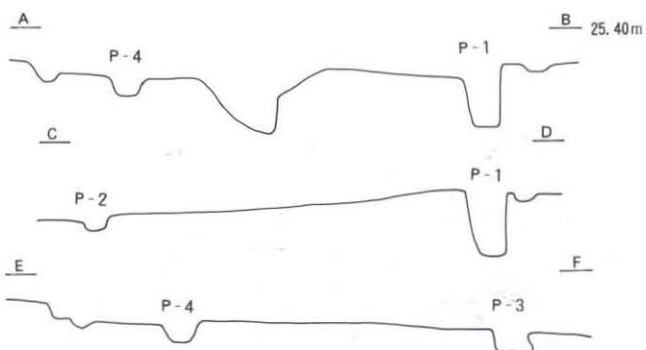
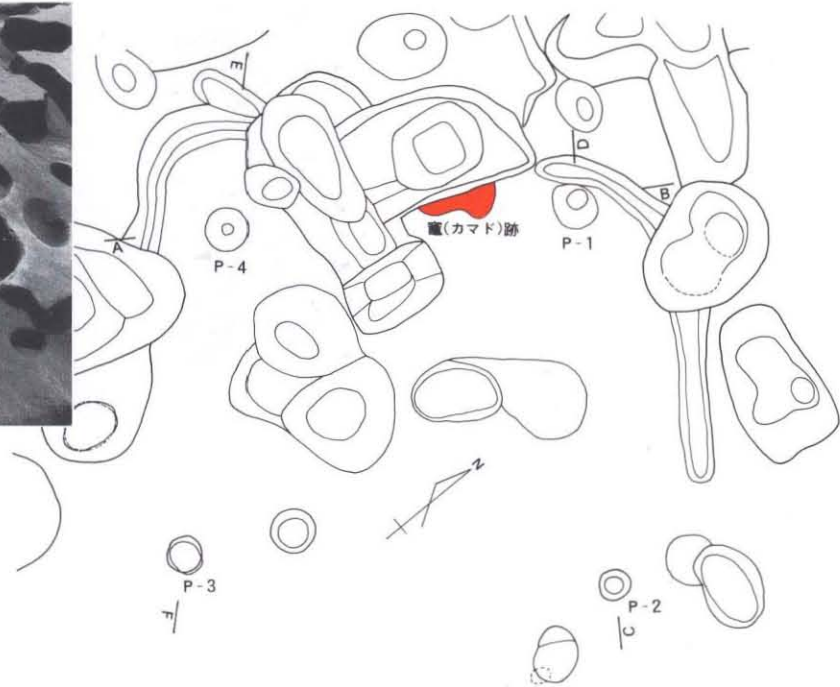
図70 奈良・平安時代の遺構⑦13・14号住居跡

0 1m



15号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-33-1
 規模 3.90m
 主軸方向 N-54°-E
 深さ 0.10m
 床面 地山が砂層で、部分的にロームを貼って、床にしている。
 柱穴 4基検出したが、いずれも浅い。
 14号住居跡同様、中世遺構に切り取られ、ほとんど形を失う。わずかに周溝を検出した。カマドの痕跡が北西壁中央に認められた。



16号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-23-21南
 規模 4.00m
 主軸方向 N-34°-W
 深さ 0.10m
 床面 地山が砂層で、全体にロームを貼って、床面になっている。
 柱穴 2基検出し、槽鉢状に掘っている。
 遺物 杯
 15号住居跡同様、台地東側の斜面部に位置したため、中世に掘削整地し、建物が立てられたため、ほとんど形を失う。

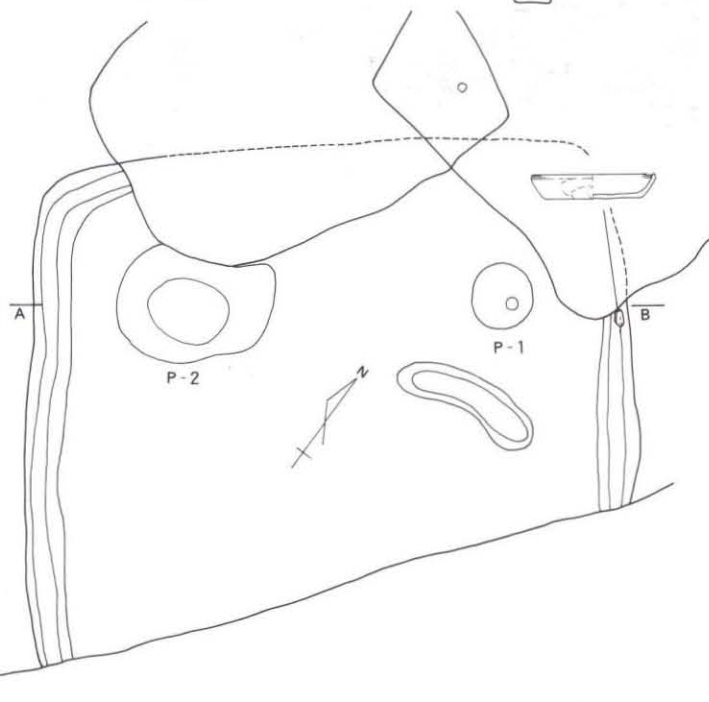
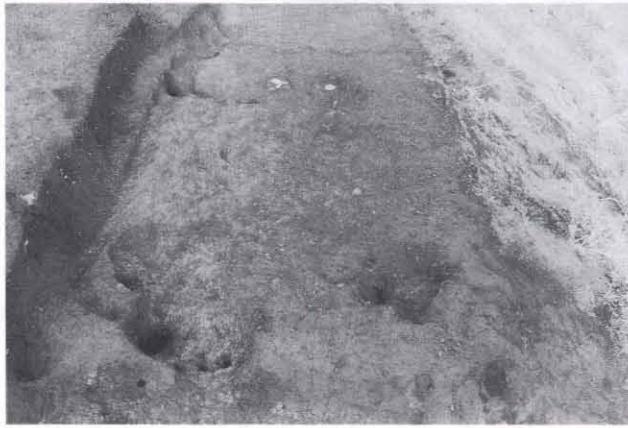
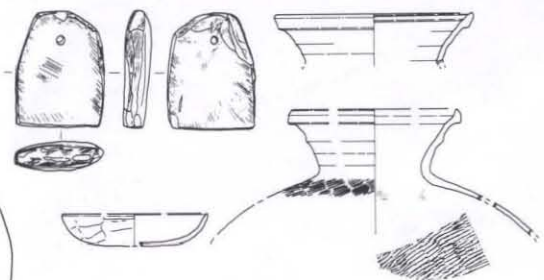
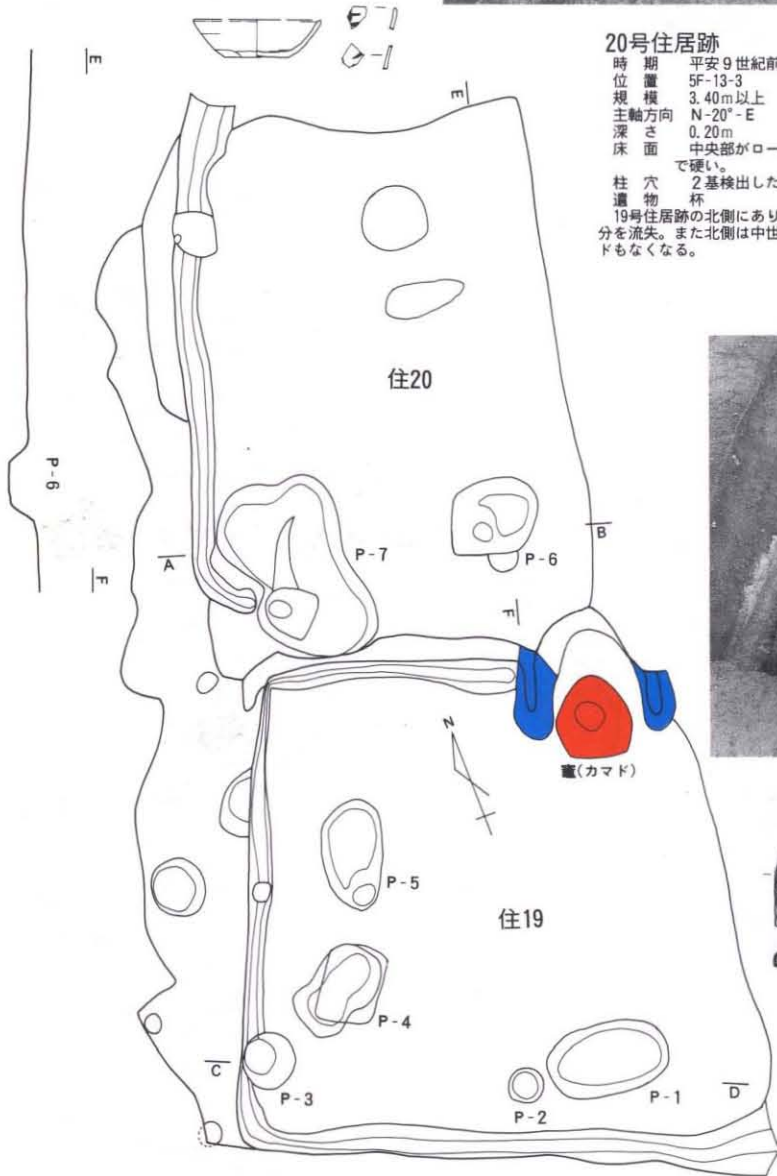


図71 奈良・平安時代の遺構⑧15・16号住居跡



20号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-13-3
 規模 3.40m以上
 主軸方向 N-20°-E
 深さ 0.20m
 床面 中央部がローム貼床になり、平坦で硬い。
 柱穴 2基検出した。
 遺物 杯
 19号住居跡の北側にあり、同じように東側半分を流失。また北側は中世遺構があって、カマドもなくなる。



19号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-13-3
 規模 3.30m
 主軸方向 N-22°-E
 深さ 0.28m
 床面 平坦で硬い。
 柱穴 2基検出した。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床はよく焼けている。
 遺物 杯、須恵壘、磁石。
 台地尾根筋の東側に位置し、東側を流失した。

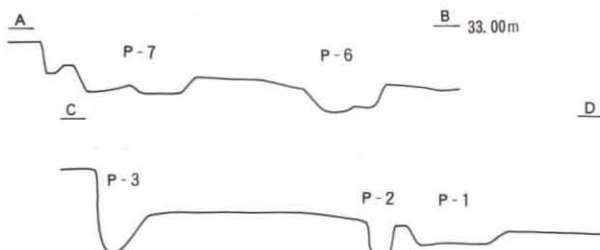


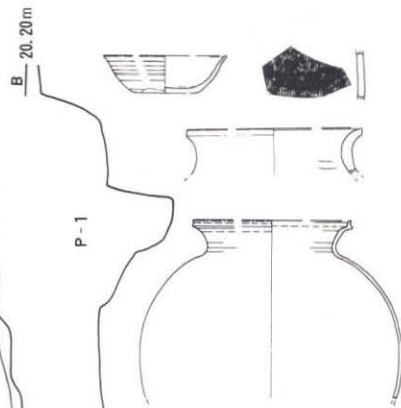
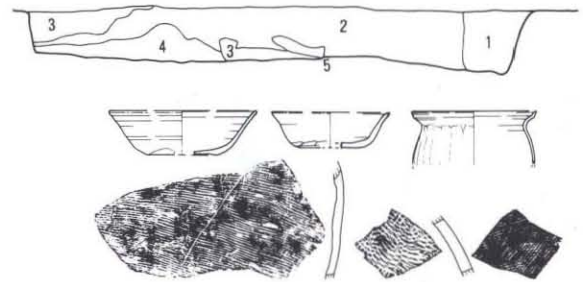
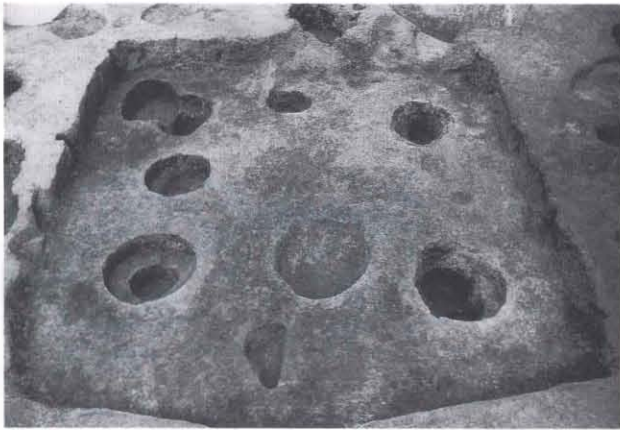
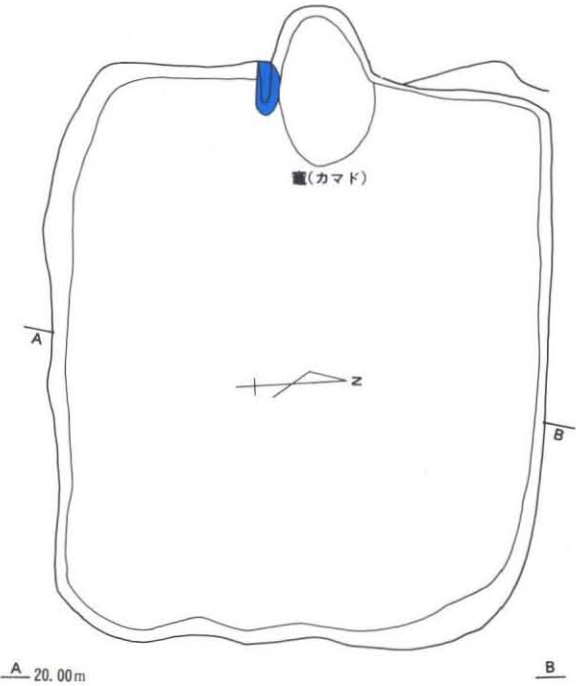
図72 奈良・平安時代の遺構⑨19・20号住居跡



21号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-23-10
 規模 3.85×3.25m
 主軸方向 N-83°-W
 深さ 0.25m
 床面 地山が黒色土層で、不明瞭。
 竈(カマド) 西壁中央で、袖部が少し残っていた。火床は焼けていない。
 台地東側の斜面部、黒色土帯上にあり、不明瞭であった。

- 層序 1 黒褐色土 (中世遺構)
 2 " (砂が混じる)
 3 褐色砂
 4 黒褐色土 (砂が混じり、粘質)
 5 褐色砂 (硬い)



22号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-23-4
 規模 4.70×4.75m
 主軸方向 N-78°-W
 深さ 0.40m
 床面 地山が黒色土層であるが、硬く平坦で、明瞭。
 柱穴 4基あり、いずれも掘方を大きくとっている。
 竈(カマド) 西壁中央で、袖部が残っていた。火床は焼けていない。
 遺物 杯、甕
 台地東側の斜面部、黒色土帯上にあるが、明瞭に分かる。

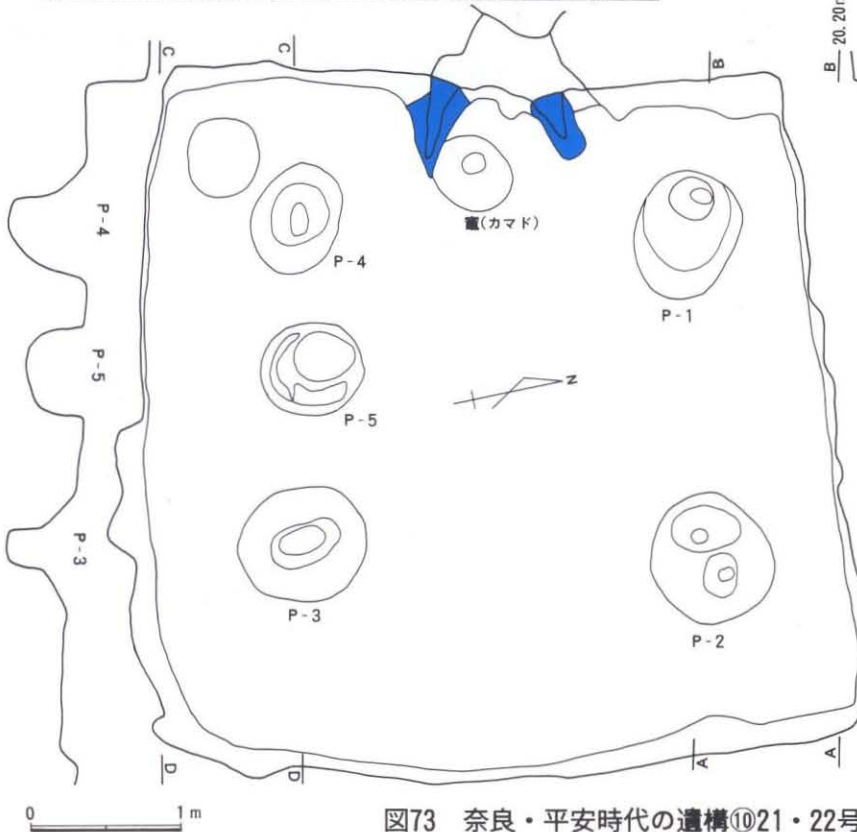
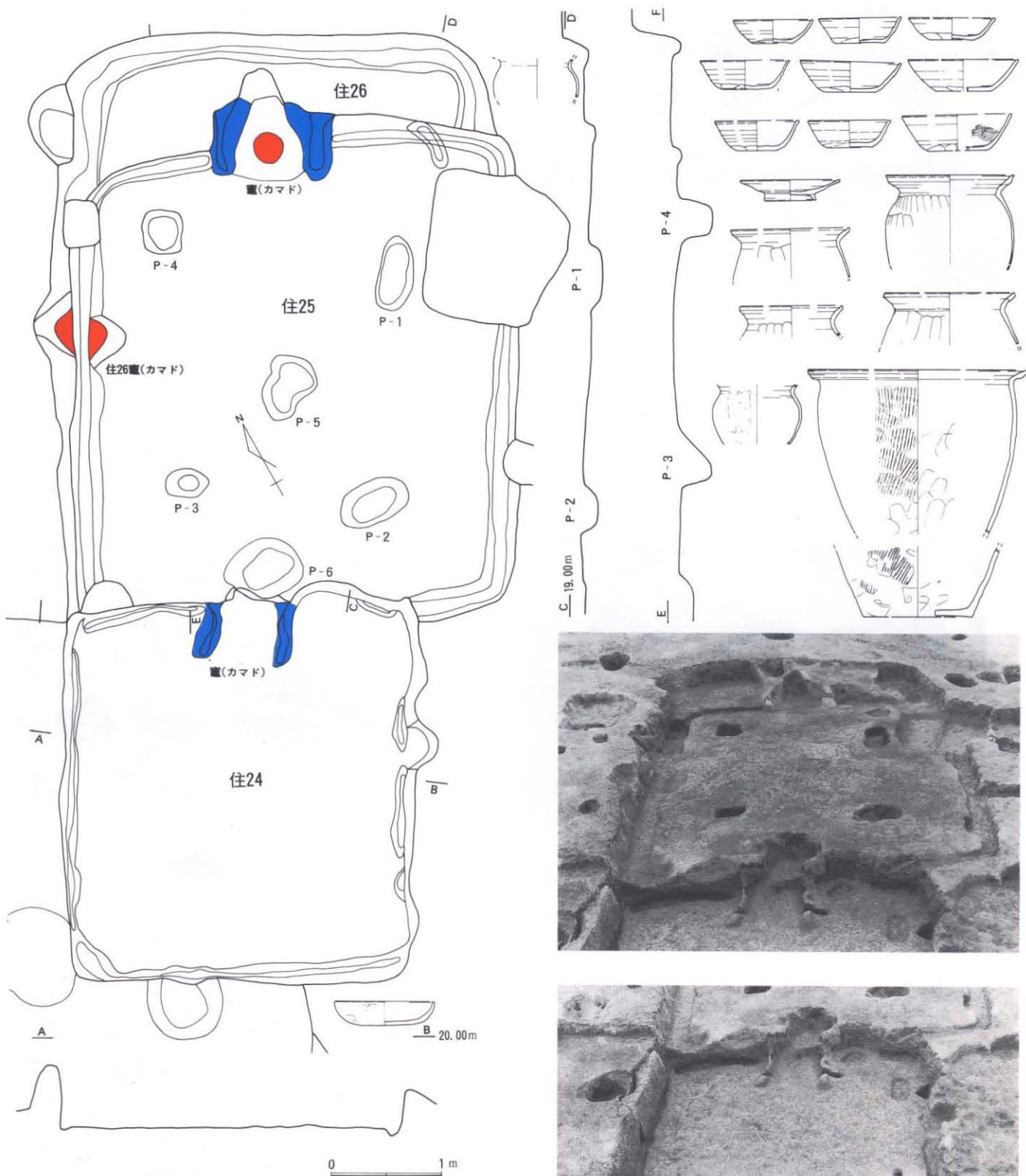


図73 奈良・平安時代の遺構⑩21・22号住居跡



24号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-14-16
 規模 3.35×3.20m
 主軸方向 N-30°-E
 深さ 0.50m
 床面 地山が砂層で、平坦で硬い。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床は平
 で、焼けていない。
 遺物 杯。
 西側に23号住居跡が重なる。

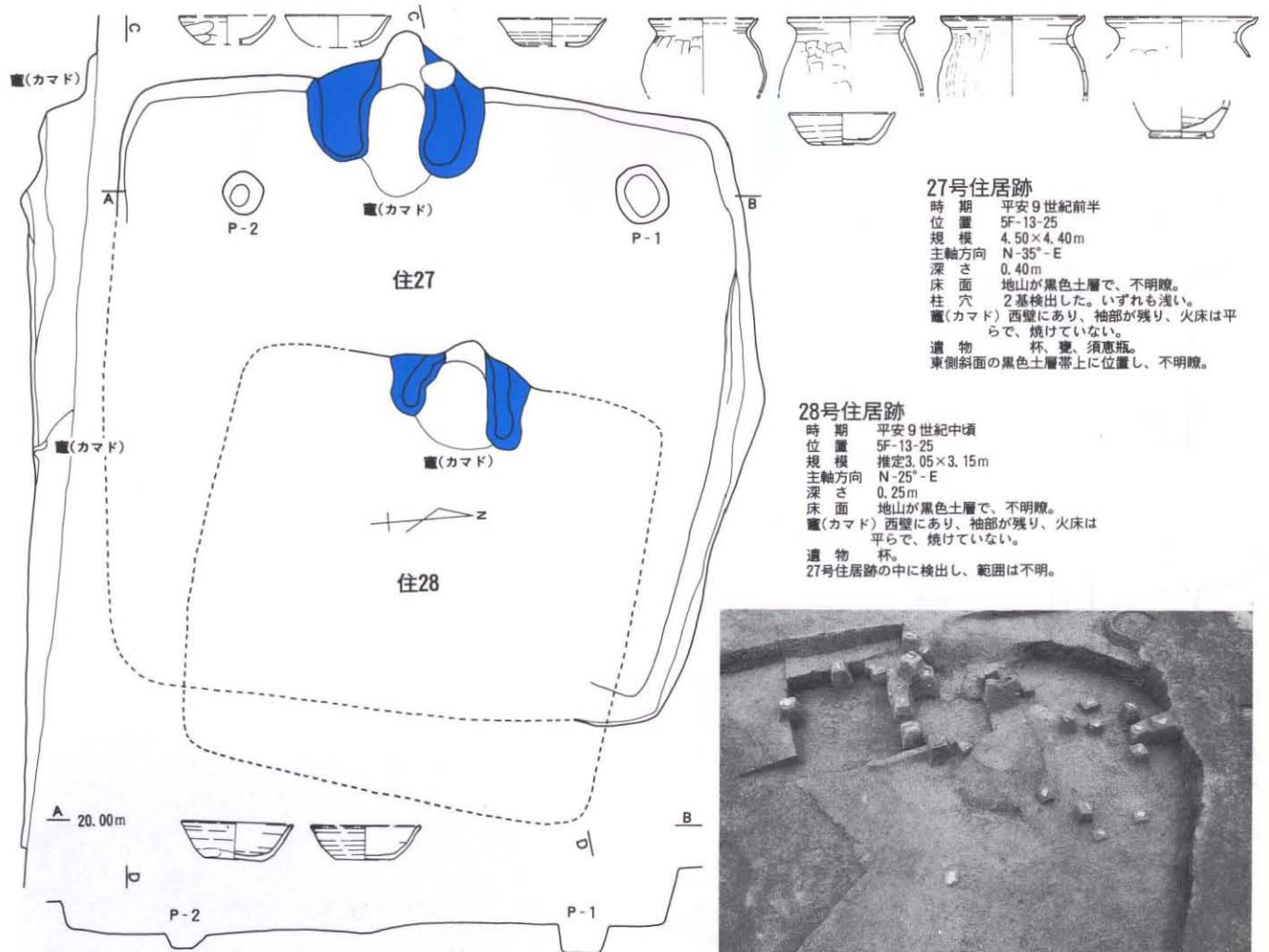
25号住居跡

時期 平安9世紀後半
 位置 5F-14-16
 規模 4.50×4.15m
 主軸方向 N-30°-E
 深さ 0.35m
 床面 中央部がローム貼床になり、平坦
 で硬い。
 柱穴 4基検出した。いずれも浅い。
 遺物 杯、皿、甕。
 26号住居跡を壊して掘られ、南側に24号住
 居跡が隣接する。

26号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-14-16
 規模 3.95m
 主軸方向 N-59°-W
 深さ 0.20m
 床面 平坦で硬い。
 竈(カマド) 西壁中央に、よく焼けた火床が残っ
 ていた。
 遺物 甕

図74 奈良・平安時代の遺構①24・25・26号住居跡



28号住居跡

時期	平安9世紀中頃
位置	5F-13-25
規模	推定3.05×3.15m
主軸方向	N-25°-E
深さ	0.25m
床面	地山が黒色土層で、不明瞭。
竈(カマド)	西壁にあり、袖部が残り、火床は平らで、焼けていない。
遺物	杯。
	27号住居跡の中に検出し、範囲は不明。

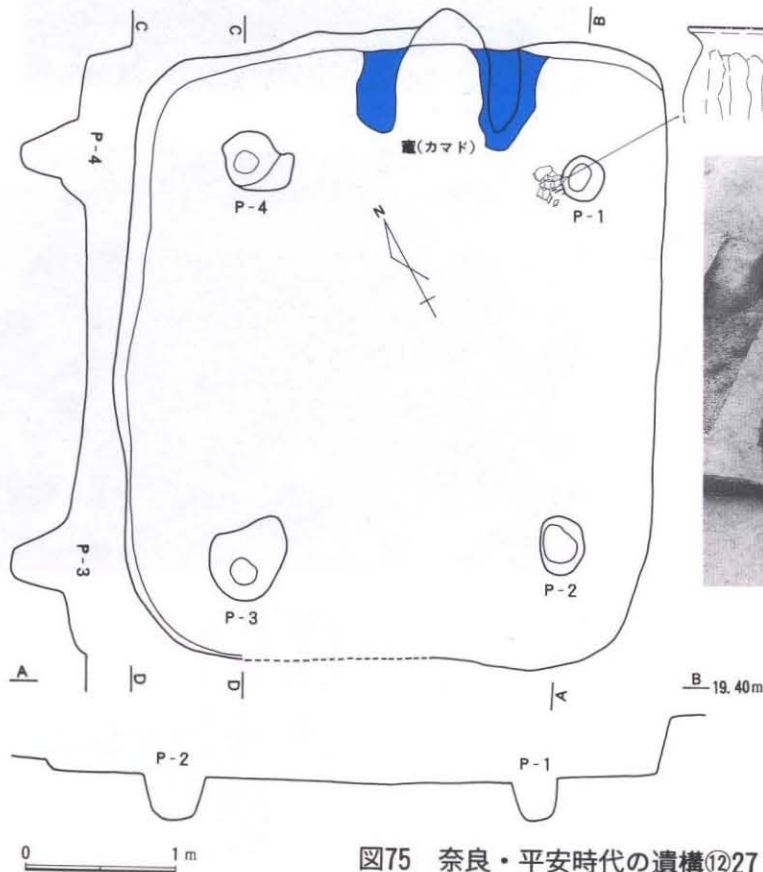
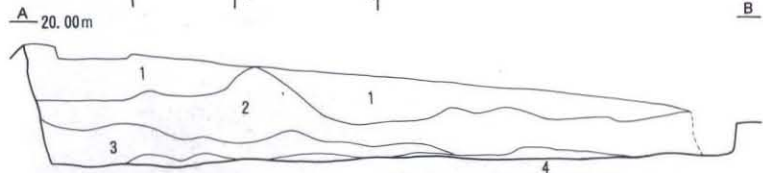
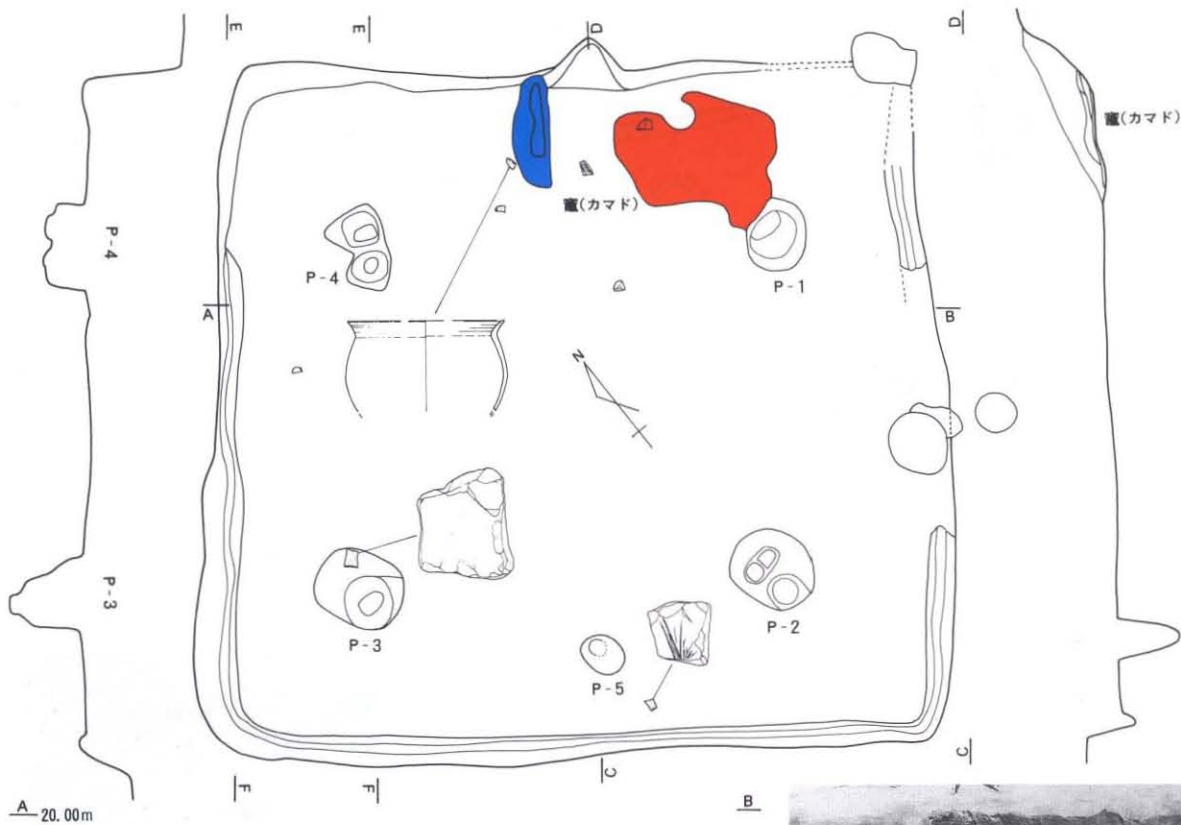


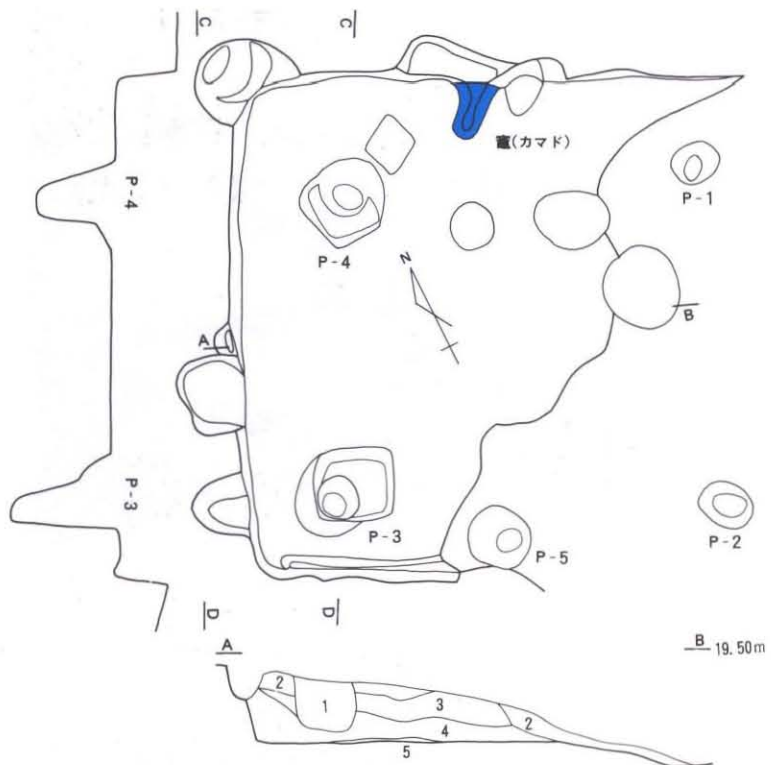
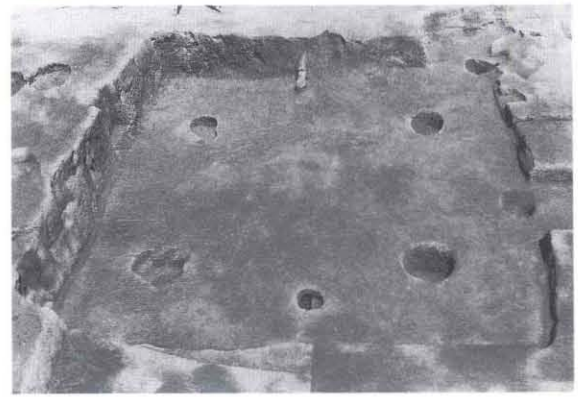
図75 奈良・平安時代の遺構①27・28・29号住居跡



30号住居跡

時期 奈良8世紀前半か
 位置 5F-14-21
 規模 4.55×4.85m
 主軸方向 N-35°-E
 深さ 0.60m
 床面 地山が砂層で、粘土を貼り、平坦で硬い。

柱穴 4基あり、漏斗状に掘っている。
 竈(カマド) 北東壁にあり、片方の袖部が残り、火床は平らで、焼けていない。
 遺物 甕、凹石、磁石。
 層序 1 黒褐色砂
 2 暗褐色土(粘質)
 3 黒褐色土(〃)
 4 褐色土(〃)



B 19.50m

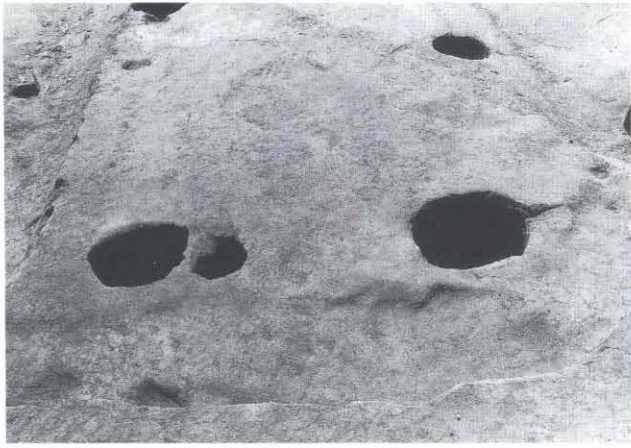


31号住居跡

時期 奈良8世紀か
 位置 5F-14-16
 規模 3.35m
 主軸方向 N-25°-E
 深さ 0.50m
 床面 平坦で硬い。
 柱穴 4基あり、漏斗状に掘っている。
 竈(カマド) 北壁にあり、片方の袖部が残り、火床は焼けていない。
 層序 1 褐色砂(中世柱穴)
 2 暗褐色砂
 3 黄褐色砂
 4 褐色砂
 5 黄褐色砂(硬い)

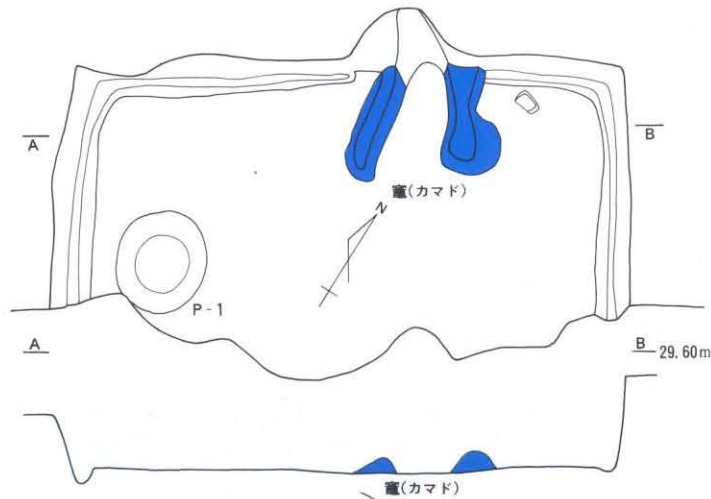
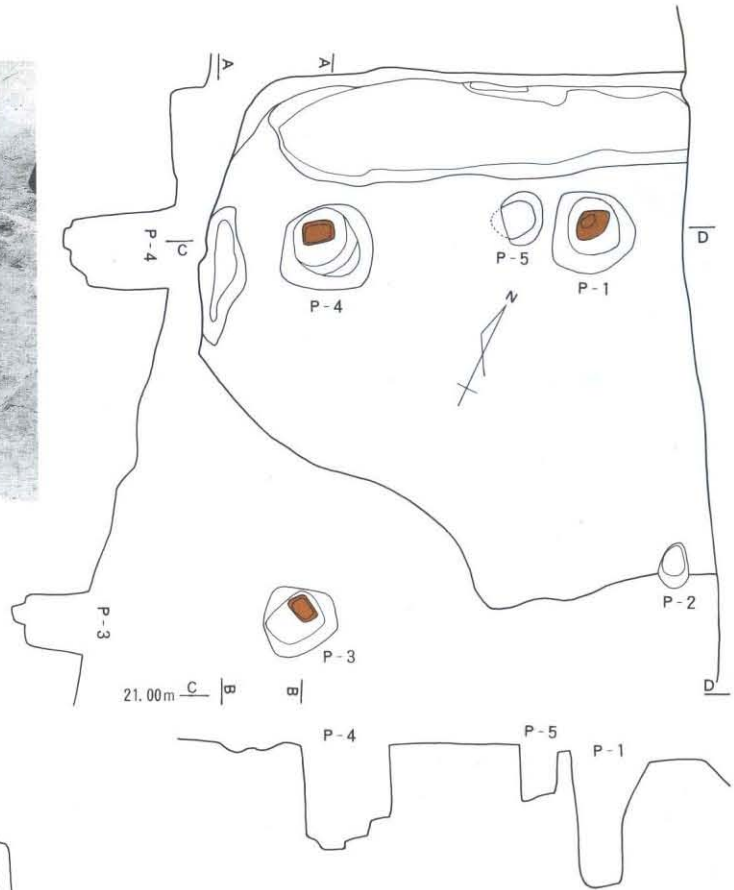


図76 奈良・平安時代の遺構⑬30・31号住居跡



32号住居跡

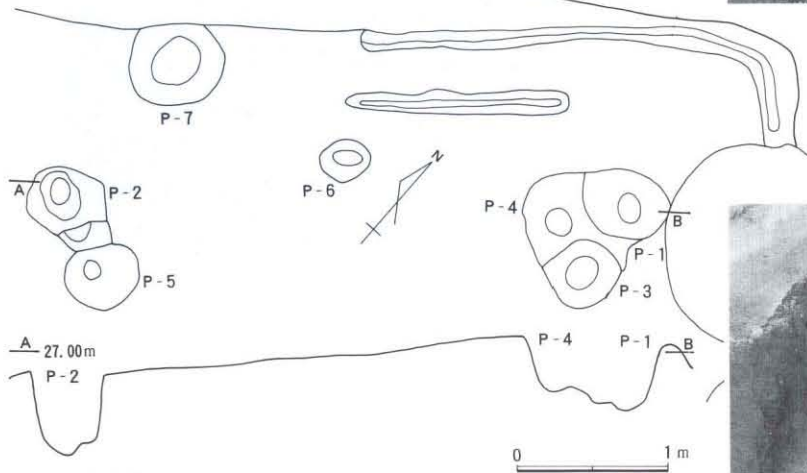
時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-14-11
 規模 推定3.60m
 主軸方向 N-63°-E
 深さ 0.20m
 床面 平坦で硬い。
 柱穴 4基検出した。内3基の底に柱の接
 着痕を確認した。
 遺物 杯、甕の破片。
 斜面部にあり、東側を溝に切り取られる。



33号住居跡

時期 奈良8世紀中頃
 位置 5F-3-25
 規模 推定3.80m
 主軸方向 N-56°-W
 深さ 0.55m
 床面 少し凹凸があるが、硬い。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床は
 平らで、焼けていない。

遺物 杯、甕の破片。
 斜面にあり、南半分を流失する。



34号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-3-25
 規模 5.50m
 主軸方向 N-46°-E
 深さ 0.80m
 床面 平坦で硬い。
 柱穴 2箇所に6基あり、上屋の建て替え
 に、2回の掘り直しが見られる。
 遺物 杯、甕の破片。
 斜面部にあり、7割近くを流失する。

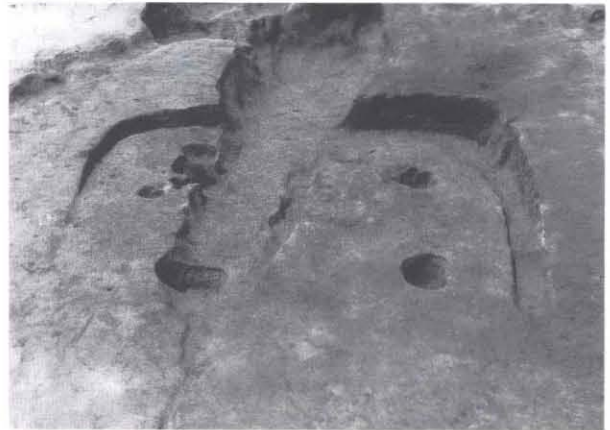
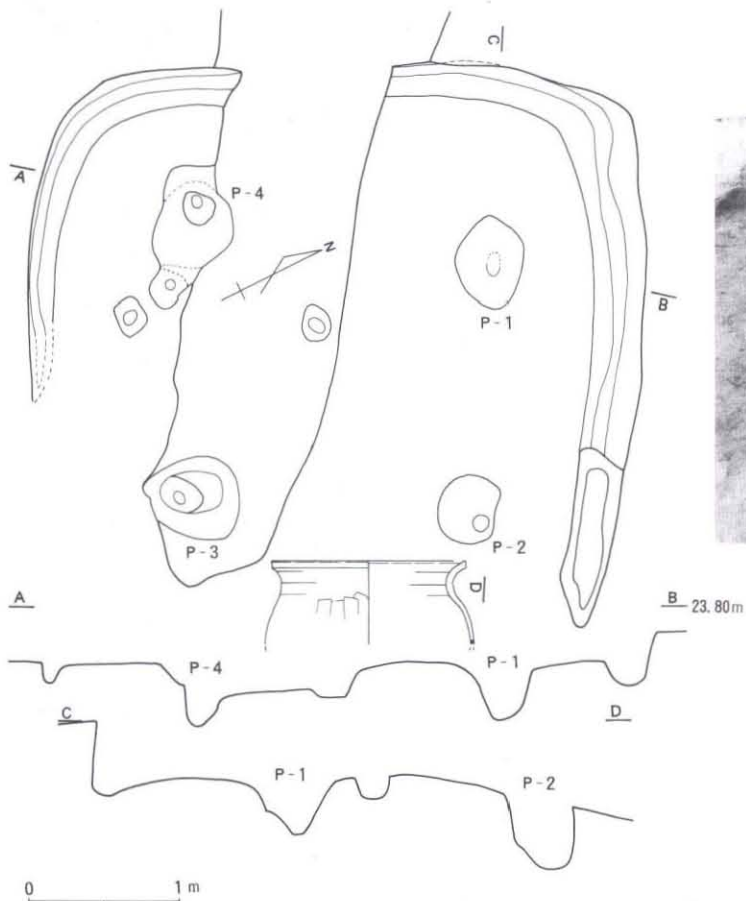
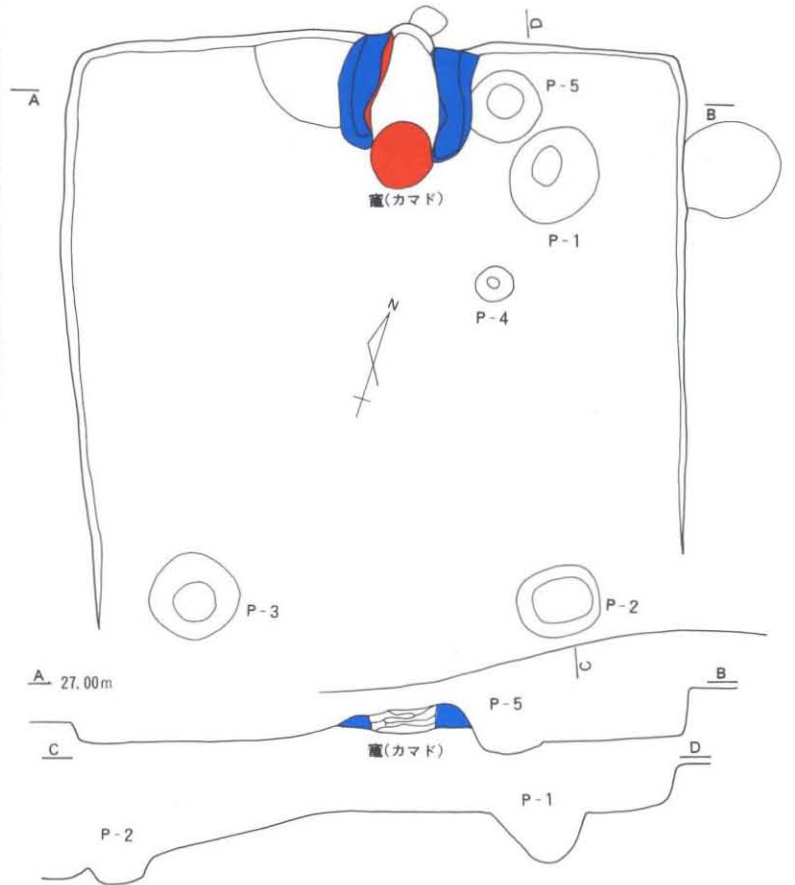


図77 奈良・平安時代の遺構④32・33・34号住居跡



35号住居跡

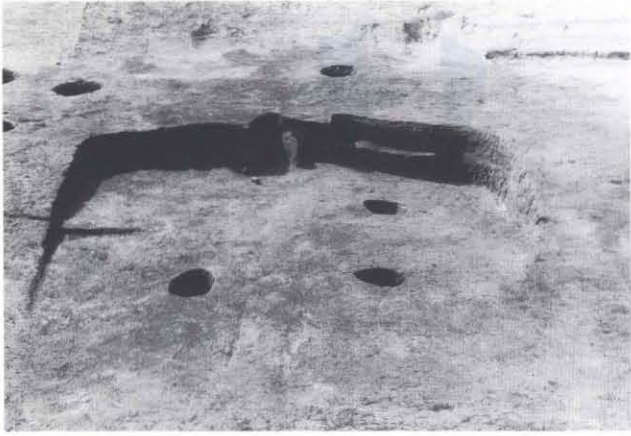
時期 奈良8世紀前半か
 位置 5F-14-21西
 規模 4.40×4.10m
 主軸方向 N-19°-W
 深さ 0.25m
 床面 平坦で軟らかい。
 柱穴 3基あり、いずれも浅い。
 竈(カマド) 北壁にあり、火床は平らで、よく焼けている。
 遺物 甕の破片。
 斜面部にあり、南側を流失する。



36号住居跡

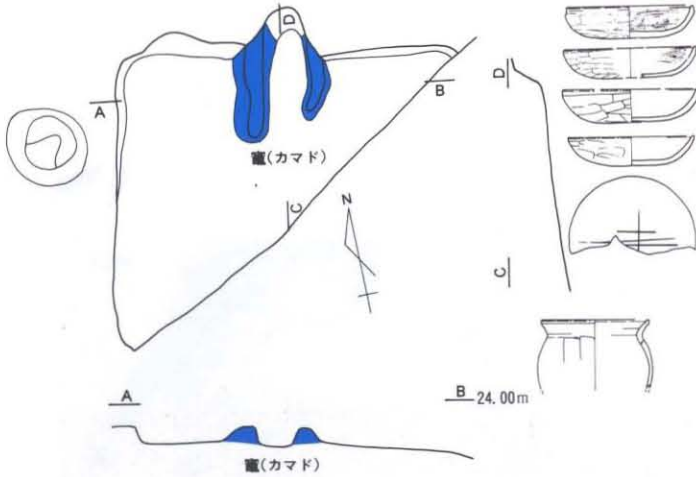
時期 奈良8世紀か
 位置 5F-13-10
 規模 4.10m
 主軸方向 N-60°-W
 深さ 0.40m
 床面 平坦で硬い。
 柱穴 4基あり、漏斗状か槽鉢状に掘っている。
 遺物 甕、杯の破片。
 斜面部にあり、また住居跡の中央を溝に切り取られる。

図78 奈良・平安時代の遺構⑤35・36号住居跡



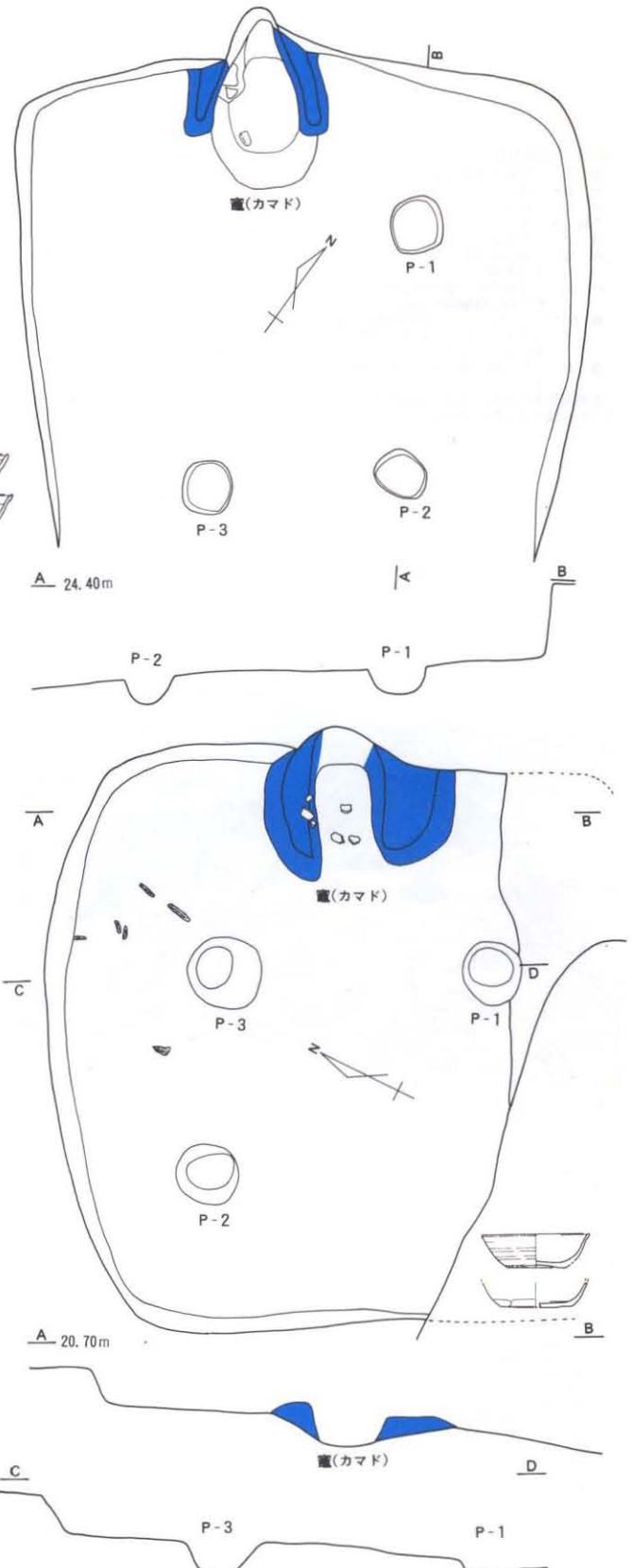
37号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-14-1
 規模 3.95m
 主軸方向 N-38°-W
 深さ 0.52m
 床面 平坦で軟らかい。
 柱穴 3基検出した。いずれも浅い。
 竈(カマド) 袖部が残り、火床は少し掘りくぼめ、焼けていない。
 遺物 杯。
 斜面部にあり、南側を流失する。



38号住居跡

時期 奈良8世紀前半
 位置 5F-14-1
 規模 推定2.00m
 主軸方向 N-8°-E
 深さ 0.20m
 床面 平坦で軟らかい。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床は平らで、焼けていない。
 遺物 杯、甕。
 斜面部にあり、南半分を流失する。



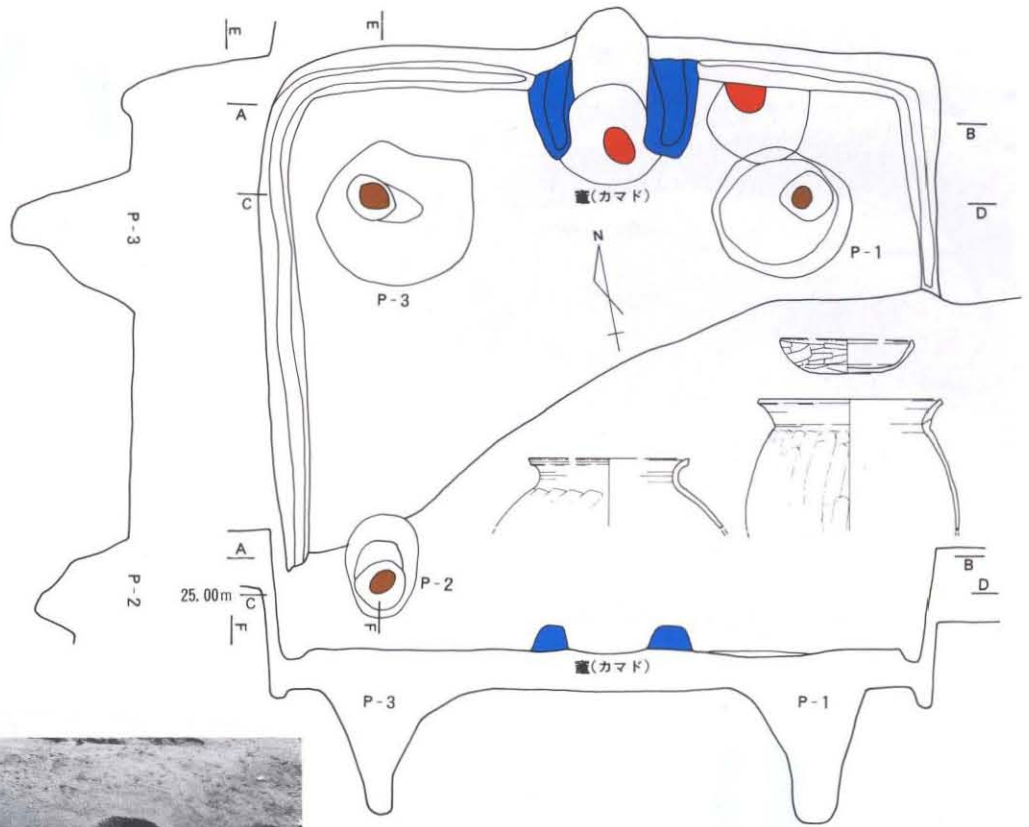
39号住居跡

時期 平安9世紀中頃
 位置 5F-14-11
 規模 4.10m
 主軸方向 N-64°-E
 深さ 0.25m
 床面 中央部でローム貼床となつて、平坦で硬い。
 柱穴 3基検出、いずれも浅い。
 竈(カマド) 北東壁にあり、袖部を大きくとり、火床は少し掘りくぼめ、焼けていない。
 遺物 杯。
 斜面部にあり、南側を流失する。

図79 奈良・平安時代の遺構①37・38・39号住居跡

41号住居跡

時期 奈良8世紀中頃
 位置 5F-14-3
 規模 4.45m
 主軸方向 N-10°-E
 深さ 0.85m
 床面 地山が黒色土で、ロームを貼り、
 平坦で硬い。
 柱穴 4基あり、漏斗状に掘っている。
 底に柱の接着痕を検出。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床
 は平らで、焼けている。煙道は垂
 直に立ち上がる。
 遺物 杯、甕。覆土中に多量の遺物出
 土。
 谷頭部最奥の斜面にあり、南側が流失。カ
 マドの右脇に灰と焼土を検出。



42号住居跡

時期 平安9世紀前半
 位置 5F-14-4
 規模 3.80m
 主軸方向 N-35°-E
 深さ 0.45m
 床面 平坦で軟らかい。
 柱穴 4基あり、いずれも浅い。
 竈(カマド) 北壁にあり、袖部が残り、火床は
 焼けていない。
 遺物 杯、甕。
 斜面部にあり、南側が流失。

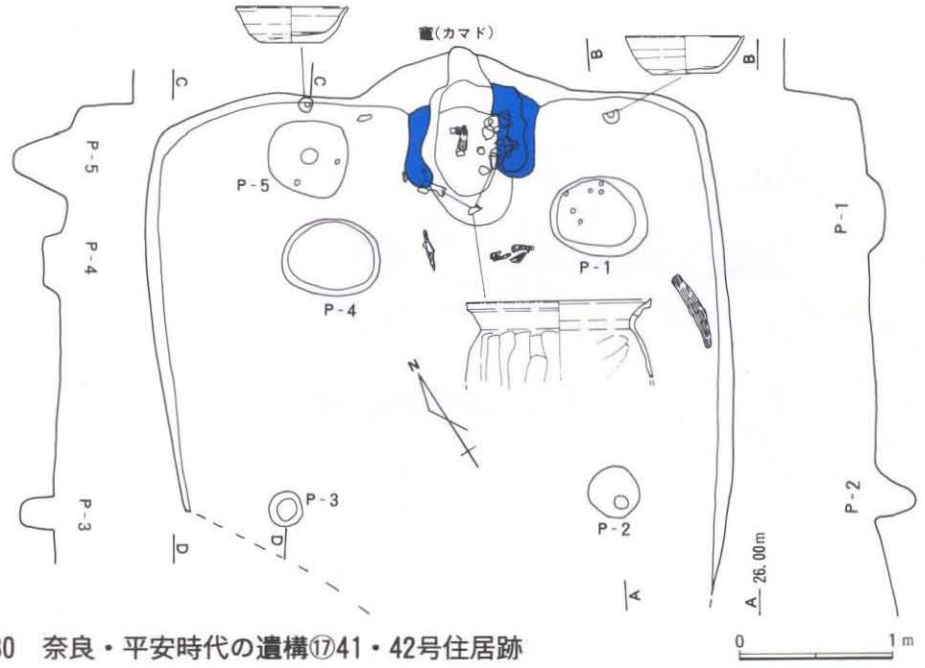
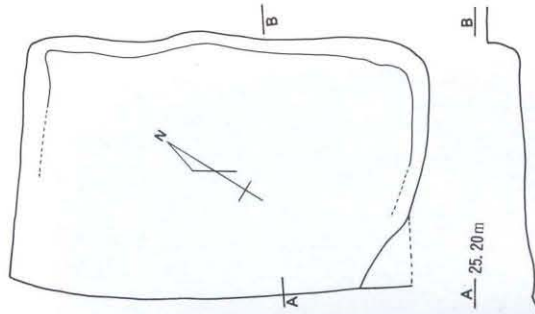


図80 奈良・平安時代の遺構①41・42号住居跡



43号住居跡

時期 奈良8世紀後半
 位置 5F-14-4
 規模 2.70m
 主軸方向 N-35°-W
 深さ 0.20m
 床面 平坦で軟らかい。
 遺物 杯、甕
 斜面部にあり、西側が流失。



44号住居跡

時期 奈良8世紀か
 位置 5F-14-8
 規模 推定5.50m
 主軸方向 N-57°-E
 深さ 0.05m
 床面 平坦で軟らかい。
 柱 4基あり、漏斗状に掘っている。
 谷頭部の中央にあり、周囲がほとんど流失していたが、柱穴と山側の壁を検出した。

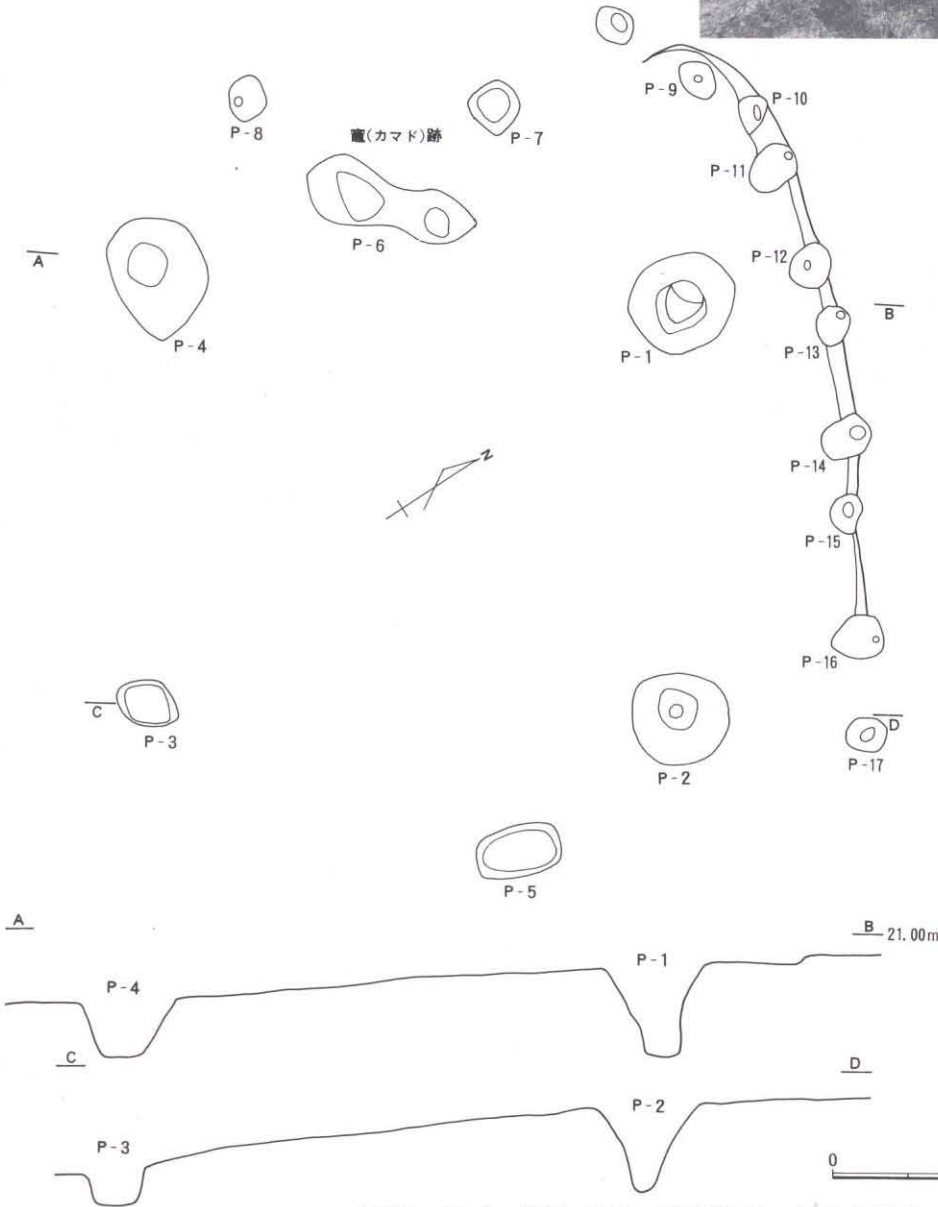
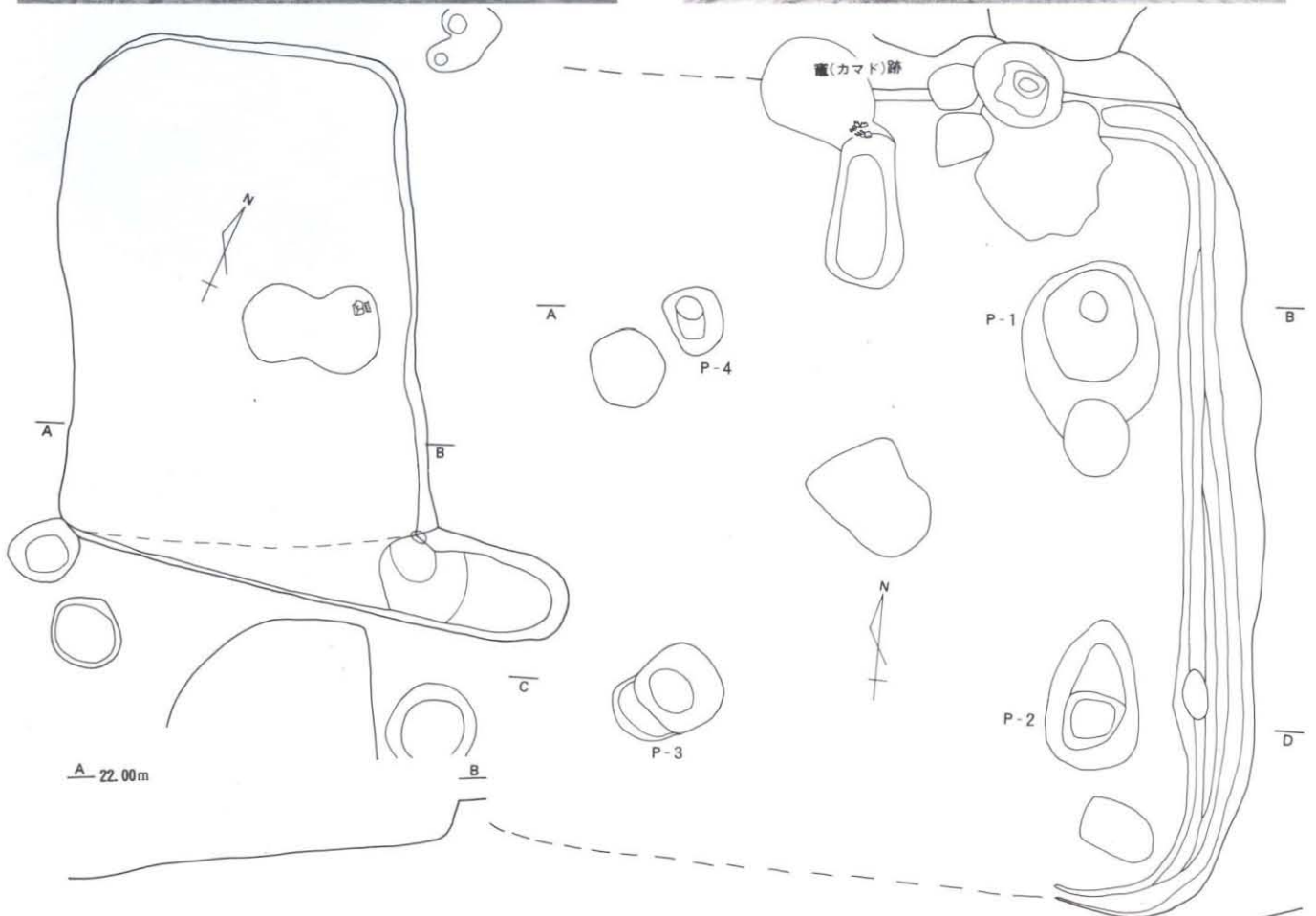


図81 奈良・平安時代の遺構⑩43・44号住居跡



45号住居跡

時期 平安8世紀前半
 位置 5F-14-14
 規模 推定3.50m
 主軸方向 N-28°-W
 深さ 0.23m
 床面 平坦で硬い。
 遺物 杯、甕の破片。
 斜面部にあり、西側が流失。

46号住居跡

時期 奈良8世紀か
 位置 5F-14-15
 規模 5.60m
 主軸方向 N-2°-W
 深さ 0.25m
 床面 中央部でローム貼床となり、平坦で硬い。
 柱穴 4基あり、漏斗状に掘っている。
 カマド 北側中央に痕跡がある。
 東側壁下の雨溝を2条検出、建て替えの際の掘り直しか。中世遺構に一部切り取られる。

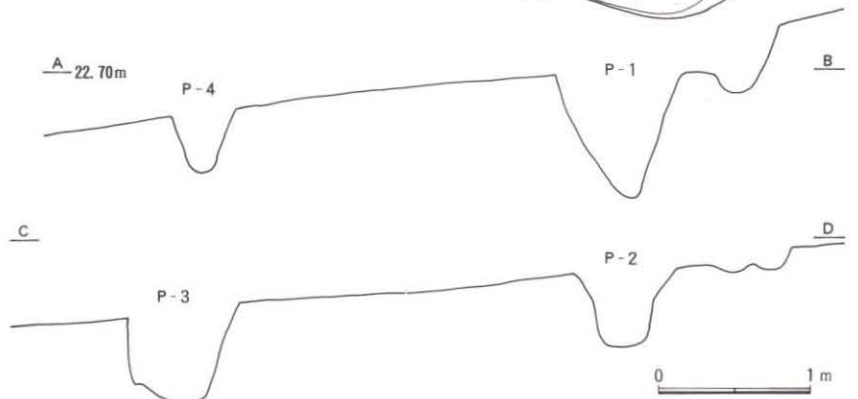
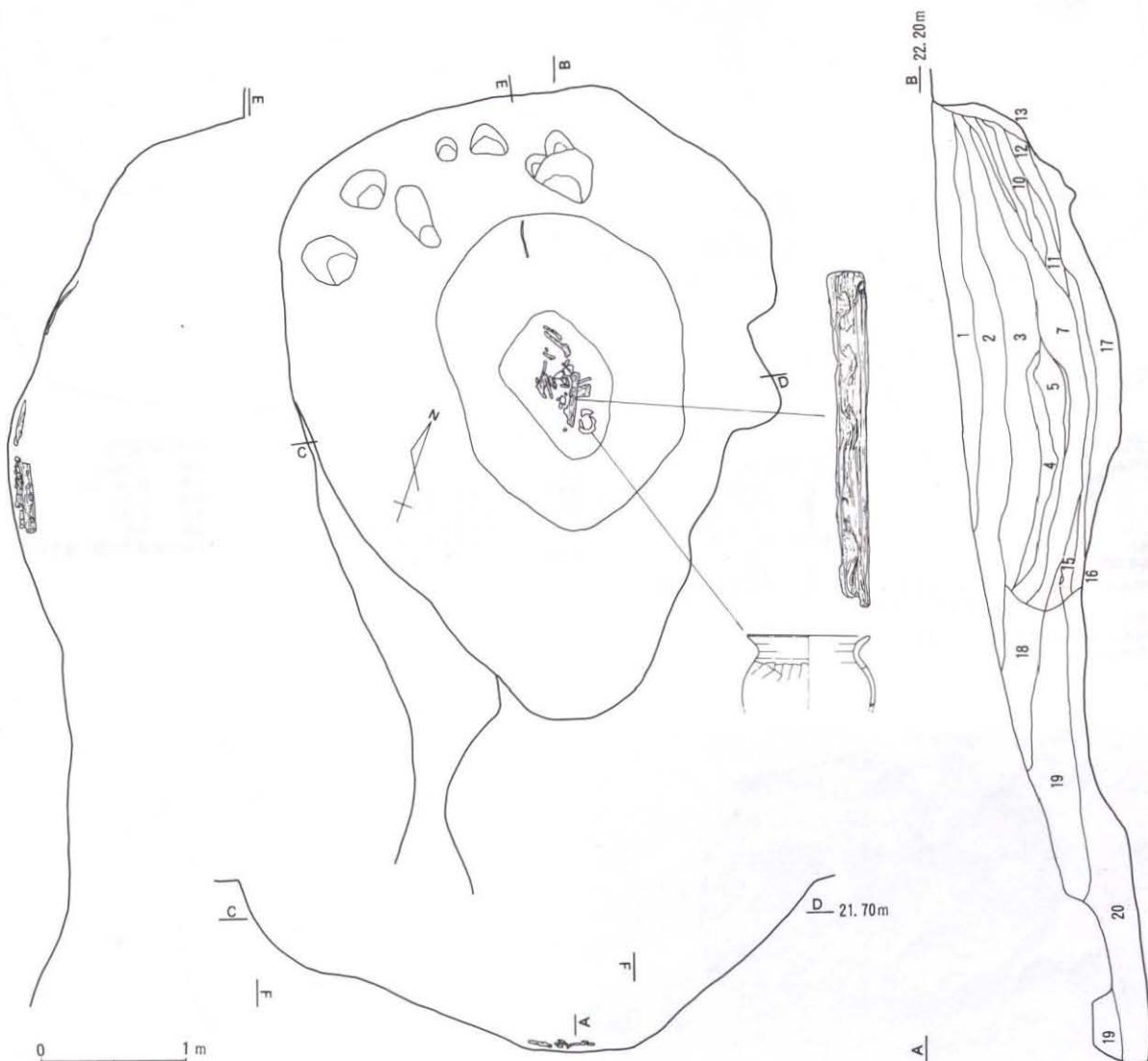
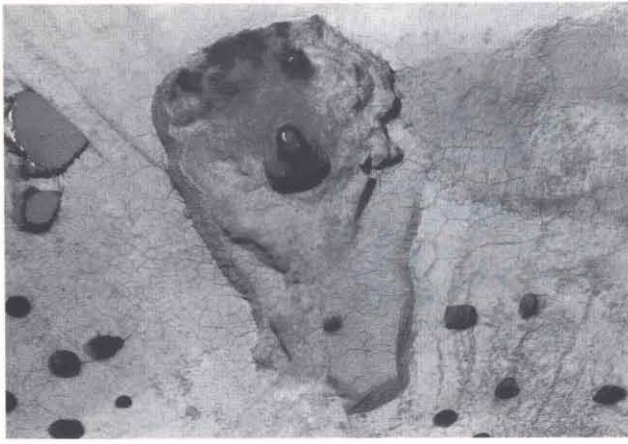


図82 奈良・平安時代の遺構①45・46号住居跡

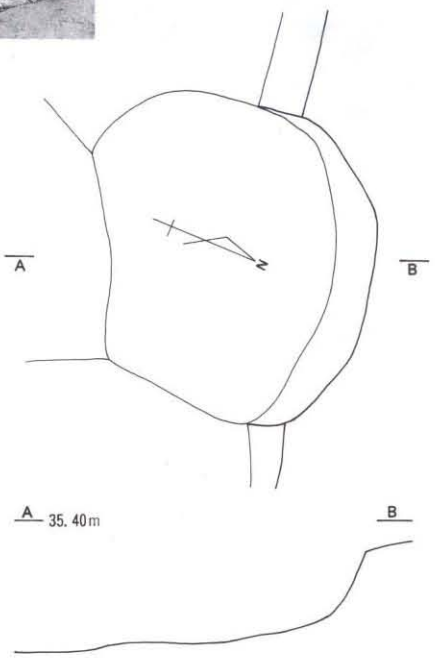
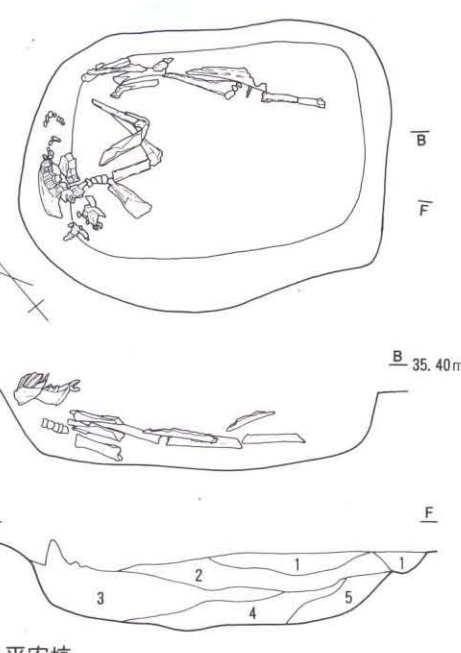
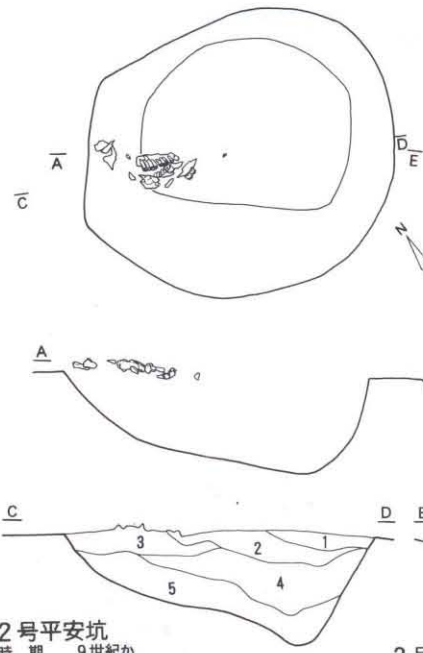
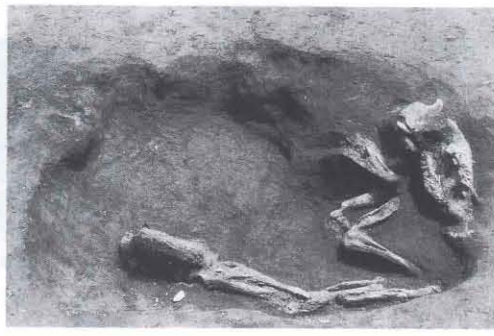


時期 平安9世紀前半
 位置 5F-14-7
 規模 4.30x3.45m
 主軸方向 N-15°-W
 深さ 1.15m
 遺物 底面中央部に甕、火鑪のほか、木片多数、覆土中にも遺物多数出土。
 斜面部の湧水帯に位置し、平面形が楕円形、槽鉢状に掘っている。北側の壁に小穴がある。

- | | | |
|----|----|---------------------|
| 層序 | 1 | 青灰黒褐色土 (鉄分、砂が多く混じる) |
| | 2 | " (砂が多く混じる) |
| | 3 | 青灰黒色土 |
| | 4 | " (木葉が多く混じる) |
| | 5 | " (粘質) |
| | 6 | 青灰砂 (黒土が少し混じる) |
| | 7 | 青灰黒色土 (木葉が少し混じり、粘質) |
| | 8 | " (砂が混じる) |
| | 9 | " (砂が多く混じる) |
| | 10 | " (砂が多く、木葉も混じる) |

- | | | |
|--|----|---------------------|
| | 11 | " (砂が混じり、粘質) |
| | 12 | " (砂が混じり、粘性が強い) |
| | 13 | " (鉄分、砂が多く混じる) |
| | 14 | 青灰色土 (粘性が強い) |
| | 15 | 青灰黒色土 (砂が多く混じる) |
| | 16 | 青灰黒色砂 (黒土が混じる) |
| | 17 | 青灰黒色土 (砂、木片が多く混じる) |
| | 18 | 青灰黒褐色土 (木炭粒、焼土が混じる) |
| | 19 | " (砂、鉄分が多く混じる) |
| | 20 | 黒褐色土 (砂が少し混じり、粘質) |

図83 奈良・平安時代の遺構②1号平安井戸



2号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-18北
規模 2.10×1.85m
主軸方向 N-51°-W
深さ 0.38m
底面 碗状
遺物 馬骨頭部

- 層序 1 暗褐色土 (ロームが少し混じり、しまる)
2 " (ロームが多く混じり、しまる)
3 褐色土 (")
4 暗褐色土 (ローム粒が混じり、しまる)
5 褐色土 (")

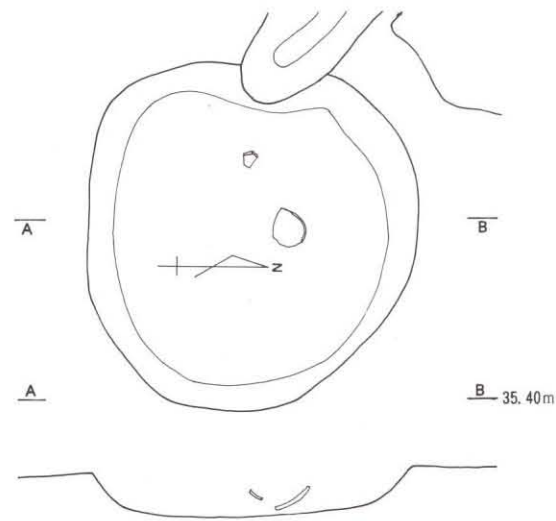
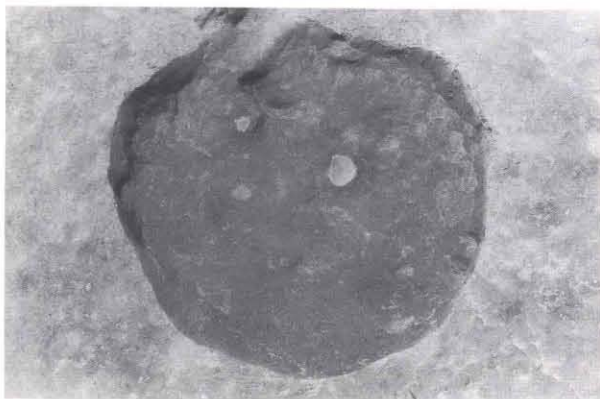
3号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-18北
規模 2.45×1.90m
主軸方向 N-50°-W
深さ 0.28m
底面 平坦
遺物 馬骨頭部及び四肢

- 層序 1 暗褐色土 (ローム粒が混じる)
2 褐色土 (ロームが混じる)
3 " (ロームが混じり、しまる)
4 " (ロームが多く混じり、しまる)
5 暗褐色土 (ロームが少し混じり、しまる)

4号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-19北
規模 1.05m
深さ 0.27m
底面 平坦
2号住居跡の北部に重なる。

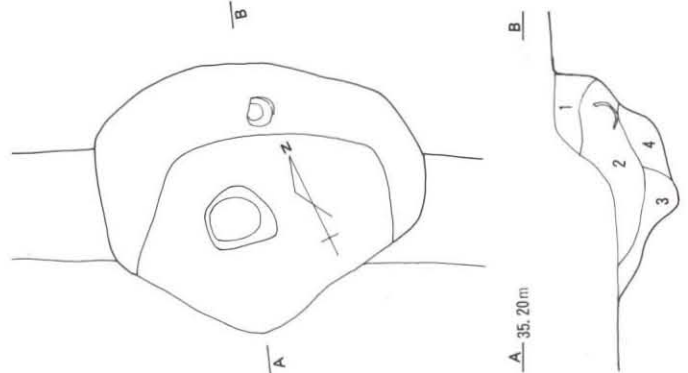
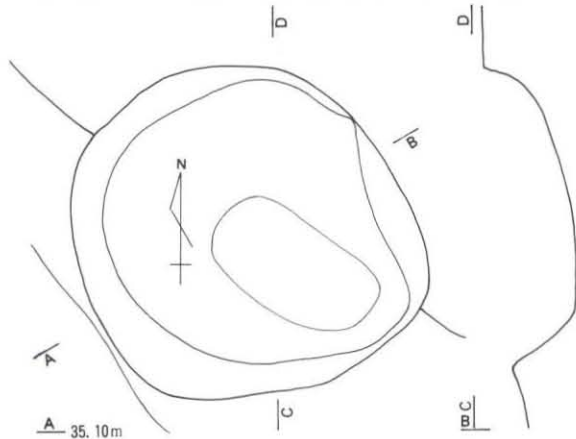
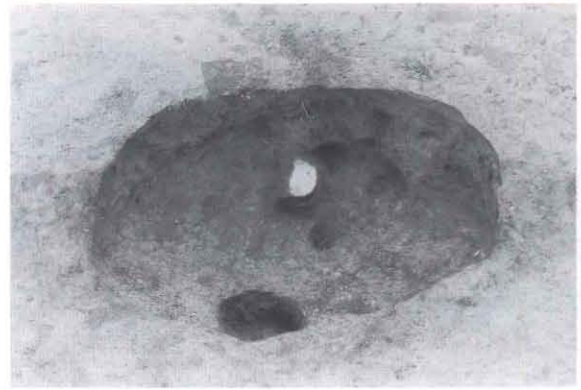


5号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-31-18北
規模 1.10m
深さ 0.12m
底面 平坦
遺物 粟片
1号墳周溝の内側にある。



図84 奈良・平安時代の遺構② 2～5号平安坑



A 35.10m

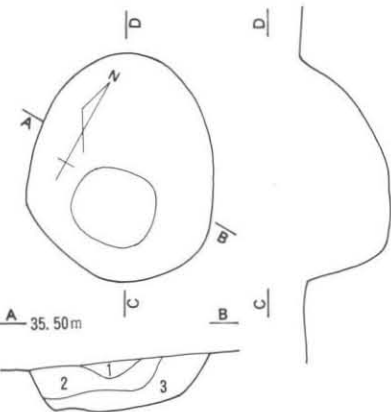
A 35.20m

6号平安坑

時期 9世紀後半
位置 5F-31-18北
規模 1.15m
深さ 0.26m
底面 少し丸い。
遺物 1号墳の周溝にかかると
層序 1 暗褐色土 (ローム粒、焼土が少し混じる)
2 " (ローム粒が混じる)
3 " (ロームが混じり、しまる)
4 褐色土 (ロームが混じり、しまる)

7号平安坑

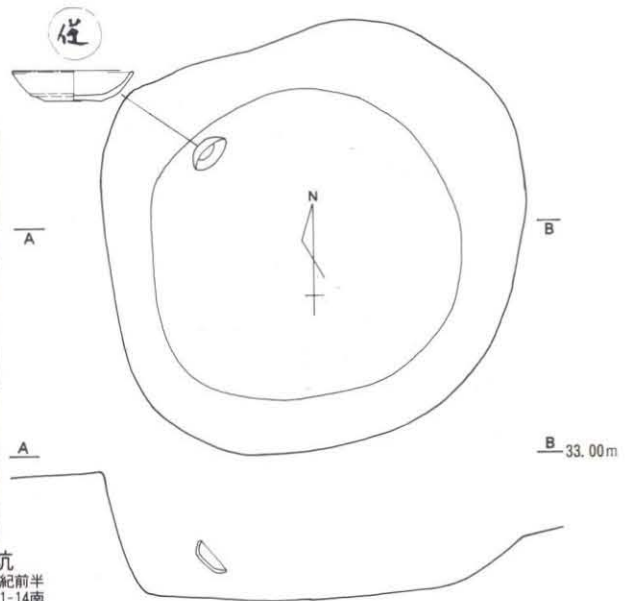
時期 9世紀後半
位置 5F-31-18南
規模 1.05m
深さ 0.36m
底面 平坦で小穴がある。
遺物 杯
1号墳の周溝にかかると
層序 1 暗褐色土 (ローム粒が少し混じる)
2 黒褐色土 (")
3 暗褐色土 (ローム粒が混じる)
4 " (ローム粒が混じり、しまる)



A 35.50m

8号平安坑

時期 9世紀
位置 5F-31-14南
規模 0.75×0.63m
深さ 0.27m
底面 碗状
遺物 1号墳周溝の内側にある。
層序 1 黒褐色土
2 褐色土
3 暗褐色土



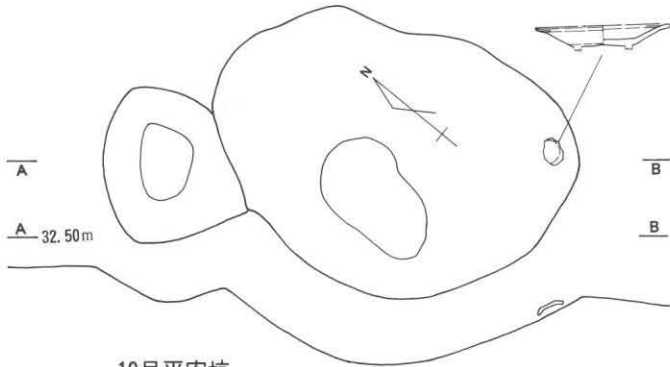
B 33.00m

9号平安坑

時期 10世紀前半
位置 5F-41-14南
規模 1.40m
深さ 0.40m
底面 少し凹凸がある
遺物 杯

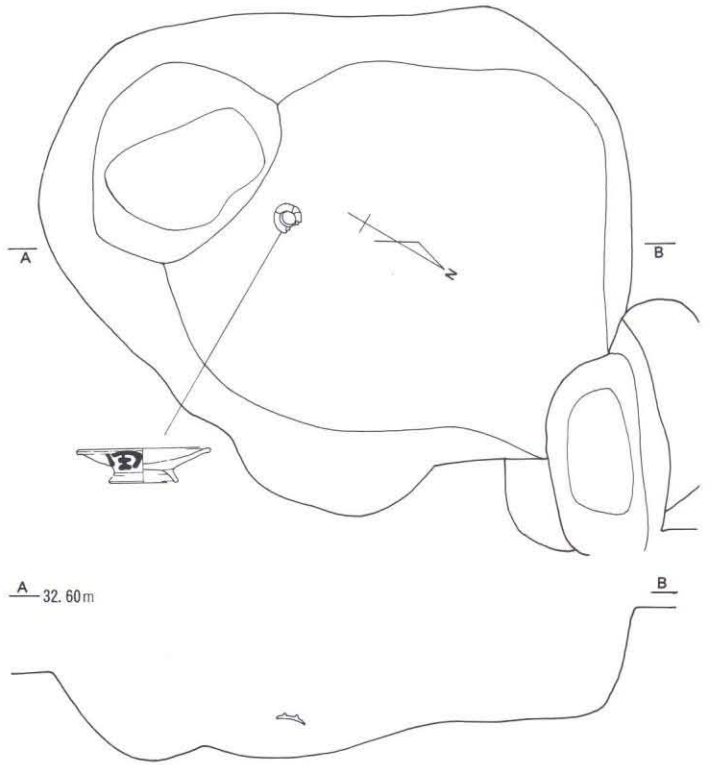


図85 奈良・平安時代の遺構② 6～9号平安坑



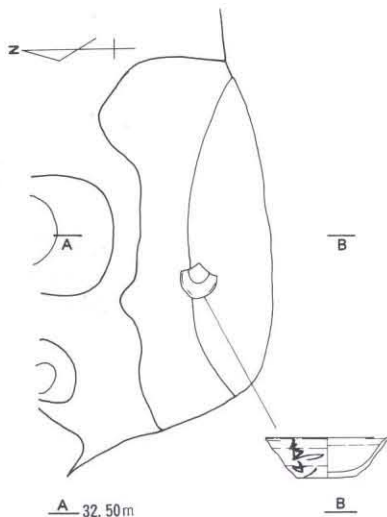
10号平安坑

時期 9世紀後半
 位置 5F-41-25南
 規模 1.58×0.92m
 深さ 0.21m
 底面 碗状
 遺物 高台付皿



11号平安坑

時期 9世紀後半
 位置 5F-41-25
 規模 2.44×2.07m
 深さ 0.35m
 底面 少し凹凸がある
 遺物 高台付皿



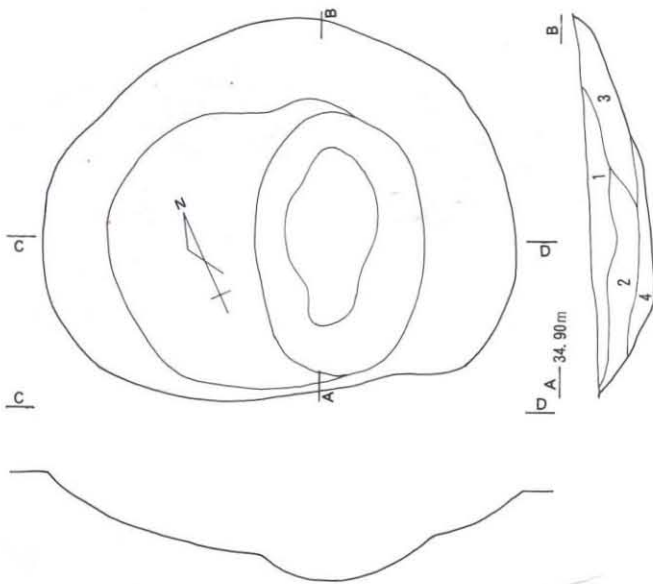
12号平安坑

時期 9世紀後半
 位置 5F-42-18北
 規模 1.22m
 深さ 0.36m
 底面 平坦
 遺物 杯
 南側のほとんどを中世に削り取られる。

0 50cm



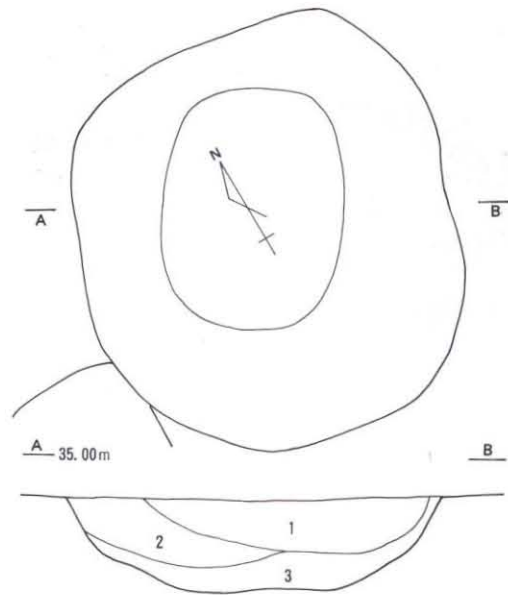
図86 奈良・平安時代の遺構② 10～12号平安坑



13号平安坑

時期 9世紀
位置 5F-42-1北
規模 1.57×1.25m
深さ 0.32m
底面 碗状

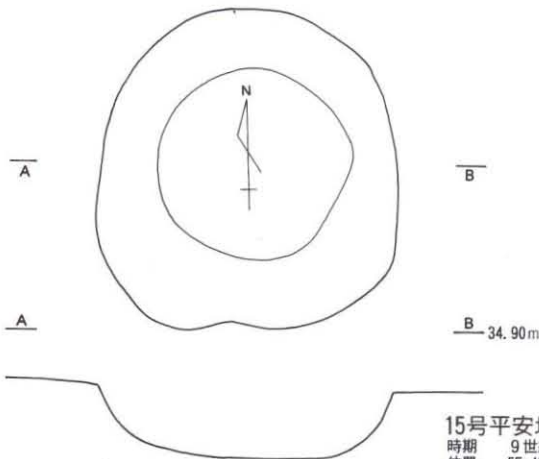
- | | | |
|----|---|--------------------|
| 層序 | 1 | 暗褐色土 (ロームが混じり、締まる) |
| | 2 | " (ロームが少し混じる) |
| | 3 | " (ローム、粘土が混じる) |
| | 4 | " (ロームが混じり、軟らかい) |



14号平安坑

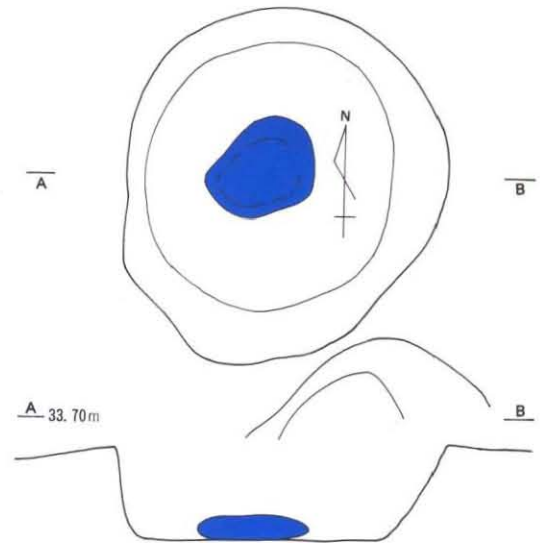
時期 9世紀
位置 5F-32-21
規模 1.38×1.23m
深さ 0.30m
底面 碗状

- | | | |
|----|---|---------------------|
| 層序 | 1 | 暗褐色土 (ローム、黒土が多く混じる) |
| | 2 | " (ローム、黒土が混じる) |
| | 3 | " (ローム、黒土が少し混じる) |



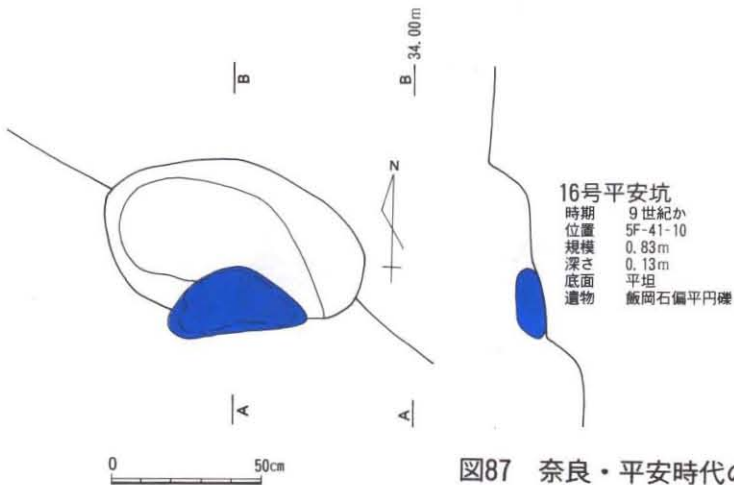
15号平安坑

時期 9世紀
位置 5F-42-1北
規模 1.03×1.01m
深さ 0.23m
底面 丸い



17号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-41-10南
規模 1.17×1.07m
深さ 0.32m
底面 平坦
遺物 飯岡石偏平円礎



16号平安坑

時期 9世紀か
位置 5F-41-10
規模 0.83m
深さ 0.13m
底面 平坦
遺物 飯岡石偏平円礎

図87 奈良・平安時代の遺構⑭ 13~17号平安坑

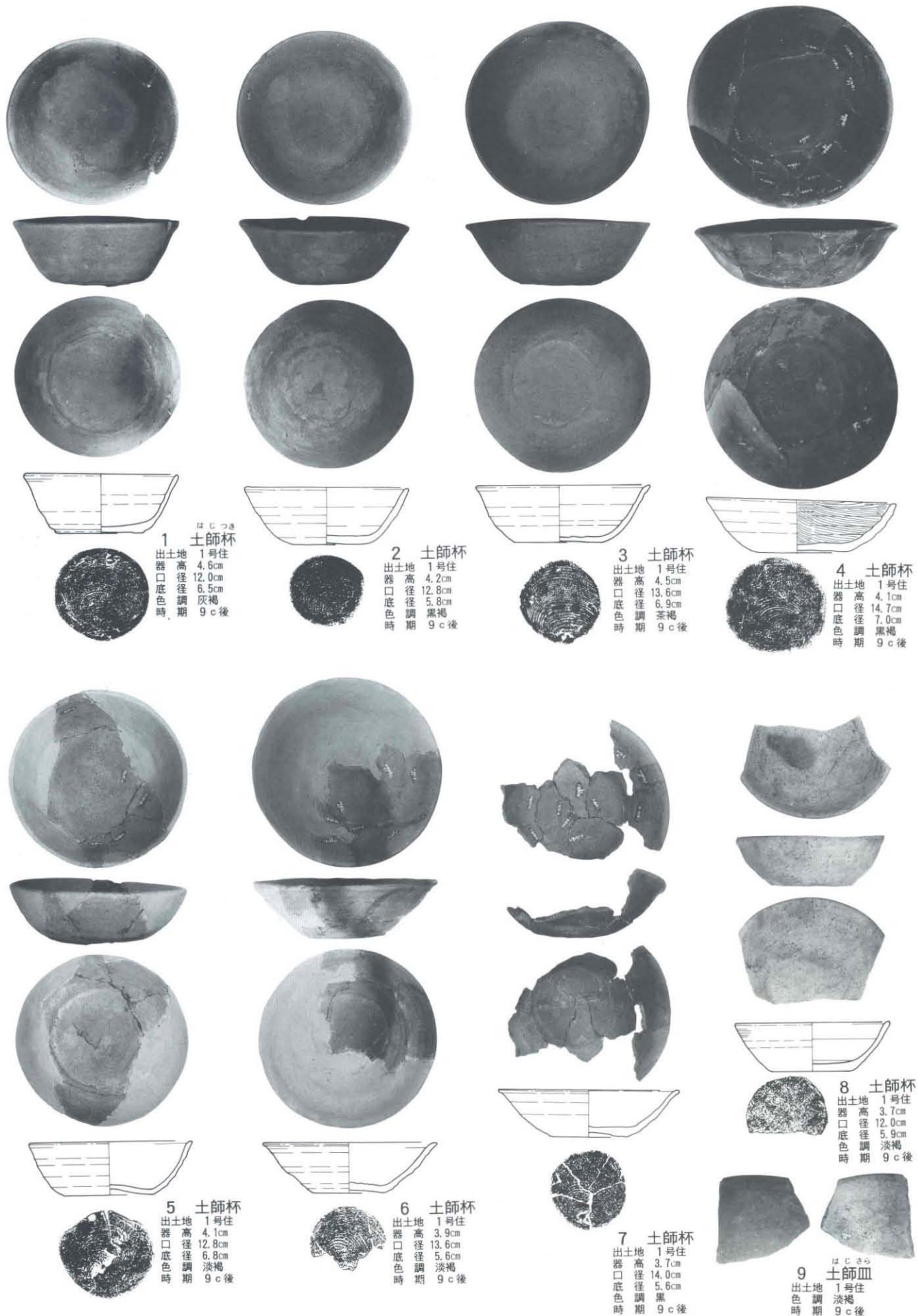
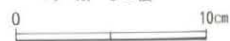
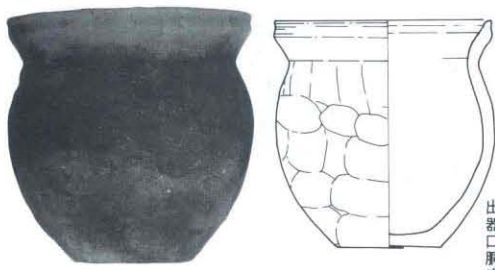
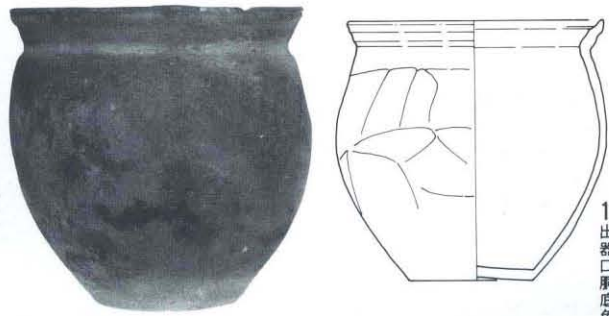


図88 奈良・平安時代遺物① 1号住居跡出土遺物





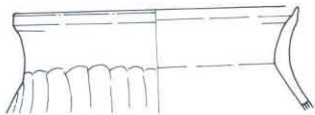
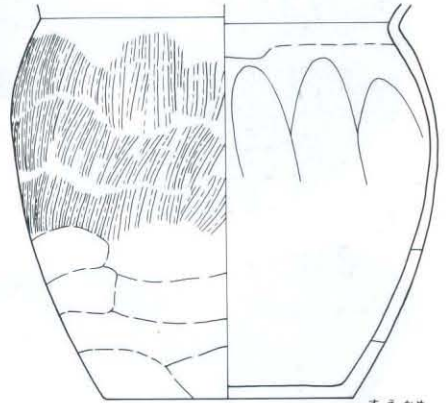
はじかめ
10 土師甕
出土地 1号住
器高 12.1cm
口径 11.6cm
胴径 11.7cm
底径 5.5cm
色調 黒褐
時期 9c後



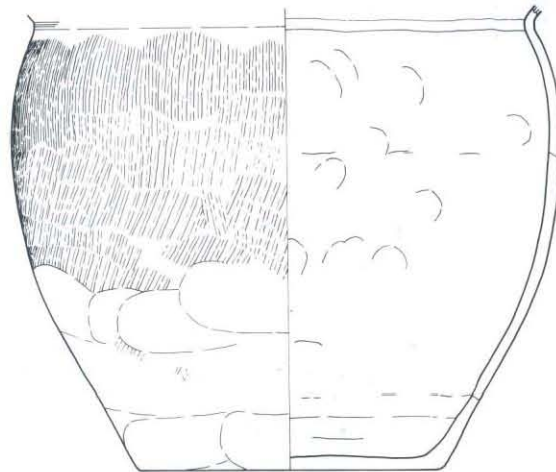
12 土師甕
出土地 1号住
器高 13.9cm
口径 13.5cm
胴径 14.2cm
底径 6.7cm
色調 黒褐
時期 9c後



11 土師甕
出土地 1号住
器高 10.5cm
口径 10.4cm
胴径 10.2cm
底径 3.5cm
色調 茶褐
時期 9c後

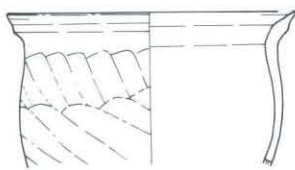


13 土師甕
出土地 1号住
口径 15.2cm
色調 褐
時期 9c後

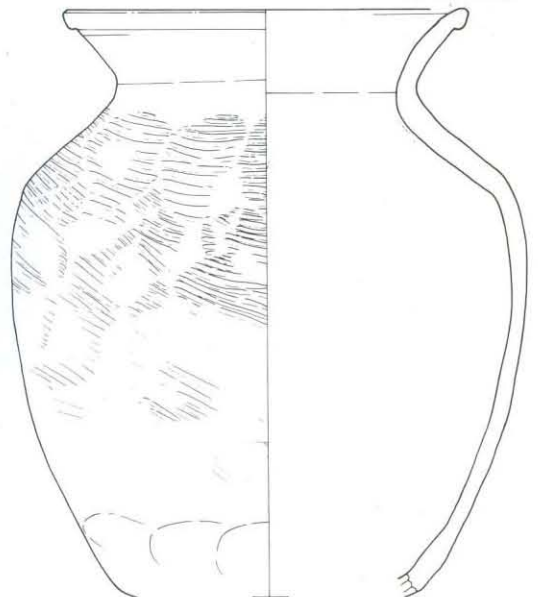


すえかめ
15 須恵甕
出土地 1号住
口径 10.2cm
胴径 3.5cm
底径 6.7cm
色調 茶褐
時期 9c後

16 須恵甕
出土地 1号住
口径 29.0cm
胴径 6.7cm
底径 6.7cm
色調 黒褐
時期 9c後



14 土師甕
出土地 1号住
口径 15.4cm
胴径 14.0cm
色調 灰褐
時期 9c後



17 須恵甕
出土地 1号住
器高 31.1cm
口径 21.4cm
胴径 27.2cm
底径 16.1cm
色調 灰褐
時期 9c後

図89 奈良・平安時代遺物② 1号住居跡出土遺物



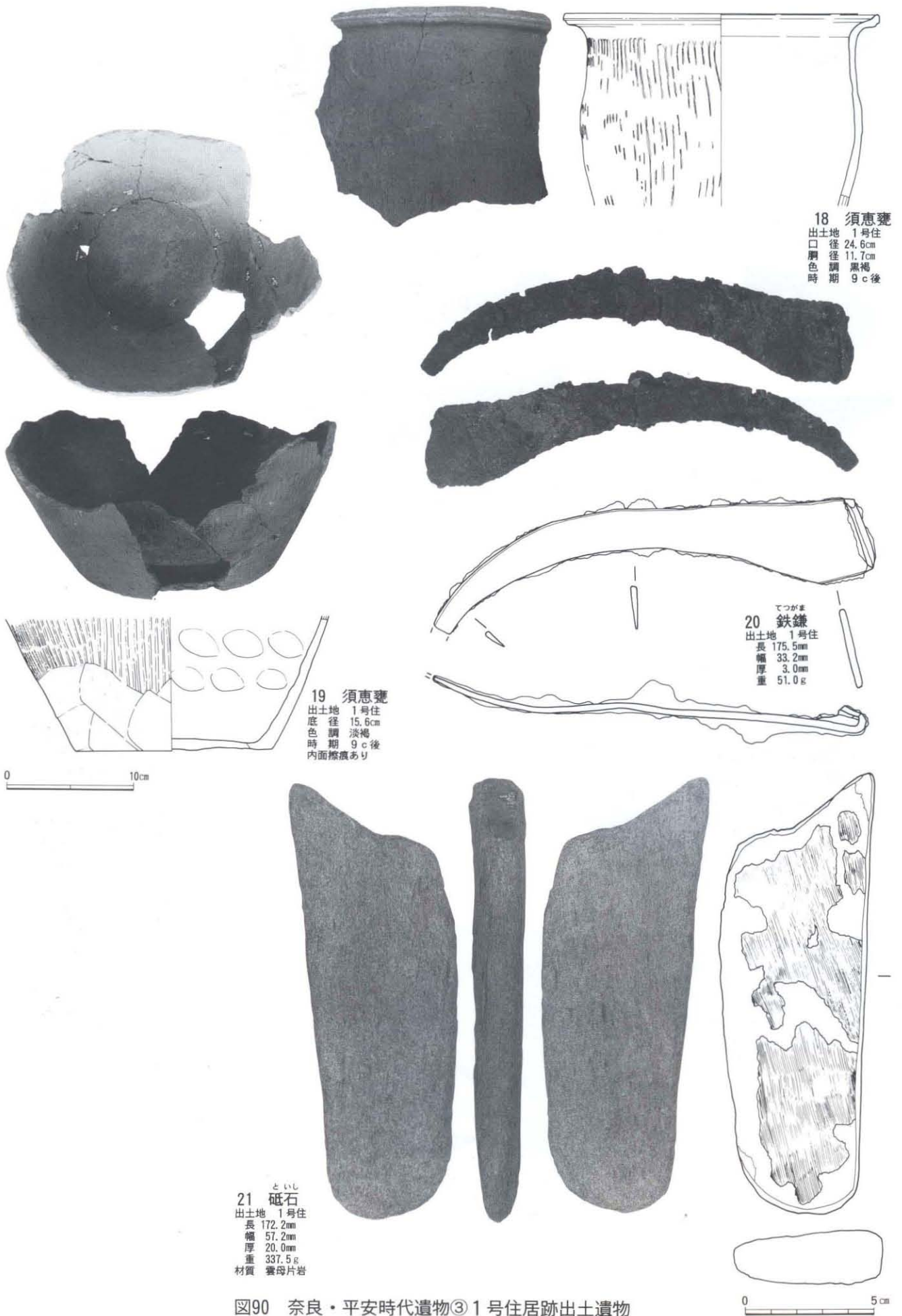


図90 奈良・平安時代遺物③ 1号住居跡出土遺物

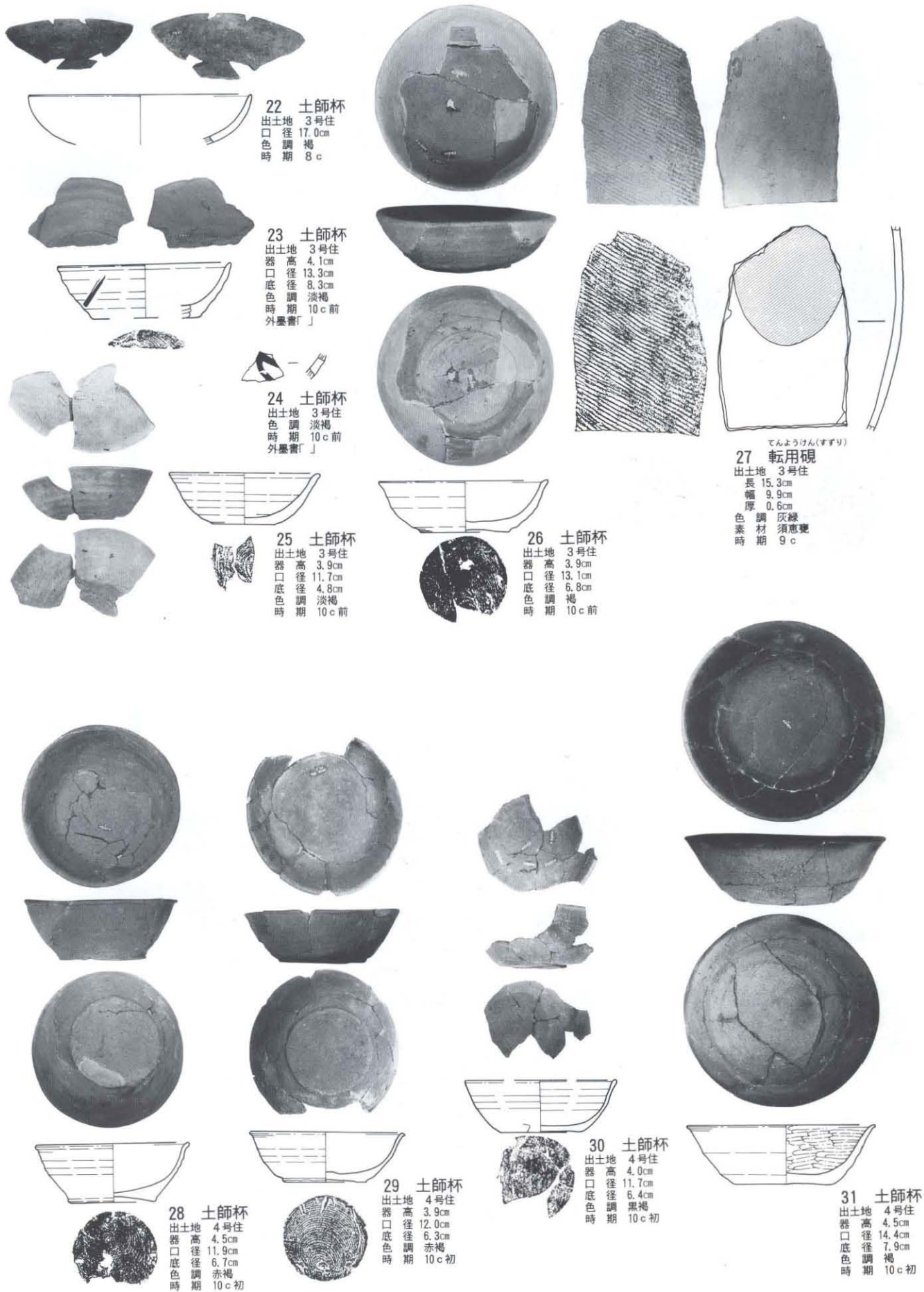
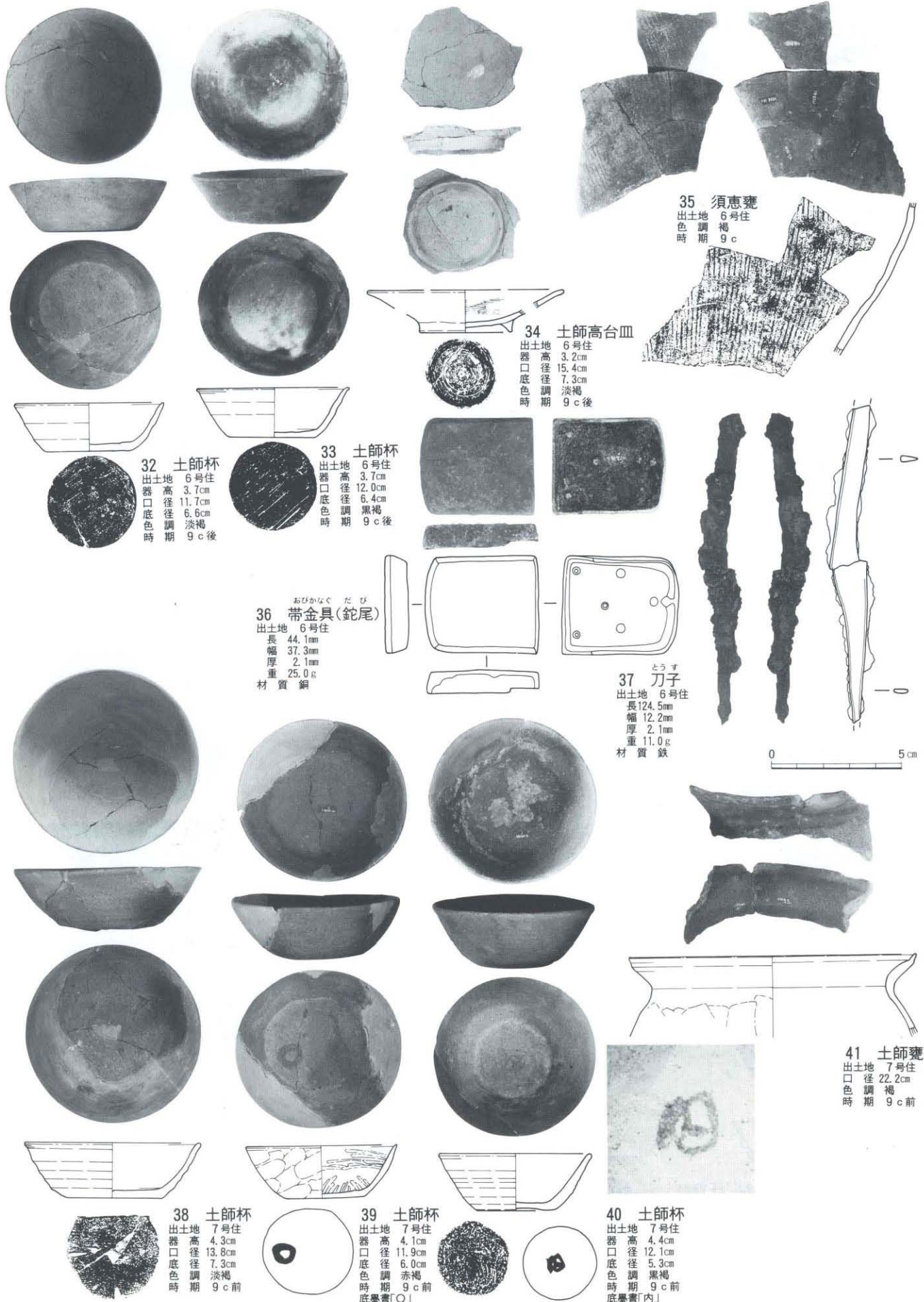


図91 奈良・平安時代遺物④3・4号住居跡出土遺物





32 土師杯
出土地 6号住
口径 3.7cm
底径 11.7cm
底色 淡褐
時期 9c後

33 土師杯
出土地 6号住
口径 3.7cm
底径 12.0cm
底色 黒褐
時期 9c後

36 おひかなぐ だび
帯金具(鉈尾)
出土地 6号住
長 44.1mm
幅 37.3mm
厚 2.1mm
重 25.0g
材質 銅

34 土師高台皿
出土地 6号住
器高 3.2cm
口径 15.4cm
底径 7.3cm
底色 淡褐
時期 9c後

35 須恵甕
出土地 6号住
口径 9c
時期 9c

37 とうす
刀子
出土地 6号住
長 124.5mm
幅 12.2mm
厚 2.1mm
重 11.0g
材質 鉄

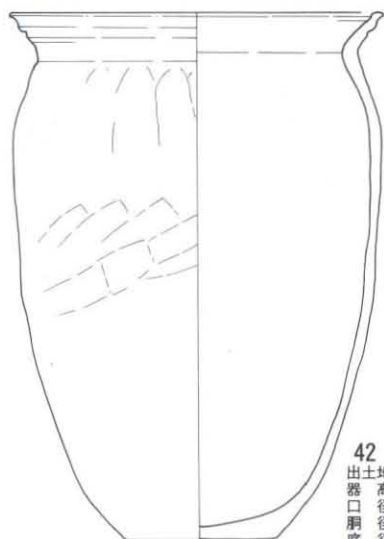
38 土師杯
出土地 7号住
口径 4.3cm
底径 13.8cm
底色 淡褐
時期 9c前

39 土師杯
出土地 7号住
口径 4.1cm
底径 11.9cm
底色 赤褐
時期 9c前
底墨書「〇」

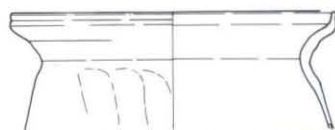
40 土師杯
出土地 7号住
口径 4.4cm
底径 12.1cm
底色 黒褐
時期 9c前
底墨書「内」

41 土師甕
出土地 7号住
口径 22.2cm
底色 褐
時期 9c前

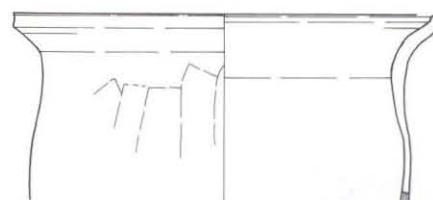
図92 奈良・平安時代遺物⑤6・7号住居跡出土遺物



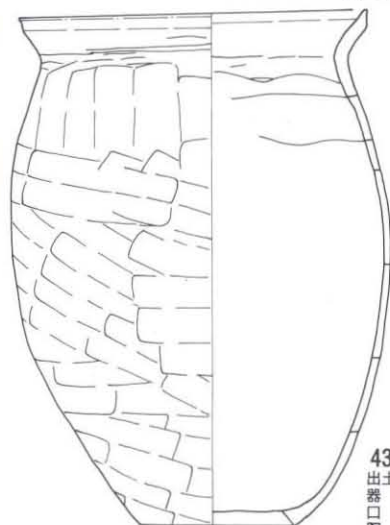
42 土師甕
出土地 12号住
器高 27.9cm
口径 19.9cm
胴径 19.5cm
底径 8.0cm
色調 褐
時期 8c後



44 土師甕
出土地 12号住
口径 17.2cm
色調 褐
時期 8c後



45 土師甕
出土地 12号住
口径 22.2cm
胴径 20.1cm
色調 褐
時期 8c後

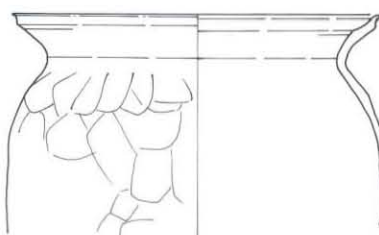


43 土師甕
出土地 12号住
器高 27.2cm
口径 18.6cm
胴径 20.1cm
底径 8.2cm
色調 赤褐
時期 8c後



46 土師甕
出土地 13号住
口径 19.7cm
胴径 20.3cm
色調 褐
時期 9c前

48 土師杯
出土地 24号住
器高 3.4cm
口径 14.4cm
色調 赤褐
時期 8c前



47 土師甕
出土地 13号住
口径 21.5cm
色調 褐
時期 9c前

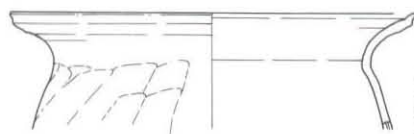


图93 奈良・平安時代遺物①2・16・24号住居跡出土遺物



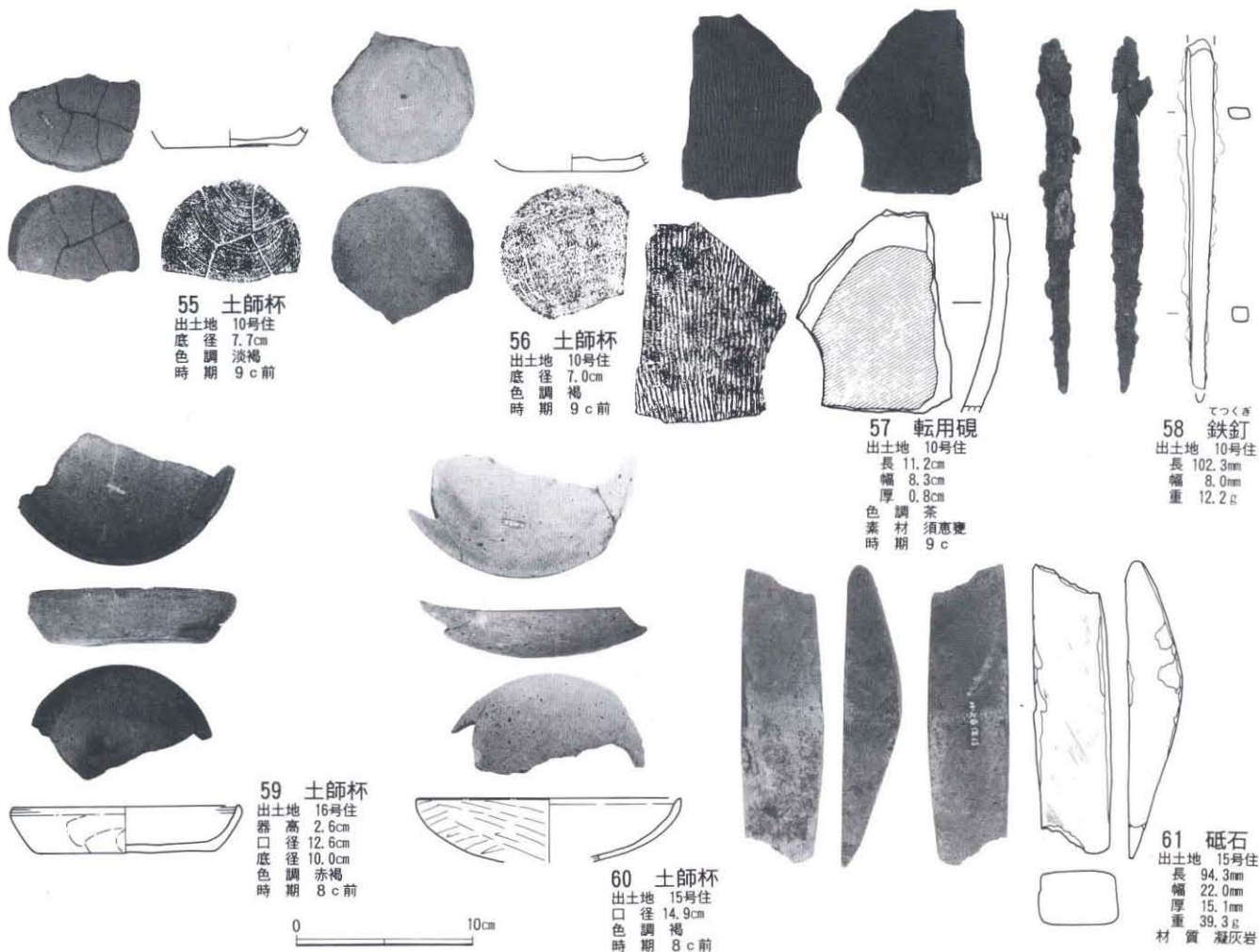
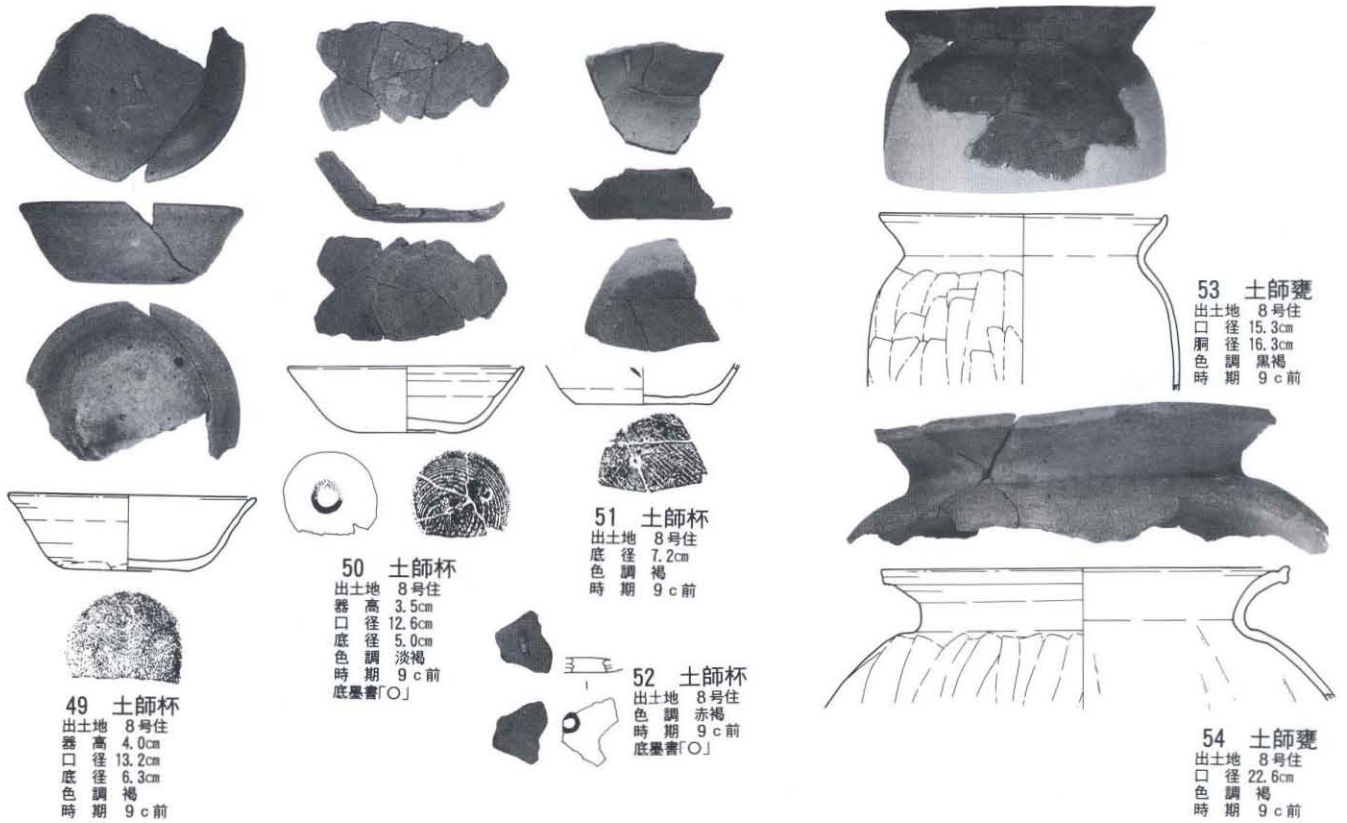
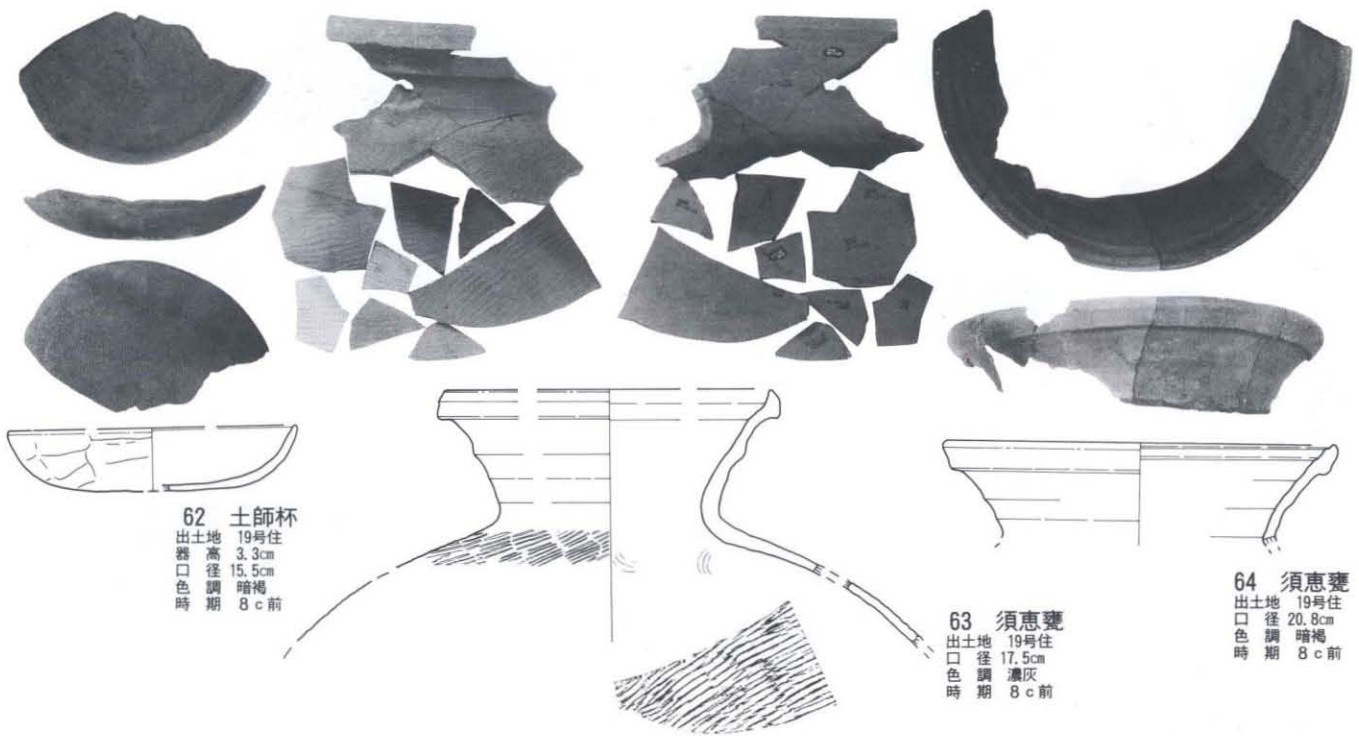


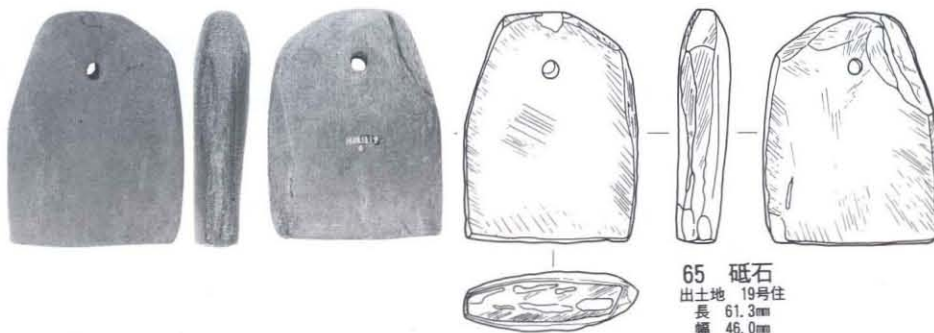
図94 奈良・平安時代遺物⑦ 8・10・14・15号住居跡出土遺物



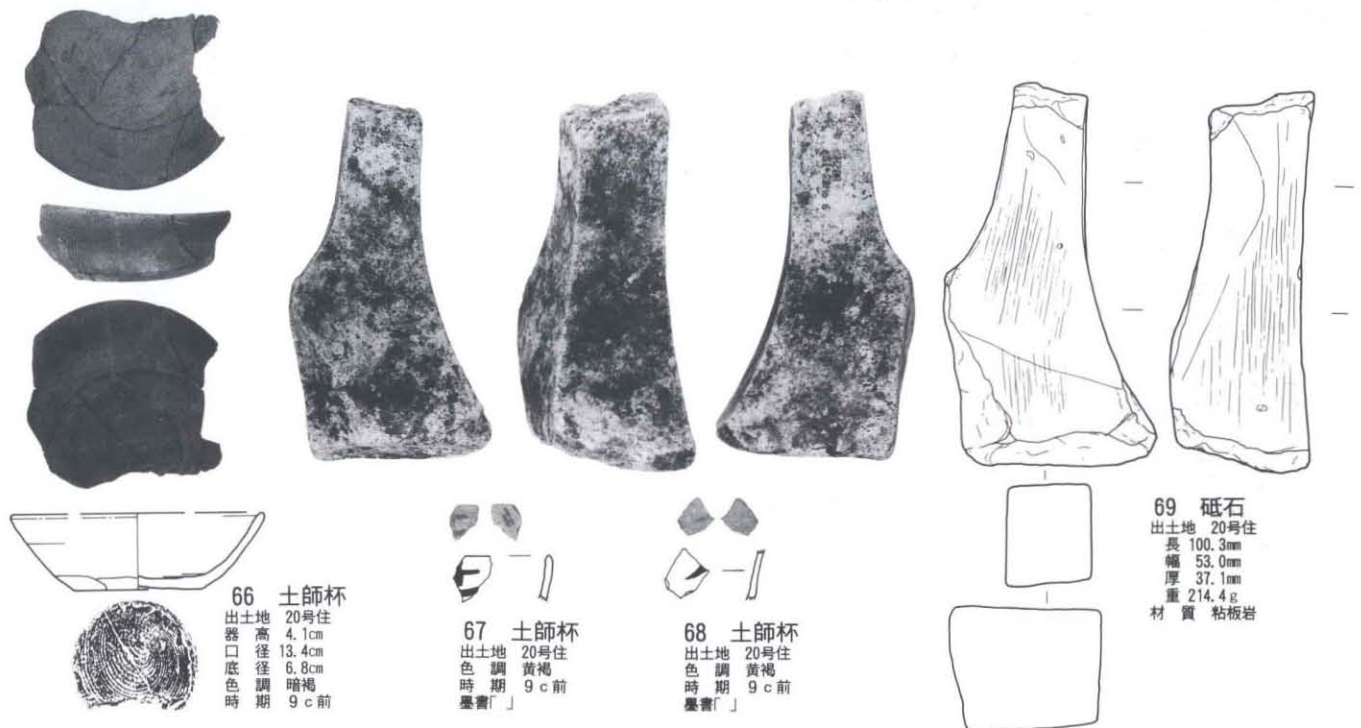
62 土師杯
出土地 19号住
器高 3.3cm
口径 15.5cm
色調 暗褐
時期 8c前

63 須惠甕
出土地 19号住
口径 17.5cm
色調 濃灰
時期 8c前

64 須惠甕
出土地 19号住
口径 20.8cm
色調 暗褐
時期 8c前



65 砥石
出土地 19号住
長 61.3mm
幅 45.0mm
厚 14.8mm
重 68.6g
材質 粘板岩



66 土師杯
出土地 20号住
器高 4.1cm
口径 13.4cm
底徑 6.8cm
色調 暗褐
時期 9c前

67 土師杯
出土地 20号住
色調 黄褐
時期 9c前
墨書「」

68 土師杯
出土地 20号住
色調 黄褐
時期 9c前
墨書「」

69 砥石
出土地 20号住
長 100.3mm
幅 53.0mm
厚 37.1mm
重 214.4g
材質 粘板岩



図95 奈良・平安時代遺物⑩19・20号住居跡出土遺物



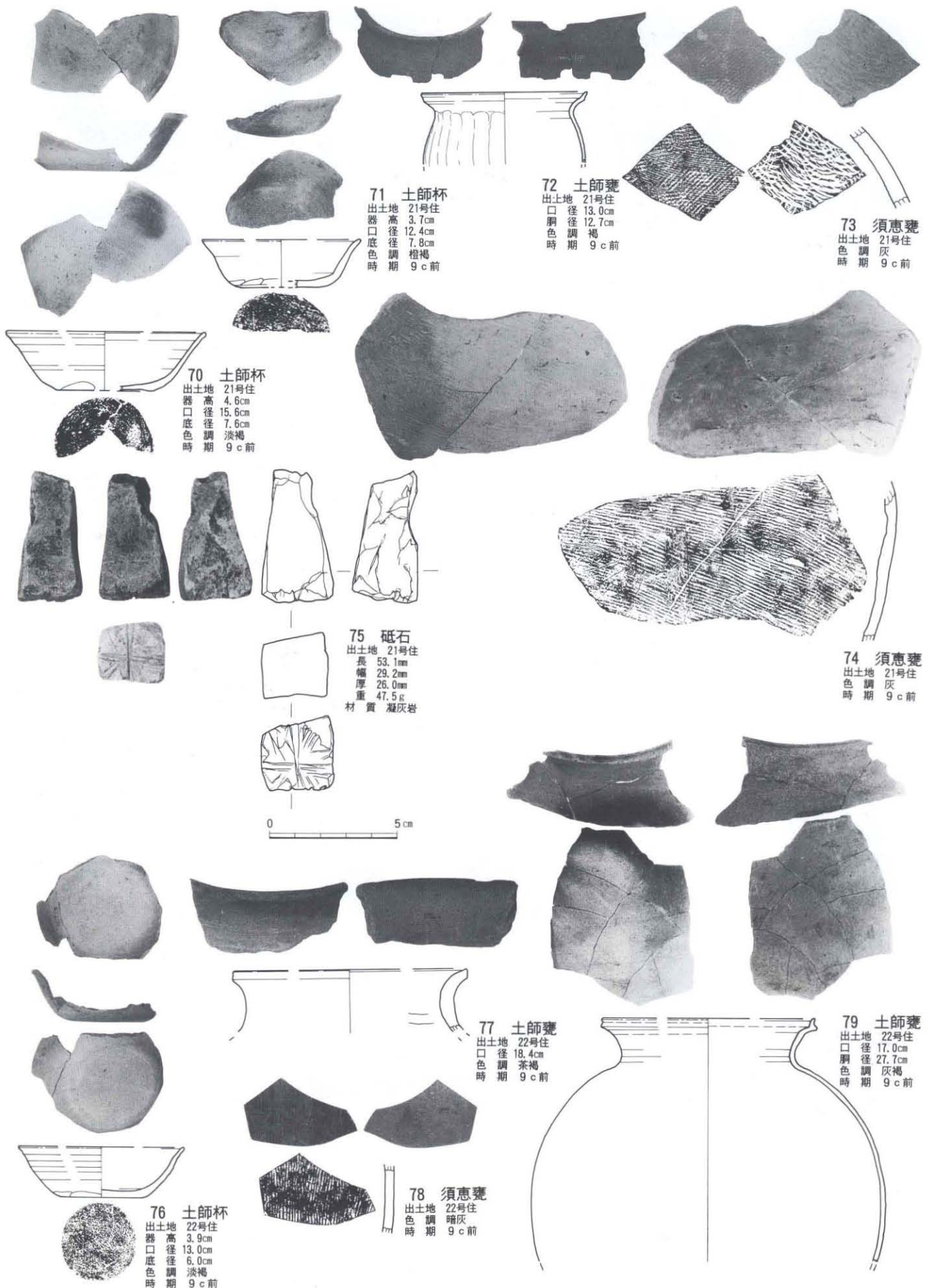
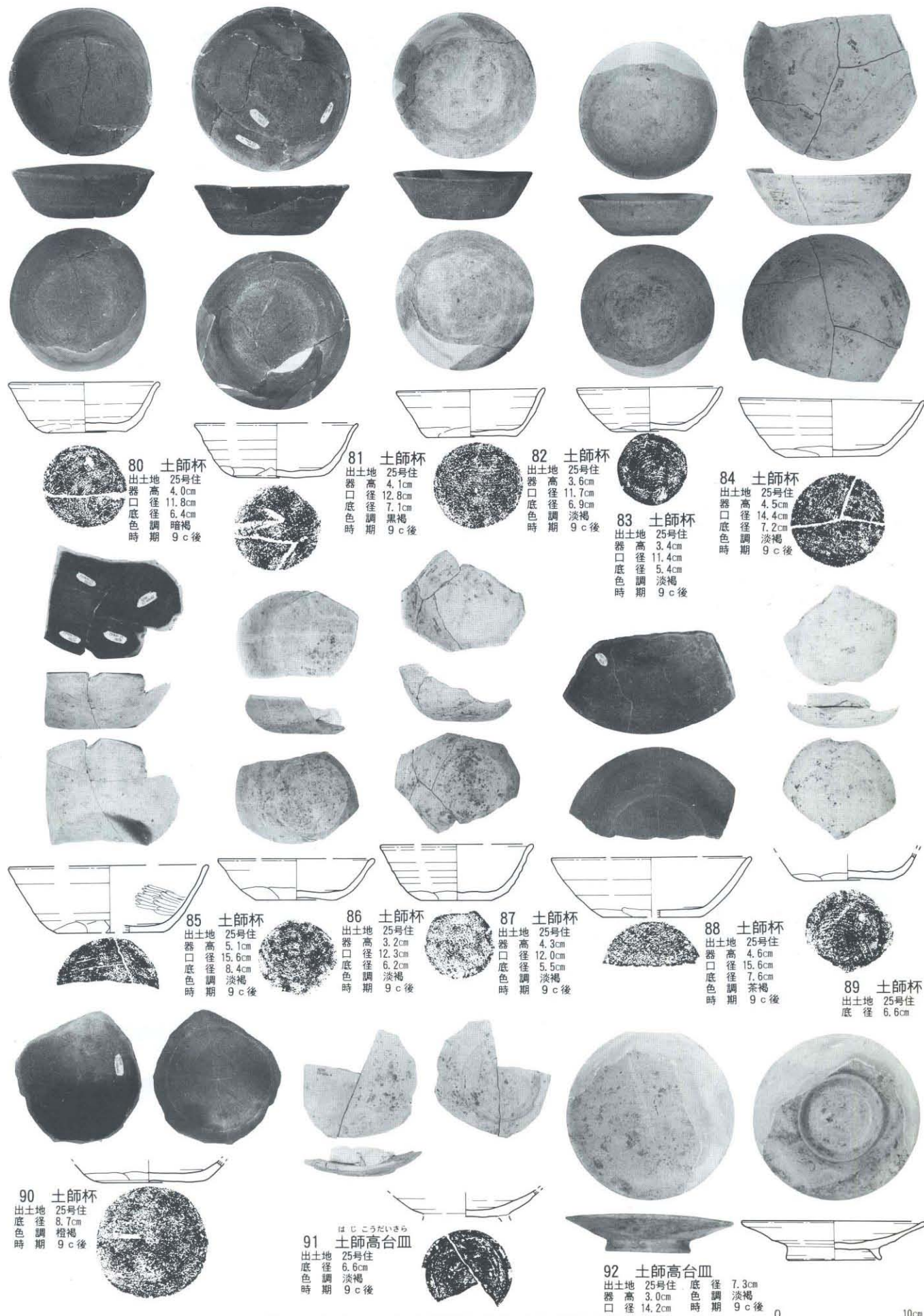


図96 奈良・平安時代遺物⑨21・22号住居跡出土遺物



80 土師杯
出土地 25号住
地高 4.0cm
口径 11.8cm
底色 暗褐
時期 9c後

81 土師杯
出土地 25号住
地高 4.1cm
口径 12.8cm
底色 黒褐
時期 9c後

82 土師杯
出土地 25号住
地高 3.6cm
口径 11.7cm
底色 淡褐
時期 9c後

84 土師杯
出土地 25号住
地高 4.5cm
口径 14.4cm
底色 淡褐
時期 9c後

83 土師杯
出土地 25号住
地高 3.4cm
口径 11.4cm
底色 淡褐
時期 9c後

85 土師杯
出土地 25号住
地高 5.1cm
口径 15.6cm
底色 淡褐
時期 9c後

86 土師杯
出土地 25号住
地高 3.2cm
口径 12.3cm
底色 淡褐
時期 9c後

87 土師杯
出土地 25号住
地高 4.3cm
口径 12.0cm
底色 淡褐
時期 9c後

88 土師杯
出土地 25号住
地高 4.6cm
口径 15.6cm
底色 茶褐
時期 9c後

89 土師杯
出土地 25号住
口径 6.6cm

90 土師杯
出土地 25号住
口径 8.7cm
底色 橙褐
時期 9c後

91 土師高台皿
出土地 25号住
口径 6.6cm
底色 淡褐
時期 9c後

92 土師高台皿
出土地 25号住
口径 7.3cm
器高 3.0cm
底色 淡褐
時期 9c後

図97 奈良・平安時代遺物⑩25号住居跡出土遺物



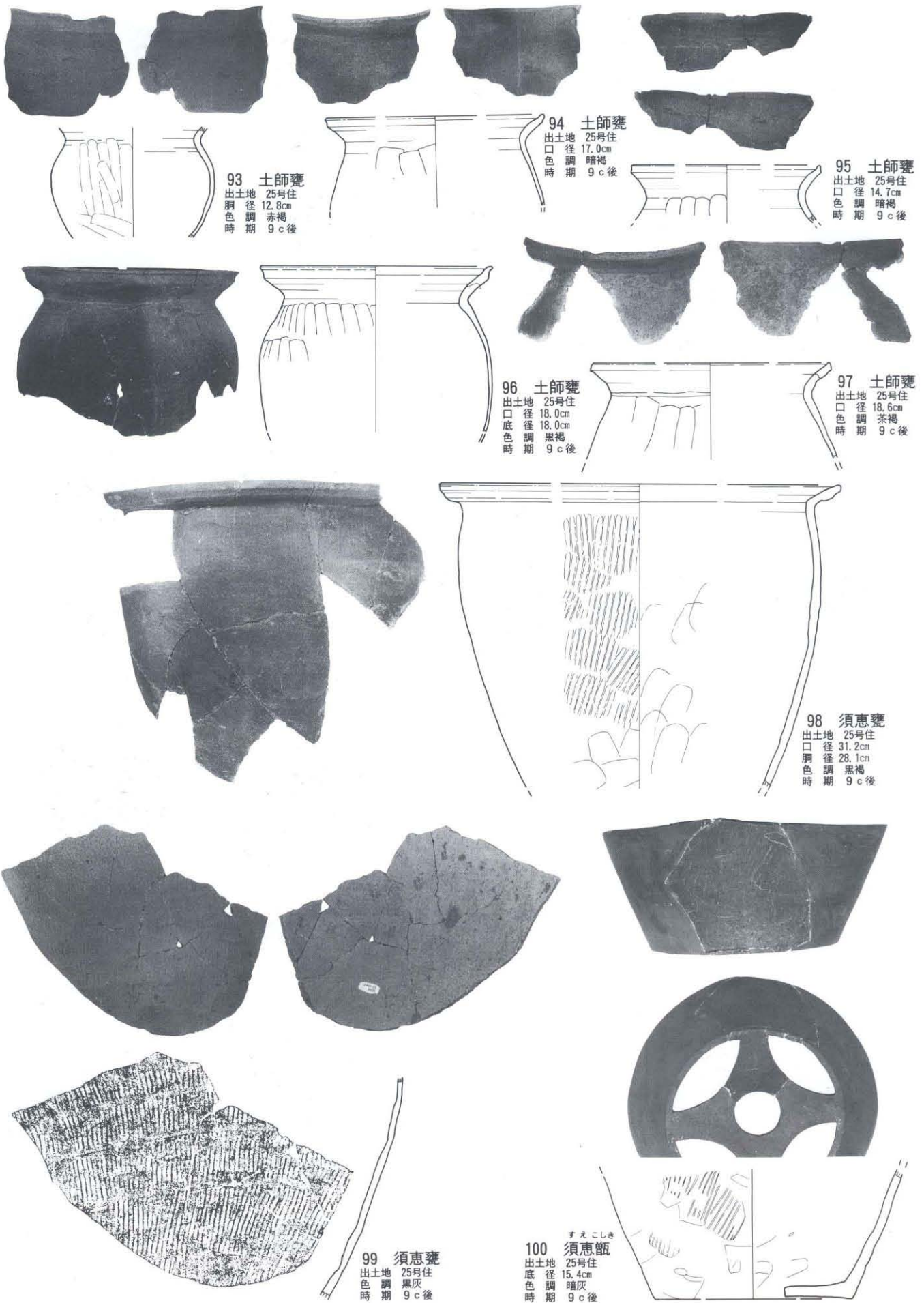


図98 奈良・平安時代遺物①25号住居跡出土遺物



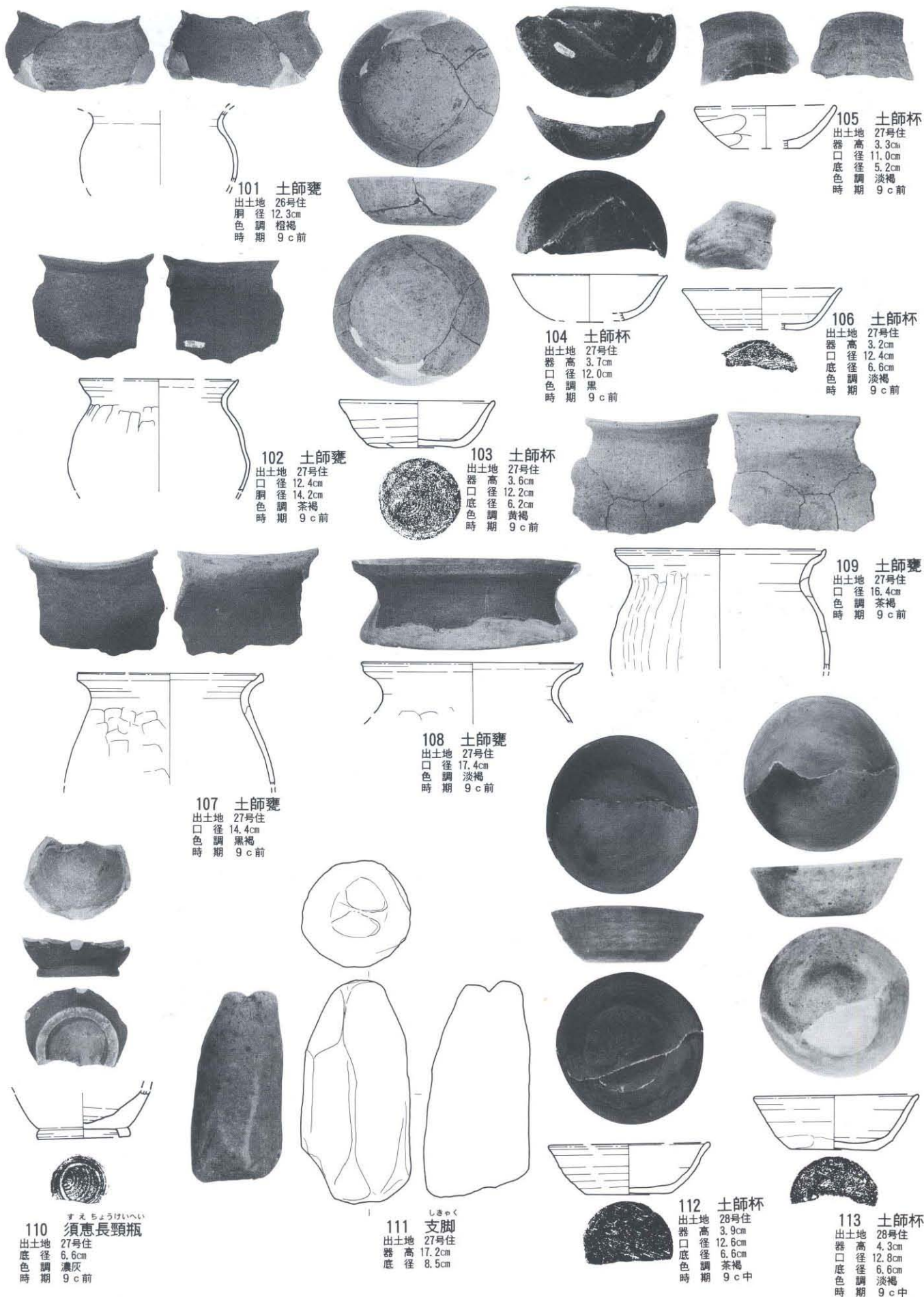
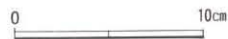


図99 奈良・平安時代遺物②26・27・28号住居跡出土遺物



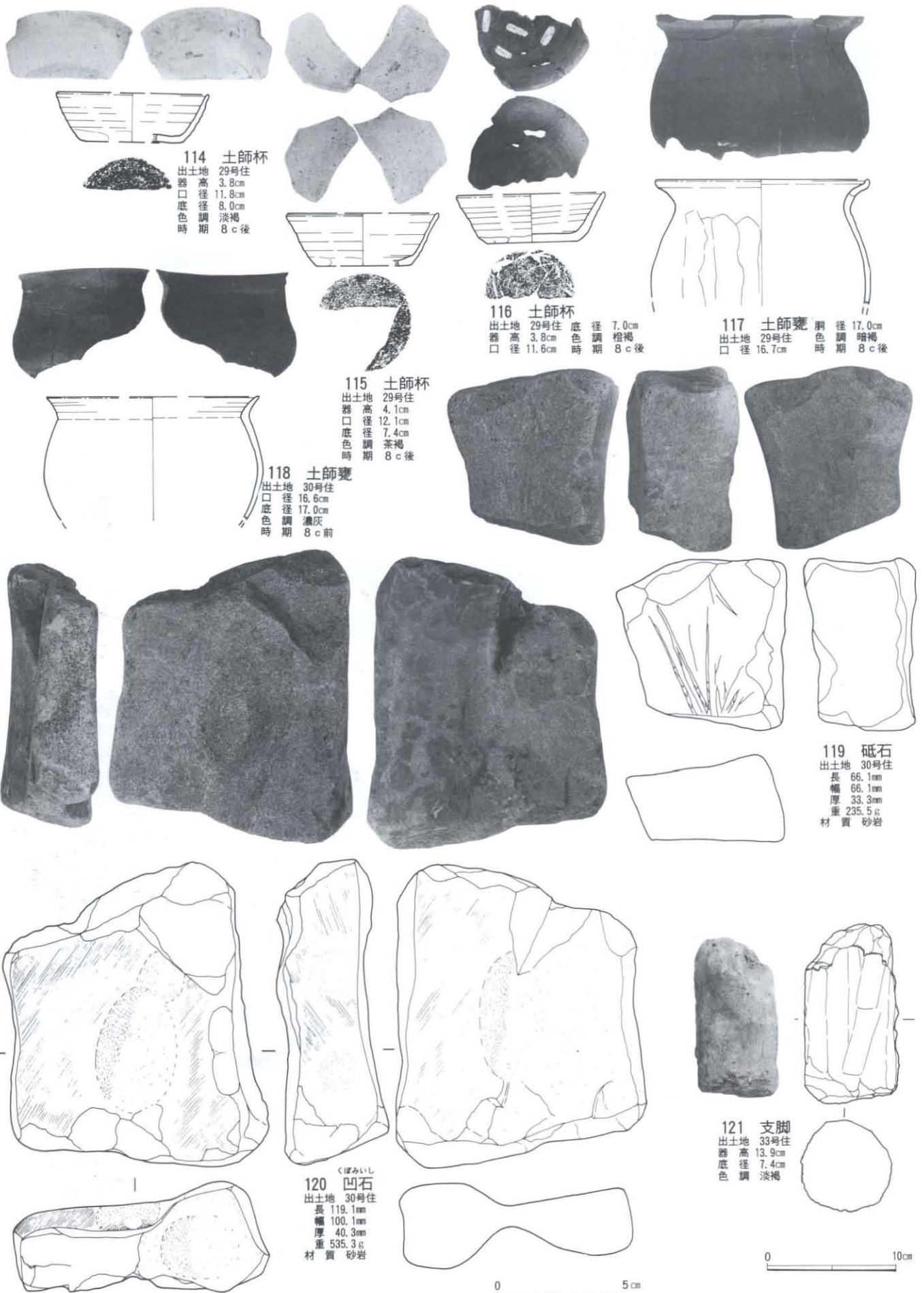


図100 奈良・平安時代遺物⑬29・30・33号住居跡出土遺物

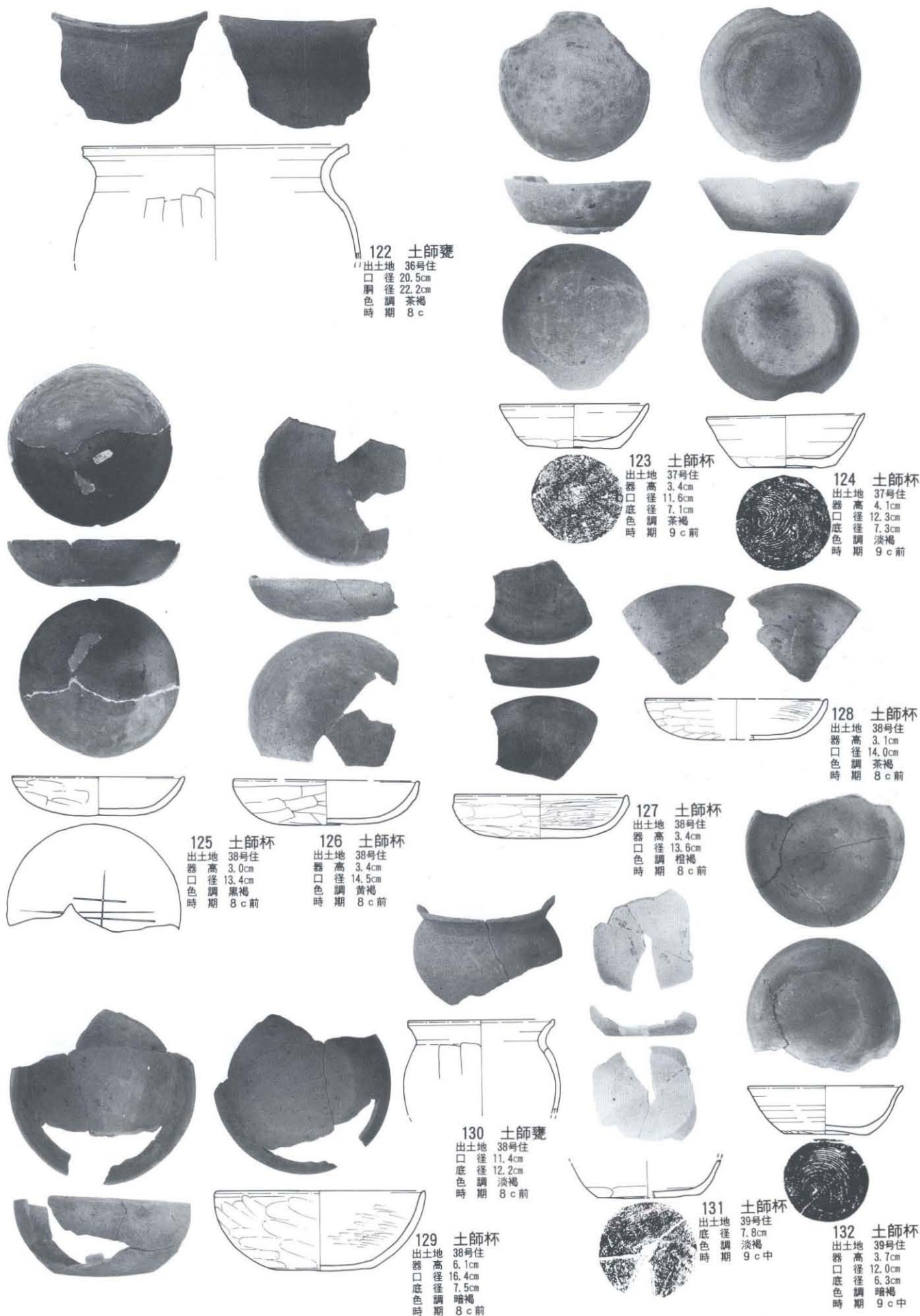


图101 奈良・平安時代遺物⑭36・37・38・39号住居跡出土遺物



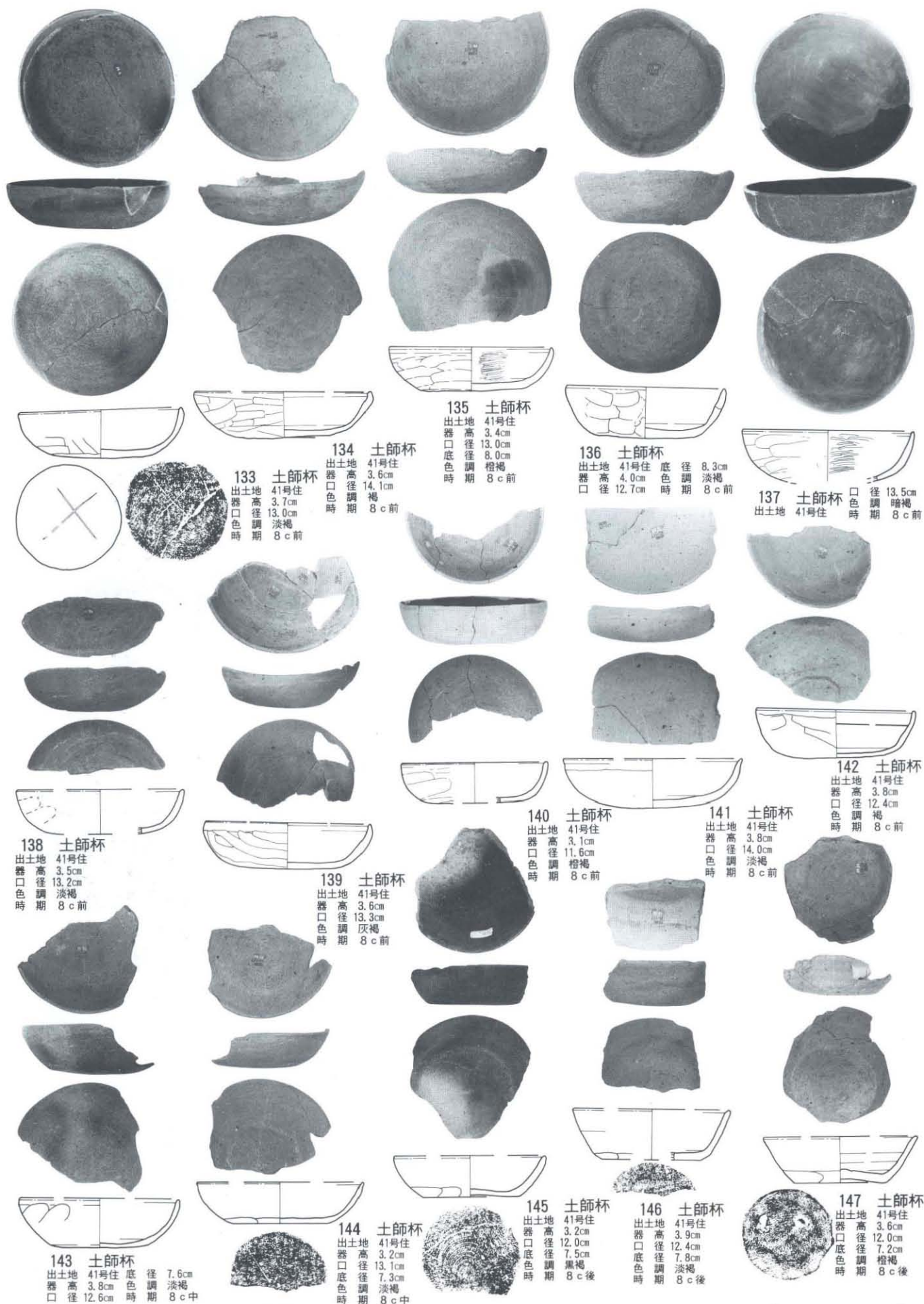


图102 奈良・平安時代遺物⑮41号住居跡出土遺物



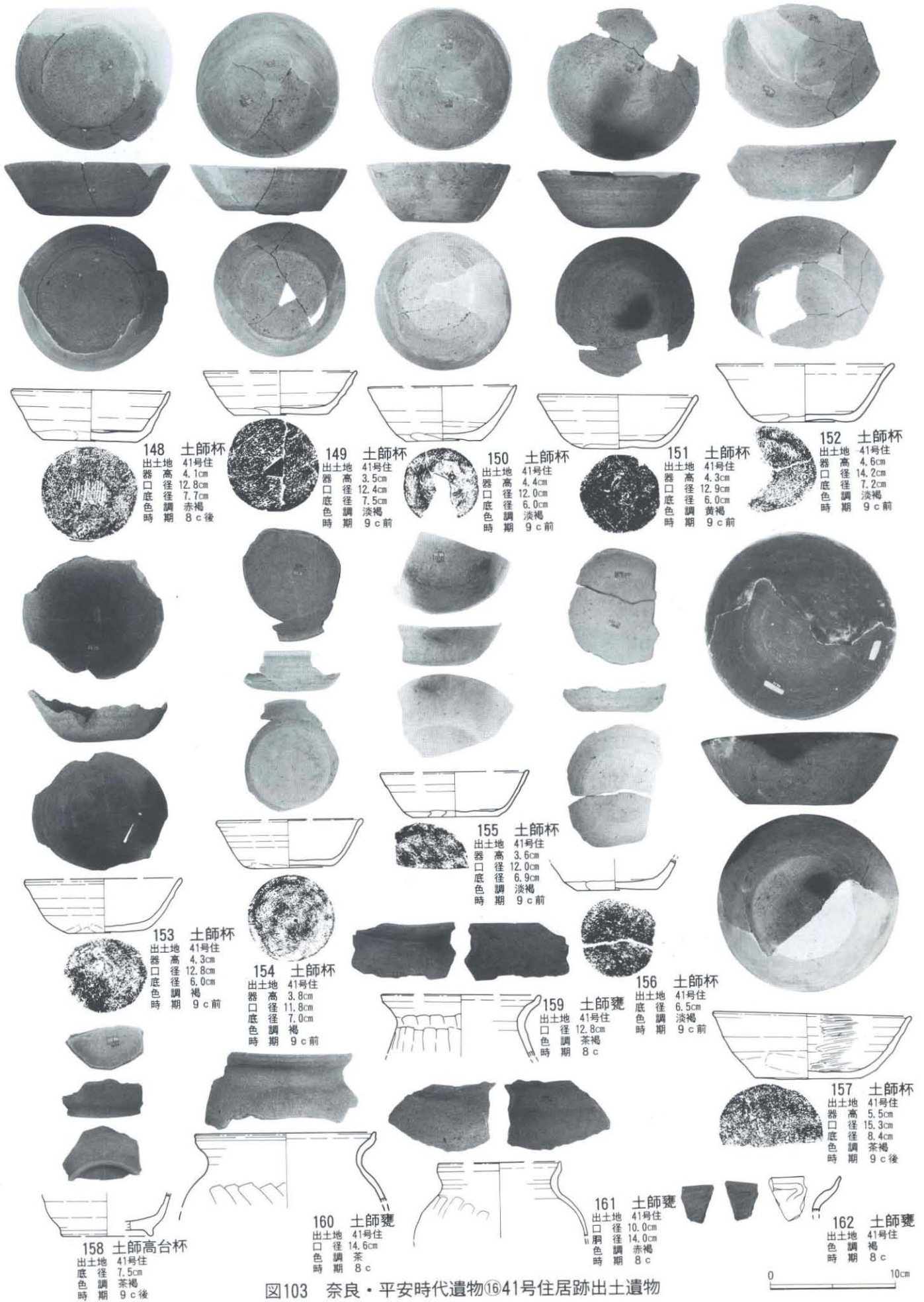
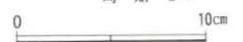


図103 奈良・平安時代遺物①41号住居跡出土遺物



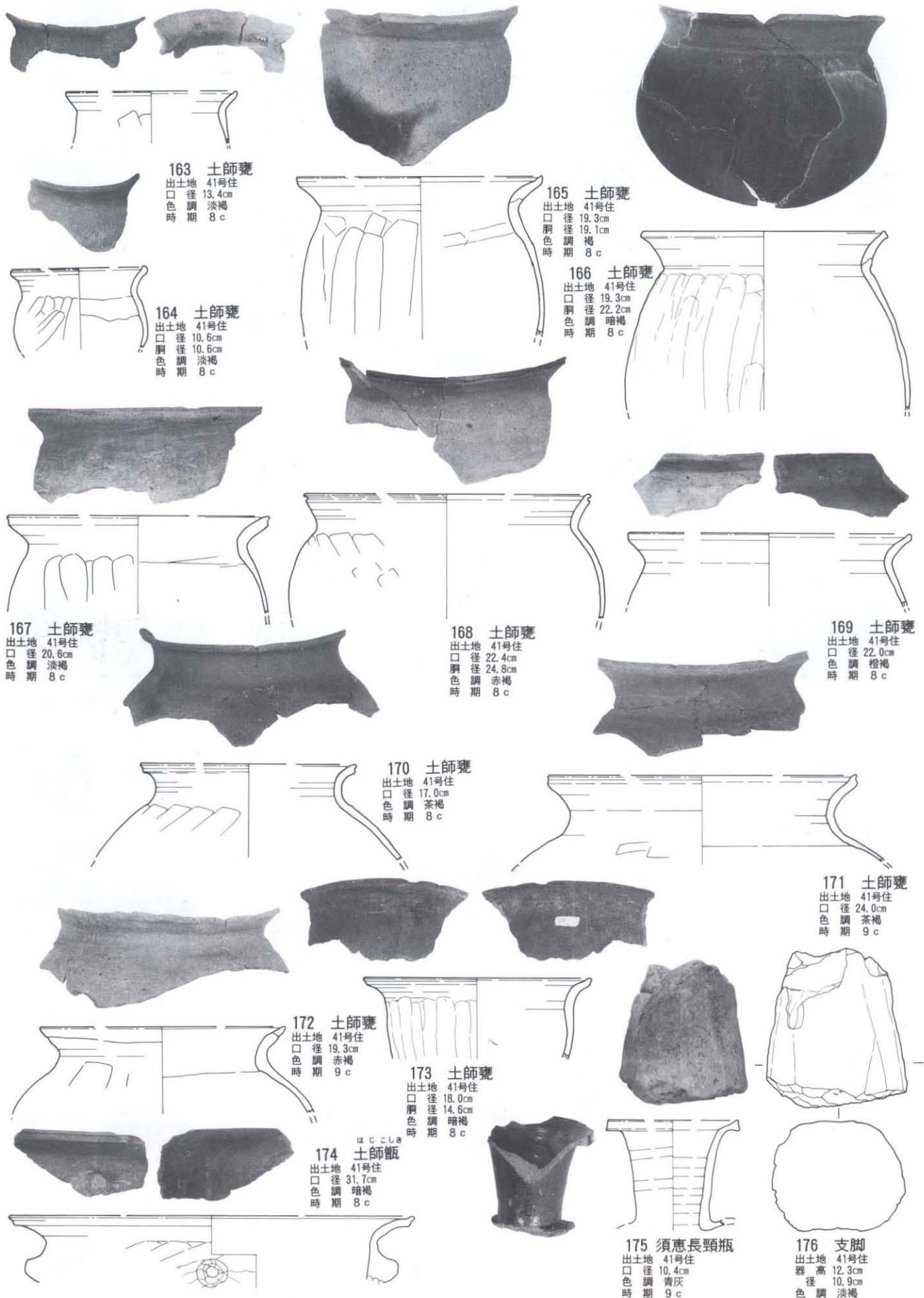


図104 奈良・平安時代遺物①41号住居跡出土遺物

0 10cm

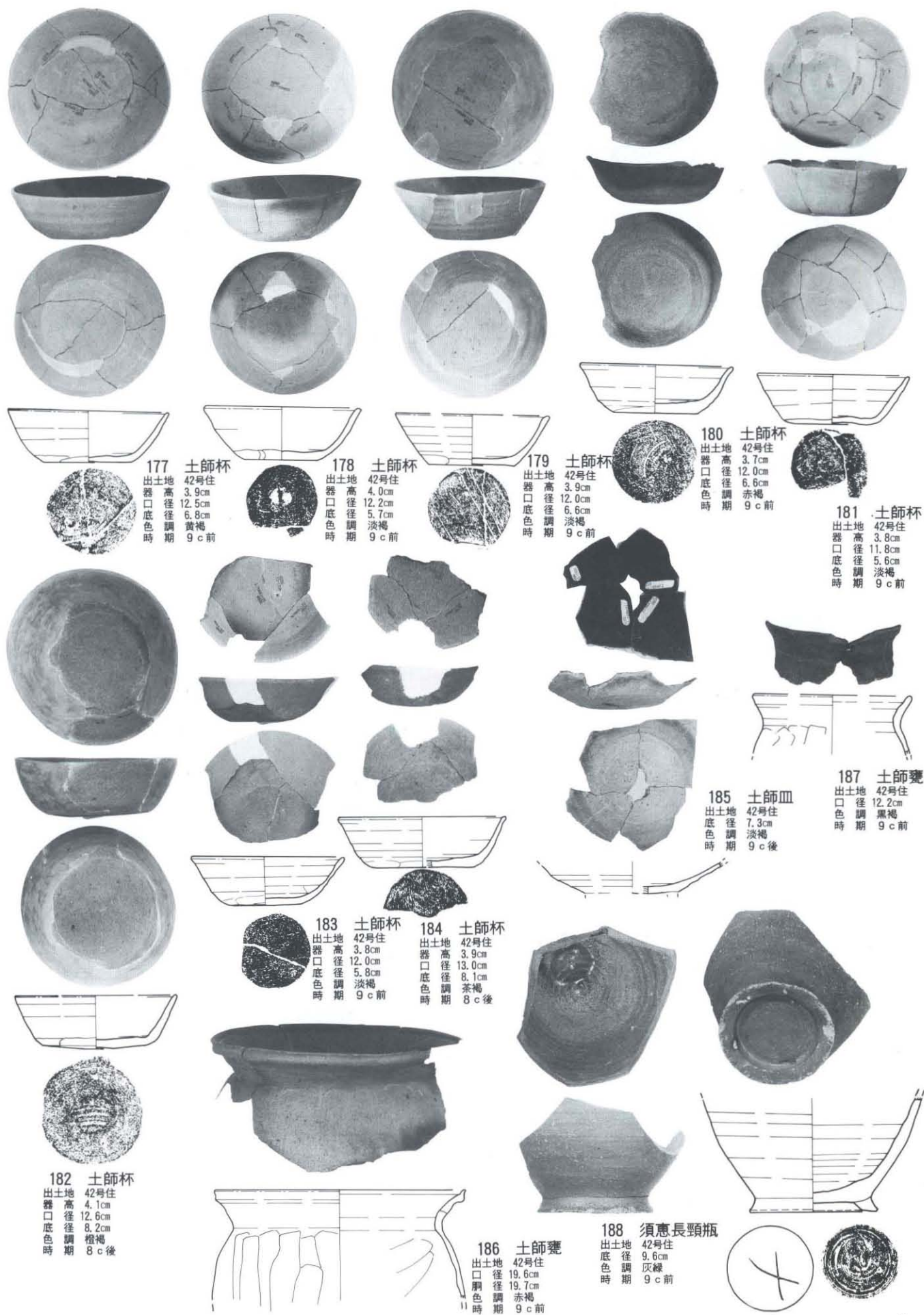
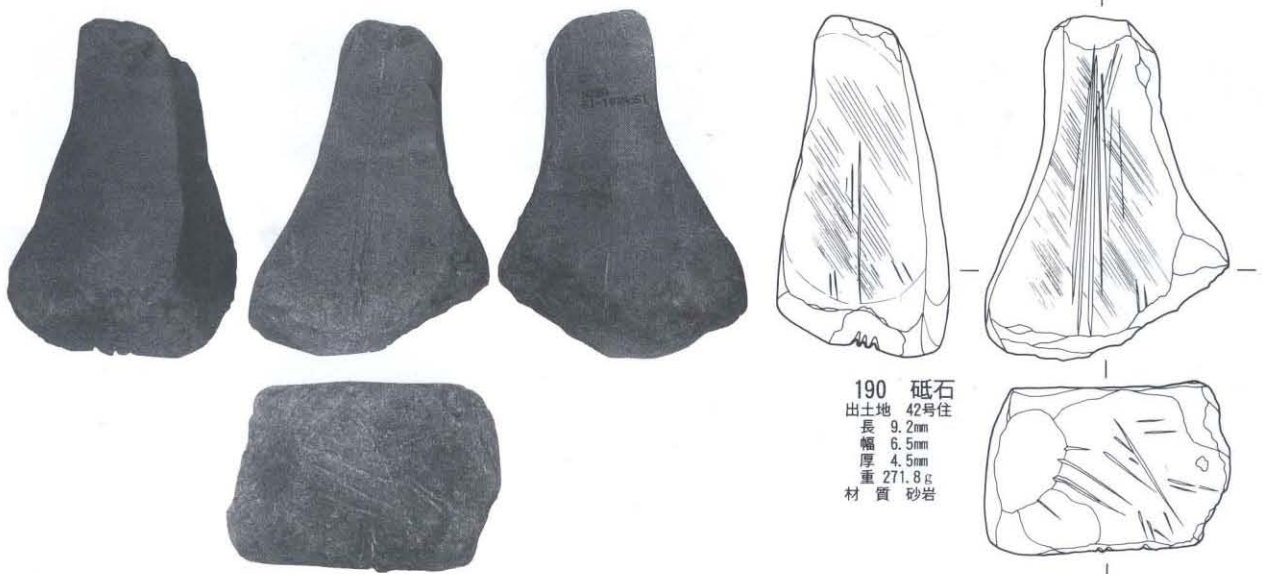
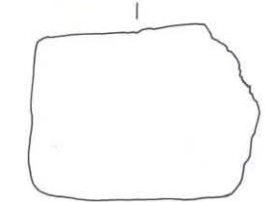
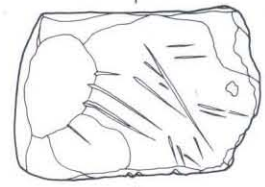


図105 奈良・平安時代遺物⑧42号住居跡出土遺物

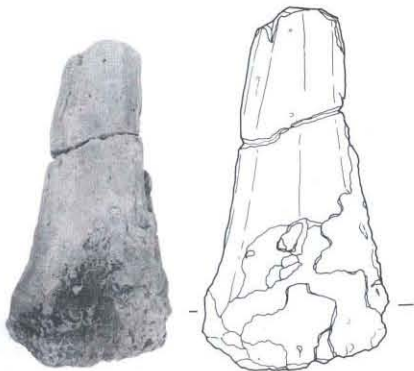
0 10cm



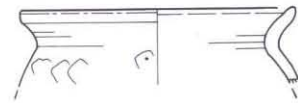
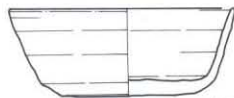
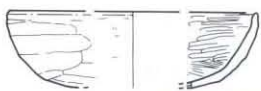
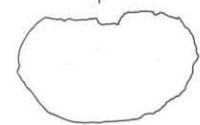
190 砥石
出土地 42号住
長 9.2mm
幅 6.5mm
厚 4.5mm
重 271.8g
材質 砂岩



0 5cm



189 支脚
出土地 42号住
器高 19.0cm
径 9.9cm
色調 淡褐



191 土師杯
出土地 43号住
口径 13.4cm
色調 茶褐
時期 8c前

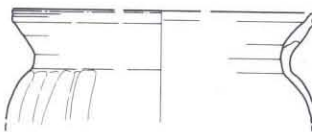
192 土師杯
出土地 43号住
器高 4.6cm
口径 12.0cm
口径底色調 茶褐
時期 8c後



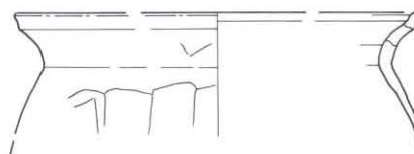
193 土師杯
出土地 43号住
器高 4.8cm
口径 12.4cm
口径底色調 橙褐
時期 8c後



194 土師甕
出土地 43号住
口径 14.6cm
色調 黒褐
時期 8c後



195 土師甕
出土地 43号住
口径 16.0cm
色調 暗褐
時期 8c後



196 土師甕
出土地 43号住
口径 21.6cm
色調 黄褐
時期 8c後

0 10cm

図106 奈良・平安時代遺物①42・43号住居跡出土遺物

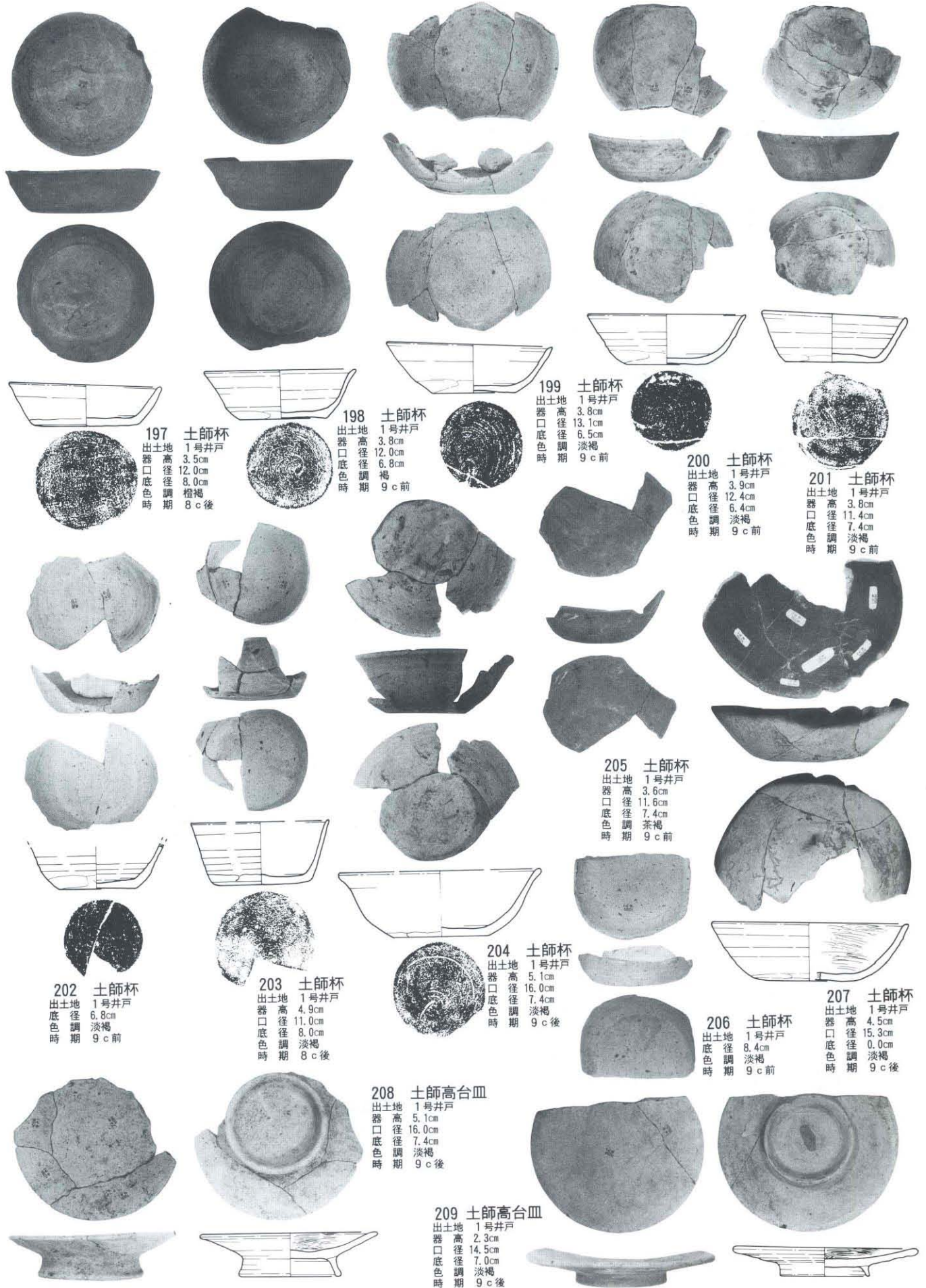


図107 奈良・平安時代遺物② 1号平安井戸跡出土遺物



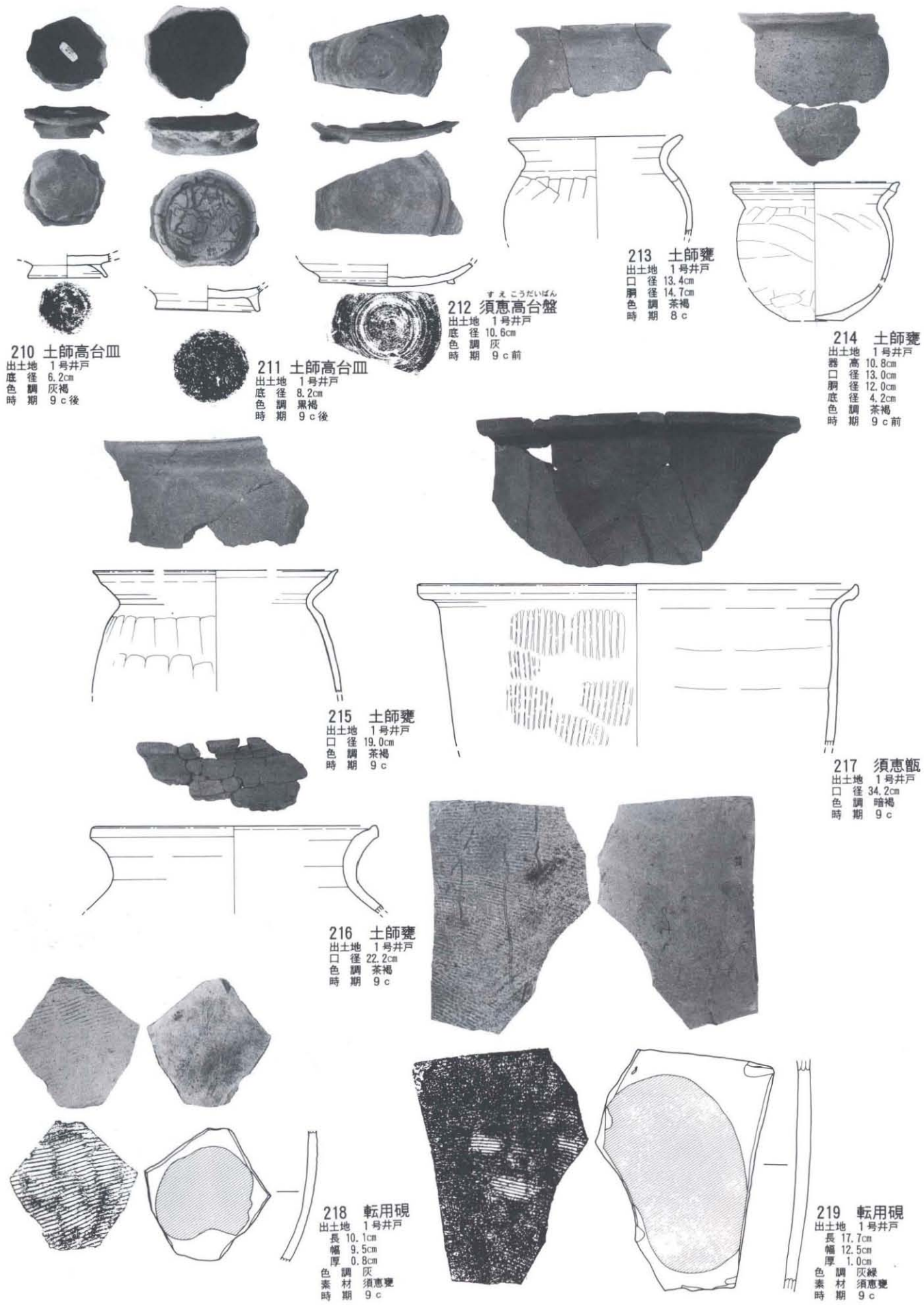
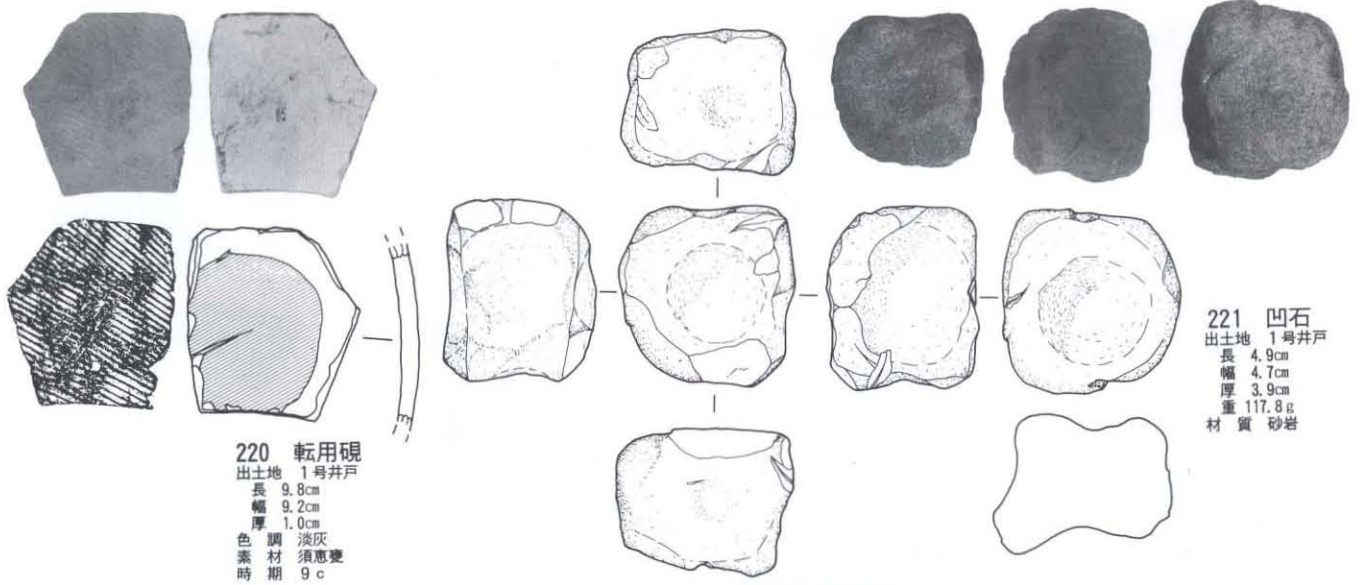


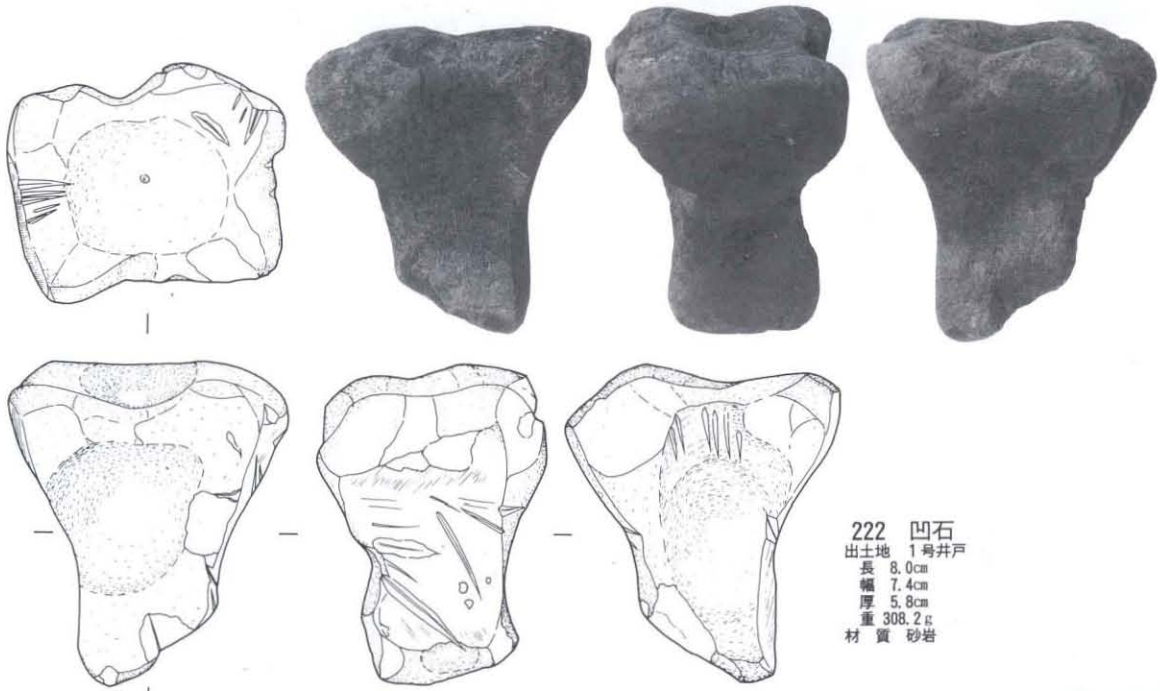
図108 奈良・平安時代遺物② 1号平安井戸跡出土遺物





220 転用硯
 出土地 1号井戸
 長 9.8cm
 幅 9.2cm
 厚 1.0cm
 色 淡灰
 素材 須恵甕
 時期 9c

221 凹石
 出土地 1号井戸
 長 4.9cm
 幅 4.7cm
 厚 3.9cm
 重 117.8g
 材質 砂岩



222 凹石
 出土地 1号井戸
 長 8.0cm
 幅 7.4cm
 厚 5.8cm
 重 308.2g
 材質 砂岩

223 火鑽臼
 出土地 1号井戸
 長 36.7cm
 幅 4.2cm
 厚 3.4cm

0 5cm

0 10cm

図109 奈良・平安時代遺物② 1号平安井戸跡出土遺物

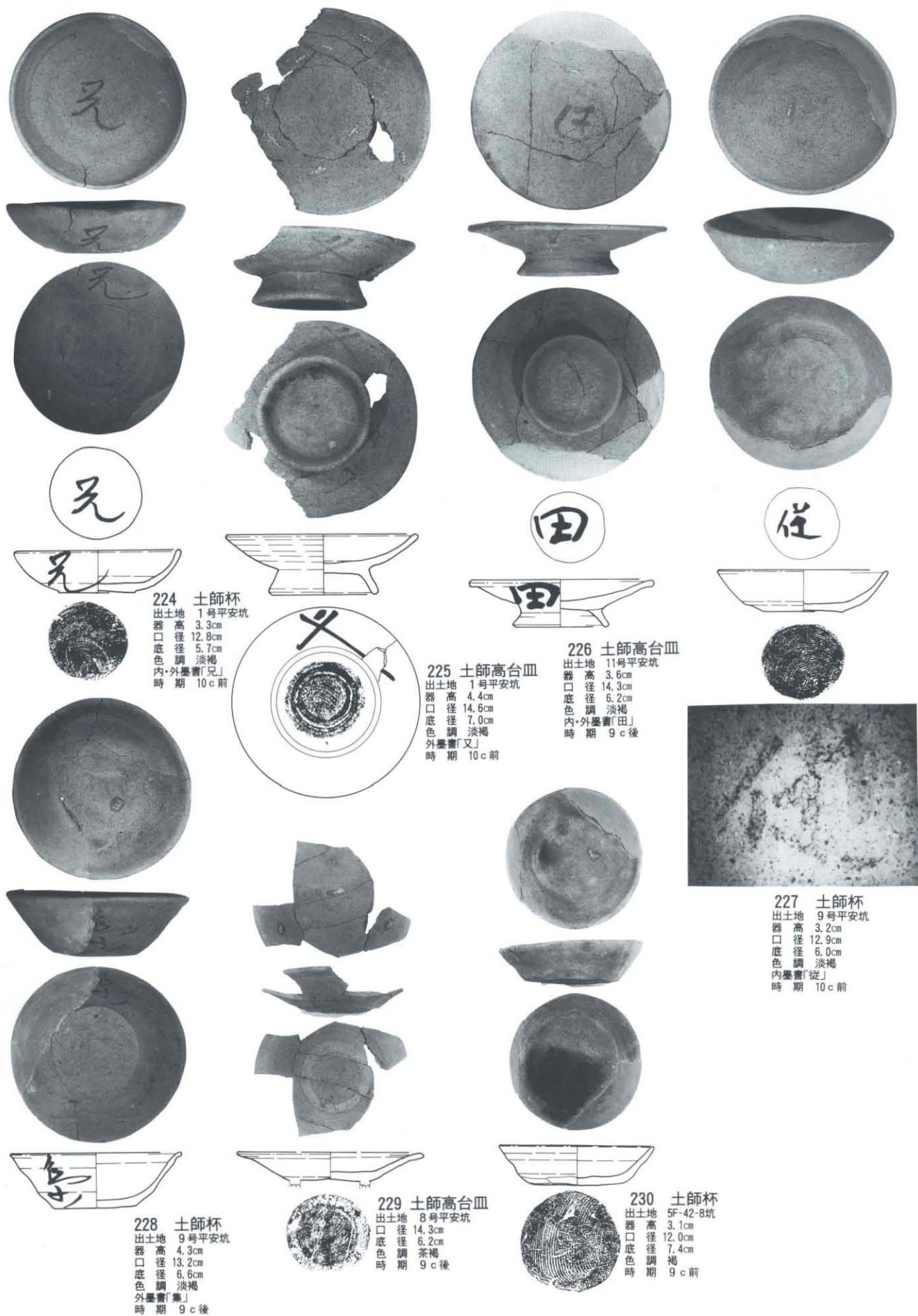


图110 奈良·平安時代遺物②③ 平安坑出土遺物



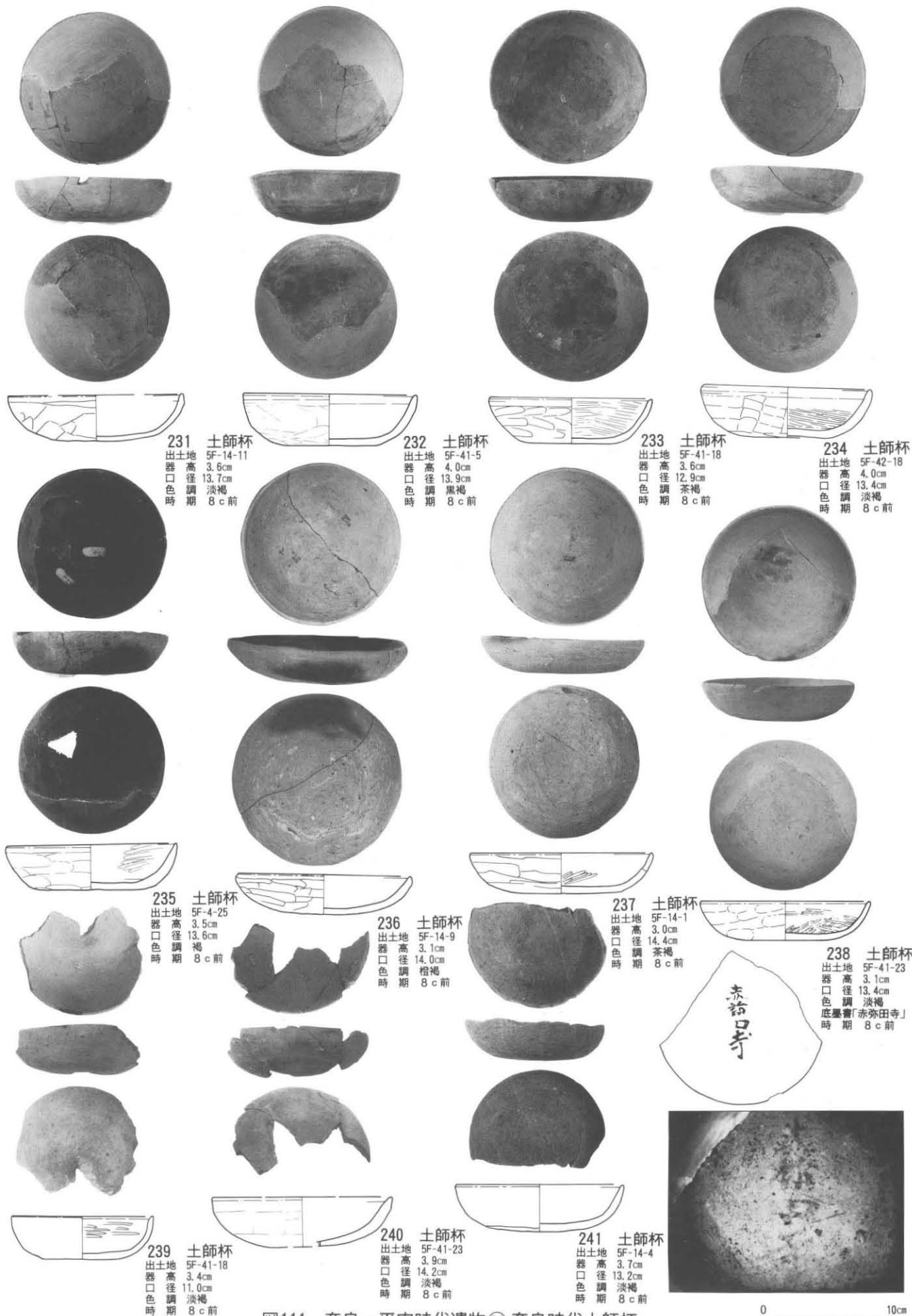


図111 奈良・平安時代遺物②4 奈良時代土師杯

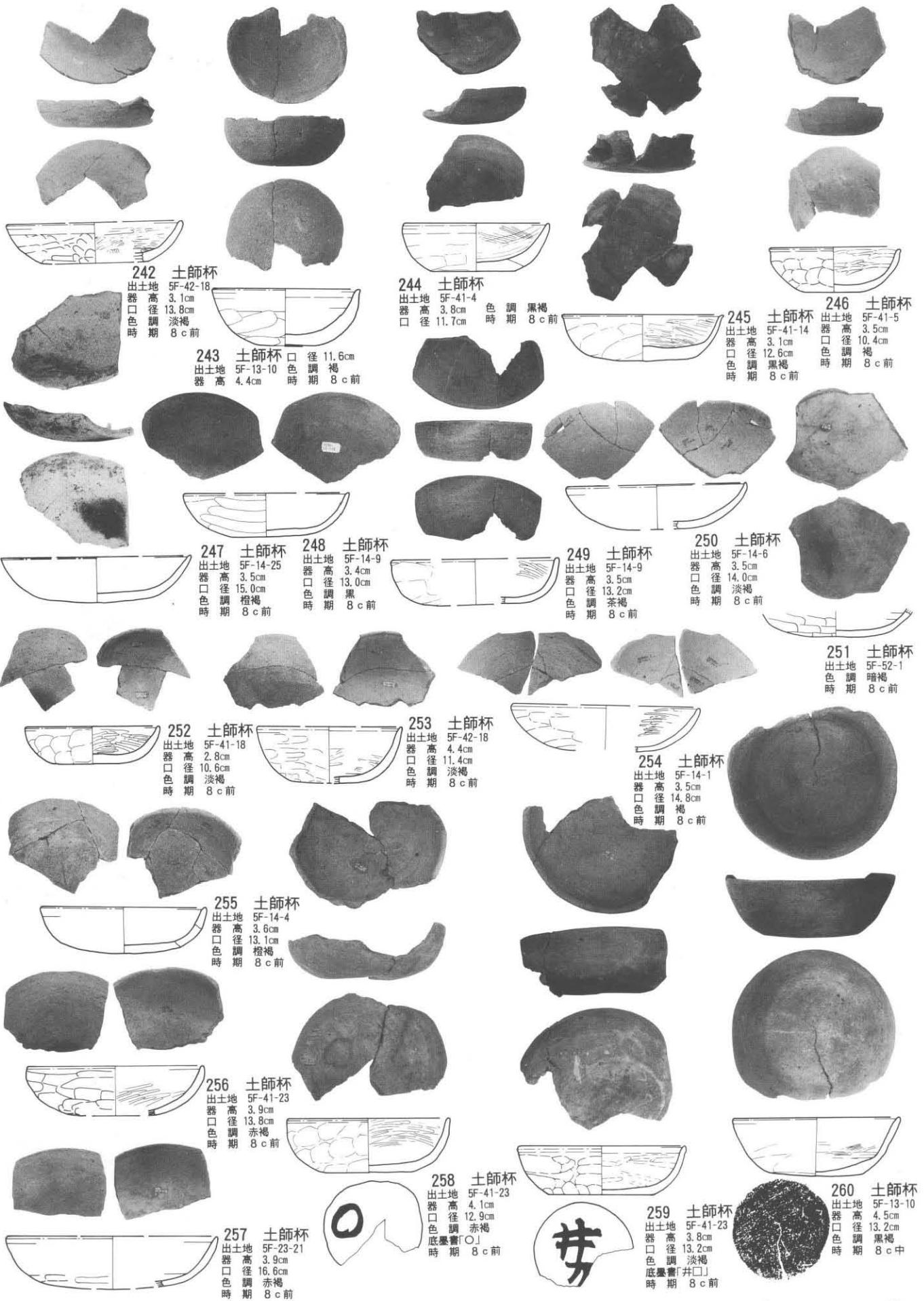


図112 奈良・平安時代遺物② 奈良時代土師杯



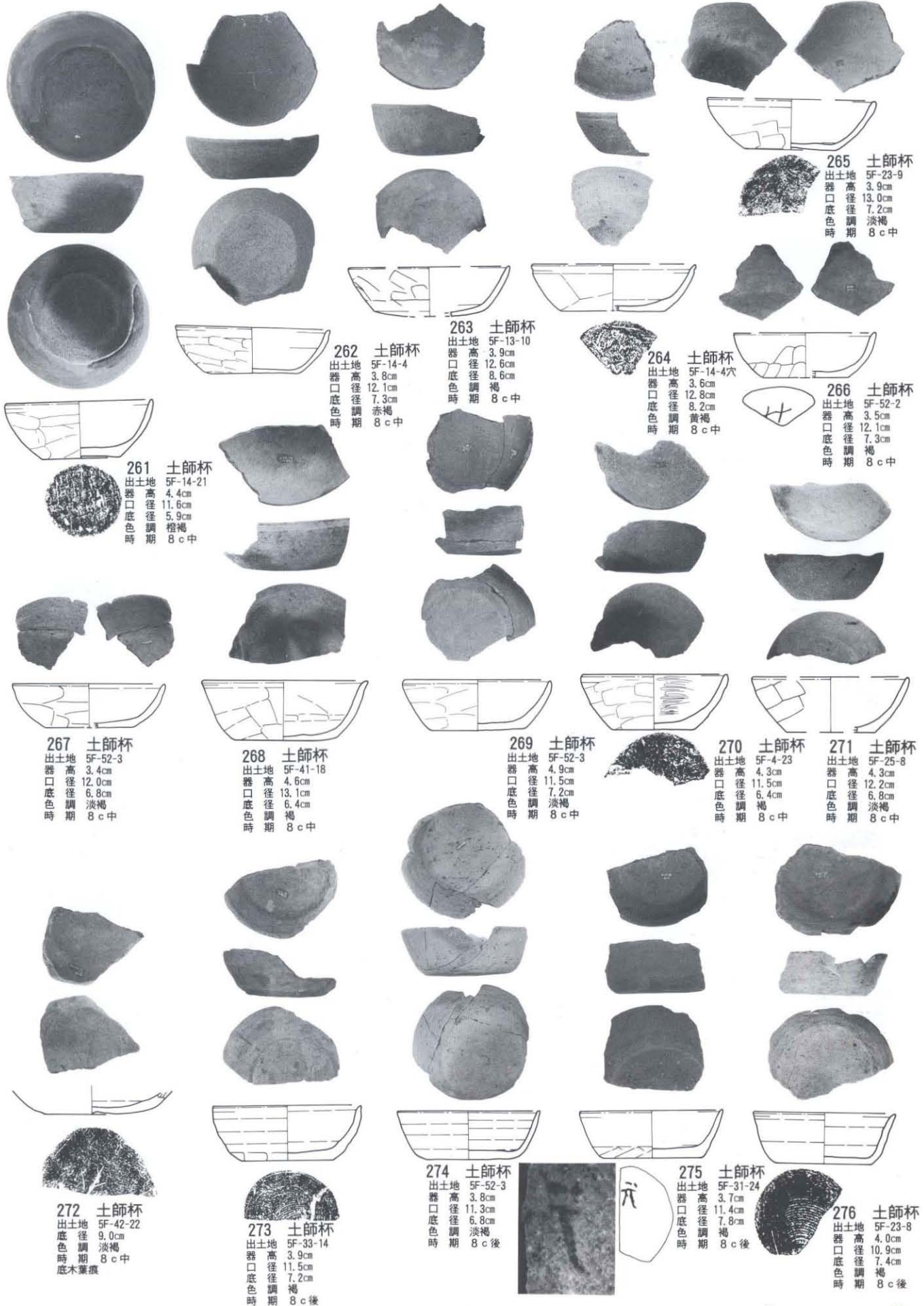
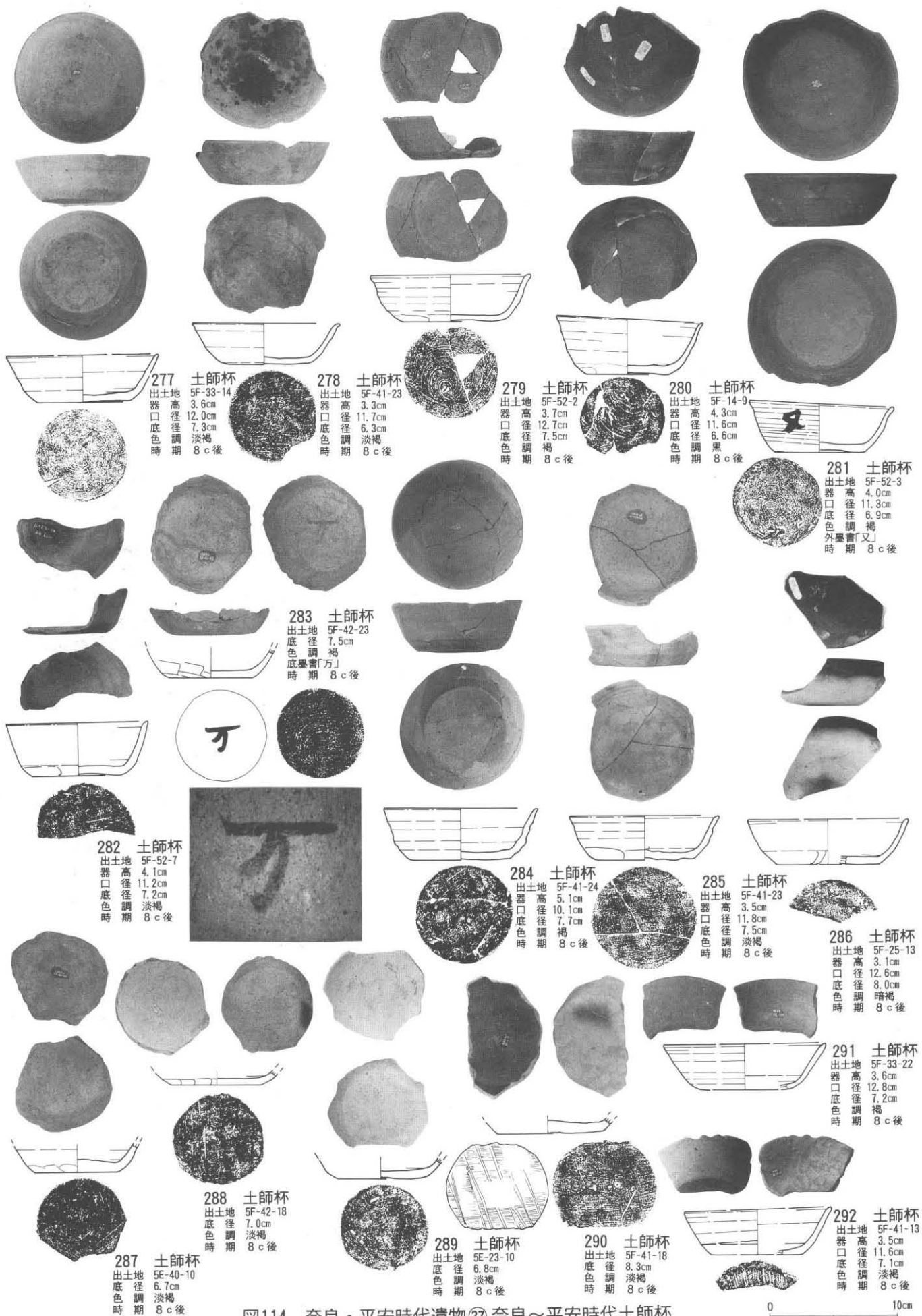


図113 奈良・平安時代遺物②⑥ 奈良時代土師杯

0 10cm



277 土師杯
 出土地 5F-33-14
 器口高 3.6cm
 器口徑 12.0cm
 底徑 7.3cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

278 土師杯
 出土地 5F-41-23
 器口高 3.3cm
 器口徑 11.7cm
 底徑 6.3cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

279 土師杯
 出土地 5F-52-2
 器口高 3.7cm
 器口徑 12.7cm
 底徑 7.5cm
 底色 褐
 時期 8c後

280 土師杯
 出土地 5F-14-9
 器口高 4.3cm
 器口徑 11.6cm
 底徑 6.6cm
 底色 黑
 時期 8c後

281 土師杯
 出土地 5F-52-3
 器口高 4.0cm
 器口徑 11.3cm
 底徑 6.9cm
 底色 褐
 外墨書「又」
 時期 8c後

283 土師杯
 出土地 5F-42-23
 底徑 7.5cm
 底色 褐
 底墨書「万」
 時期 8c後

282 土師杯
 出土地 5F-52-7
 器口高 4.1cm
 器口徑 11.2cm
 底徑 7.2cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

284 土師杯
 出土地 5F-41-24
 器口高 5.1cm
 器口徑 10.1cm
 底徑 7.7cm
 底色 褐
 時期 8c後

285 土師杯
 出土地 5F-41-23
 器口高 3.5cm
 器口徑 11.8cm
 底徑 7.5cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

286 土師杯
 出土地 5F-25-13
 器口高 3.1cm
 器口徑 12.6cm
 底徑 8.0cm
 底色 暗褐
 時期 8c後

291 土師杯
 出土地 5F-33-22
 器口高 3.6cm
 器口徑 12.8cm
 底徑 7.2cm
 底色 褐
 時期 8c後

288 土師杯
 出土地 5F-42-18
 底徑 7.0cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

287 土師杯
 出土地 5E-40-10
 底徑 6.7cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

289 土師杯
 出土地 5E-23-10
 底徑 6.8cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

290 土師杯
 出土地 5F-41-18
 底徑 8.3cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

292 土師杯
 出土地 5F-41-13
 器口高 3.5cm
 器口徑 11.6cm
 底徑 7.1cm
 底色 淡褐
 時期 8c後

図114 奈良・平安時代遺物②⑦ 奈良～平安時代土師杯



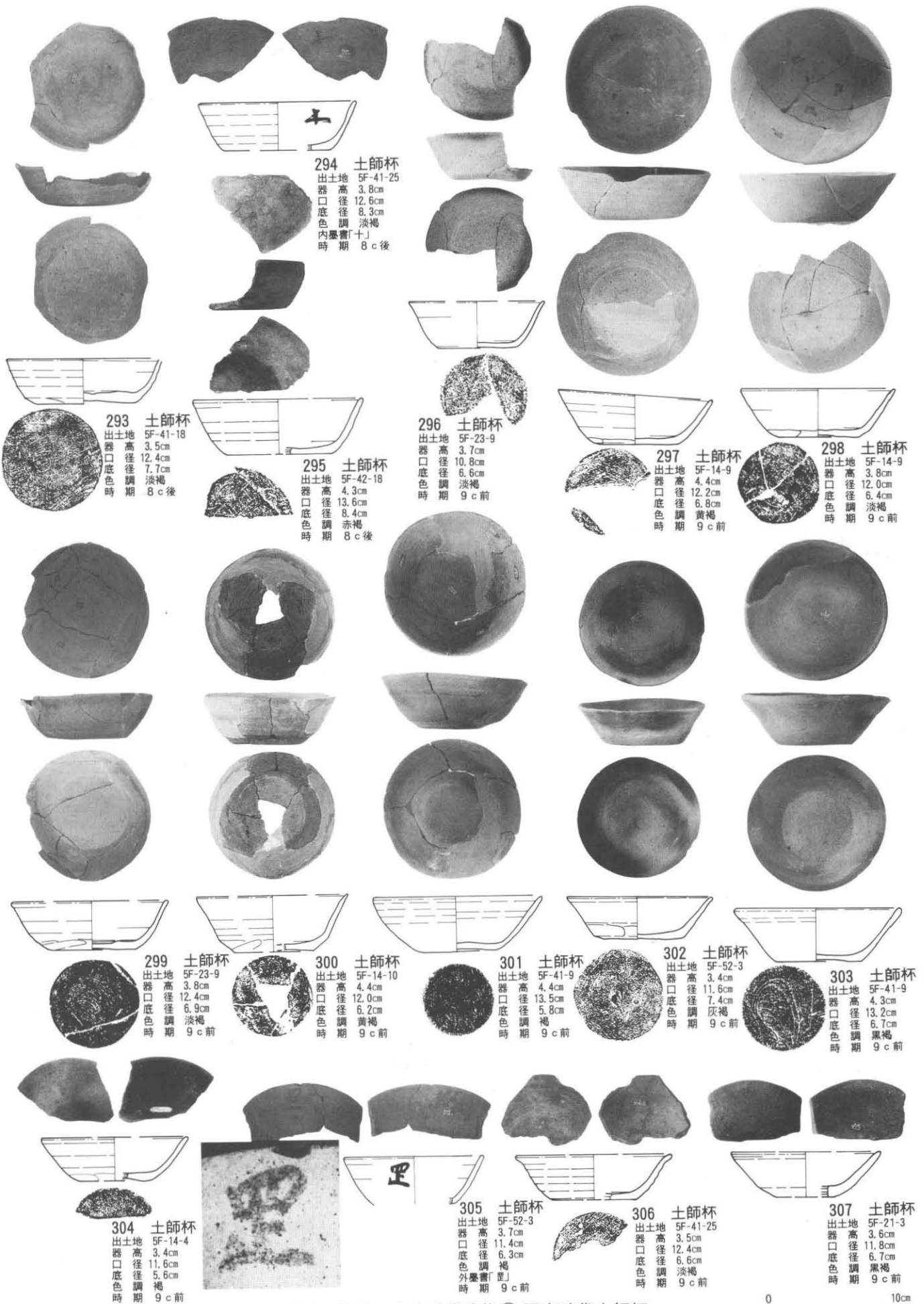
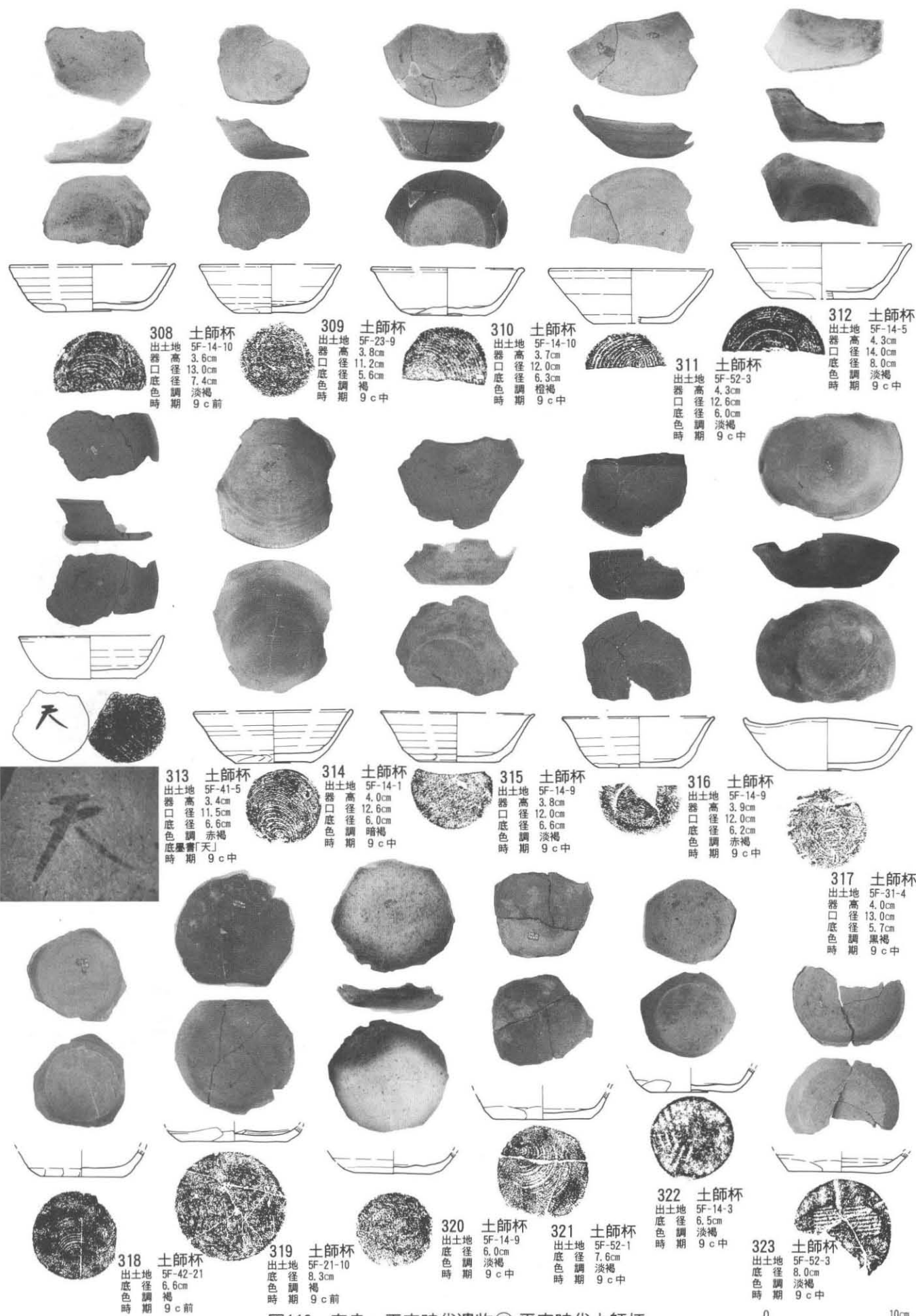


図115 奈良・平安時代遺物② 平安時代土師杯

0 10cm



308 土師杯
出土地 5F-14-10
器口底色時 3.6cm
高徑徑調期 13.0cm
淡褐 7.4cm
9 c 前

309 土師杯
出土地 5F-23-9
器口底色時 3.8cm
高徑徑調期 11.2cm
褐 5.6cm
9 c 中

310 土師杯
出土地 5F-14-10
器口底色時 3.7cm
高徑徑調期 12.0cm
橙褐 6.3cm
9 c 中

311 土師杯
出土地 5F-52-3
器口底色時 4.3cm
高徑徑調期 12.6cm
淡褐 6.0cm
9 c 中

312 土師杯
出土地 5F-14-5
器口底色時 4.3cm
高徑徑調期 14.0cm
淡褐 8.0cm
9 c 中

313 土師杯
出土地 5F-41-5
器口底色時 3.4cm
高徑徑調期 11.5cm
赤褐 6.6cm
底墨書「天」時 9 c 中

314 土師杯
出土地 5F-14-1
器口底色時 4.0cm
高徑徑調期 12.6cm
暗褐 6.0cm
9 c 中

315 土師杯
出土地 5F-14-9
器口底色時 3.8cm
高徑徑調期 12.0cm
淡褐 6.6cm
9 c 中

316 土師杯
出土地 5F-14-9
器口底色時 3.9cm
高徑徑調期 12.0cm
赤褐 6.2cm
9 c 中

317 土師杯
出土地 5F-31-4
器口底色時 4.0cm
高徑徑調期 13.0cm
黑褐 5.7cm
9 c 中

318 土師杯
出土地 5F-42-21
器口底色時 6.6cm
底徑調期 9 c 前

319 土師杯
出土地 5F-21-10
器口底色時 8.3cm
褐 9 c 前

320 土師杯
出土地 5F-14-9
器口底色時 6.0cm
淡褐 9 c 中

321 土師杯
出土地 5F-52-1
器口底色時 7.6cm
底徑調期 9 c 中

322 土師杯
出土地 5F-14-3
器口底色時 6.5cm
淡褐 9 c 中

323 土師杯
出土地 5F-52-3
器口底色時 8.0cm
淡褐 9 c 中

圖116 奈良・平安時代遺物② 平安時代土師杯



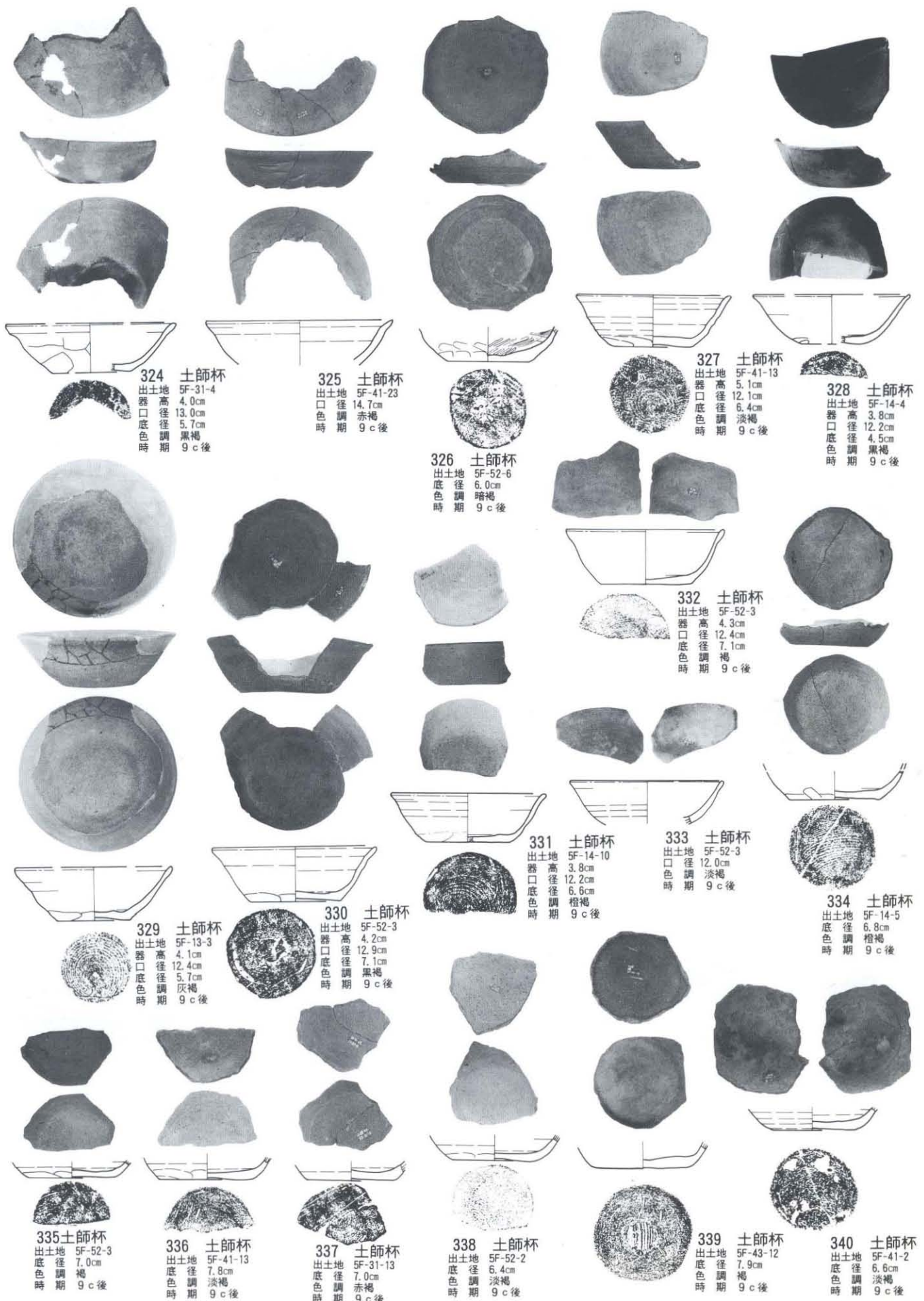
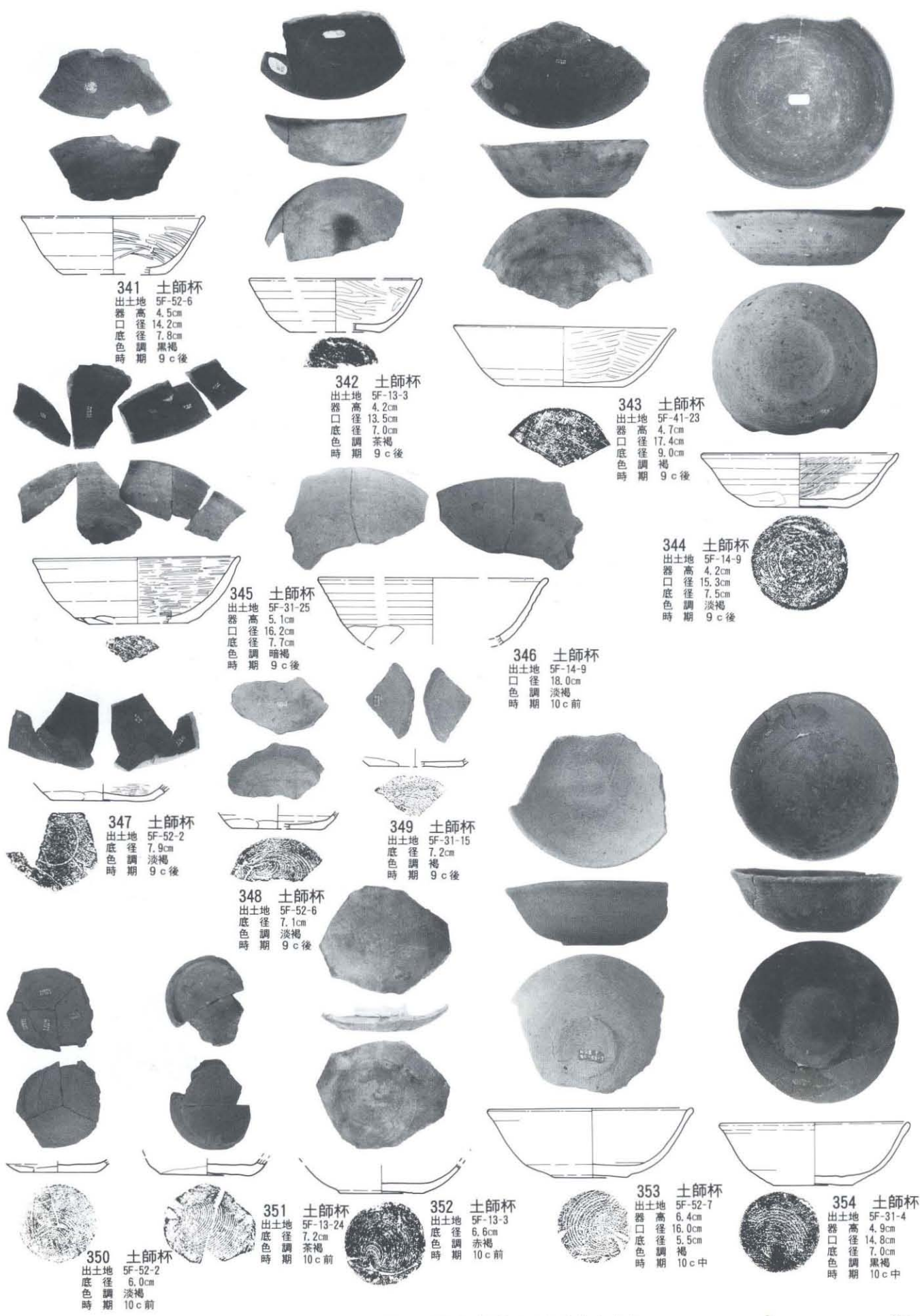


图117 奈良·平安時代遺物③ 平安時代土師杯

0 10cm



341 土師杯
 出土地 5F-52-6
 器高 4.5cm
 口径 14.2cm
 底径 7.8cm
 底色 黑褐
 時期 9c後

342 土師杯
 出土地 5F-13-3
 器高 4.2cm
 口径 13.5cm
 底径 7.0cm
 底色 茶褐
 時期 9c後

343 土師杯
 出土地 5F-41-23
 器高 4.7cm
 口径 17.4cm
 底径 9.0cm
 底色 褐
 時期 9c後

344 土師杯
 出土地 5F-14-9
 器高 4.2cm
 口径 15.3cm
 底径 7.5cm
 底色 淡褐
 時期 9c後

345 土師杯
 出土地 5F-31-25
 器高 5.1cm
 口径 16.2cm
 底径 7.7cm
 底色 暗褐
 時期 9c後

346 土師杯
 出土地 5F-14-9
 口径 18.0cm
 底径 10c前

347 土師杯
 出土地 5F-52-2
 口径 7.9cm
 底色 淡褐
 時期 9c後

349 土師杯
 出土地 5F-31-15
 口径 7.2cm
 底色 褐
 時期 9c後

348 土師杯
 出土地 5F-52-6
 口径 7.1cm
 底色 淡褐
 時期 9c後

350 土師杯
 出土地 5F-52-2
 口径 6.0cm
 底色 淡褐
 時期 10c前

351 土師杯
 出土地 5F-13-24
 口径 7.2cm
 底径 7.2cm
 底色 茶褐
 時期 10c前

352 土師杯
 出土地 5F-13-3
 口径 6.6cm
 底色 赤褐
 時期 10c前

353 土師杯
 出土地 5F-52-7
 器高 6.4cm
 口径 16.0cm
 底径 5.5cm
 底色 褐
 時期 10c中

354 土師杯
 出土地 5F-31-4
 器高 4.9cm
 口径 14.8cm
 底径 7.0cm
 底色 黑褐
 時期 10c中

図118 奈良・平安時代遺物③ 平安時代土師杯



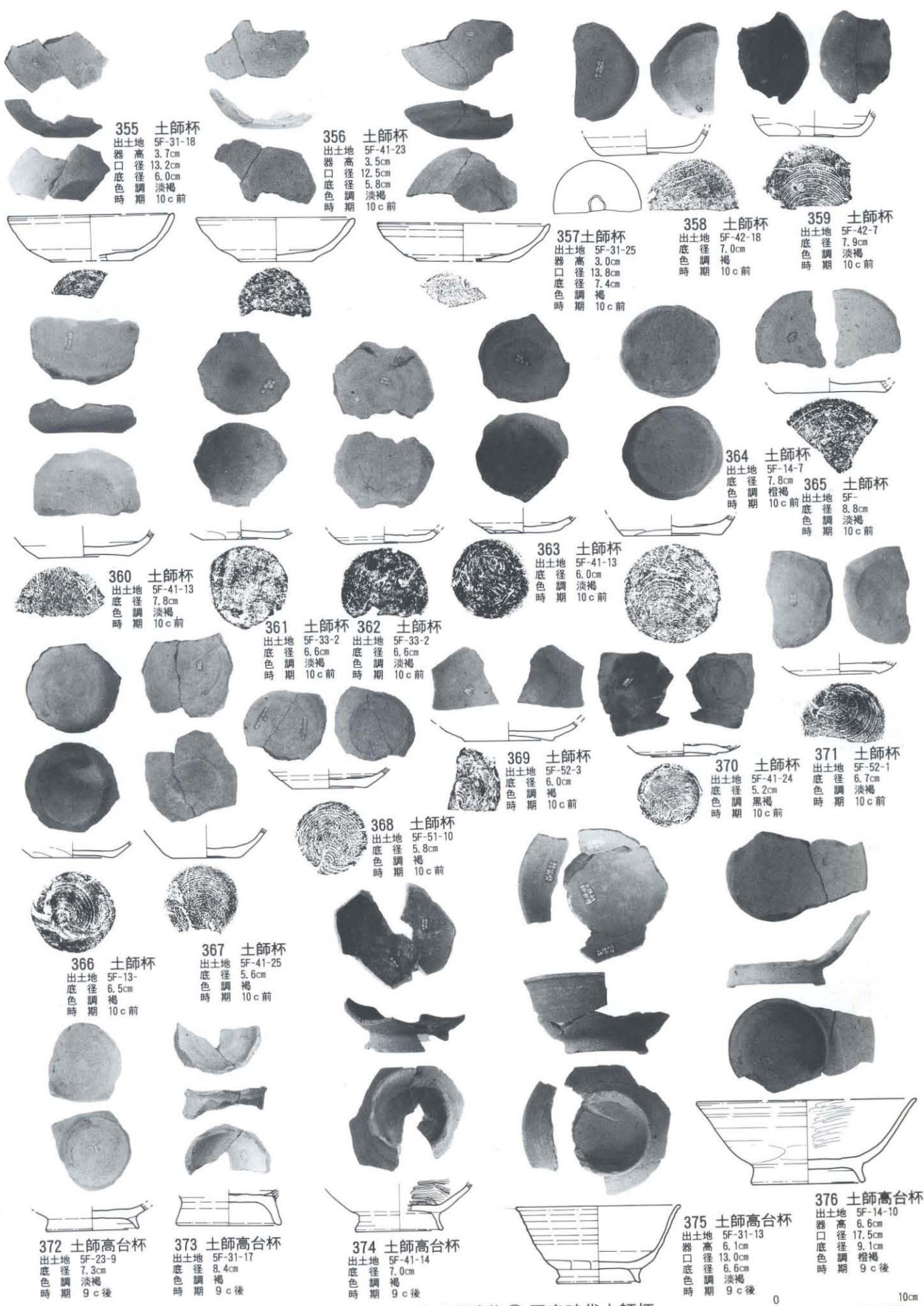
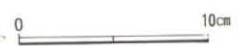


図119 奈良・平安時代遺物③ 平安時代土師杯



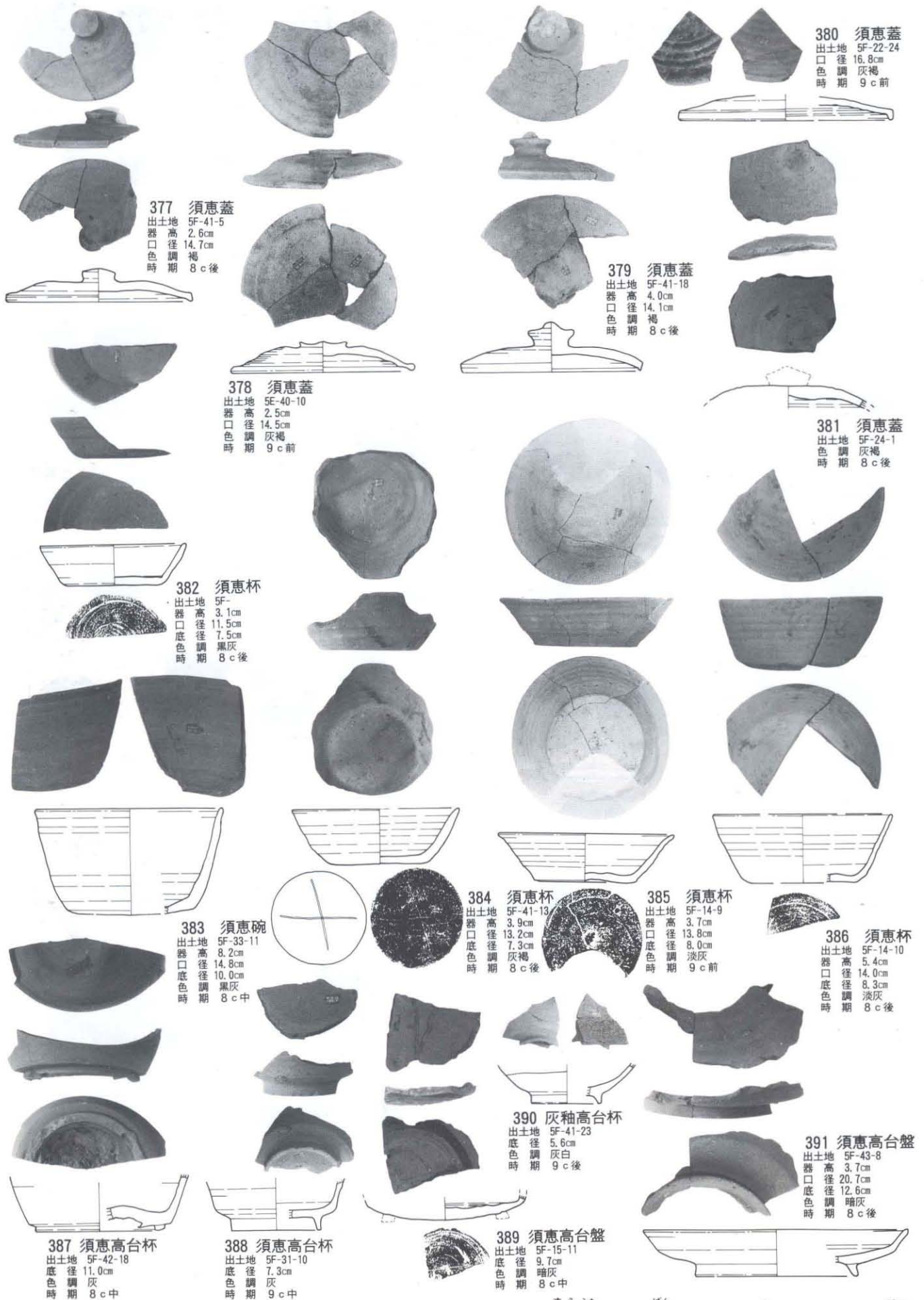


図120 奈良・平安時代遺物③ 平安時代須惠蓋・杯・盤





図121 奈良・平安時代遺物③ 墨書土器

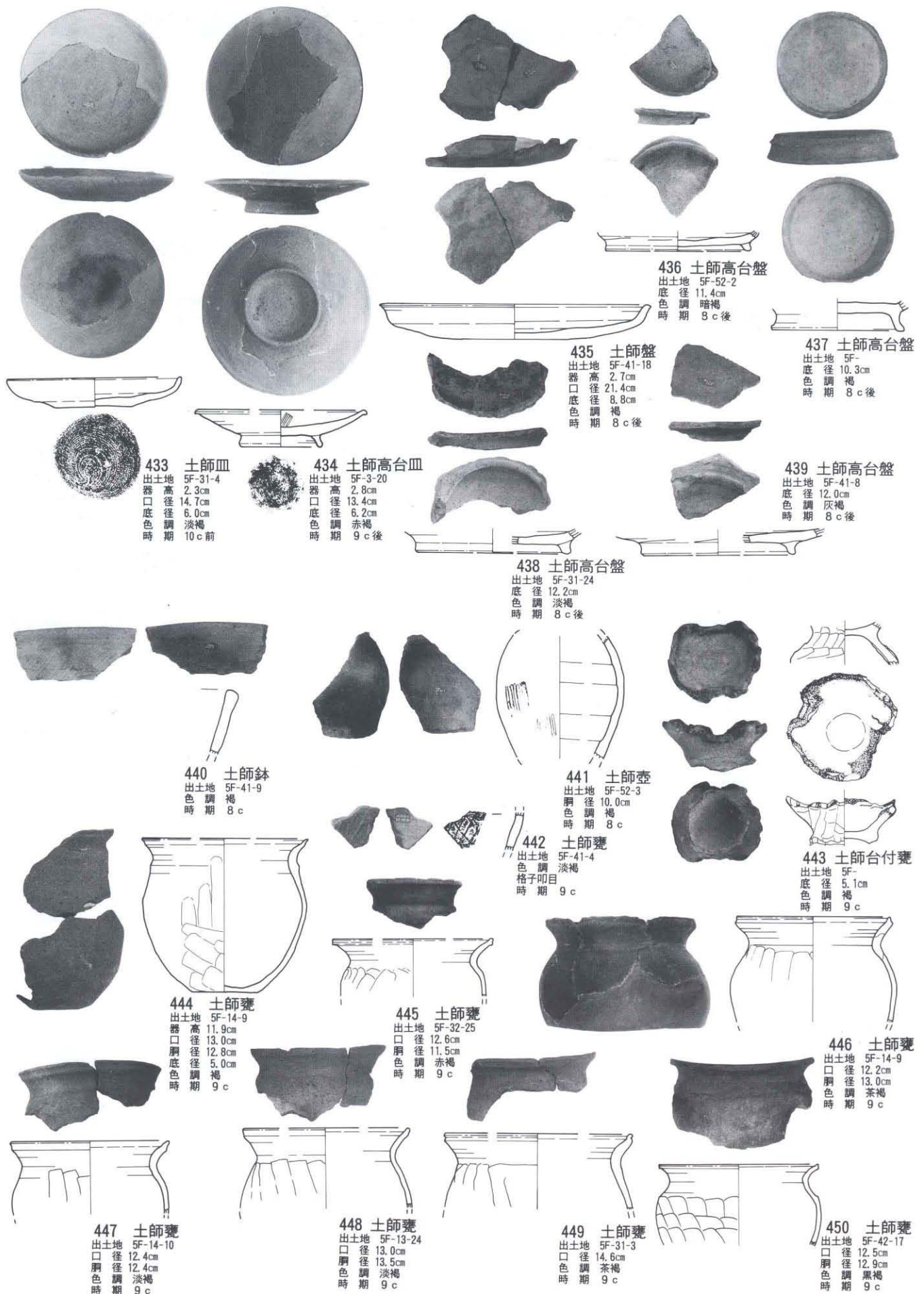


図122 奈良・平安時代遺物⑤ 平安時代土師皿・盤・甕



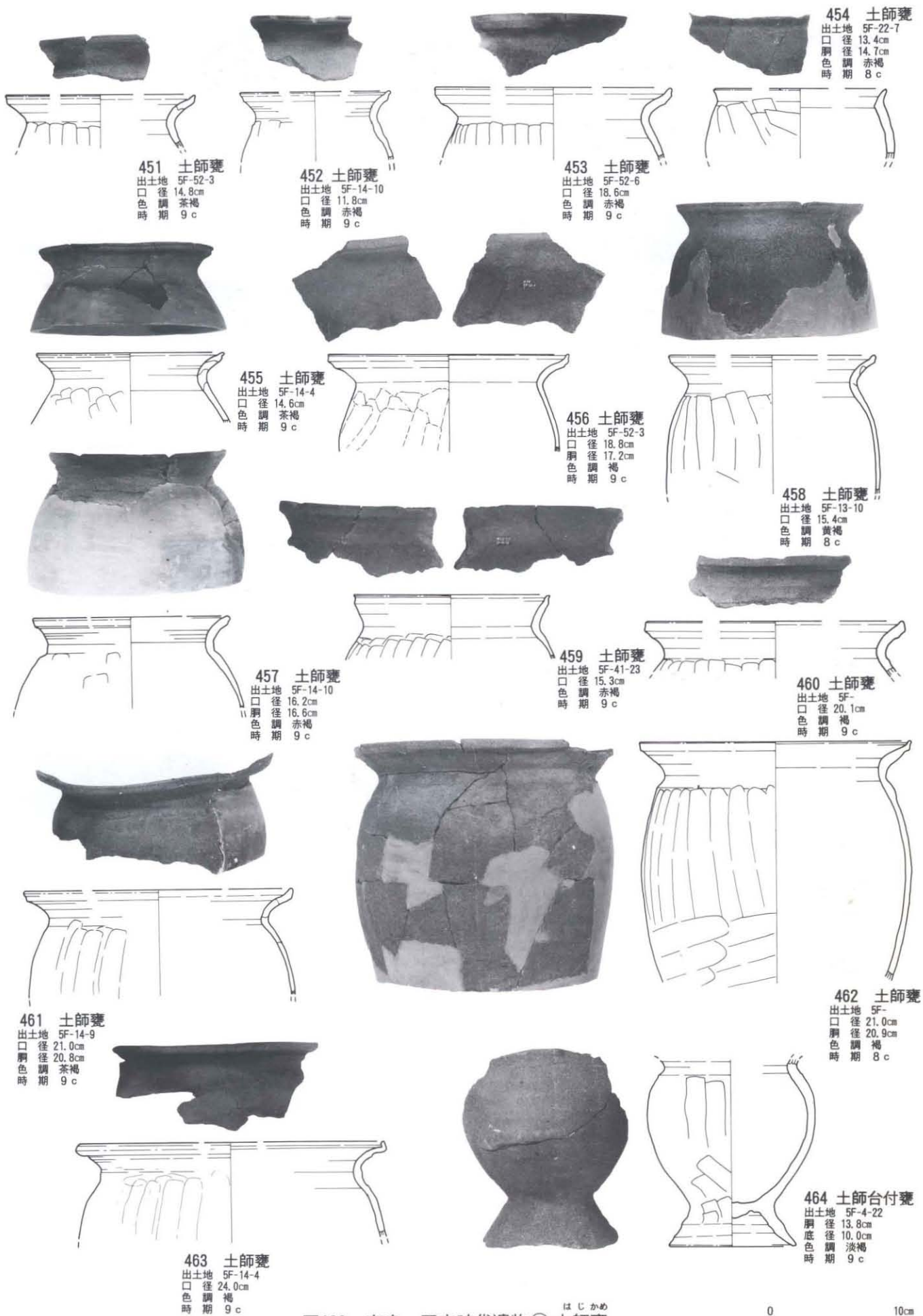
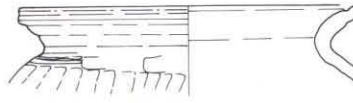
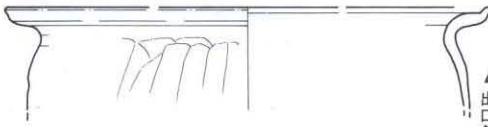


図123 奈良・平安時代遺物③⑥ 土師甕

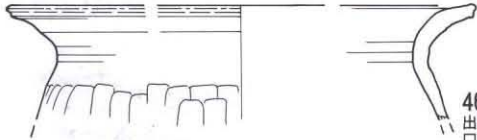




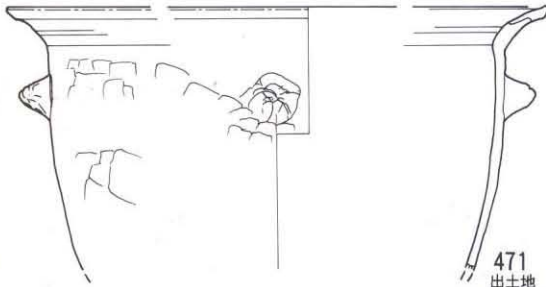
465 土師甕
出土地 5F-42-1
口径 18.0cm
色調 褐
時期 9c



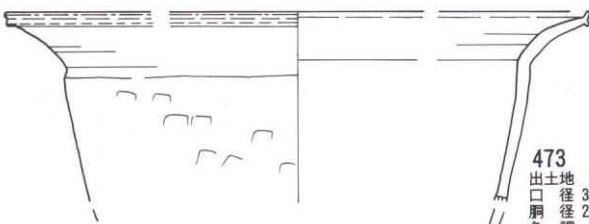
467 土師甕
出土地 5F-13-25
口径 25.8cm
色調 茶褐
時期 9c



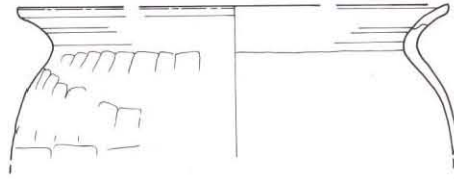
468 土師甕
出土地 5F-42-18
口径 24.8cm
色調 橙褐
時期 8c



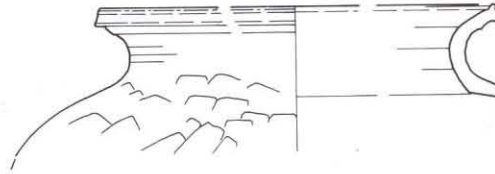
471 土師甕
出土地 5F-52-3
口径 28.6cm
口径 24.0cm
色調 赤褐
時期 8c



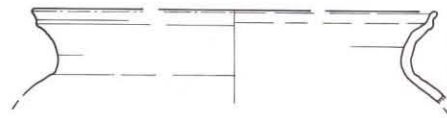
473 土師甕
出土地 5F-14
口径 30.8cm
口径 24.7cm
色調 褐
時期 8c



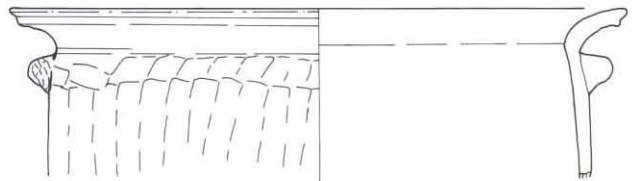
466 土師甕
出土地 5F-41-18
口径 22.8cm
色調 赤褐
時期 9c



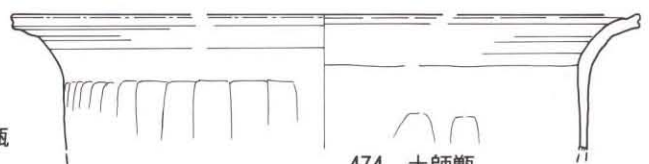
469 土師甕
出土地 5F-14-4
口径 21.4cm
色調 茶褐
時期 9c



470 土師甕
出土地 5F-
口径 21.4cm
色調 淡褐
時期 9c



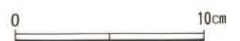
472 土師甕
出土地 5F-41-13
口径 33.0cm
口径 28.8cm
色調 褐
時期 8c



474 土師甕
出土地 5F-42-17
口径 33.0cm
口径 27.7cm
色調 黄褐
時期 8c

図124 奈良・平安時代遺物③ 土師甕・甑

こしき



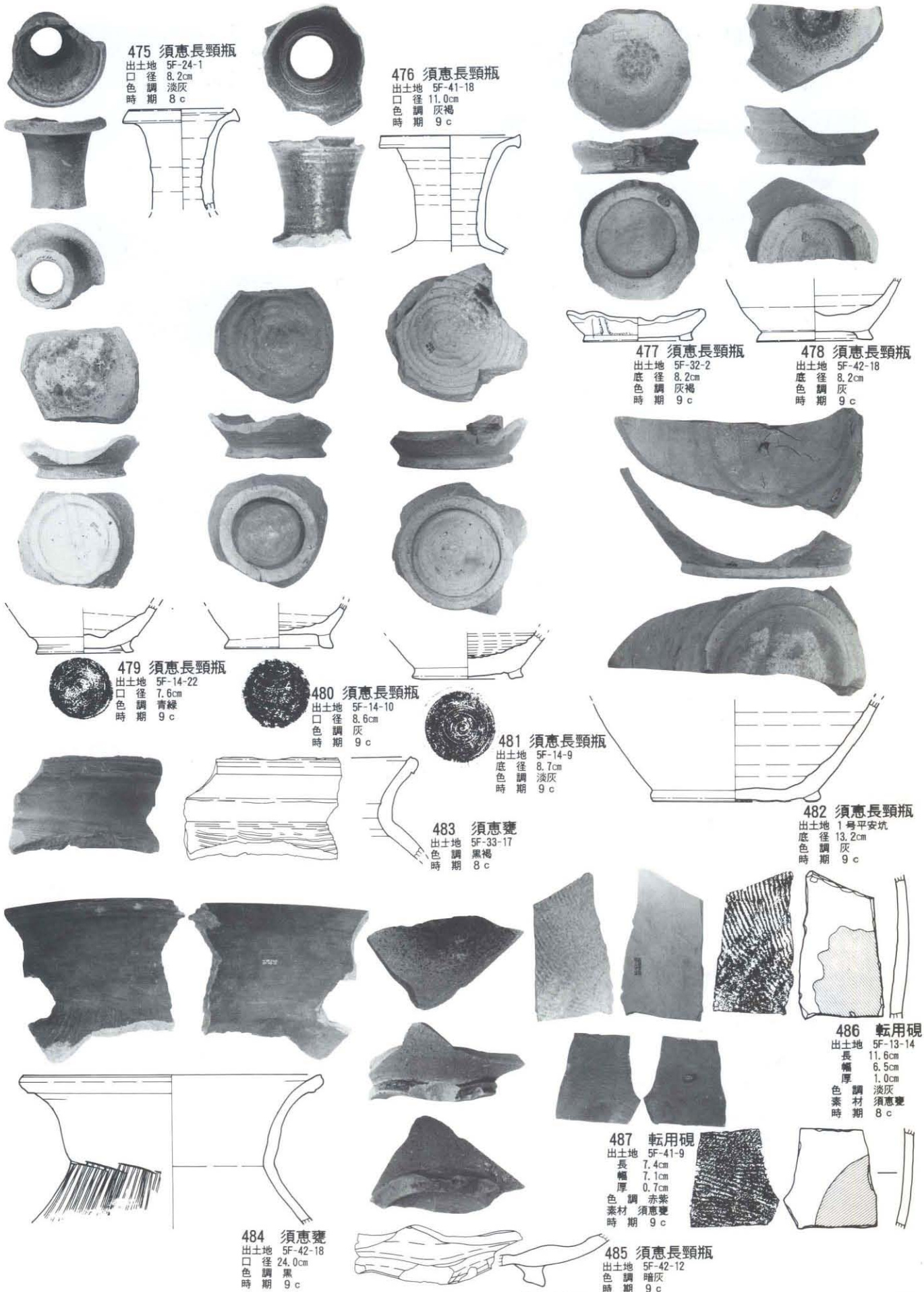
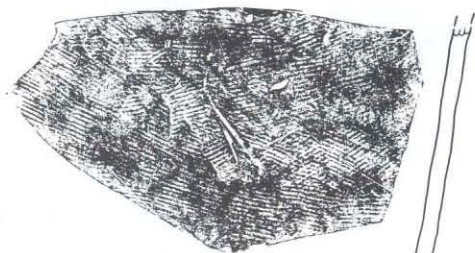
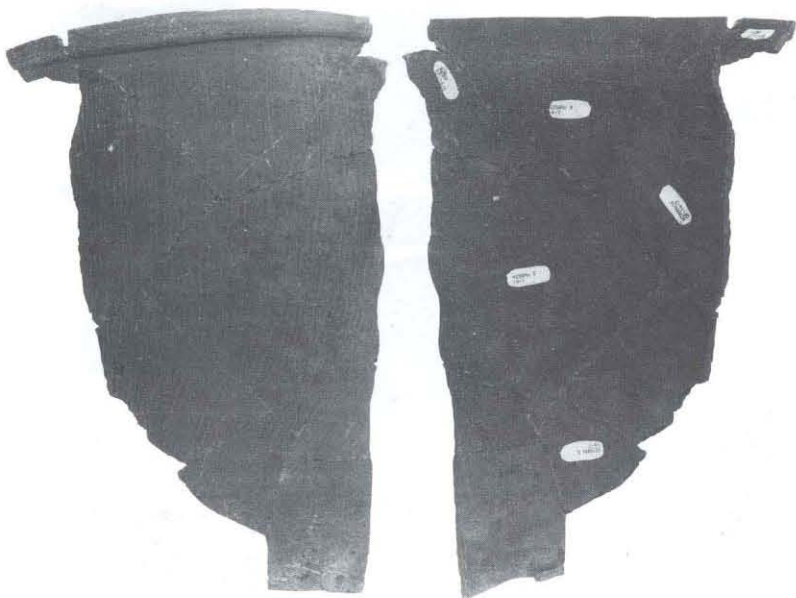
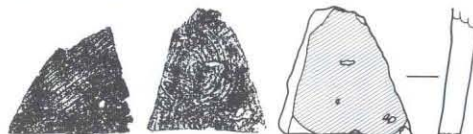


図125 奈良・平安時代遺物③ 須恵長頸瓶・甕

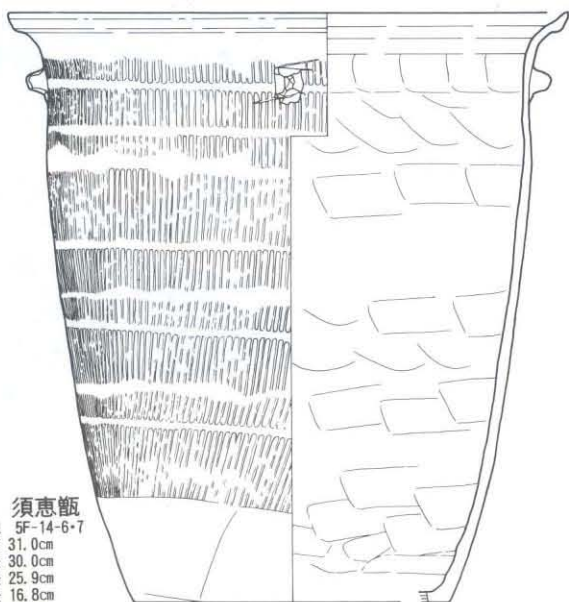




489 須惠甕
出土地 5F-52-6
色調 暗灰
時期 9c



490 転用硯
出土地 5F-41-18
長 6.7cm
幅 7.0cm
厚 1.2cm
色調 暗紫
時期 須惠甕
9c



488 須惠甕
出土地 5F-14-6-7
器高 31.0cm
口径 30.0cm
胴径 25.9cm
底径 16.8cm
色調 黒灰
時期 9c

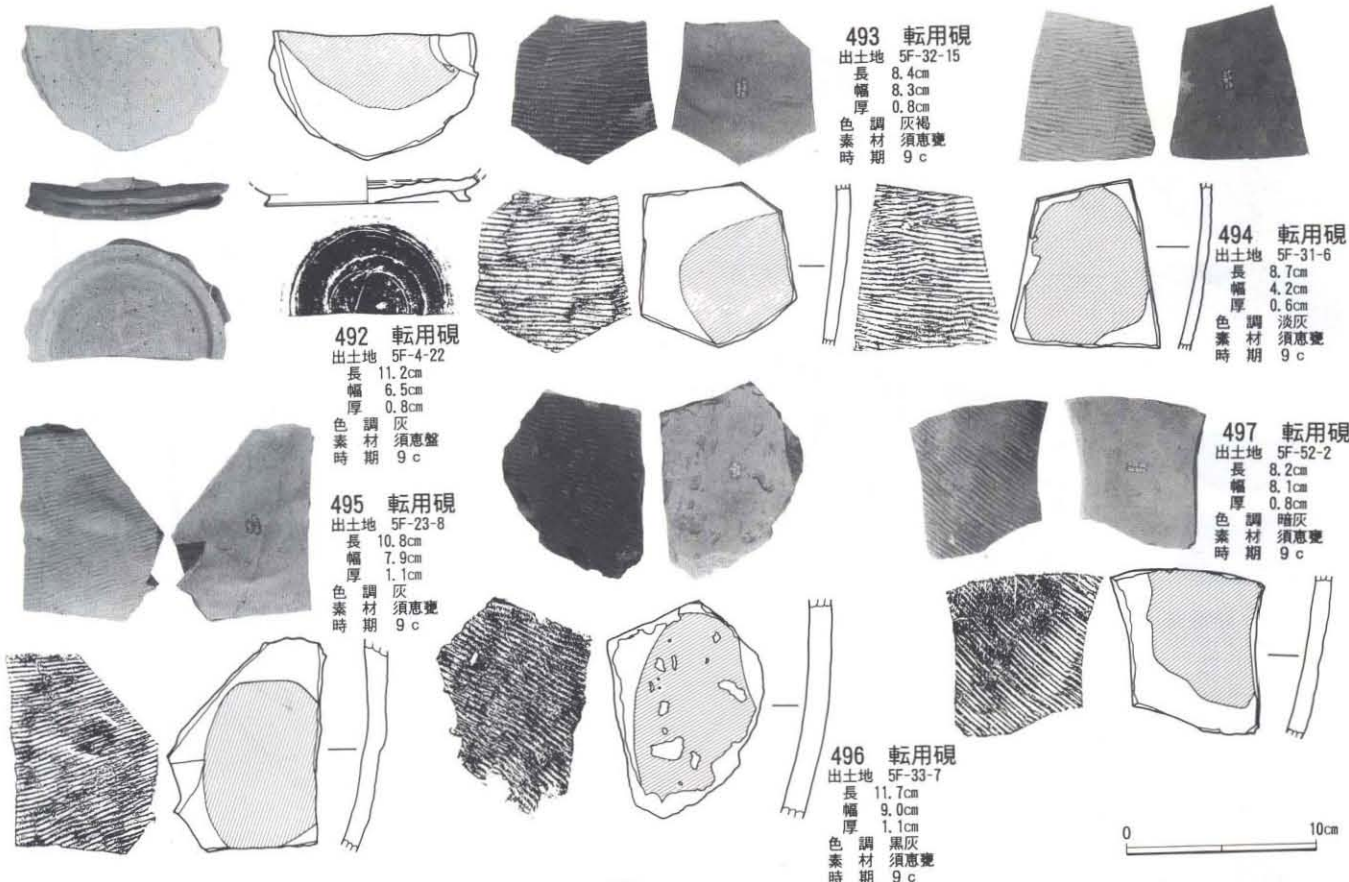


491 須惠甕
出土地 5F-14-4
器高 43.2cm
口径 24.2cm
胴径 40.3cm
底径 13.4cm
色調 淡灰
時期 9c



図126 奈良・平安時代遺物③ 須惠甕・甕





493 転用硯
 出土地 5F-32-15
 長 8.4cm
 幅 8.3cm
 厚 0.8cm
 色調 灰褐
 素材 須恵
 時期 9c

494 転用硯
 出土地 5F-31-6
 長 8.7cm
 幅 4.2cm
 厚 0.6cm
 色調 淡灰
 素材 須恵
 時期 9c

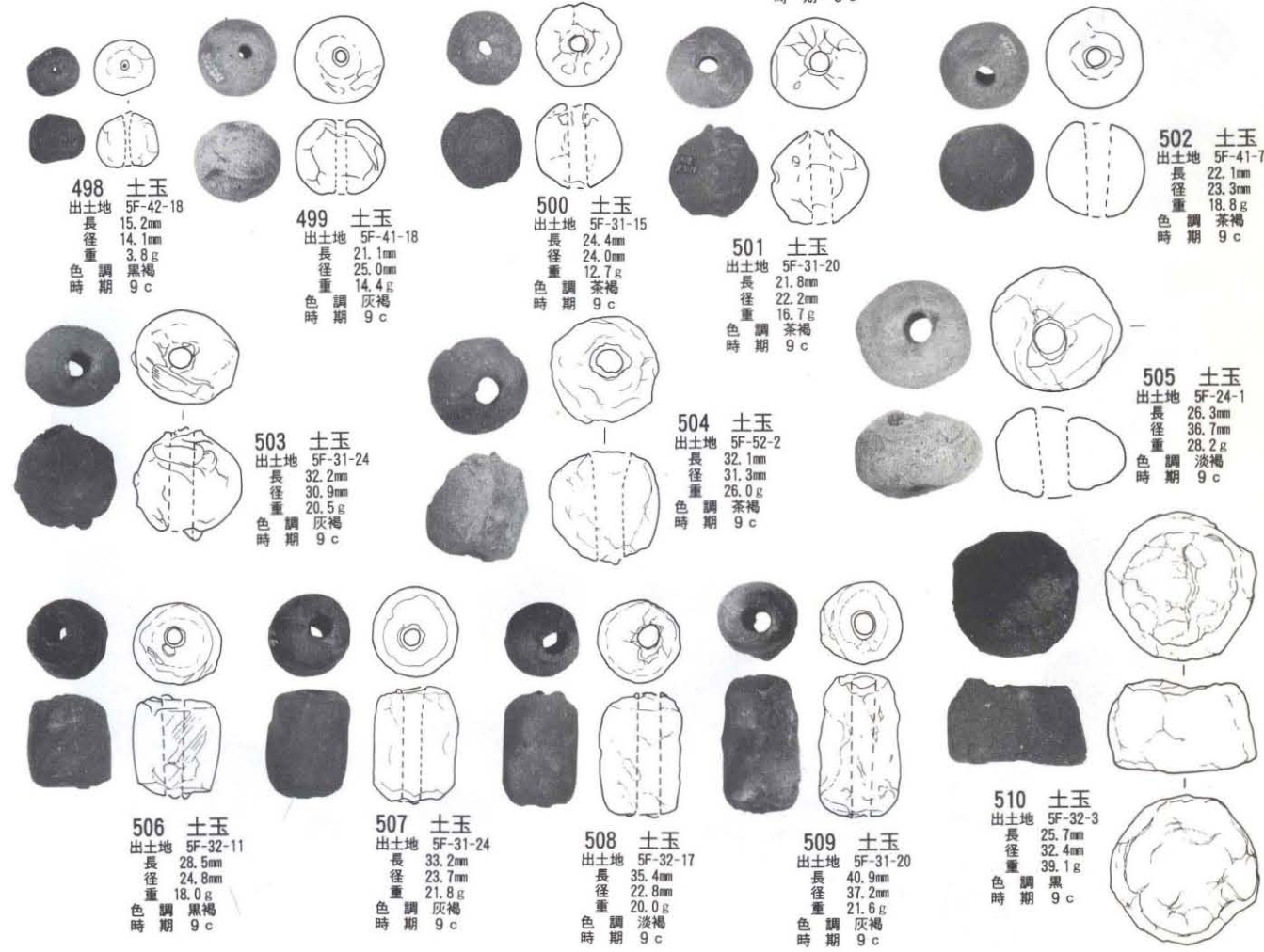
492 転用硯
 出土地 5F-4-22
 長 11.2cm
 幅 6.5cm
 厚 0.8cm
 色調 灰
 素材 須恵
 時期 9c

495 転用硯
 出土地 5F-23-8
 長 10.8cm
 幅 7.9cm
 厚 1.1cm
 色調 灰
 素材 須恵
 時期 9c

497 転用硯
 出土地 5F-52-2
 長 8.2cm
 幅 8.1cm
 厚 0.8cm
 色調 暗灰
 素材 須恵
 時期 9c

496 転用硯
 出土地 5F-33-7
 長 11.7cm
 幅 9.0cm
 厚 1.1cm
 色調 黒灰
 素材 須恵
 時期 9c

0 10cm



498 土玉
 出土地 5F-42-18
 長 15.2mm
 径 14.1mm
 重 3.8g
 色調 黒褐
 時期 9c

499 土玉
 出土地 5F-41-18
 長 21.1mm
 径 25.0mm
 重 14.4g
 色調 灰褐
 時期 9c

500 土玉
 出土地 5F-31-15
 長 24.4mm
 径 24.0mm
 重 12.7g
 色調 茶褐
 時期 9c

501 土玉
 出土地 5F-31-20
 長 21.8mm
 径 22.2mm
 重 16.7g
 色調 茶褐
 時期 9c

502 土玉
 出土地 5F-41-7
 長 22.1mm
 径 23.3mm
 重 18.8g
 色調 茶褐
 時期 9c

503 土玉
 出土地 5F-31-24
 長 32.2mm
 径 30.9mm
 重 20.5g
 色調 灰褐
 時期 9c

504 土玉
 出土地 5F-52-2
 長 32.1mm
 径 31.3mm
 重 26.0g
 色調 茶褐
 時期 9c

505 土玉
 出土地 5F-24-1
 長 26.3mm
 径 36.7mm
 重 28.2g
 色調 淡褐
 時期 9c

506 土玉
 出土地 5F-32-11
 長 28.5mm
 径 24.8mm
 重 18.0g
 色調 黒褐
 時期 9c

507 土玉
 出土地 5F-31-24
 長 33.2mm
 径 23.7mm
 重 21.8g
 色調 灰褐
 時期 9c

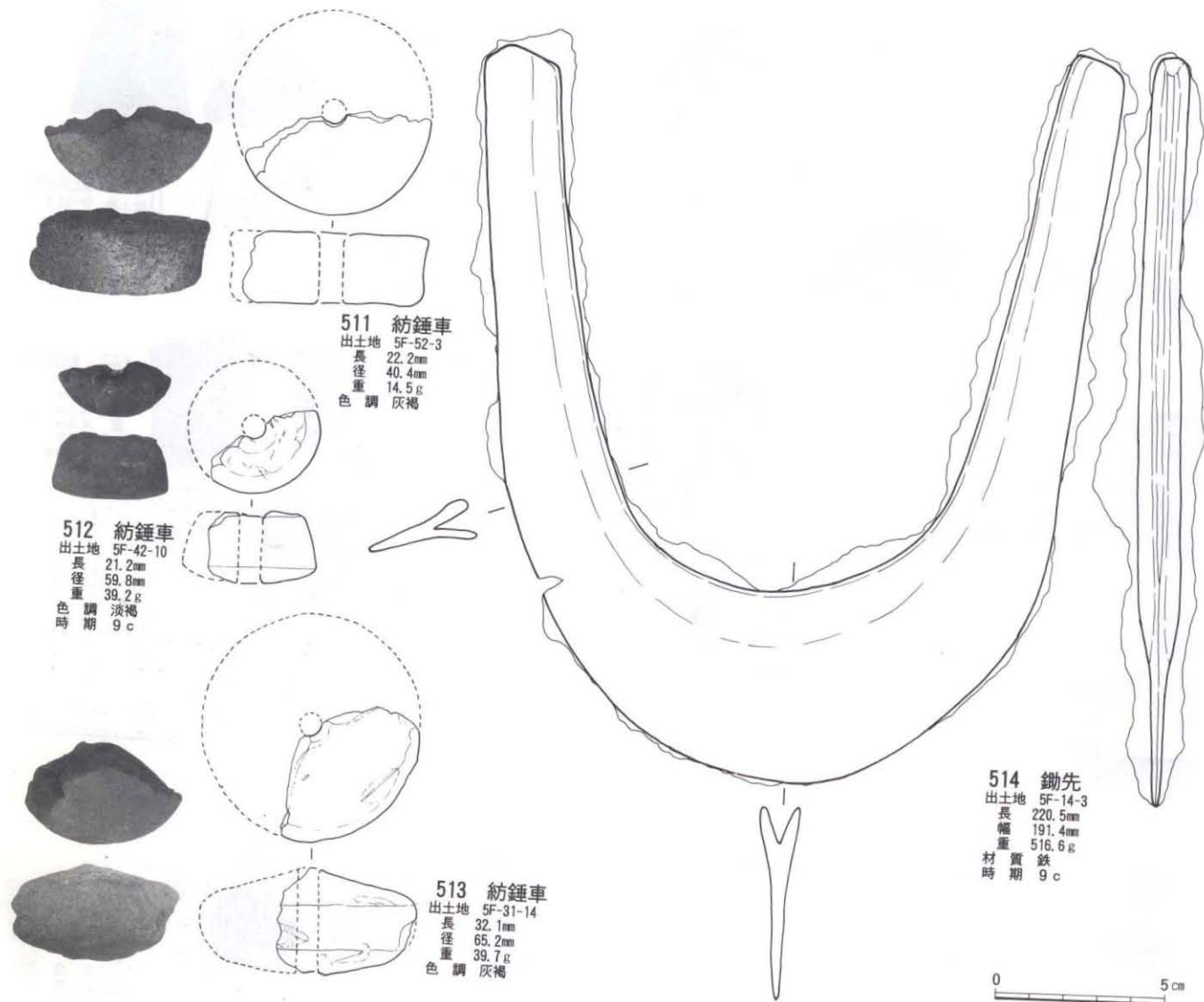
508 土玉
 出土地 5F-32-17
 長 35.4mm
 径 22.8mm
 重 20.0g
 色調 淡褐
 時期 9c

509 土玉
 出土地 5F-31-20
 長 40.9mm
 径 37.2mm
 重 21.6g
 色調 灰褐
 時期 9c

510 土玉
 出土地 5F-32-3
 長 25.7mm
 径 32.4mm
 重 39.1g
 色調 黒
 時期 9c

0 5cm

図127 奈良・平安時代遺物④ 須恵器転用硯・土玉



511 紡錘車
 出土地 5F-52-3
 長さ 22.2mm
 直径 40.4mm
 重量 14.5g
 色調 灰褐

512 紡錘車
 出土地 5F-42-10
 長さ 21.2mm
 直径 59.8mm
 重量 39.2g
 色調 淡褐
 時期 9c

513 紡錘車
 出土地 5F-31-14
 長さ 32.1mm
 直径 65.2mm
 重量 39.7g
 色調 灰褐

514 鋤先
 出土地 5F-14-3
 長さ 220.5mm
 幅 191.4mm
 重量 516.6g
 材質 鉄
 時期 9c

0 5 cm

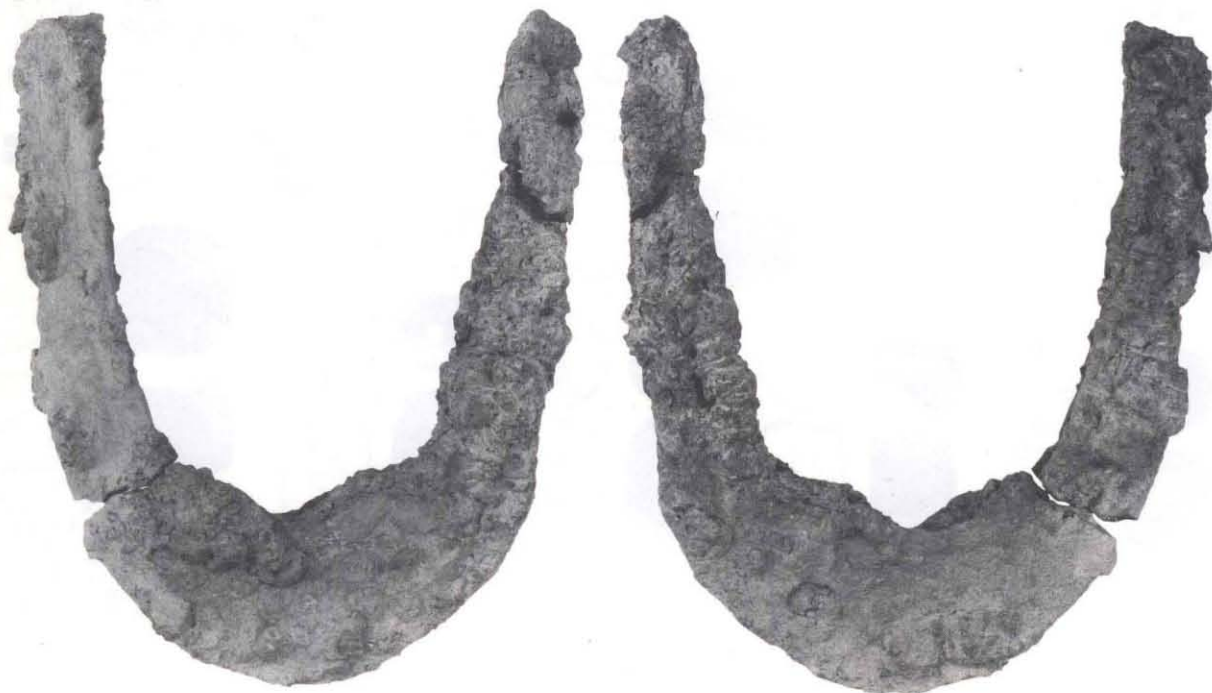
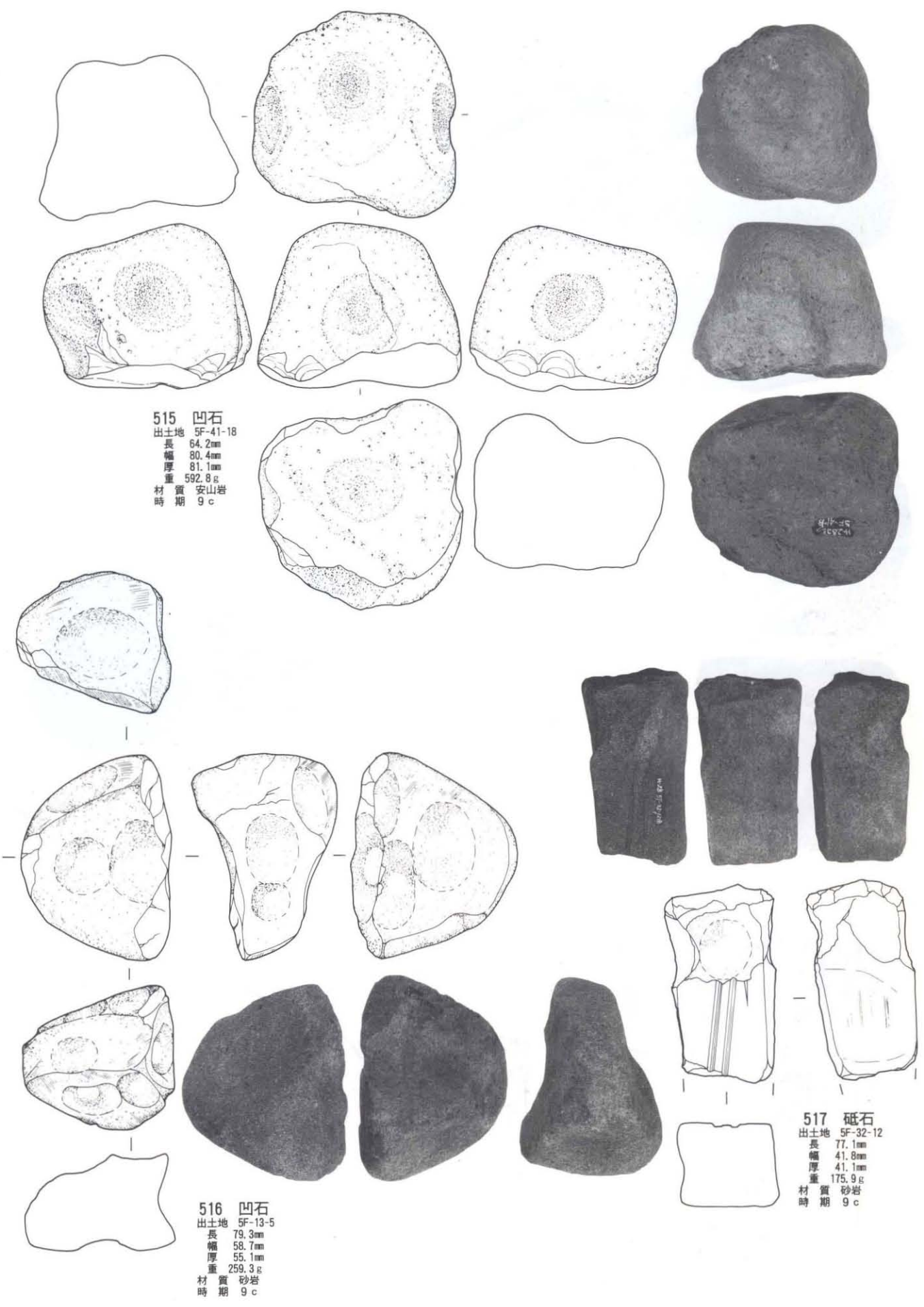


図128 奈良・平安時代遺物④ ぼうすいしゃ てつせいすきさき 紡錘車・鉄製鋤先



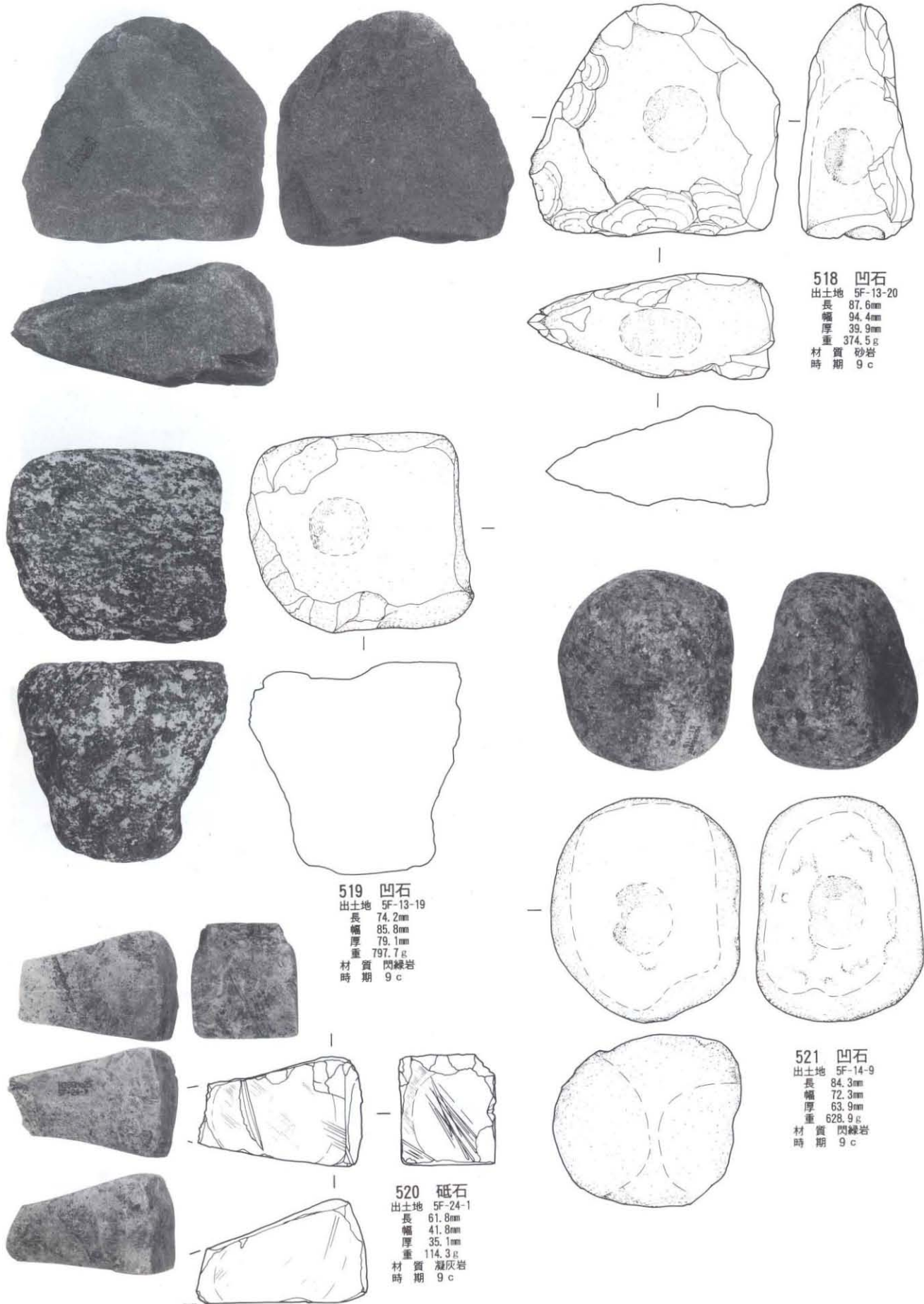
515 凹石
 出土地 5F-41-18
 長 64.2mm
 幅 80.4mm
 厚 81.1mm
 重 592.8g
 材質 安山岩
 時期 9c

516 凹石
 出土地 5F-13-5
 長 79.3mm
 幅 58.7mm
 厚 55.1mm
 重 259.3g
 材質 砂岩
 時期 9c

517 砥石
 出土地 5F-32-12
 長 77.1mm
 幅 41.8mm
 厚 41.1mm
 重 175.9g
 材質 砂岩
 時期 9c

図129 奈良・平安時代遺物^{くぼいし}④凹石





518 凹石
 出土地 5F-13-20
 長 87.6mm
 幅 94.4mm
 厚 39.9mm
 重 374.5g
 材質 砂岩
 時期 9c

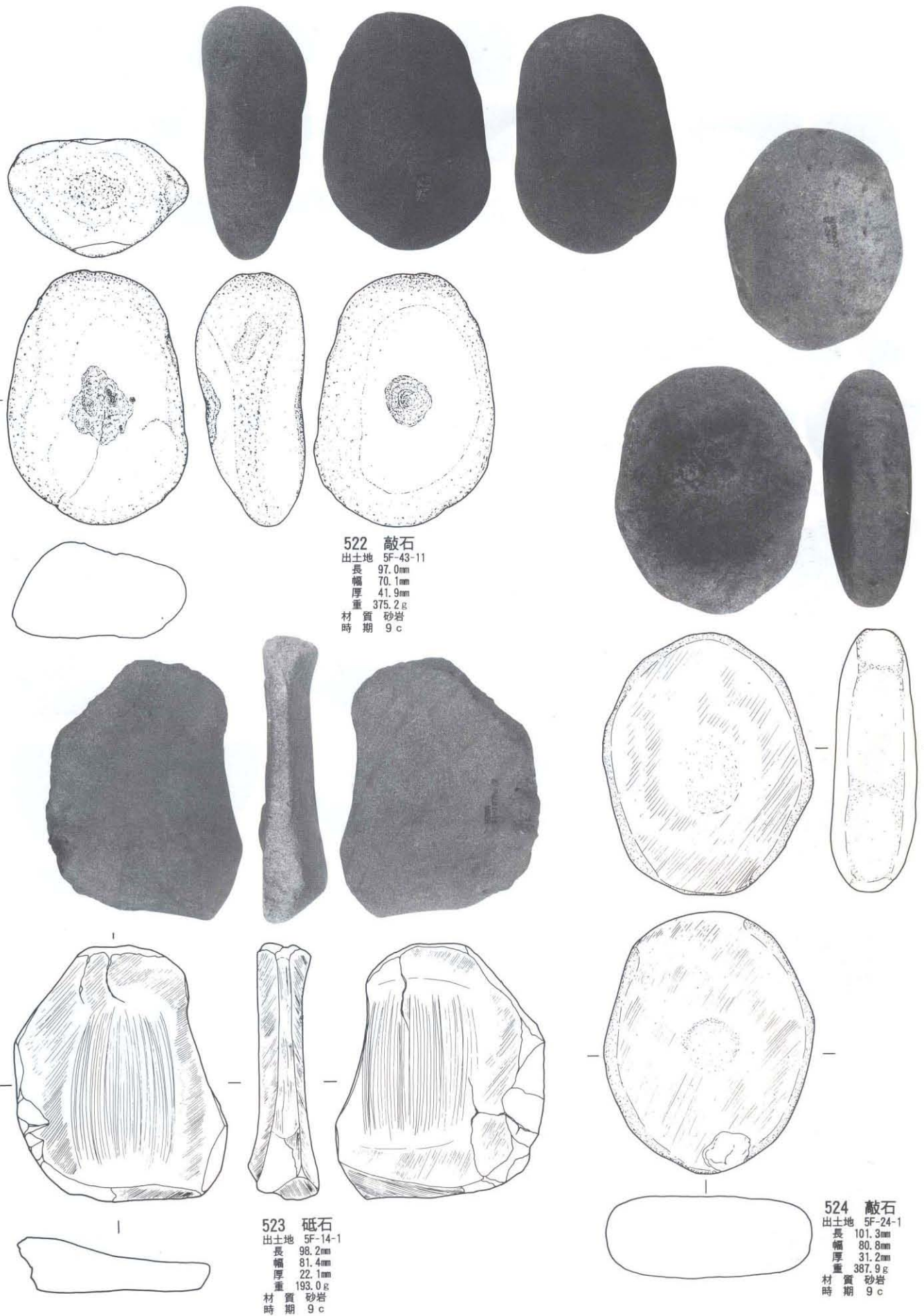
519 凹石
 出土地 5F-13-19
 長 74.2mm
 幅 85.8mm
 厚 79.1mm
 重 797.7g
 材質 閃綠岩
 時期 9c

521 凹石
 出土地 5F-14-9
 長 84.3mm
 幅 72.3mm
 厚 63.9mm
 重 628.9g
 材質 閃綠岩
 時期 9c

520 砥石
 出土地 5F-24-1
 長 61.8mm
 幅 41.8mm
 厚 35.1mm
 重 114.3g
 材質 凝灰岩
 時期 9c

図130 奈良・平安時代遺物④3 凹石・砥石

0 5cm



522 敲石
 出土地 5F-43-11
 長 97.0mm
 幅 70.1mm
 厚 41.9mm
 重 375.2g
 材質 砂岩
 時期 9c

523 砥石
 出土地 5F-14-1
 長 98.2mm
 幅 81.4mm
 厚 22.1mm
 重 193.0g
 材質 砂岩
 時期 9c

524 敲石
 出土地 5F-24-1
 長 101.3mm
 幅 80.8mm
 厚 31.2mm
 重 387.9g
 材質 砂岩
 時期 9c

図131 奈良・平安時代遺物④凹石・砥石

0 5 cm

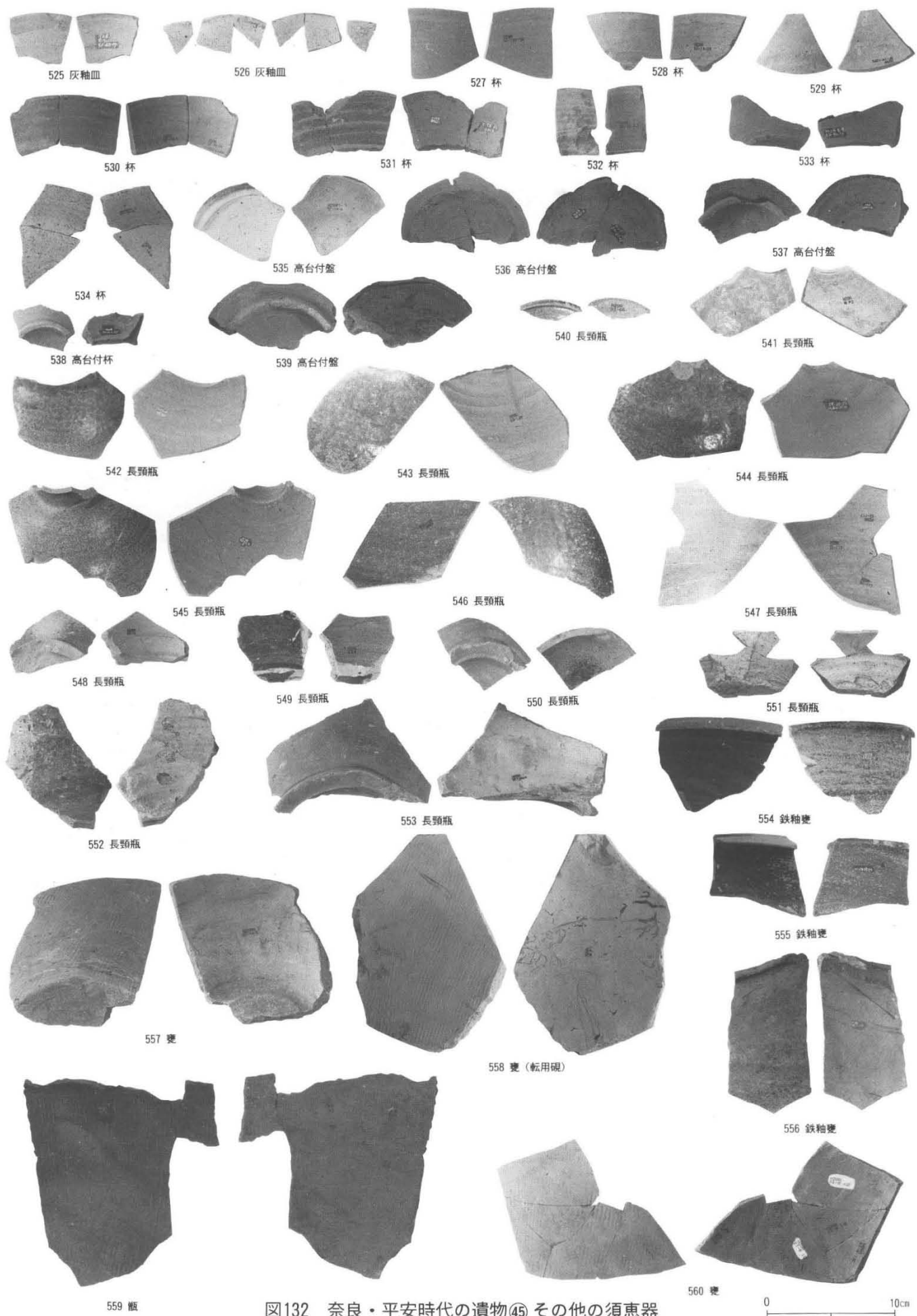


図132 奈良・平安時代の遺物④5 その他の須恵器

4. 中 世

城山遺跡の中世の遺構は、堀・建物跡・地下式坑・粘土貼土坑・墓坑など、さまざまなものが多い。また、遺物も陶磁器・金属製品・石製品・石塔など多種多様である。それらをまとめる事は大変困難であったが、紙面の都合を考えて、この資料編に下記の凡例のように掲載した。

1. 中世の遺構は、堀や掘削整地で区画された中世区画ごとに図示した
2. 各遺構実測図の縮尺は以下のとおりである。
中世区画・堀：200分の1
（ただし覆土断面図：50分の1）
建物跡：100分の1
地下式坑・粘土貼土坑・馬埋葬坑：50分の1
墓坑：25分の1
その他：遺構によって変える
3. 中世区画平面図の黒色線は遺構形状線、茶色線は等高線、青線は建物跡の想定線を表し、ほかに緑色部は粘土貼土坑、赤色部は焼土、囲炉裏跡などを示す。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真をそれぞれの実測図のわきに添付したが、本編に掲載したものは、資料編では省いたものもある。
6. 航空写真の中で、同じ場所のカットを2枚並べたものは、立体視できる写真である。30～40cmぐらい目を本から離して、右目で右側を、左目で左側を見るようにすると、写真が立体的に見える。見にくいときは、写真の境に紙を立てると良い。
7. すべての中世区画及び堀平面図に対応して、それぞれ最もよく形状が見える方向からの、200分の1で鳥瞰図を作成した。
8. 鳥瞰図の黒色線は遺構の形状線を示し、茶色線は等高線、緑色線は断面線、青色線は建物跡の想定線をあらわす。
9. 鳥瞰図は、このほかにも特別な遺構の拡大図もある。
10. 粘土貼土坑の緑色トーン部分は、粘土を貼りつけた部分を示す。
11. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
12. 平面実測図中の赤色部は、焼土があった所である。
13. 遺構実測図に添付した遺物実測図は、その遺構から出土したものである。
14. 遺物実測図の縮尺は以下のとおりである。
銭貨・飾り金具：1分の1
碗・杯・小皿・香炉・カワラケ等の小形陶磁器、金属製品、燧石・砥石・硯等の小形石製品：2分の1
瓶子・茶壺・花瓶・大皿・鉢類・甕・内耳土鍋等、茶臼・石鉢等大形石製品：4分の1
石塔：6分の1
15. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
16. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に皿類・鉢類・カワラケ・内耳土鍋は側面・内面・底部を載せた。
17. 陶磁器の釉薬は、種類・色がさまざまであるところから、特にその種別を図示しなかった。しかし、釉薬の境目は線で示した。
18. 銭貨は写真、その下に拓影と銭名を記し、後ろに計測値等の表を載せた。

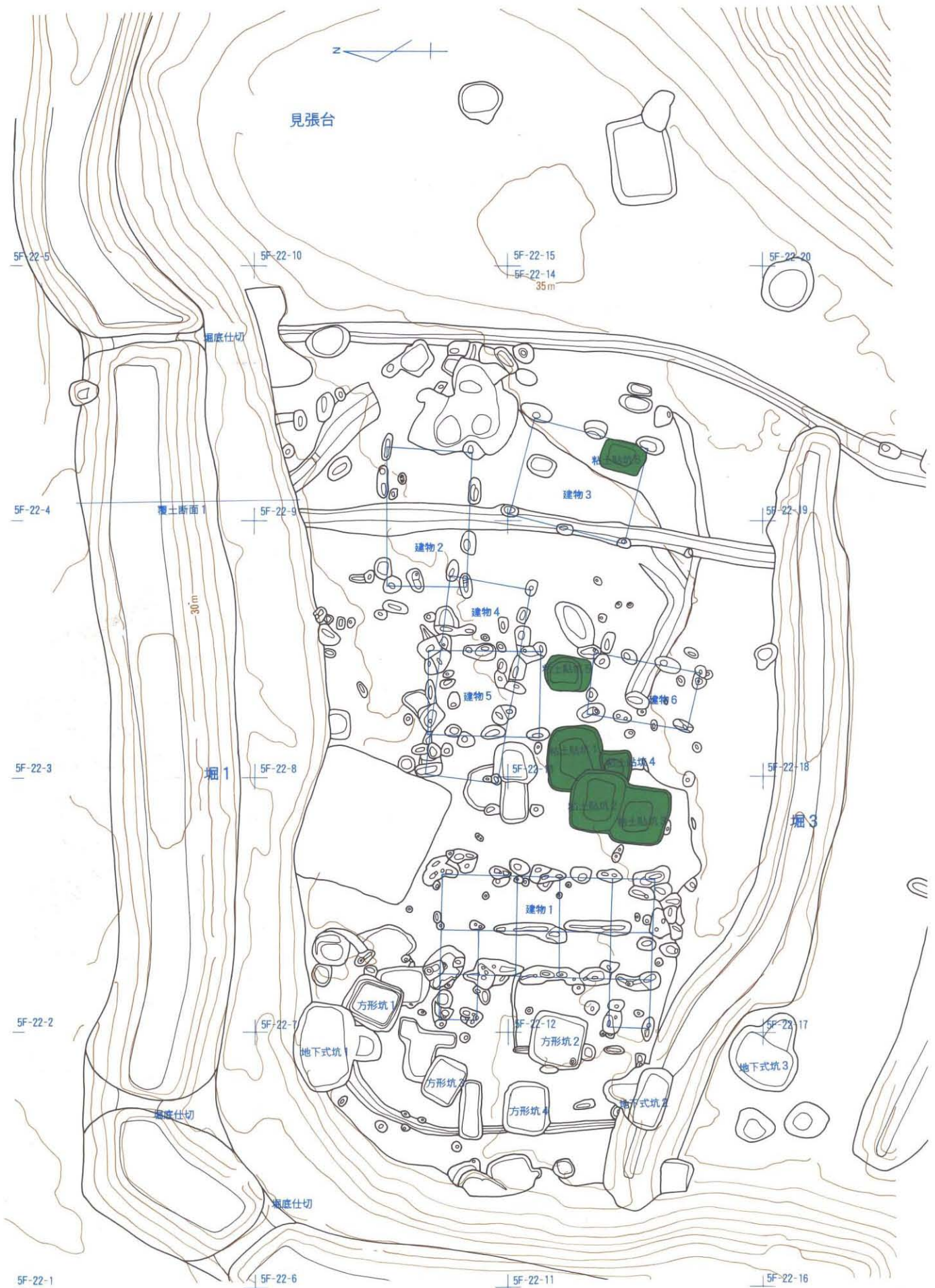


图133 1号中世区画平面图



1号中世区画

位置 5F-22-6~19
 規模 東西46.5m、南北31.0m
 面積 1,080㎡
 標高 32.9~34.4m
 境界 1・(3)・4号堀、東崖

区画内施設	建物跡	6棟
	地下式坑	3基
	粘土貼土坑	6基
	方形土坑	3基
	見張台	標高 35.0m
		規模 20×8m

出土遺物 瀬戸小皿・深皿・瓶子・常滑甕、茶釜形土器

1号中世区画（東側から）

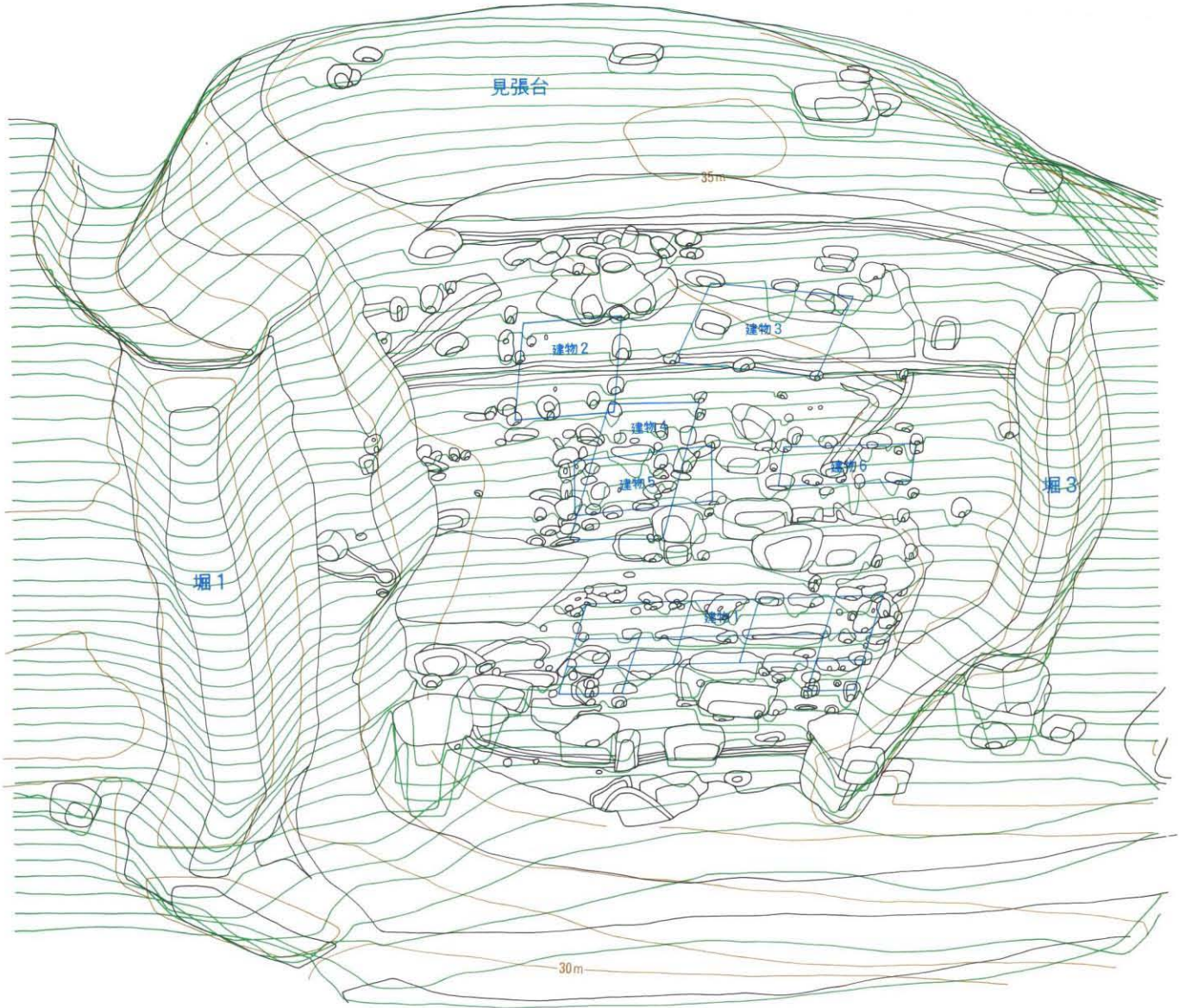


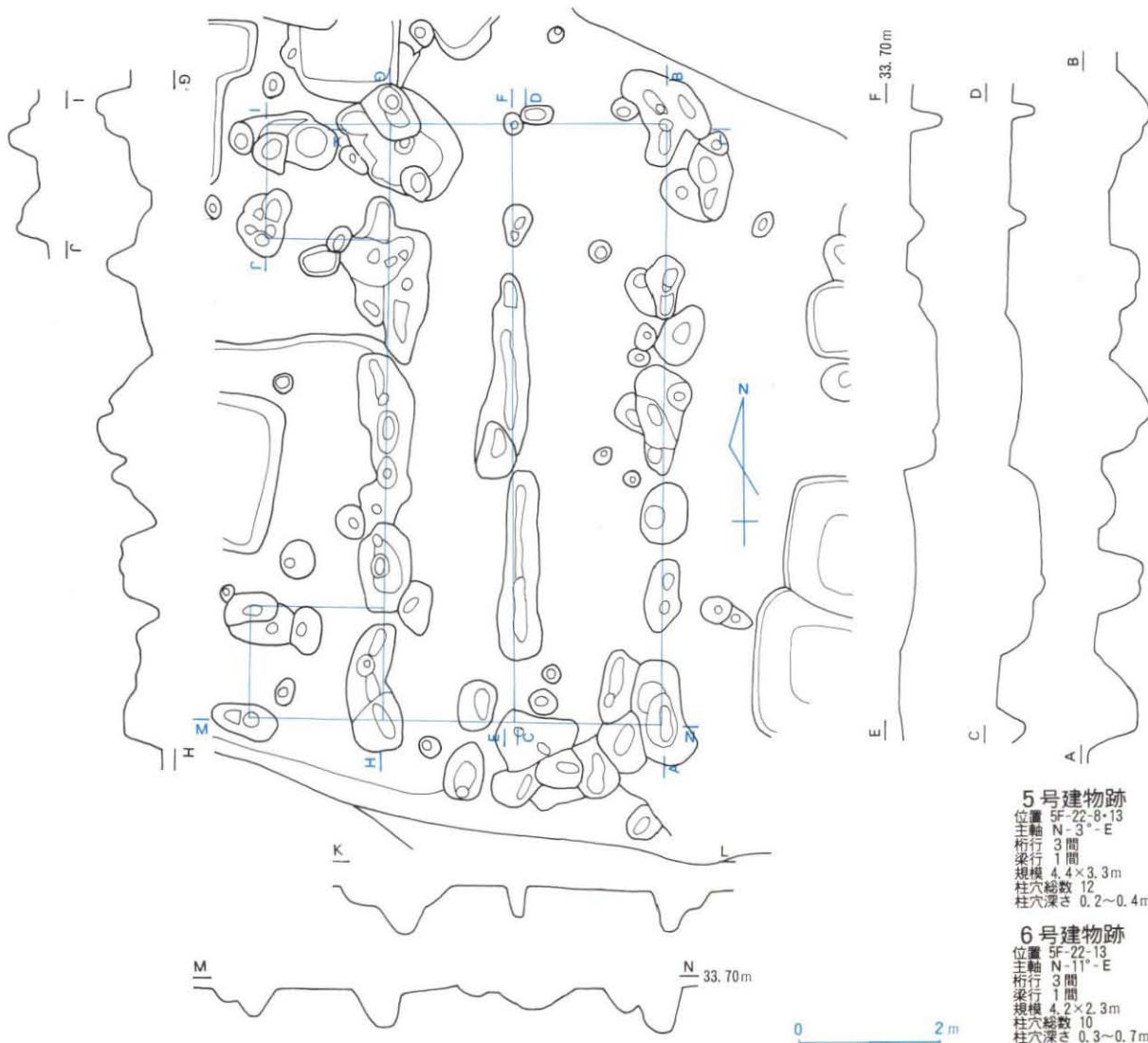
図134 1号中世区画鳥瞰図





- 1号建物跡**
 位置 5F-22-7-12
 主軸 N-4°-E
 桁行 4間
 梁行 2間
 規模 8.4×4.0m
 柱穴総数 52
 柱穴深さ 0.3~0.6m
 出土遺物 瀬戸深皿
 1~2回建て替える
 張り出し部有り
- 2号建物跡**
 位置 5F-22-8-9
 主軸 N-80°-W
 桁行 3間
 梁行 1間
 規模 5.3×3.2m
 柱穴総数 7
 柱穴深さ 0.4~0.5m
- 3号建物跡**
 位置 5F-22-14
 主軸 N-17°-E
 桁行 2間
 梁行 1間
 規模 4.6×3.9m
 柱穴総数 6
 柱穴深さ 0.6~0.7m
- 4号建物跡**
 位置 5F-22-8
 主軸 N-81°-W
 桁行 4間
 梁行 1間
 規模 7.7×3.2m
 柱穴総数 14
 柱穴深さ 0.2~0.5m

1号建物跡（上空から）



- 5号建物跡**
 位置 5F-22-8-13
 主軸 N-3°-E
 桁行 3間
 梁行 1間
 規模 4.4×3.3m
 柱穴総数 12
 柱穴深さ 0.2~0.4m
- 6号建物跡**
 位置 5F-22-13
 主軸 N-11°-E
 桁行 3間
 梁行 1間
 規模 4.2×2.3m
 柱穴総数 10
 柱穴深さ 0.3~0.7m
 出土遺物 瀬戸小皿・深皿

図135 1号建物跡拡大図

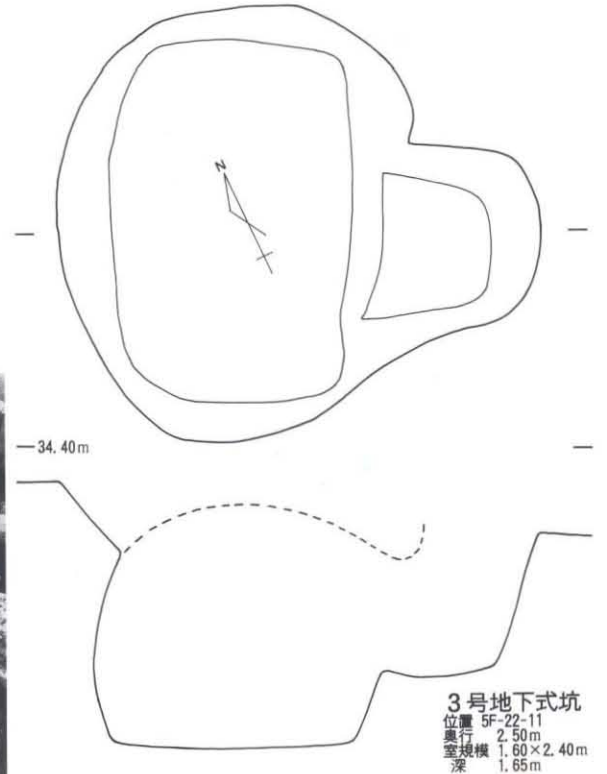
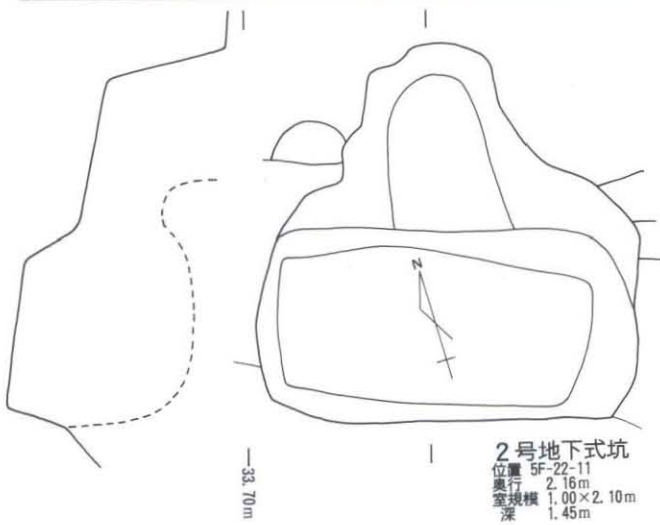
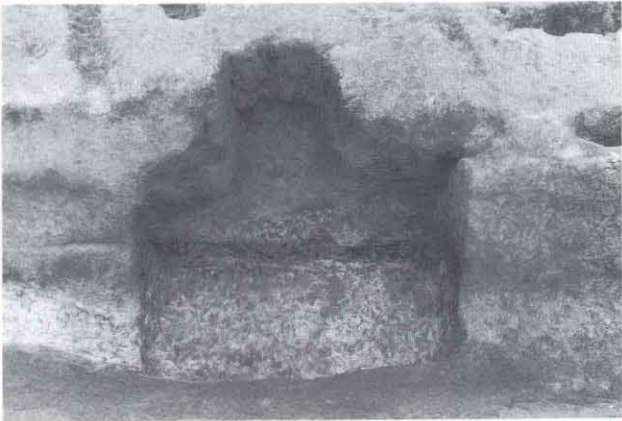
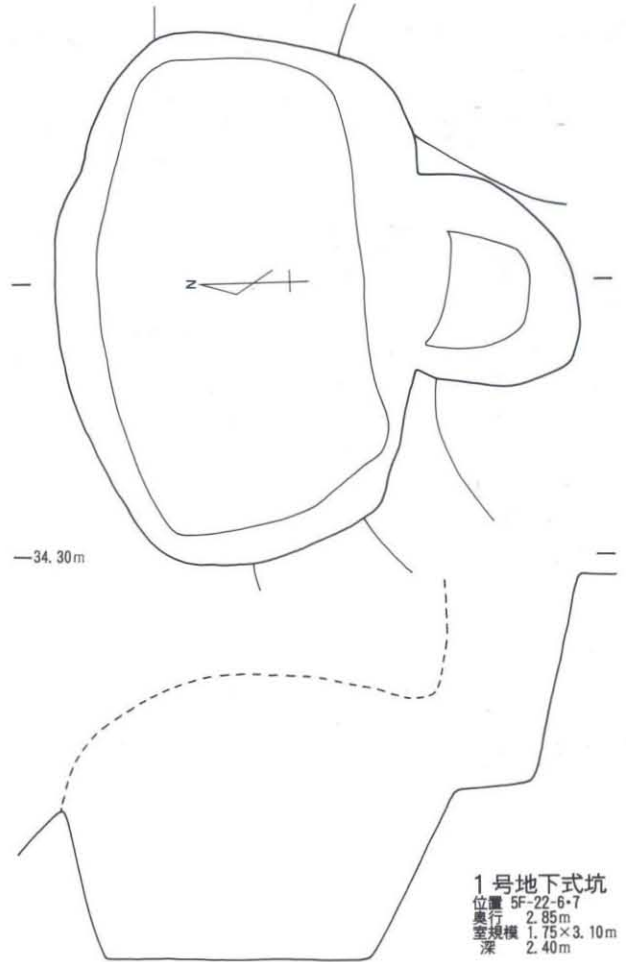
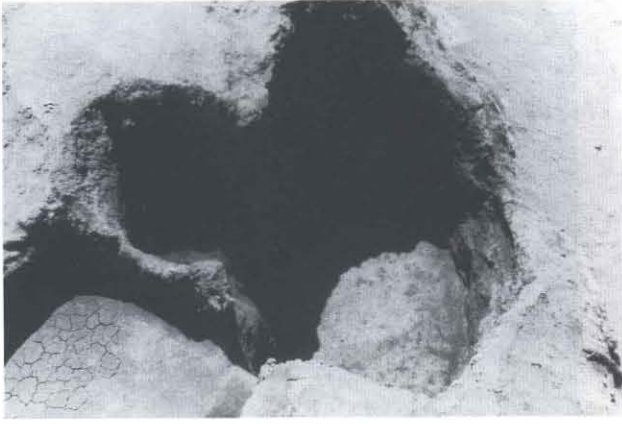
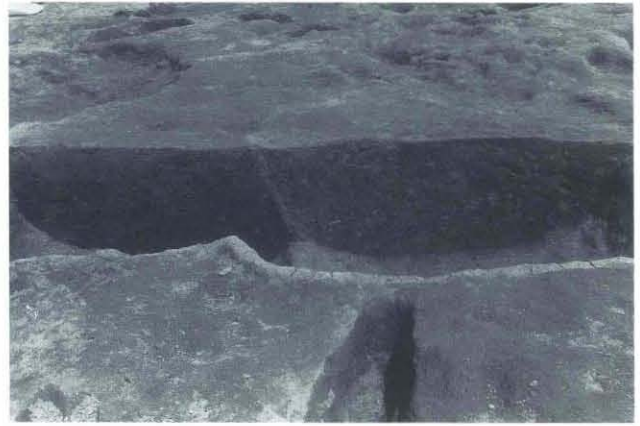
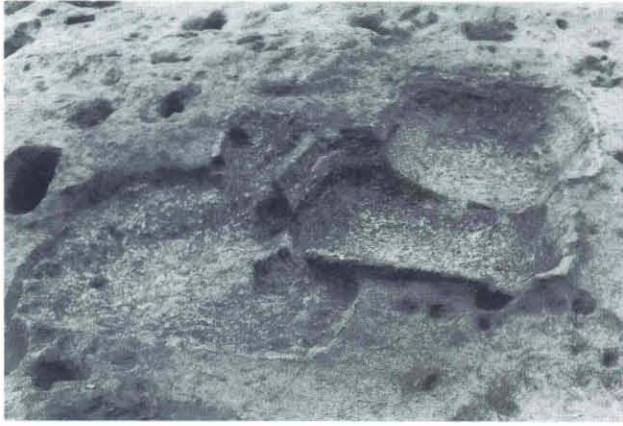
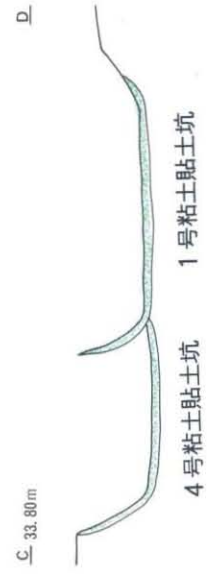
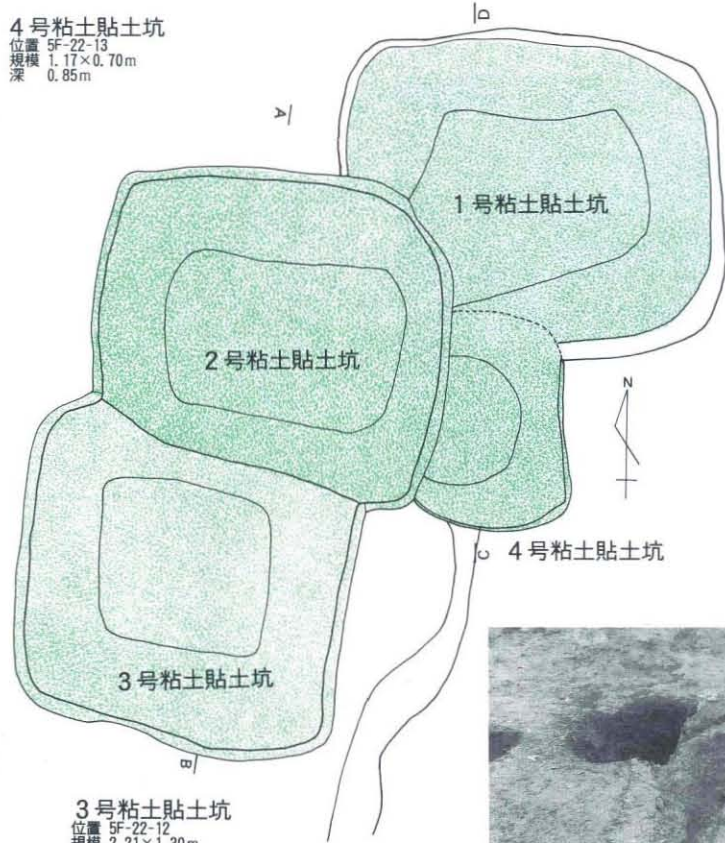
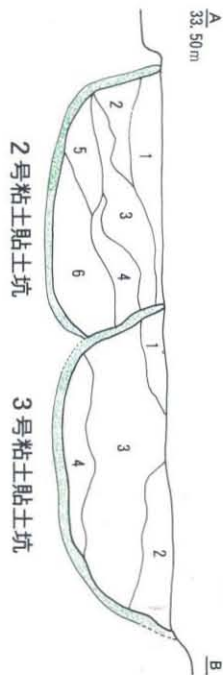


图136 地下式坑拡大図



1号粘土貼土坑
位置 5F-22-12
規模 2.51×2.29m
深 0.34m

4号粘土貼土坑
位置 5F-22-13
規模 1.17×0.70m
深 0.85m

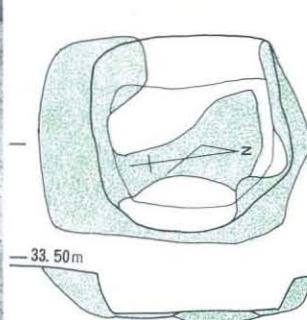


2号粘土貼土坑

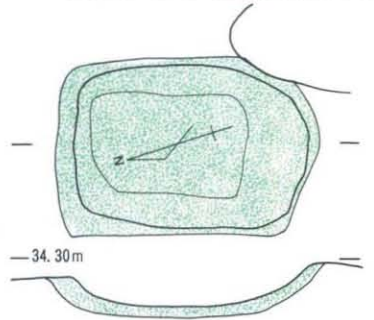
位置 5F-22-12
規模 2.40×1.97m
深 0.72m
層序
1 明褐色土(ロームが多く、締まる)
2 暗褐色土(ロームを少し混じる)
3 暗褐色土(ロームが多く混じる)
4 暗褐色土(ロームが混じる)
5 " (ローム・粘土・焼土が混じる)
6 " (粘土が多く、焼土・木炭混じる)

3号粘土貼土坑

位置 5F-22-12
規模 2.21×1.30m
深 0.68m
層序
1 明褐色土(ロームが多く混じる)
2 褐色土(ロームが多く混じる)
3 " (ロームが多く、粘土が混じる)
4 " (粘土が混じる)



5号粘土貼土坑
位置 5F-22-13
規模 1.82×1.39m
深 0.27m



6号粘土貼土坑
位置 5F-22-14
規模 1.74×1.17m
深 0.25m

図137 粘土貼土坑拡大図



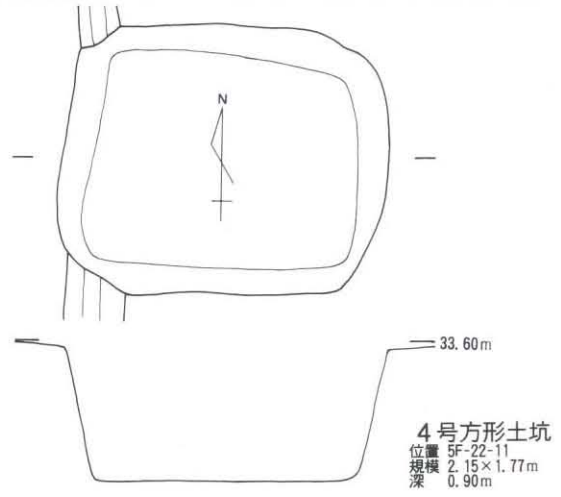
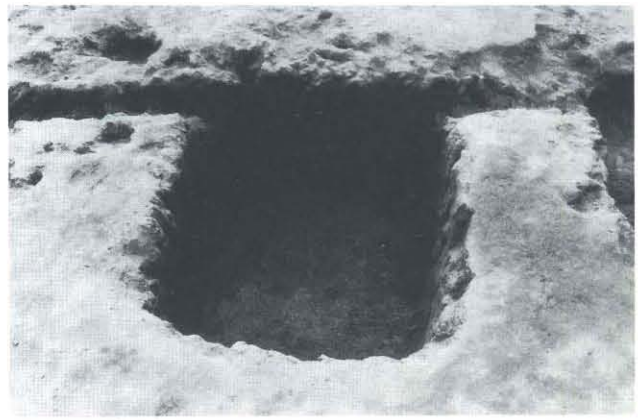
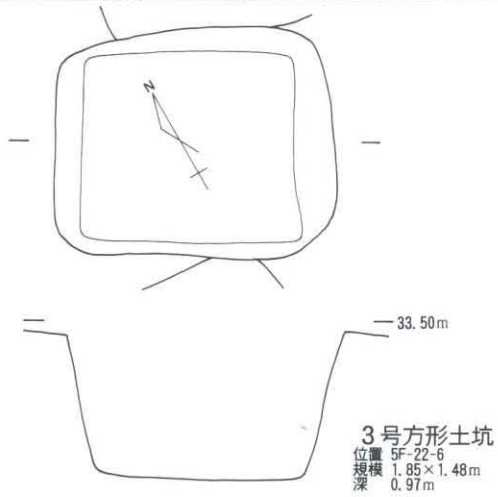
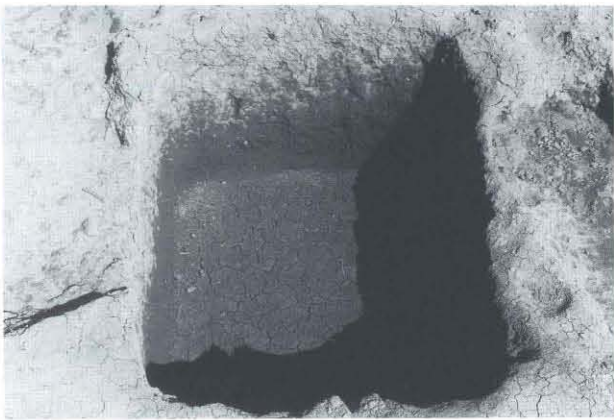
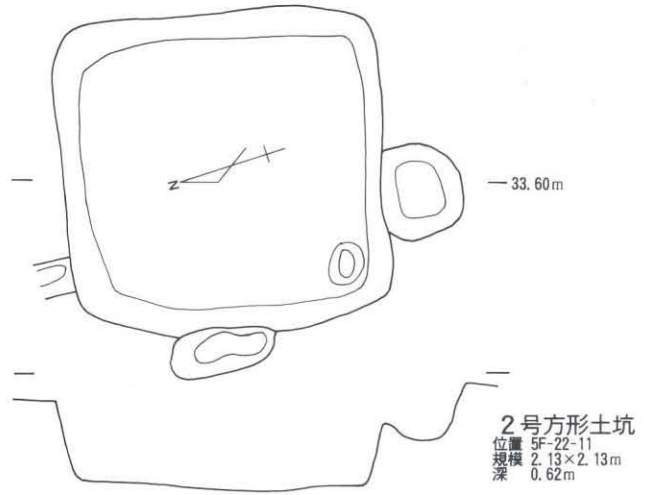
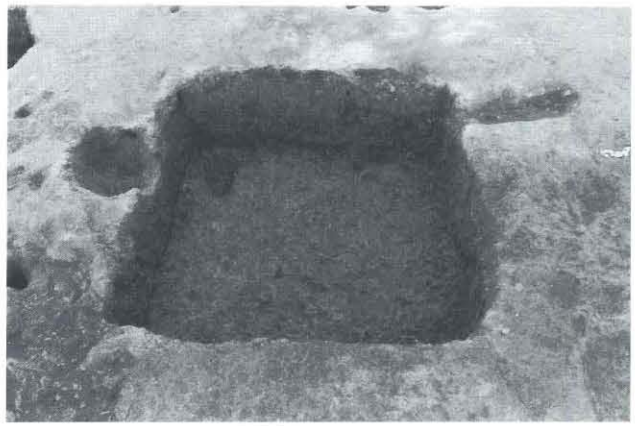
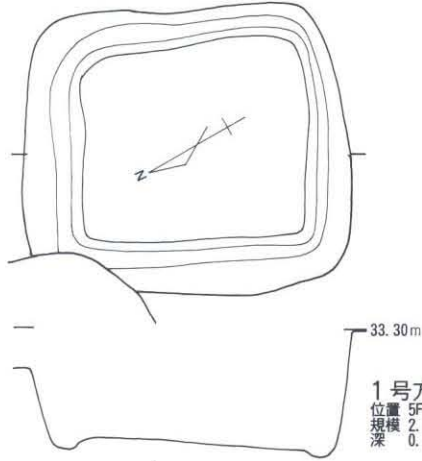
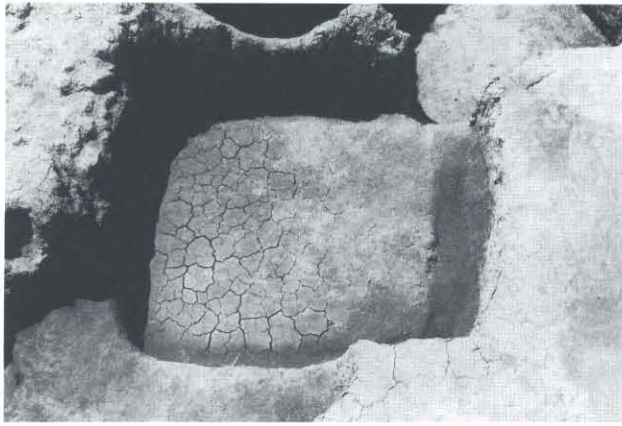


图138 方形土坑扩大图

0 1 m

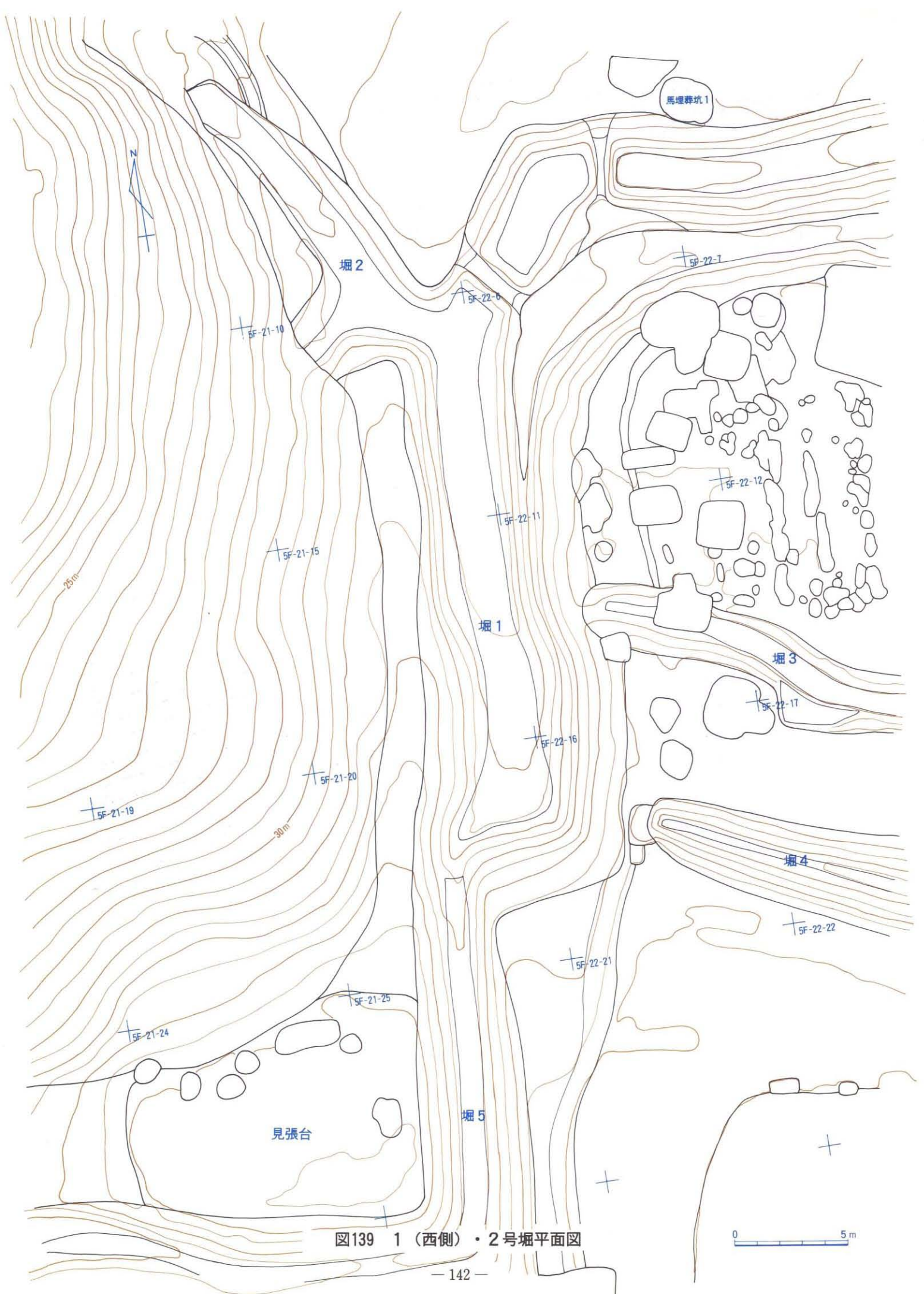


図139 1 (西側)・2号堀平面図



1号堀
 位置 5F-21-20
 ~22-5
 延長 82m
 幅 5.5-10.0m
 深 2.5-3.8m
 形態 箱葦研堀
 堀底仕切 3
 遺物 常滑甃
 堀切り

2号堀
 位置 5F-11-24
 ~21-10
 延長 17m
 幅 2.0-5.0m
 深 0.3-1.8m
 形態 箱葦研堀
 遺物 五輪塔
 墓道を切る



图140 1 (西側)・2号堀鳥瞰図

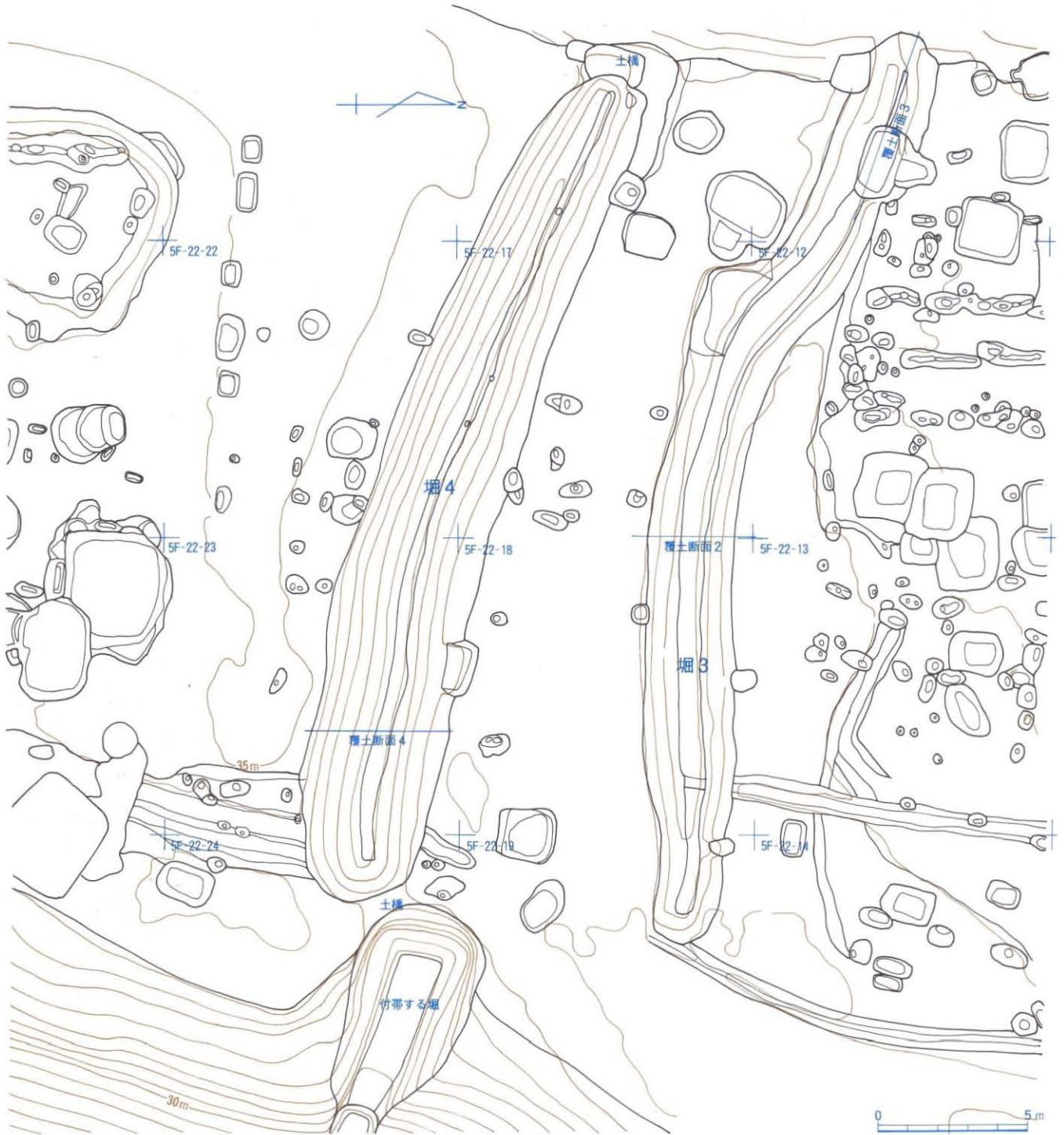


图141 3・4号堀平面图





3号堀
 位置 5F-22-11
 ~22-19
 延長 32m
 幅 2.2-2.8m
 深 1.3-1.5m
 形態 箱装堀
 遺物 内耳土鍋
 埋め戻し有り

4号堀
 位置 5F-22-16
 ~22-24
 延長 29m
 幅 3.3-4.7m
 深 1.8-3.0m
 形態 築り堀
 遺物 五輪埴
 築り土層を越えて8.5mの
 付帯する堀有り

3・4号堀と1号中世区画（北西側から）

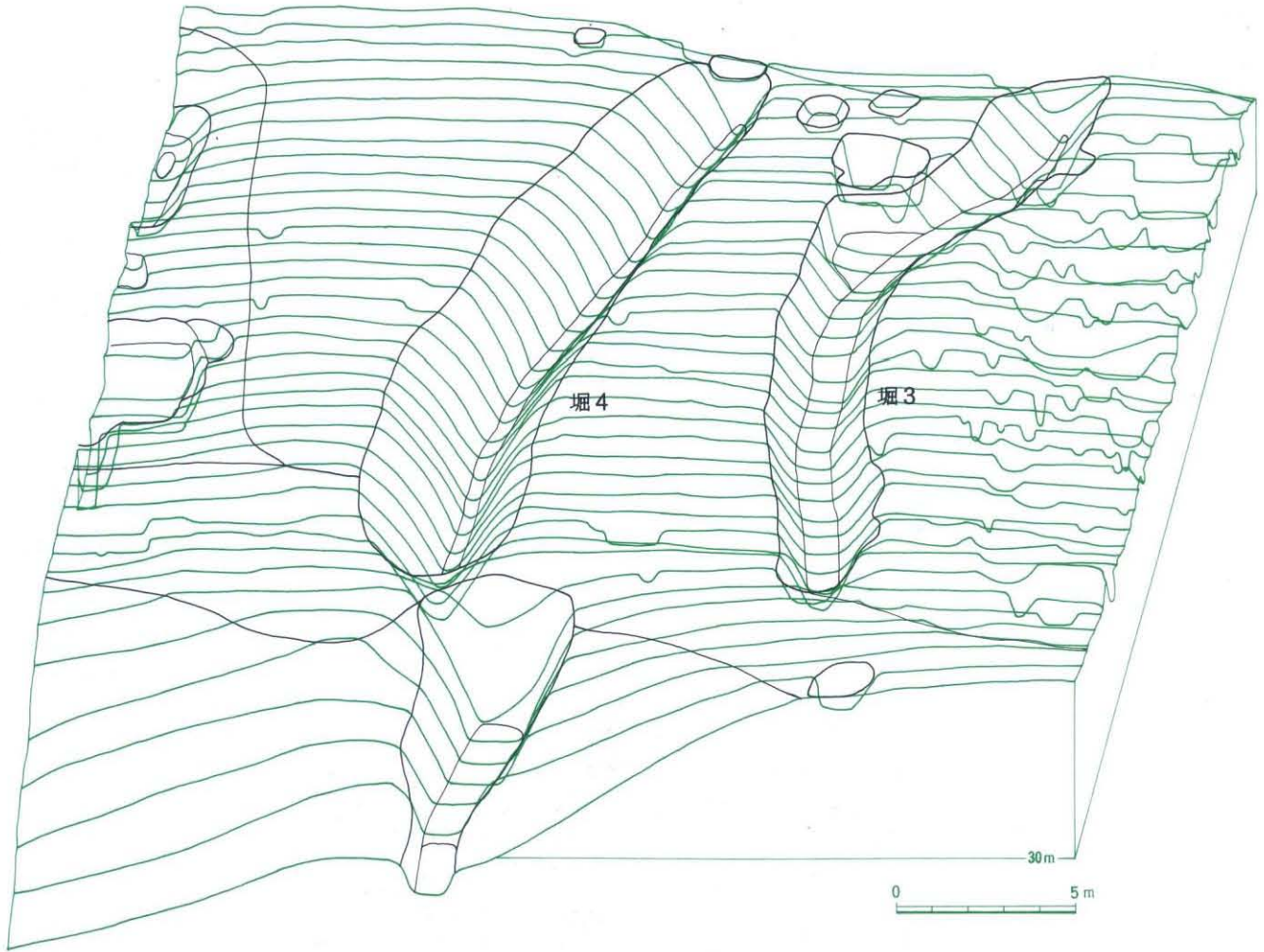


図142 3・4号堀鳥瞰図



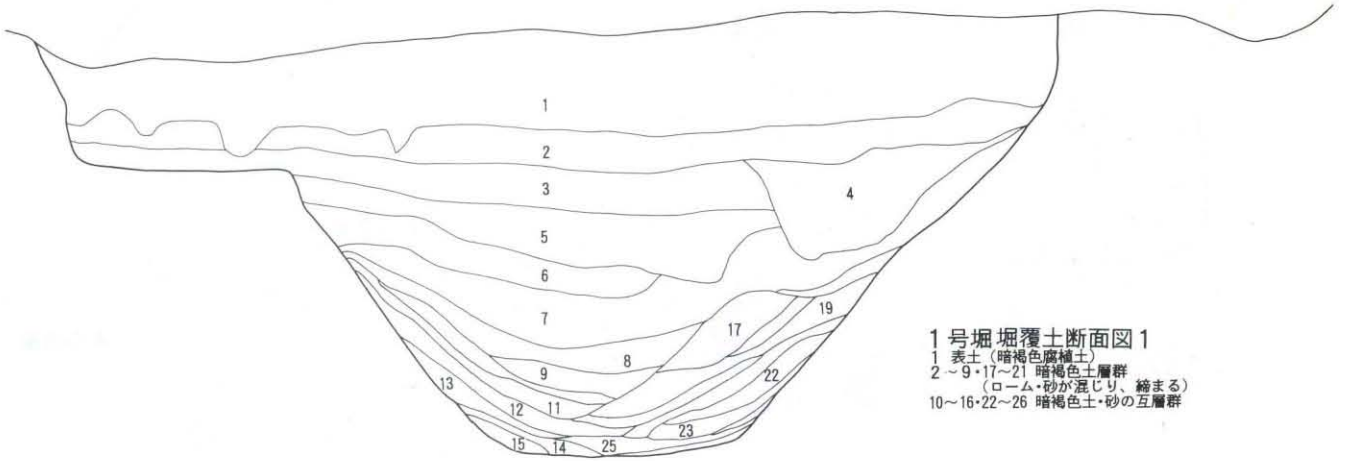
3号堀（東側から）



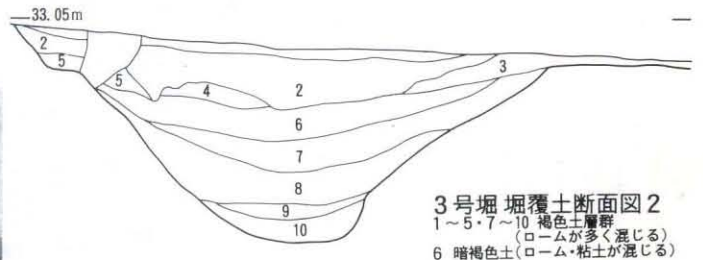
4号堀（東側から）



1～2号区画周辺立体視写真



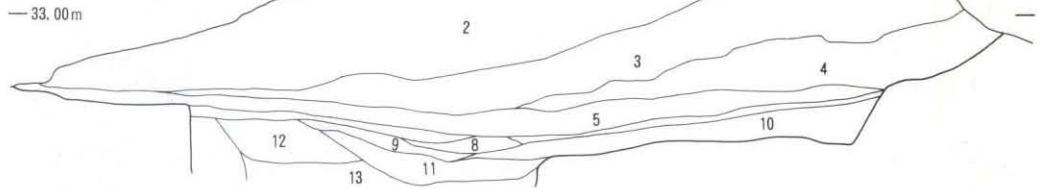
1号堀堀覆土断面図1
 1 表土(暗褐色腐植土)
 2~9・17~21 暗褐色土層群
 (ローム・砂が混じり、締まる)
 10~16・22~26 暗褐色土・砂の互層群



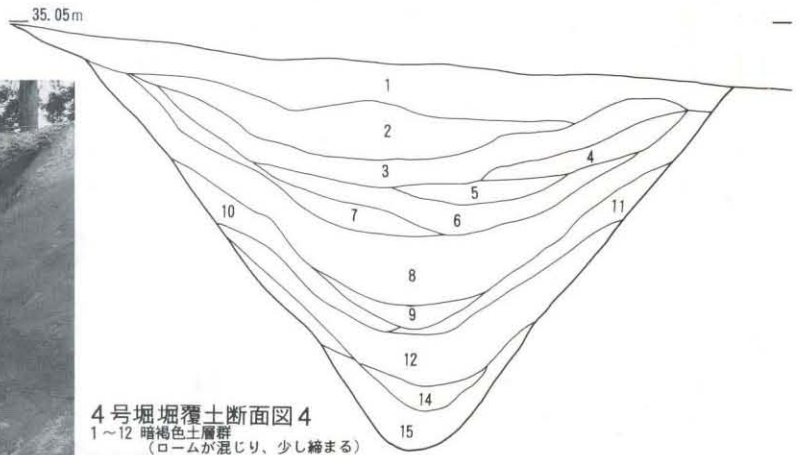
3号堀堀覆土断面図2
 1~5・7~10 褐色土層群
 (ロームが多く混じる)
 6 暗褐色土(ローム・粘土が混じる)

3号堀堀覆土断面図3

- 1 黒色土
- 2~3 灰褐色砂層群
- 4・6~7・10~11 暗褐色土層群
(ローム・粘土・砂が混じる)
- 5・9・12 褐色土層群
(ロームが多く混じる)
- 8・13 黒褐色土層群
(ロームが少し混じる)



—33.00m



4号堀堀覆土断面図4

- 1~12 暗褐色土層群
(ロームが混じり、少し締まる)
- 13・14 褐色土層群
(ロームが多く混じる)
- 15 暗褐色土
(ローム・砂・粘土が混じる)

図143 1・3・4号堀覆土断面図

0 1m

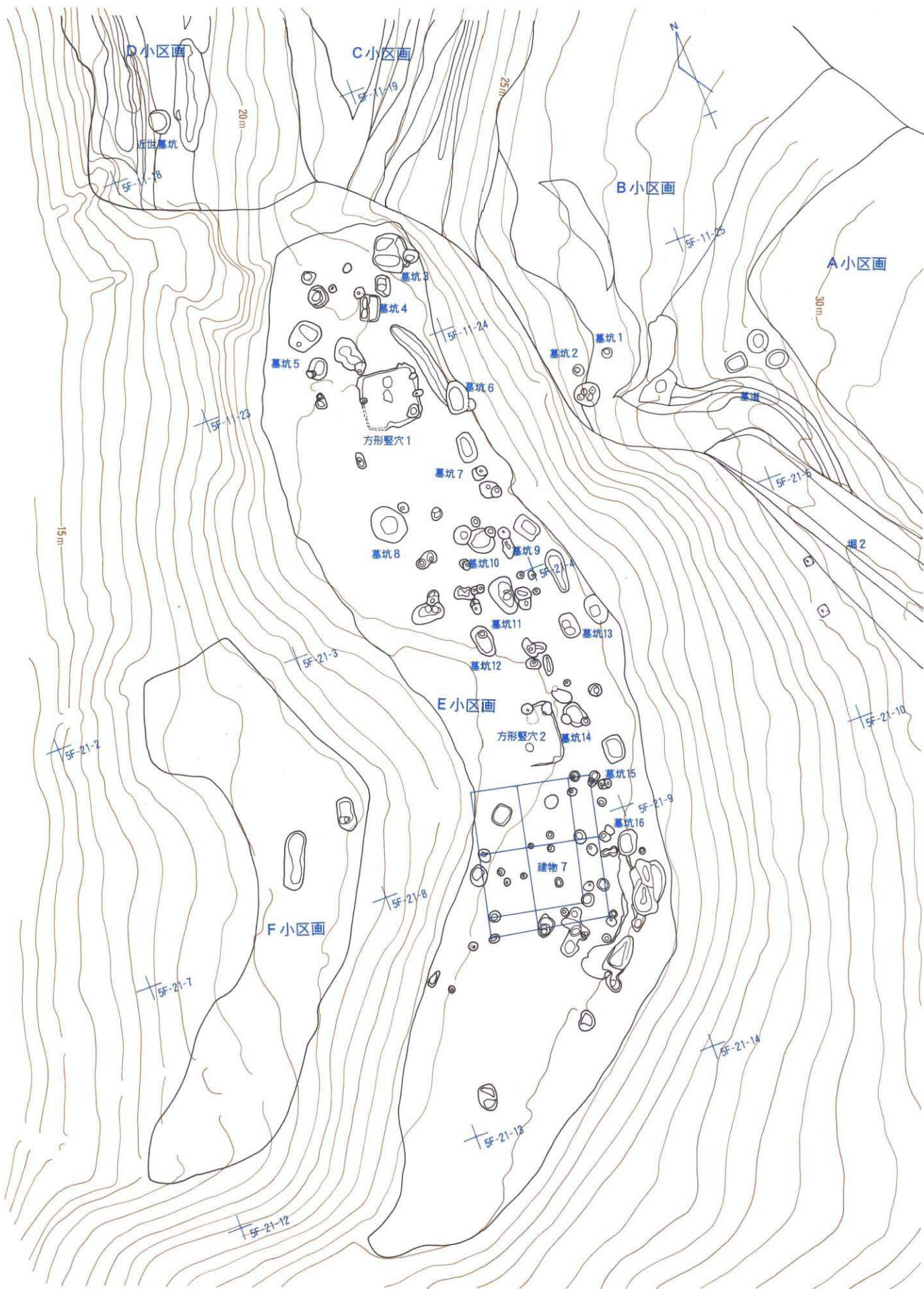
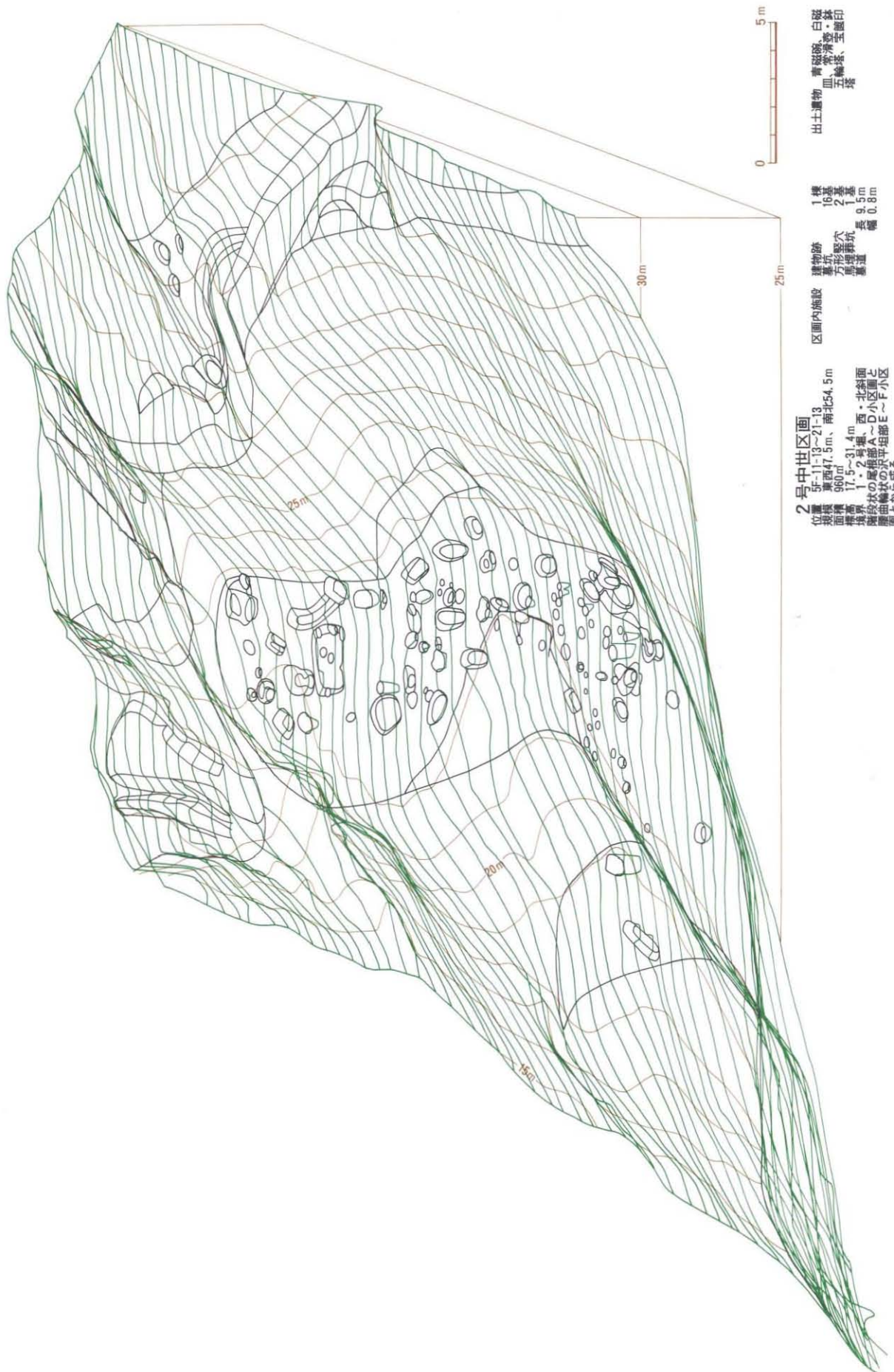


图144 2号中世区画平面图





2号中世区画
 位置 5F-11-13-21-13
 面積 東西47.5m、南北54.5m
 面積 960㎡
 構造 1.5~2.4m、西・北斜面
 階段状の高台部をD小区画之
 西面と轉状の坂中垣跡E~F小区
 画とから成る

区画内施設
 建物跡
 溝跡
 方形堅穴
 溝跡
 溝跡
 溝跡

出土遺物
 青磁碗、白磁
 碗、常滑焼・磁
 瓦、土器、土
 瓦

1棟
 16基
 2基
 1基
 9.5m
 幅 0.8m

図145 2号中世区画鳥瞰図



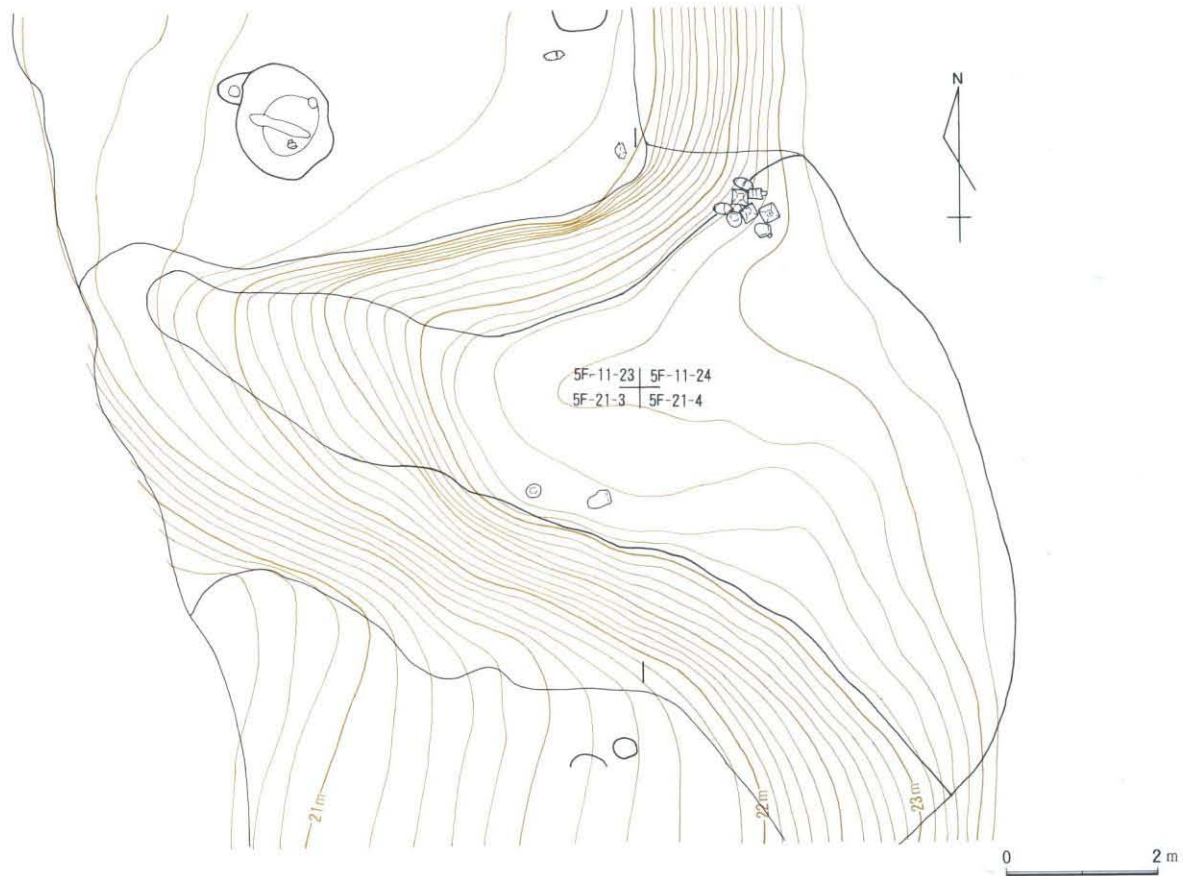
2号区画空中写真



2号区画E小区画
(北側から)



2号区画E小区画北部
(南側から)



盛土発掘前（東側から）



盛土断面

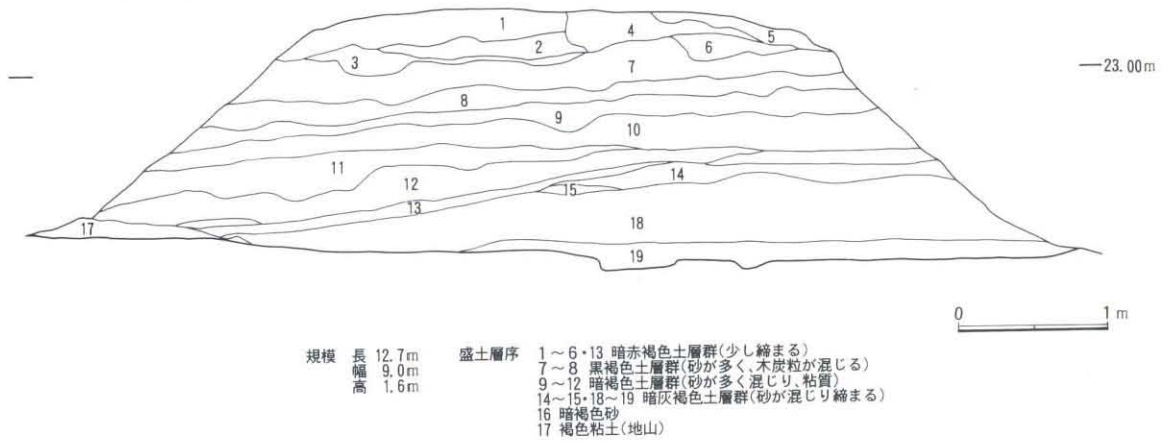


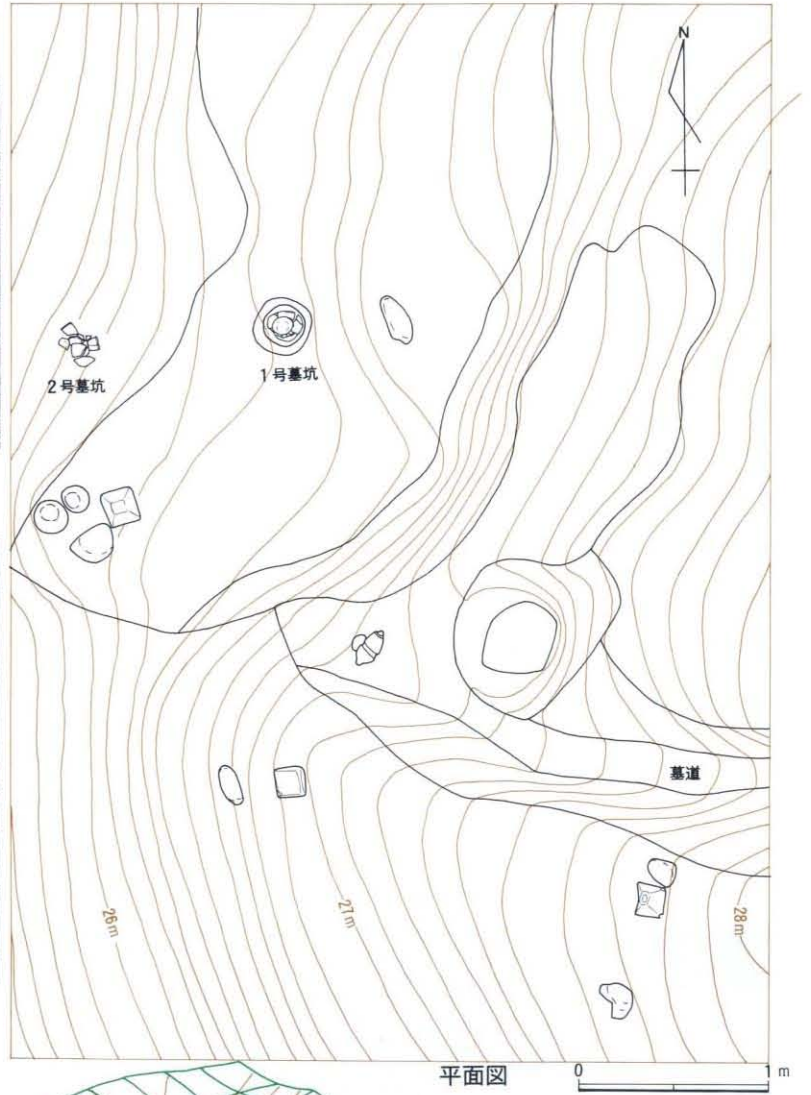
図146 E 小区画中央盛土拡大図



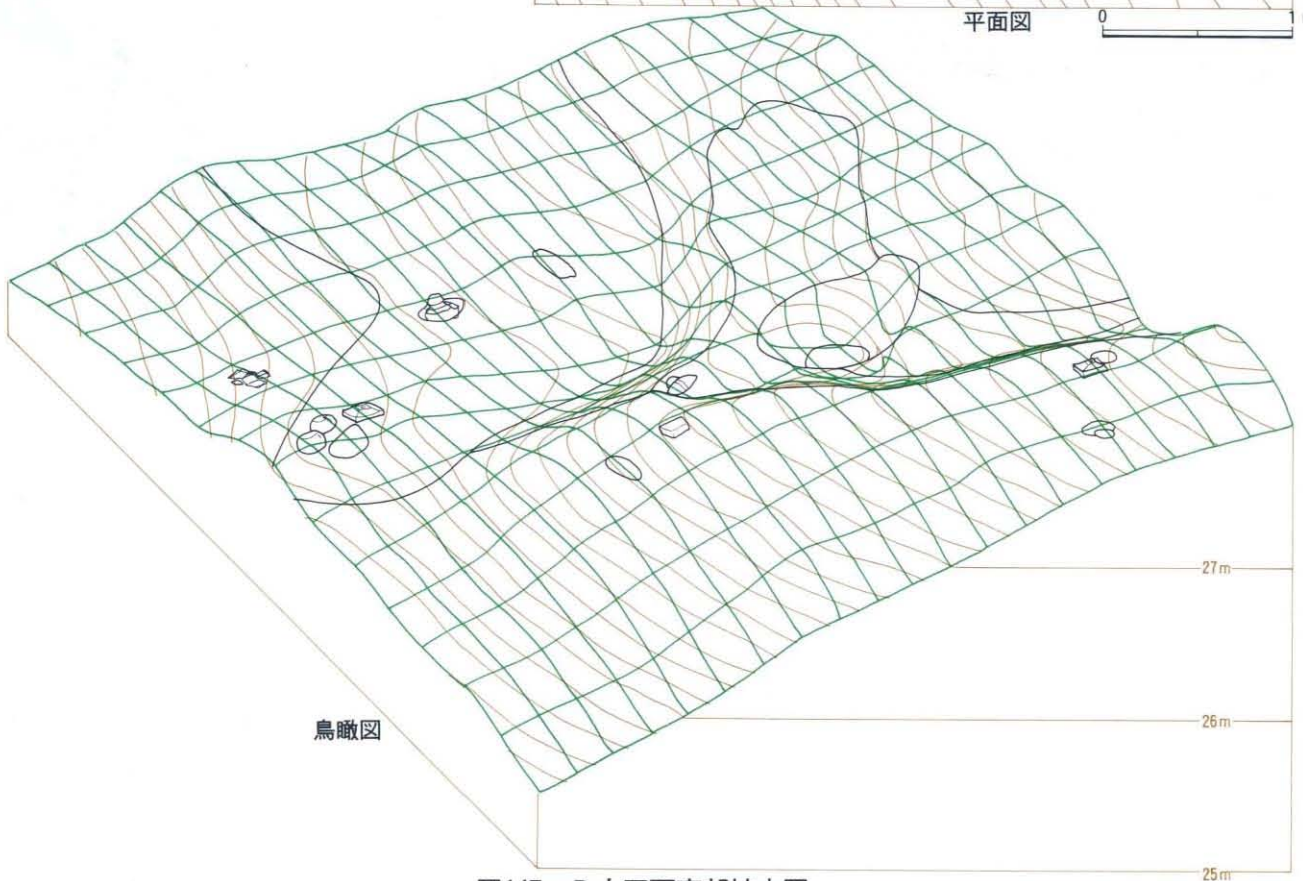
西側から



南側から



平面図



鳥瞰図

图147 B小区画南部拡大図

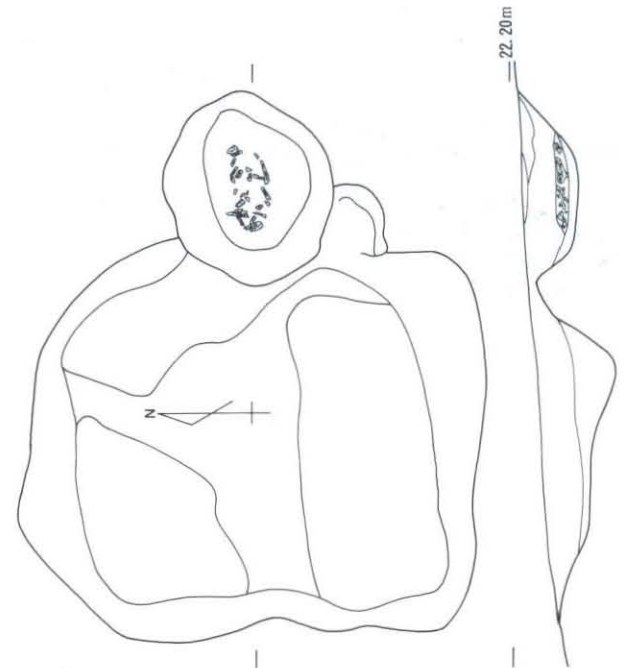
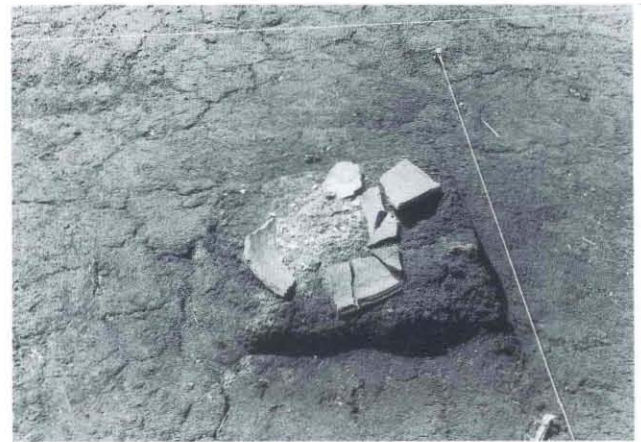
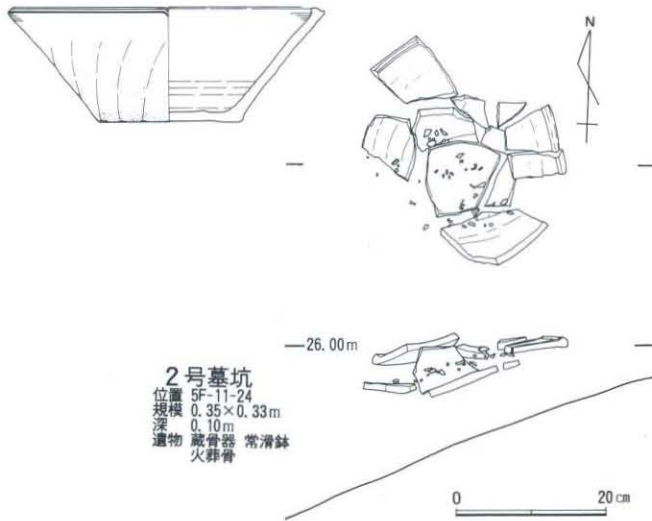
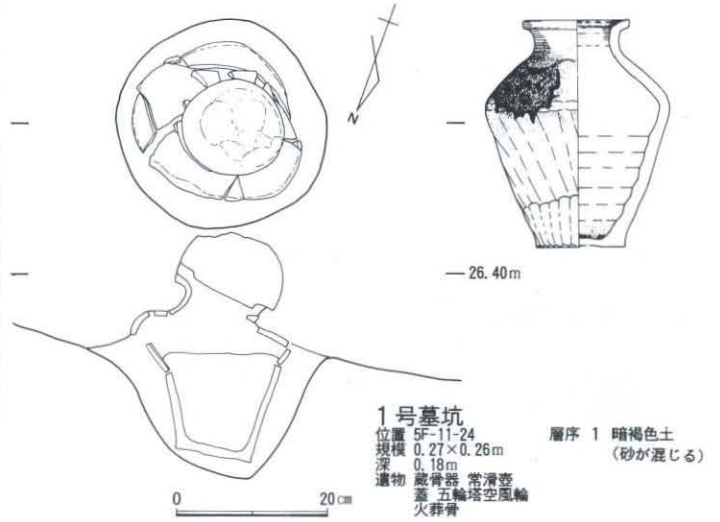
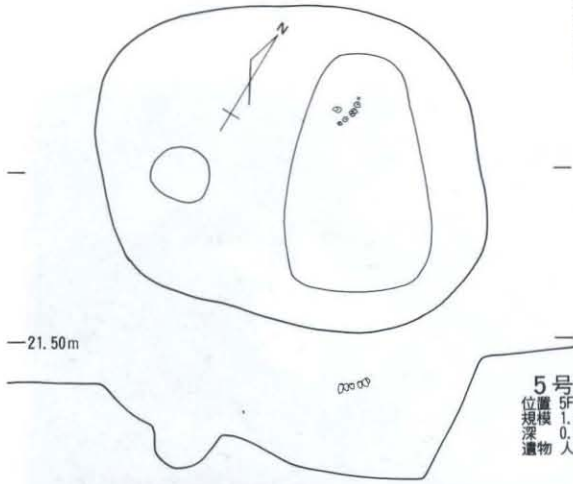
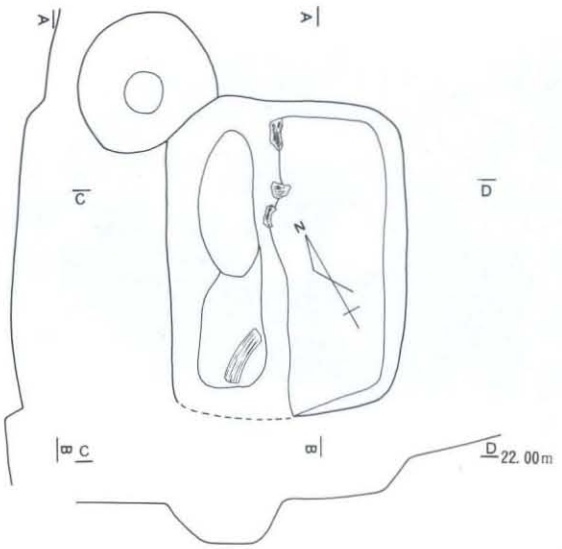


図148 墓坑拡大図



4号墓坑
位置 5F-11-18
规模 0.81×0.59m
深 0.15m
遗物 木炭
火葬坑か



5号墓坑
位置 5F-11-18
规模 1.25×1.08m
深 0.38m
遗物 人齿



6号墓坑
位置 5F-11-23
规模 1.30×0.85m
深 0.55m



7号墓坑
位置 5F-11-23
规模 0.86×0.67m
深 0.50m
遗物 常滑鉢

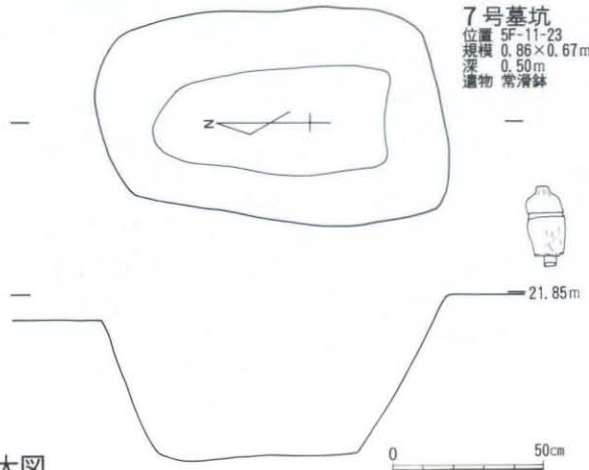
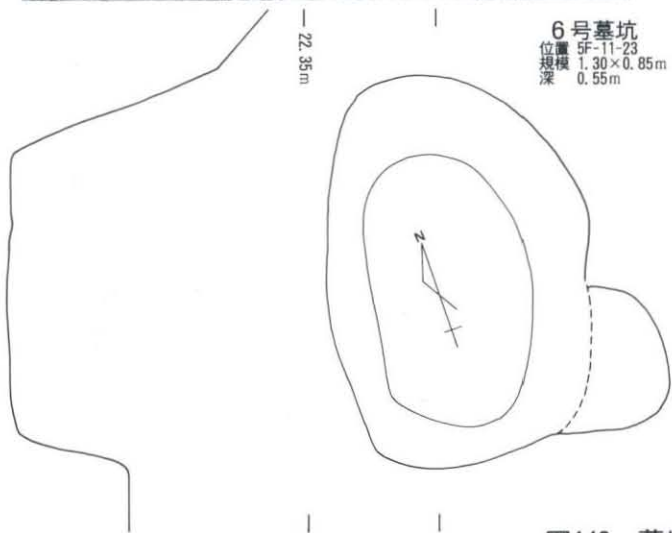
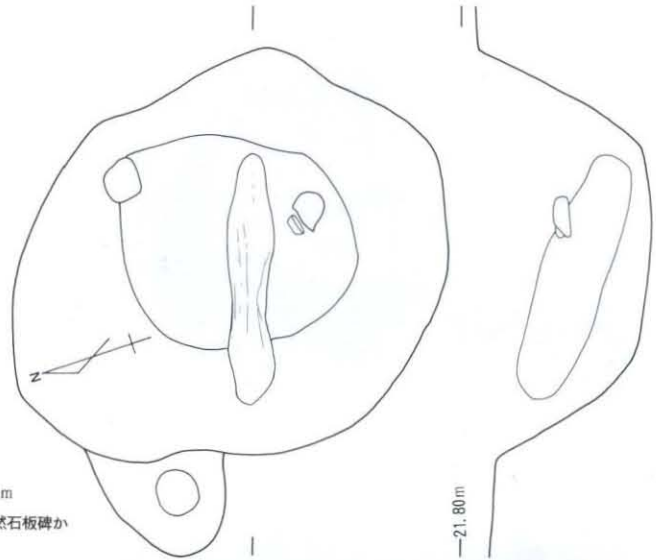
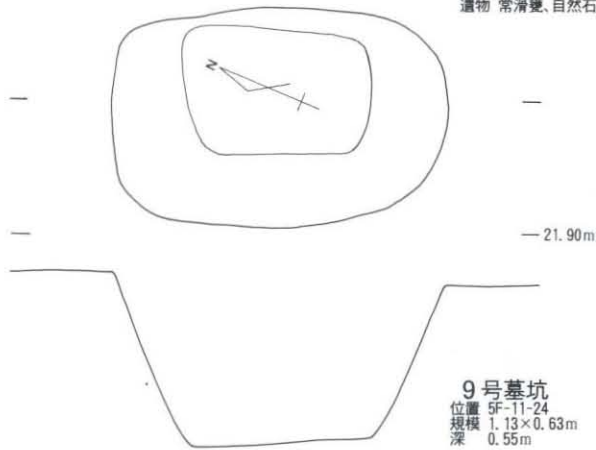


图149 墓坑扩大图



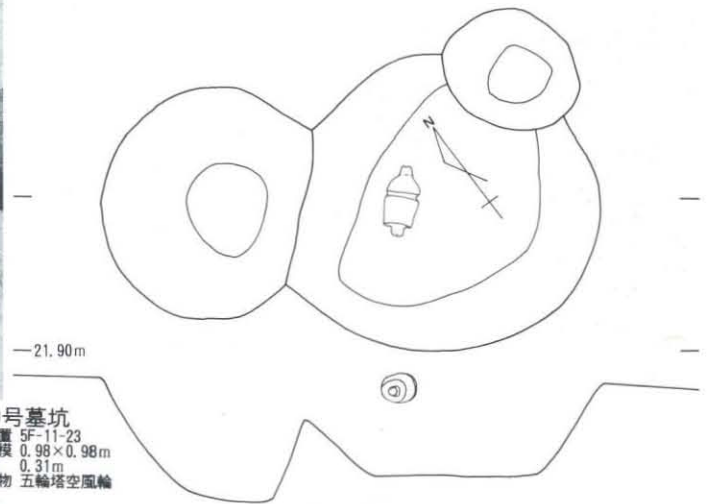
8号墓坑
位置 5F-11-23
規模 1.58×1.29m
深 0.55m
遺物 常滑甕、自然石板碑か



9号墓坑
位置 5F-11-24
規模 1.13×0.63m
深 0.55m



10号墓坑
位置 5F-11-23
規模 0.98×0.98m
深 0.31m
遺物 五輪塔空風輪



11号墓坑
位置 5F-21-3
規模 1.50×0.95m
深 0.30m
遺物 泥岩丸石

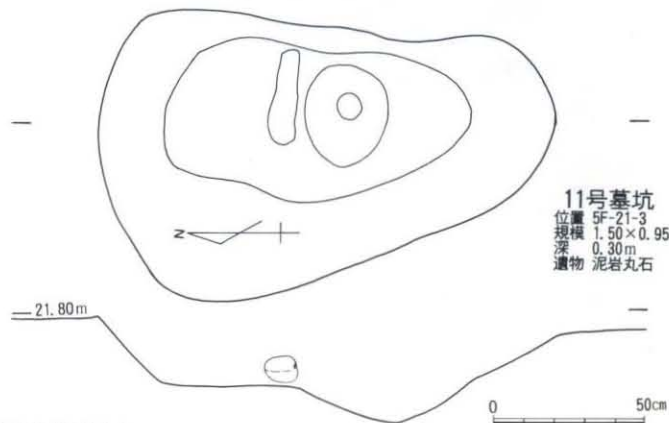


图150 墓坑拡大図

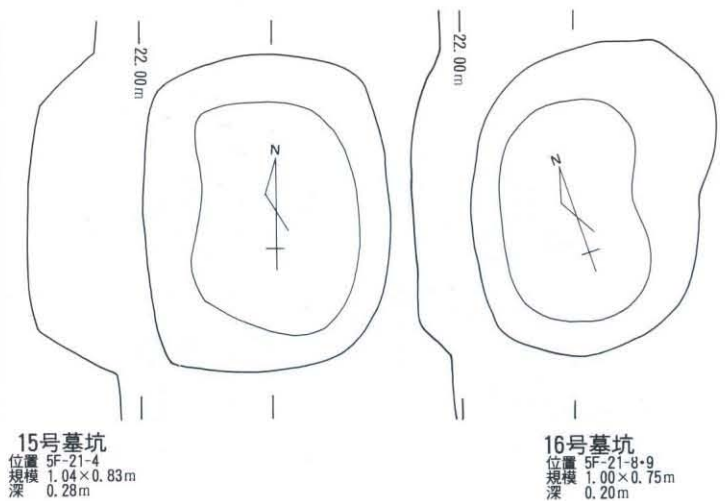
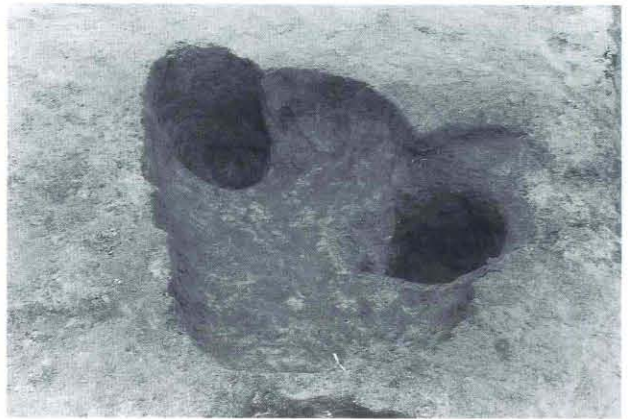
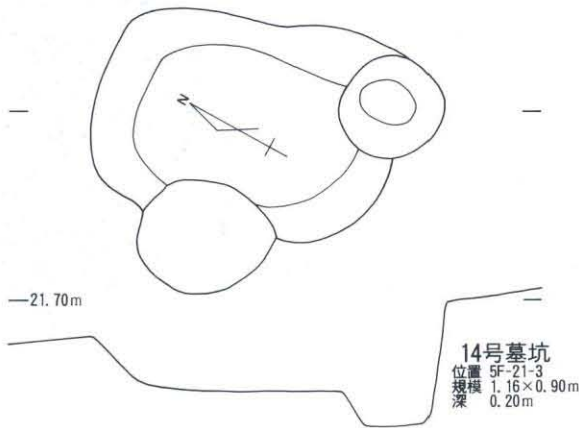
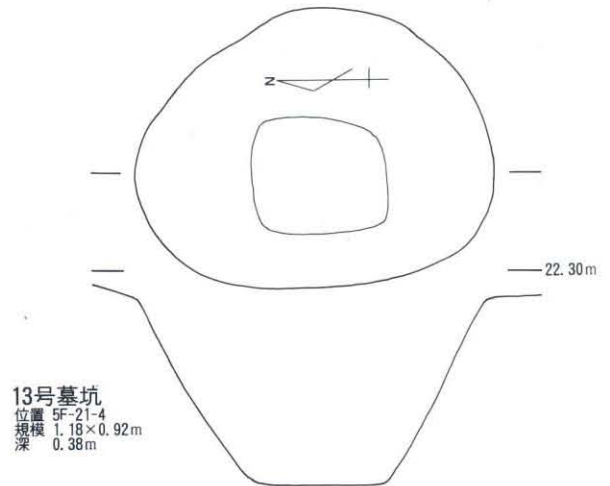
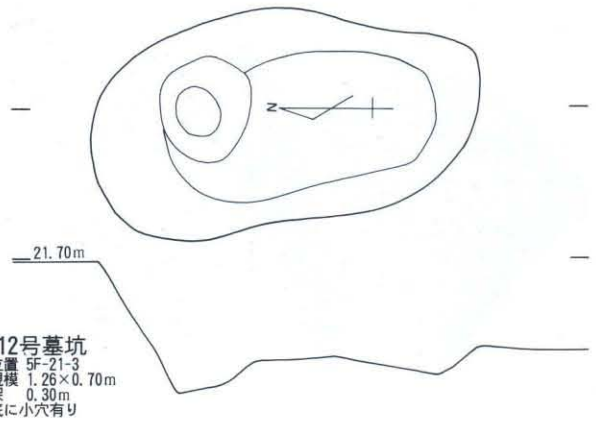
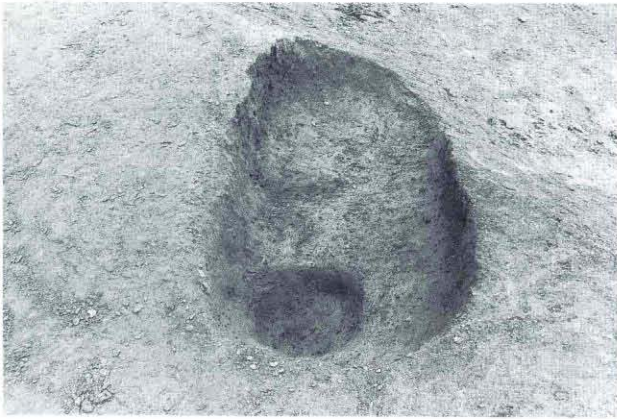
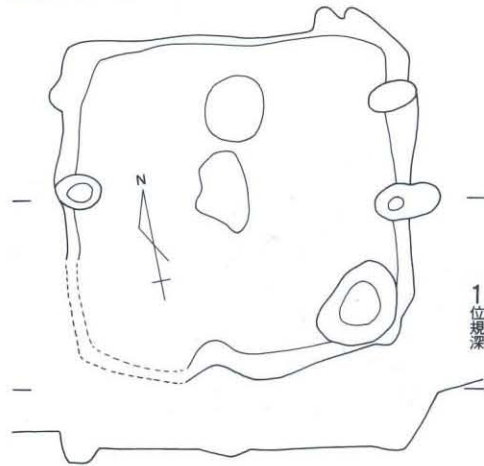
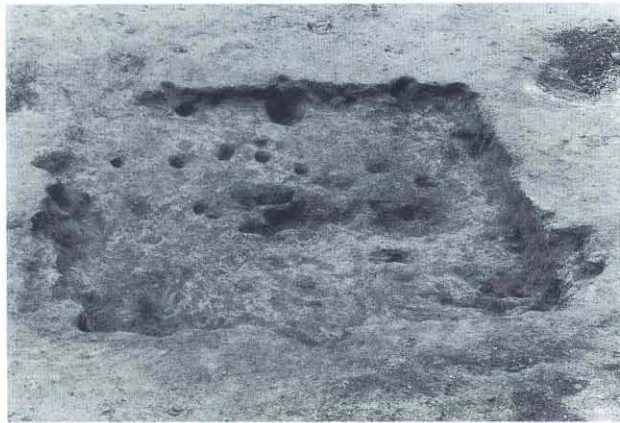


图151 墓坑拡大図

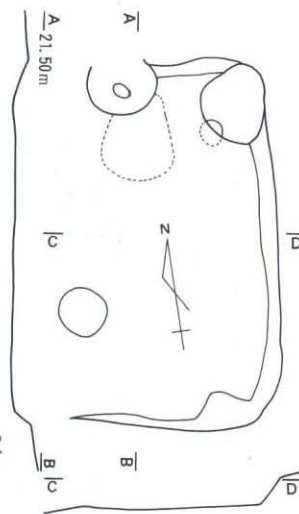
0 50cm



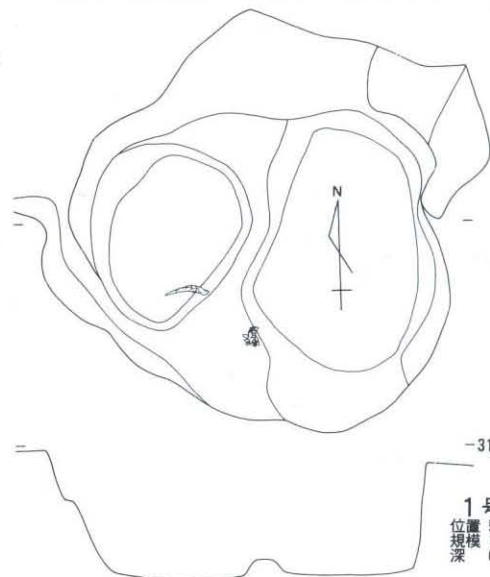
7号建物跡
 位置 5F-21-3-8
 主軸 N-13°-E
 桁行 3間
 梁行 3間
 規模 5.7×4.8m
 柱穴総数 11
 柱穴深さ 0.4~0.8m



1号方形竖穴
 位置 5F-22-7
 規模 2.16×1.89m
 深 0.75m



2号方形竖穴
 位置 5F-22-11
 規模 2.13×2.13m
 深 0.62m



1号馬埋葬坑
 位置 5F-22-6
 規模 1.85×1.48m
 深 0.97m

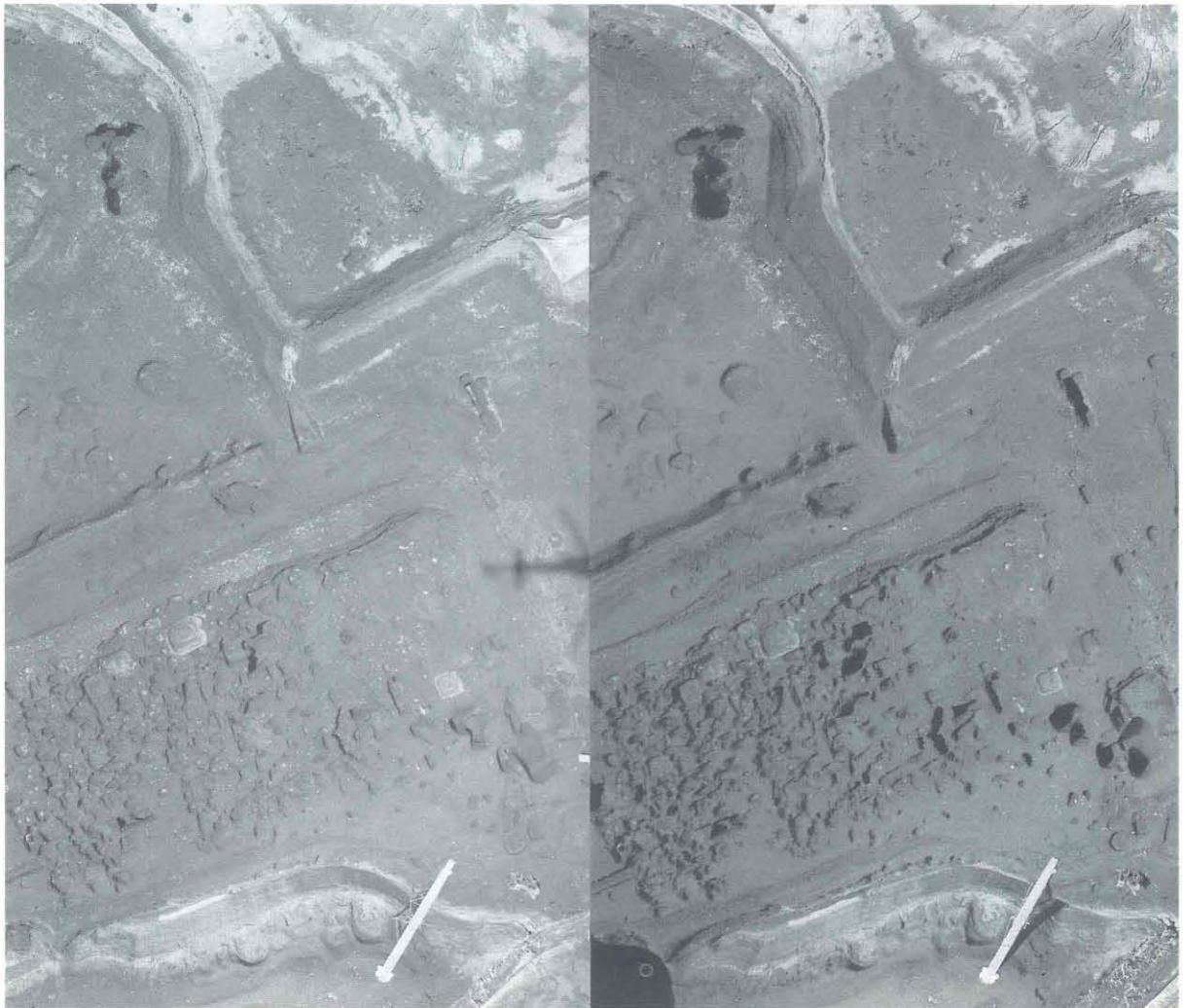


图152 方形竖穴・馬埋葬坑拡大図

0 1m



3号中世区画（南側から）



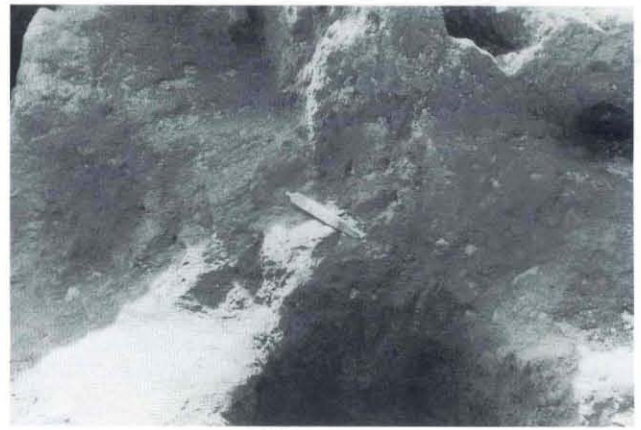
3号中世区画周辺立体視写真



图153 3号中世区画平面图



3号中世区画内土坑群 (5F-32-6・11南側から)



こうがい
斧出土状態

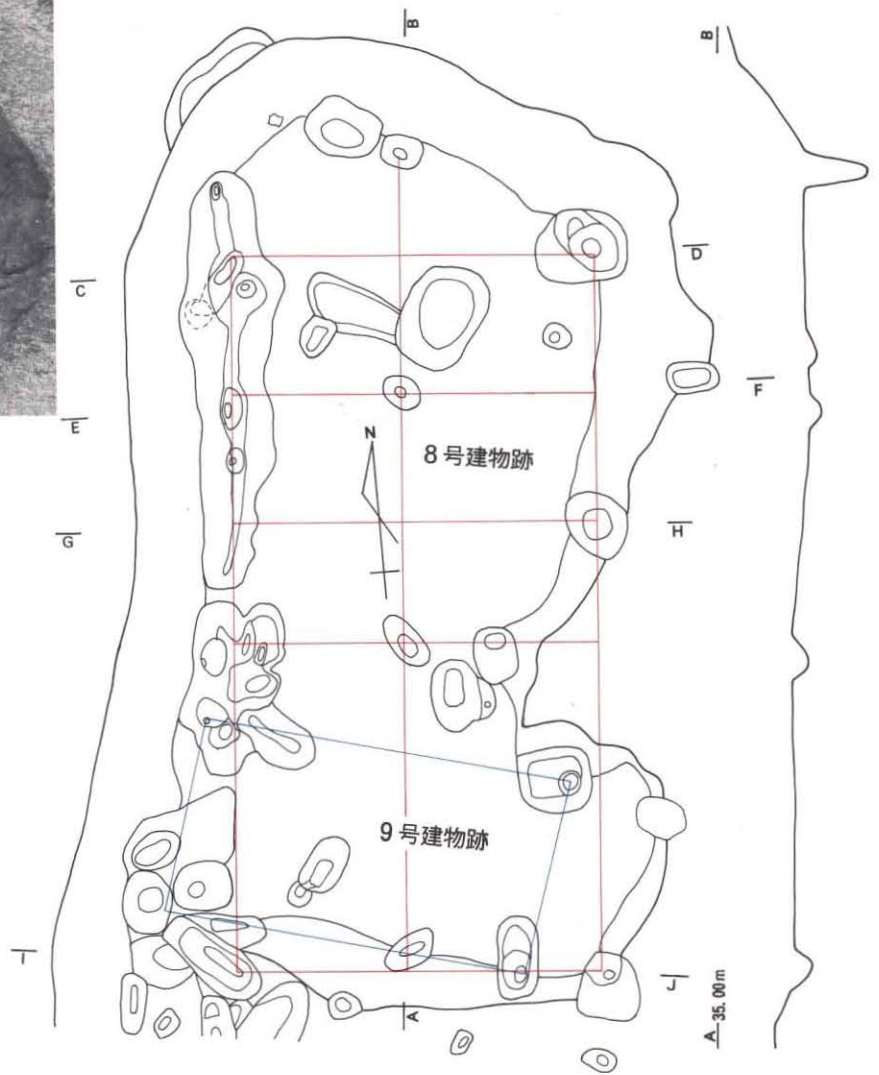


3号中世区画
 位置 5F-22-21~32-17
 規模 東西33.2m 南北46.5m
 (内輪郭 東西21.5m 南北39.0m)
 面積 1,155㎡(内輪郭 790㎡)
 標高 34.0~35.2m
 境界 4・6・12号堀
 北側と西側、堀との間に土塁が存在した可能性有り

区画内遺構	建物跡	7棟
地下式土坑	6基	
粘土貼土坑	3基	
方形土坑	12基	
墓坑	3基	
焼跡	1基	
焼土・灰廃棄坑	1基	

出土遺物 青磁碗、白磁
 皿、瀬戸小皿・
 平碗・茶壺・深鉢
 皿・瓶子・摺鉢
 常滑壺、内耳土
 鍋、茶釜、カワ
 ラケ、斧、鍬、
 火打石、磁石、
 茶臼

図154 3号中世区画鳥瞰図



8号建物跡

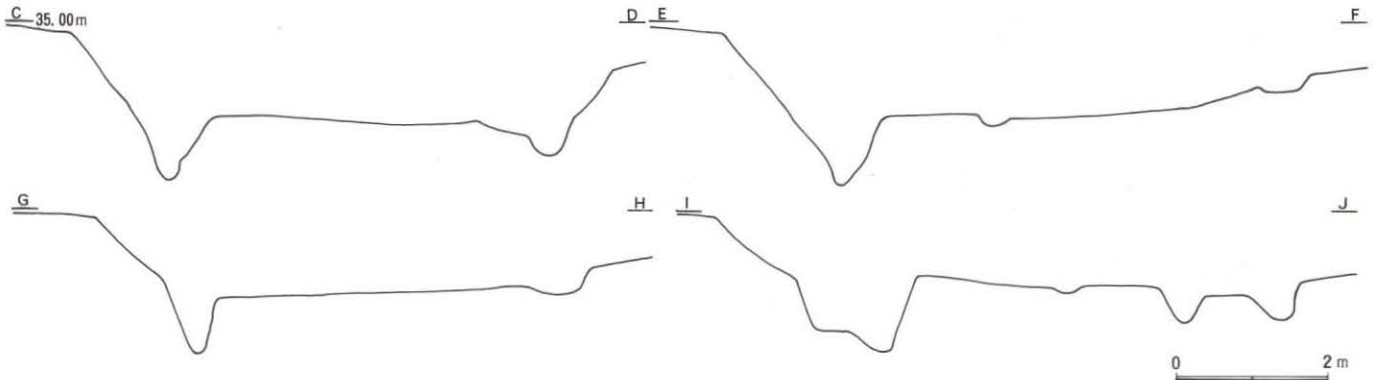
位置 5F-32-1-2-6-7
 主軸 N-4°-E
 桁行 6間
 梁行 2間
 規模 5.40×2.50m
 柱穴総数 14
 柱穴深さ 0.4~0.9m
 地面を周りより掘り下げている

9号建物跡

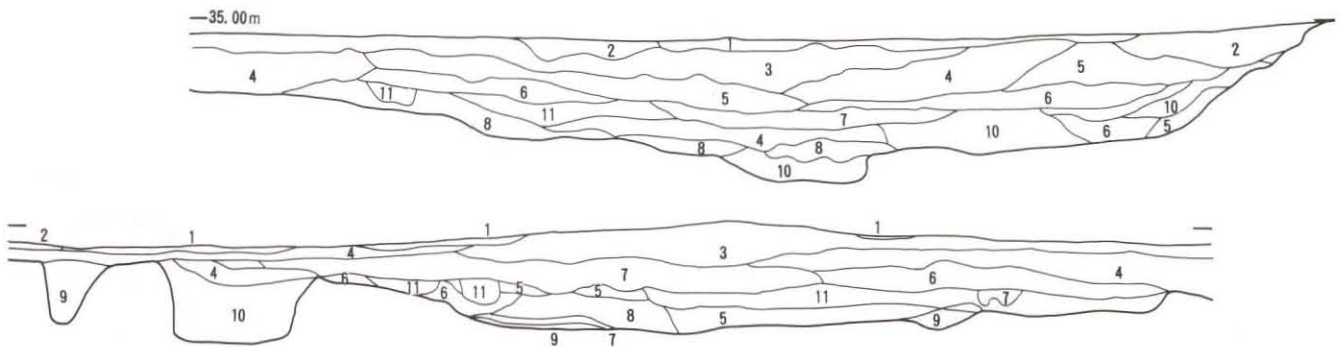
位置 5F-32-1-2-6-7
 主軸 N-73°-W
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 2.25×1.86m
 柱穴総数 9
 柱穴深さ 0.4~0.9m
 地面を周りより掘り下げている

10号建物跡

位置 5F-32-2-7
 主軸 N-81°-W
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 3.30×1.90m
 柱穴総数 13
 柱穴深さ 0.4~0.7m



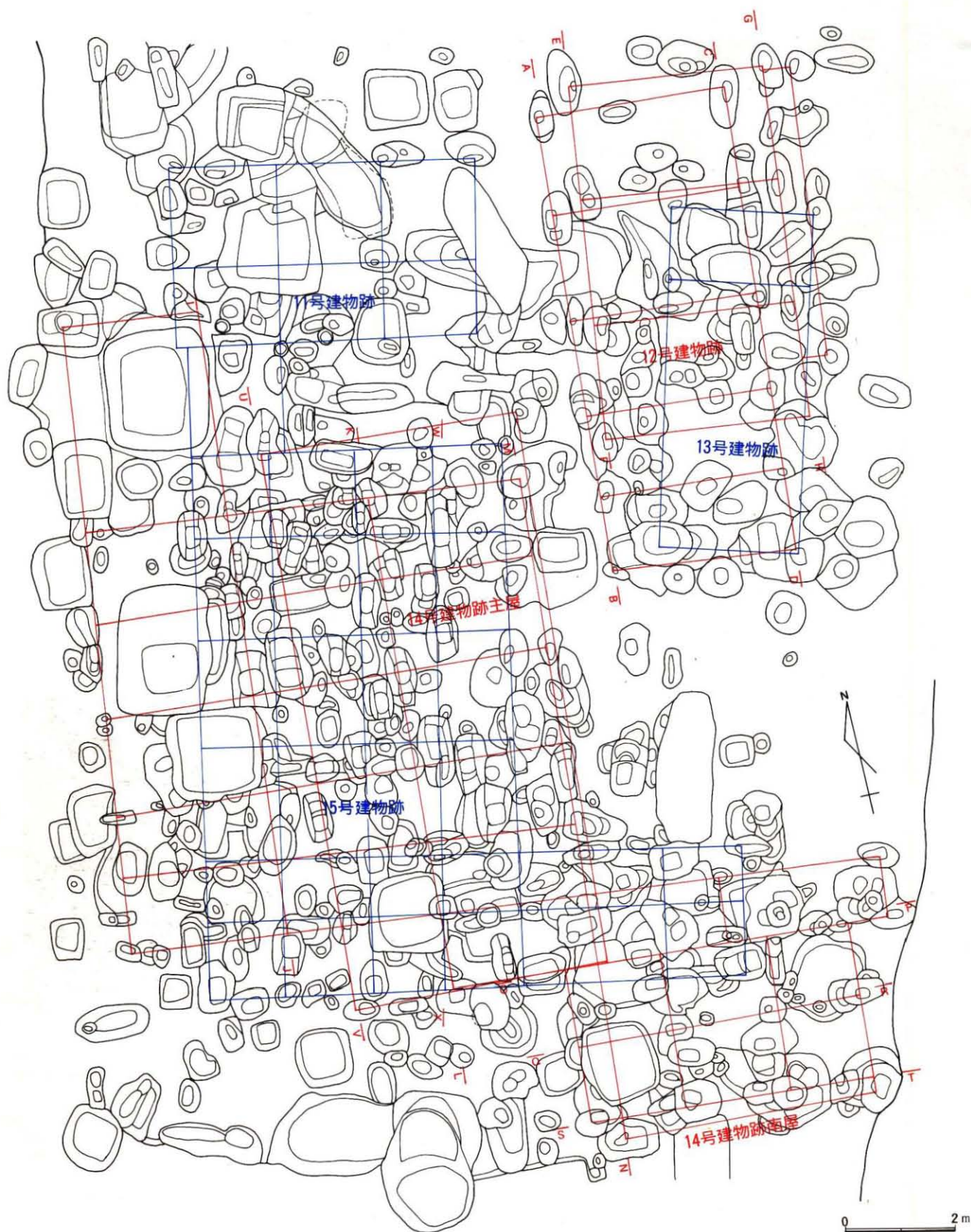
0 2m



0 1m

- 層序 1 暗褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)
 2 褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)
 3~4 褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 5~8 暗褐色土層群 (ローム小~大粒が多く混じる)
 9 黄褐色土層 (ロームが多く混じる)
 10~11 褐色土層群 (ローム小粒が多く混じる)

図155 8・9号建物跡拡大図及びその覆土断面図



11号建物跡
 位置 5F-32-6・7
 主軸 N-81°-W
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 7.83×1.75m
 柱穴総数 9
 柱穴深さ 0.4~0.7m
 15号建物跡に接続すると考える

12号建物跡
 位置 5F-32-7・12
 主軸 N-1°-E
 桁行 5間 (3間)
 梁行 2間
 規模 4.27×1.72m
 (3.33×2.10m)
 柱穴総数 31
 柱穴深さ 0.5~0.7m
 建て替えが認められる
 8・14号建物跡に接続すると考える

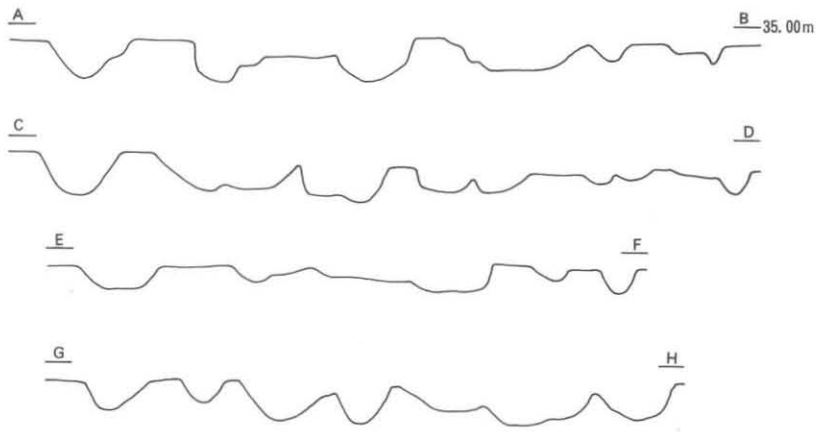
13号建物跡
 位置 5F-32-7・12
 主軸 N-14°-E
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 3.20×1.30m
 柱穴総数 17
 柱穴深さ 0.4~0.6m
 12号建物跡に先行し、建て替えが認められる

14号建物跡主屋
 位置 5F-32-11・12
 主軸 N-3°-E
 桁行 5間
 梁行 6間
 規模 4.80×4.15m
 柱穴総数 30
 柱穴深さ 0.3~0.7m
 主屋と南屋とから成り、建て替えの可能性有り

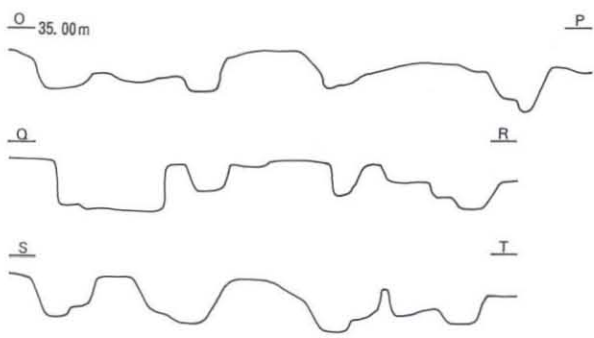
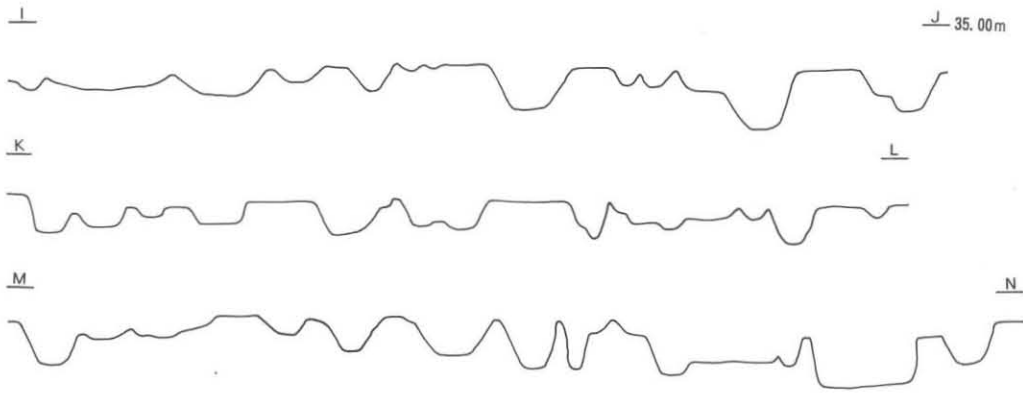
14号建物跡南屋
 位置 5F-32-17
 主軸 N-87°-W
 桁行 5間
 梁行 3間
 規模 4.10×2.20m
 柱穴総数 21
 柱穴深さ 0.3~0.6m
 ほほ中央部の地面が焼けていて、厨房の可能性有り

15号建物跡
 位置 5F-32-11・12
 主軸 N-11°-E
 桁行 6間
 梁行 4間
 規模 4.95×2.92m
 柱穴総数 38
 柱穴深さ 0.4~0.7m
 14号建物跡に先行し、建て替えの可能性有り
 南に張り出し部有り

図156 11~15号建物跡平面拡大図



12号建物跡断面



14号建物跡断面

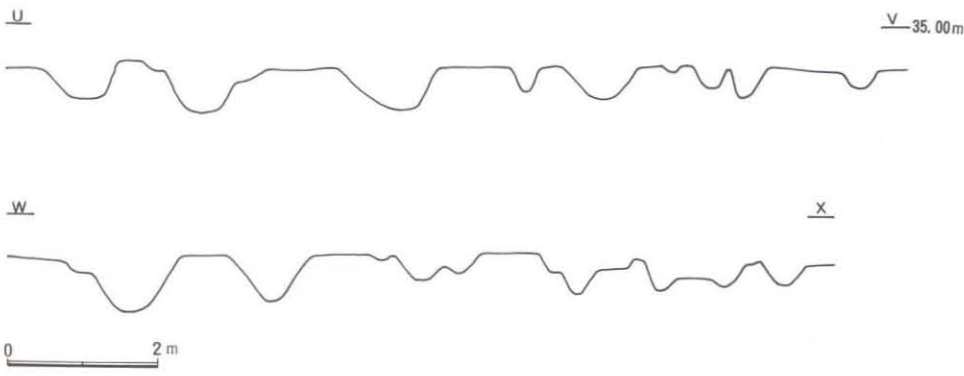
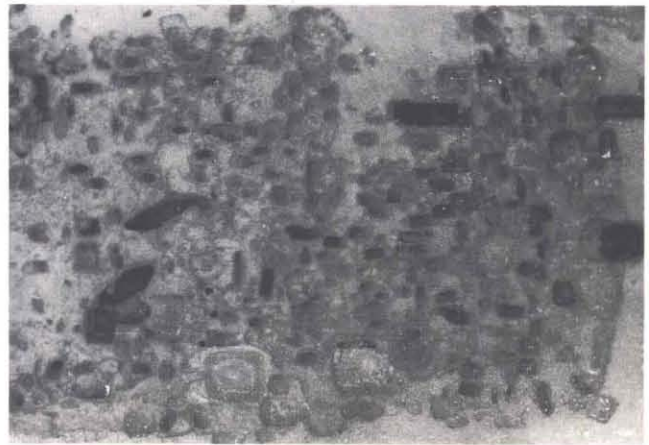
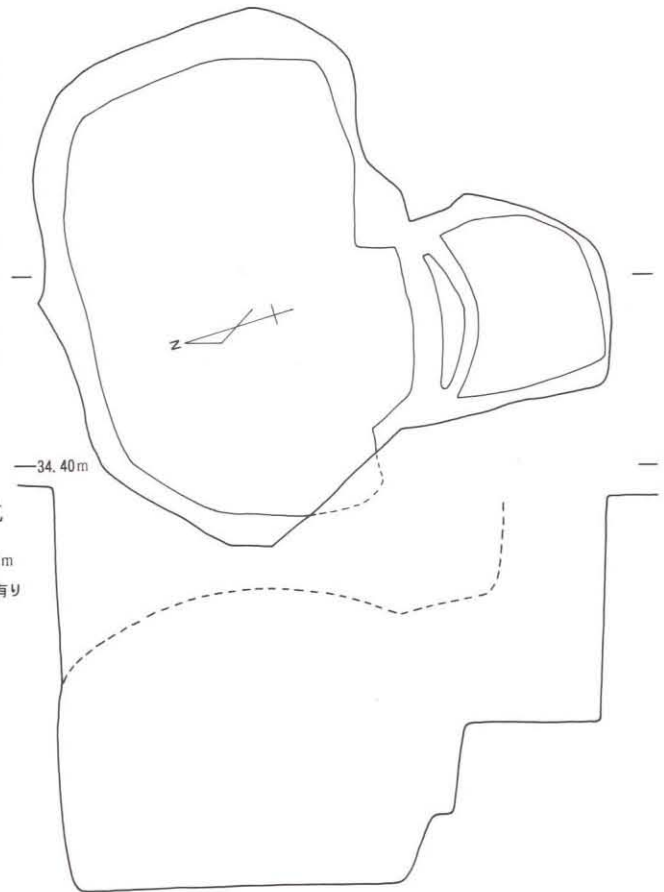
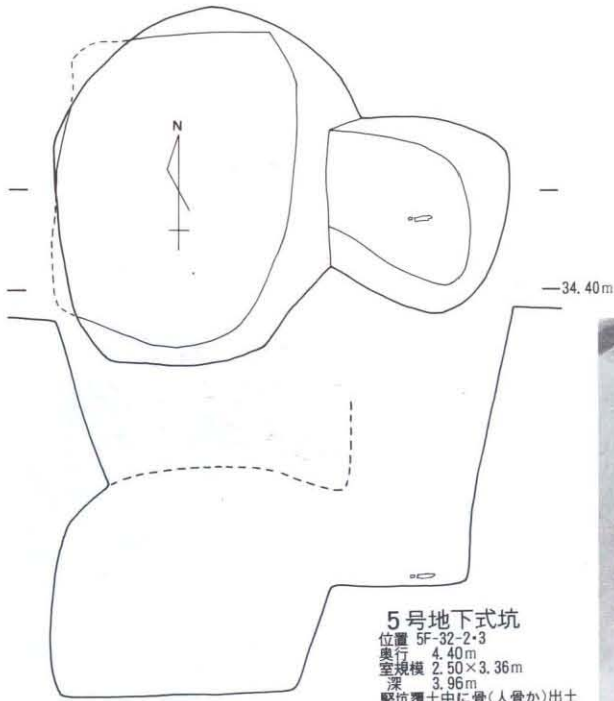


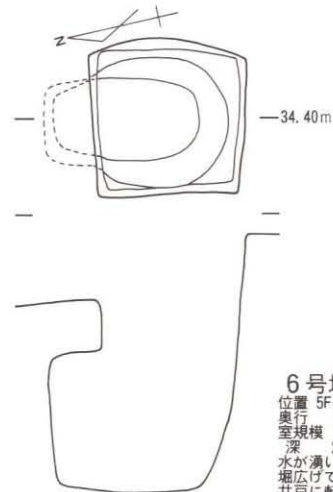
图157 11~15号建物跡断面图



4号地下式坑
 位置 5F-32-3
 奥行 3.50m
 室規模 1.90×3.07m
 深 2.50m
 竪坑から室へ階段有り



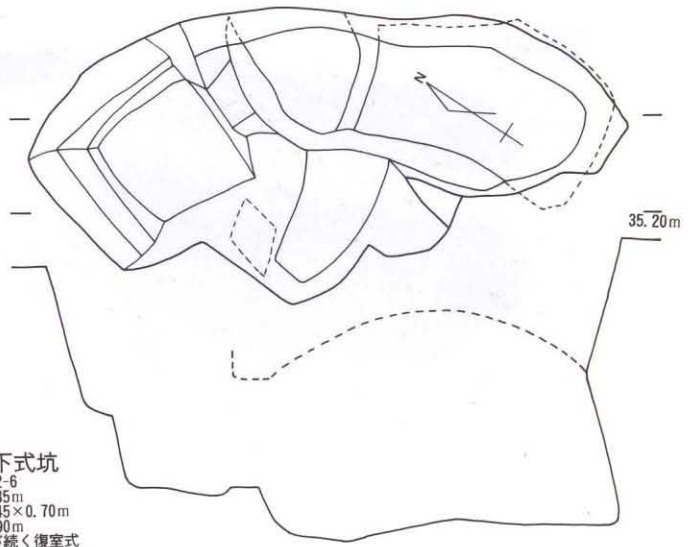
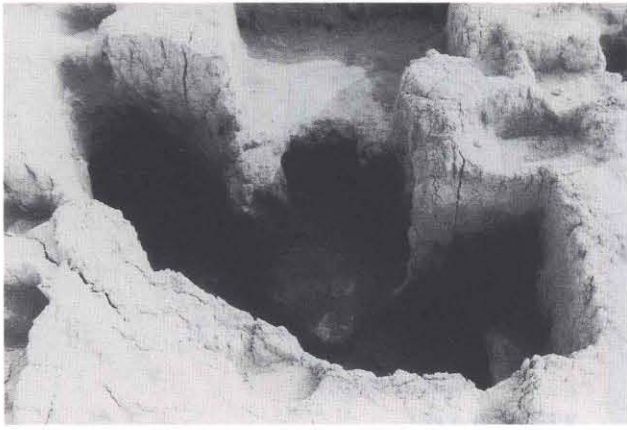
5号地下式坑
 位置 5F-32-2-3
 奥行 4.40m
 室規模 2.50×3.36m
 深 3.96m
 竪坑覆土中に骨(人骨か)出土



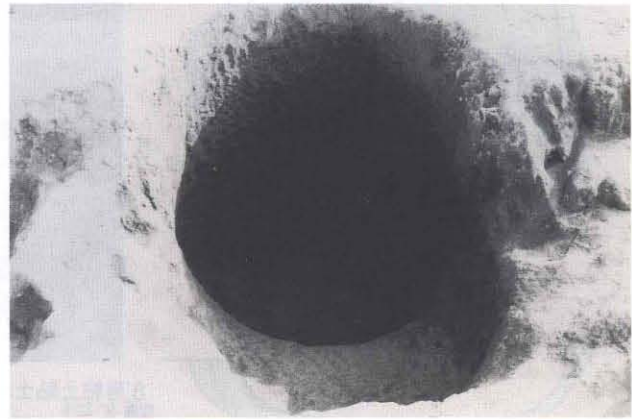
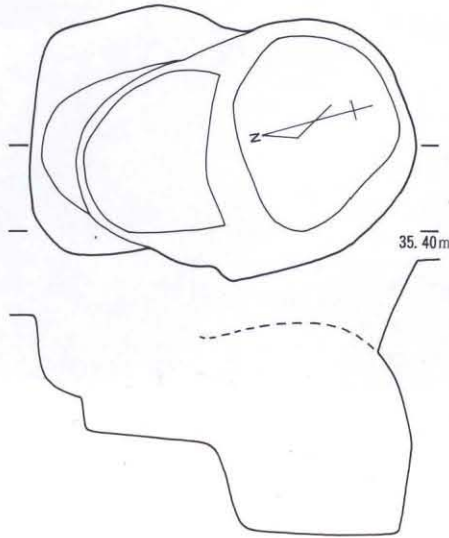
6号地下式坑
 位置 5F-32-7
 奥行 1.30m
 室規模 1.02×0.55m
 深 2.15m
 水が満いたためか、室を
 堀広げていない
 井戸に転換したか

図158 4～6号地下式坑拡大図

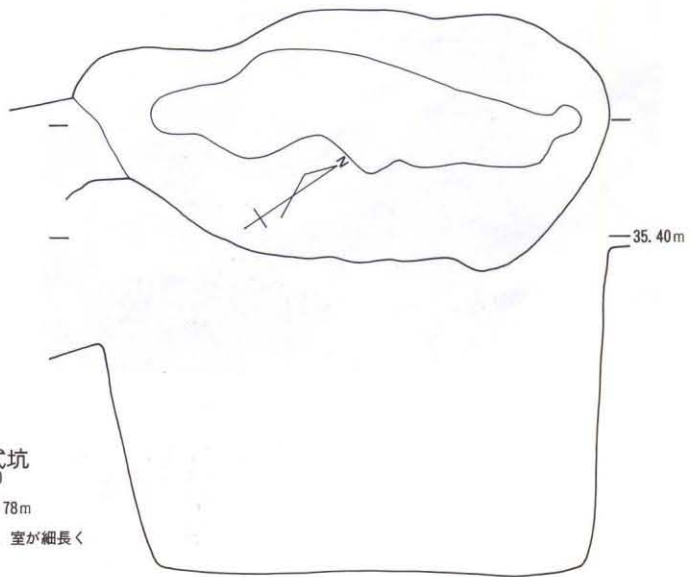




7号地下式坑
 位置 5F-32-6
 奥行 3.35m
 室規模 2.45×0.70m
 深 1.90m
 弧状に室が続く復室式



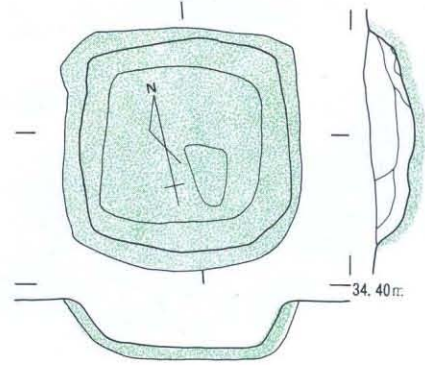
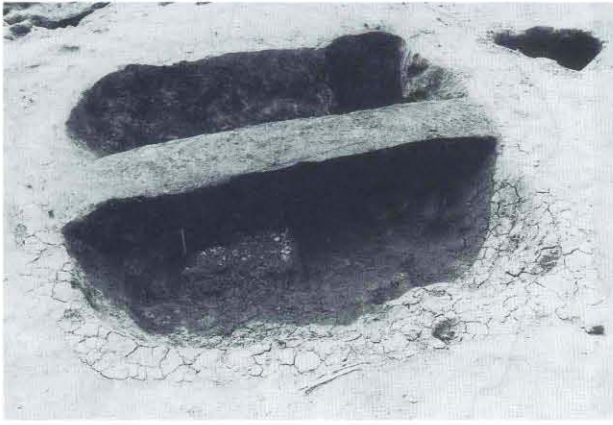
8号地下式坑
 位置 5F-32-16
 奥行 2.15m
 室規模 1.05×1.25m
 深 1.80m



9号地下式坑
 位置 5F-31-5-10
 奥行 3.70m
 室規模 2.85×0.78m
 深 2.15m
 堀6を入口にし、室が細長く掘方が粗い

図159 7～9号地下式坑拡大図

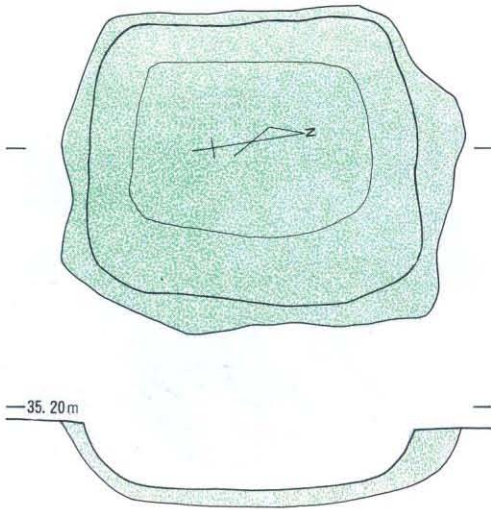




7号粘土貼土坑

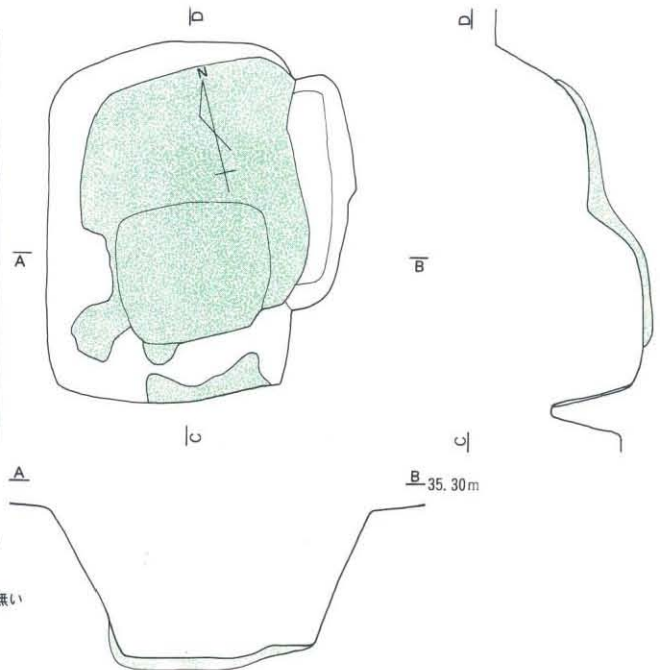
位置 5F-32-2
 規模 1.65×1.57m
 深 0.30m
 底に貝殻が堆積

- 層序
- 1 褐色土(ロームが多く混じる)
 - 2 褐色土(ローム・粘土が混じる)
 - 3 暗褐色土(ローム・粘土が混じる)
 - 4 暗褐色土(ロームが混じる)
 - 5 ロームブロック



8号粘土貼土坑

位置 5F-32-6
 規模 2.66×2.09m
 深 0.44m



9号粘土貼土坑

位置 5F-32-11
 規模 2.38×1.94m
 深 0.97m
 側壁には粘土がほとんど無い

図160 7～9号粘土貼土坑拡大図

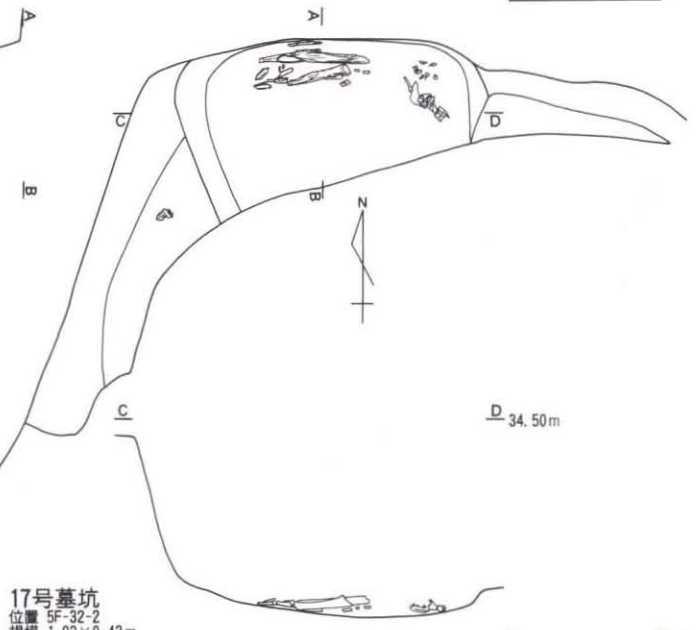
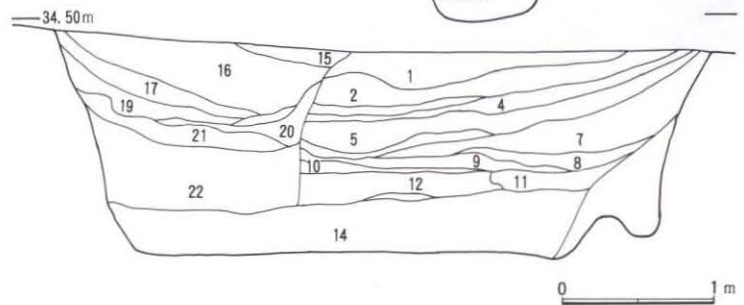
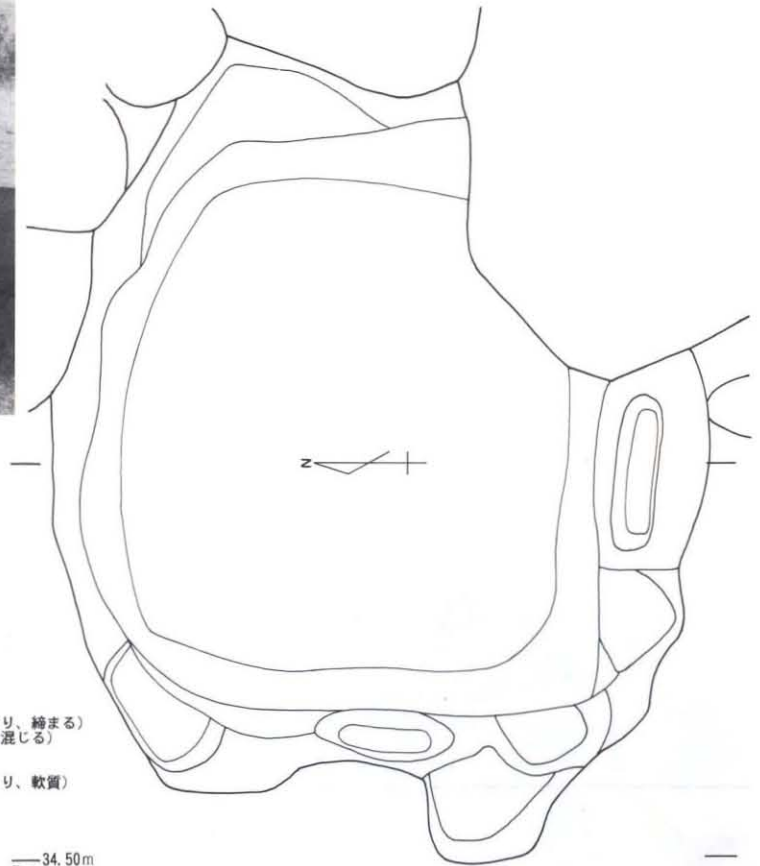




5号方形土坑

位置 5F-22-23-32-2・3
規模 3.78×3.40m
深 1.48m

- 西側と南側に付属穴がある
- 層序 1 暗褐色土 (砂・ローム・焼土・木炭が混じり、締まる)
 - 2・8~13 褐色土層群 (ロームが多く、木炭混じる)
 - 3・14 黄褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 - 4~7 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じる)
 - 12・17~19 黒褐色土層群 (砂・ロームが混じり、軟質)
 - 15~16 褐色土層群 (砂・ロームが混じる)
 - 20~22 暗褐色土層群 (砂・ロームが混じる)



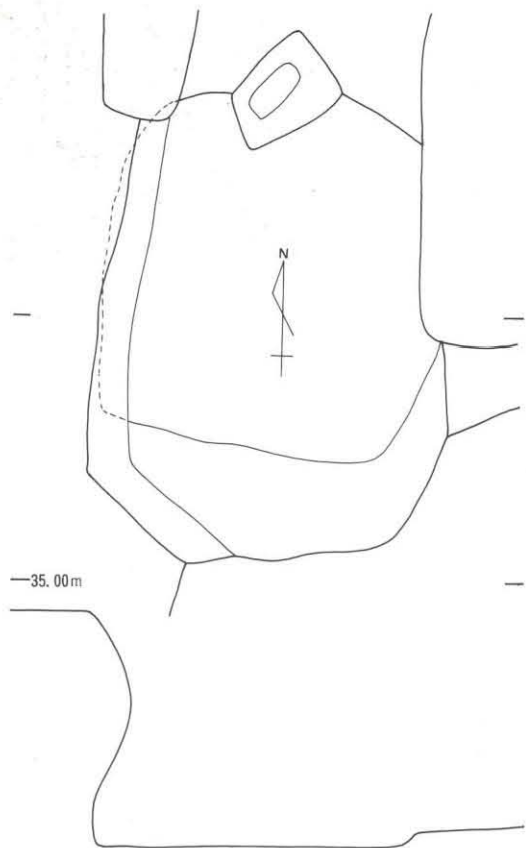
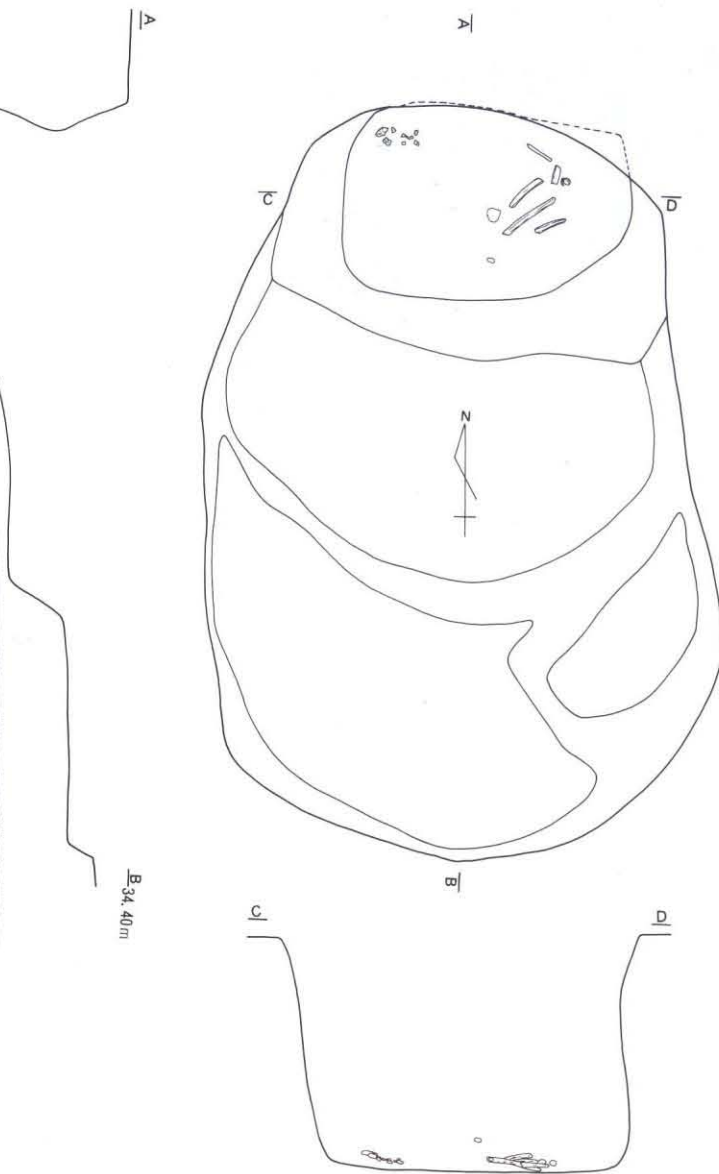
17号墓坑

位置 5F-32-2
規模 1.03×0.43m
深 0.63m

- 半地下式
人骨 頭骨一部と下顎、下肢などが残る。臼歯は咬耗者しく、大腿骨は高密度である。
東頭位

図161 5号方形土坑・17号墓坑拡大図

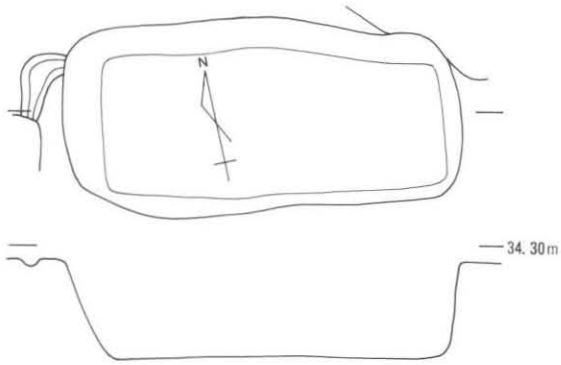
18号墓坑
 位置 5F-32-2
 規模 2.50×0.90m
 (0.65×0.90m)
 深 0.80m
 階段状に掘り込んだ半地下式
 人骨 頭骨の一部と下肢が残
 る。下肢骨は細く、臼
 歯の咬耗は中程度
 西頭位



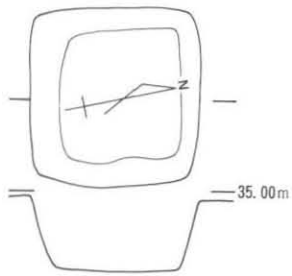
19号墓坑
 位置 5F-32-6
 規模 1.72×1.68m
 深 0.44m
 半地下式



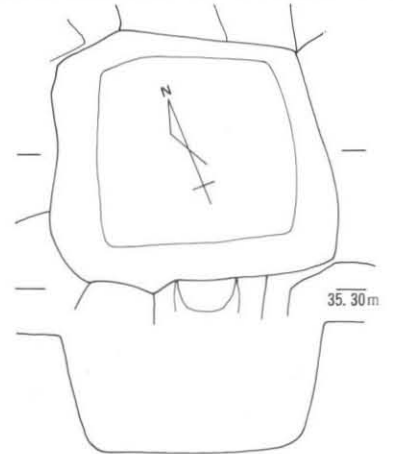
图162 18・19号墓坑拡大図



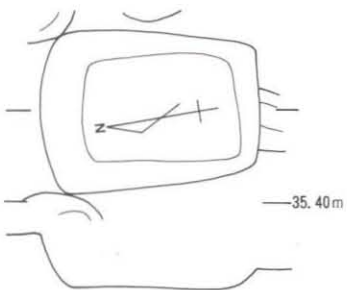
6号方形坑
位置 5F-32-2
规模 2.67×1.28m
深 0.65m



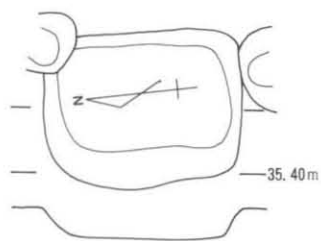
7号方形坑
位置 5F-32-7
规模 1.10×0.98m
深 0.47m



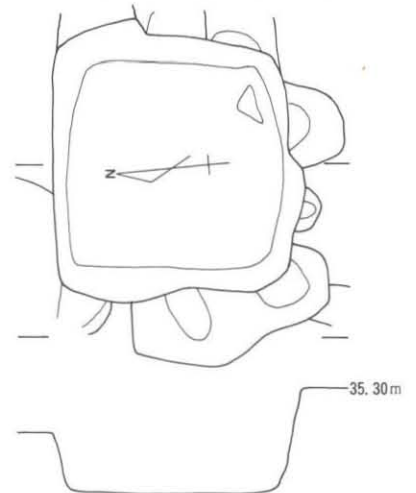
8号方形坑
位置 5F-32-2
规模 2.56×1.76m
深 0.83m



9号方形坑
位置 5F-32-2
规模 1.43×1.03m
深 0.40m



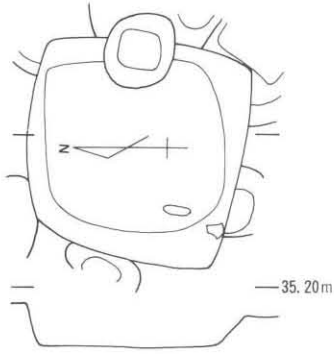
10号方形坑
位置 5F-32-11
规模 1.32×1.04m
深 0.30m



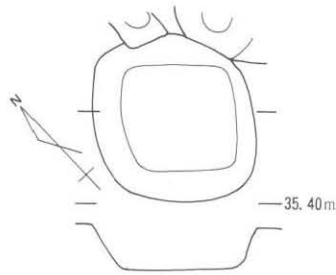
11号方形坑
位置 5F-32-11
规模 2.66×1.76m
深 0.86m

0 1 m

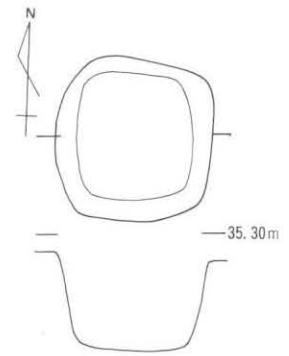
图163 6~11号方形坑扩大图



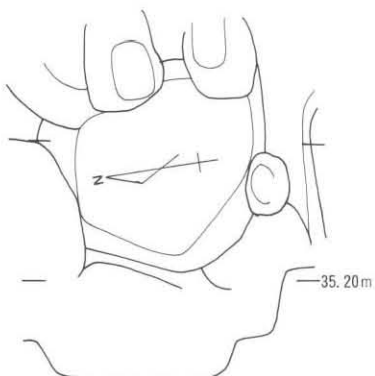
12号方形坑
位置 5F-32-11
规模 1.63×1.45m
深 0.30m



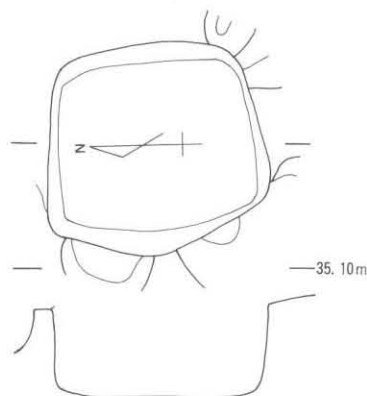
13号方形坑
位置 5F-32-16
规模 1.12×1.06m
深 0.33m



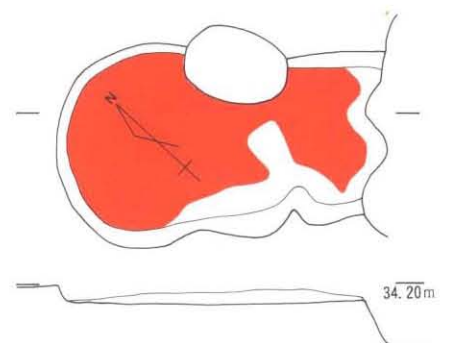
14号方形坑
位置 5F-32-11
规模 1.10×1.05m
深 0.63m



15号方形坑
位置 5F-32-12
规模 1.15×0.95m
深 0.85m



16号方形坑
位置 5F-32-16
规模 1.40×1.41m
深 0.63m



1号废弃坑
位置 5F-32-2
规模 2.17×1.34m
深 0.13m
废弃物 灰·烧土
废弃物堆积厚 0.08m



图164 12~16号方形坑·1号废弃坑扩大图



4号中世区画（上空から）



4号中世区画（東側から）



18～21号建物跡（上空から）





4号中世区画

位置 5F-31-2~15
 規模 東西33.5m 南北21.3m
 面積 685㎡
 標高 34.8~35.4m
 境界 5~7号堀 西側は段状部
 本区画中央部に小規模な8号堀が
 あり、区画を2分する

区画内遺構 建物跡 6棟
 3基
 3基
 2基
 2基
 地下式坑 3
 粘土貼土坑 2
 方形土坑 2
 墓坑 3
 馬埋葬坑 1
 埋納坑 1
 焼跡 1基

出土遺物 白磁皿、瀬戸小皿
 ・平碗・茶壺、常滑
 壺、内耳土鍋、銭貨

16号建物跡

位置 5F-31-10
 主軸 N-81°-W
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 4.70×3.60m
 柱穴総数 17
 柱穴深さ 0.2~0.3m
 建て替えがあり、17号建物
 跡と重なる

17号建物跡

位置 5F-31-9・10・14・15
 主軸 N-9°-E
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 8.40×4.20m
 柱穴総数 8
 柱穴深さ 0.4~0.5m

5号堀

位置 5F-21-20~5E-40-19
 延長 94m
 幅 2.8~5.3m
 深 2.0~2.3m

形態 溝堀
 遺物 青磁碗、瀬戸小皿・平碗、
 常滑壺、内耳土鍋、茶臼、
 五輪塔、宝篋印塔

1号堀より連続し、台地西側を走る

6号堀

位置 5F-31-5~5F-51-4
 延長 103.5m
 幅 2.0~4.0m
 深 1.7~2.5m

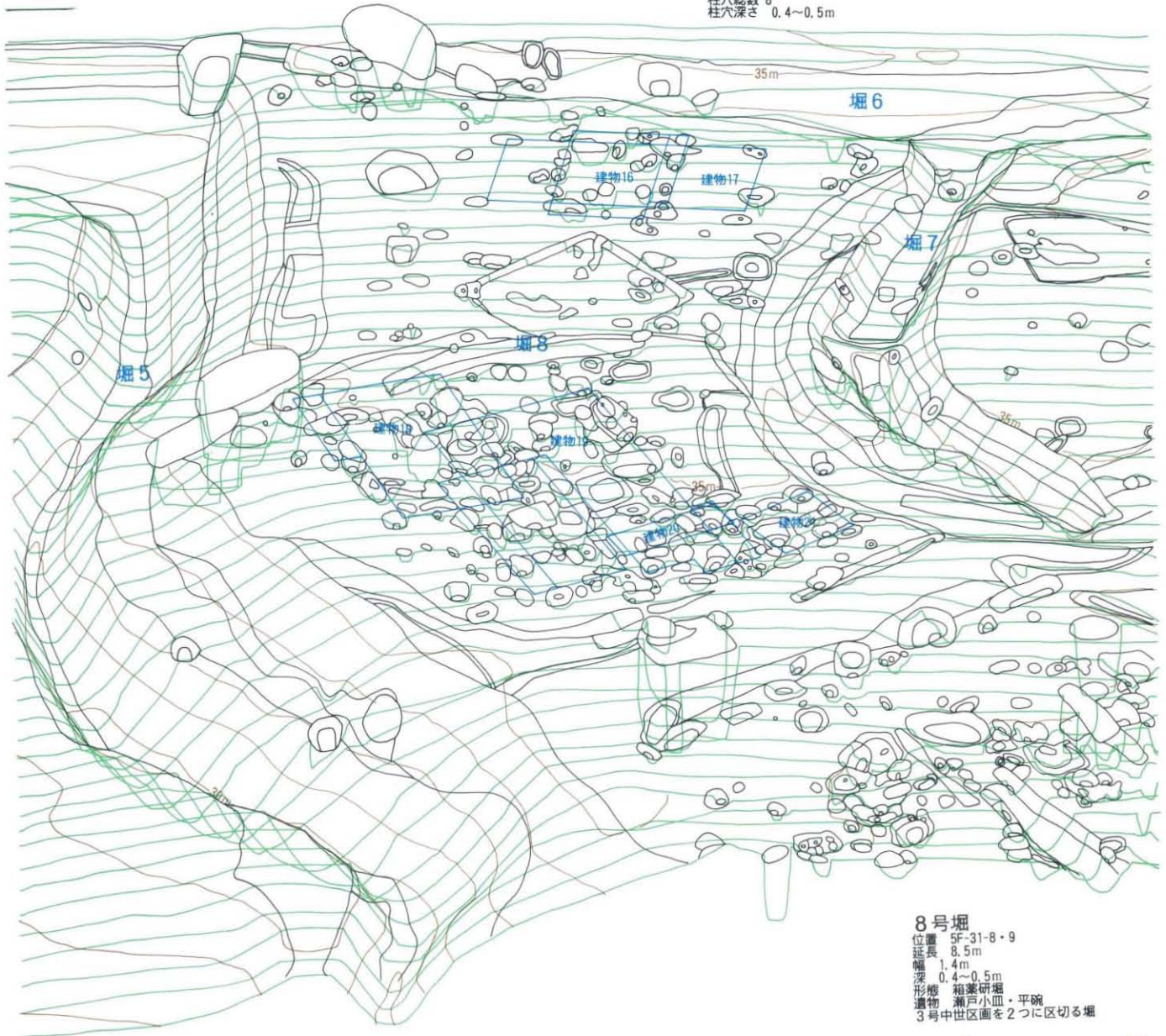
形態 溝堀
 遺物 白磁皿、瀬戸小皿・平碗・香炉・
 深皿・瓶子、常滑壺、内耳土鍋、
 茶釜、砥石、五輪塔、宝篋印塔
 途中屈曲部堀底には五角形の掘り込みが、
 また、くびれ部には仕切りがある

7号堀

位置 5F-31-15~5F-31-18
 延長 26.8m
 幅 2.3~4.0m
 深 1.0~1.8m

形態 箱堀
 遺物 青磁碗、瀬戸小皿・平碗・瓶子
 ・茶壺、内耳土鍋、
 銭貨

6号堀より分岐し、中央部に仕切りが
 ある。また堀の壁面に墓坑がある。

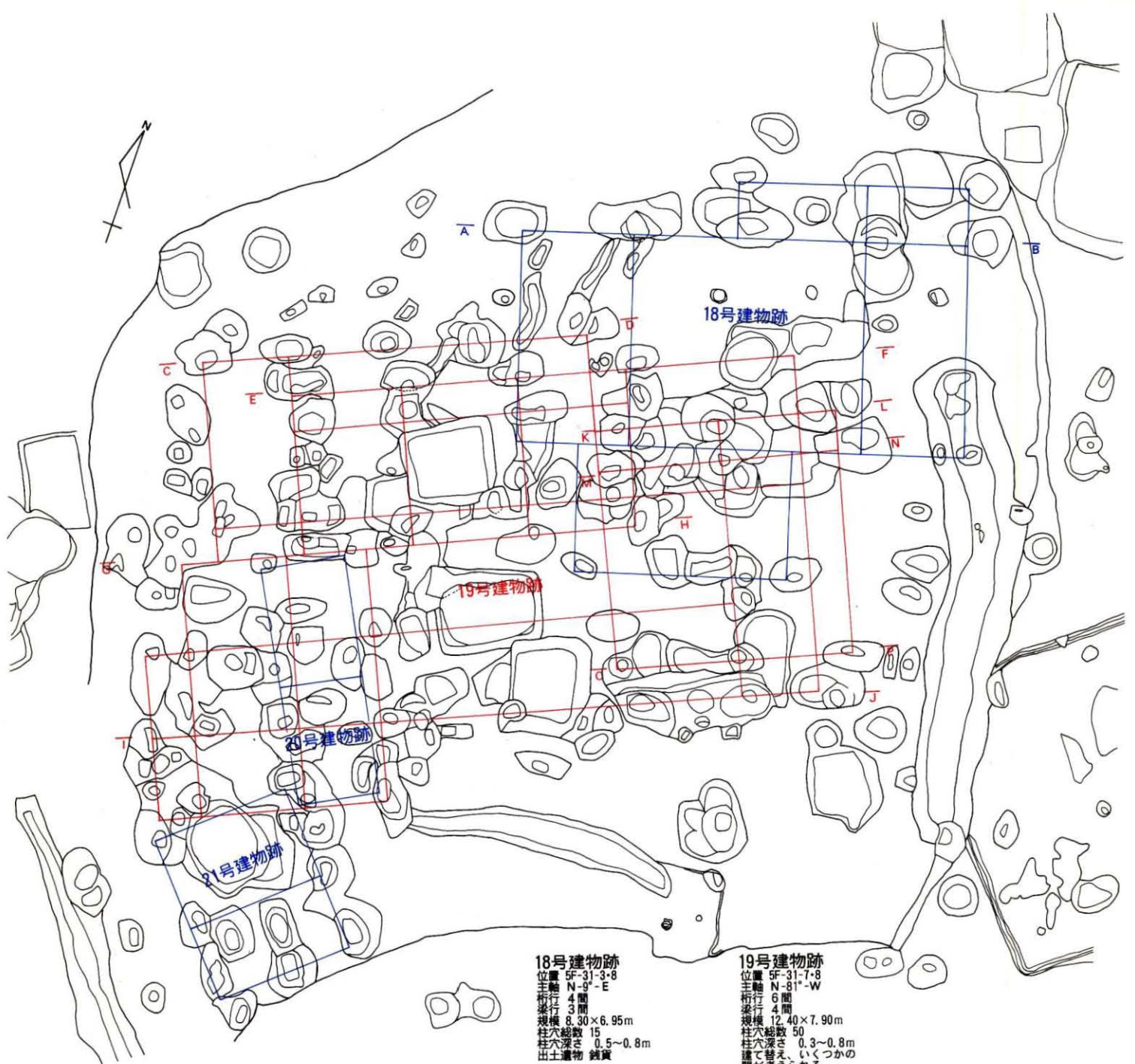


8号堀

位置 5F-31-8・9
 延長 8.5m
 幅 1.4m
 深 0.4~0.5m

形態 箱堀
 遺物 瀬戸小皿・平碗
 3号中世区画を2つに区切る堀

図166 4号中世区画鳥瞰図

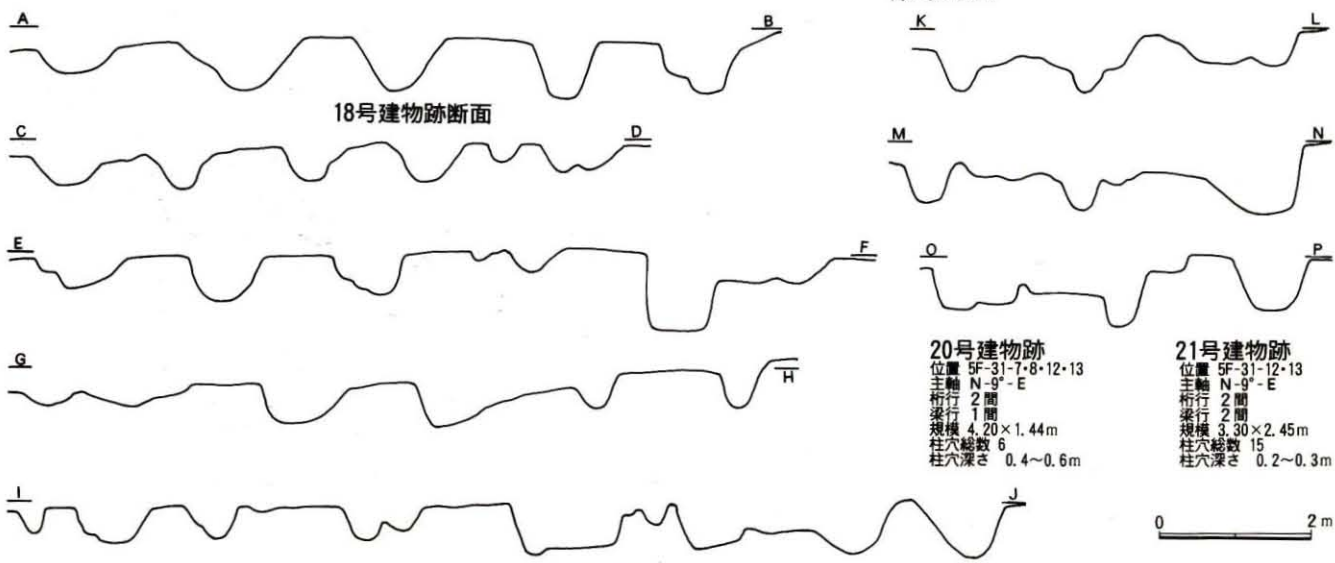


18号建物跡
 位置 5F-31-3-8
 主軸 N-9°-E
 桁行 4間
 梁行 3間
 規模 8.30×6.95m
 柱穴総数 15
 柱穴深さ 0.5~0.8m
 出土遺物 銭貨

19号建物跡
 位置 5F-31-7-8
 主軸 N-81°-W
 桁行 6間
 梁行 4間
 規模 12.40×7.90m
 柱穴総数 50
 柱穴深さ 0.3~0.8m
 建て替え、いくつかの間が考えられる

20号建物跡
 位置 5F-31-7-8-12-13
 主軸 N-9°-E
 桁行 2間
 梁行 1間
 規模 4.20×1.44m
 柱穴総数 6
 柱穴深さ 0.4~0.6m

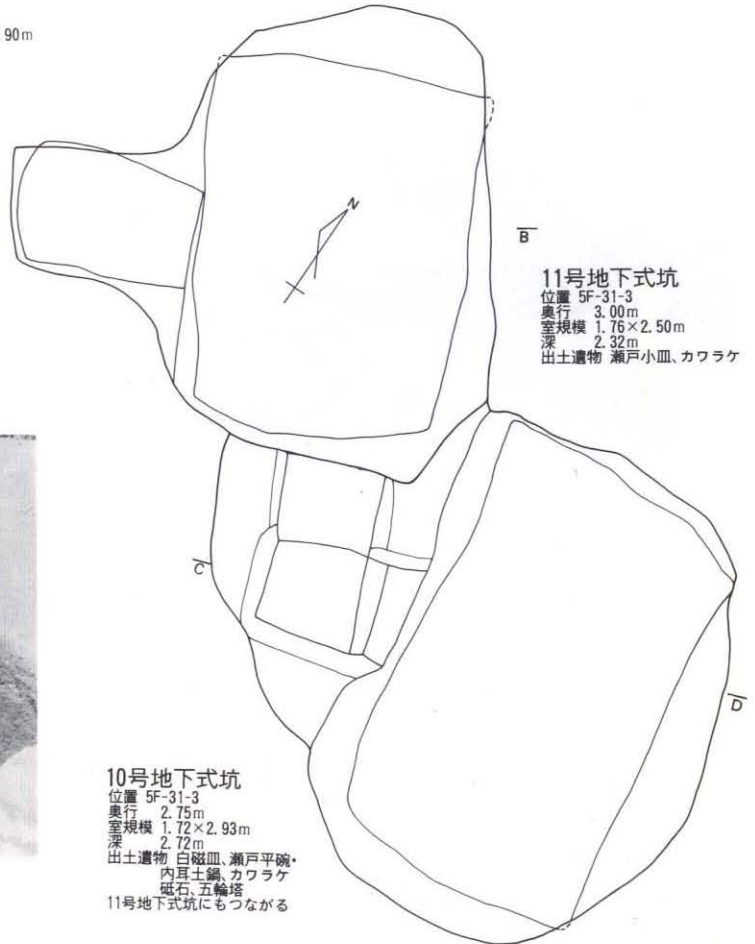
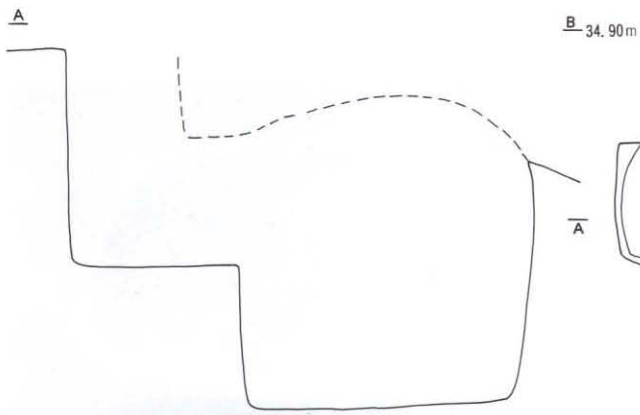
21号建物跡
 位置 5F-31-12-13
 主軸 N-9°-E
 桁行 2間
 梁行 2間
 規模 3.30×2.45m
 柱穴総数 15
 柱穴深さ 0.2~0.3m



18号建物跡断面

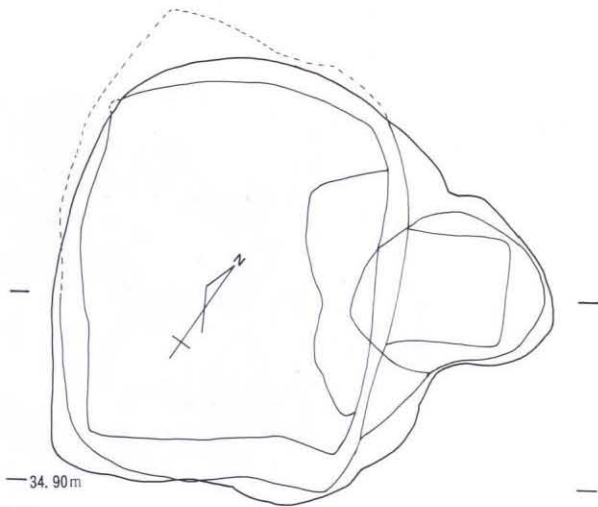
19号建物跡断面

図167 18~21号建物跡拡大図



11号地下式坑
 位置 5F-31-3
 奥行 3.00m
 室規模 1.76×2.50m
 深 2.32m
 出土遺物 瀬戸小皿、カワラケ

10号地下式坑
 位置 5F-31-3
 奥行 2.75m
 室規模 1.72×2.93m
 深 2.72m
 出土遺物 白磁皿、瀬戸平碗・
 内耳土鍋、カワラケ
 磁石、五輪塔
 11号地下式坑にもつながる



12号地下式坑
 位置 5F-31-7
 奥行 3.05m
 室規模 1.97×2.35m
 深 2.88m
 出土遺物 瀬戸深皿、内耳土鍋、
 貝殻



図168 10~12地下式坑拡大図

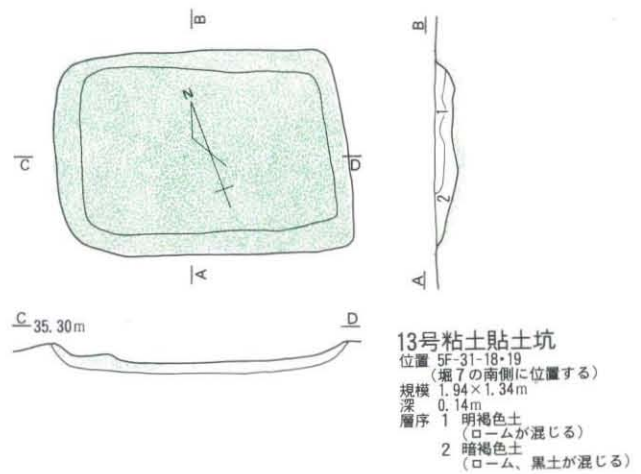
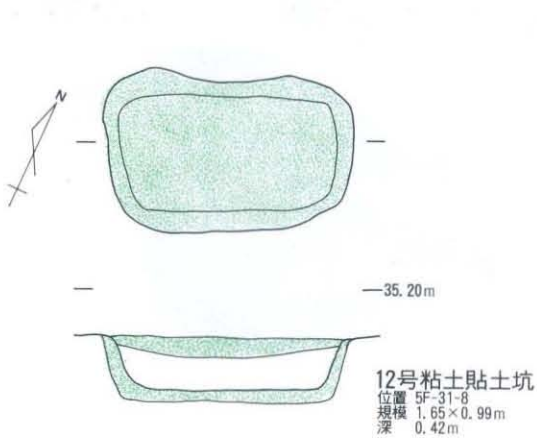
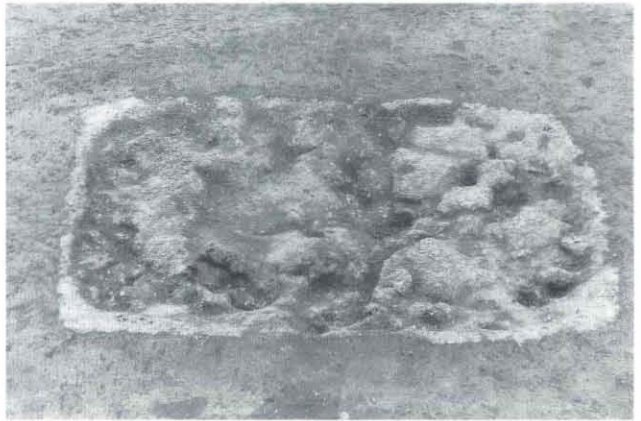
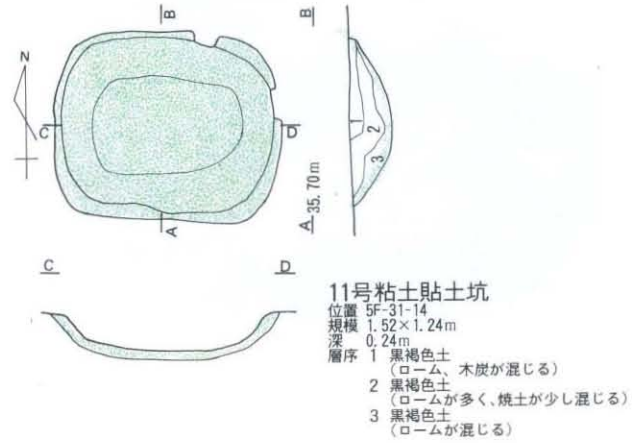
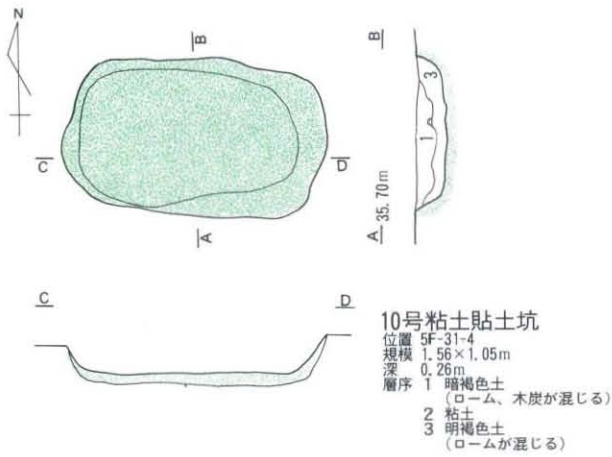
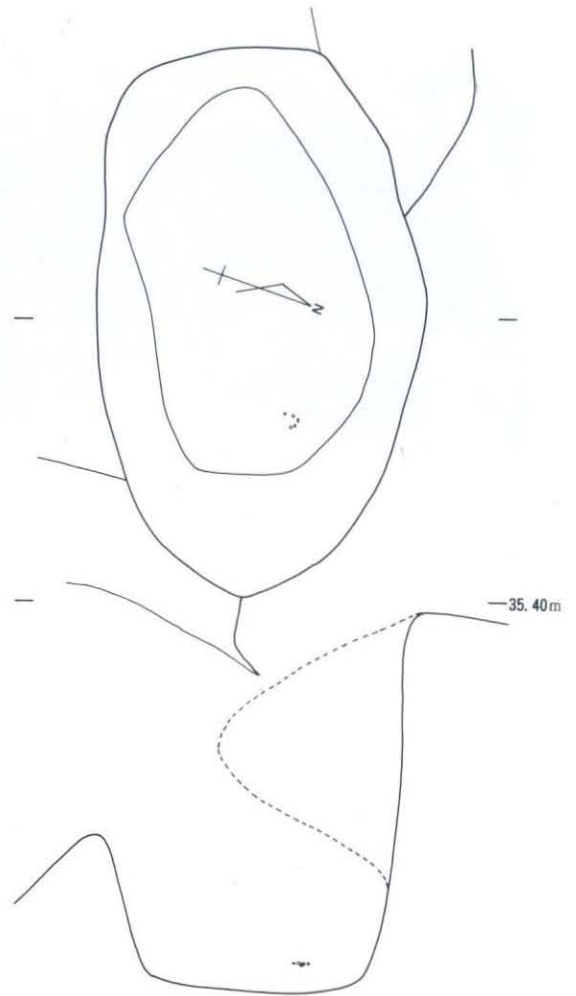


図169 10~13号粘土貼土坑拡大図

0 1m



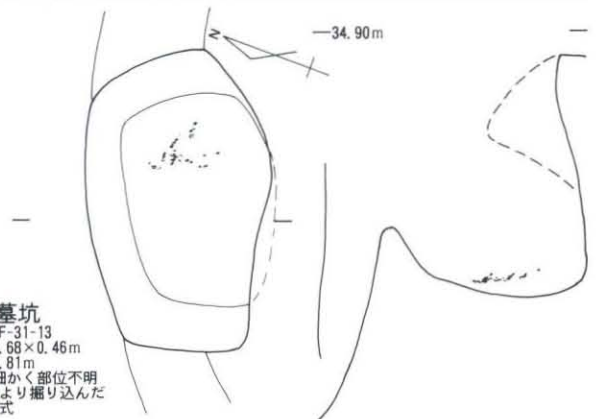
20号墓坑
 位置 5F-31-13
 規模 1.28×0.90m
 深 1.26m
 人骨 齒、東頭位
 7号地より掘り込んだ
 半地下式



21号墓坑
 位置 5F-31-14
 規模 0.41×0.38m
 深 1.15m
 7号地より掘り込んだ
 半地下式

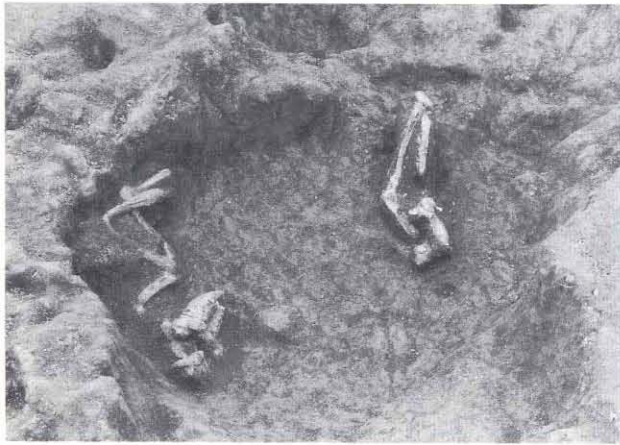


22号墓坑
 位置 5F-31-13
 規模 0.68×0.46m
 深 0.81m
 人骨 細かく部位不明
 7号地より掘り込んだ
 半地下式

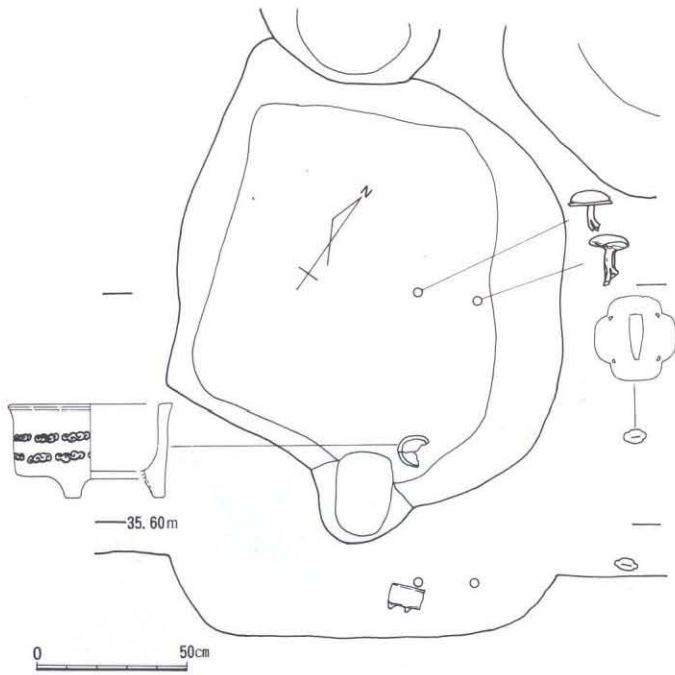
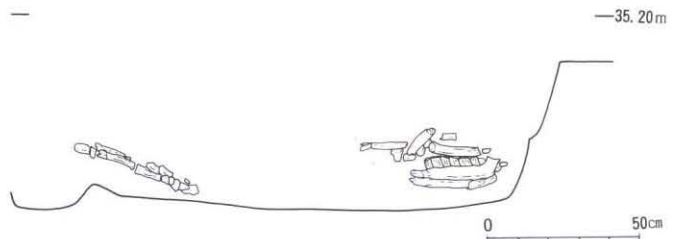
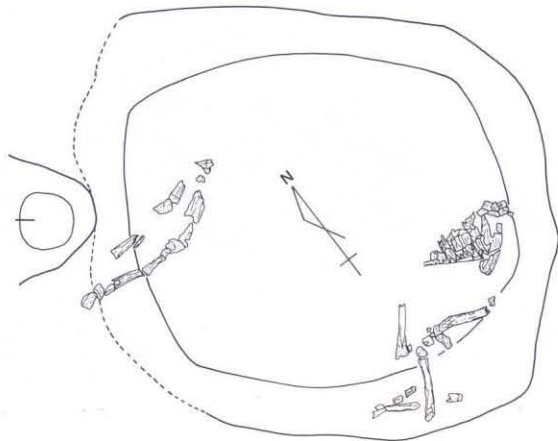


0 50cm

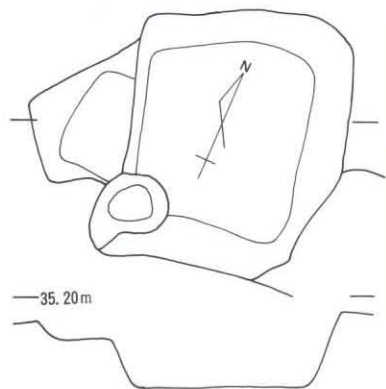
図170 20~22号墓坑



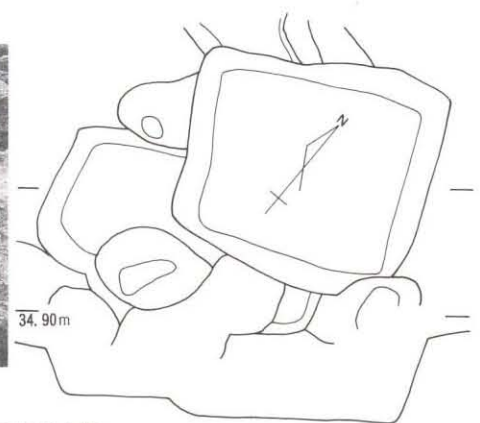
2号馬埋葬坑
 位置 5F-31-12
 規模 1.94×1.56m
 深 0.58m
 馬骨 頭部下顎、上下齒
 四肢骨



1号埋納坑
 位置 5F-31-8
 規模 1.54×1.27m
 深 0.17m
 出土遺物 瓦質香炉、鍍金具
 外部に大切羽



17号方形土坑
 位置 5F-31-8
 規模 2.05×1.73m
 深 0.48m

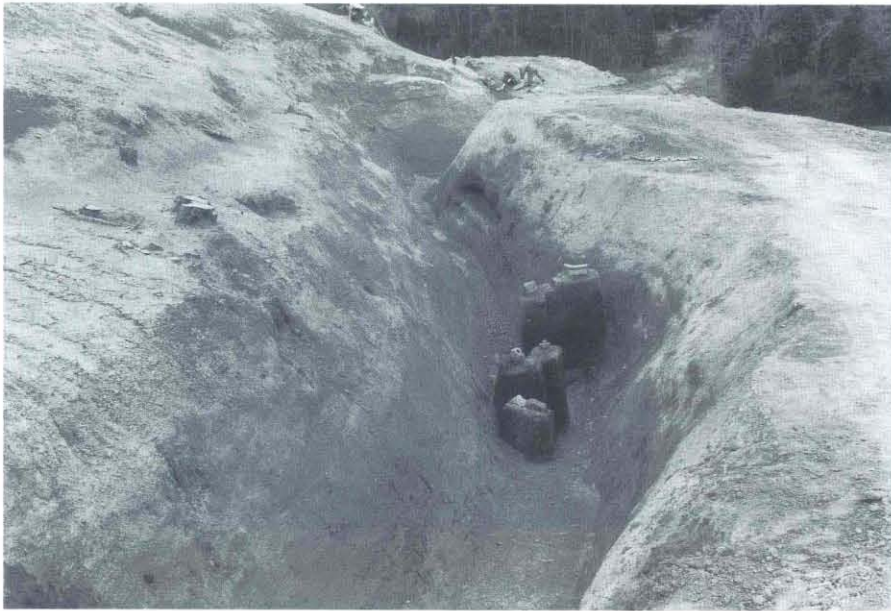


18号方形土坑
 位置 5F-31-7-8
 規模 1.78×1.57m
 深 0.72m

图171 2号馬埋葬坑、1号埋納坑、17・18号方形土坑拡大図



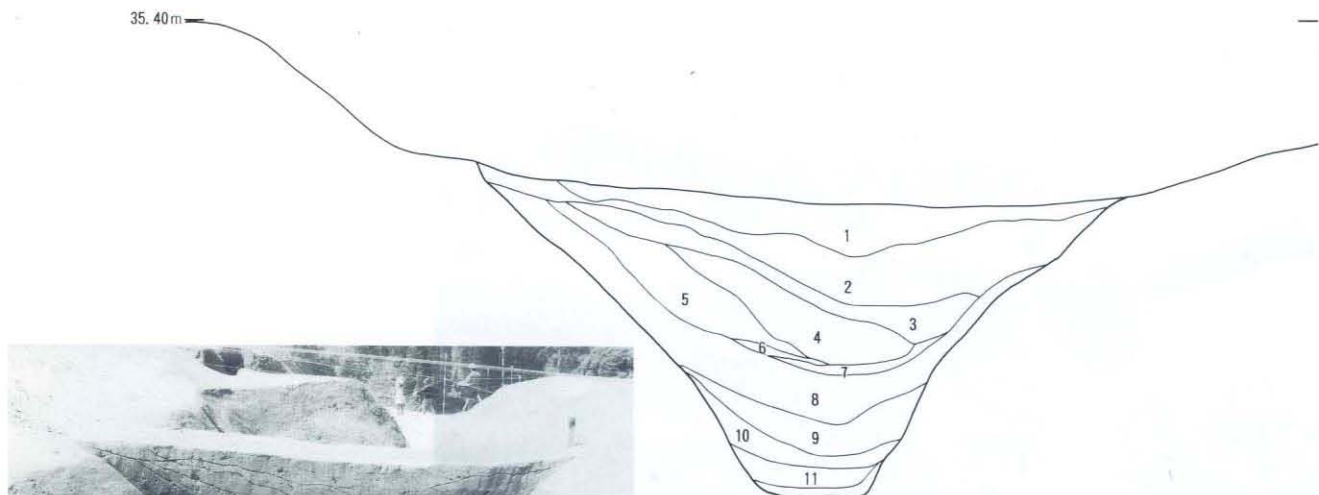
5号堀全景（北側上空から）



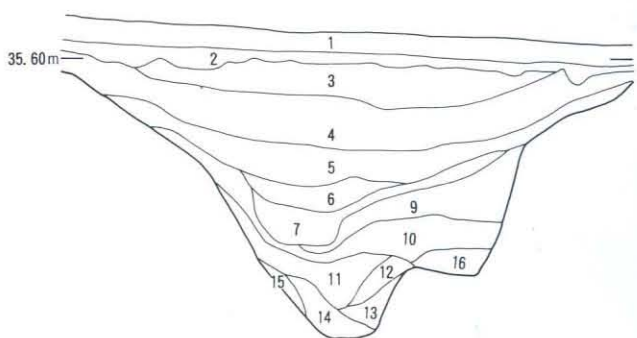
5号堀（5F-31-2付近東側から）



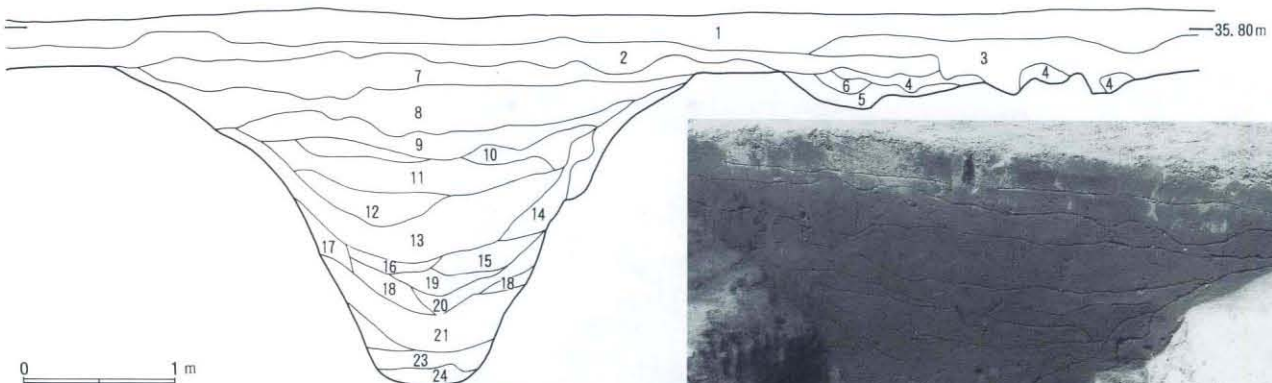
8号堀全景（北側から）



5号堀、覆土断面図5
 1~2 暗褐色土層群 (ロームが少し混じる)
 3・11 黒色土
 4 褐色土 (ローム小~大粒が多く混じる)
 5~10 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じり、少し締まる)
 12 暗褐色土 (粘土が混じり、締まる)

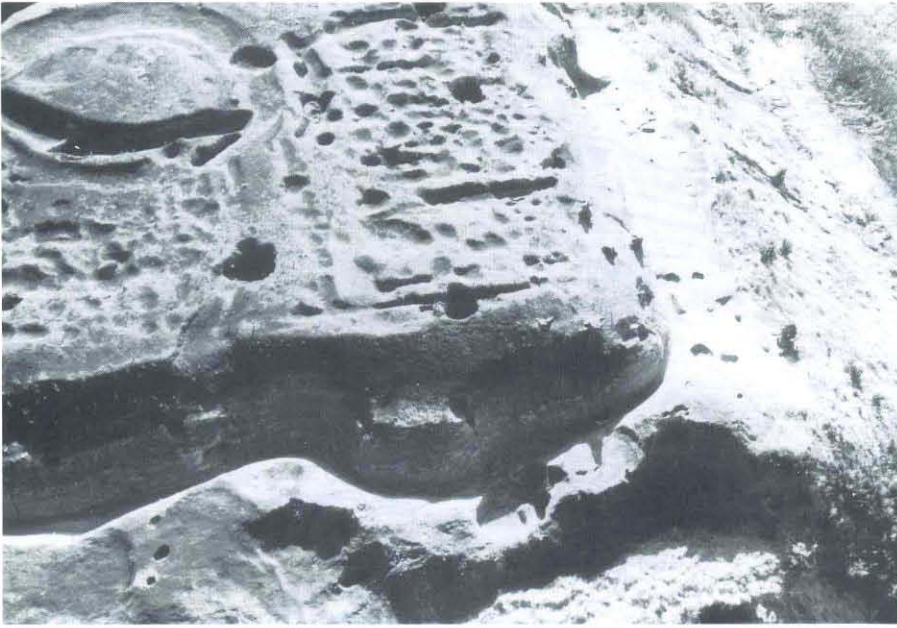


6号堀、覆土断面図6
 1~2 表土 (新旧耕作土)
 3~6 暗褐色土層群 (ローム、砂、粘土が混じる)
 7 明褐色土 (ロームが主となる)
 8~11・13・15~16 暗褐色土層群 (ロームが多く混じる)

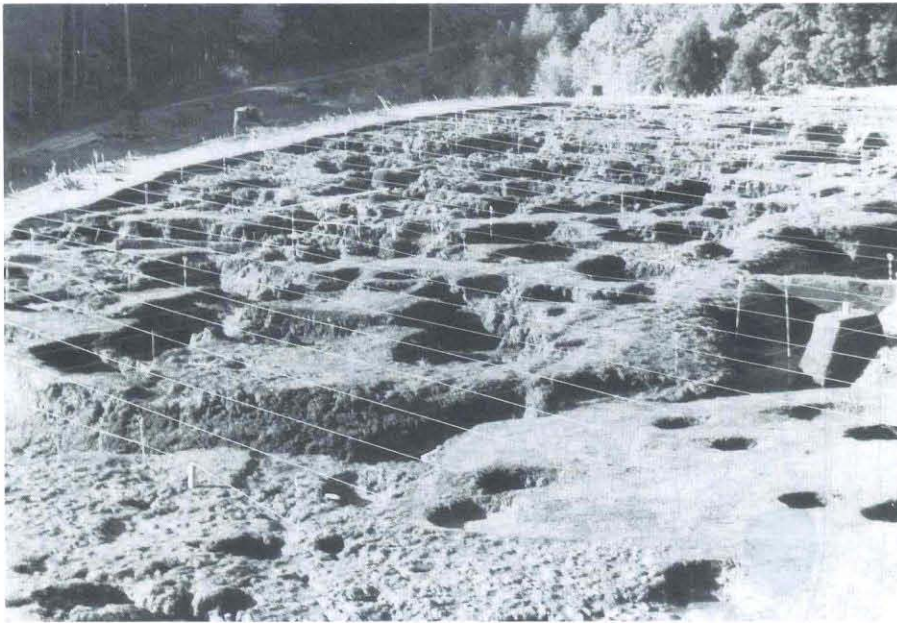


7号堀、覆土断面図7
 1 表土 (耕作土)
 2・3・6 黒褐色土層群 (ローム、焼土が混じる)
 4 明褐色土 5 暗褐色土
 4~6 1号墳周溝覆土
 7・9・13~16・17・20・24 明褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 8・10~11・16・18~19・22~23 暗褐色土層群 (ローム、砂、木炭が混じる)

図172 5~7号堀、覆土断面図5~7



西先端部と5号中世区画
(上空から)



5号中世区画 (東側から)



22~23号建物跡 (上空から)



图173 5号中世区画平面图

5号中世区画外郭
5号堀西側遺構 馬埋葬坑 1

見張台
位置 5E-40-14
規模 東西3.5m 南北8.2m
面積 27.5㎡
標高 29.7~30.1m
5号区画1号階段から板橋を渡して
入ったと考える。穴が2基ある

腰曲輪
位置 5E-40-19~50-5
規模 東西30.5m 南北6.8m
面積 154㎡
標高 25.5~27.3m
出土遺物 銭貨

5号中世区画

位置 5E-40-10~25
5F-31-6~22
規模 東西33.5m 南北21.2m
面積 575㎡
標高 33.5~34.3m
境界 5・10号堀 北側は段状部
南側は急傾斜面
本区画に小規模な9号堀があり、
区画を2分する

区画内遺構 建物跡 3棟
地下式坑 3基
粘土貼土坑 3基
焼跡 2基

出土遺物 青磁碗、瀬戸小皿
・香炉・深皿、常滑
壺、内耳土鍋、カワ
ラケ、銭貨

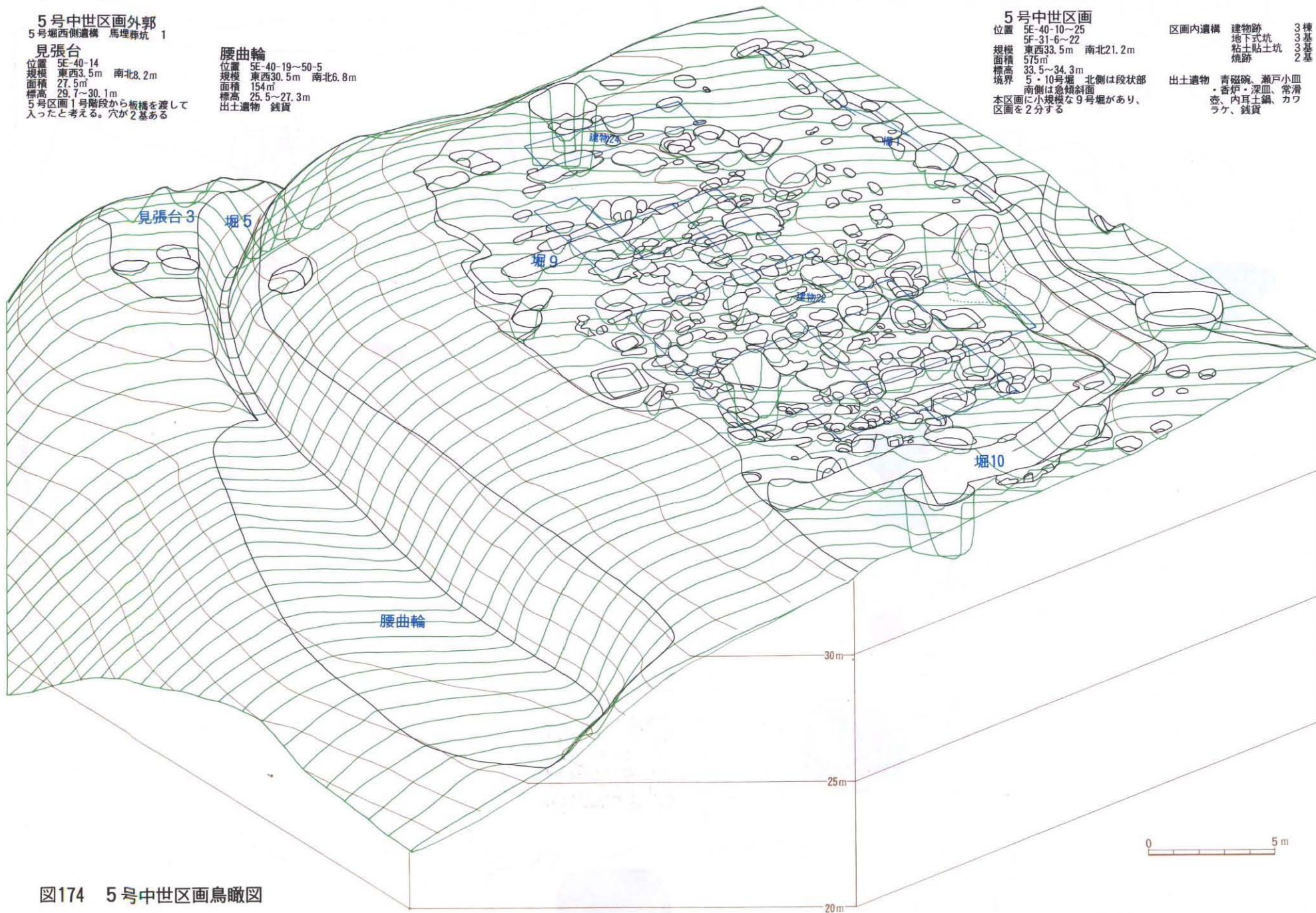


図174 5号中世区画鳥瞰図

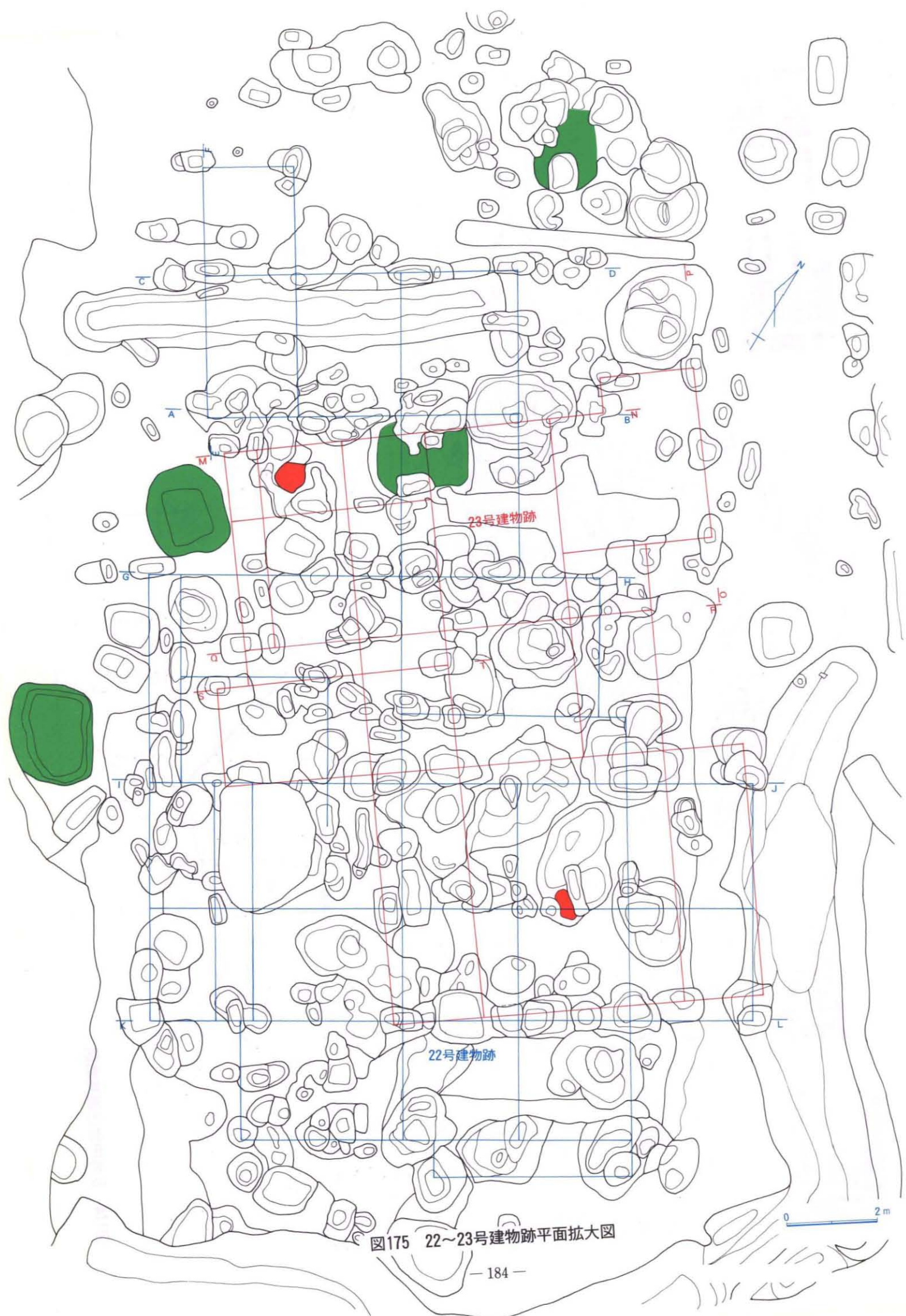
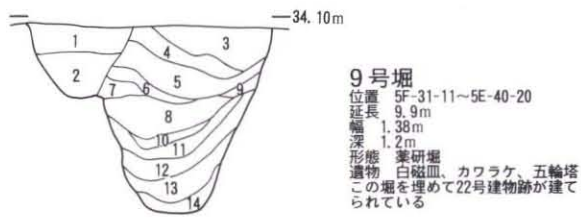
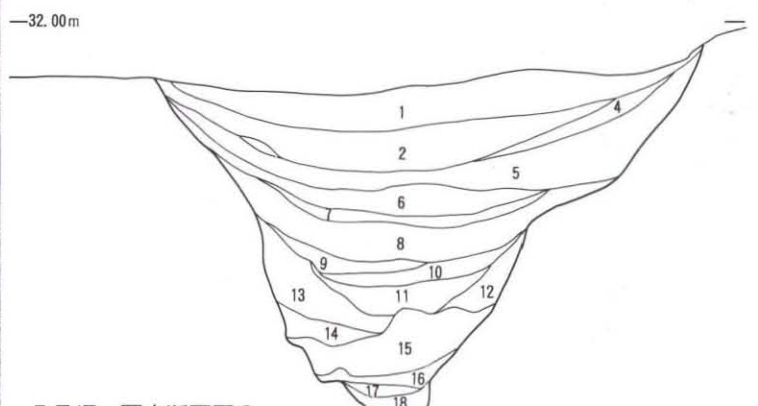
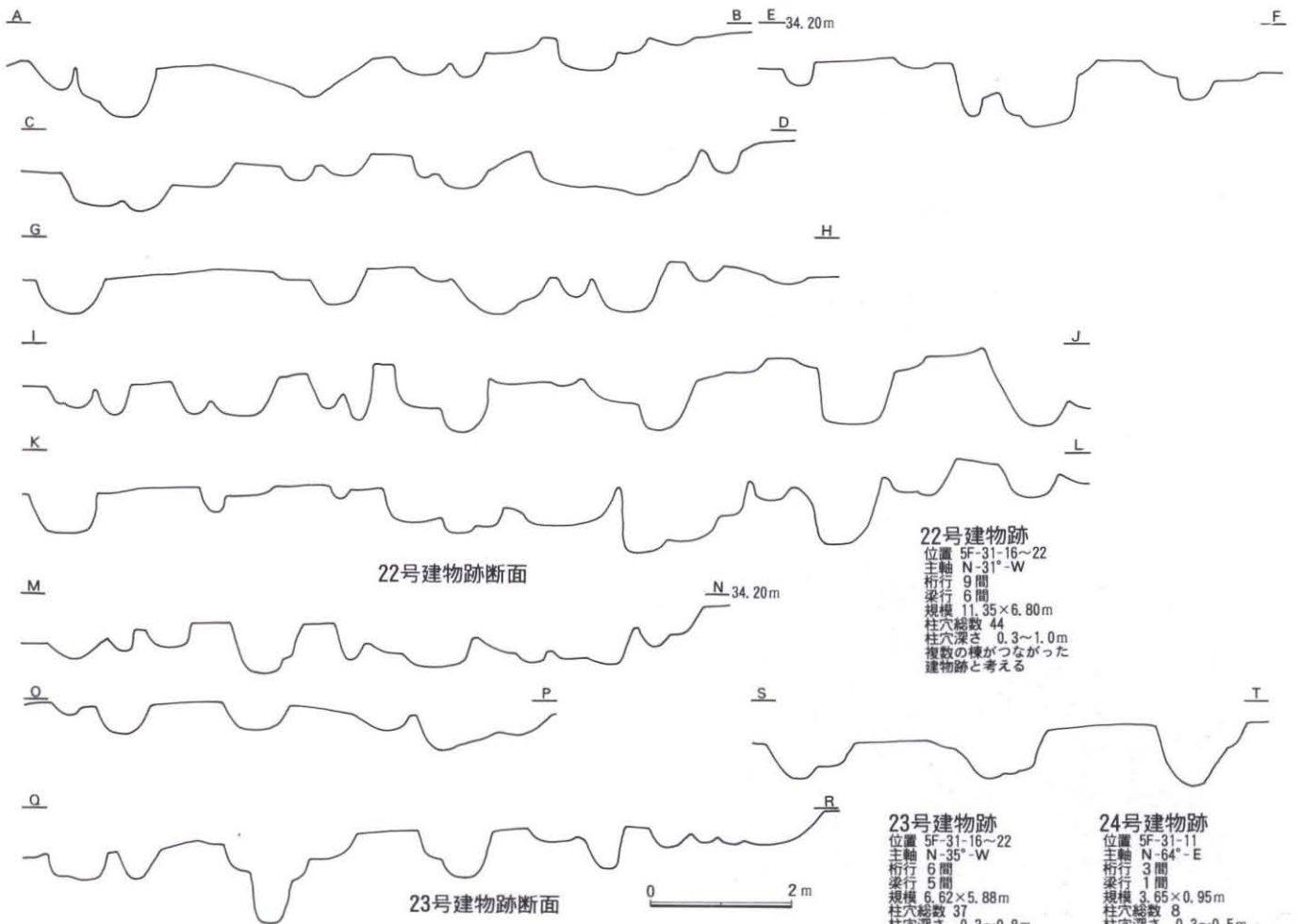
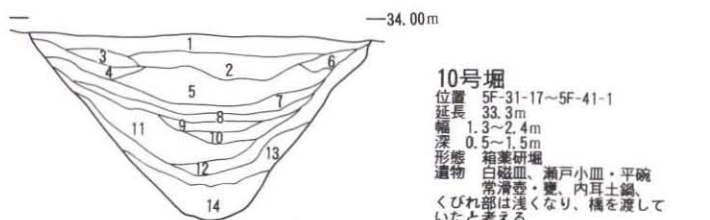


图175 22~23号建物跡平面扩大图



9号堀、覆土断面図9
 3・5・7 暗褐色土層群 (ロームが少し混じる)
 4・8・9・11~13 茶褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 6・10・14 褐色土層群 (ロームが主となる)

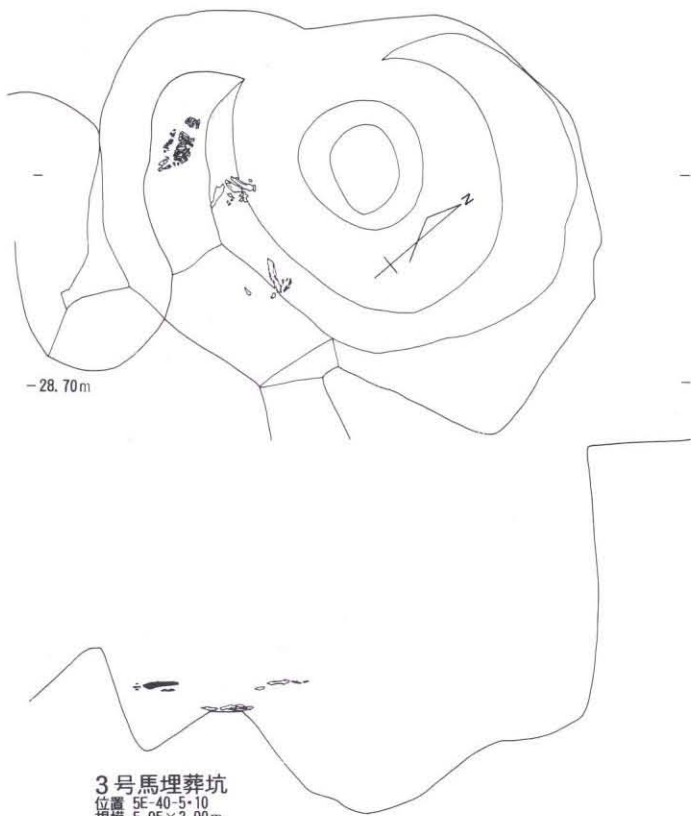
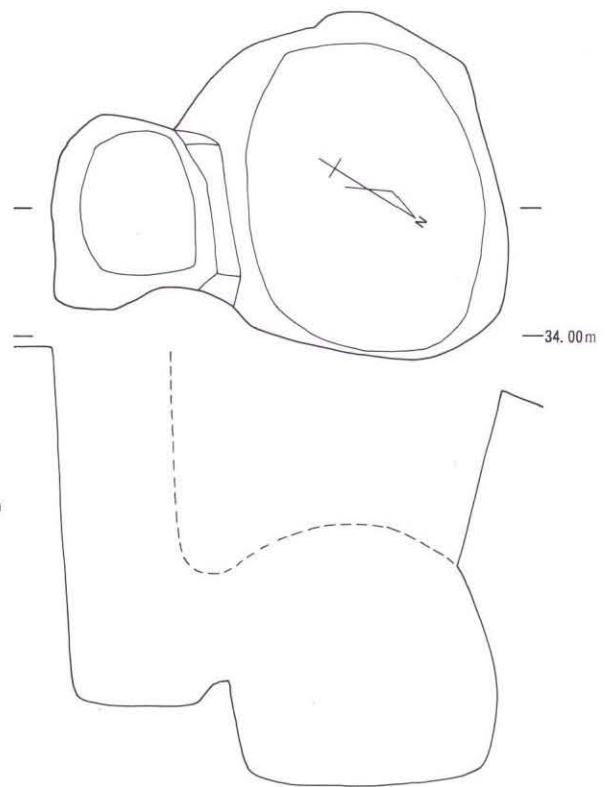


10号堀、覆土断面図10
 1~10・12 暗褐色土層群 (ローム・砂・黒土が混じる)
 11・13・14 褐色土層群 (ロームが主となる)

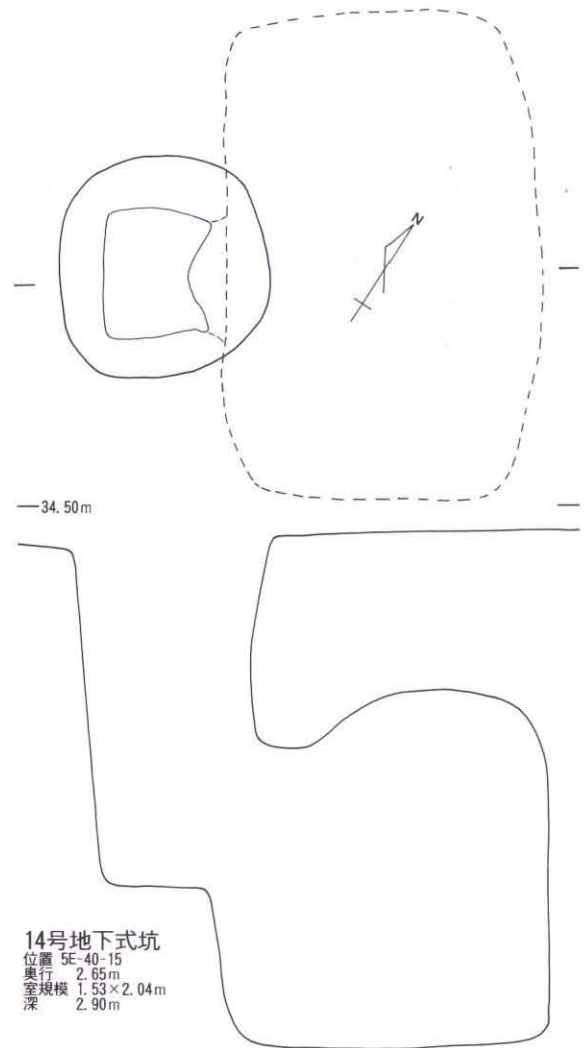
図176 22~23号建物跡断面図、5・9・10号堀断面図



13号地下式坑
 位置 5F-31-17
 奥行 2.35m
 室規模 2.10×3.20m
 深 2.50m
 出土遺物 瀬戸瓶子



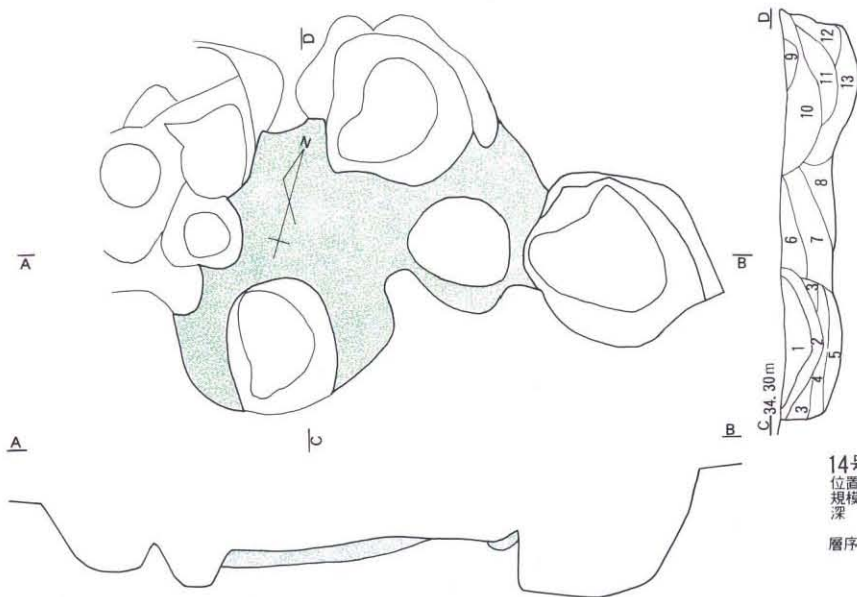
3号馬埋葬坑
 位置 5E-40-5-10
 規模 5.95×3.90m
 深 1.75m
 馬骨 齒、前肢一部



14号地下式坑
 位置 5E-40-15
 奥行 2.65m
 室規模 1.53×2.04m
 深 2.90m

図177 10~12地下式坑、3号馬埋葬坑拡大図

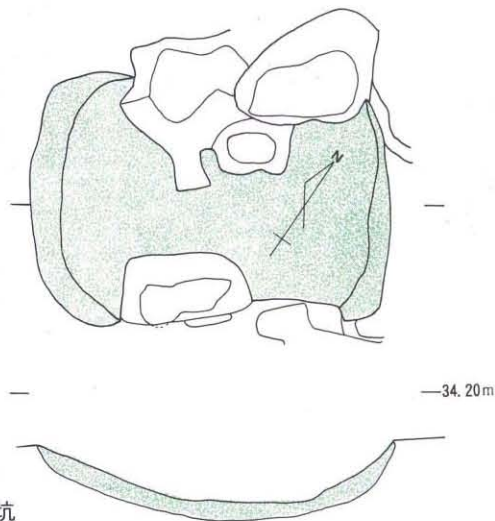




14号粘土貼土坑

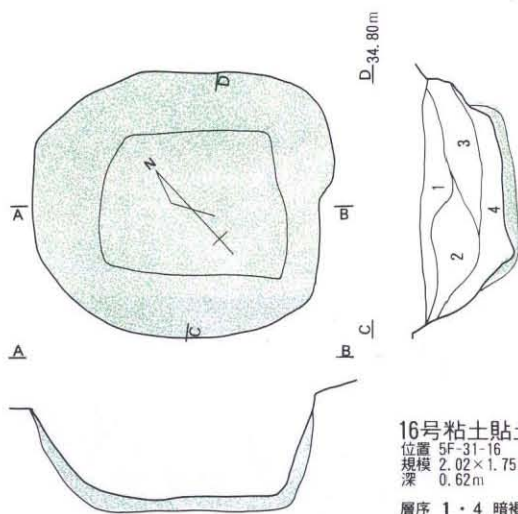
位置 5F-31-11
規模 2.60×1.80m
深 0.40m

- 層序 1 暗褐色土 (ロームが多く混じる)
2 " (ローム、粘土が混じる)
3 " (ローム中～大粒が多く混じる)



15号粘土貼土坑

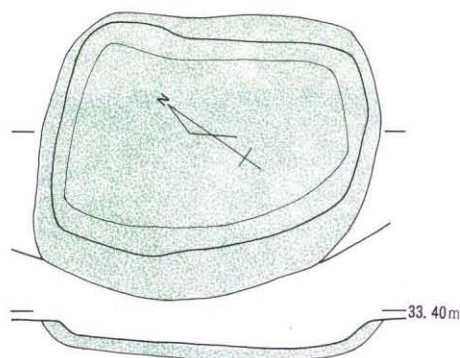
位置 5F-31-16
規模 2.69×2.37m
深 0.40m



16号粘土貼土坑

位置 5F-31-16
規模 2.02×1.75m
深 0.62m

- 層序 1・4 暗褐色土 (ローム小～中粒が混じる)
2 " (ローム小～大粒が多く混じる)
3 褐色土 (ローム小粒が混じる)

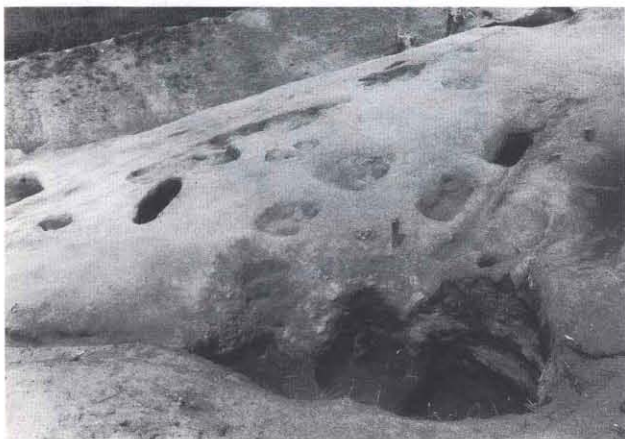


13号粘土貼土坑

位置 5F-31-21
規模 2.24×1.87m
深 0.16m



図178 14～17号粘土貼土坑拡大図



外郭小区画



出土した炭化米

図179 6号中世区画平面図

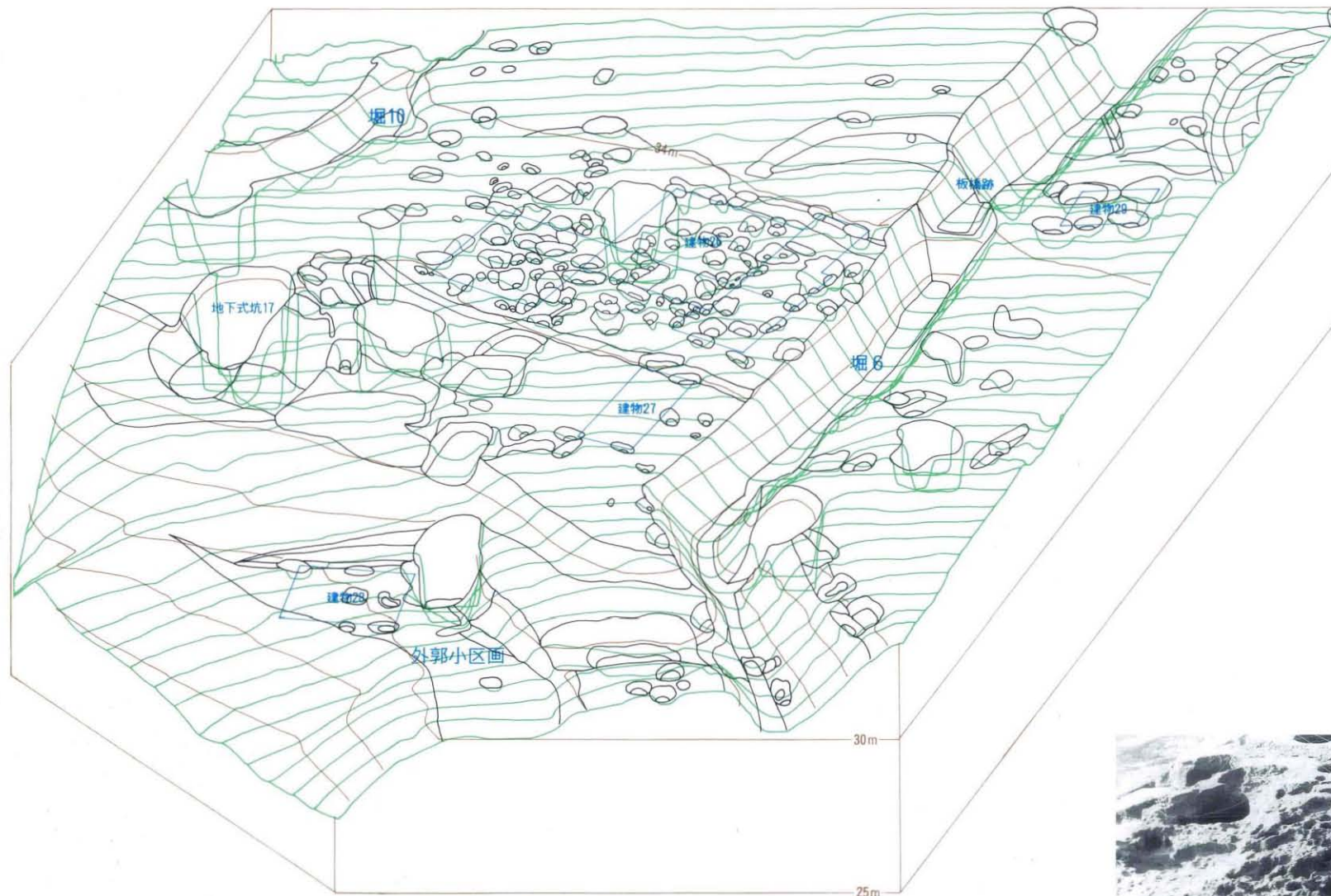


図180 6号中世区画鳥瞰図

6号中世区画

位置 5F-31-23
5F-41-1~12
規模 東西27.5m 南北24.5m
面積 370㎡ (小区画40㎡)
標高 32.5~34.1m (小区画30.0m)
境界 6・10号堀 北側は段状部
南側は急傾斜面

本区画南側斜面下に小規模な区画があり、
外郭小区画をも含む

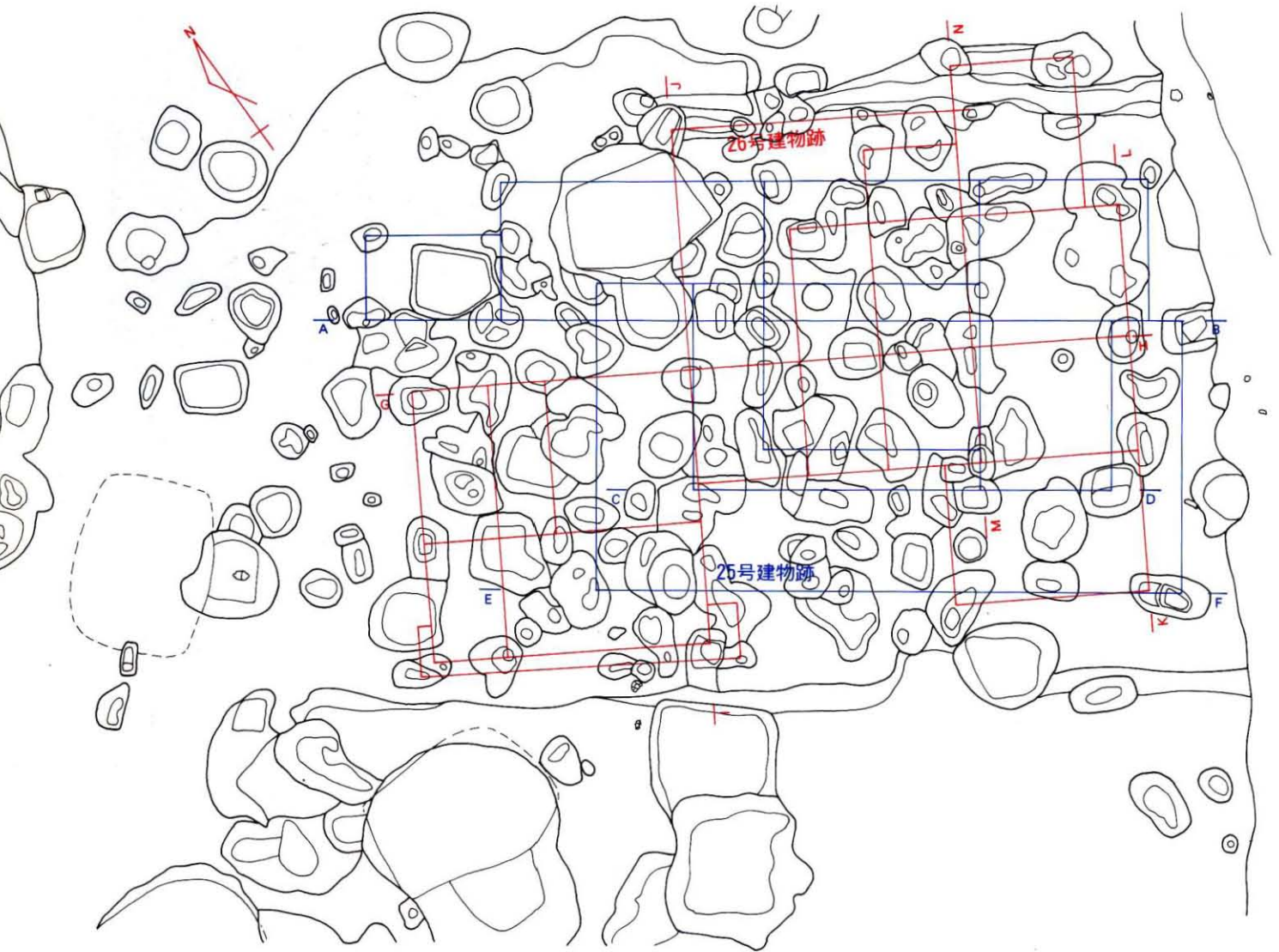
区画内遺構

建物跡 4棟
地下式坑 6基
粘土貼土坑 1基
方形坑 2基
焼跡 2基
鍛冶炉 1基

出土遺物 白磁皿、瀬戸小皿
・深皿、内耳土鍋、
カワラケ、香炉、錢
貨、炭化米

6号中世区画
(東側から)

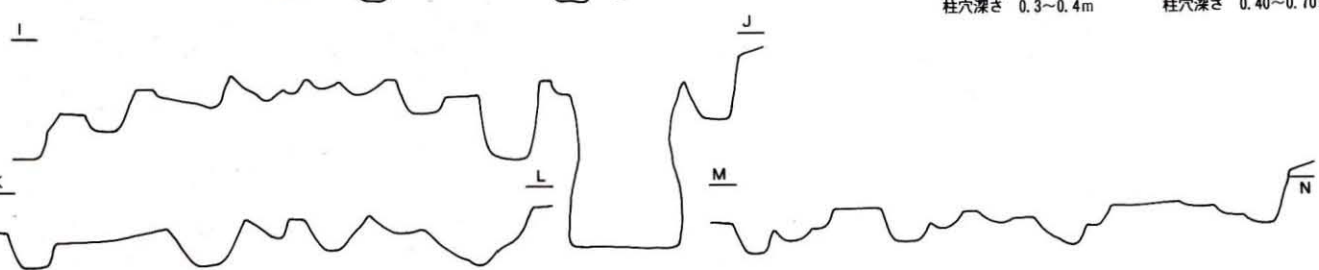
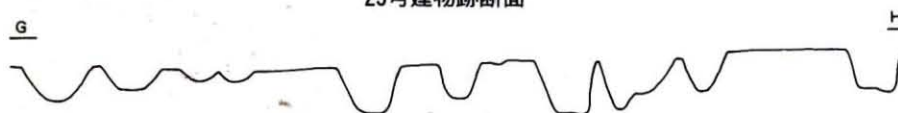




B 34.00m



25号建物跡断面



26号建物跡断面

25号建物跡
 位置 5F-41-3~4
 主軸 N-53°-W
 桁行 6間
 梁行 3間
 規模 12.50×7.55m
 柱穴総数 31
 柱穴深さ 0.25~0.70m
 複数の棟が重なった建物跡と考える

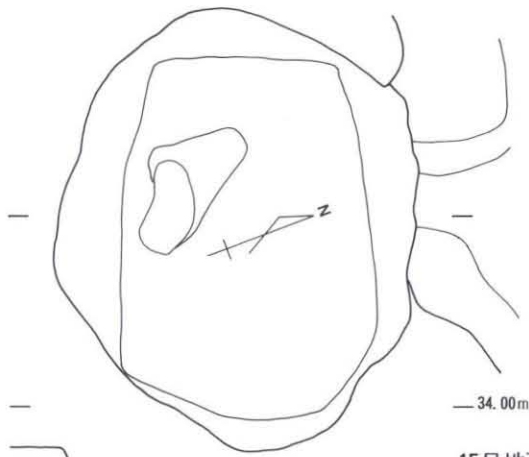
26号建物跡
 位置 5F-41-3~4
 主軸 N-60°-W
 桁行 7間
 梁行 5間
 規模 11.10×9.00m
 柱穴総数 28
 柱穴深さ 0.4~1.1m
 25号建物跡と重なる

27号建物跡
 位置 5F-41-8
 主軸 N-25°-E
 桁行 2間
 梁行 1間
 規模 4.40×2.60m
 柱穴総数 4
 柱穴深さ 0.3~0.4m

28号建物跡
 位置 5F-41-7・12
 主軸 N-65°-W
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 3.40×2.90m
 柱穴総数 6
 柱穴深さ 0.40~0.70m

図181 25~26号建物跡拡大図

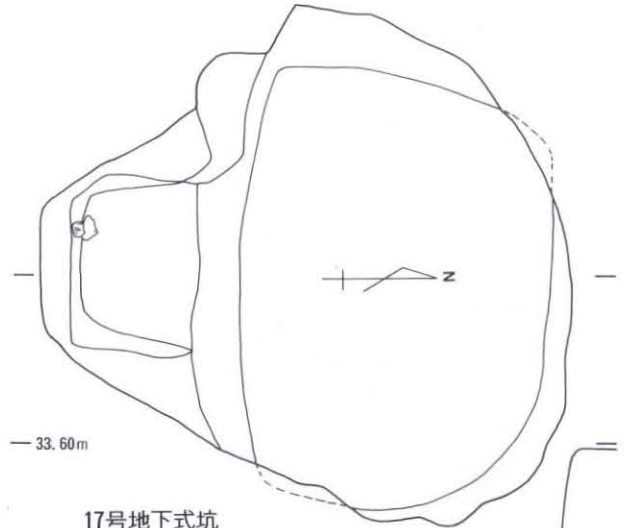
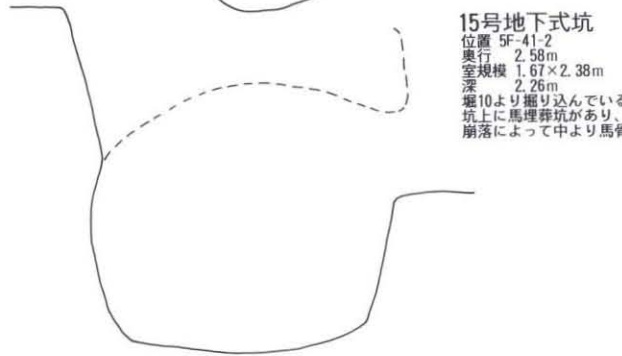
0 2m



— 34.00m

15号地下式坑

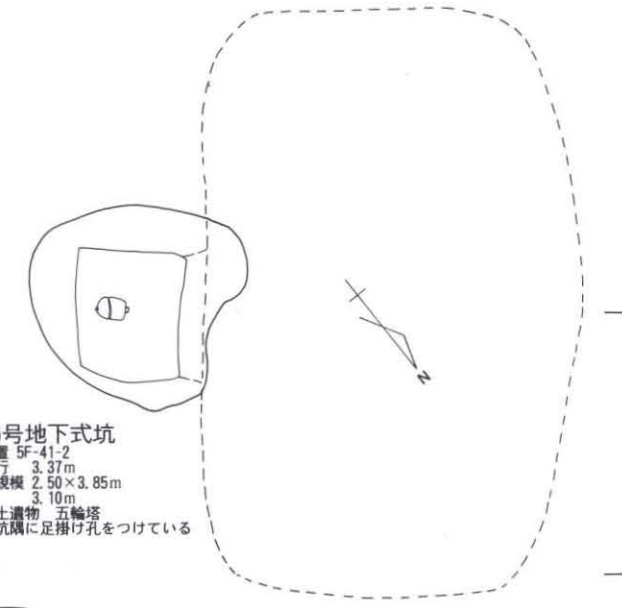
位置 5F-41-2
 奥行 2.58m
 室規模 1.67×2.38m
 深 2.26m
 堀10より掘り込んでいる
 坑上に馬埋葬坑があり、
 崩落によって中より馬骨出土



— 33.60m

17号地下式坑

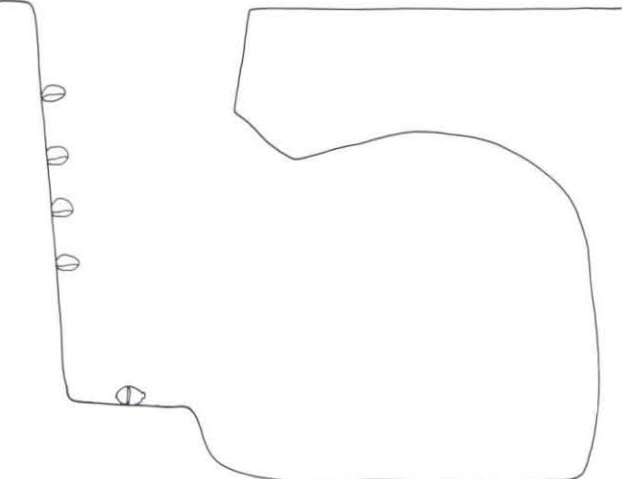
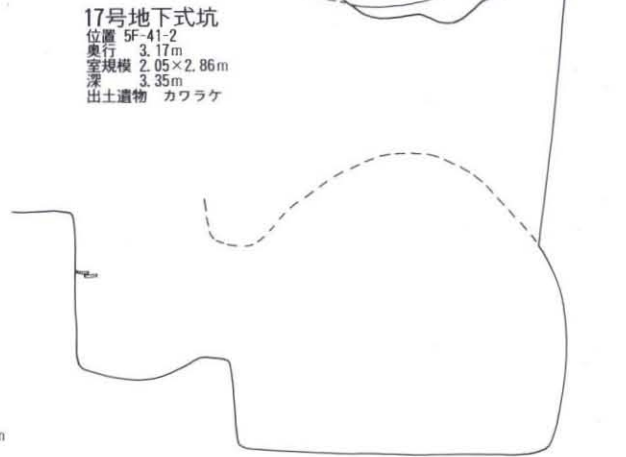
位置 5F-41-2
 奥行 3.17m
 室規模 2.05×2.86m
 深 3.35m
 出土遺物 カワラケ



— 33.90m

16号地下式坑

位置 5F-41-2
 奥行 3.37m
 室規模 2.50×3.85m
 深 3.10m
 出土遺物 五輪塔
 壁坑隅に足掛け孔をつけている



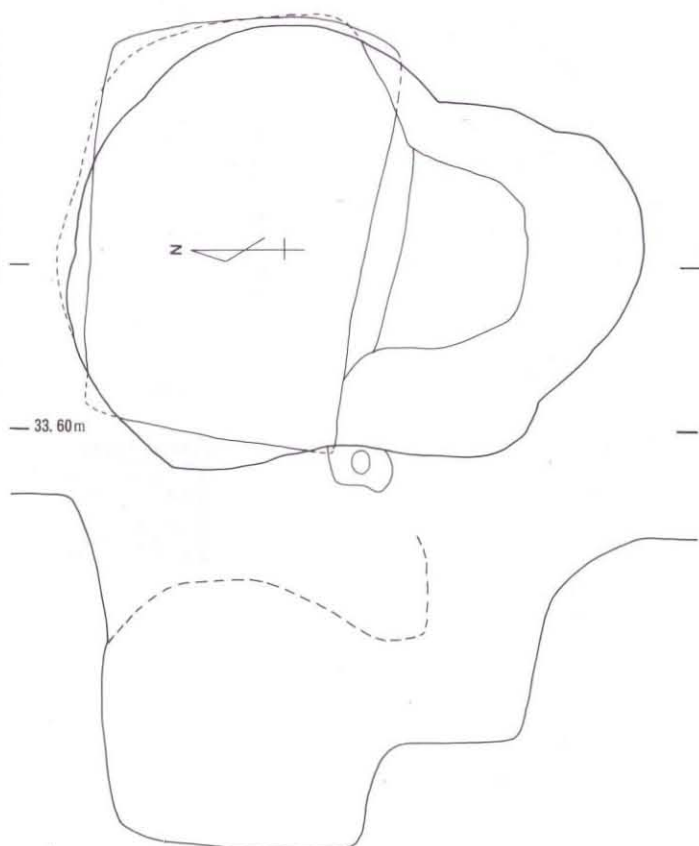
0 1 m



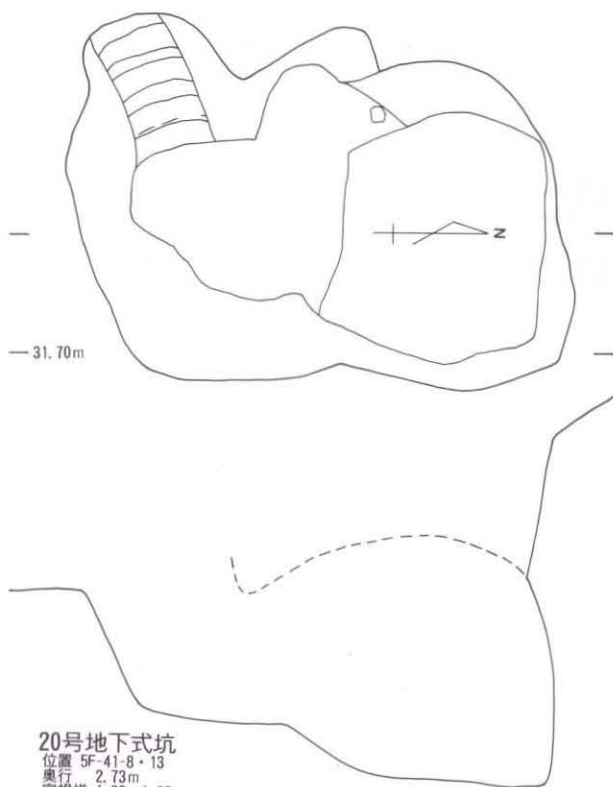
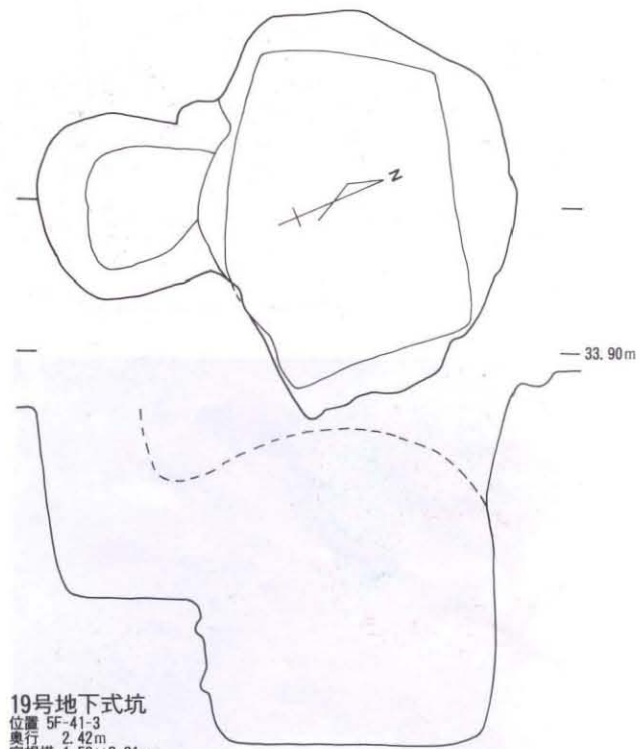
図182 15~17地下式坑拡大図



18号地下式坑
 位置 5F-41-2~3
 奥行 2.90m
 室規模 1.80×2.81m
 深 2.33m
 出土遺物 内耳土鍋、カワ
 ラケ



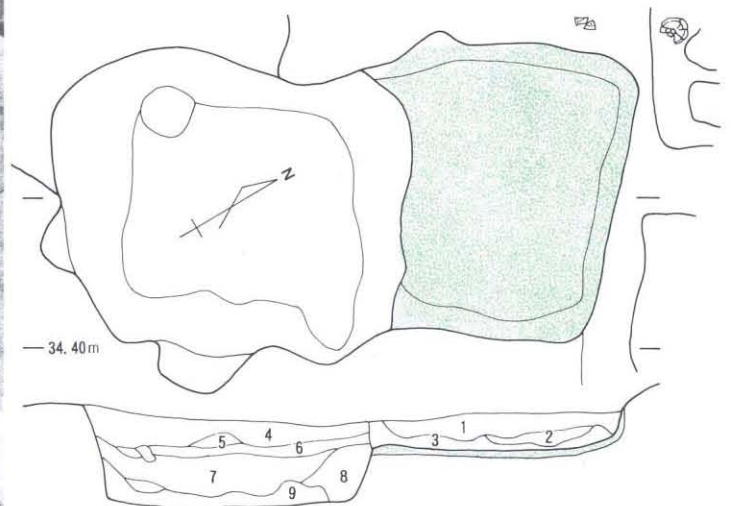
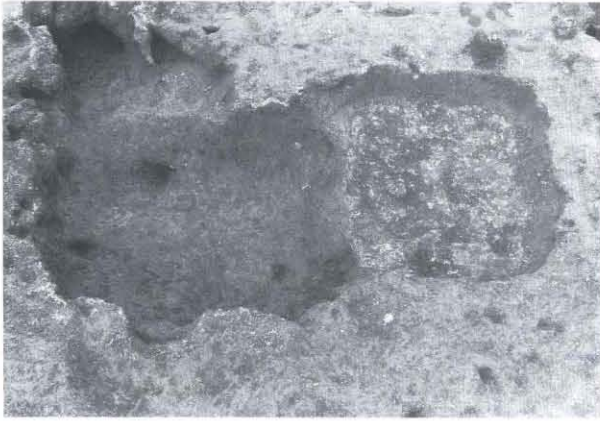
19号地下式坑
 位置 5F-41-3
 奥行 2.42m
 室規模 1.52×2.21m
 深 2.45m
 室入り口に足掛け孔がある
 壁坑上部に銭貨出土



20号地下式坑
 位置 5F-41-8・13
 奥行 2.73m
 室規模 1.33×1.65m
 深 1.25m
 出土遺物 五輪塔
 斜面途中の小区画から掘り込み、
 壁坑へは階段になっている

0 1 m

図183 18~20地下式坑拡大図



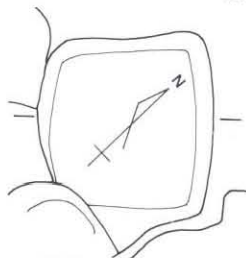
19号方形坑

位置 5F-41-8
規模 2.25×2.00m
深 0.65m
18号粘土貼土坑を切って、掘っている

18号粘土貼土坑

位置 5F-41-3・8
規模 1.68×1.95m
深 0.30m

- 層序
- 1 暗褐色土 (ロームが少し混じる)
 - 2 " (ロームが多く混じる)
 - 3 " (ローム、粘土が混じる)
 - 4・7・9 暗褐色土 (ローム小〜中粒が混じる)
 - 5 褐色土 (ローム大粒が混じる)
 - 6 褐色土 (ローム、粘土が混じる)
 - 8 " (ロームが多く混じる)



20号方形土坑

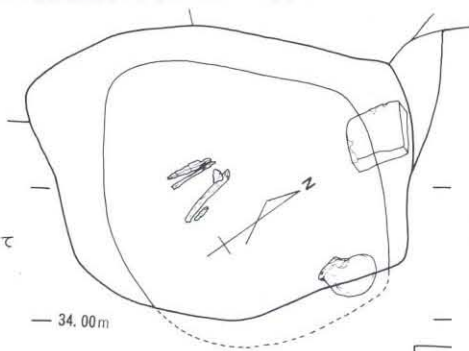
位置 5F-41-3
規模 1.16×1.23m
深 0.53m

- 層序
- 1 褐色土 (ロームが多く混じる)
 - 2 黒褐色土 (ロームが混じる)
 - 3 暗褐色土 (ロームが多く混じる)
 - 4 " (ロームが混じる)



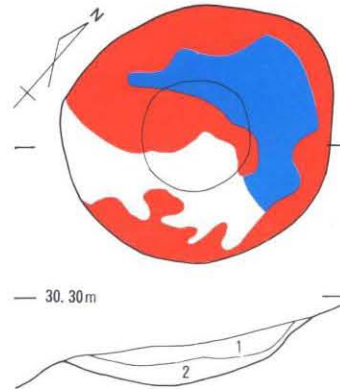
23号墓坑

位置 5F-31-23
規模 1.16×0.96m
深 0.67m
堀10の横にある
人骨 頭骨、下顎、下肢骨
下肢骨は骨太、面は残っていない。東頭位
上部に五輪塔出土



24号墓坑

位置 5F-41-9
規模 0.87×0.90m
深 0.52m
人骨 粉状になり部位不明



鍛冶炉

位置 5F-41-13
規模 0.85×0.90m
深 0.13m
砂層地山に浅い碗状に掘り、周縁部は赤く焼け、中央部は青く還元状態になっている鉄滓。鍛造薄片が出土しなかったため、必ずしも鍛冶炉かどうか不明

- 層序
- 1 暗褐色土 (砂・木炭が混じる)
 - 2 黒色土 (ローム・灰・焼土が混じる)

図184 18号粘土貼土坑、19~20号方形土坑、23~24号墓坑、鍛冶炉拡大図

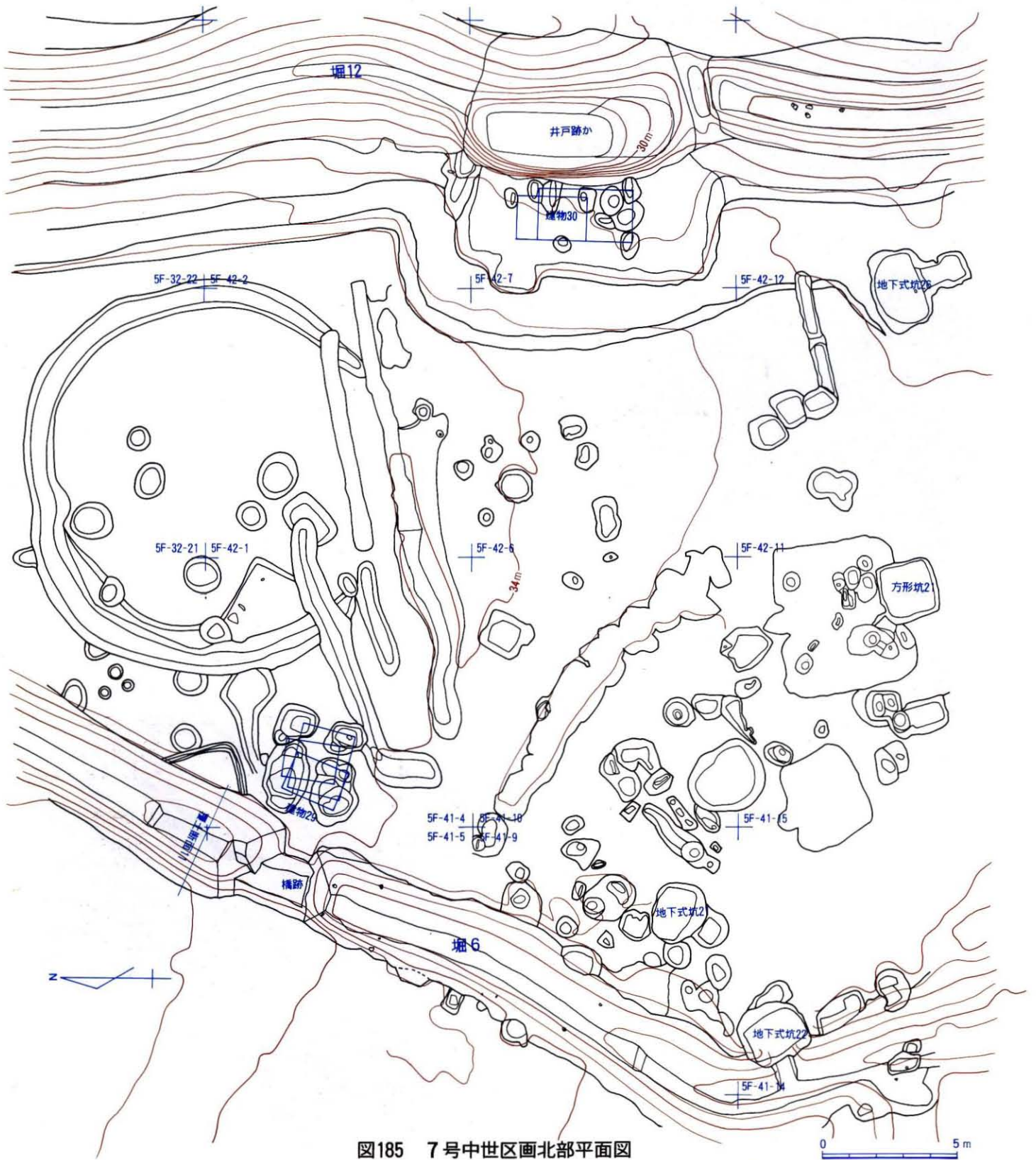
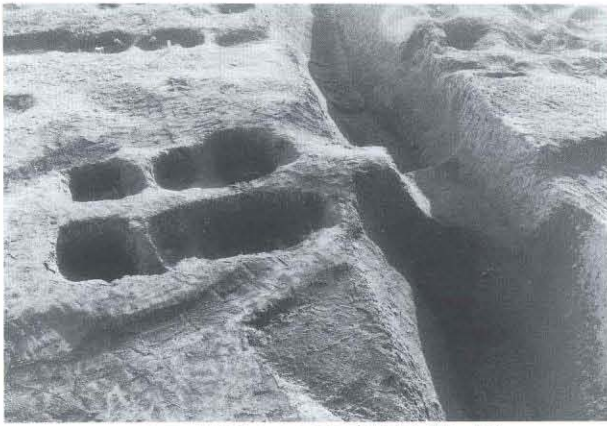


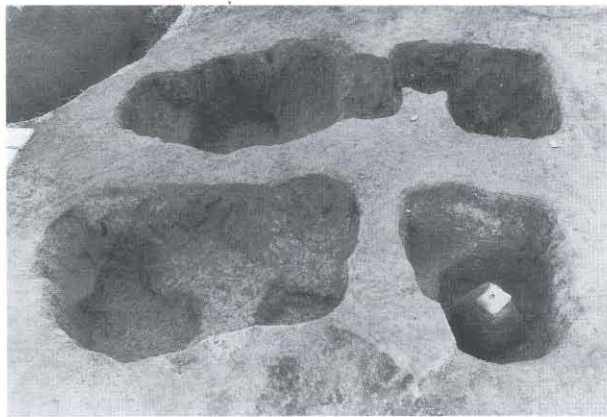
图185 7号中世区画北部平面图



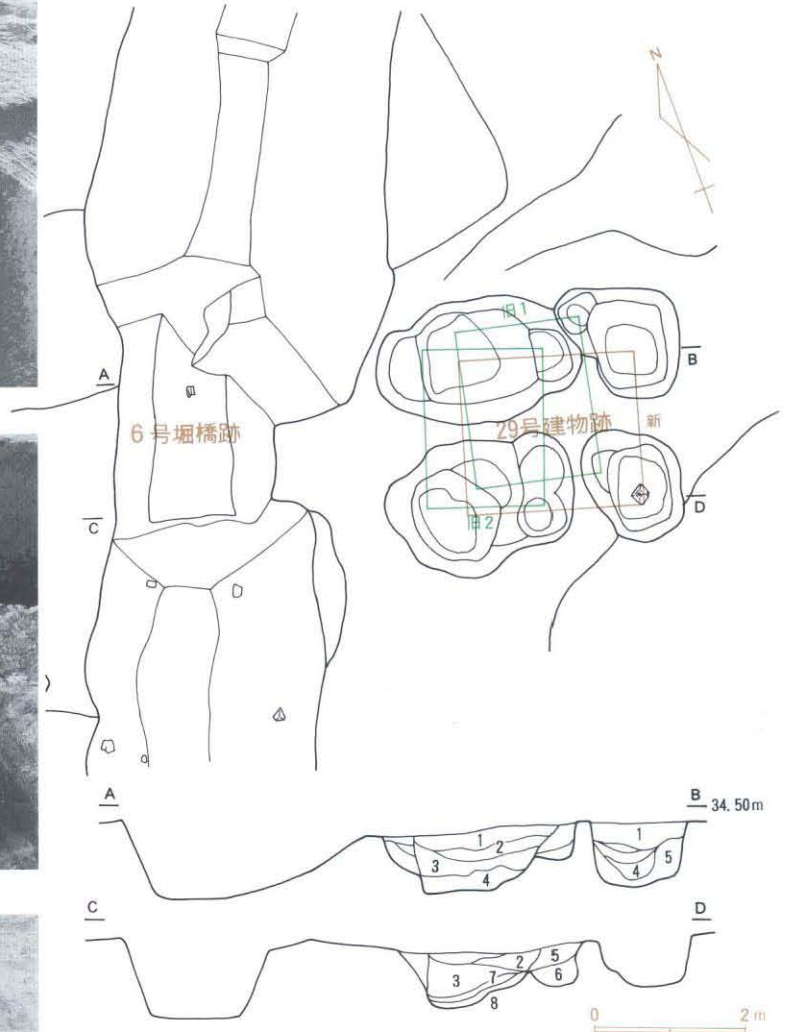
29号建物跡と6号堀橋跡(北側から)



29号建物跡と6号堀橋跡(東側から)



29号建物跡(南側から)



29号建物跡

位置 5F-41-4~5
 新 主軸 N-74°-W
 桁行 1間
 梁行 1間
 規模 2.30×2.05m
 柱穴総数 4
 柱穴深さ 0.70~0.85m

2回の建て替えが確認でき、柱穴の大きさと高さのある建物と推定すると、板橋跡との関係から櫓門が考えられる。

層序 1~4 暗褐色土層群(ローム・砂・粘土が混じり、軟弱)
 5~6 褐色土層群(ロームが多く混じり、締まる)
 7~8 暗褐色土層群(ロームが多く混じり、少し軟弱)

旧1 主軸 N-79°-W
 桁行 1間
 梁行 1間
 規模 1.63×2.10m
 柱穴総数 4
 柱穴深さ 0.45~0.60m

旧2 主軸 N-72°-W
 桁行 1間
 梁行 1間
 規模 1.53×2.10m
 柱穴総数 4
 柱穴深さ 0.50~0.70m

6号堀橋跡

橋渡 2.12m
 幅 1.0~2.5m
 橋下深 1.0m
 橋脚跡の穴はない

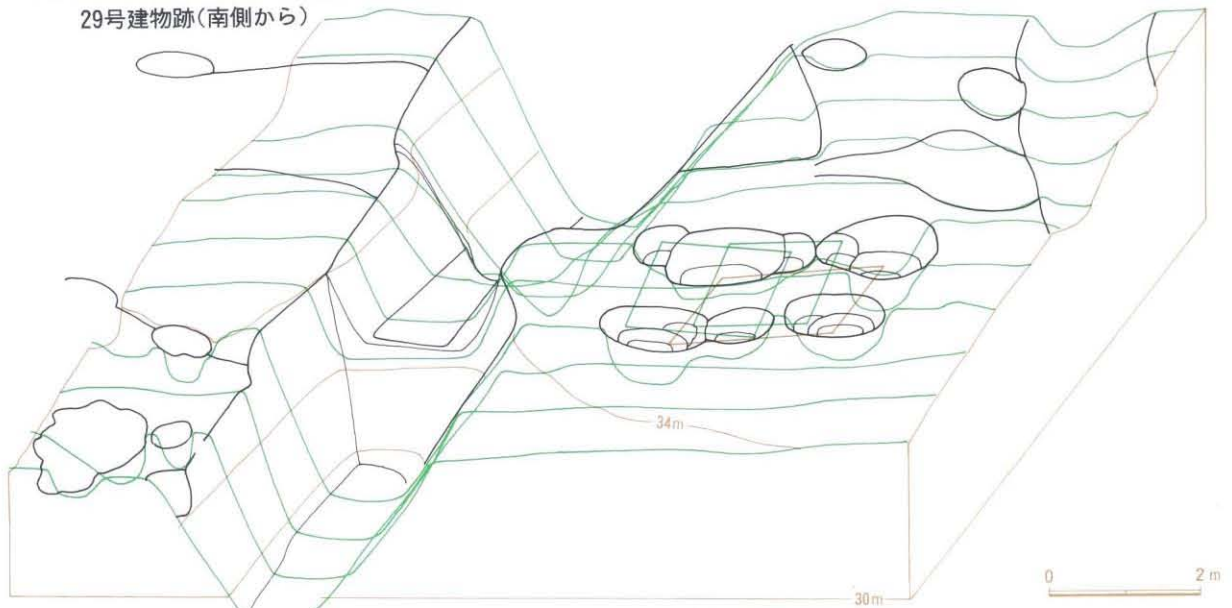


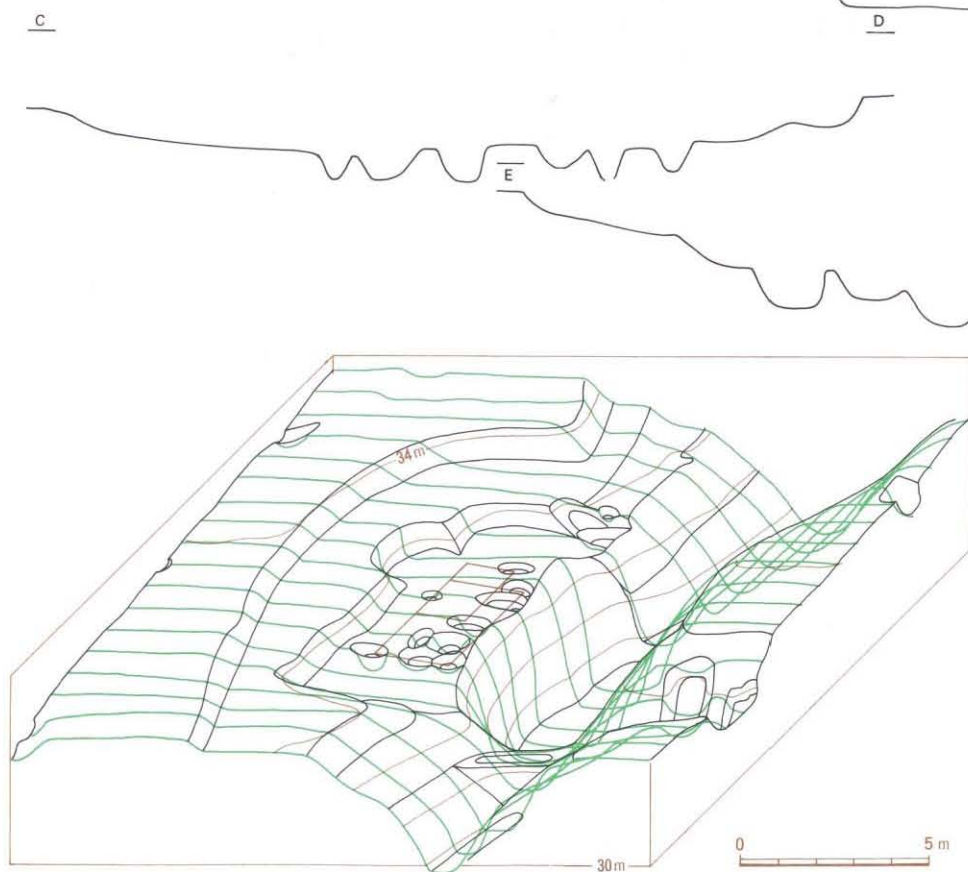
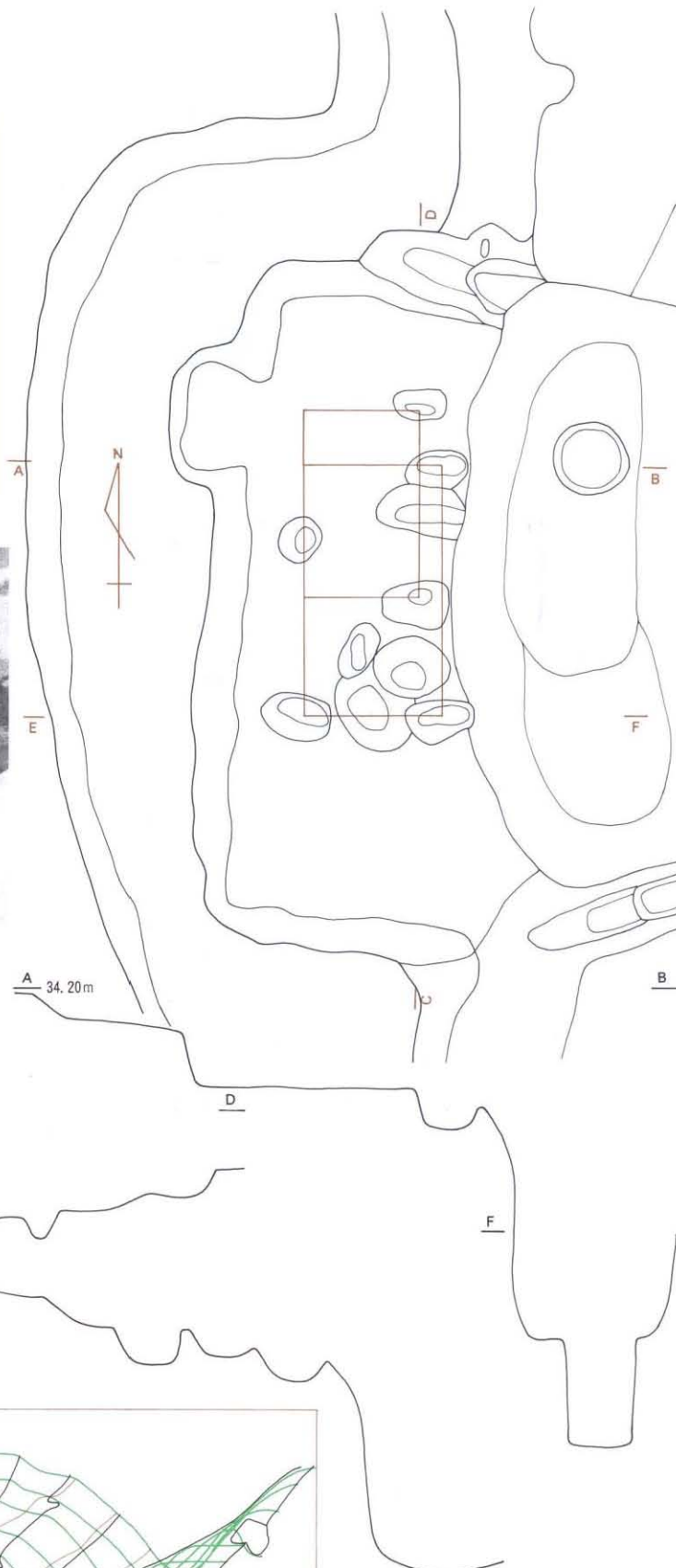
図186 29号建物跡、6号堀橋跡拡大図



30号建物跡(北側から)



30号建物跡(南東側から)



30号建物跡

位置 5F-42-7
 主軸 N-89°-W
 桁行 2間
 梁行 1間
 規模 1.98×3.580m
 柱穴総数 10
 柱穴深さ 0.30~0.50m
 0.7~1.0m掘り込んで整地していて、
 堀との関係が考えられる

1号水場

位置 5F-42-7
 規模 1.10×1.05m
 深 5.80m
 (堀底より1.50m)
 砂地で水は全く湧かず

図187 30号建物跡拡大図



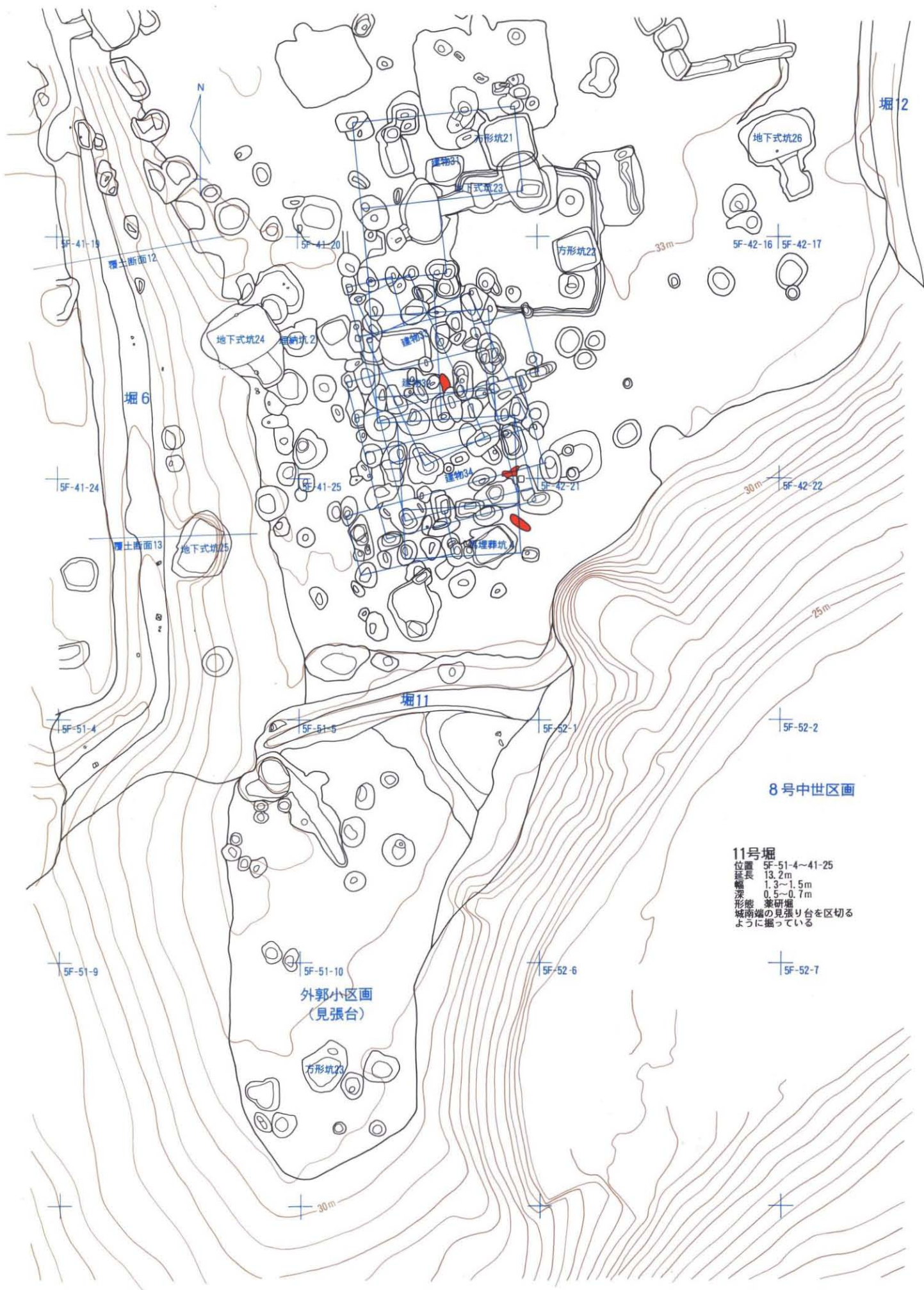
7号中世区画
(南側上空から)



7号中世区画
(北側から)

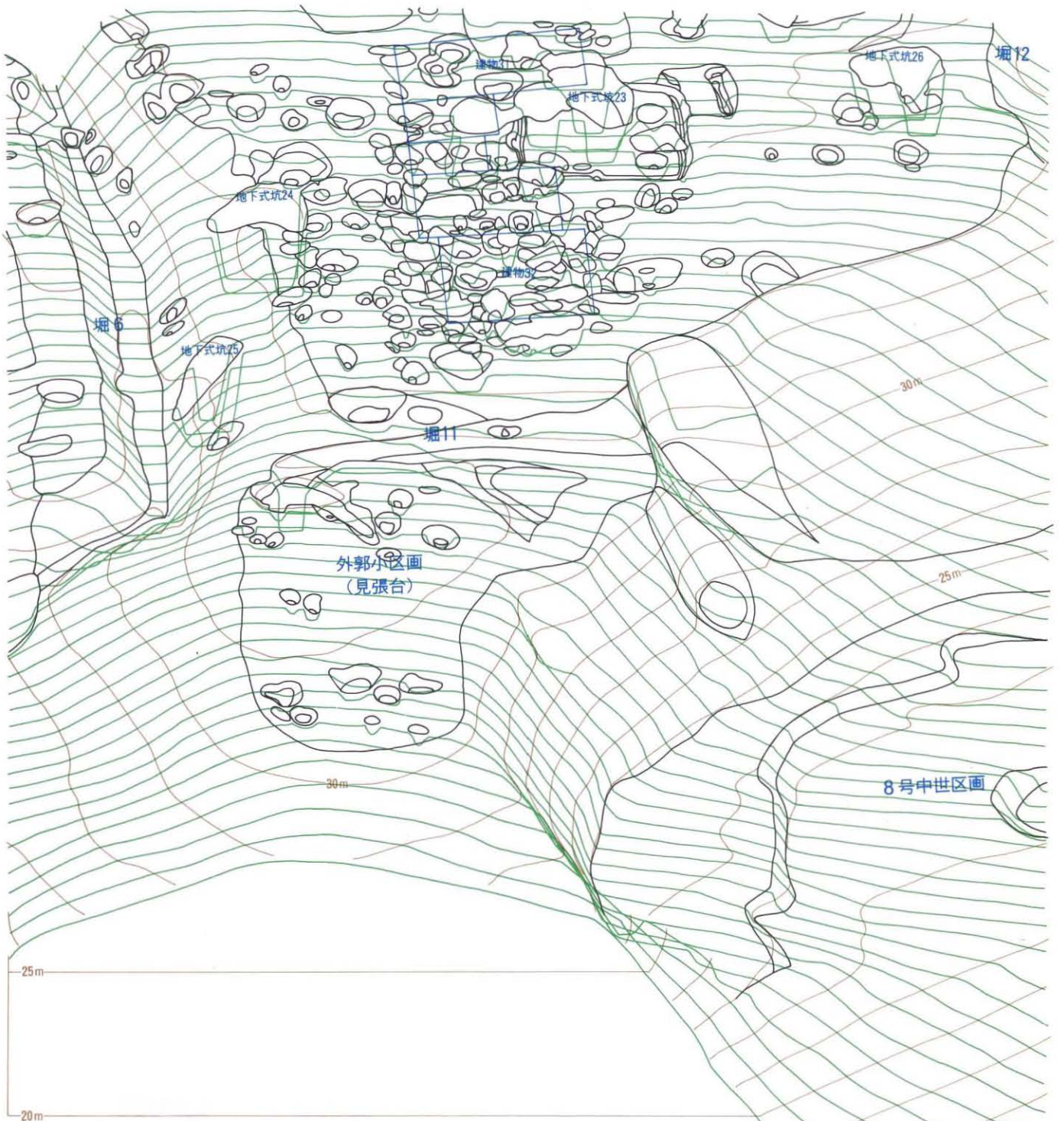


7号中世区画外郭
見張台(北側から)



11号堀
 位置 5F-51-4~41-25
 延長 13.2m
 幅 1.3~1.5m
 深 0.5~0.7m
 形態 築垣堀
 城南端の見張り台を区切る
 ように掘っている

図188 7号中世区画南部平面図



7号中世区画

位置 5F-41-5~25
5F-42-1~21, 51-4~10
規模 東西32.5m 南北69.3m
面積 1,130㎡
標高 32.0~34.5m
境界 6・12・11号堀 北側は2号堀
本区画は遺構の少ない北部と、建物跡が
集約する南部とからなり、そのすぐ南側
は11号堀に区切られた外郭が舌状に張り
出して、見張台となっていたと考える。

区画内遺構

建物跡 6棟
地下式坑 6基
方形坑 3基
埋納坑 1基
馬埋葬坑 1基
焼跡 2基

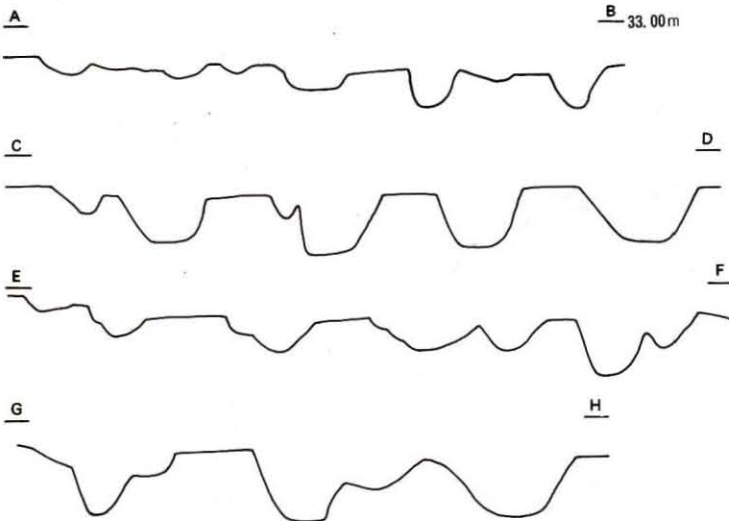
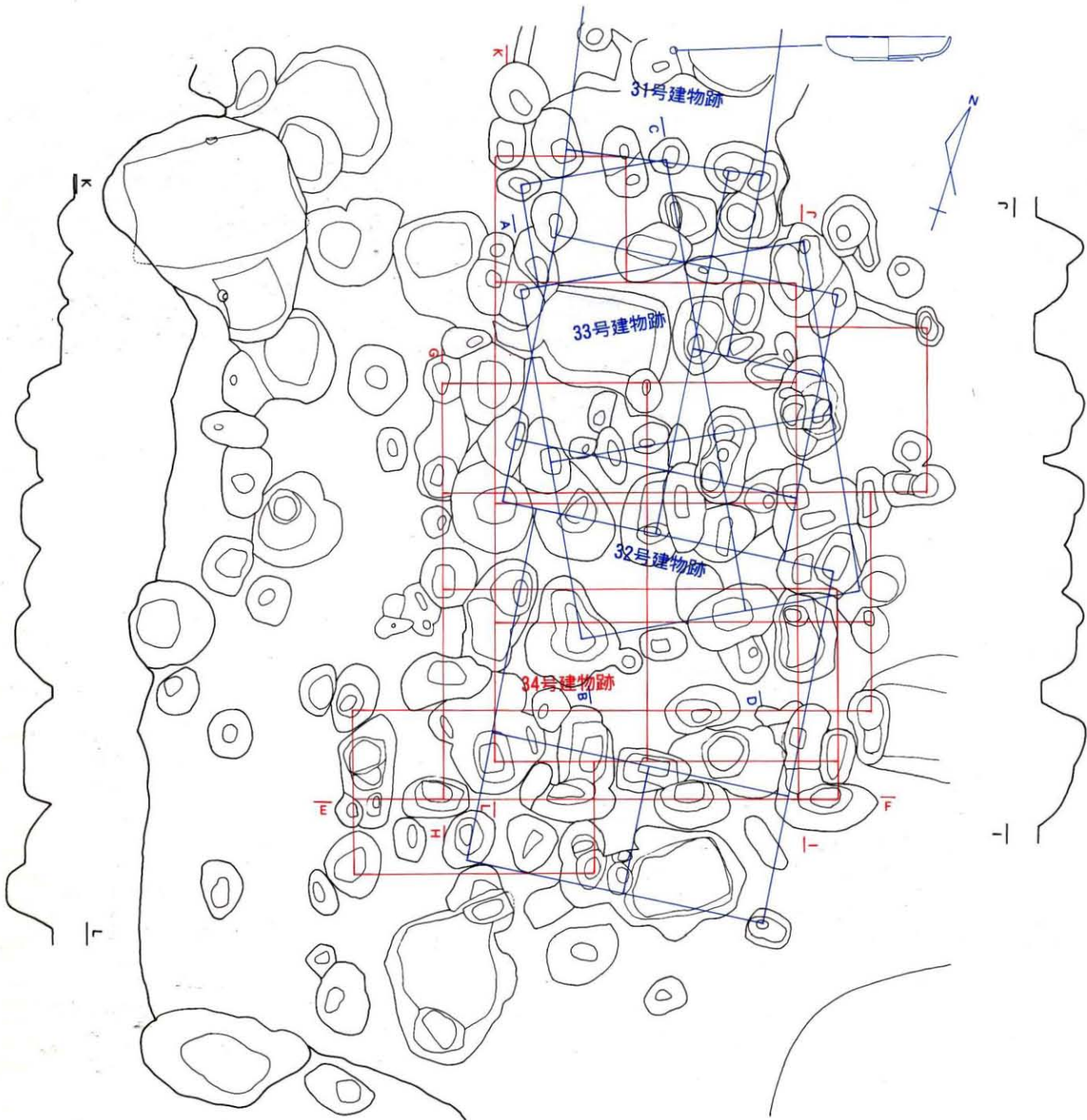
出土遺物 青磁碗、瀬戸小皿
・平碗・瓶子・茶壺
・香炉・増鉢、常滑
甕、内耳土鍋、茶釜
カワラケ、磁石、火
打石、小柄



7号中世区画外郭見張台

位置 5F-4~10
規模 東西12.5m 南北20.0m
面積 150㎡
標高 30.0~31.7m
先端部に23号方形坑があり、小柄が出土。
北東部が近世遺構によって変形する

図189 7号中世区画南部鳥瞰図



31号建物跡
 位置 5F-41-15
 主軸 N-81°-E
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 6.80×6.55m
 柱穴総数 11
 柱穴深さ 0.40~0.60m

32号建物跡
 位置 5F-41-20-25
 主軸 N-3°-W
 桁行 6間
 梁行 2間
 規模 11.63×4.92m
 柱穴総数 18
 柱穴深さ 0.25~0.65m
 31号建物跡と連結していた可能性あり

33号建物跡
 位置 5F-41-20
 主軸 N-23°-E
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 7.42×4.72m
 柱穴総数 11
 柱穴深さ 0.20~0.80m

34号建物跡
 位置 5F-41-20-25
 主軸 N-13°-W
 桁行 7間
 梁行 5間
 規模 11.68×8.50m
 柱穴総数 11
 柱穴深さ 0.25~0.85m
 前2棟とは別に、34号建物跡の中で、建て替えがあった可能性が考えられる



図190 32~34号建物跡拡大図

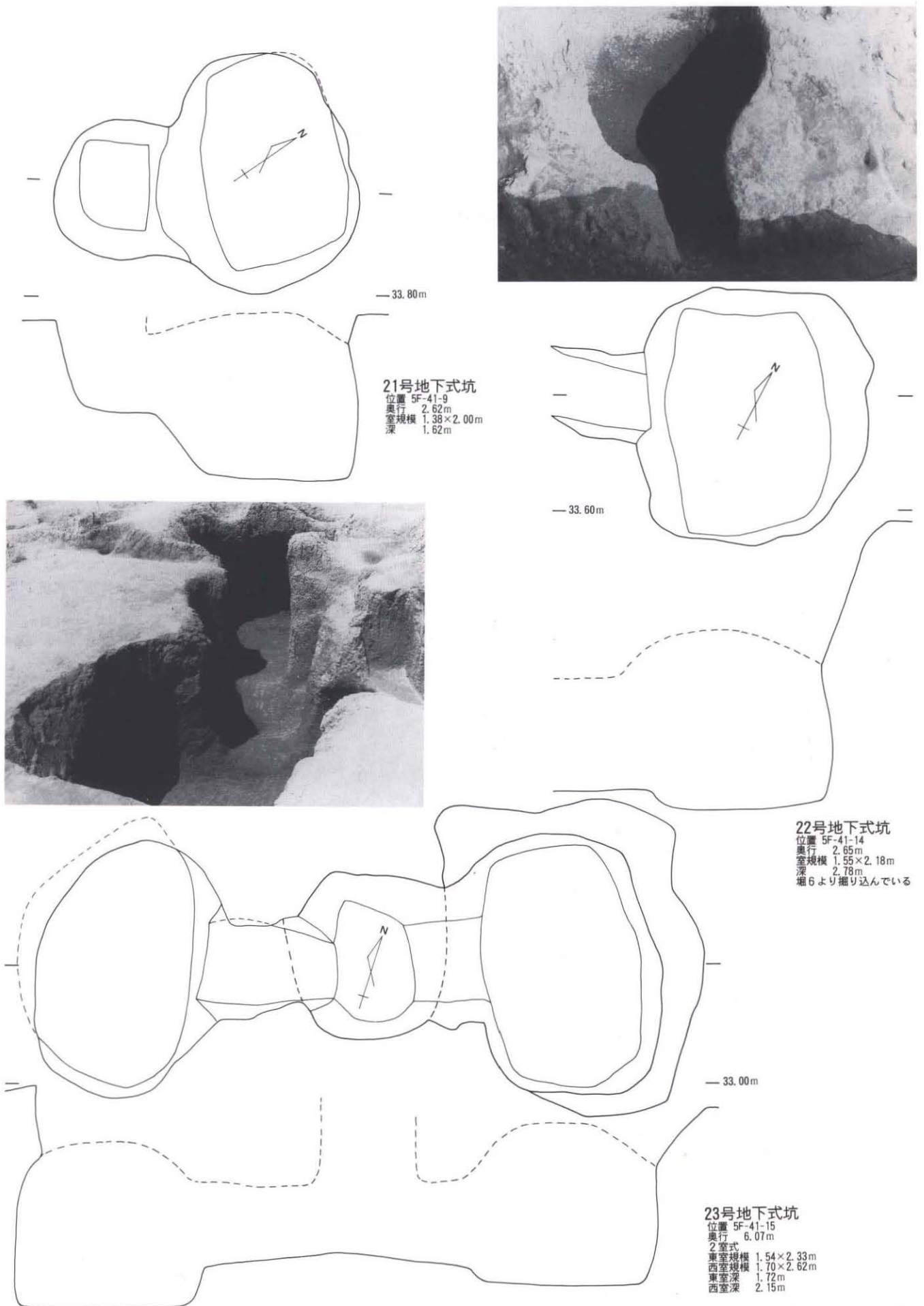
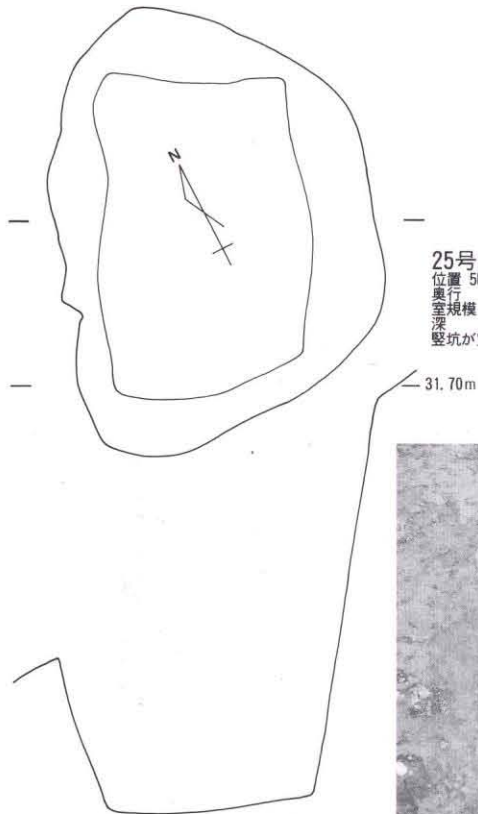
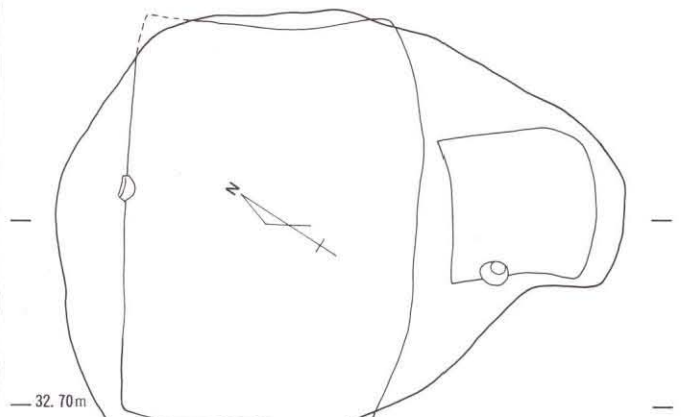
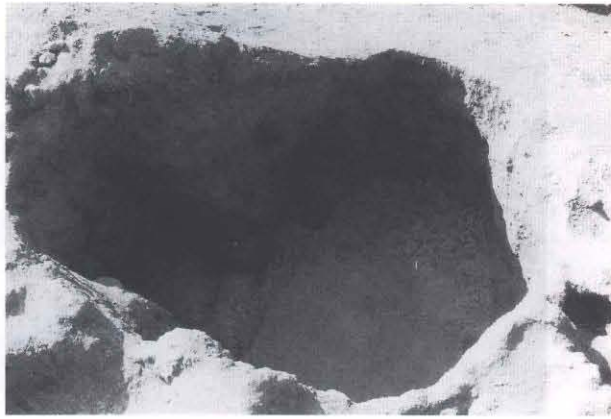


図191 21~23地下式坑拡大図

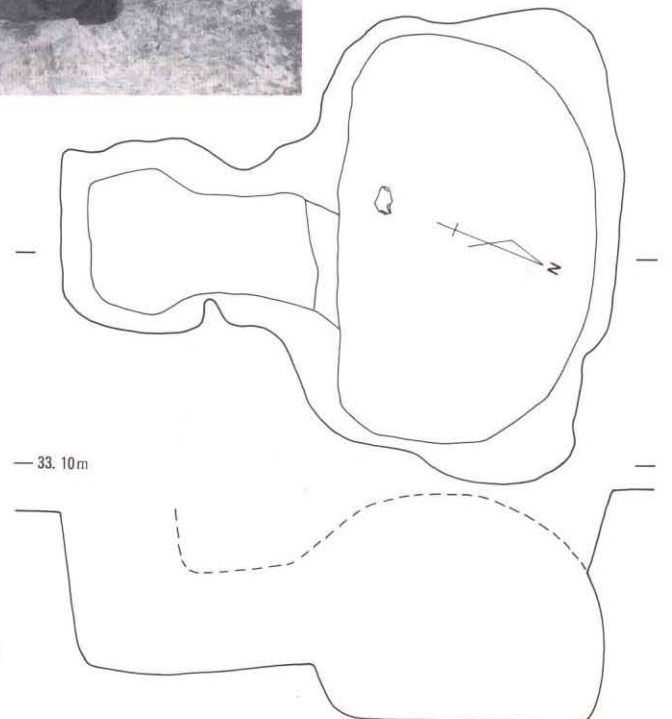




25号地下式坑
 位置 5F-41-24
 奥行 1.41m
 室規模 1.41×2.12m
 深 2.68m
 竪坑が室直上式と考える



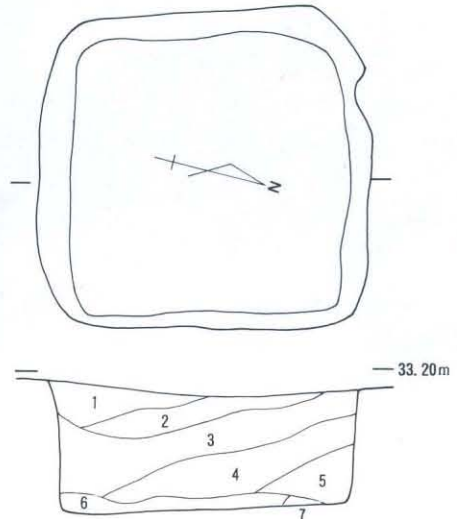
24号地下式坑
 位置 5F-41-19
 奥行 3.10m
 室規模 1.93×2.85m
 深 2.55m
 出土遺物 常滑甕、五輪塔



26号地下式坑
 位置 5F-42-11・12
 奥行 3.35m
 室規模 1.69×2.66m
 深 1.52m
 出土遺物 常滑甕



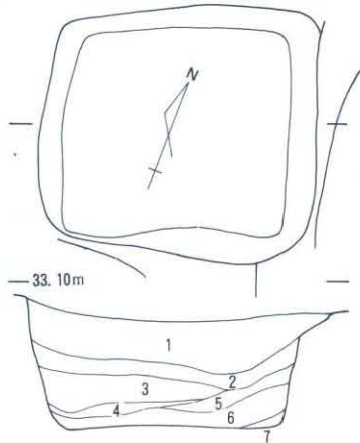
図192 24~26地下式坑拡大図



21号方形土坑

位置 5F-41-15
規模 2.20×2.10m
深 0.86m
出土遺物 錢貨

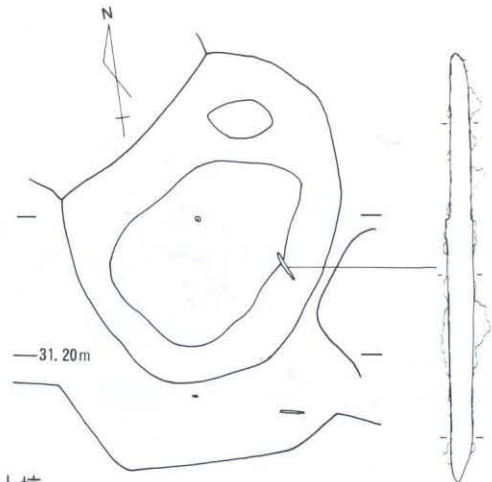
- | 層序 | 説明 |
|----|-------------------------|
| 1 | 暗褐色土 (ローム小粒が多く混じり、締まる) |
| 2 | " (ローム小～中粒が多く混じり、締まる) |
| 3 | " (ローム小～大粒が多く混じり、軟弱) |
| 4 | 褐色土 (ローム小～大粒が多く混じり、締まる) |
| 5 | 暗褐色土 (ローム小粒が多く混じり、軟弱) |
| 6 | " (ローム小～中粒が多く混じり、締まる) |
| 7 | " (ロームが少し混じり、締まる) |



22号方形土坑

位置 5F-42-16
規模 1.84×1.70m
深 0.85m
出土遺物 錢貨

- | 層序 | 説明 |
|----|----------------------------|
| 1 | 暗褐色土 (ローム小～大粒が多く混じり、軟弱) |
| 2 | " (ローム小粒が多く混じり、軟弱) |
| 3 | " (ローム小～中粒が多く混じり、軟弱) |
| 4 | " (ローム小～中粒・木炭・灰・焼土が混じり、軟弱) |
| 5 | " (砂が多く混じり、少し軟弱) |
| 6 | " (ローム小～中粒が多く混じり、締まる) |
| 7 | 黒色土 (木炭・焼土が混じり、締まる) |

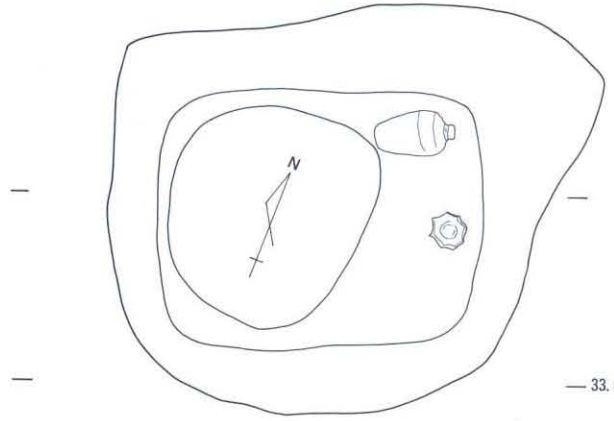


23号方形土坑

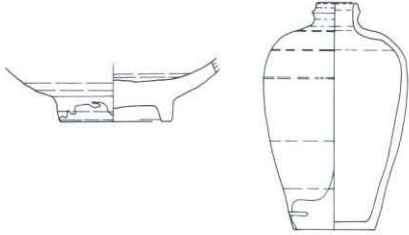
位置 5F-51-10
規模 2.16×1.82m
深 0.55m
出土遺物 小柄、錢貨

0 1 m

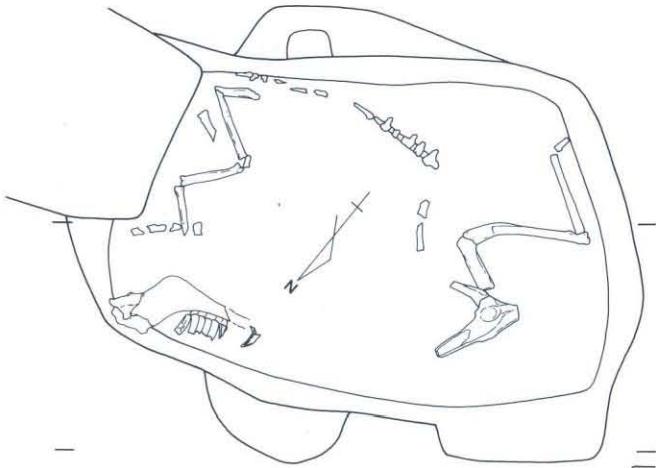
図193 21～23号方形土坑拡大図



— 33.00m



2号埋納坑
位置 5F-41-19-20
規模 1.43×1.26m
深 0.34m
出土遺物 青磁碗、瀬戸瓶子

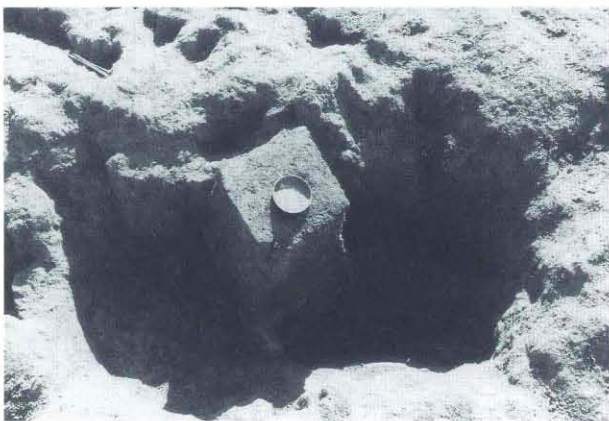


— 32.60m



3号馬埋葬坑
位置 5F-41-25
規模 1.88×1.09m
深 0.76m
馬骨 下頤、前後肢、脊椎の一部
東頭位

0 50cm

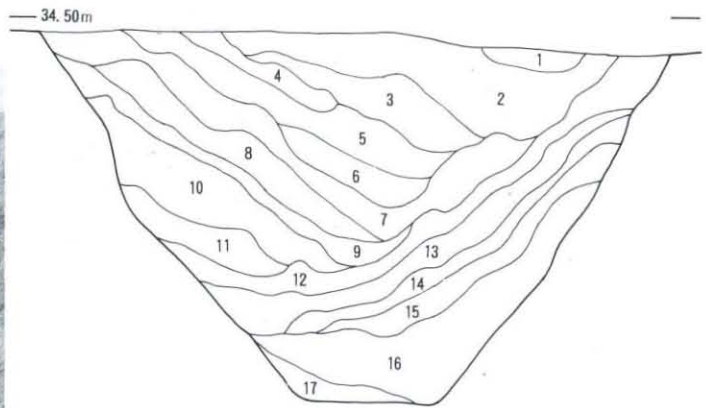


銅皿出土状態(31号建物跡内)



6号堀内石塔出土状態(5F-41-24)

図194 2号埋納坑、3号馬埋葬坑拡大図



覆土断面図11

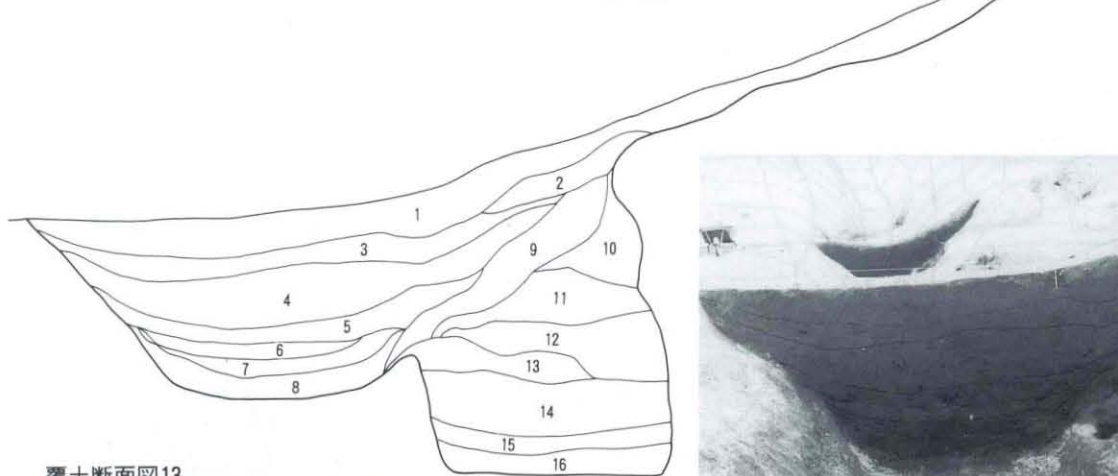
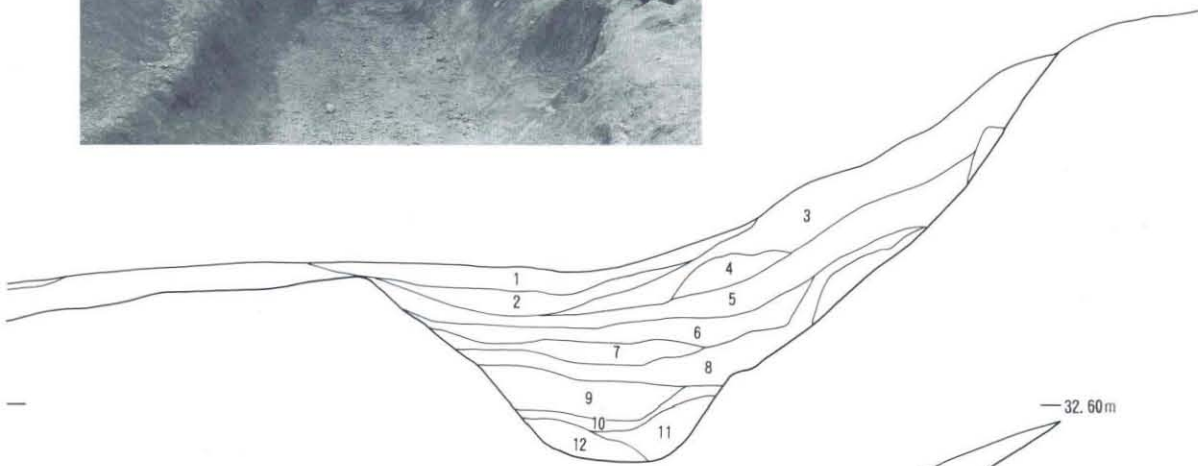
- 1~5 褐色土層群 (ローム・粘土が多く混じり、締まる)
- 6~11 暗褐色土層群 (ローム・粘土・砂が混じり、少し締まる)
- 12~14 黒褐色土層群 (ロームが少し混じり、締まる)
- 13・17 褐色土層群 (ローム大粒が多く混じり、締まる)



覆土断面図12

- 1~6 暗褐色土層群 (ロームが少し混じり、砂質で軟弱)
- 7~8 " (ローム混じり、締まる)
- 9~11 " (ロームが多く混じり、軟弱)
- 12 " (" " " " " ")

— 33.50m



覆土断面図13

- 1~8 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じり、軟弱)
- 9 " (ロームが多く混じり、軟弱)
- 10~11 褐色土層群 (ロームが多く混じり、軟弱)
- 12 褐色土 (天井部崩落のローム層)
- 13 白褐色砂 (ロームが少し混じる)
- 14・16 褐色土層群 (ロームが多く混じり、締まる)
- 15 暗褐色土 (ローム小~大粒が混じる)
- 10~16は25号地下式坑覆土

0 1m



図195 6号堀覆土断面図



12号堀
 位置 5F-32-9~42-17
 延長 80.0m
 幅 4.0~8.5m
 深 2.0~4.5m
 形態 薬研堀
 出土遺物 青磁碗、瀬戸小皿、
 平碗、茶器、摺鉢、
 常滑甕、内耳土鍋、茶
 茶釜、カワラケ、茶
 臼、磁石、五輪塔、
 宝篋印塔
 本城中最も大きい堀で、台
 地中央部を南北に蛇行しな
 がら、城を大きく区切る。
 途中に仕切、井戸、粘土採
 掘坑などがある。

図196 12号堀鳥瞰図



12号堀全景（北側上空から）



12号堀内部（5F-32-8付近北側から）



12号堀内部（5F-32-13付近南側から）



12号堀仕切（5F-32-17北側から）



12号堀仕切（5F-42-7北側から）



12号堀内部（5F-42-7南側から）

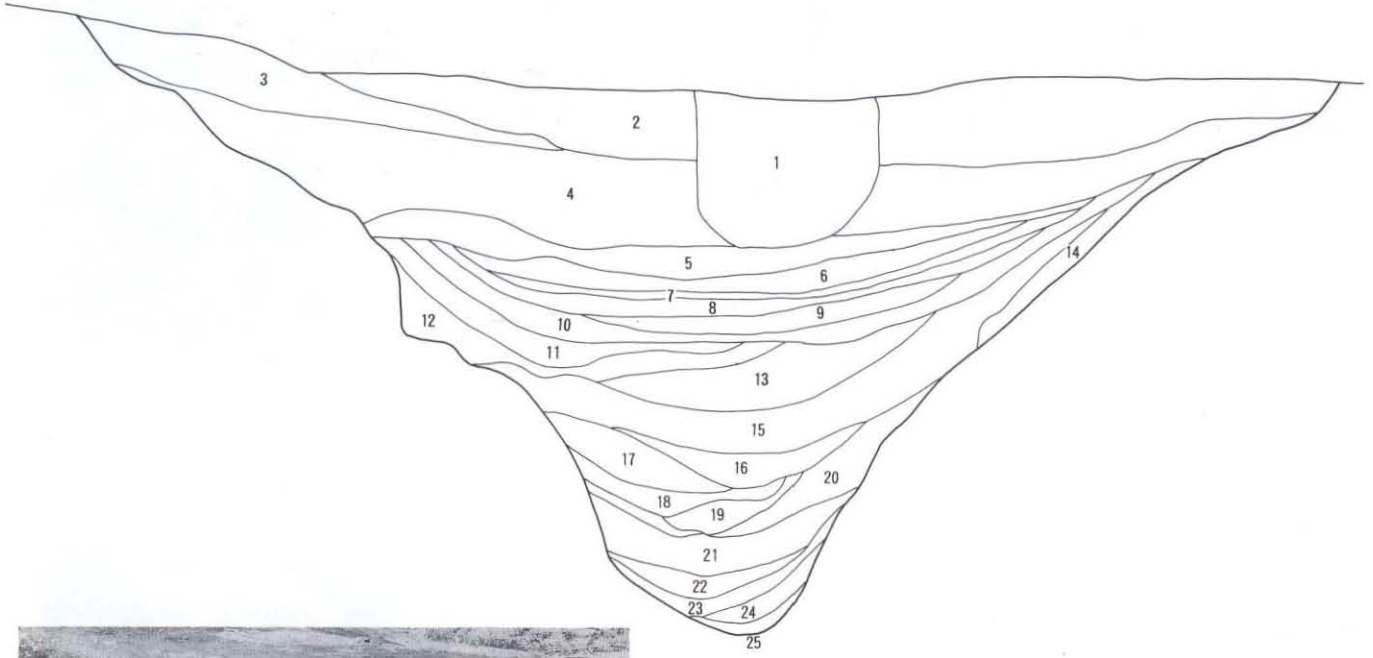


12号堀仕切拡大（5F-42-7東側から）



12号堀遺物出土状態（5F-42-12南側から）

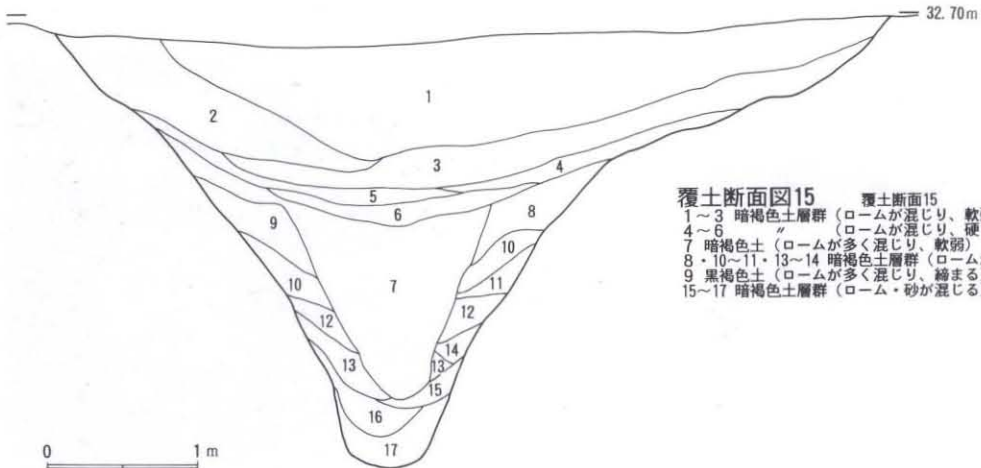
— 34.30m



覆土断面図14 覆土断面14
 1~4 暗褐色土層群 (ロームが少し混じり、軟弱)
 5~10 " (ロームが少し混じり、締まる。ここまでが近世以降の堆積)
 11~19 " (ローム・砂・粘土が混じり、締まる)
 20~25 褐色土層群 (ローム・砂・粘土が混じり、硬く締まる)



— 32.70m



覆土断面図15 覆土断面15
 1~3 暗褐色土層群 (ロームが混じり、軟弱)
 4~6 " (ロームが混じり、硬く締まる。近世以降の道跡硬化面)
 7 暗褐色土 (ロームが多く混じり、軟弱)
 8・10~11・13~14 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、少し締まる)
 9 黒褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)
 15~17 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じる)

0 1 m

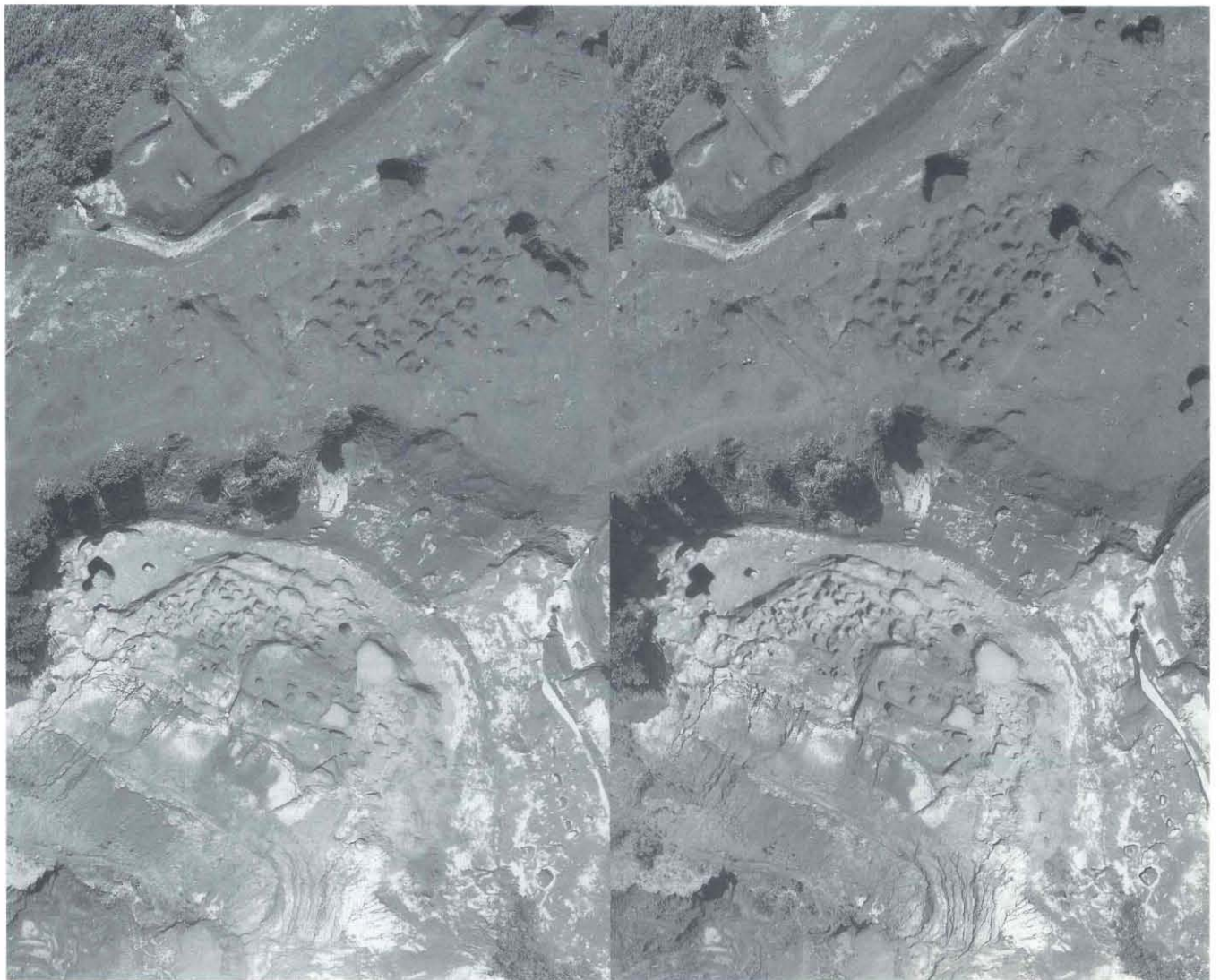
図197 12号堀覆土断面図



8号中世区画上層面



8号中世区画下層面



8号中世区画周边立体視写真



图198 8号中世区画上層面平面图

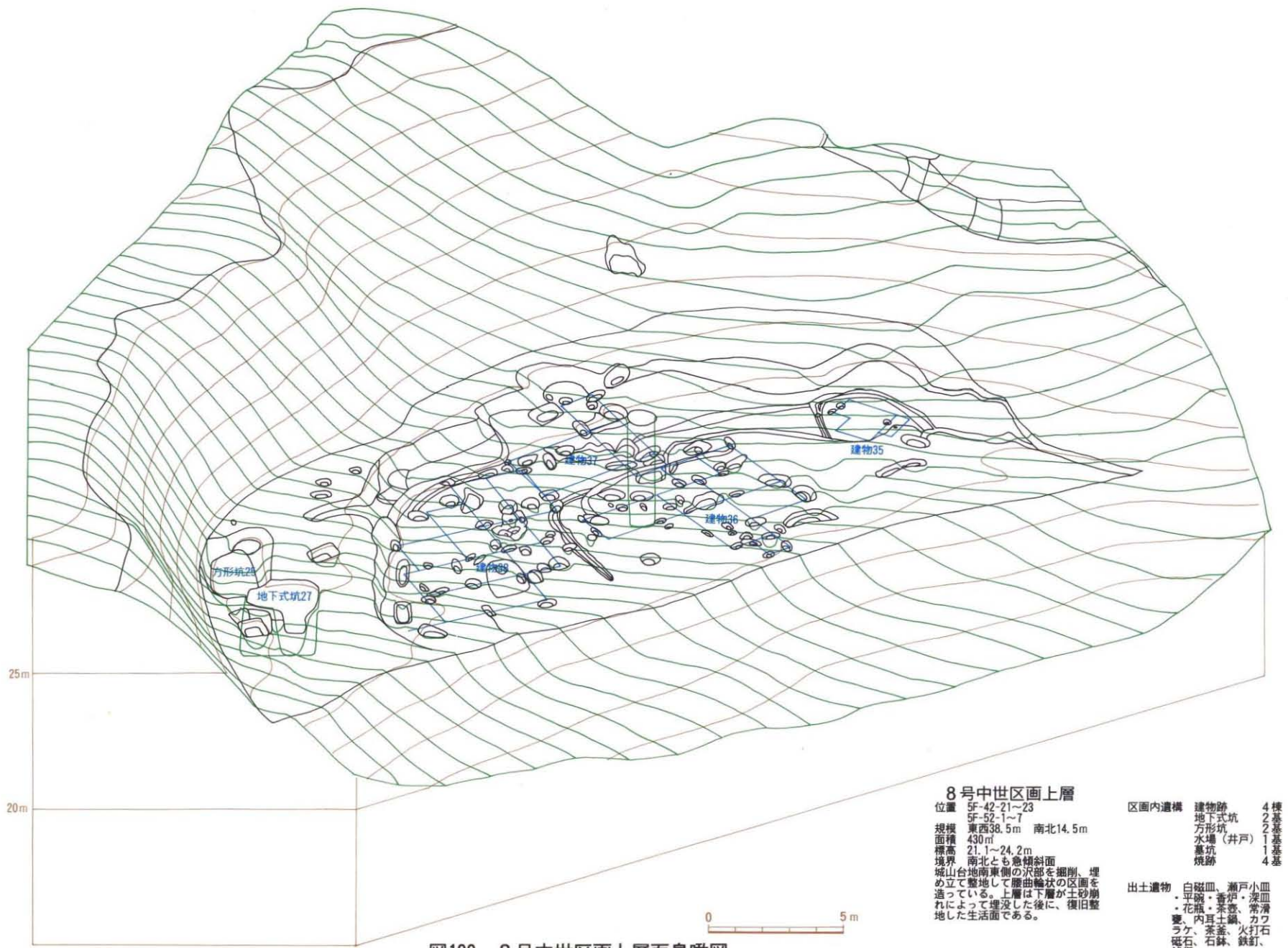


図199 8号中世区画上層面鳥瞰図

8号中世区画上層

位置 5F-42-21~23
 5F-52-1~7
 規模 東西38.5m 南北14.5m
 面積 430㎡
 標高 21.1~24.2m
 境界 南北とも急傾斜面
 城山台南東側の沢部を掘削、埋め立て整地して腰曲輪状の区画を造っている。上層は下層が土砂崩れによって埋没した後に、復旧整地した生活面である。

区画内遺構	建物跡	4棟
	地下式坑	2基
	方形坑	2基
	水堀(井戸)	1基
	竪坑	1基
	焼跡	4基

出土遺物	白磁皿、瀬戸小皿
・平碗・香炉・深皿	
・花瓶・茶壺・常滑	
壺、内耳土鍋、カワ	
ラケ、茶釜、火打石	
磁石、石鉢、鉄釘、	
銭貨	



图200 8号中世区画下层面平面图

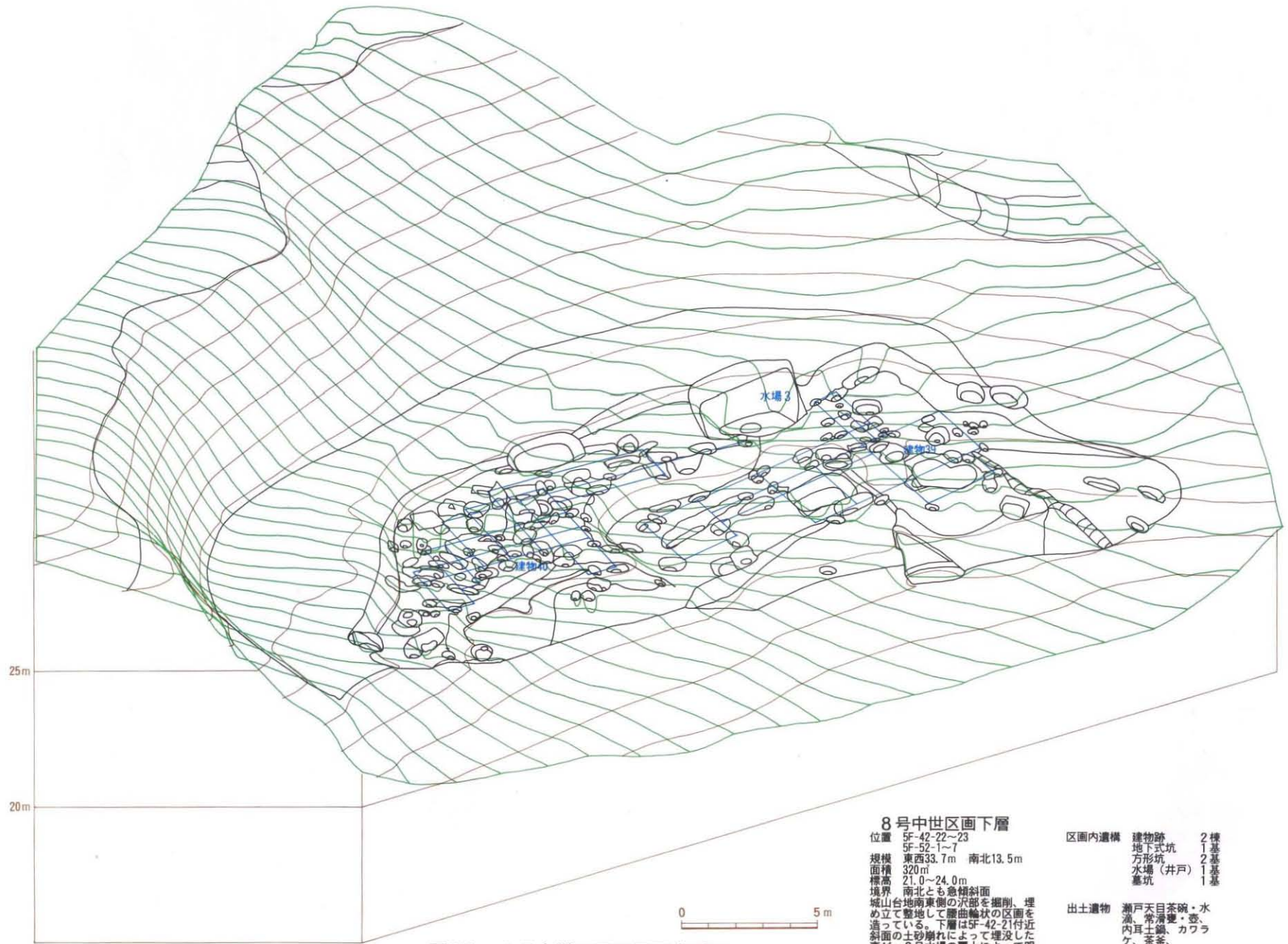


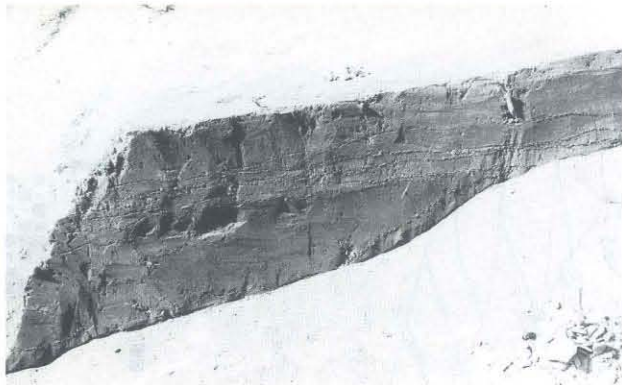
図201 8号中世区画下層面鳥瞰図

8号中世区画下層

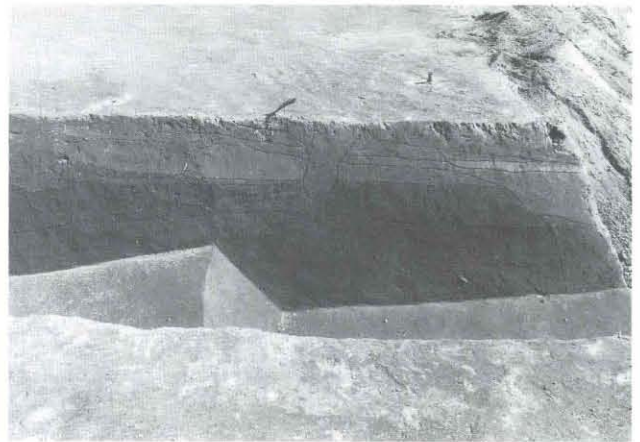
位置 5F-42-22~23
 5F-52-1~7
 規模 東西33.7m 南北13.5m
 面積 320㎡
 標高 21.0~24.0m
 境界 南北とも急傾斜面
 城山台地南東側の沢部を掘削、埋め立て整地して腰曲輪状の区画を造っている。下層は5F-42-21付近斜面の土砂崩れによって埋没した事が、3号水場の覆土によって明らかとなった。

区画内遺構	建物跡	2棟
	地下式坑	1基
	方形坑	2基
	水場（井戸）	1基
	墓坑	1基

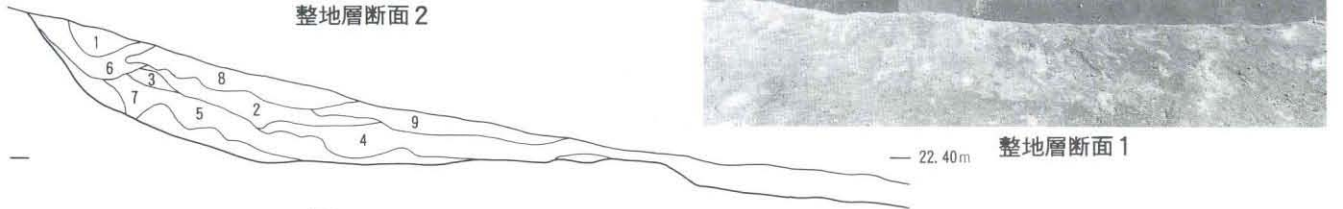
出土遺物	瀬戸天目茶碗・水滴、常滑壺・壺、内耳土鍋、カワラケ、茶釜、
------	-------------------------------



整地層断面2



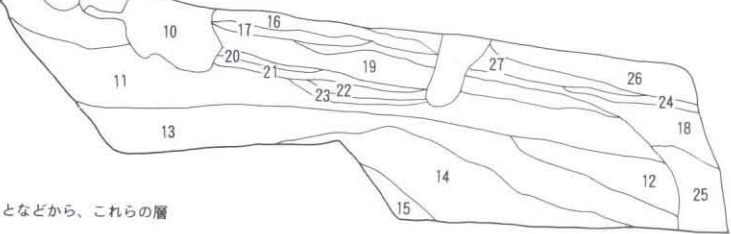
整地層断面1



0 1 m

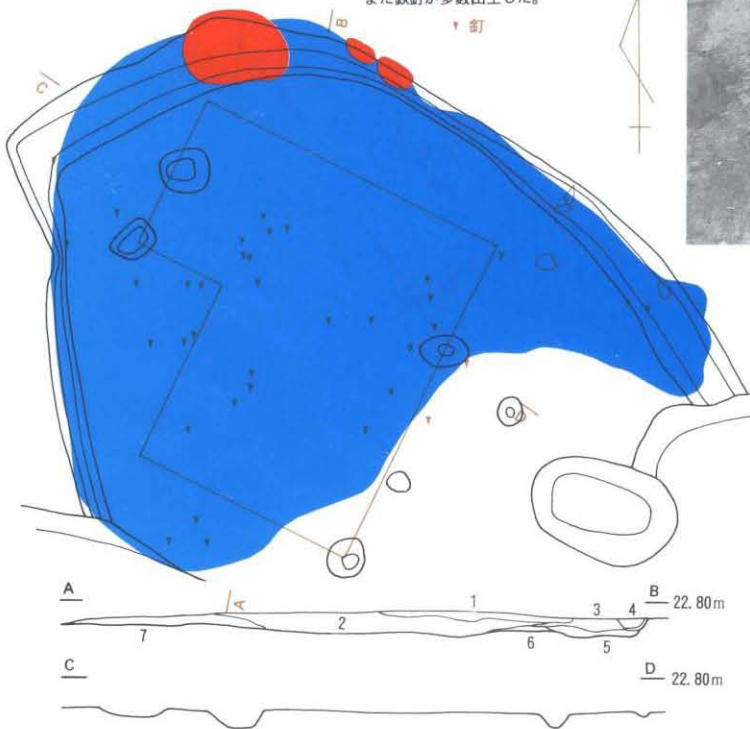
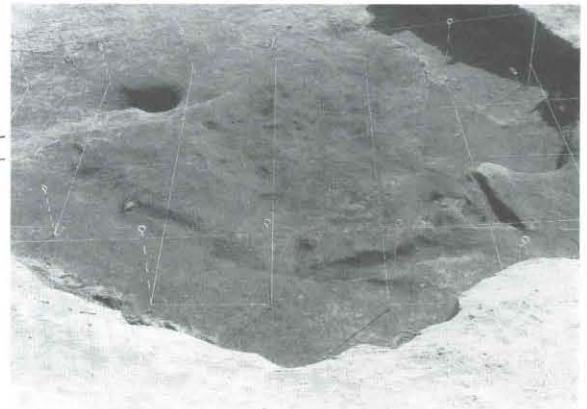
整地層断面図

- 層序 1・3 暗褐色砂層群 (砂が混じる)
 2・5 暗褐色土層群 (砂が混じる)
 15~17・19・21・23・27 暗褐色土層群 (砂・ロームが混じる)
 8~11・13~14・18・20・22・25~26 黒褐色土層群 (砂が混じる)
 12 黒色土 (砂が混じる)
 6・24 灰色砂
 7 (地山)
 24・28・31は比較的薄く、水平に近い堆積を示し、硬く締まっていることなどから、これらの層の直上が、ある時期の生活面であったと考える。



35号建物跡

位置 5F-42-23
 主軸 N-53°-W
 桁行 2間
 梁行 2間
 規模 2.90×2.30m
 柱穴総数 6
 柱穴深さ 0.15~0.20m
 周りを楕円形に溝を掘り、
 床面には木炭、焼土が分布し、
 また鉄釘が多数出土した。



- 層序 1 黒褐色砂 (暗褐色砂・木炭・木炭粉が混じる)
 2 (暗褐色砂・木炭・木炭粉が多く、焼土粒が少し混じる)
 3 暗褐色砂 (白色砂・木炭が少し混じる)
 4 黒褐色砂 (木炭・木炭粉が混じり、下面で砂が焼けている)
 5 暗褐色砂 (白色砂・木炭が少し混じり、硬く締まる)
 6 (木炭粉が少し混じり、締まる)
 7 暗褐色土 (木炭が少し混じり、締まる)

図202 8号中世区画整地層断面図及び35号建物跡拡大図



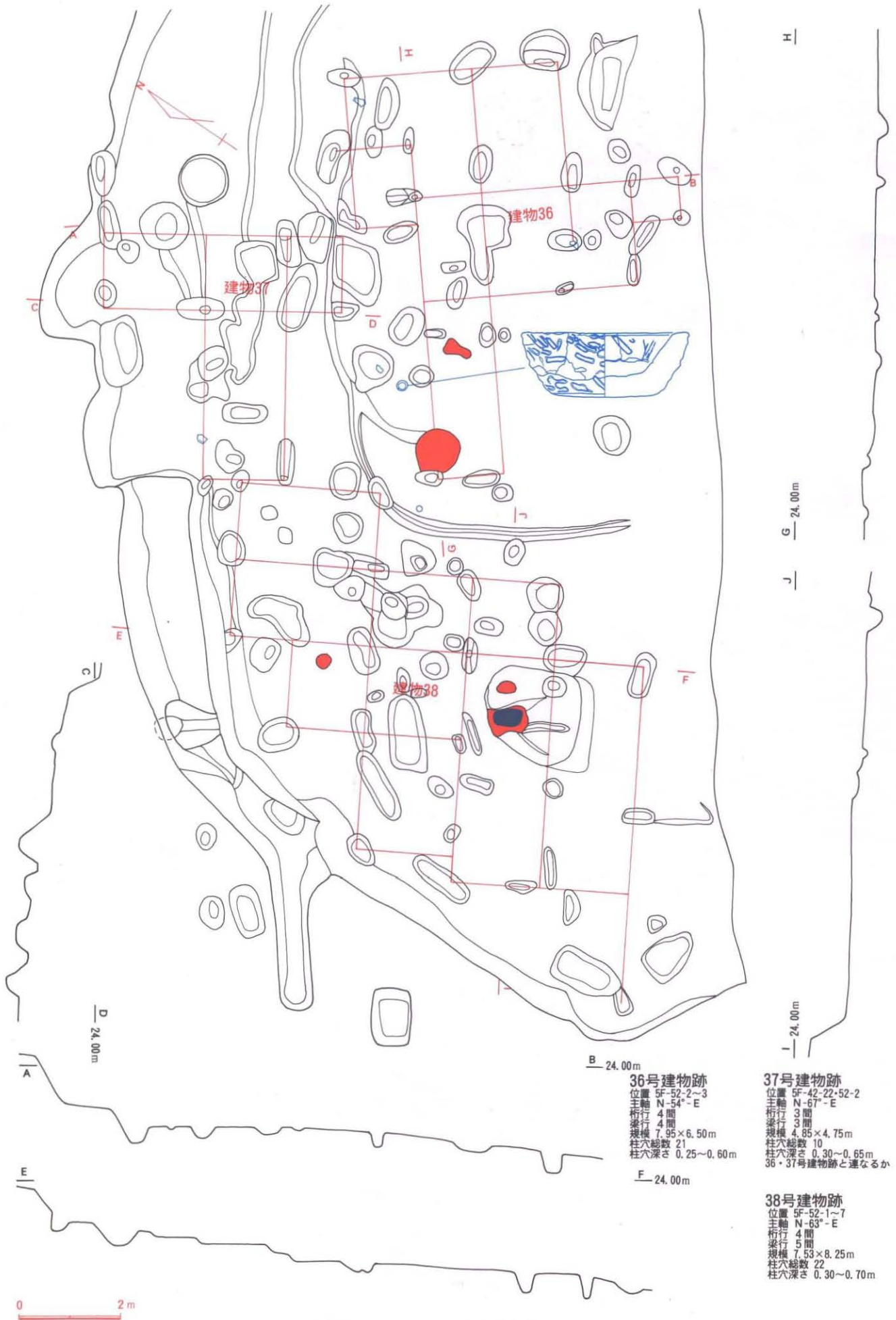
上層建物跡(西側から)



上層建物跡(北側から)



石鉢出土状態



36号建物跡
 位置 5F-52-2~3
 主軸 N-54°-E
 桁行 4間
 梁行 4間
 規模 7.95×6.50m
 柱穴総数 21
 柱穴深さ 0.25~0.60m

37号建物跡
 位置 5F-42-22-52-2
 主軸 N-67°-E
 桁行 3間
 梁行 3間
 規模 4.85×4.75m
 柱穴総数 10
 柱穴深さ 0.30~0.65m
 36・37号建物跡と連なるか

38号建物跡
 位置 5F-52-1~7
 主軸 N-63°-E
 桁行 4間
 梁行 5間
 規模 7.53×8.25m
 柱穴総数 22
 柱穴深さ 0.30~0.70m

図203 36~38号建物跡拡大図



2号階段跡

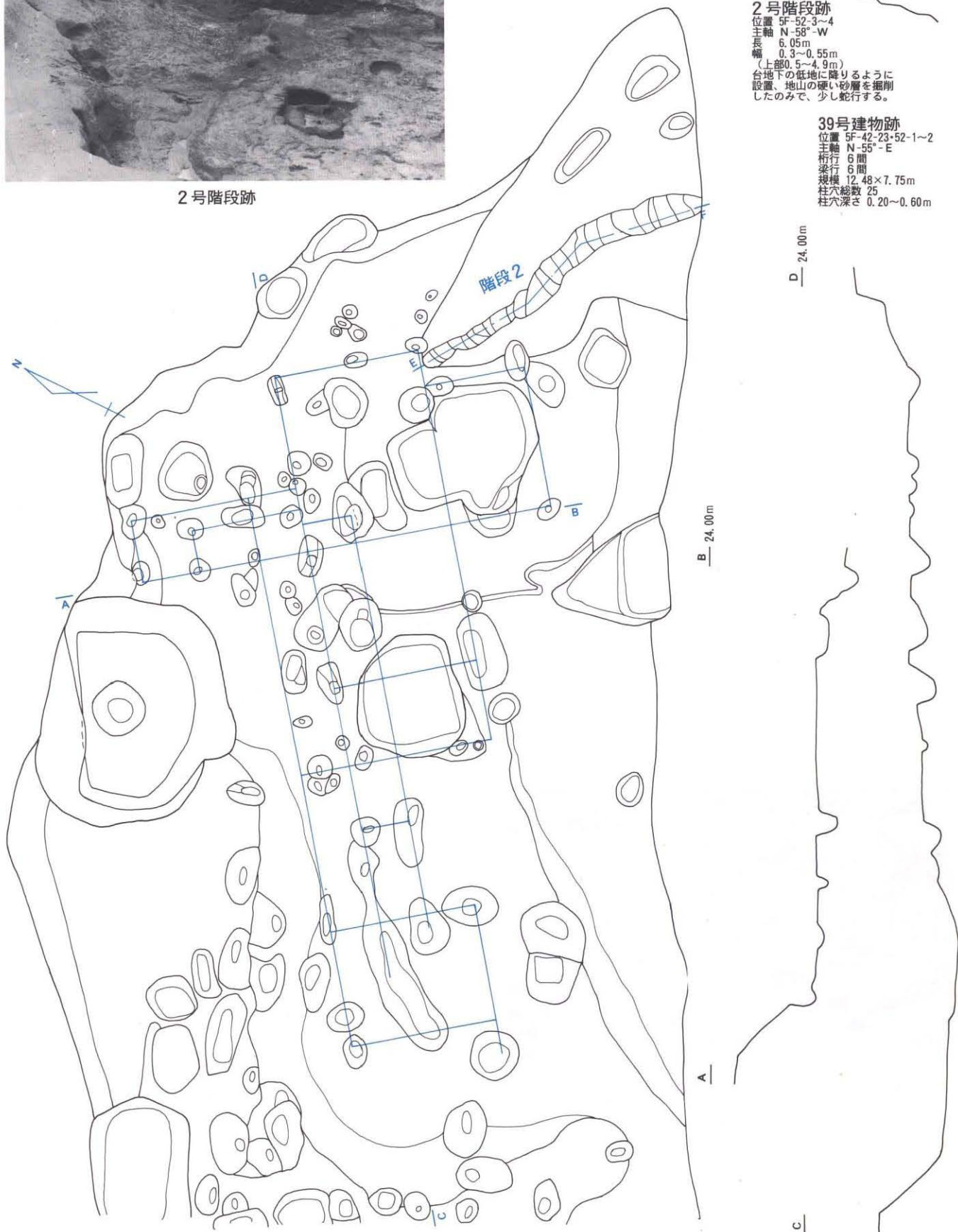
E
F
22.00m

2号階段跡

位置 5F-52-3~4
主軸 N-58°-W
長 6.05m
幅 0.3~0.55m
(上部0.5~4.9m)
台地下の低地に降りるように設置、地山の硬い砂層を掘削したのみで、少し蛇行する。

39号建物跡

位置 5F-42-23・52-1~2
主軸 N-55°-E
桁行 6間
梁行 6間
規模 12.48×7.75m
柱穴総数 25
柱穴深さ 0.20~0.60m



D— 24.00m

B— 24.00m

C—

図204 39号建物跡、2号階段跡拡大図

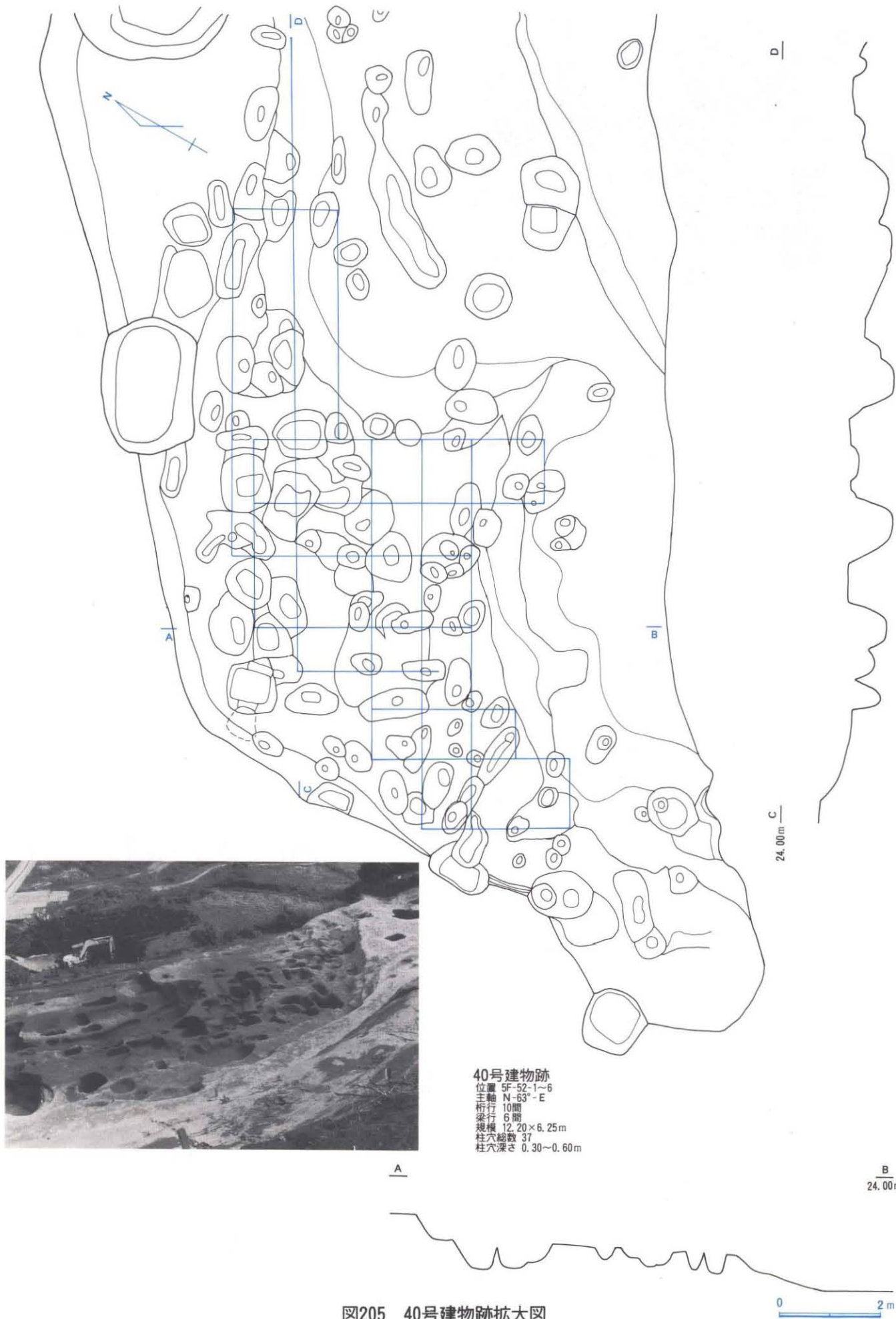
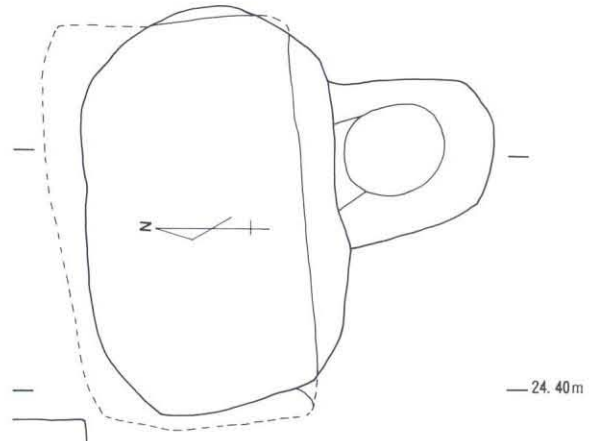
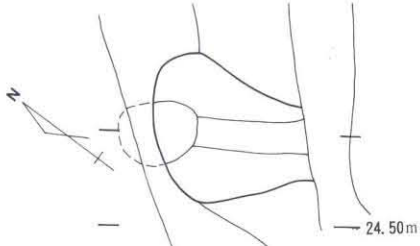


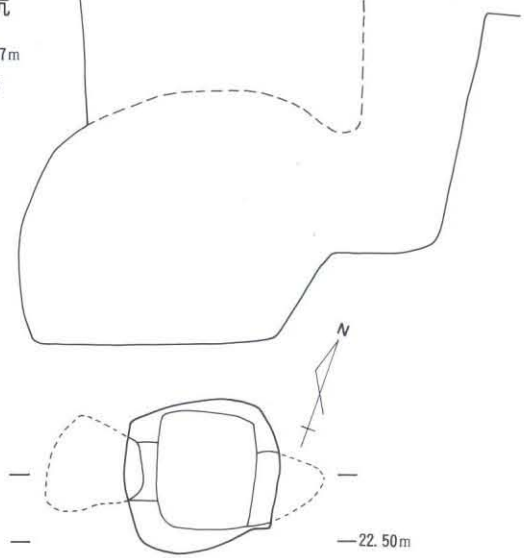
図205 40号建物跡拡大図



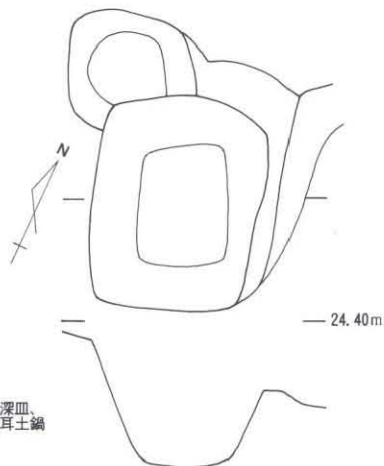
27号地下式坑
位置 5F-52-6
奥行 2.37m
室規模 1.63×2.67m
深 2.62m
出土遺物 常滑甕



28号地下式坑
位置 5F-52-1
奥行 1.23m
室規模 0.52×0.42m
深 1.47m
水が湧くため、途中で放棄したか



29号地下式坑
位置 5F-52-1
奥行 1.86m
室規模 0.62×0.65m
深 1.85m
水が湧くため、途中で放棄したか。2室式にしようとした



24号方形坑
位置 5F-52-6
規模 1.42×1.10m
深 0.60m
出土遺物 瀬戸平碗・深皿、常滑甕、内耳土鍋

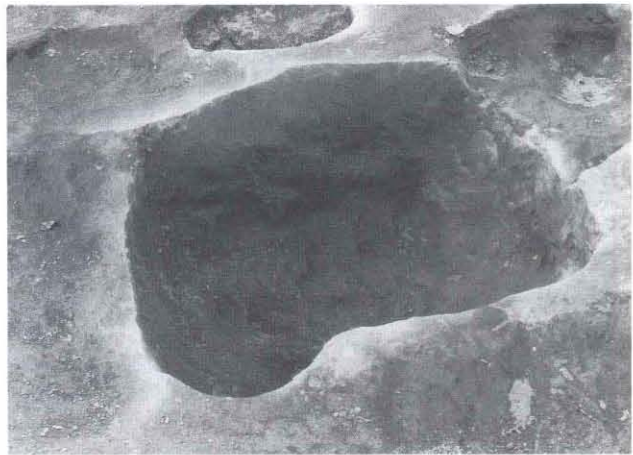
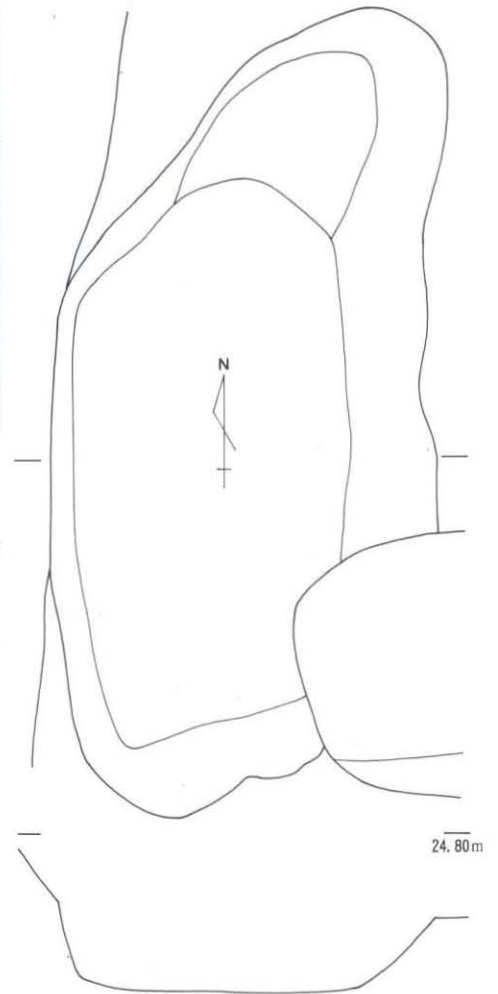


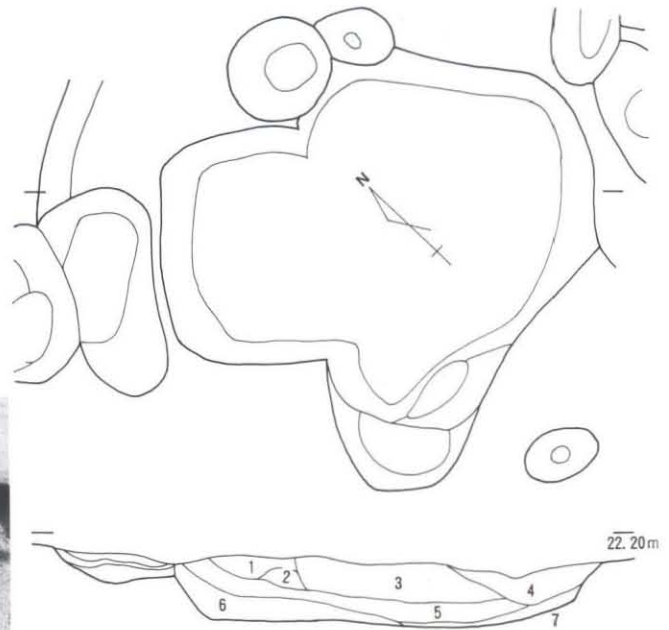
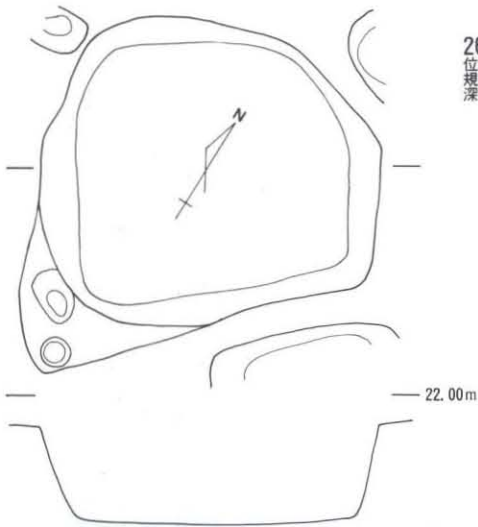
図206 27~29号地下式坑、24号方形土坑拡大図



25号方形土坑
位置 5F-52-6
規模 5.50×2.54m
深 0.54m
出土遺物 常滑甕、磁石



26号方形土坑
位置 5F-52-3
規模 2.25×2.02m
深 0.65m



27号方形土坑
位置 5F-52-3
規模 2.85×2.44m
深 0.40m
出土遺物 内耳土鍋

層序 1 暗灰褐色砂 (暗褐色土、灰色砂が混じる)
2 暗褐色土 (ローム、砂が少し混じる)
3~7 暗褐色砂層群 (暗褐色土、ロームが混じる)

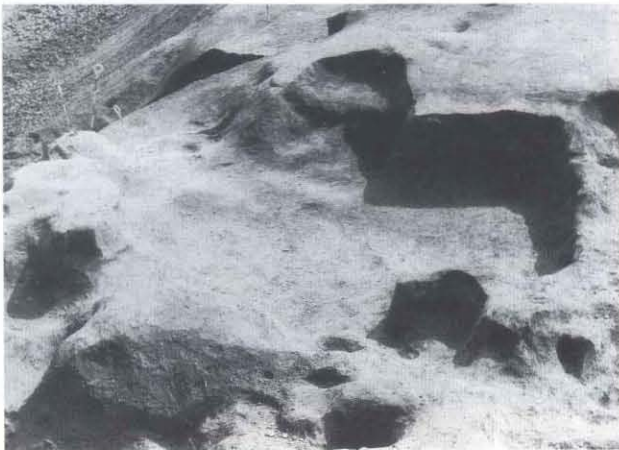
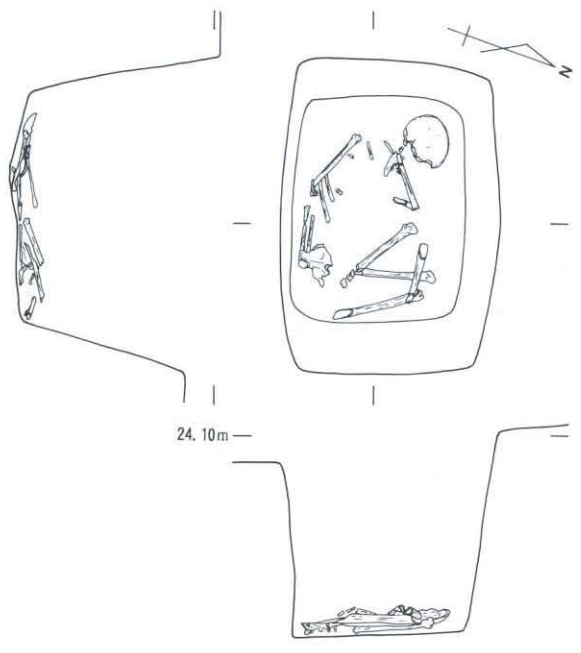
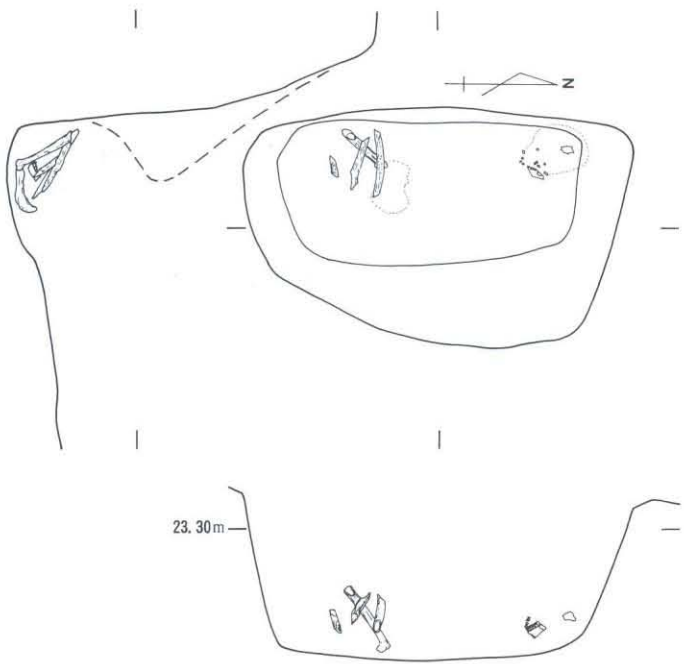
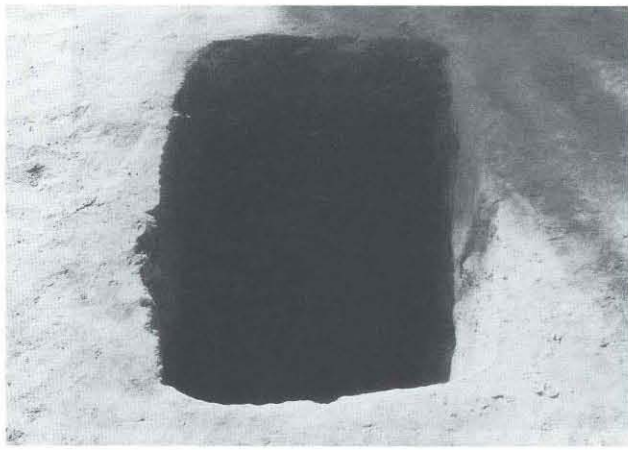


図207 25~27号方形土坑拡大図

0 1m



25号墓坑
 位置 5F-52-6
 規模 1.10×0.72m
 深 0.65m
 人骨 頭骨、下頤、四肢、
 肋骨、寛骨、歯は咬
 西頭位



26号墓坑
 位置 5F-52-6
 規模 1.30×0.78m
 深 0.17m
 人骨 下頤、下肢、頭骨は
 細かくなっている
 北頭位
 崖下に半地下式に掘っている

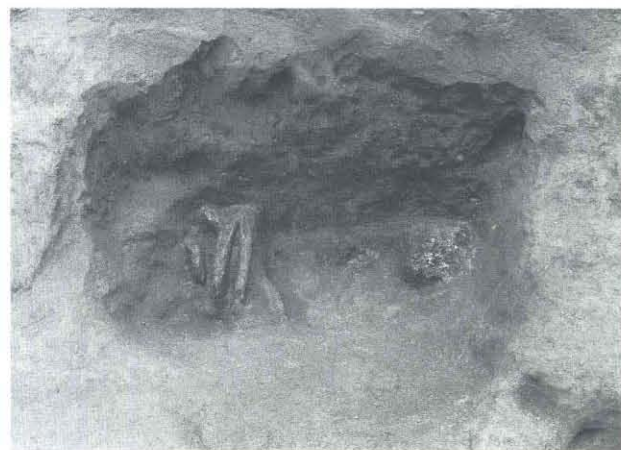


図208 25～26号墓坑拡大図

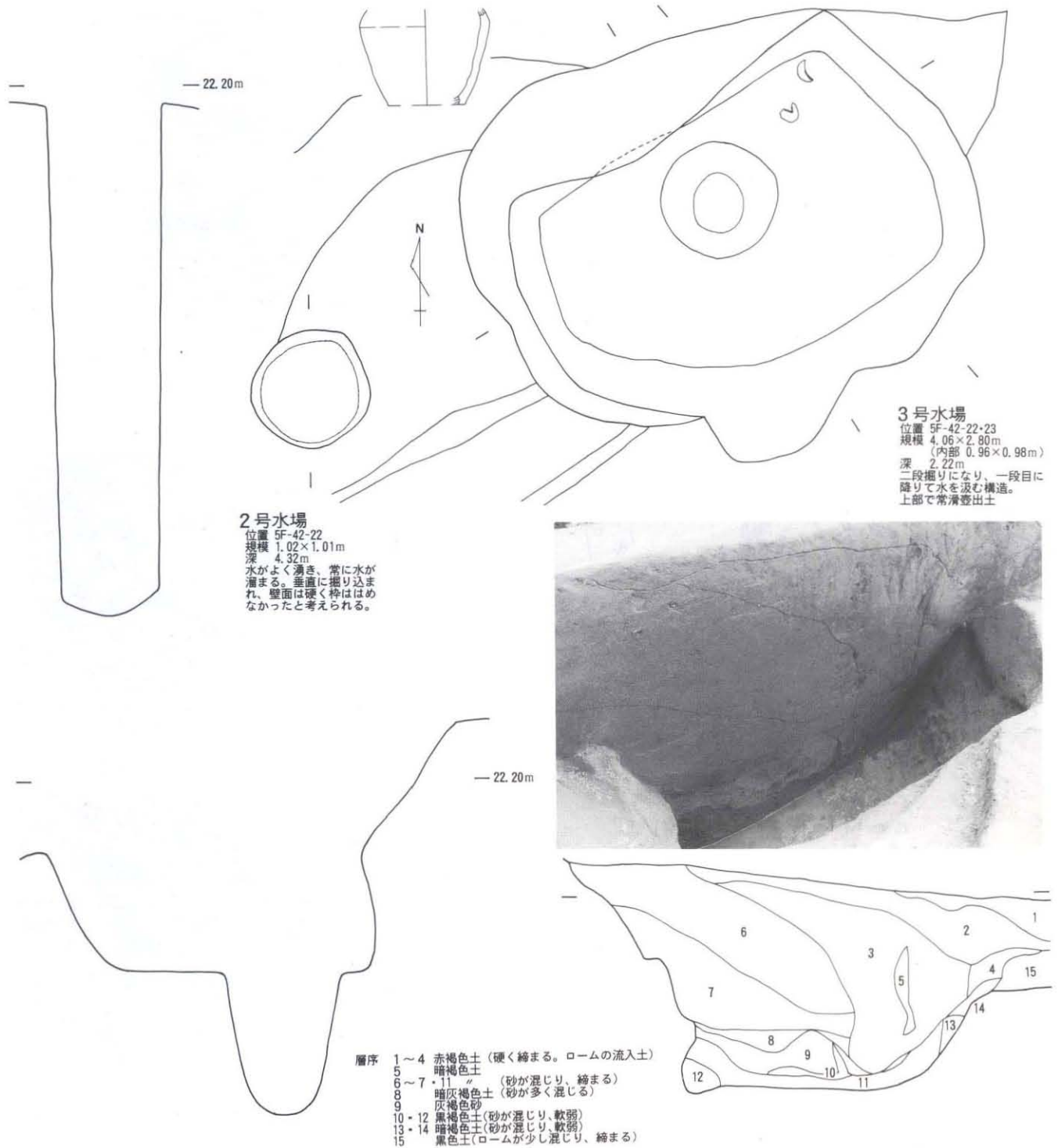


図209 2~3号水場拡大図

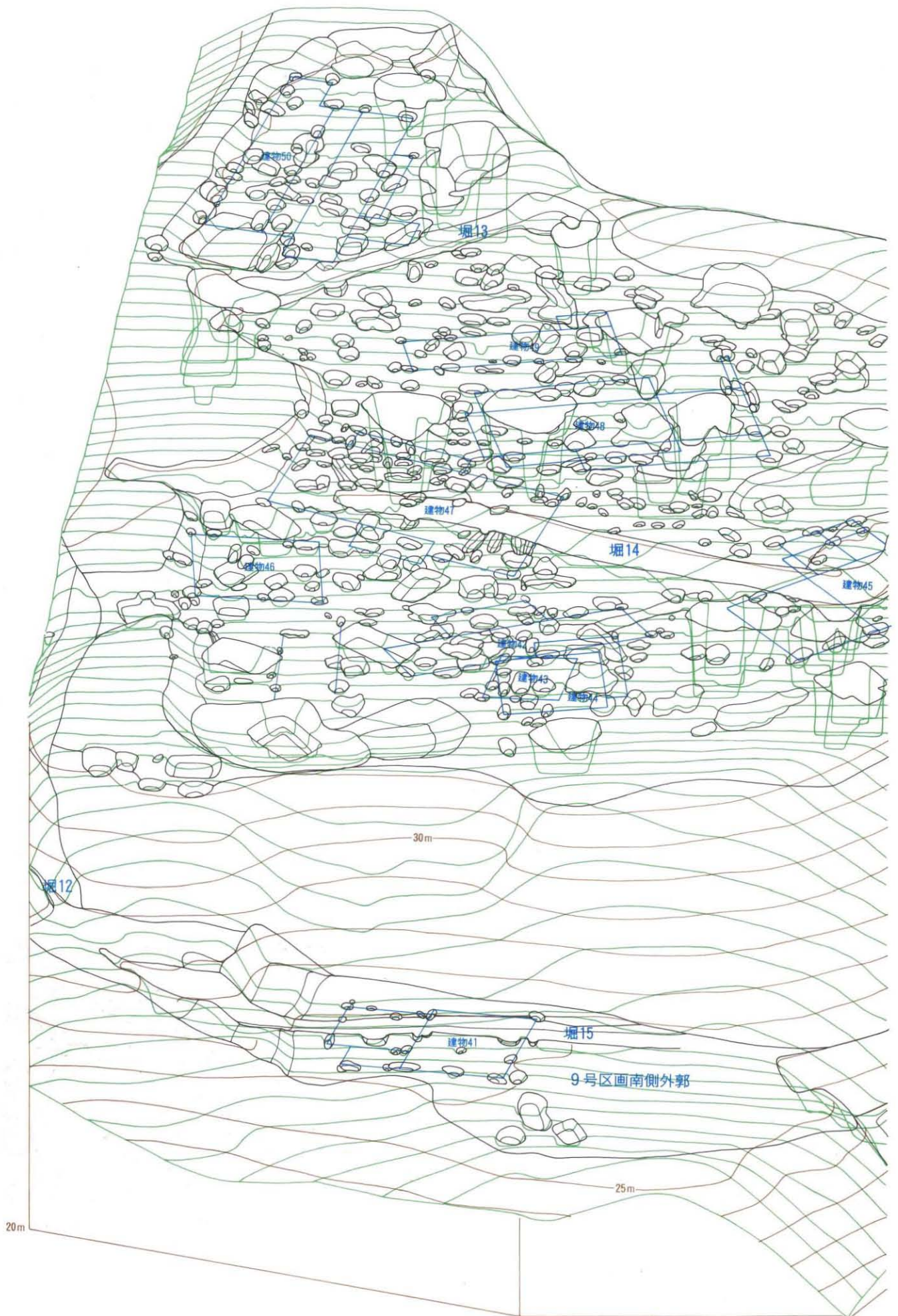


41号建物跡
 位置 5F-42-19・24
 主軸 N-76°-W
 桁行 4間
 梁行 2間
 規模 7.50×4.63m
 柱穴総数 22
 柱穴深さ 0.20~0.35m
 堀に先行して建てられていた

15号堀
 位置 5F-42-18~42-20
 延長 23.0m
 幅 1.0~2.3m
 深 0.5~0.6m
 形態 箱濠研堀
 出土遺物 青磁碗、銭貨
 五輪塔
 12号堀と16号堀とをつなぐ
 41号建物跡の後に掘られる

図210 9号中世区画南部平面図





9号中世区画

位置 5F-32-13~25
5F-42-3~15
規模 東西50.0m 南北57.0m
面積 1740㎡
標高 32.0~34.0m
境界 東・南・北 急傾斜面及び15~17号堀
西 12号堀

区画内遺構
建物跡
地下式坑
方形坑
粘土貼坑
基坑

9棟
18基
6基
3基
1基

城山台地東側を占め、最も大きい区画。区画中央には中規模の14号堀があるが、途中で埋められ、機能なくなり、北行部は残されて堀底道として使われ、出口に木戸門が設置されていた。南から東、及び北側には外郭があり、堀や建物跡を検出した。

出土遺物 青磁碗、白磁皿、瀬戸小皿・平碗、大目茶碗・瓶子・深皿・播鉢、常滑壺・壺・鉢、内耳土鍋、茶釜、カワラカ、石鉢、砥石、火打石、五輪塔、宝篋印塔、鉄釘、火打金切羽、小形鏡、鏡貨

9号区画北側外郭見張台

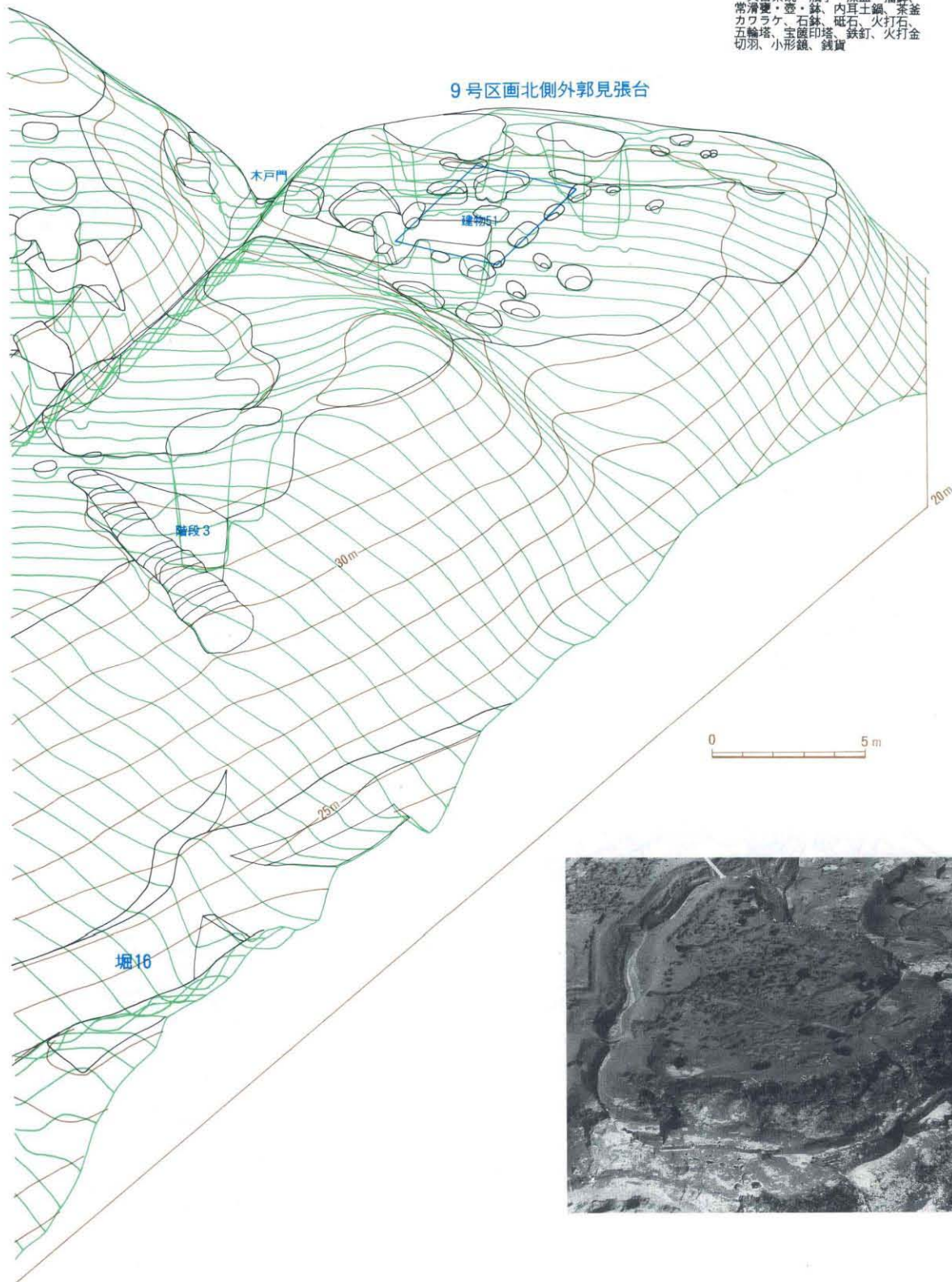


図211 9号中世区画鳥瞰図

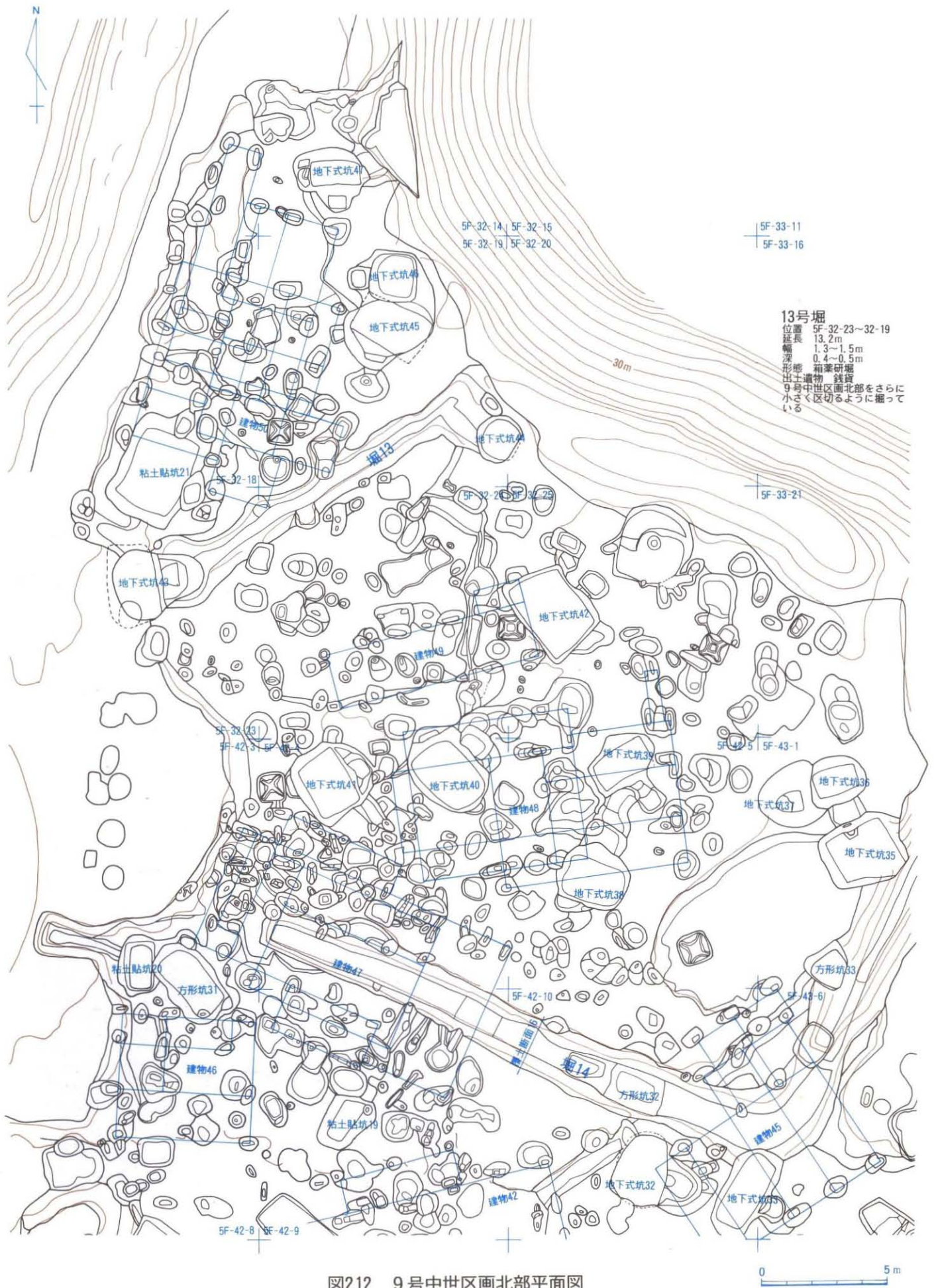
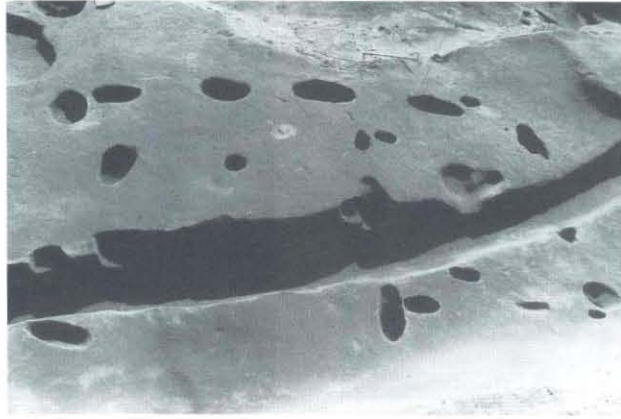
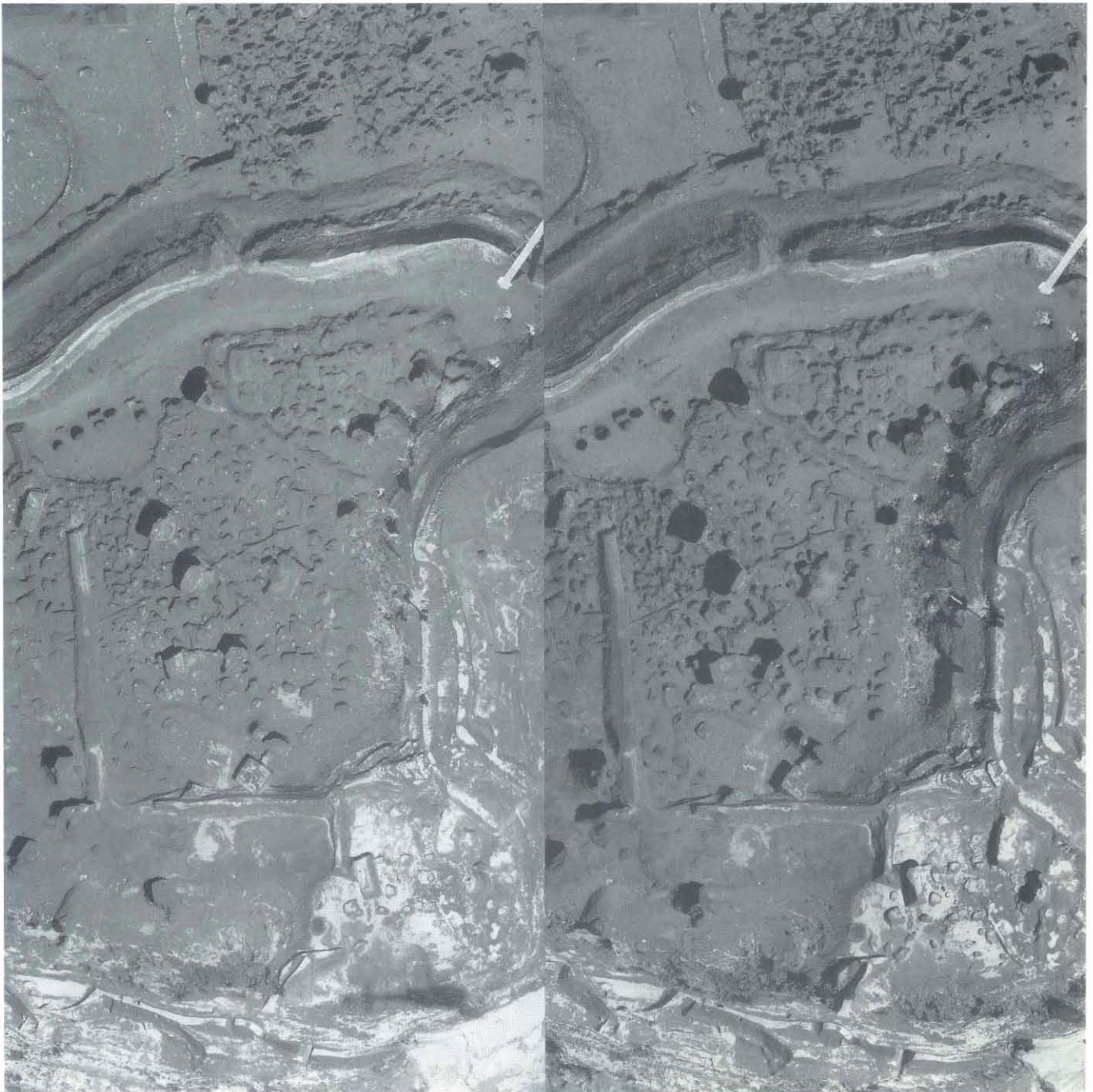


図212 9号中世区画北部平面図



41号建物跡（北側から）



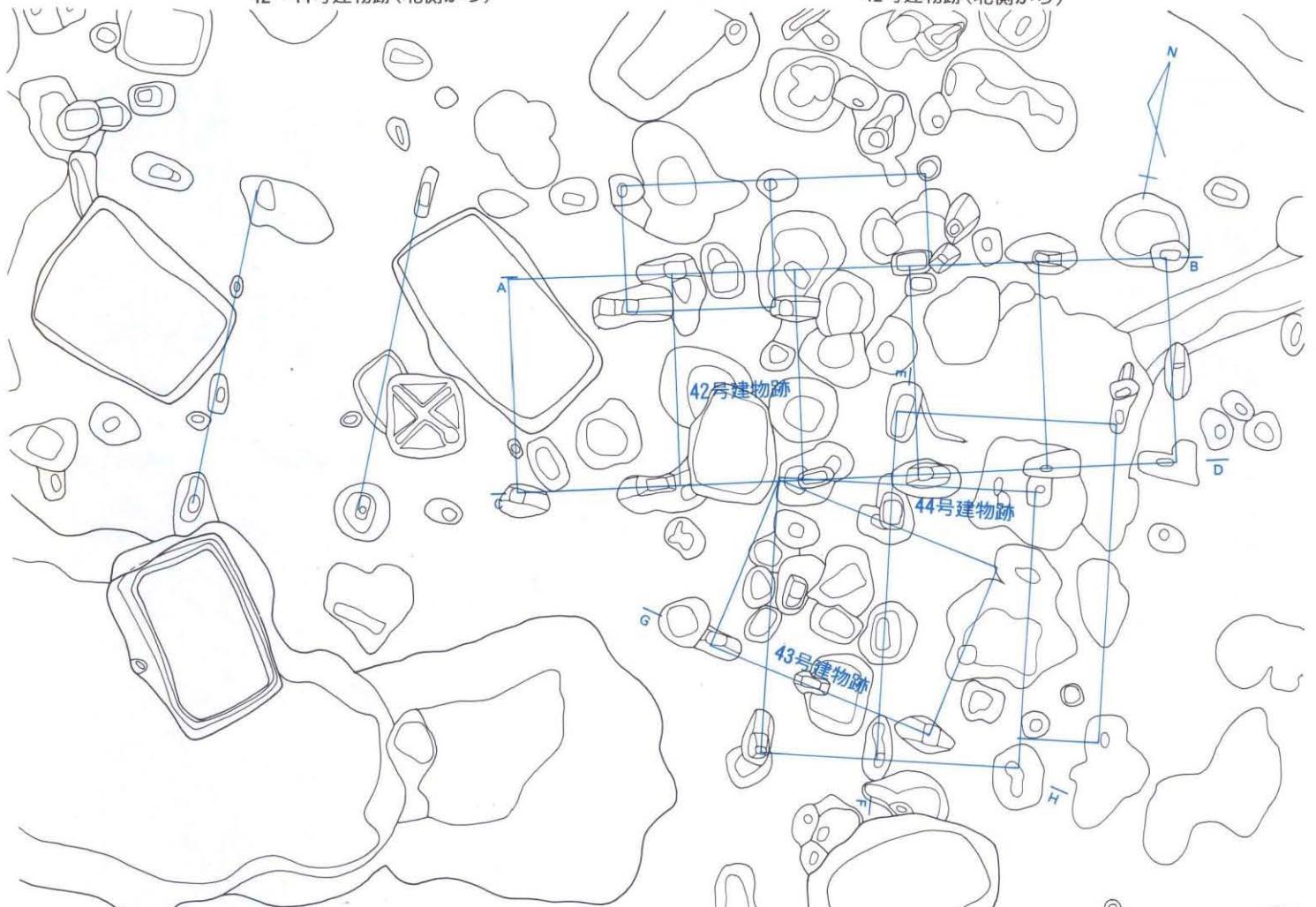
9号中世区画北部立体視写真



42~44号建物跡(北側から)



42号建物跡(北側から)



42号建物跡
 位置 5F-42-9~15
 主軸 N-77°-E
 桁行 5間
 梁行 3間
 規模 10.10×4.35m
 柱穴総数 18
 柱穴深さ 0.40~0.60m

43号建物跡
 位置 5F-42-14
 主軸 N-74°-W
 桁行 2間
 梁行 2間
 規模 3.60×2.65m
 柱穴総数 7
 柱穴深さ 0.45~0.55m

44号建物跡
 位置 5F-42-14~15
 主軸 N-5°-W
 桁行 3間
 梁行 3間
 規模 5.20×5.05m
 柱穴総数 12
 柱穴深さ 0.30~0.50m

A

B 33.00m

E

F

C

D G 33.00m

H

図213 42~44号建物跡拡大図





45号建物跡(西側から)



3号階段跡

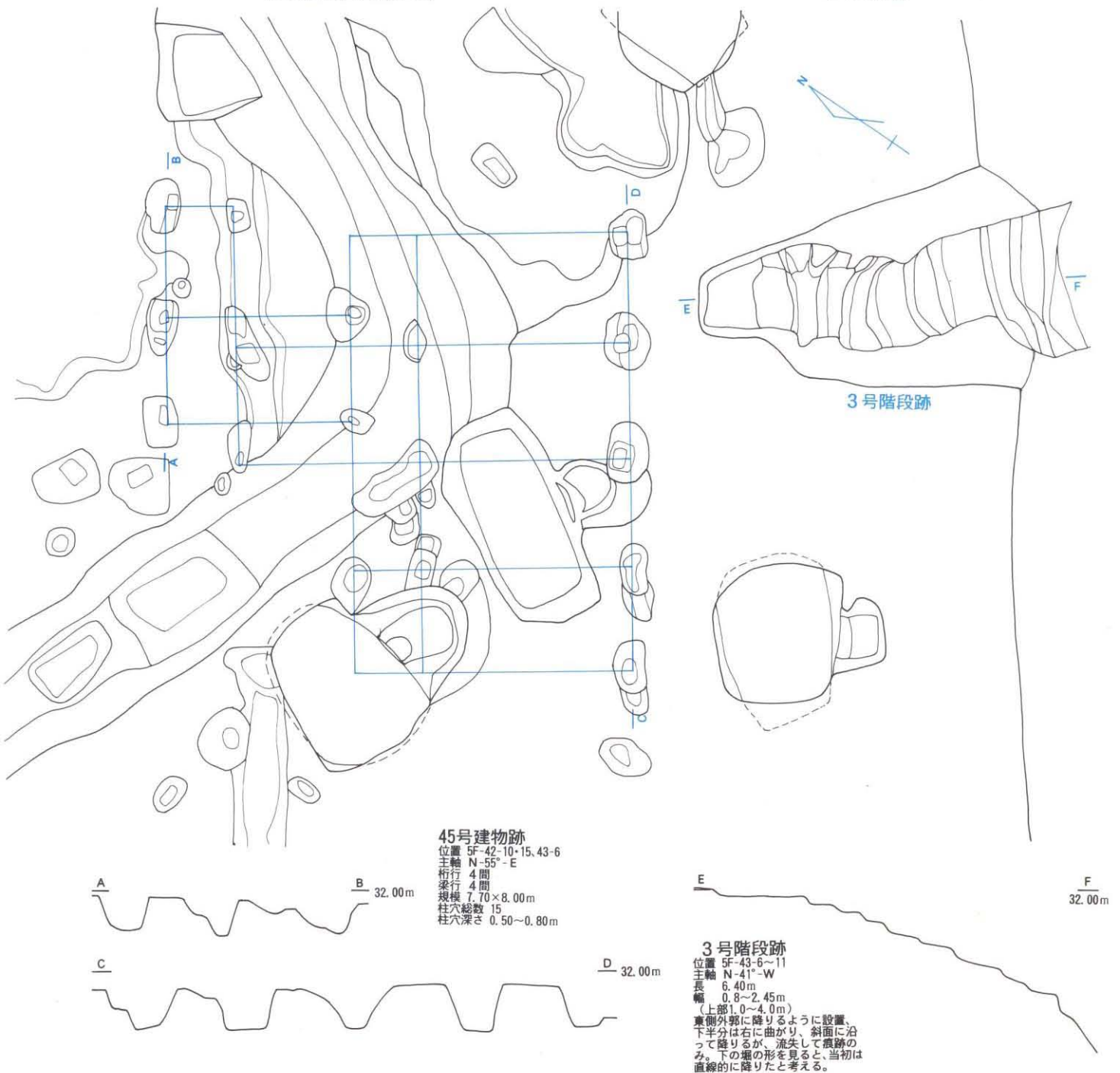
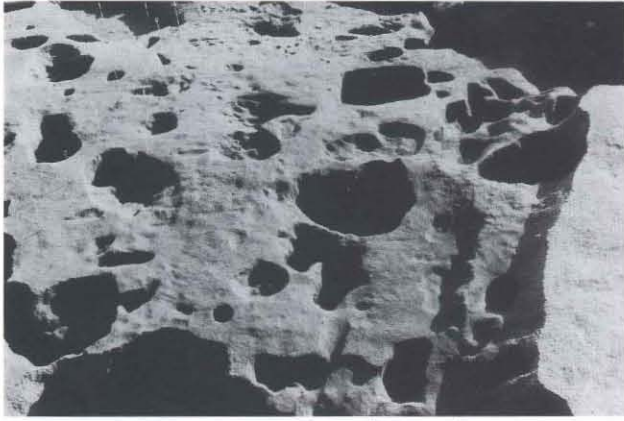


図214 45号建物跡、3号階段跡拡大図

0 2m



46号建物跡（北側から）



47号建物跡

46号建物跡

位置 5F-42-8
 主軸 N-1°-W
 桁行 4間
 梁行 3間
 規模 5.34×4.90m
 柱穴総数 15
 柱穴深さ 0.30~1.15m

47号建物跡

位置 5F-42-3~9
 主軸 N-64°-W
 桁行 9間
 梁行 4間
 規模 11.80×8.10m
 柱穴総数 36
 柱穴深さ 0.30~0.70m
 14号壺を埋めた後に建てられる

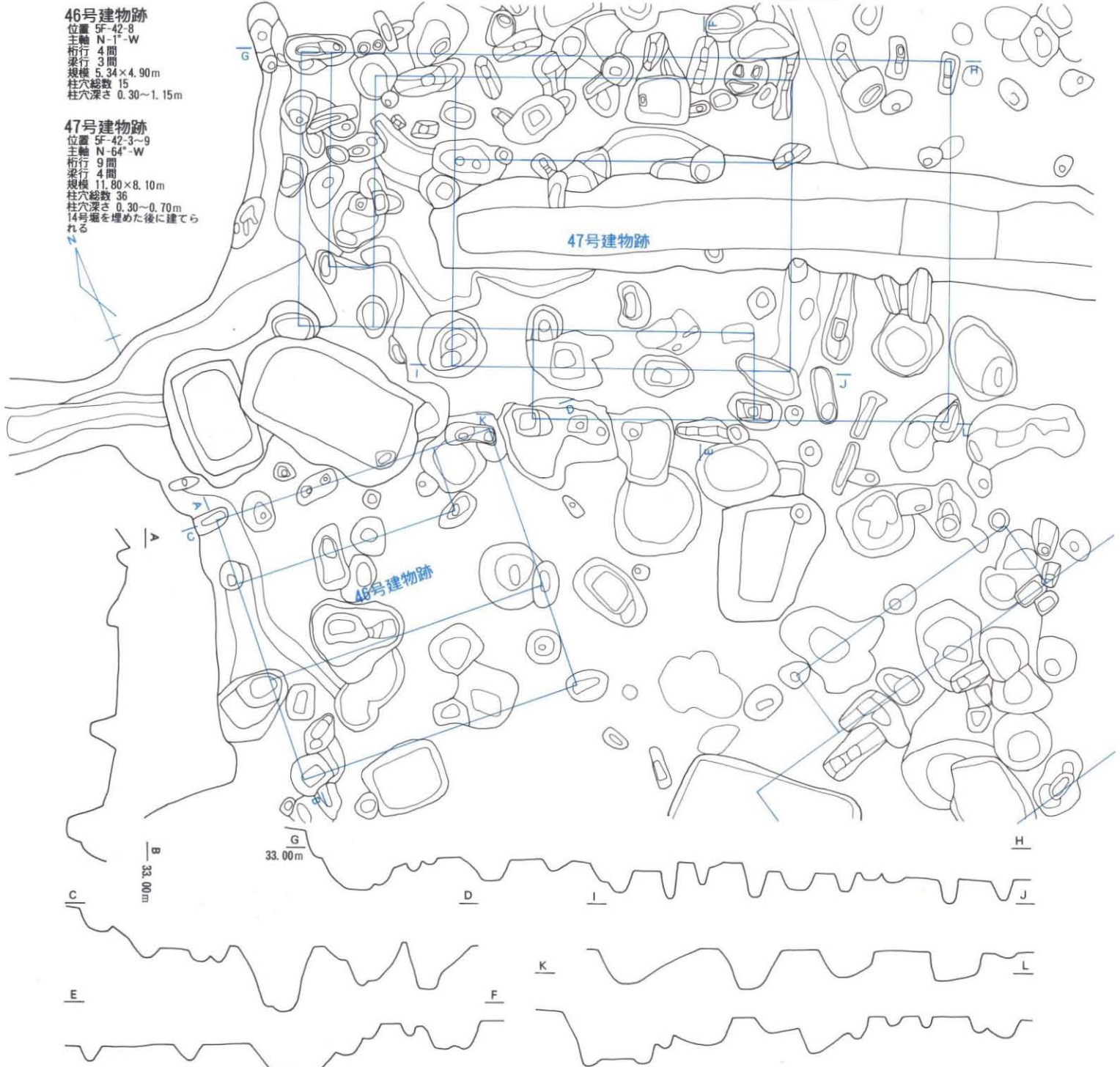


図215 46~47号建物跡拡大図

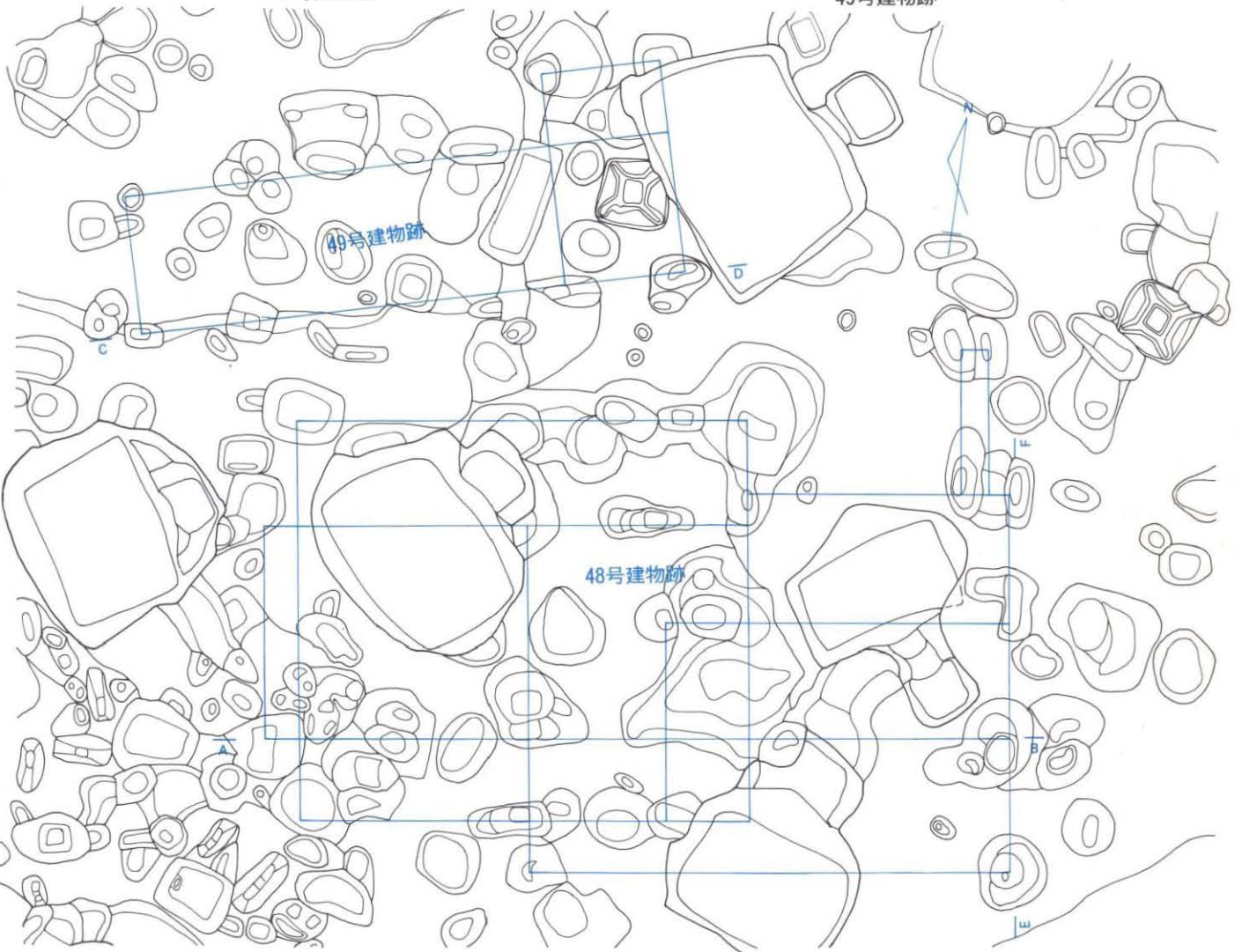
0 2m



48号建物跡



49号建物跡



B
33.00m

48号建物跡
位置 5F-42-4~5
主軸 N-85°-E
桁行 6間
梁行 4間
規模 11.35×6.75m
柱穴総数 24
柱穴深さ 0.50~0.85m

49号建物跡
位置 5F-32-24
主軸 N-75°-E
桁行 5間
梁行 2間
規模 8.25×3.20m
柱穴総数 11
柱穴深さ 0.30~0.50m

A

C

D

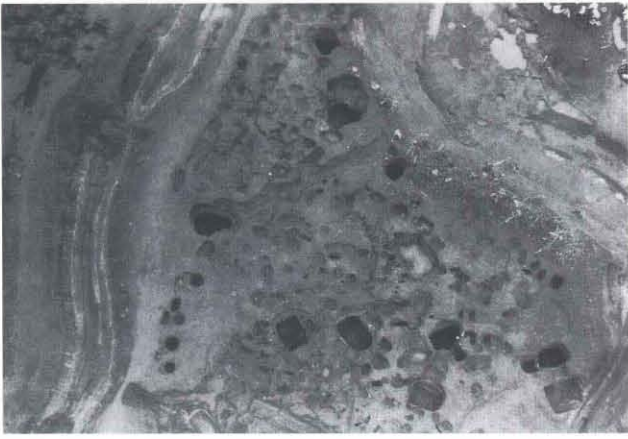
F

33.00m

E

図216 48~49号建物跡拡大図

0 2m



50号建物跡

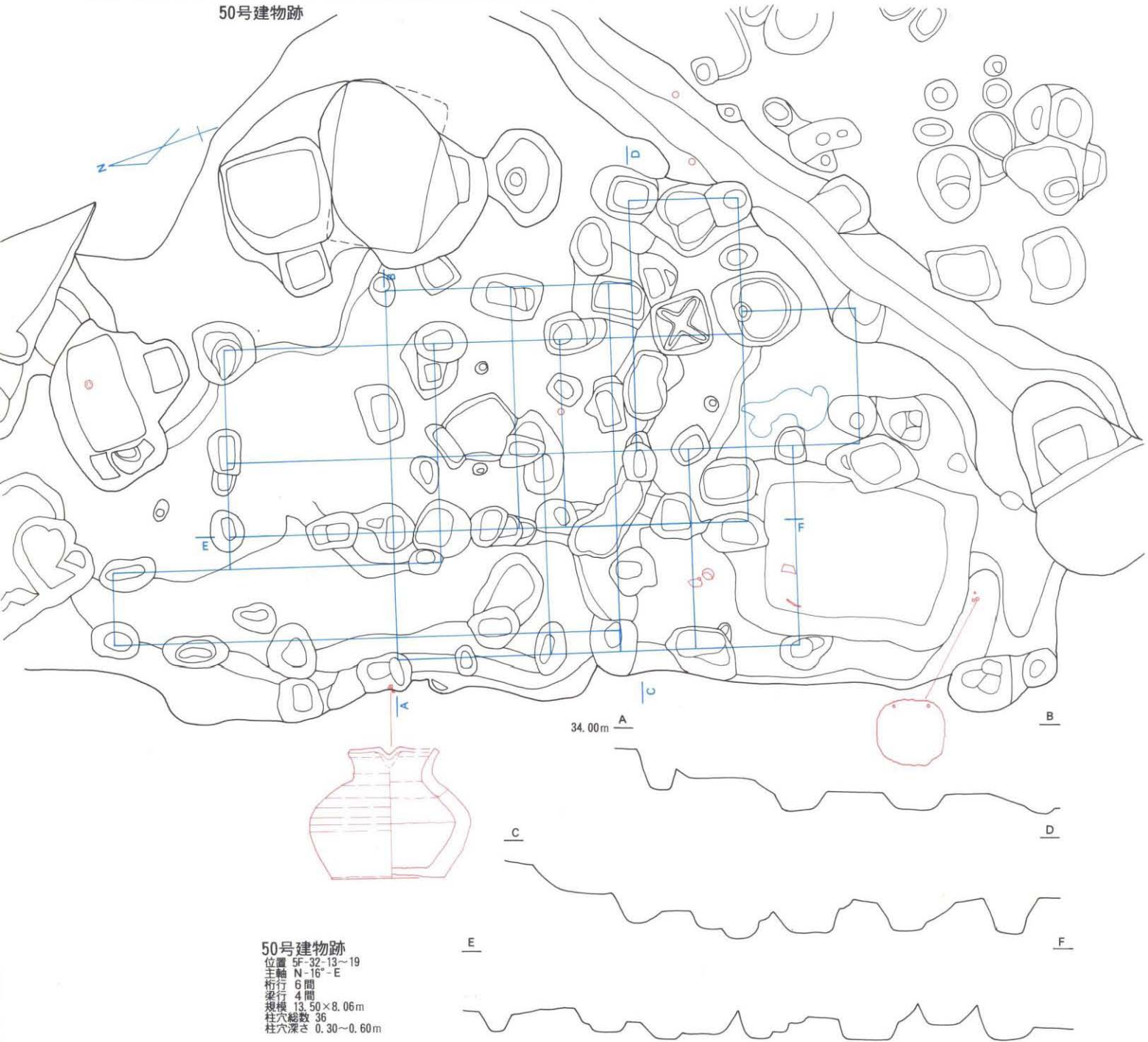


図217 50号建物跡拡大図

0 2m



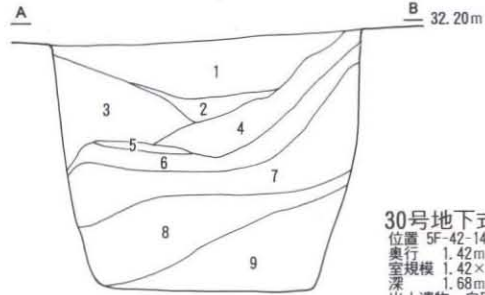
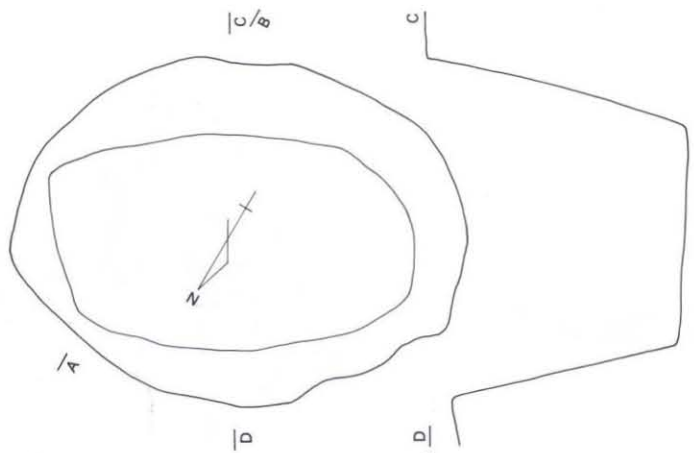
カワラケ出土状態
(5F-42-3)



常滑蔦口壺出土状態
(5F-32-18)



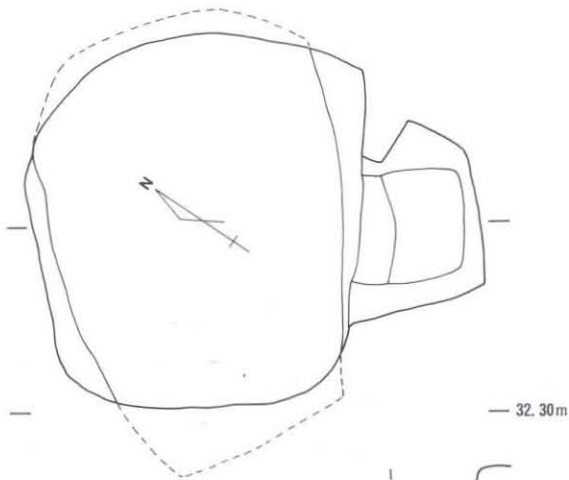
瀬戸小皿出土状態
(5F-32-19)



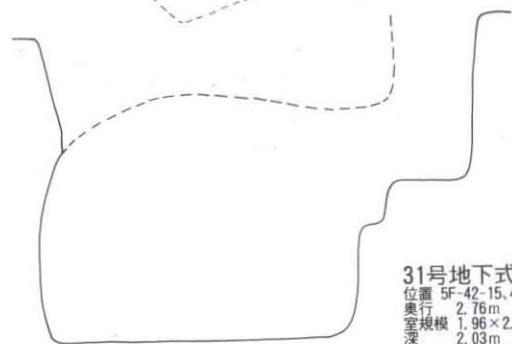
30号地下式坑

位置 5F-42-14~15
 奥行 1.42m
 室規模 1.42×2.42m
 深 1.68m
 出土遺物 白磁皿、常滑甕
 内耳土鍋、茶臼
 竪坑は中央部直上にあつたと考える

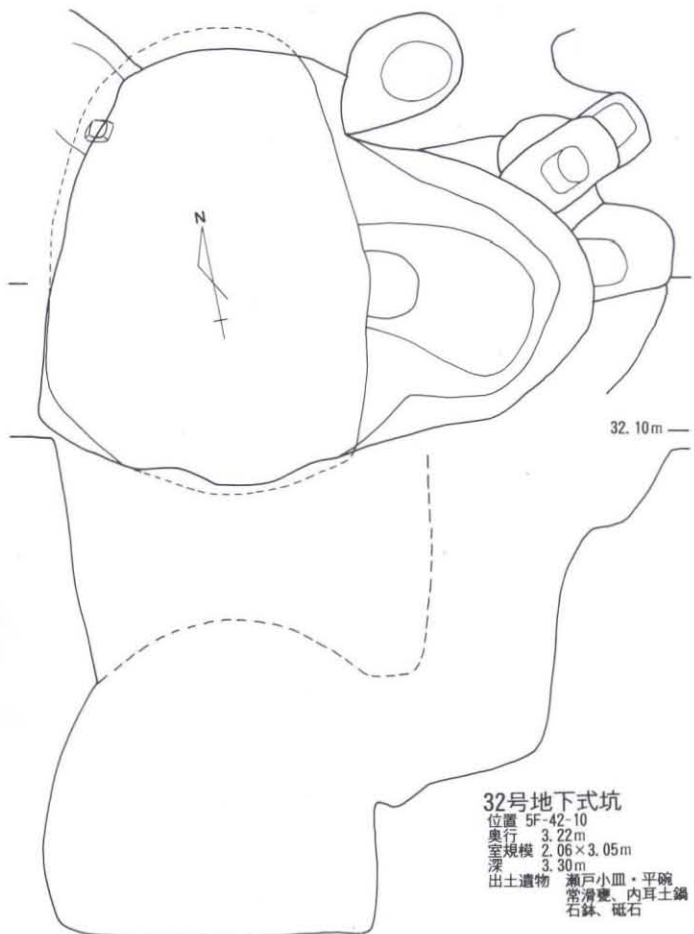
- 層序 1・8~9 褐色土層群 (ロームが多く混じる)
 3・7 (天井部崩落土)
 2・4~6 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じる)



— 32.30m



31号地下式坑
 位置 5F-42-15.43-11
 奥行 2.76m
 室規模 1.96×2.92m
 深 2.03m
 出土遺物 銭貨



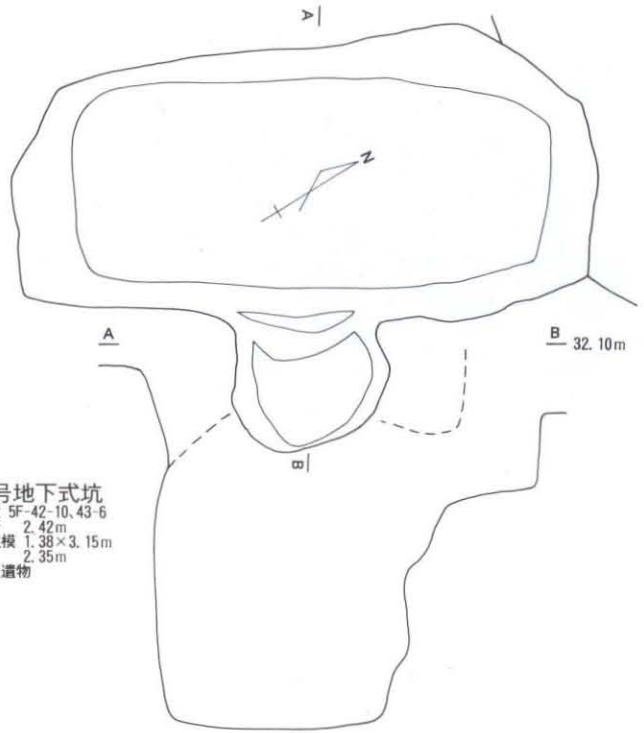
— 32.10m

32号地下式坑

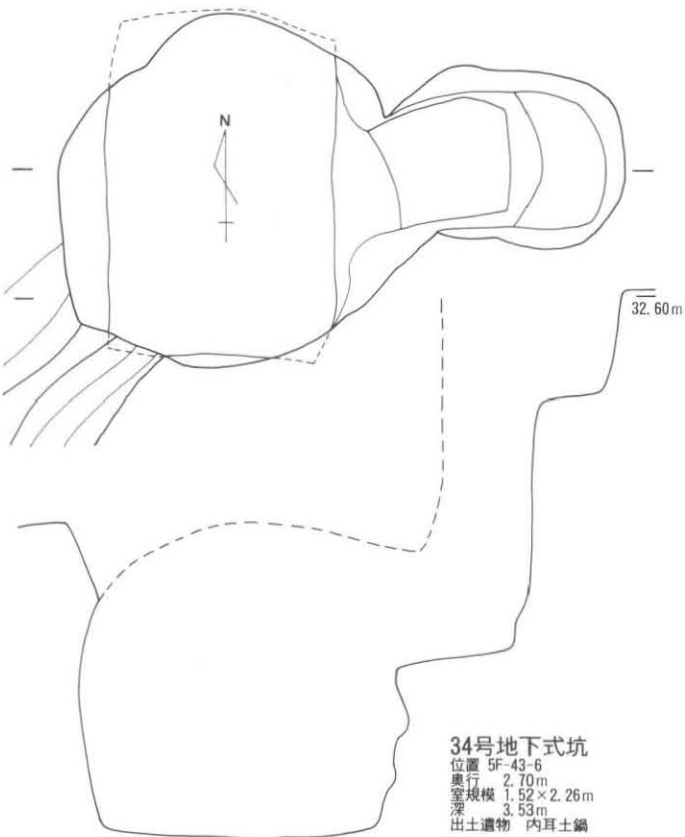
位置 5F-42-10
 奥行 3.22m
 室規模 2.06×3.05m
 深 3.30m
 出土遺物 瀬戸小皿・平碗
 常滑甕、内耳土鍋
 石鉢、磁石

0 1m

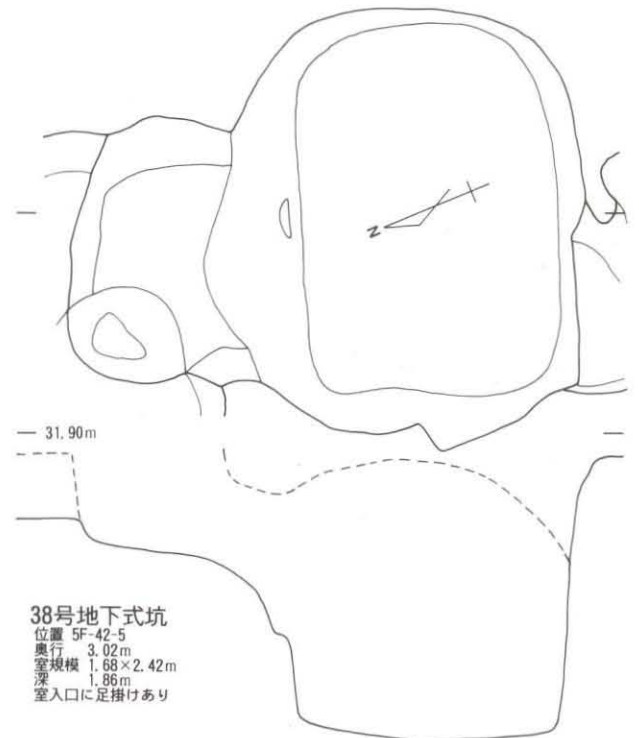
図218 30~32号地下式坑拡大図



33号地下式坑
 位置 5F-42-10、43-6
 奥行 2.42m
 室規模 1.38×3.15m
 深 2.35m
 出土遺物



34号地下式坑
 位置 5F-43-6
 奥行 2.70m
 室規模 1.52×2.26m
 深 3.53m
 出土遺物 内耳土鍋



38号地下式坑
 位置 5F-42-5
 奥行 3.02m
 室規模 1.68×2.42m
 深 1.86m
 室入口に足掛けあり

図219 33~34・38号地下式坑拡大図





36号地下式坑
 位置 5F-43-1
 奥行 1.82m
 室規模 1.05×1.60m
 深 2.50m
 室入口に足掛けが3段掘り込んで設置している

35号地下式坑
 位置 5F-43-1
 奥行 3.20m
 室規模 2.10×2.43m
 深 1.85m
 天井部は板葺きであったと推定する。室入口の足掛けは削り出しと掘り込みがある。竪坑は36号坑と共有する。

37号地下式坑
 位置 5F-43-1
 奥行 3.72m
 室規模 2.88×3.36m
 深 2.56m
 天井部が残存

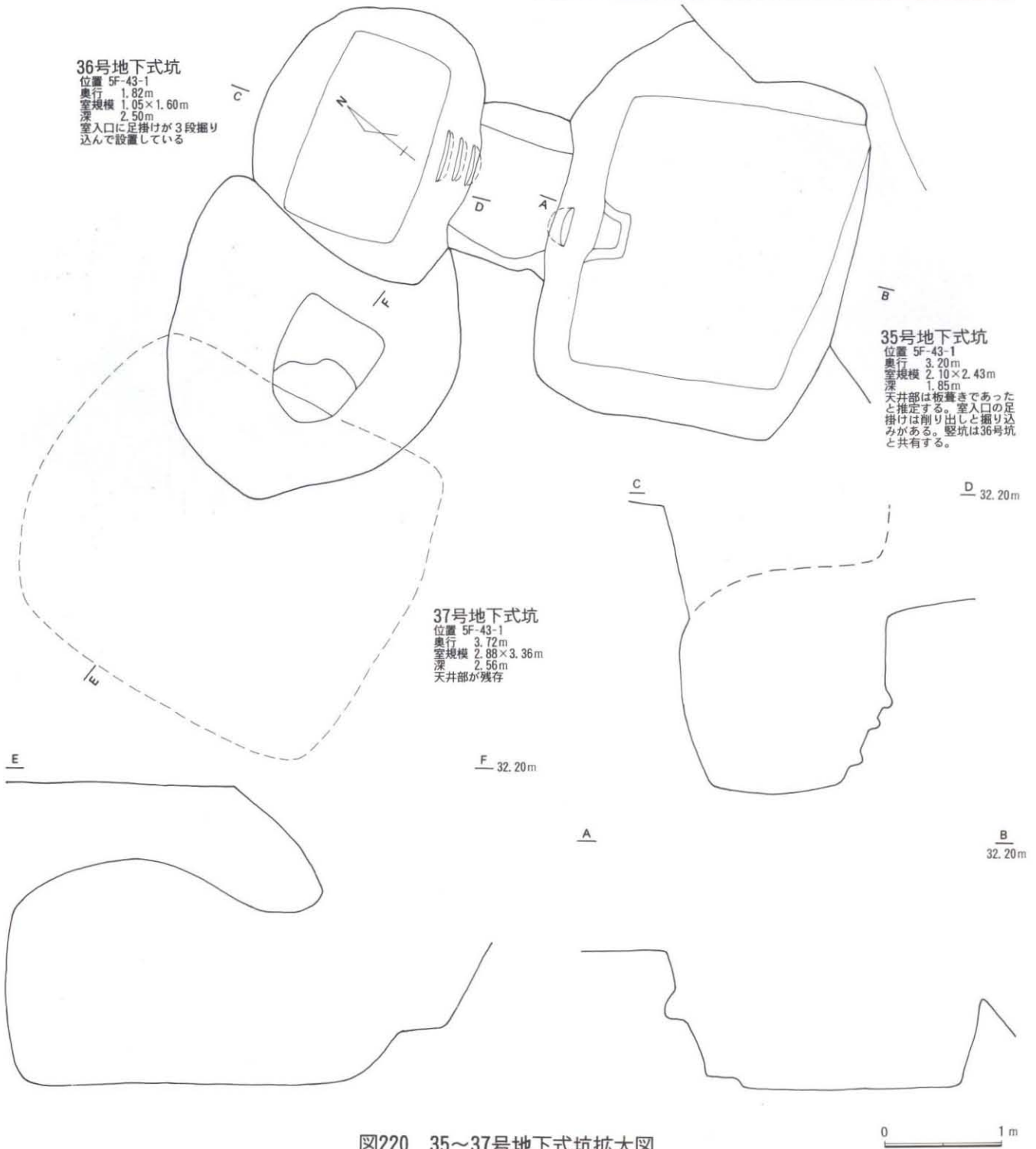


図220 35~37号地下式坑拡大図

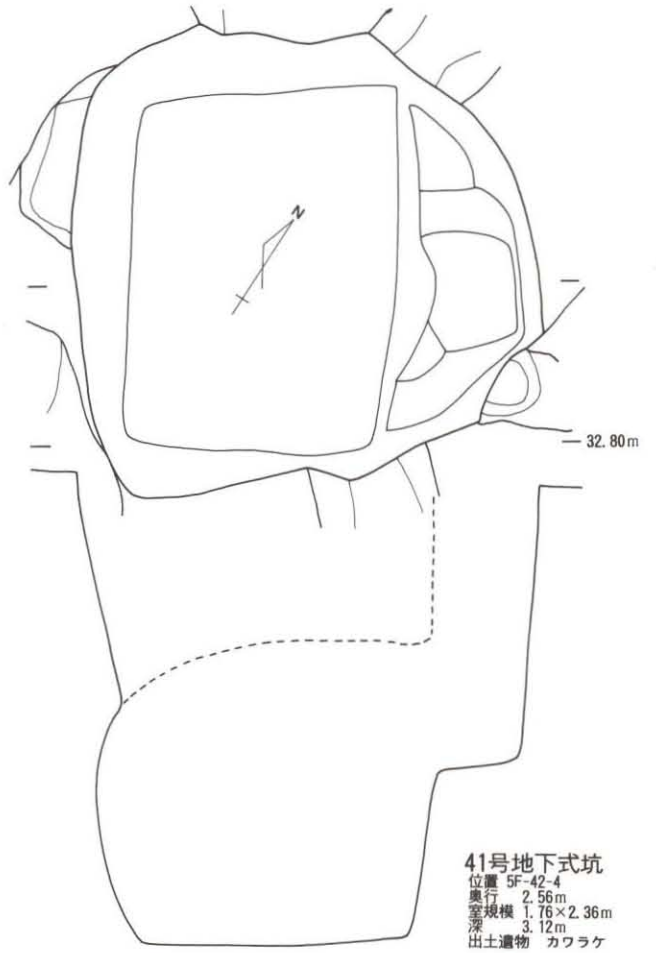
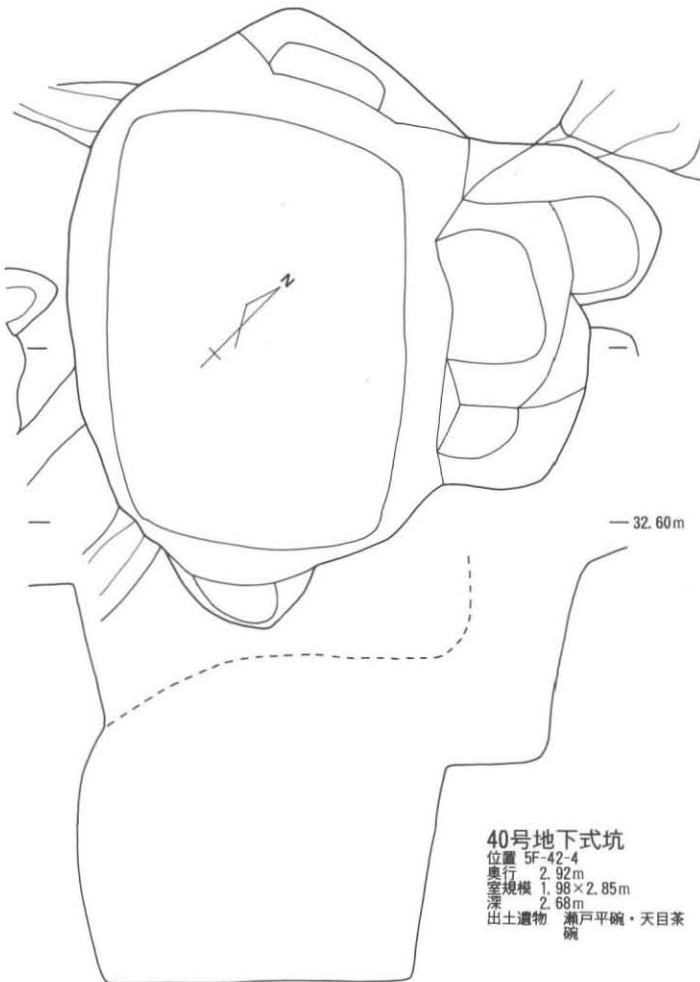
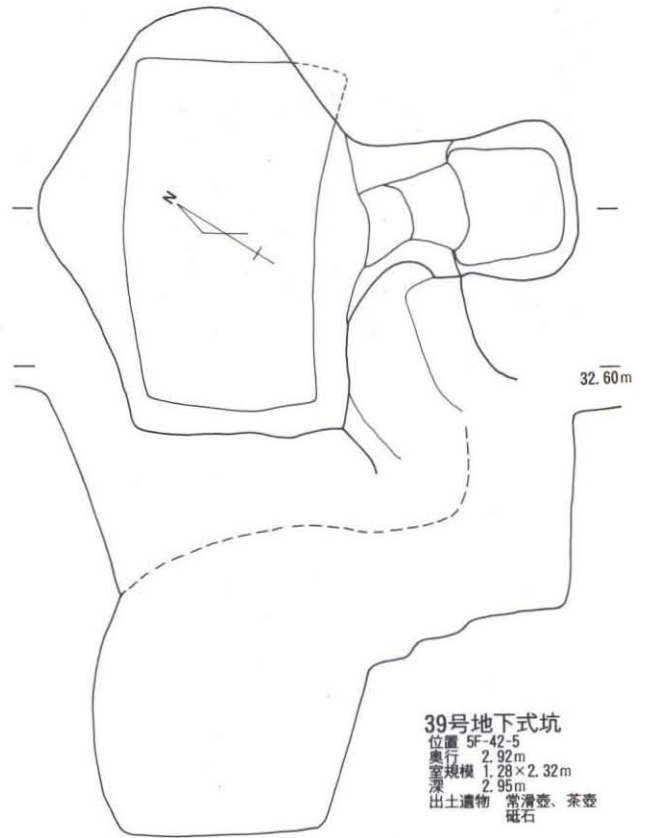
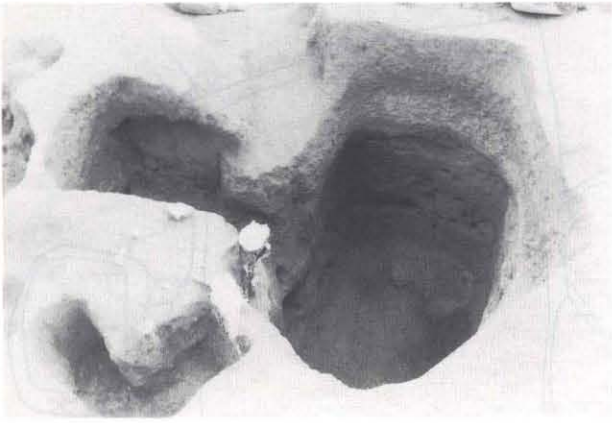
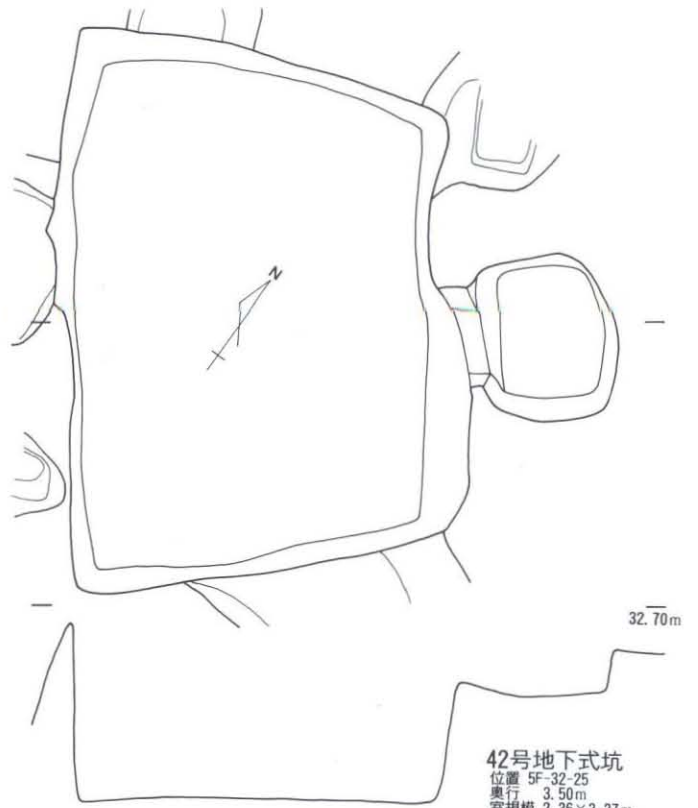
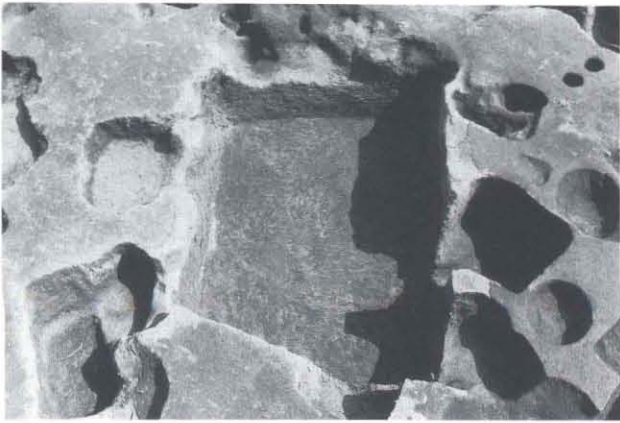
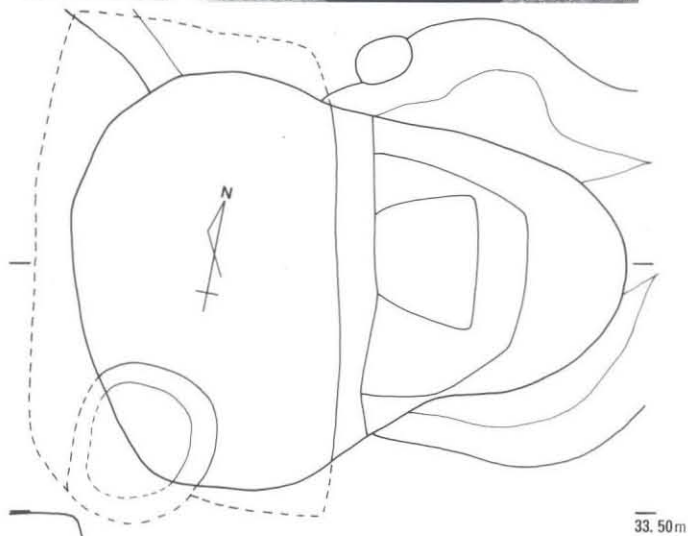


図221 39~41号地下式坑拡大図

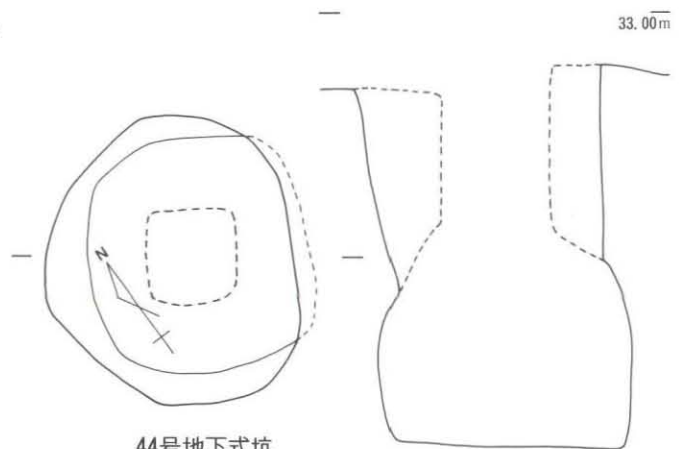
0 1m



42号地下式坑
 位置 5F-32-25
 奥行 3.50m
 室規模 2.36×3.37m
 深 1.18m
 天井が板葺きの地下式坑であつたと考える



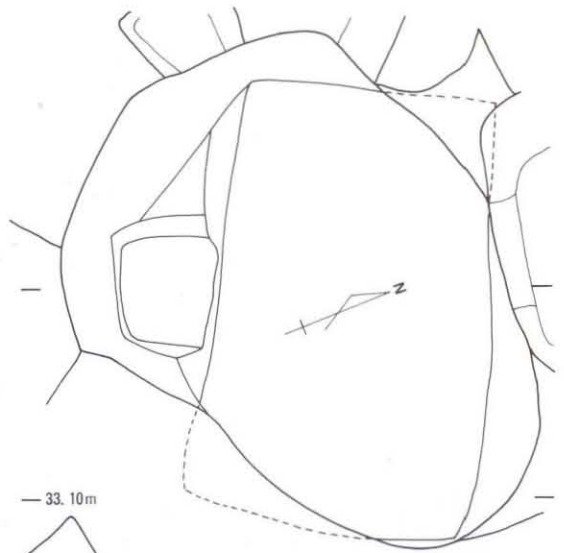
43号地下式坑
 位置 5F-32-23
 奥行 2.92m
 室規模 2.00×3.10m
 深 3.68m
 出土遺物 瀬戸小皿、常滑甕、内耳土鍋、五輪塔



44号地下式坑
 位置 5F-32-19-20
 奥行 1.36m
 室規模 1.36×1.56m
 深 2.52m
 竪坑は中央部直上にあることが調査時に確認した

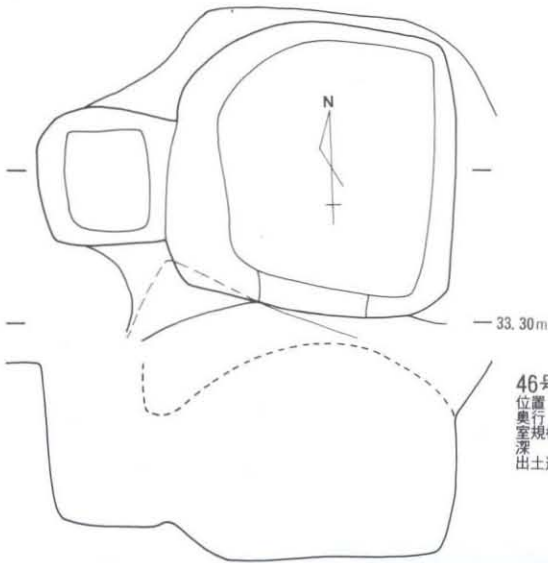
図222 42～44号地下式坑拡大図





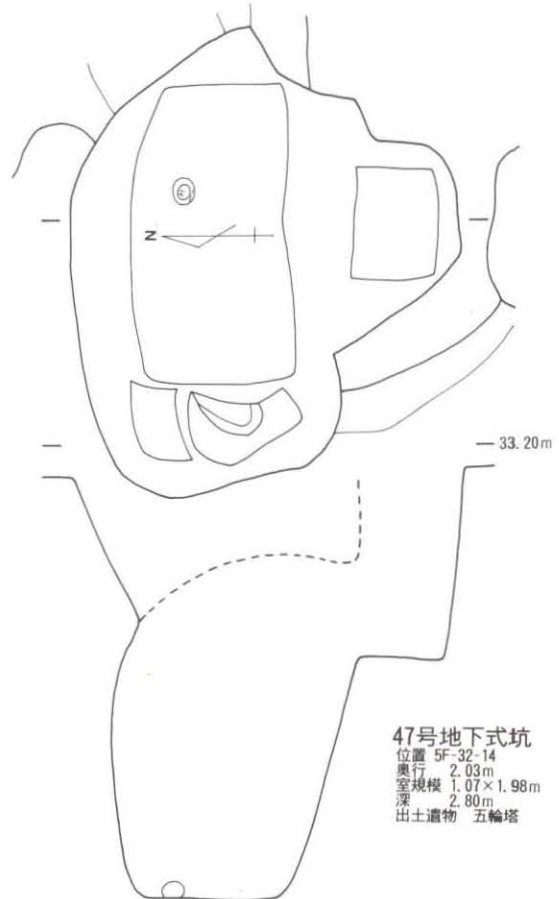
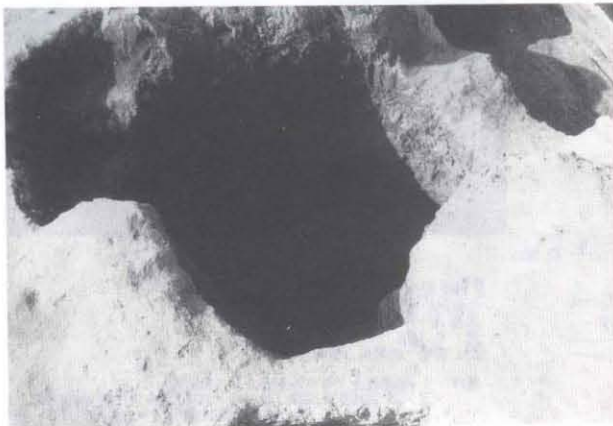
— 33.10m

45号地下式坑
 位置 5F-32-19
 奥行 2.45m
 室規模 1.82×2.93m
 深 2.85m
 出土遺物 瀬戸小皿



— 33.30m

46号地下式坑
 位置 5F-32-19
 奥行 2.47m
 室規模 1.45×1.65m
 深 1.35m
 出土遺物

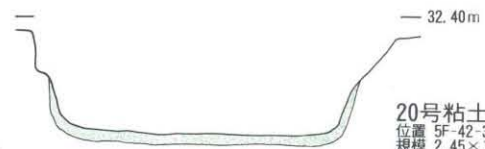
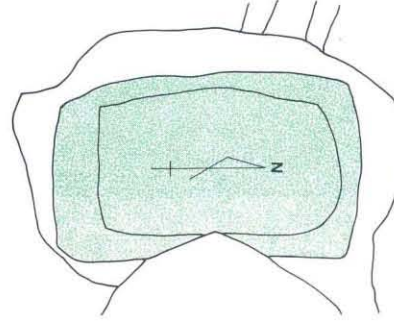
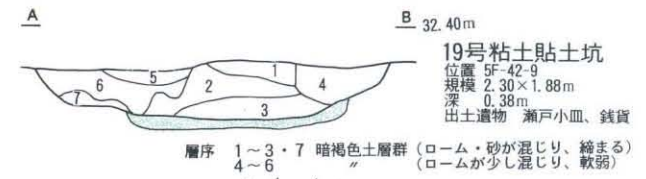
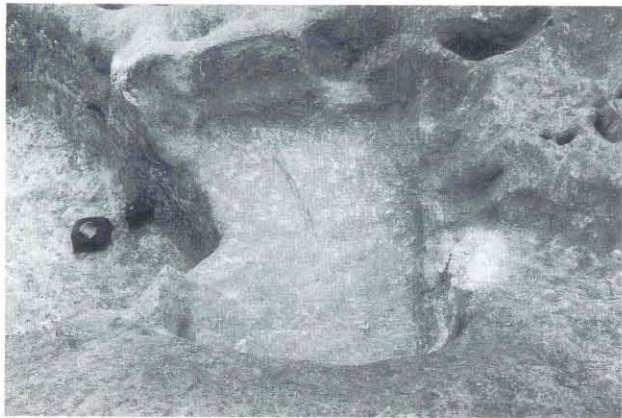
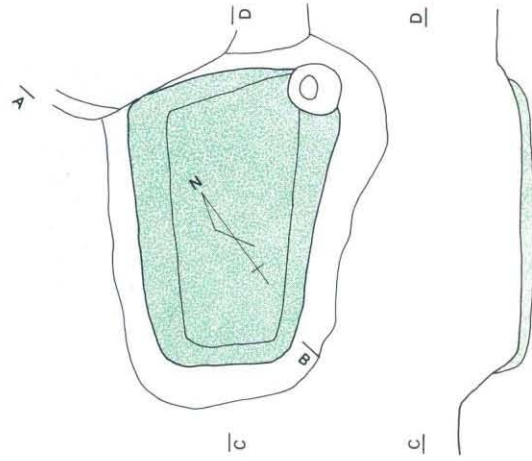
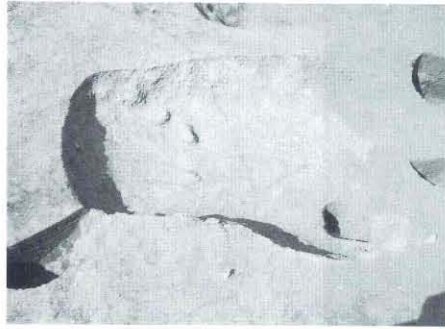


— 33.20m

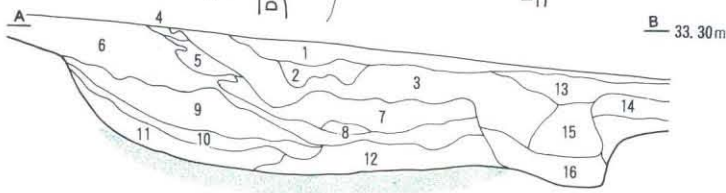
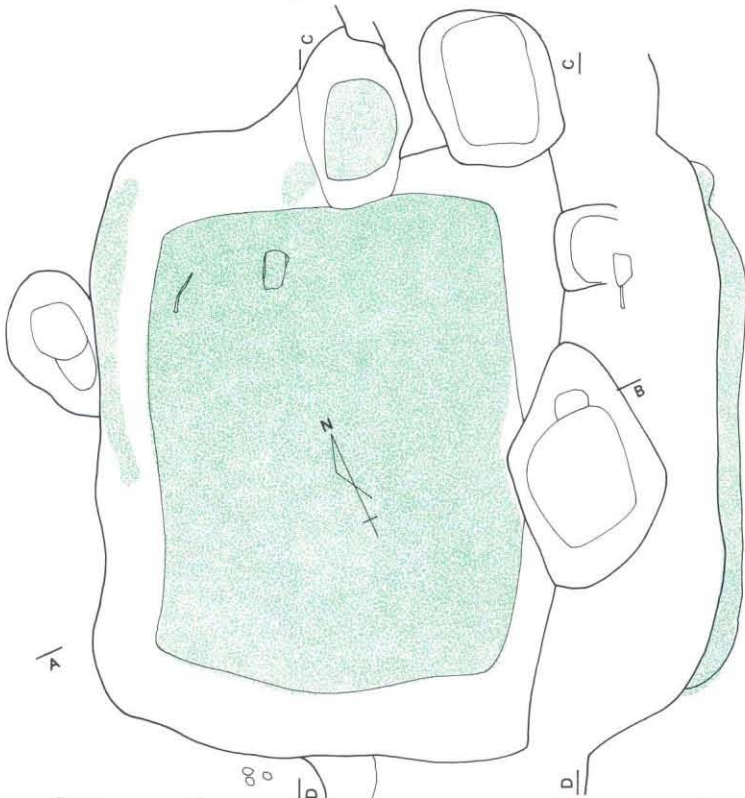
47号地下式坑
 位置 5F-32-14
 奥行 2.03m
 室規模 1.07×1.98m
 深 2.80m
 出土遺物 五輪塔

0 1m

图223 45~47号地下式坑拡大図



20号粘土貼土坑
 位置 5F-42-3-8
 規模 2.45×1.66m
 深 0.63m
 出土遺物 内耳土鍋、砥石
 銭貨

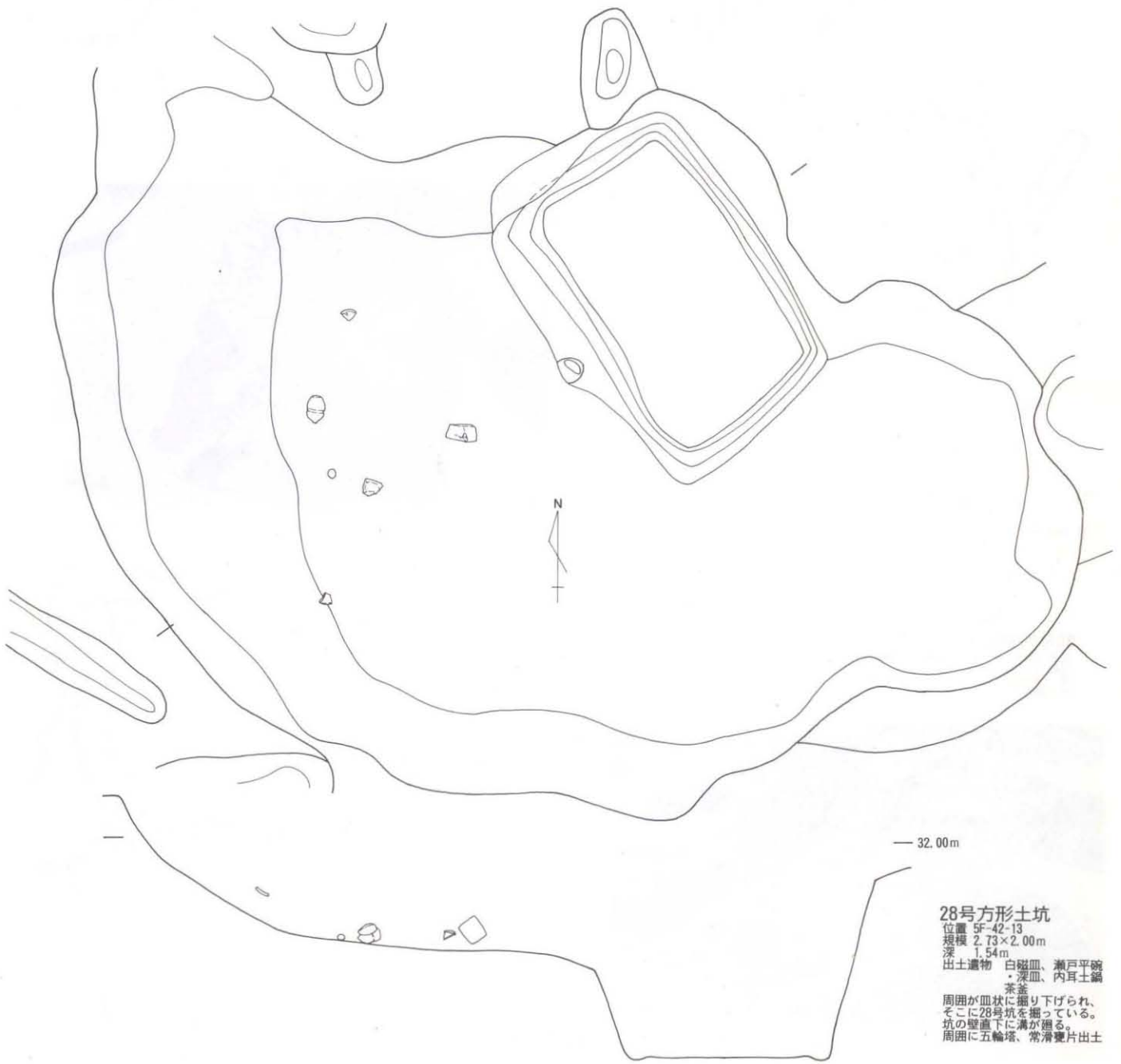


21号粘土貼土坑
 位置 5F-32-18-23
 規模 4.13×3.14m
 深 0.74m
 出土遺物 鉄製品、板破片

層序 1 暗褐色土 (ロームが混じり、軟弱)
 2・16 暗褐色土層群 (ローム・黒砂(宝永火山灰)が混じり、締まる)
 3~5・9~11・13~14 暗褐色土層群 (ロームが混じり、締まる)
 7~8・15 暗褐色土層群 (ローム・粘土が混じり、少し軟弱)
 6・12 暗褐色土層群 (ローム・粘土が混じり、少し締まる)

0 1m

図224 19~21号粘土貼土坑拡大図



28号方形土坑
 位置 5F-42-13
 規模 2.73×2.00m
 深 1.54m
 出土遺物 白磁皿、瀬戸平碗
 ・深皿、内耳土鍋
 茶釜
 周囲が皿状に掘り下げられ、
 そこに28号坑を掘っている。
 坑の壁直下に溝が通る。
 周囲に五輪塔、常滑甕片出土

図225 28号方形土坑拡大図

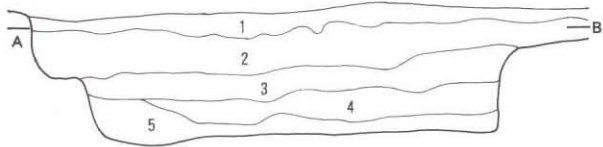
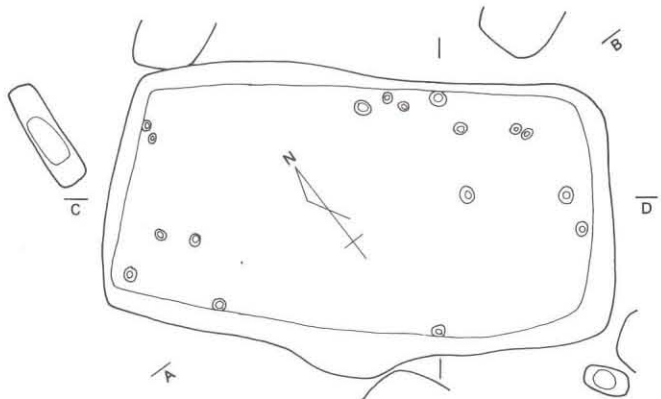
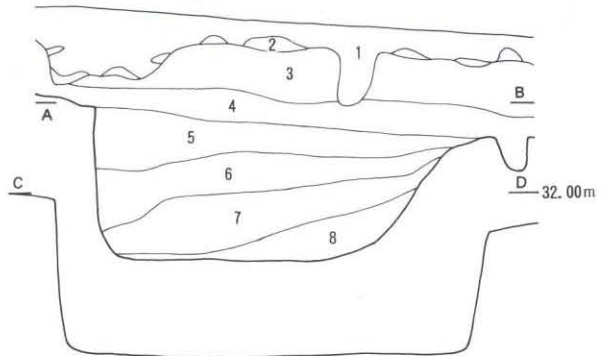
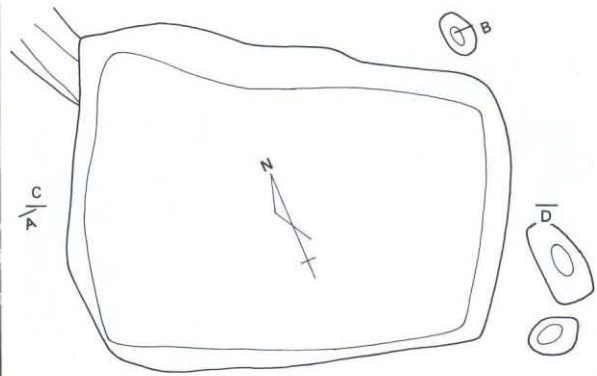
0 1m



29号方形土坑

位置 5F-42-8-13
規模 2.90×2.30m
深 1.05m

- 層序
- 1 暗褐色土（ローム・砂が混じり、軟弱）
 - 2 黒色砂（宝永火山灰）
 - 3～5・8 暗褐色土層群（ロームが混じり、締まる）
 - 6 黒褐色土（ロームが多く混じり、締まる）
 - 7 褐色土（ロームが多く混じり、締まる）

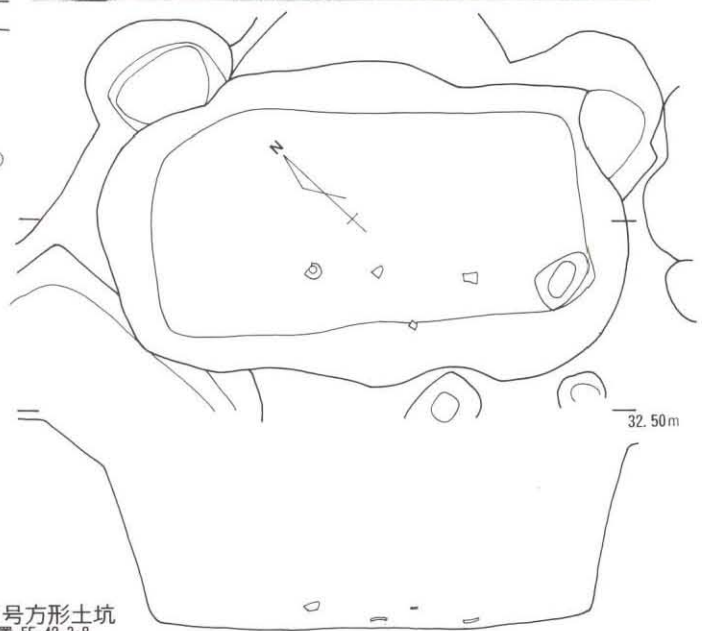


30号方形土坑

位置 5F-42-9-14
規模 3.40×1.80m
深 0.52m

- 層序
- 1 暗褐色土（ローム・黒色砂（宝永火山灰）が混じり、軟弱）
 - 2～4 暗褐色土層群（ロームが混じり、締まる）
 - 5 褐色土（ロームが混じり、硬く締まる）

出土遺物



31号方形土坑

位置 5F-42-3-8
規模 3.45×2.00m
深 1.35m

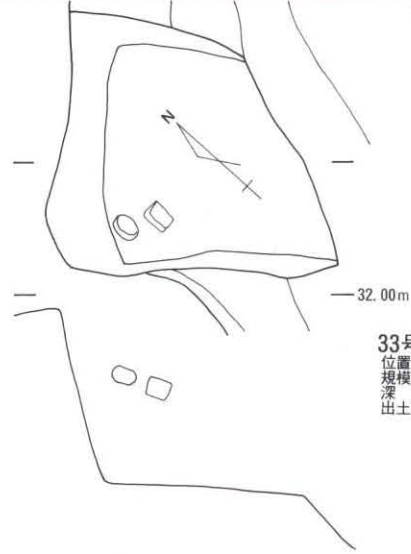
出土遺物 土師杯、砥石

図226 29～31号方形土坑拡大図

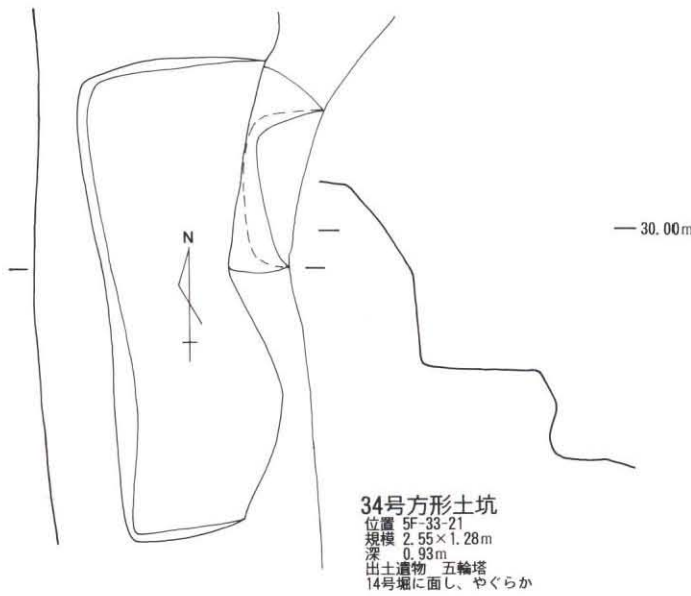




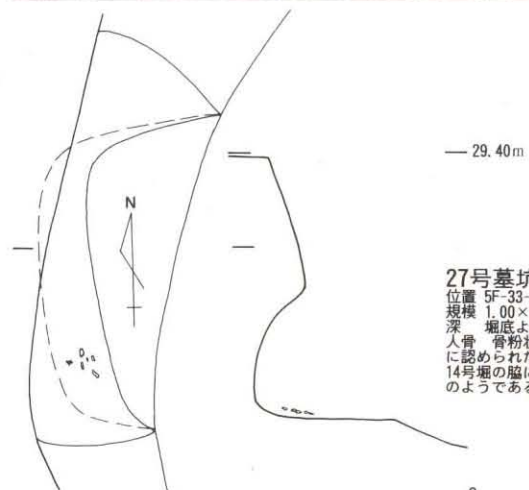
32号方形土坑
 位置 5F-42-10
 規模 2.32×1.63m
 深 1.35m
 出土遺物 瀬戸小皿・瓶子
 常滑甕
 14号堀を埋める際に残して
 土坑とした



33号方形土坑
 位置 5F-43-1-6
 規模 1.45×1.56m
 深 1.15m
 出土遺物 茶釜、五輪塔



34号方形土坑
 位置 5F-33-21
 規模 2.55×1.28m
 深 0.93m
 出土遺物 五輪塔
 14号堀に面し、やくらか



27号墓坑
 位置 5F-33-21
 規模 1.00×0.65m
 深 堀底より+0.10m
 人骨 骨粉状になってわずかに認められた
 14号堀の堀に掘られ、やくらか
 のようである



図227 32~34号方形土坑、27号墓坑拡大図

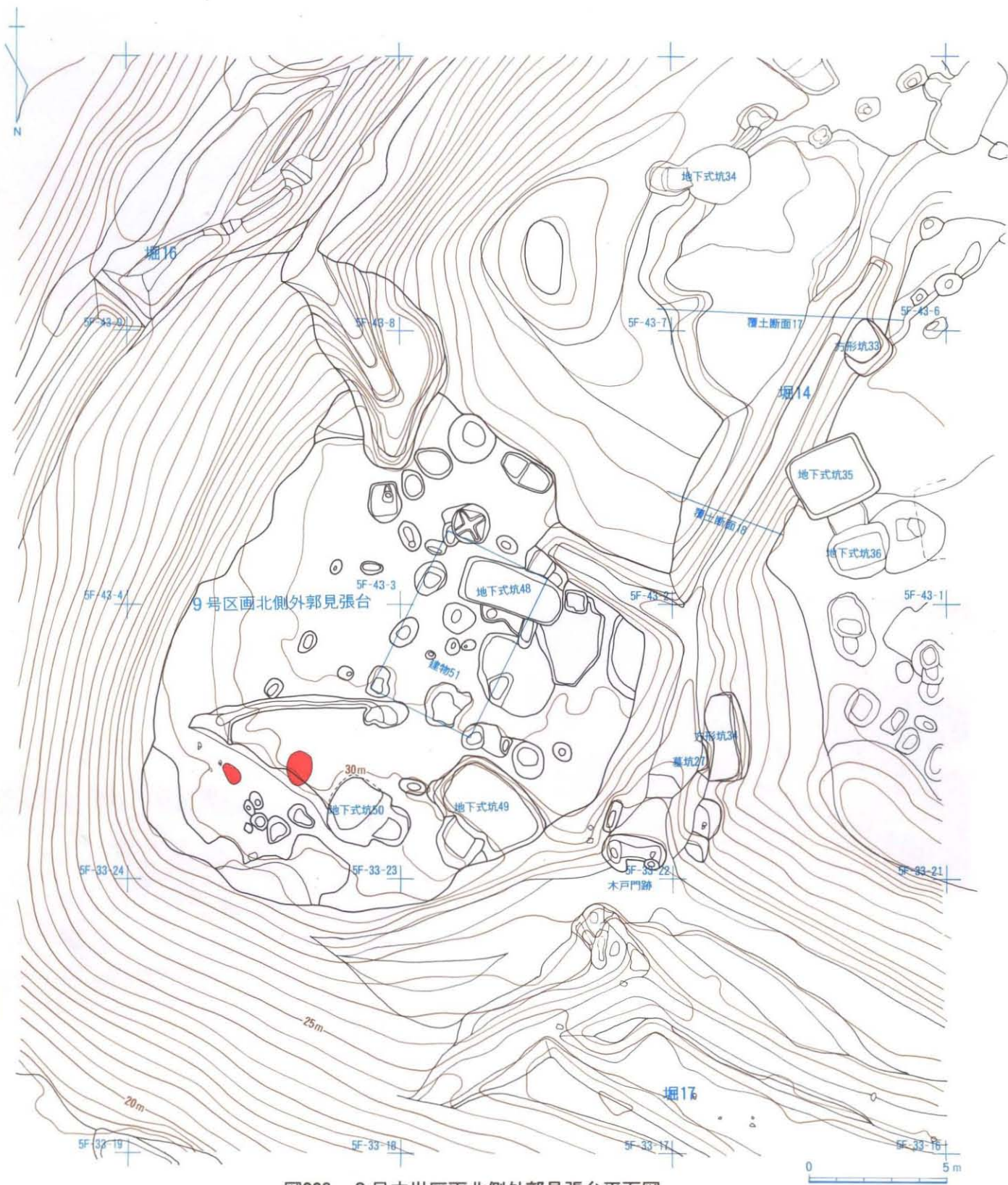
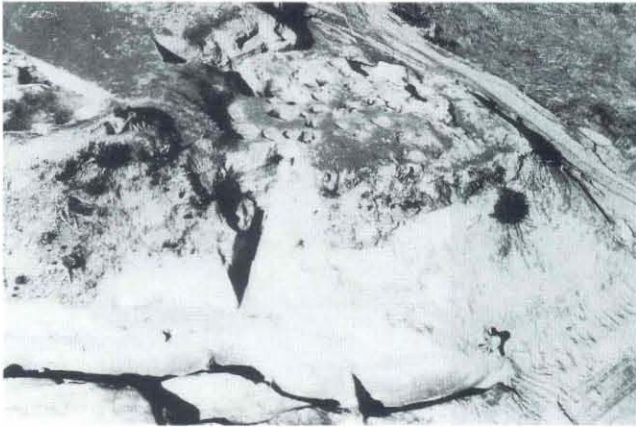


图228 9号中世区画北側外郭見張台平面图

51号建物跡
 位置 5F-33-22~23.43-2
 主軸 N-28°-E
 桁行 3間
 梁行 2間
 規模 6.45×4.05m
 柱穴総数 8
 柱穴深さ 0.50~0.80m

14号堀
 位置 5F-42-4~33-21
 延長 47.5m
 幅 1.7~3.8m
 深 0.7~2.3m
 形態 箱築研~築研堀
 出土遺物 瀬戸小皿・瓶子・
 槽鉢、磁石
 9号中世区画中央部は途中で埋められ、屈曲部から北は堀底道として使われた。



9号中世区画北側外郭見張台

位置 5F-33-21~23・43-2~3
 規模 東西19.5m 南北21.2m
 面積 255m²
 標高 28.8~31.0m
 境界 北・東は急傾斜面、西は14号堀、
 南は9号区画との間に段差がある。
 台地突出部を掘削整地して平坦面を造り、
 建物、地下式坑などを設けている。先端
 部には溝、段差を設け、焼跡があるところ
 から、ここにも生活のための建物があ
 ったと考える。

区内遺構	建物跡	1棟
	地下式坑	3基
	焼跡	2基

出土遺物 瀬戸小皿・平碗・深皿、常滑壺、内耳土鍋
 茶釜、磁石、五輪塔



図229 9号中世区画北側外郭見張台鳥瞰図



51号建物跡
(南側から)



9号中世区画北側外郭
見張台先端部 (南側から)



14号堀木戸門跡
(西側から)

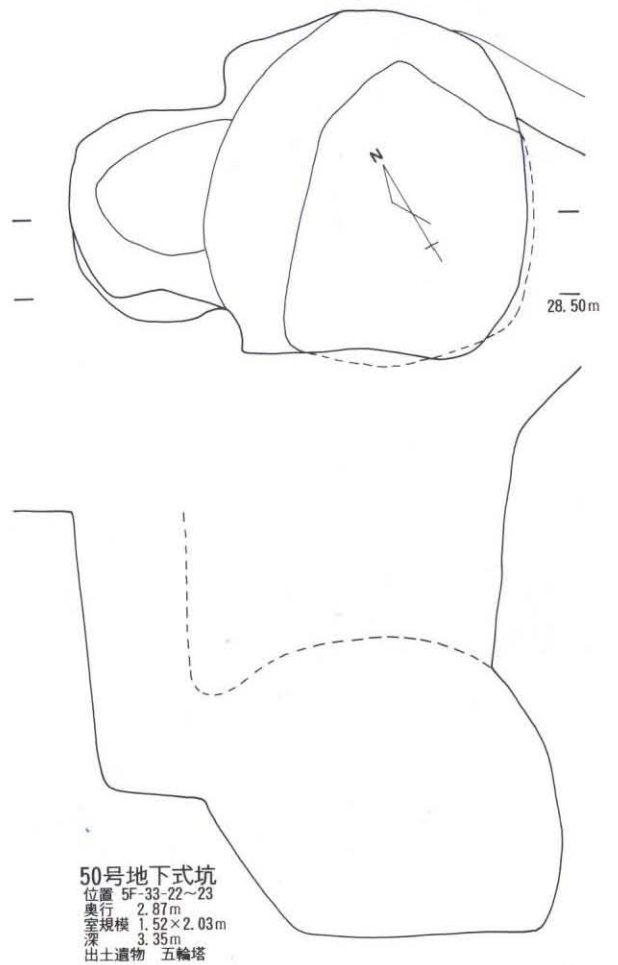
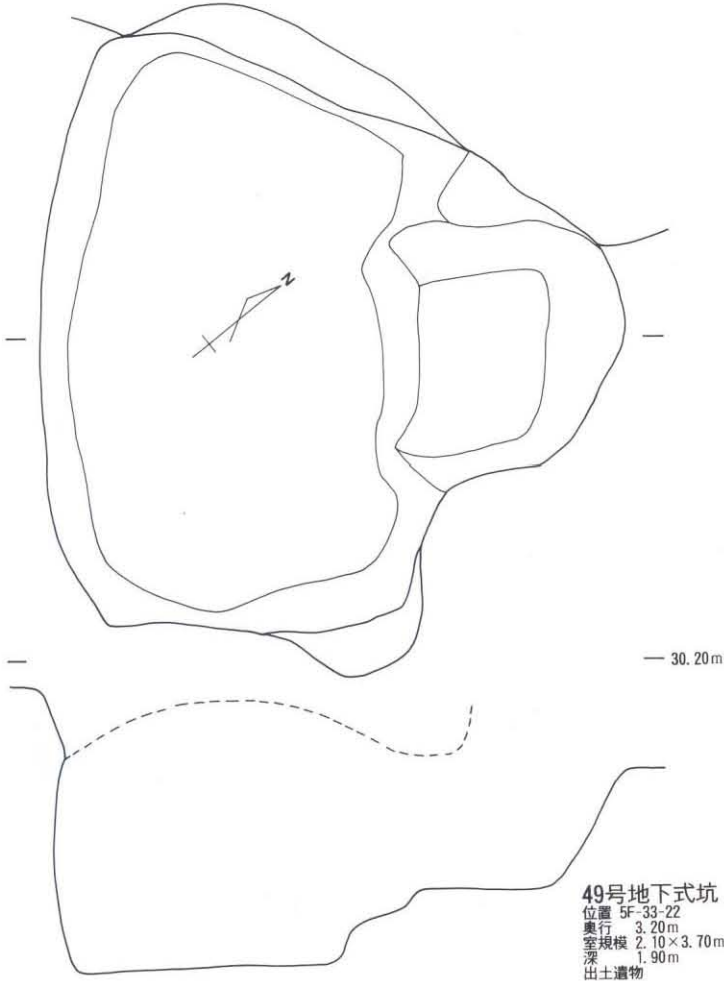
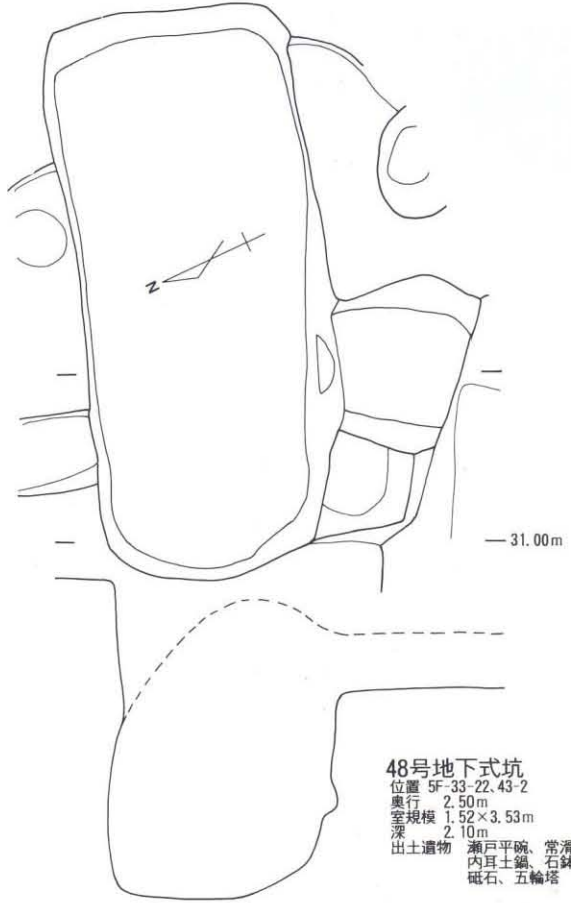
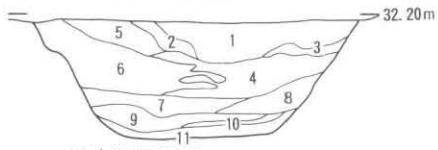
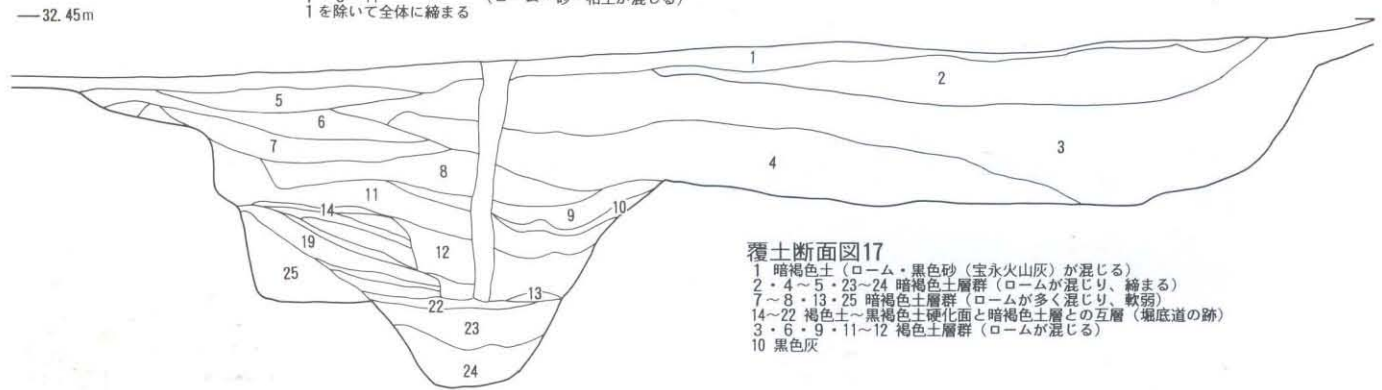


图230 48~50号地下式坑扩大图



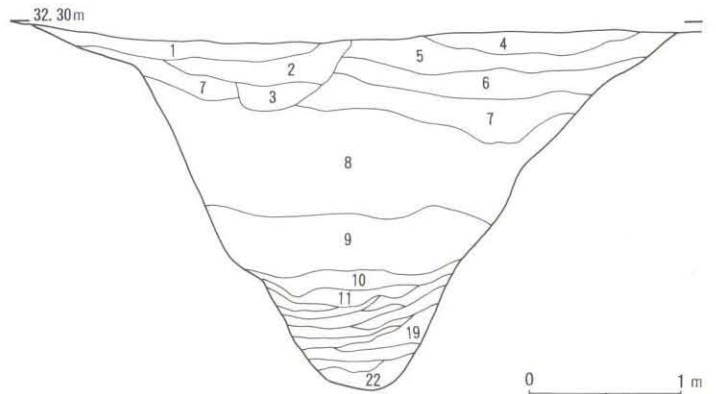
覆土断面図16

- 1 暗褐色土 (ロームが少し混じる)
- 2 " (ローム・砂が混じる)
- 3 " (ローム・焼土・灰が混じる)
- 4~5・8 暗褐色土層群 (ロームが混じる)
- 7・9~11 " (ローム・砂・粘土が混じる)
- 1を除いて全体に締まる



覆土断面図17

- 1 暗褐色土 (ローム・黒色砂(宝永火山灰)が混じる)
- 2・4~5・23~24 暗褐色土層群 (ロームが混じり、締まる)
- 7~8・13・25 暗褐色土層群 (ロームが多く混じり、軟弱)
- 14~22 褐色土~黒褐色土硬化面と暗褐色土層との互層 (堀底道の跡)
- 3・6・9・11~12 褐色土層群 (ロームが混じる)
- 10 黒色灰

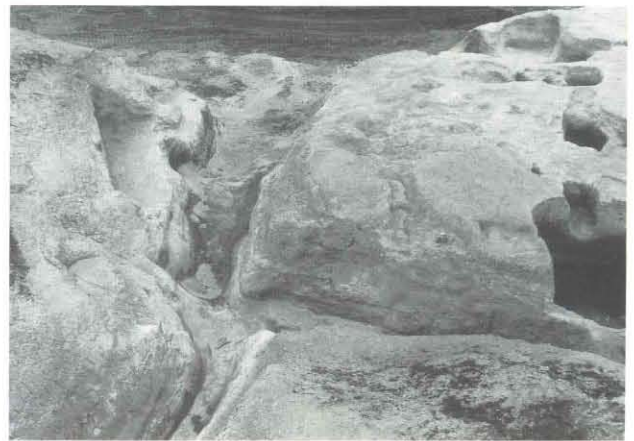


覆土断面図18

- 1~7 暗褐色土層群 (ローム・砂が混じり、軟弱)
- 8~9 褐色土層群 (ロームが多く混じる)
- 10~22 褐色土、硬化面と軟層との互層 (ローム・砂・粘土が混じる。堀底道の跡)

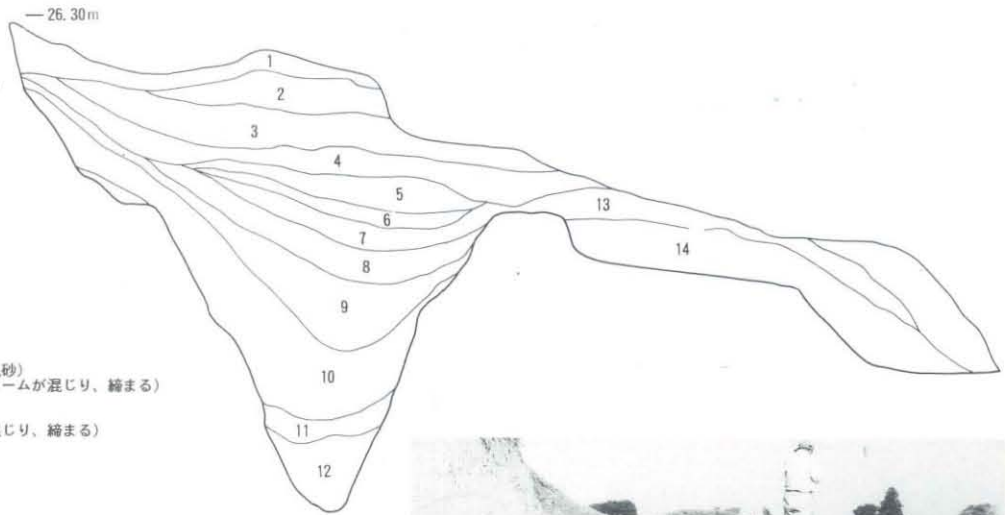


14号堀北出口(北側から)



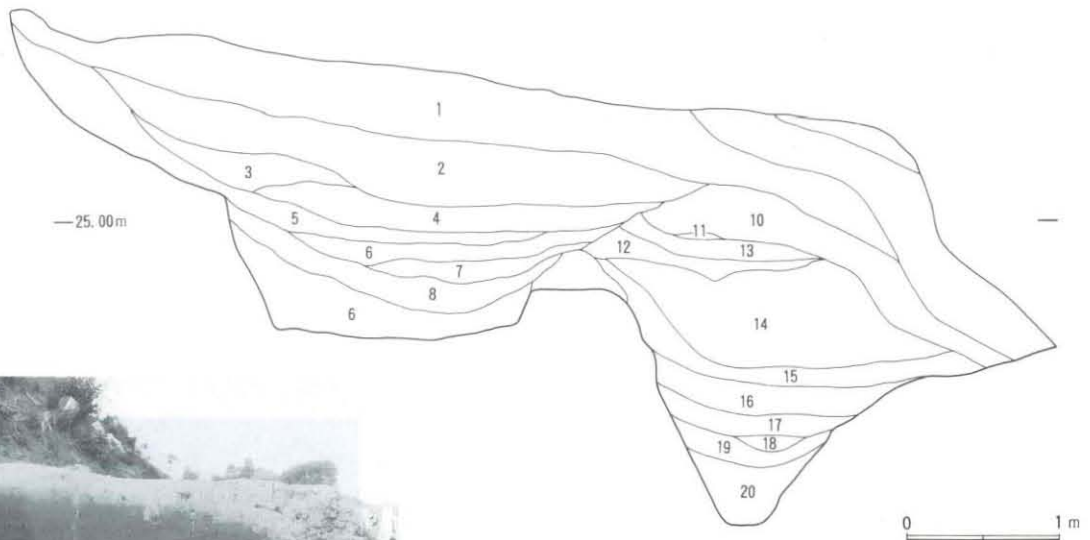
14号堀北出口(南側上から)

図231 14号堀覆土断面図



覆土断面図19

- 1~2 表土 (腐葉土、暗褐色砂)
- 3~5・8 暗褐色土層群 (ロームが混じり、締まる)
- 6 灰色砂
- 7・9~10・12 暗褐色砂
- 11 黒褐色土 (砂・ロームが混じり、締まる)
- 13~14 地山 (褐色~灰色)



覆土断面図20

- 1~8 暗褐色土 (砂・ロームが混じる)
- 9 暗褐色砂 (ロームが少し混じり、締まる)
- 10~17 暗褐色土 (ローム・砂が混じり、締まる)
- 18 黒褐色砂 (ロームが少し混じり、締まる)
- 19~20 暗褐色砂 (ローム・暗褐色土が混じり、締まる)



図232 16号堀覆土断面図

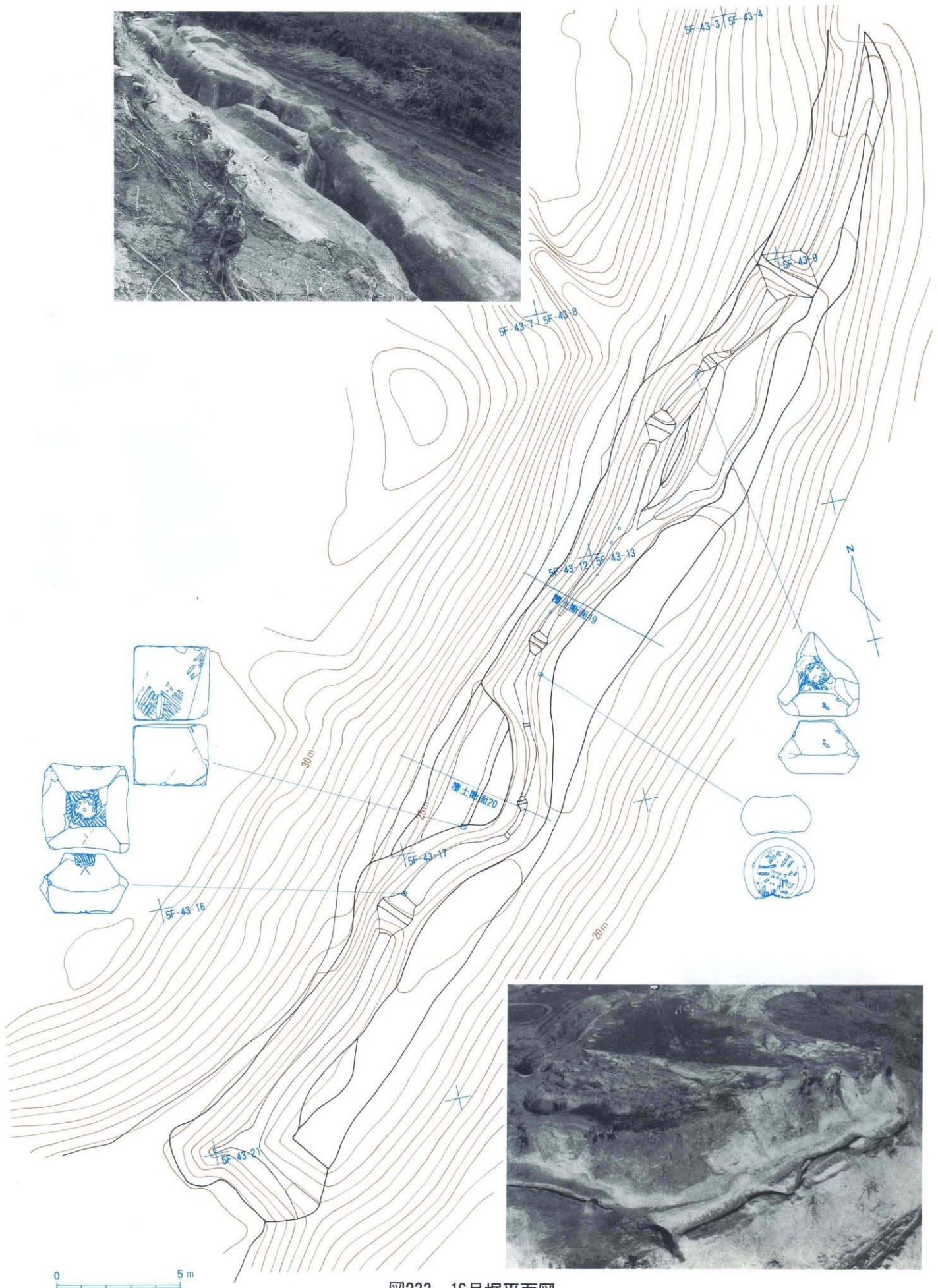


图233 16号堀平面图